

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年7月29日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 289-1603
住 所 千葉県山武郡芝山町大里 1 5 5 3 - 3
法人名 萩原土建株式会社
代表者 萩原 仁
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0479-78-1131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	萩原土建株式会社		
事業場の所在地	千葉県山武郡芝山町大里 1 5 5 3 - 3		
計画期間	令和6年4月1日	から	令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類： 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 1 5 億円		
③従業員数	3 5 人		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙		

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	排出量	2708 t	351 t
	(これまでに実施した取組) 各作業所ごとに公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領（土木）建設リサイクル法に基づき分けつ解体等及び再資源化等の促進を図ることにより建設副産物の発生抑制と削減を行った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	排出量	2573.4 t	333.5 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、分別解体等及び再生資源化とうの促進を図ることにより建設副産物の発生抑制と削減を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別に関するマニュアルの作成や教育を実施している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがら、アスコンがら、路盤廃材、建設汚泥、廃プラスチック、木くず、紙くず、金属くず、ガラスくず陶磁器くずの分別を徹底したうえで委託処理を行う。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） これまでに自ら産業廃棄物の再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら産業廃棄物の再生利用を行う予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） これまでに自ら産業廃棄物の中間処理は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら産業廃棄物の中間処理は行う予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） これまでに自ら産業廃棄物の埋め立て処分又は海洋投入処分は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら産業廃棄物の埋め立て処分又は海洋投入処分を行う予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	全 処 理 委 託 量	2708 t	351 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	2708 t	351 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 分別の徹底により、最終処分を削減し再生利用の促進を図った。		

(第5面)

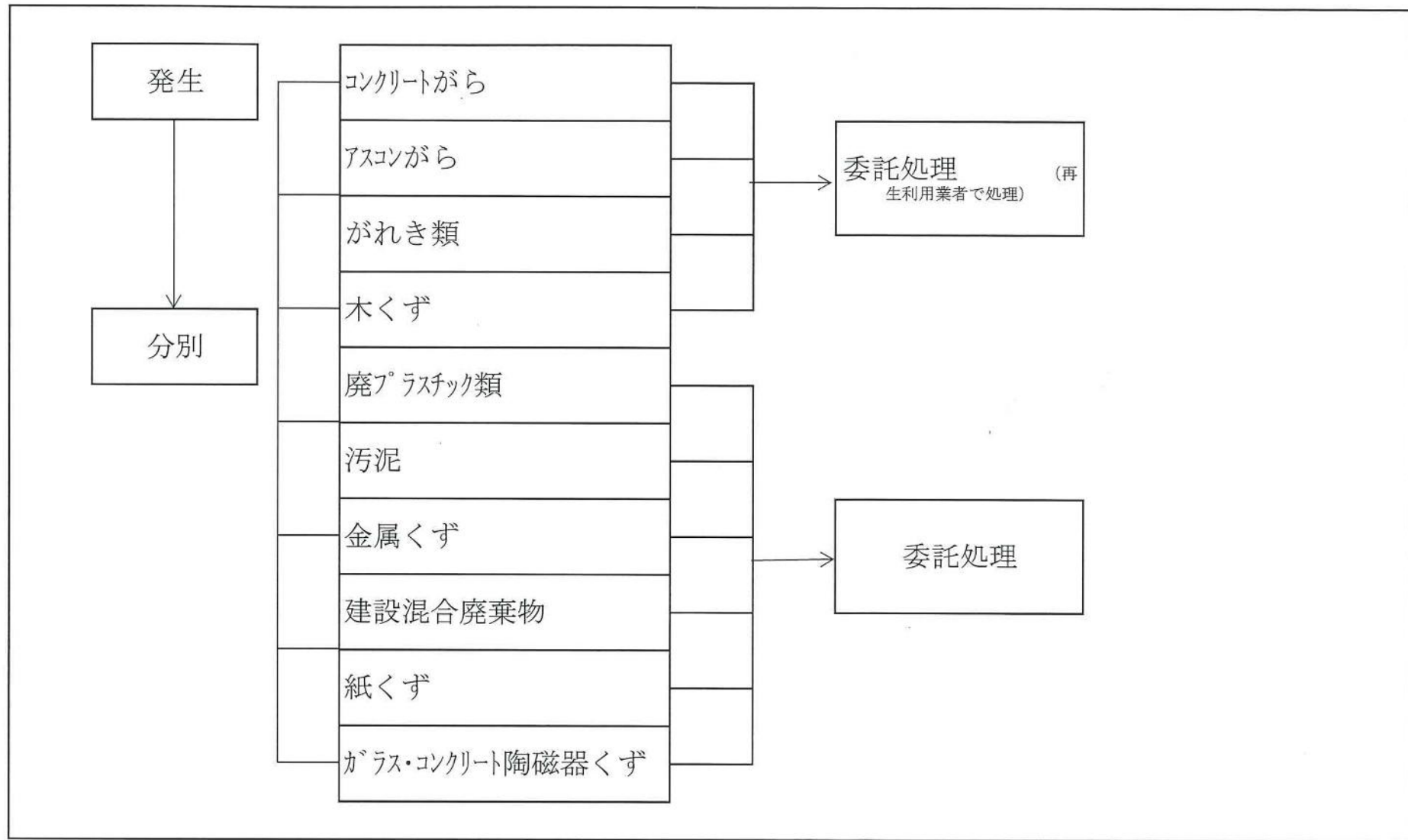
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	全 処 理 委 託 量	2573.4 t	333.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	2573.4 t	333.5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き継続する。		
※事務処理欄			

(第6面)

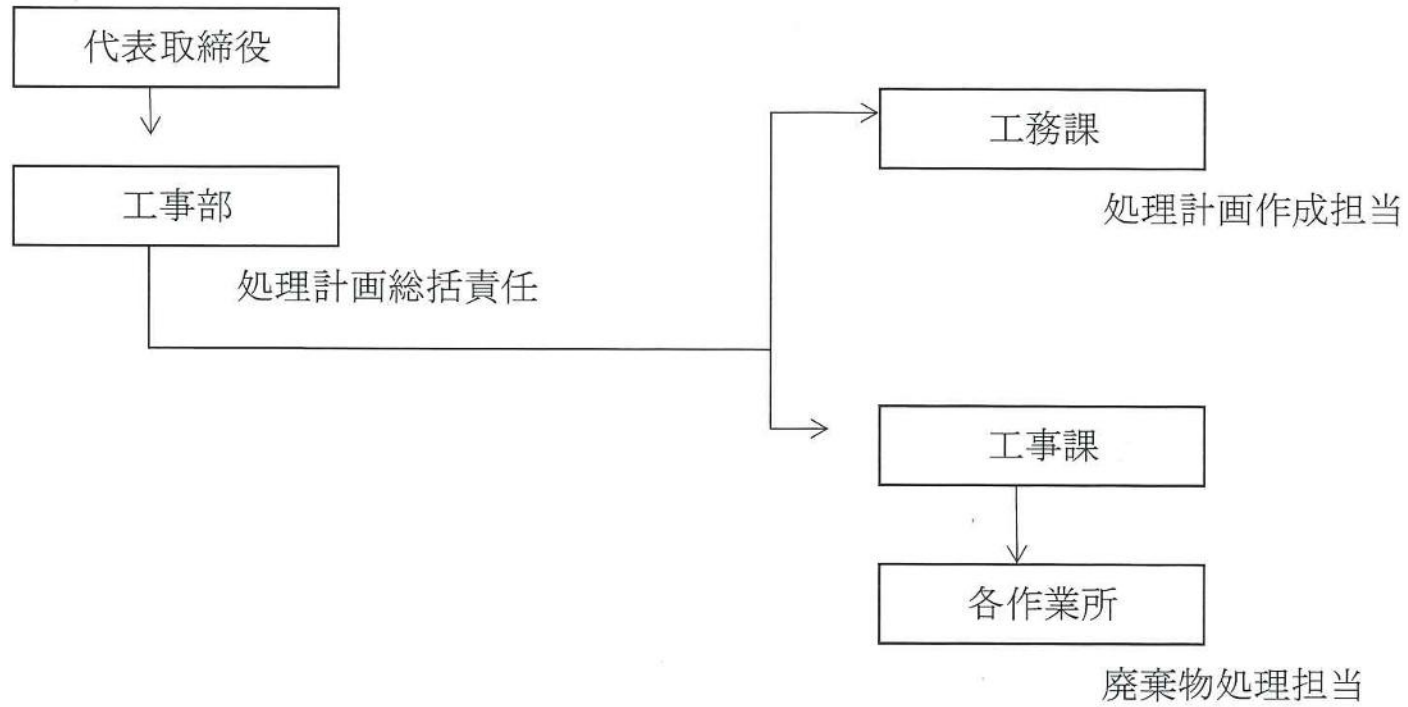
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程



管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	ガラス・コンクリート 陶磁器くず
	排 出 量	1009.6 t	11.8 t	194.7 t	226.6 t	0.1 t	0.8 t	2.6 t	0.1 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	ガラス・コンクリート 陶磁器くず
	排 出 量	959.1 t	11.2 t	185 t	215.3 t	0.1 t	0.8 t	2.5 t	0.1 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
----------------------	--	--	--

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	ガラス・コンクリート 陶磁器くず
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	ガラス・コンクリート 陶磁器くず
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	ガラス・コンクリート 陶磁器くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	ガラス・コンクリート 陶磁器くず
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	ガラス・コンクリート 陶磁器くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	ガラス・コンクリート 陶磁器くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	ガラス・コンクリート 陶磁器くず
	全処理委託量	1009.6 t	11.8 t	194.7 t	226.6 t	0.1 t	0.8 t	2.6 t	0.1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1009.6 t	t	194.7 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	ガラス・コンクリート 陶磁器くず
	全処理委託量	959.1 t	11.2 t	185 t	215.3 t	0.1 t	0.8 t	2.5 t	0.1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	959.1 t	t	185 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月25日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 289-1603			
住所 千葉県山武郡芝山町大里1553-3			
法人名 萩原土建株式会社			
代表者 萩原 仁			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0479-78-1131			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	萩原土建株式会社		
事業場の所在地	千葉県山武郡芝山町大里1553-3		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4188.5 t	全処理委託量	4188.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	4.3 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	4006.4 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

N0.1

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリートがら)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量																									
	①排出量	②自ら直接再生利用した量																								
		0.0 t																								
		③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量																								
	2708.0t	0.0 t																								
<table><tr><th>項目</th><th>実績値</th></tr><tr><td>①排出量</td><td>2708.0 t</td></tr><tr><td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑤自ら熱回収を行った量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑦自ら中間処理により減量した量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑩全処理委託量</td><td>2708.0 t</td></tr><tr><td>⑪優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑫再生利用業者への処理委託量</td><td>2708.0 t</td></tr><tr><td>⑬熱回収認定業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td></tr></table>	項目	実績値	①排出量	2708.0 t	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t	⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	⑩全処理委託量	2708.0 t	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	⑫再生利用業者への処理委託量	2708.0 t	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
	項目	実績値																								
	①排出量	2708.0 t																								
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t																								
	⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t																								
	⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t																								
	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t																								
	⑩全処理委託量	2708.0 t																								
	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t																								
	⑫再生利用業者への処理委託量	2708.0 t																								
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t																									
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t																									
	0.0 t	0.0 t	0.0t	2708.0 t																						
	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量																						
	0.0 t	0.0 t		0.0 t																						
			⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																						
			2708.0 t																							
			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量																							
			0.0 t	0.0 t																						

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
351.0t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
351.0 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
351.0 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	351.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	351.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	351.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
1009.6t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
1009.6 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
1009.6 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	1009.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1009.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1009.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
194.7 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
194.7 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
194.7 t

項目	実績値
①排出量	194.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	194.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	194.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
2.6 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
2.6 t

項目	実績値
①排出量	2.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
0.1 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.1 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.0 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	0.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
226.6 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
226.6 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0.0 t

⑩全処理委託量
226.6 t

⑪優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫再生利用業者への処理委託量
0.0 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	226.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	226.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
0.1 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.1 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.0 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	0.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
11.8 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
11.8 t

項目	実績値
①排出量	11.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
0.8t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.8 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	0.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
	①排出量				
		③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量			
項目	実績値	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
①排出量	0.0 t				
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t				
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t		0.0 t	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t			0.0 t	
⑩全処理委託量	0.0 t				⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t				
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t				
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
	①排出量				
			③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
項目	実績値	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
①排出量	0.0 t				
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t				
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t		0.0 t	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t			0.0 t	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑩全処理委託量	0.0 t				
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t				
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t				
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月11日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒171-0022	
住 所 東京都豊島区南池袋2-25-5藤久ビル東5号館	
氏 名 一建設株式会社 代表取締役 堀口忠美	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 03-5928-1700	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	一建設株式会社 千葉営業所
事業場の所在地	千葉県千葉市花見川区幕張本郷1-11-24 フォルテ1号
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事業
② 事業の規模	18189百万円
③ 従業員数	87名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各建築現場 ⇒ 収集運搬 ⇒ 中間処理 ⇒ 再資源化・埋立 (全量業務委託)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
工事統括部長 ⇒ ブロック長 ⇒ 工事長 ⇒ 各現場担当	
⇕	
生産管理部業務課	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	695.31 t	485.01 t
	(これまでに実施した取組) 現場ごとに産業廃棄物の分別の徹底 床養生材のリサイクル対応 羽柄材プレカット対応		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	600 t	400 t
	(今後実施する予定の取組) 現状同様に産業廃棄物の分別を行い資材発注量の管理をし 産業廃棄物の発生抑制を行う		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 会社のルールに従って現場にて産業廃棄物の分別を行い 再資源化できるよう努力している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 継続して産業廃棄物の分別を徹底し再資源化率の 向上に努めます

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t
	（今後実施する予定の取組） 予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	全処理委託量	695.31t	485.01t
	優良認定処理業者への処理委託量	566.475t	380.94t
	再生利用業者への処理委託量	695.31t	485.01t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
	（これまでに実施した取組） 委託業者を選定し、適正処理を進め 委託契約書との整合性の確認		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	全処理委託量	600 t	400 t
	優良認定処理業者への処理委託量	600 t	400 t
	再生利用業者への処理委託量	600 t	400 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 委託業者の中間処理場の視察等を行い、再利用可能業者 優良認定業者を選定し、産業廃棄物の適正処理を進める		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
		排 出 量	60.78 t	1402.83 t	0.18 t	155.714 t	907.871 t	321.03 t	31.82 t	0.026 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
		排 出 量	50 t	1200 t	0 t	120 t	800 t	300 t	30 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に關する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
	全処理委託量	60.78 t	1402.83 t	0.18 t	155.714 t	907.871 t	321.03 t	31.82 t	0.026 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	982.135 t	0 t	120.571 t	713 t	233.34 t	1.628 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	60.78 t	1402.83 t	0.18 t	155.714 t	907.871 t	321.03 t	31.82 t	0.026 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
	全処理委託量	50 t	1200 t	0 t	120 t	800 t	300 t	30 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	1000 t	0 t	100 t	700 t	250 t	10 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	50 t	1200 t	0 t	120 t	800 t	300 t	30 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6 月 11 日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒171-0022
住 所 東京都豊島区南池袋2-25-5藤久ビル東5号館
氏 名 一建設株式会社 代表取締役 堀口忠美
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 03-5928-1700

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	一建設株式会社 千葉営業所
事業場の所在地	千葉県千葉市花見川区幕張本郷1-11-24 フォルテ1号
事業の種類	D06ー総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

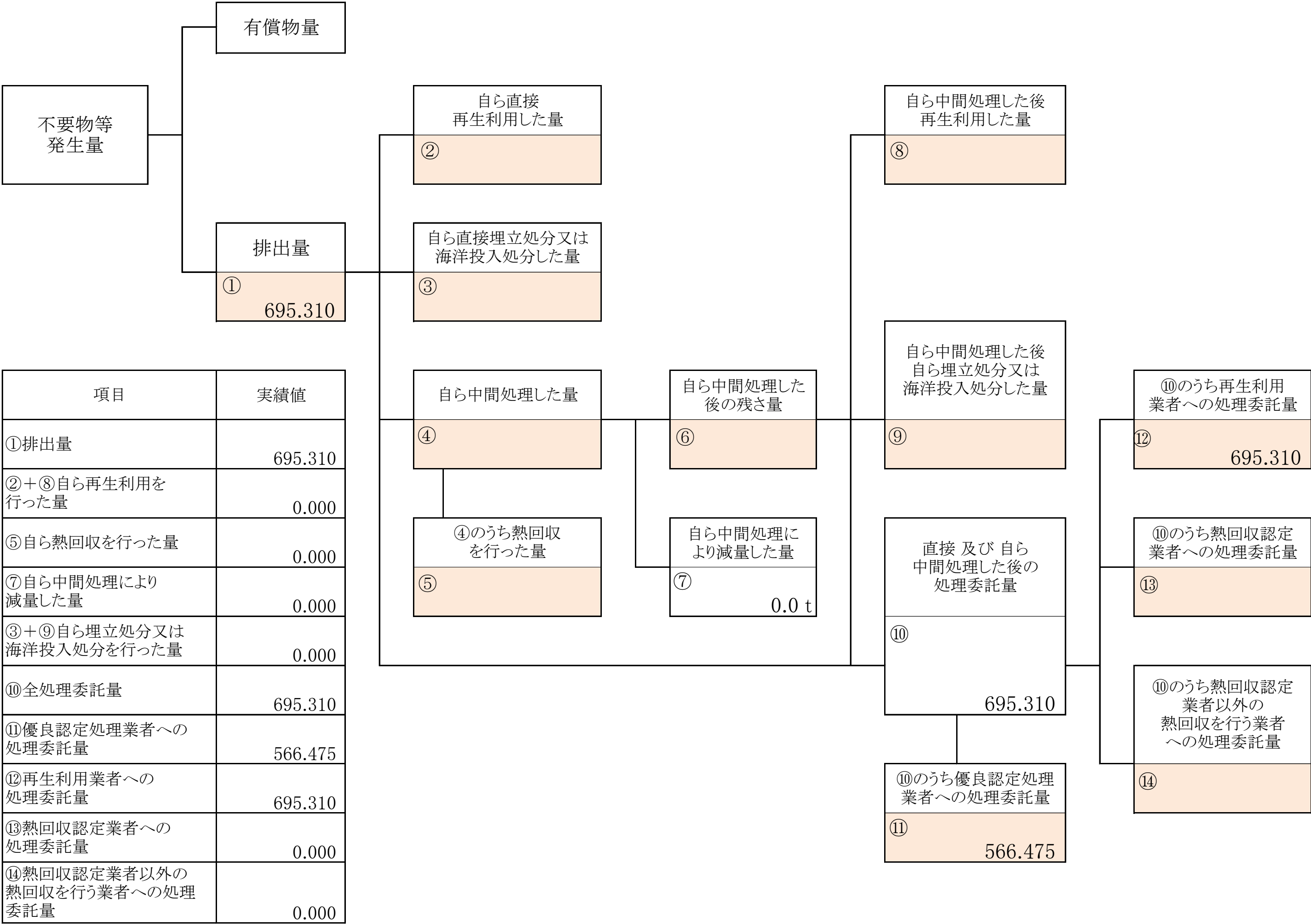
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3242.0 t	全処理委託量	3242.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	2612.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	3242.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

※事務処理欄

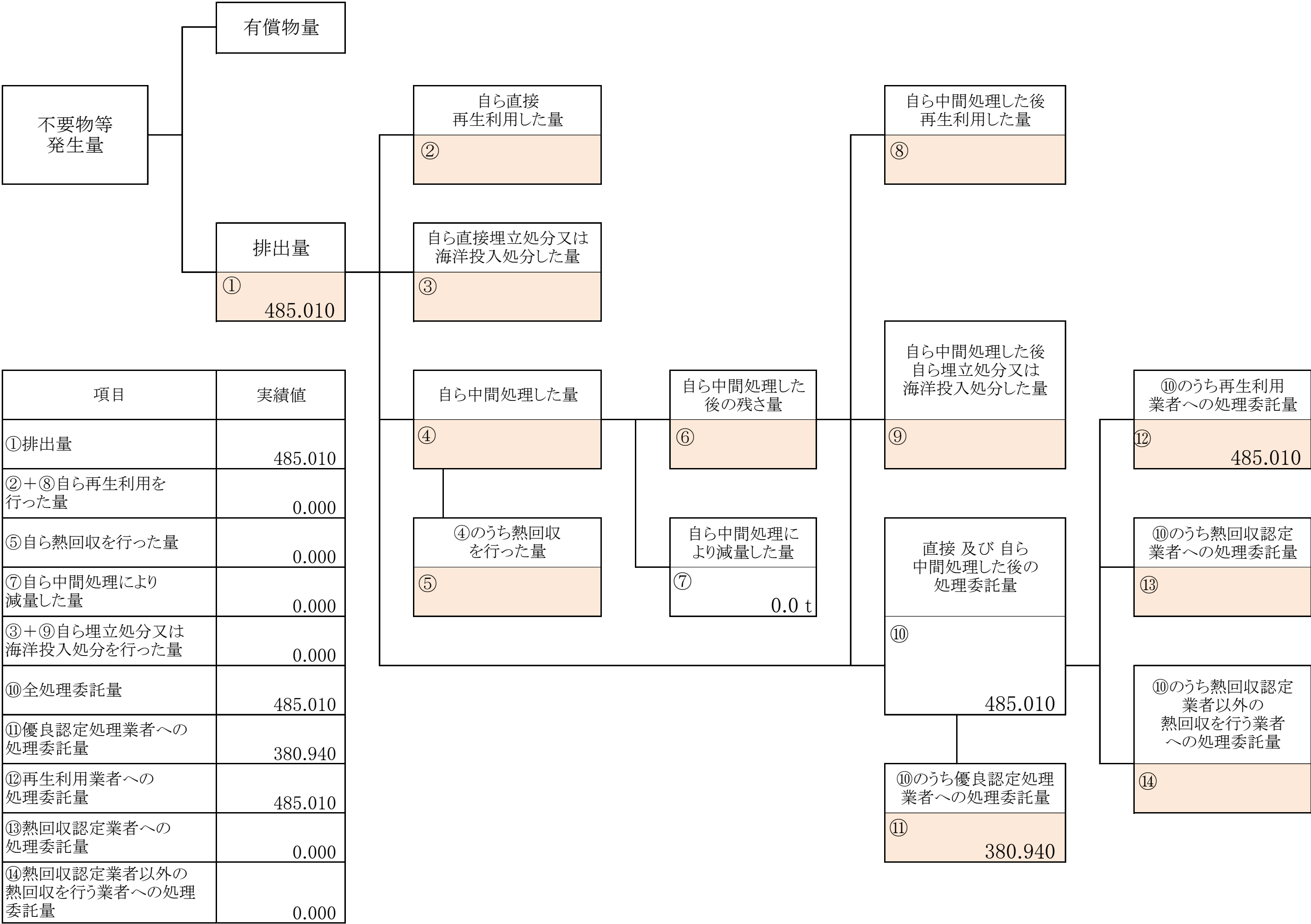
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



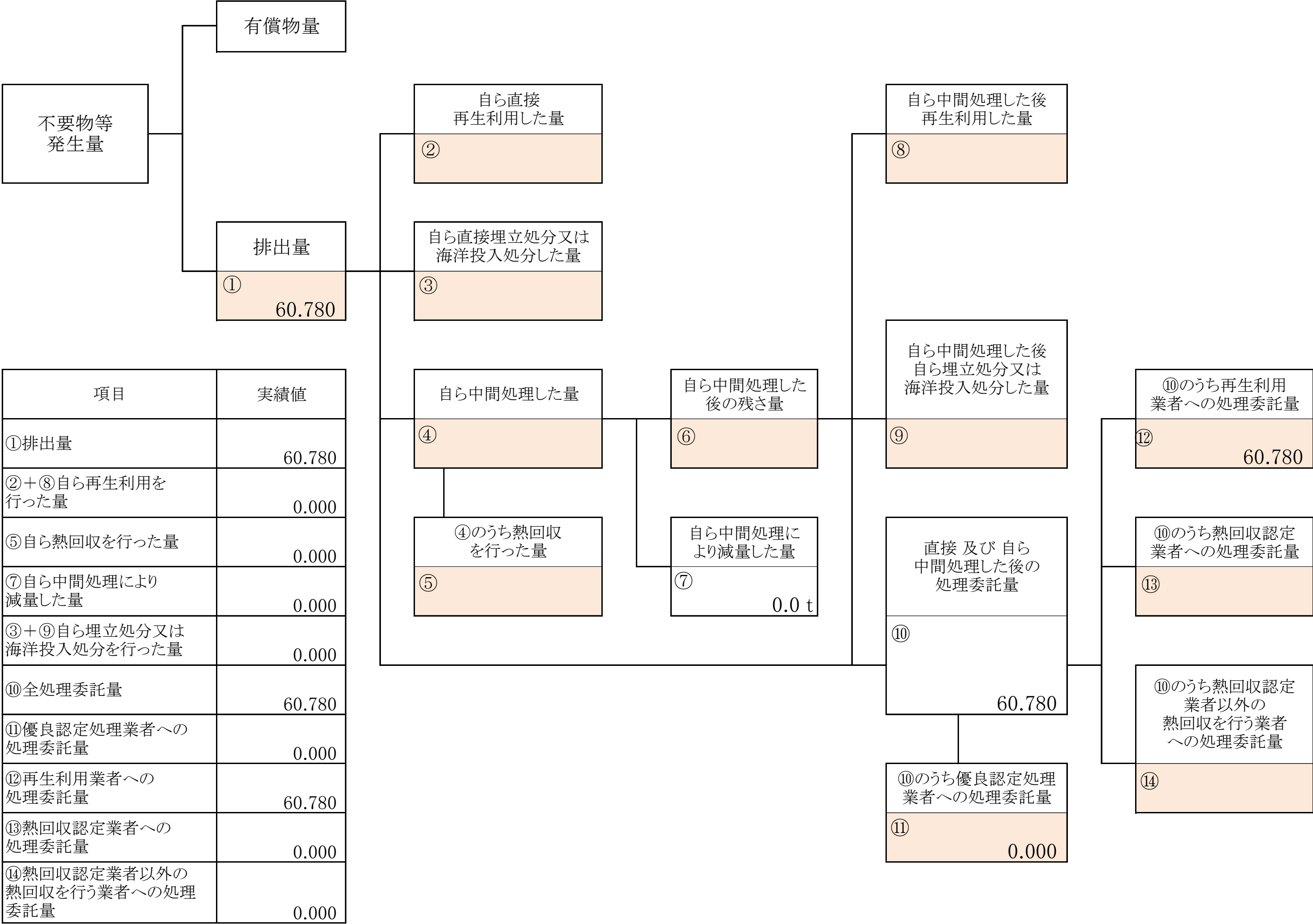
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



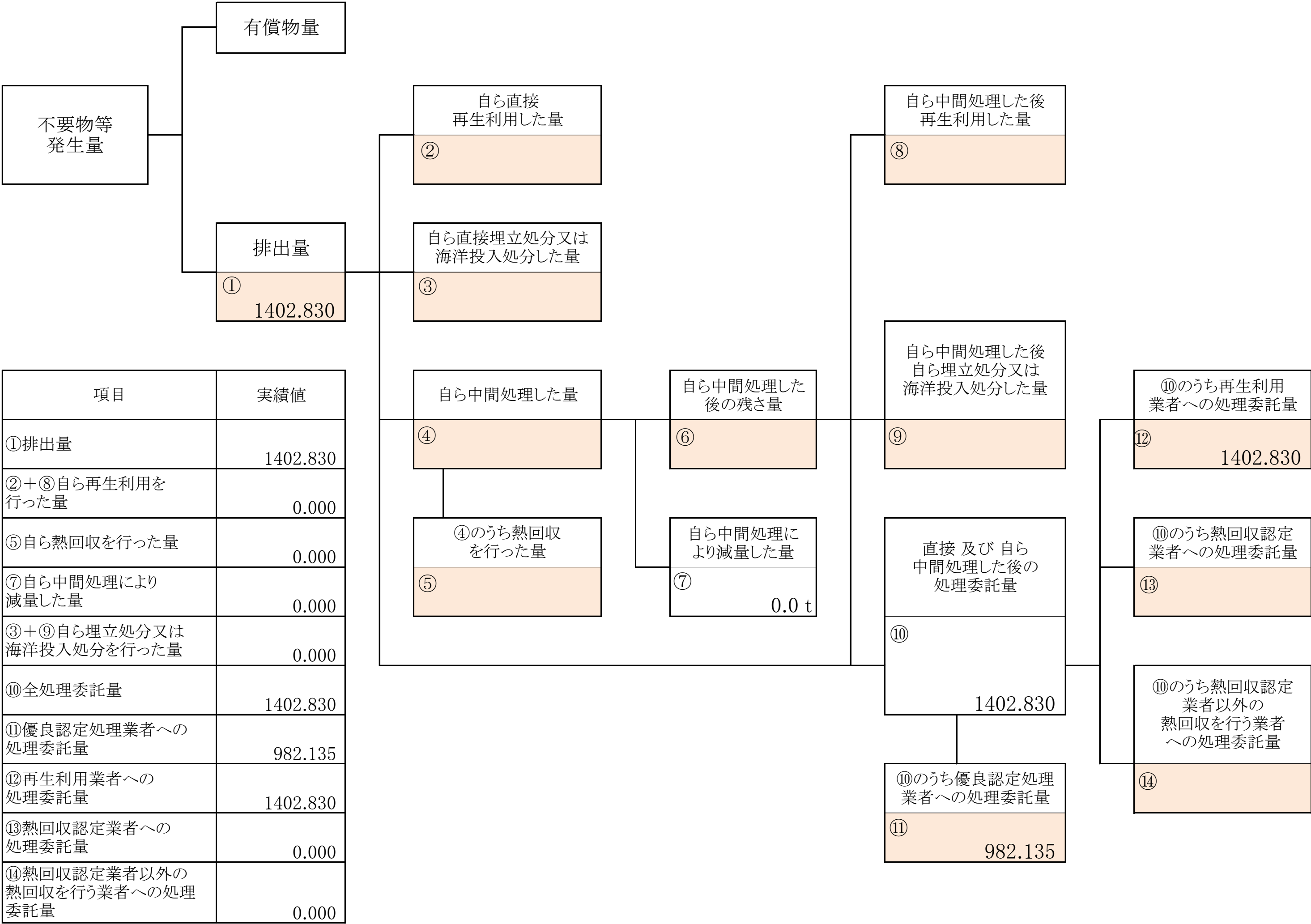
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:ダンボール)



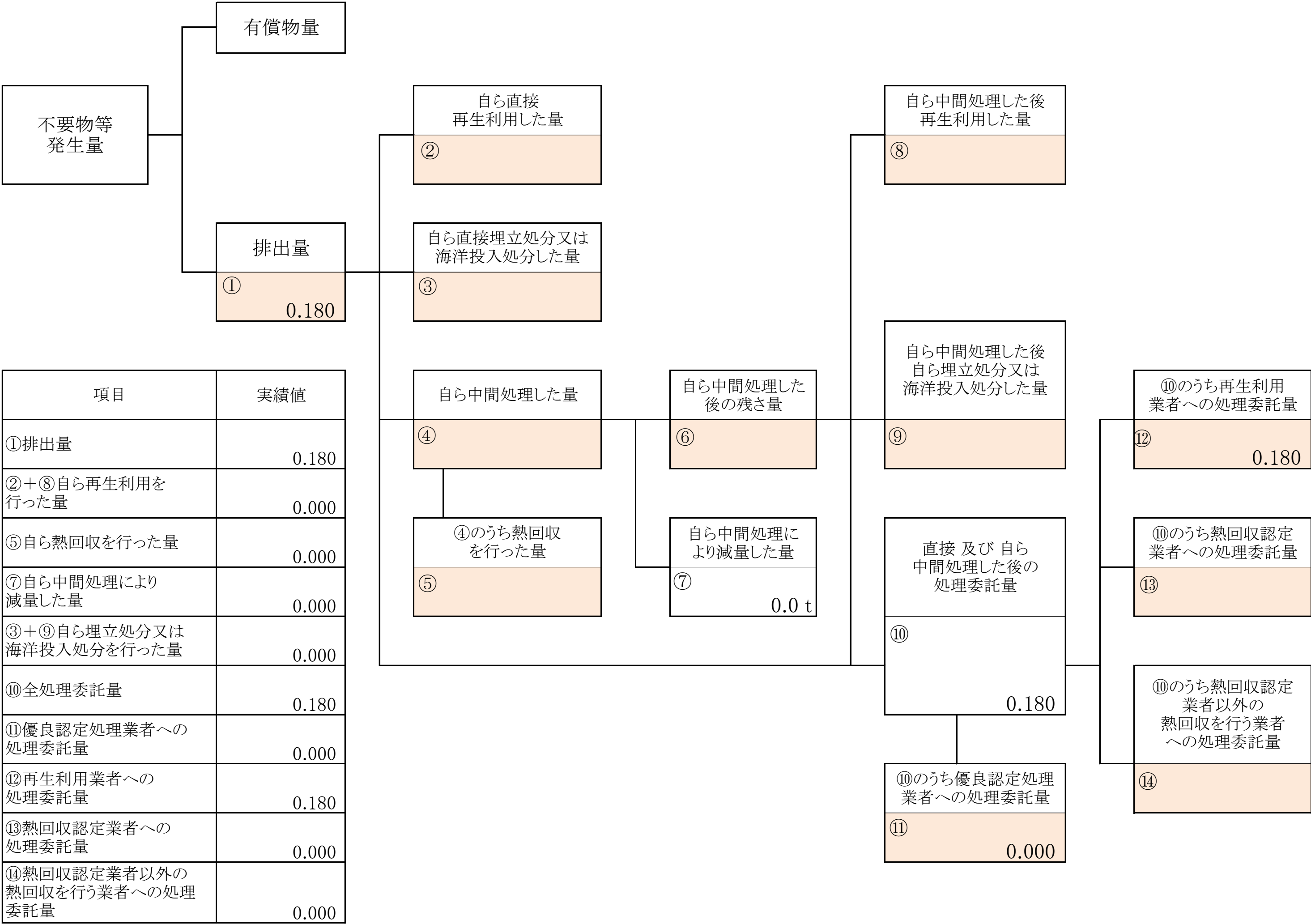
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



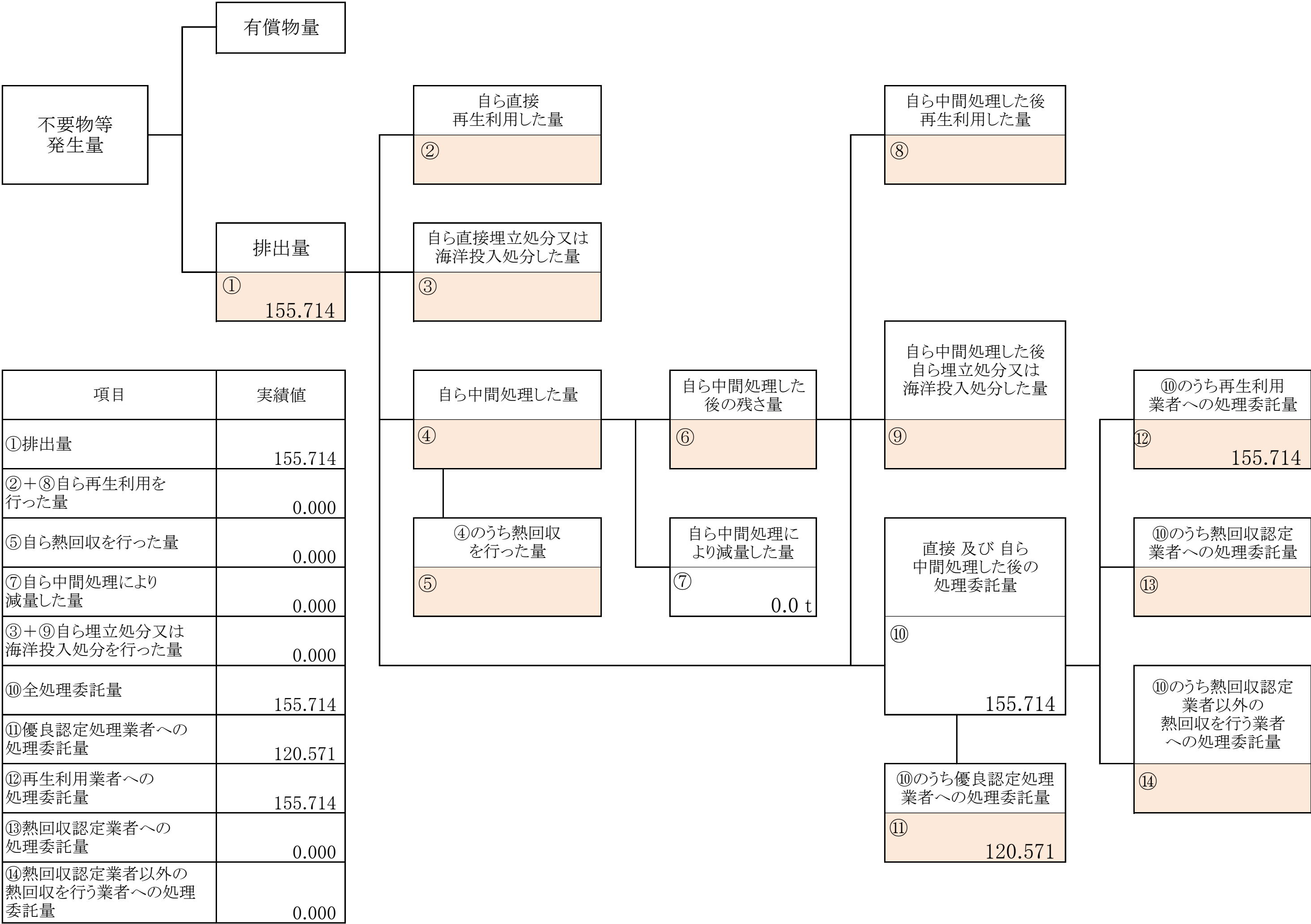
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



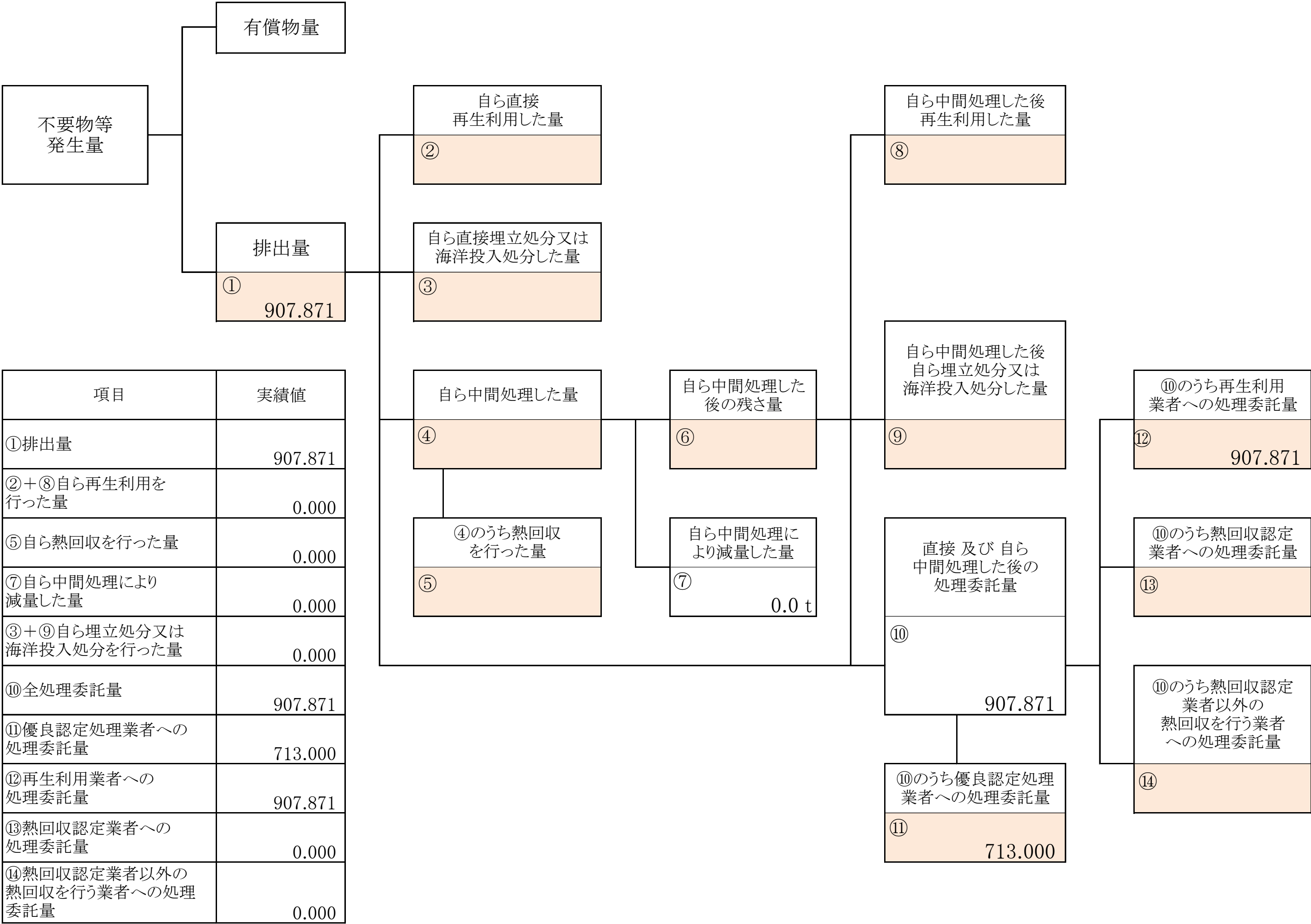
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



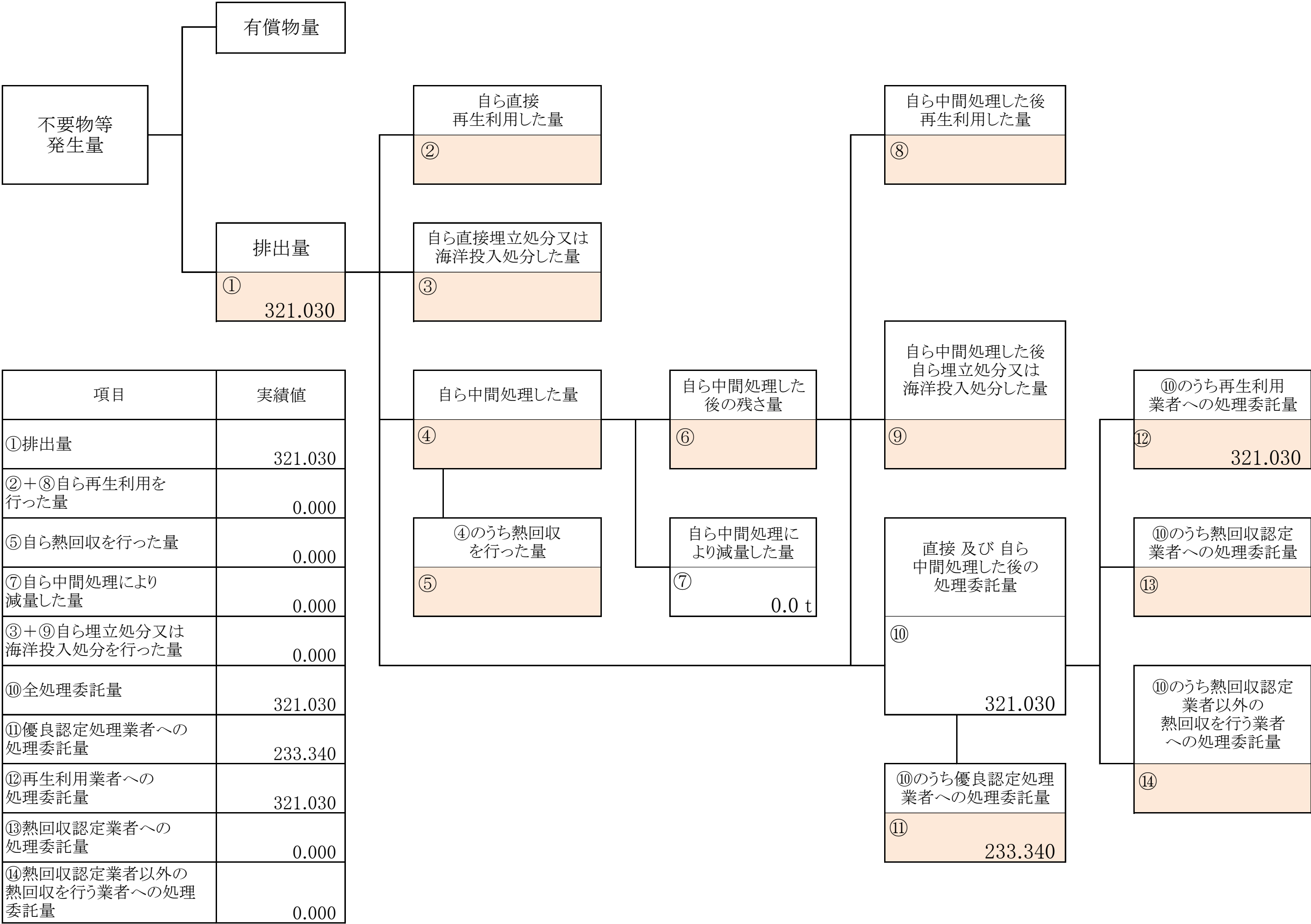
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)



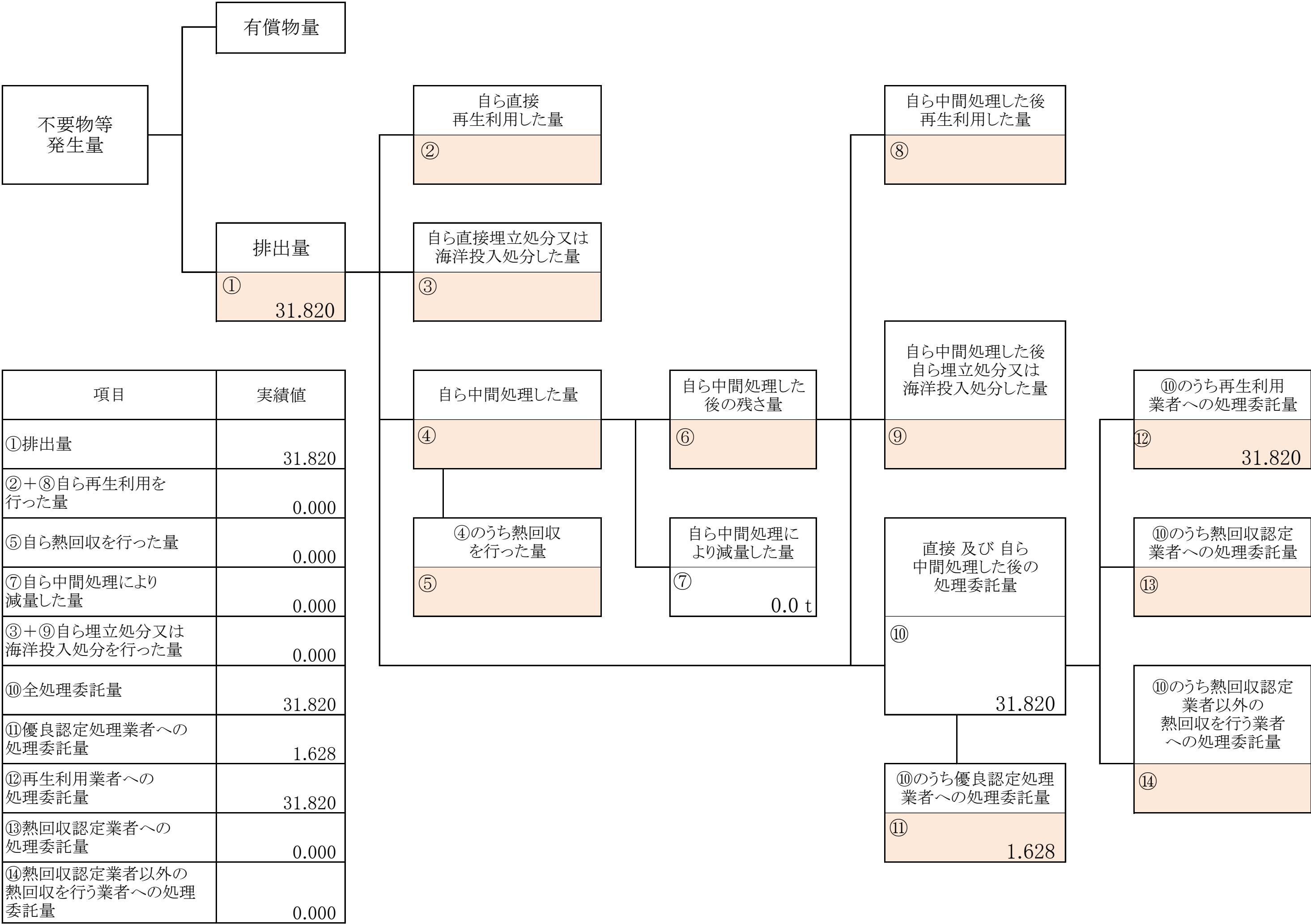
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石膏ボード)



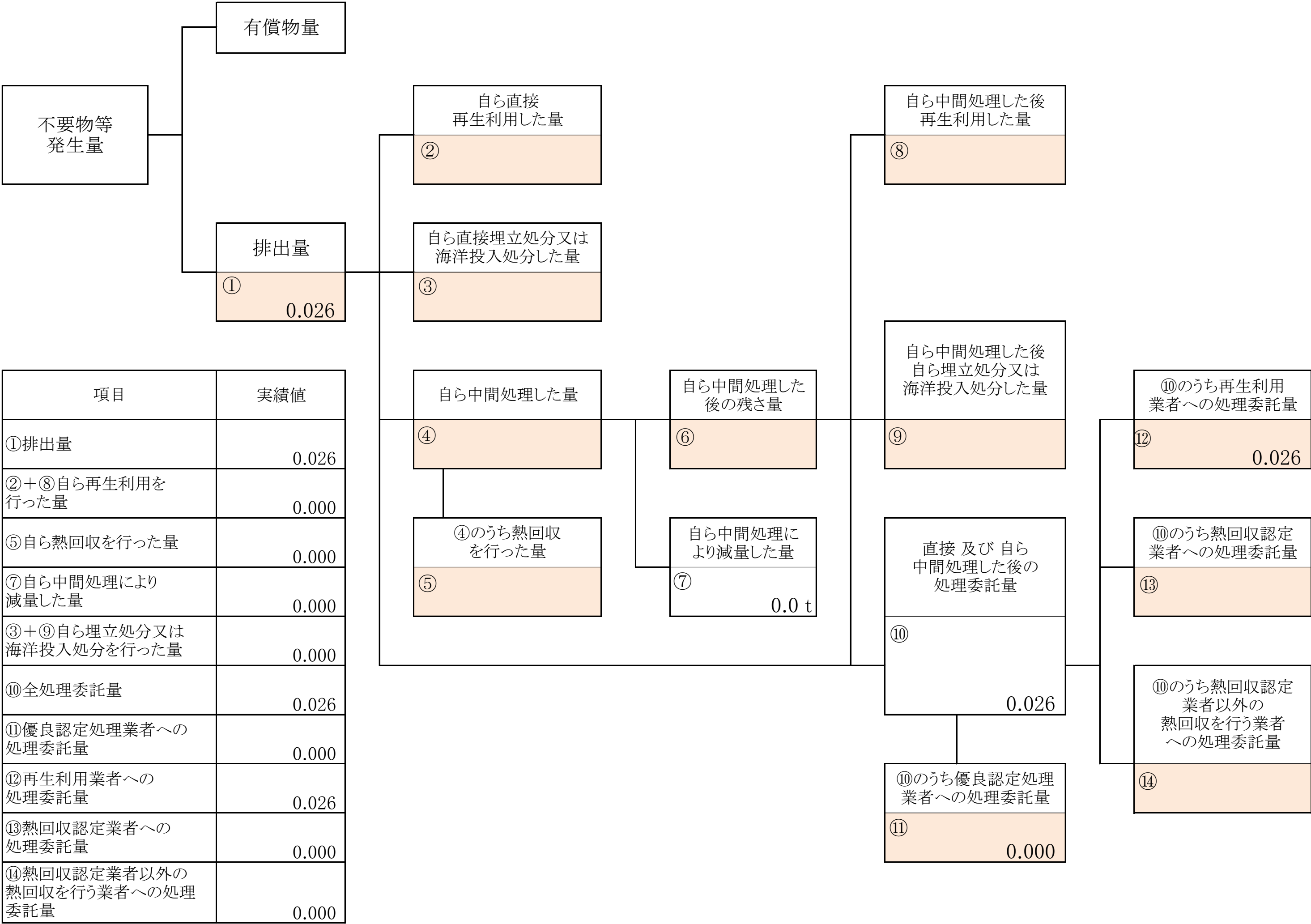
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型混合廃棄物)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月28日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 105-0014
住 所 東京都港区芝2-32-1
法人名 株式会社 長谷工コーポレーション
代表者 三森 国吉
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-3456-6324

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 長谷工コーポレーション		
事業場の所在地	東京都港区芝二丁目32番1号		
計画期間	令和6年4月1日	から	令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類： 総合工事業
②事業の規模	完成工事高 20,042（百万円）		
③従業員数	建設部門 793人		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）		

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙 (管理体制)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	48,536.93 t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者へ処理委託を行い、中間処理業者にて再生, 最終埋立処分量を低減しています。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 継続して、再生利用業者へ処理委託を行い、中間処理業者にて再生, 最終埋立処分量を低減していきます。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 当社では、廃棄物処理法での事業活動にて発生する産業廃棄物を、独自に21種類に再分割し工事進捗に応じて分別管理品目による分別を行っています。作業所の分別ヤードには、分別管理品目ごとに当社オリジナル分別看板を掲示し、小量容器による分別回収を行っています。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取組みを継続するとともに、新たな分別へ取り組んでまいります。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	優良認定処理業者と再生利用業者へ処理委託を行い、中間処理業者にて再生され最終埋立処分量を低減しています。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 継続して、優良認定処理業者と再生利用業者へ処理委託を行い、中間処理業者にて再生され最終埋立処分量を低減していきます。		
※事務処理欄			

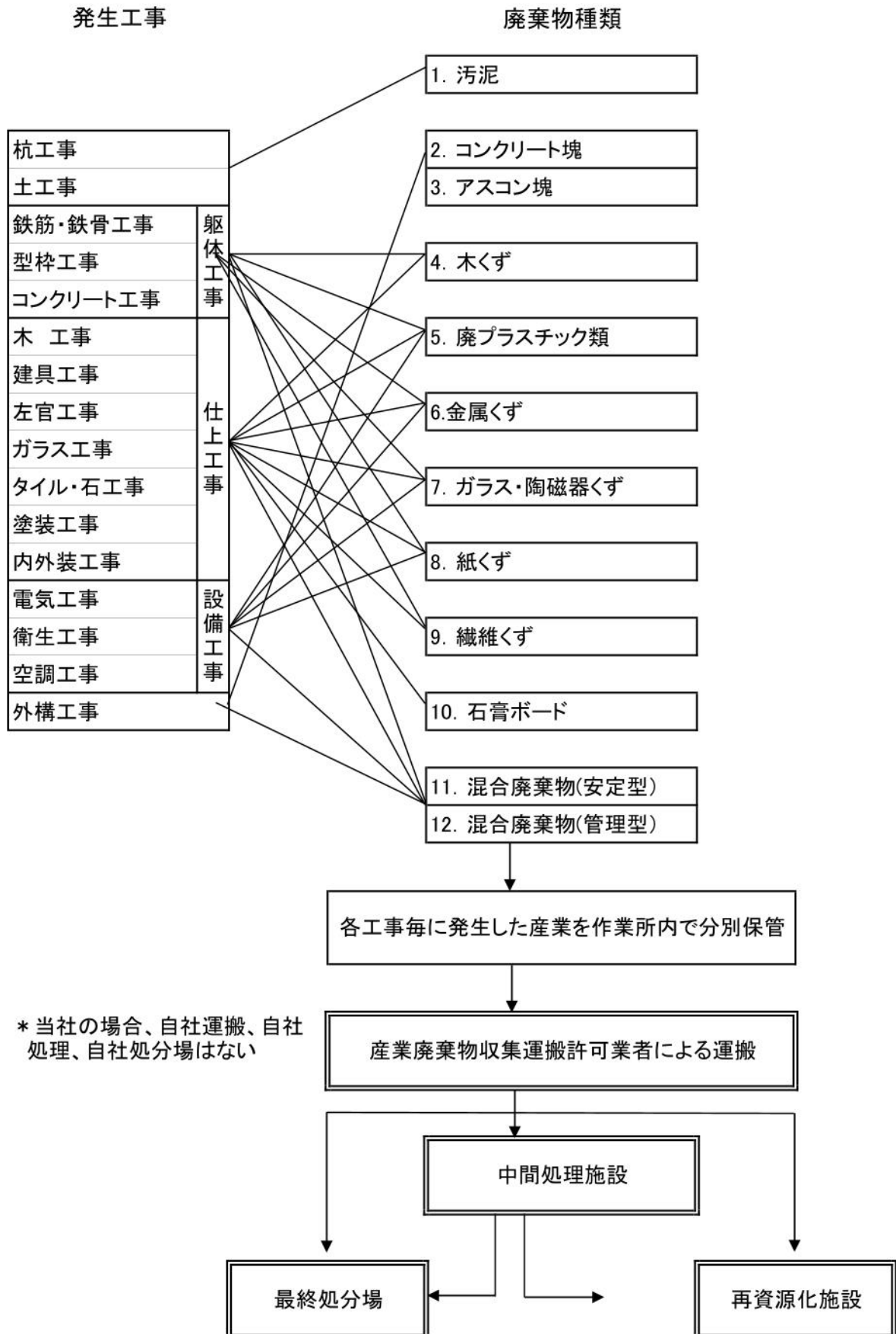
(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

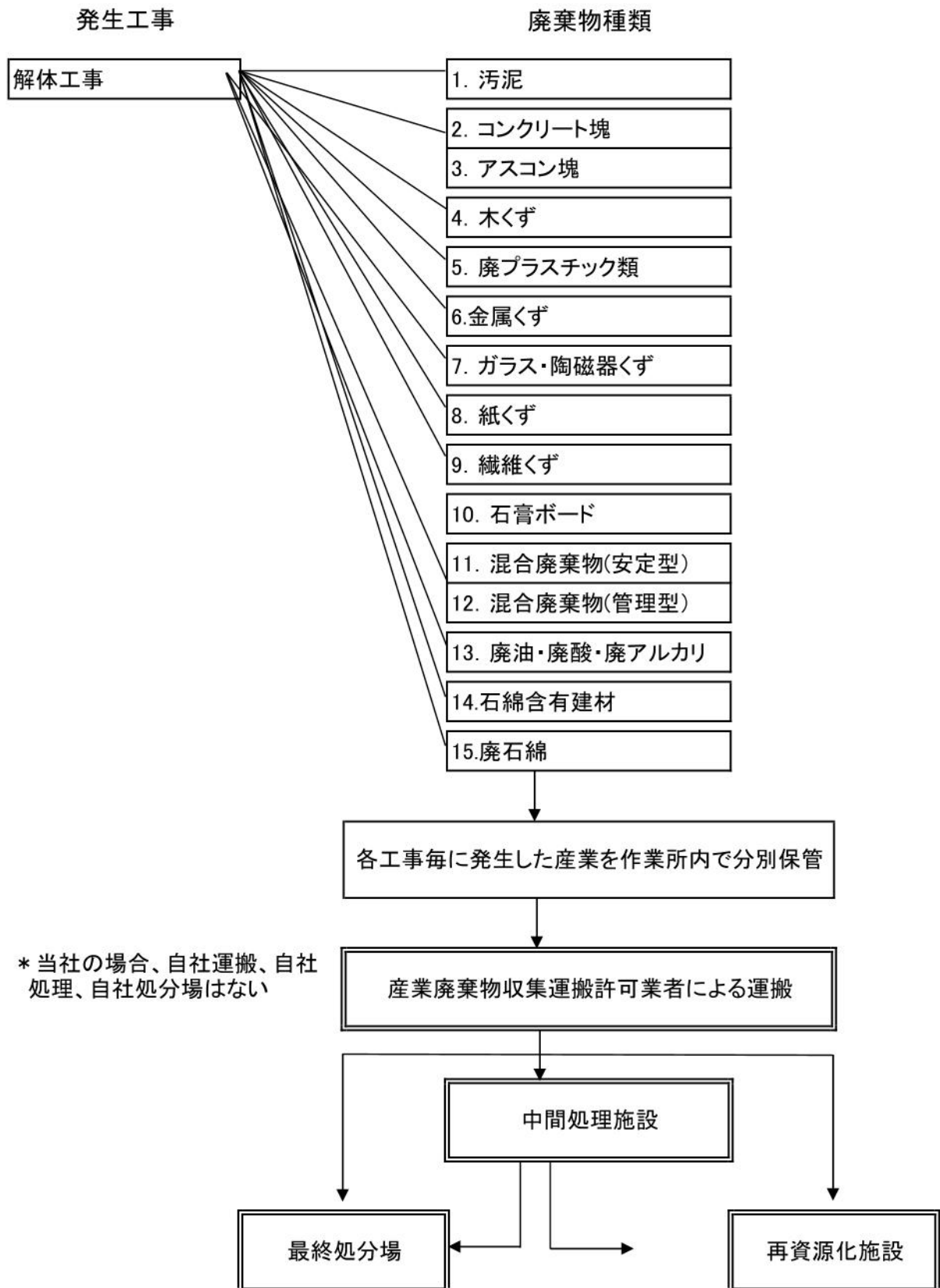
廃棄物発生フロー

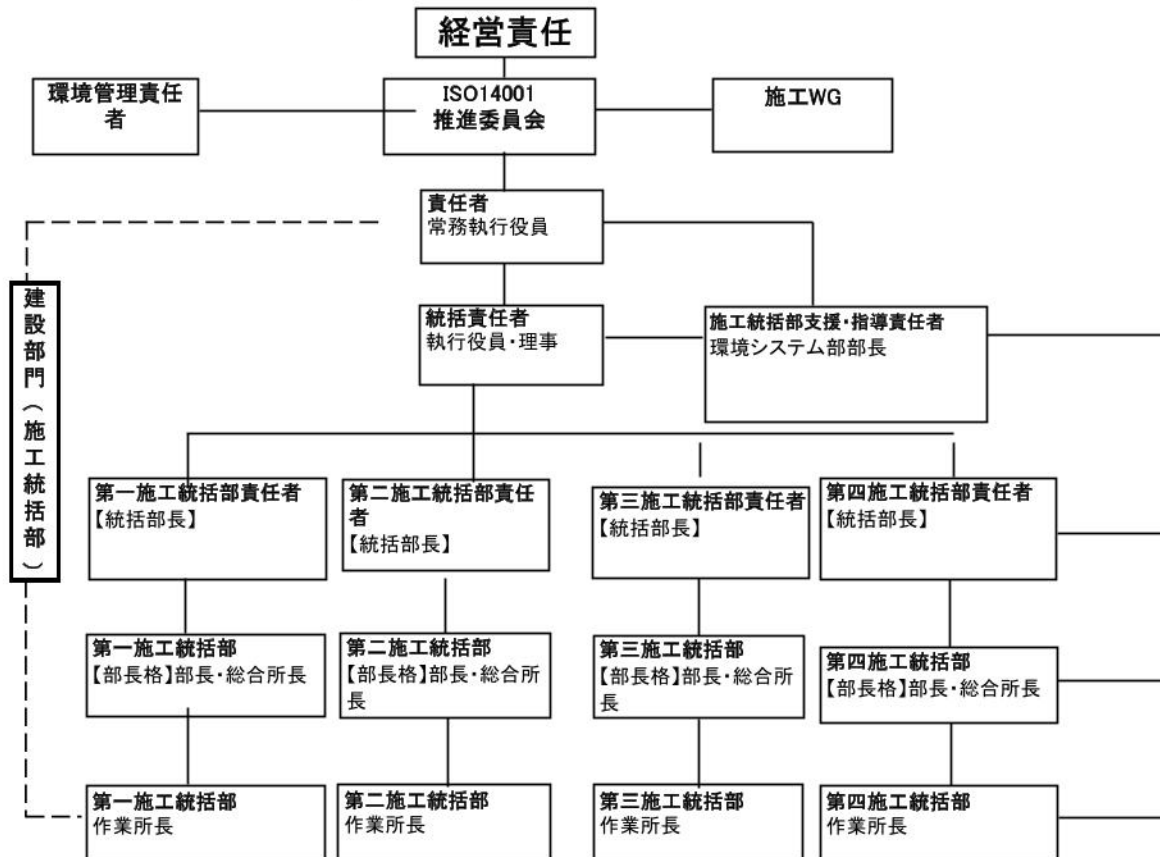
別添資料1



廃棄物発生フロー

別添資料1





各責任者（責任部署）		主要な役割及び権限
建設部門（施工統括部）	経営責任者	①環境マネジメント活動についての全ての責任と権限を持つ ②環境マネジメントシステムの実施及び管理に必要な資源の提供 ③環境方針の策定、環境目的・目標の承認 ④ISO14001推進委員会委員長
	施工管理担当役員	①施工管理部門が行う環境マネジメント活動の責任と権限を持つ ②環境目的及び目標の確認 ③環境管理活動計画書／実施報告書確認
	施工統括部長	①施工に関する環境側面の抽出、環境影響評価、著しい環境側面候補の特定 ②施工管理における環境目的及び年度環境目標の立案 ③施工管理における環境管理活動計画書／実施報告書策定 ④環境計画書（施工）承認 ⑤作業所における環境マネジメント活動の管理・指導 ⑥環境推進委員会・施工WGメンバー
	建設部長	①環境計画書（施工）承認 ②進捗管理表の実施結果／評価の内容確認 ③作業所における環境マネジメント活動の支援・指導 ④施工WGメンバー
	作業所所長	①作業所が行う環境マネジメント活動の責任と権限を持つ ②環境計画書（施工）の作成 ③作業所における環境マネジメント活動の実施及び報告 ④作業所での教育実施（関連会社作業員含む） ⑤緊急事態の対応、報告 ⑥苦情の対応、報告 ⑦監視・測定記録 ⑧管理文書、環境記録の維持管理
	環境システム部長（施工統括部支援・指導）	①施工における環境影響評価、著しい環境側面の候補決定支援 ②施工における環境目的・目標設定支援 ③施工管理における環境マネジメント活動の支援・指導 ④環境に関する施工における緊急事態への対応 ⑤環境に関する施工における苦情の対応及び支援 ⑥環境に関する作業要領・帳票類作成・維持管理 ⑦環境関連法規制維持・管理 ⑧環境に関する情報収集 ⑨作業所活動のデータ集計、分析、報告 ⑩作業所所員環境教育実施 ⑪施工における環境管理活動計画書／実施報告書策定・実施及び報告支援 ⑫管理文書、環境記録の維持管理 ⑬施工部門「環境推進委員会施工WG」主査

[illegible]

[illegible]

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月27日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 105-0014			
住所 東京都港区芝2-32-1			
法人名 株式会社長谷工コーポレーション			
代表者 三森 国吉			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 03-3456-6324			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社長谷工コーポレーション		
事業場の所在地	東京都港区芝二丁目32番1号		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	31414.7 t	全処理委託量	31414.7 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1351.1 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	30063.6 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

N0.1

(第2面)

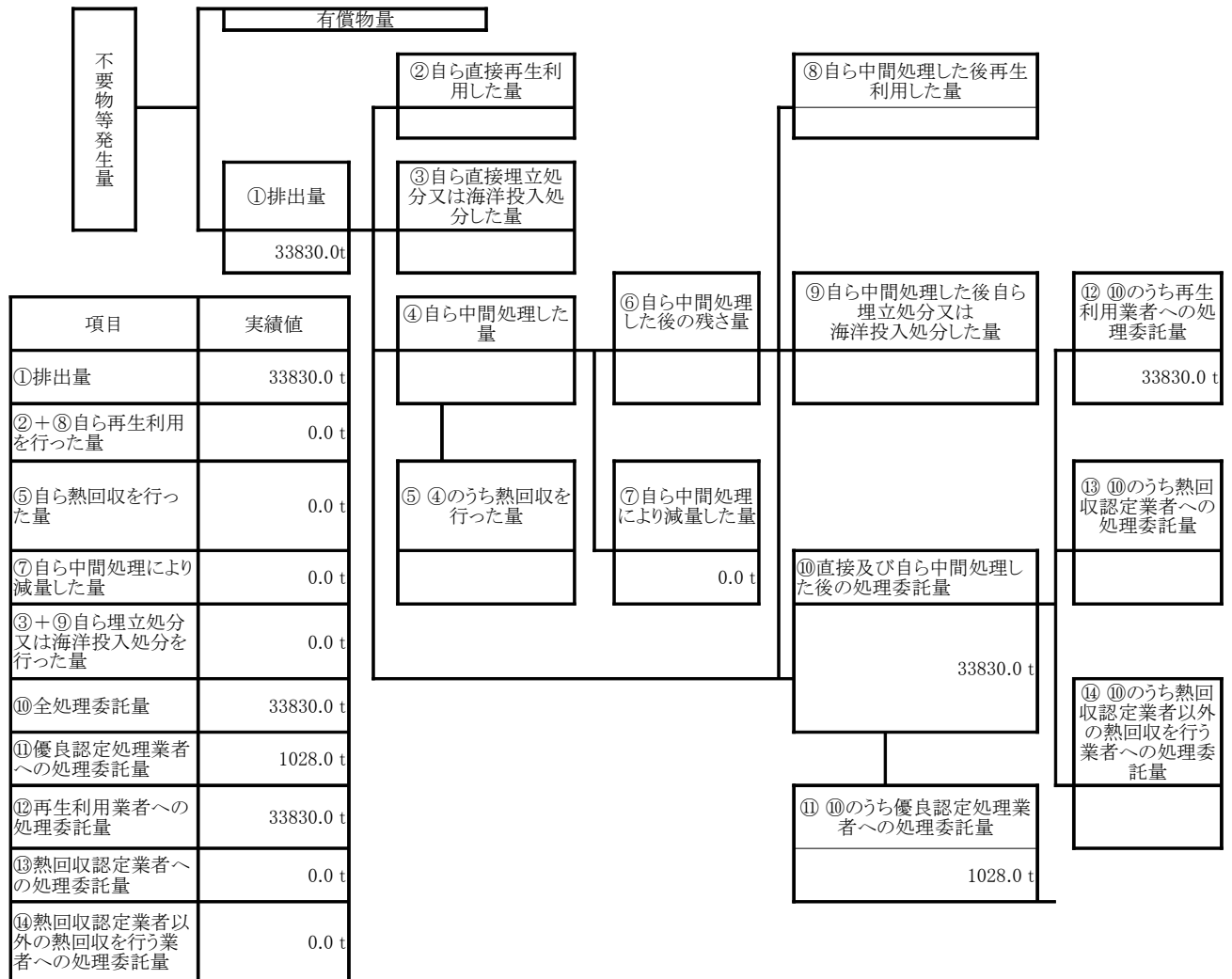
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

污泥

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	216.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	216.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	216.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	216.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	4041.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4041.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3156.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4041.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	132.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	132.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	132.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	132.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	4354.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4354.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4274.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4354.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	10.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	8.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器等くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	296.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	296.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	296.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	296.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

①排出量296.1t

296.1 t

0.0 t

0.0 t

0.0 t

0.0 t

296.1 t

296.1 t

296.1 t

0.0 t

0.0 t

0.0 t

296.1 t

296.1 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	824.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	824.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	45.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	824.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	2353.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2353.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1546.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2353.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

①排出量2353.0t

2353.0 t

0.0 t

0.0 t

0.0 t

0.0 t

0.0 t

2353.0 t

1546.0 t

2353.0 t

0.0 t

0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アス・コン片)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	1211.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1211.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	195.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1211.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

その他がれき類

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	1080.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1080.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	720.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1080.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(管理型))

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	172.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	172.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	172.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	172.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	5.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃電池類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月27日	
千葉県知事 殿	
提出者	
住 所 〒105-0014 東京都港区芝2-6-1	
氏 名 株式会社 長谷工リフォーム	
代表取締役社長 河合 英樹	
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 03-3457-7910	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 長谷工リフォーム 東京支社
事業場の所在地	東京都港区芝2-6-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	完成工事高（45,211百万円）
③従業員数	378名（東京支社）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別添 2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 再生利用業者へ処理委託を行い、中間処理業者にてリサイクルを実施し、最終埋立処分量を削減しています。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 継続して再生利用業者へ処理委託を行い、中間処理業者にてリサイクルを実施し、最終埋立処分量を削減していきます。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 主に、廃プラスチック・金属くず・ガラス陶磁器くず・がれき類・紙くず・木くず等の分別を実施。また、作業所の分別ヤードには品目ごとにオリジナル分別看板を掲示し、少量容器による分別回収を実施しています。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現在の取組を継続するとともに、更なる分別率促進へ取り組みます。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	優良認定業者や適切に再生利用処理を行っている業者と委託契約を結び、リサイクル率の向上・適正処分に努める。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、優良認定業者や適切に再生利用処理を行っている業者と委託 契約を結び、リサイクル率の向上・適正処分に努める。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図

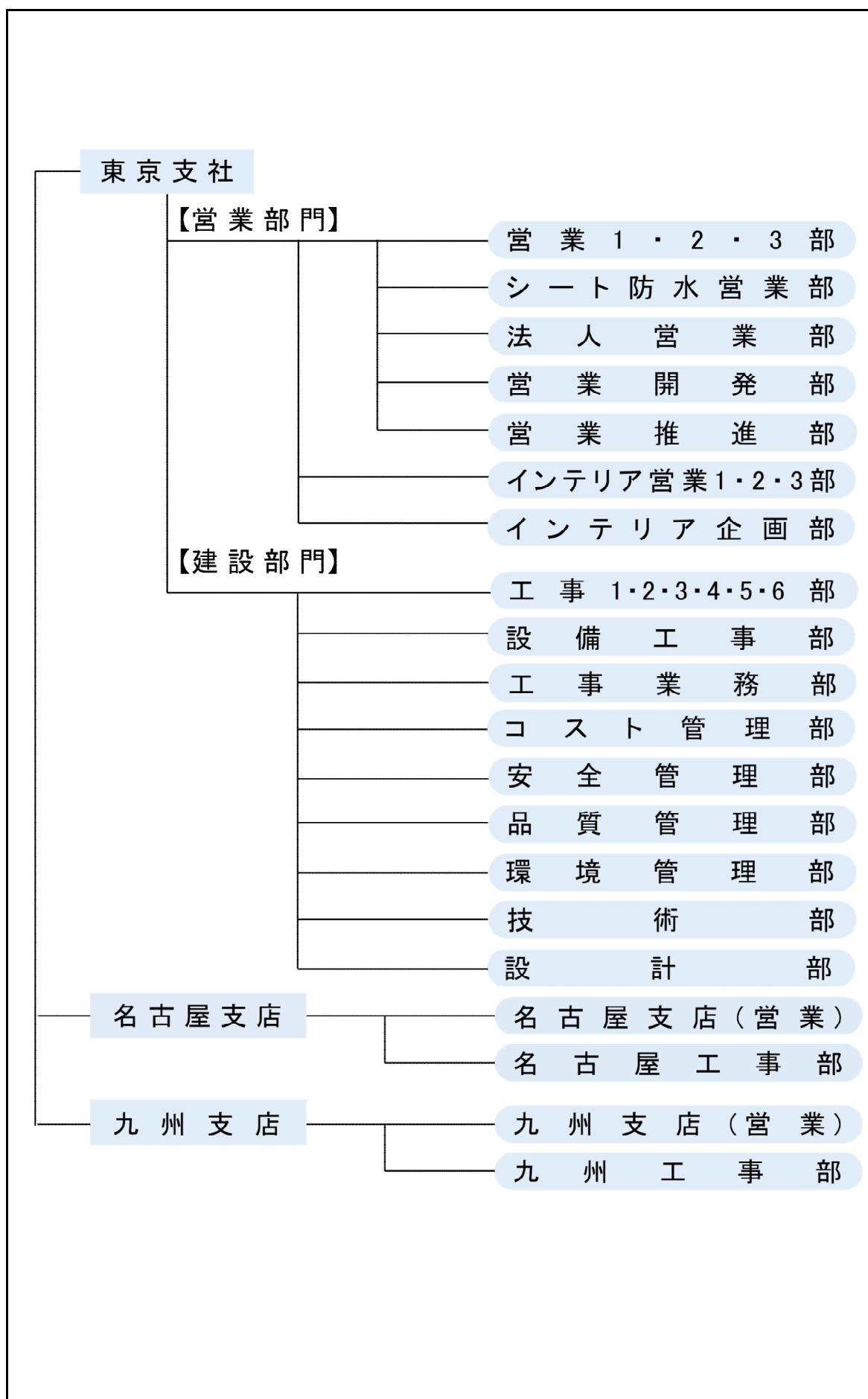
別添1

産業廃棄物の一連の処理工程

株式会社 長谷エリフォーム

	主な品目	処理方法	利用用途・最終処理等
長谷エリフォーム 各作業所	廃プラスチック	破碎・圧縮	マテリアルリサイクル
			サーマルリサイクル
			埋立
	紙くず	破碎・圧縮	マテリアルリサイクル
			サーマルリサイクル
			埋立
	木くず	破碎	マテリアルリサイクル
			サーマルリサイクル
			埋立
	繊維くず	破碎・圧縮	マテリアルリサイクル
			サーマルリサイクル
			埋立
	金属くず	圧縮	マテリアルリサイクル
	ガラス陶磁器くず	破碎	マテリアルリサイクル
			埋立
	がれき類	破碎	マテリアルリサイクル
			埋立
	混合廃棄物	破碎・圧縮	マテリアルリサイクル
			サーマルリサイクル
			埋立
	石綿含有		埋立
	廃石綿等	溶融処理	マテリアルリサイクル

別添 2 管理体制図



産業廃棄物の排出に関する事項																	
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類	
	排出量	35.00 t	267.50 t	75.93 t	154.06 t	2.29 t	298.21 t	46.40 t	47.09 t	114.58 t	34.46 t	108.04 t	337.49 t	19.46 t	4.50 t	0.05 t	
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類	
	排出量	31.50 t	240.75 t	68.34 t	138.65 t	2.06 t	268.39 t	41.76 t	42.38 t	103.12 t	31.01 t	97.24 t	303.74 t	17.51 t	4.05 t	0.05 t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																	
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																	
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	

目から行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類		
	全処理委託量	35.00 t	267.50 t	75.93 t	154.06 t	2.29 t	298.21 t	46.40 t	47.09 t	114.58 t	34.46 t	108.04 t	337.49 t	19.46 t	4.50 t	0.05 t		
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	267.50 t	75.93 t	154.06 t	2.29 t	298.21 t	46.40 t	47.09 t	12.58 t	2.96 t	108.04 t	336.89 t	12.58 t	4.50 t	0.05 t		
	再生利用業者への処理委託量	35.00 t	267.50 t	75.93 t	154.06 t	2.29 t	298.21 t	46.40 t	47.09 t	114.58 t	34.46 t	108.04 t	337.49 t	0.00 t	4.50 t	0.05 t		
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	廃電池類		
	全処理委託量	31.50 t	240.75 t	68.34 t	138.65 t	2.06 t	268.39 t	41.76 t	42.38 t	103.12 t	31.01 t	97.24 t	303.74 t	17.51 t	4.05 t	0.05 t		
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	240.75 t	68.34 t	138.65 t	2.06 t	268.39 t	41.76 t	42.38 t	11.32 t	2.66 t	97.24 t	303.20 t	11.32 t	4.05 t	0.05 t		
	再生利用業者への処理委託量	31.50 t	240.75 t	68.34 t	138.65 t	2.06 t	268.39 t	41.76 t	42.38 t	103.12 t	31.01 t	97.24 t	303.74 t	0.00 t	4.05 t	0.05 t		
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月27日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都港区芝2-6-1

氏 名 株式会社 長谷工リフォーム

代表取締役社長 河合 英樹

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-3457-7910

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 長谷工リフォーム 東京支社		
事業場の所在地	東京都港区芝2-6-1		
事業の種類	総合建設業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,100.13 t	全処理委託量	1,100.13 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1,018.54 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,086.26 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 廃油)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		①		②		⑧			
排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
35.00		③		⑥		⑨		⑫ 35.00	
		④		⑦				⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑬	
		⑤		⑦		⑩		⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
						35.00		⑭	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
						⑪			

項目	実績値
①排出量	35.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	35.00
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	35.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

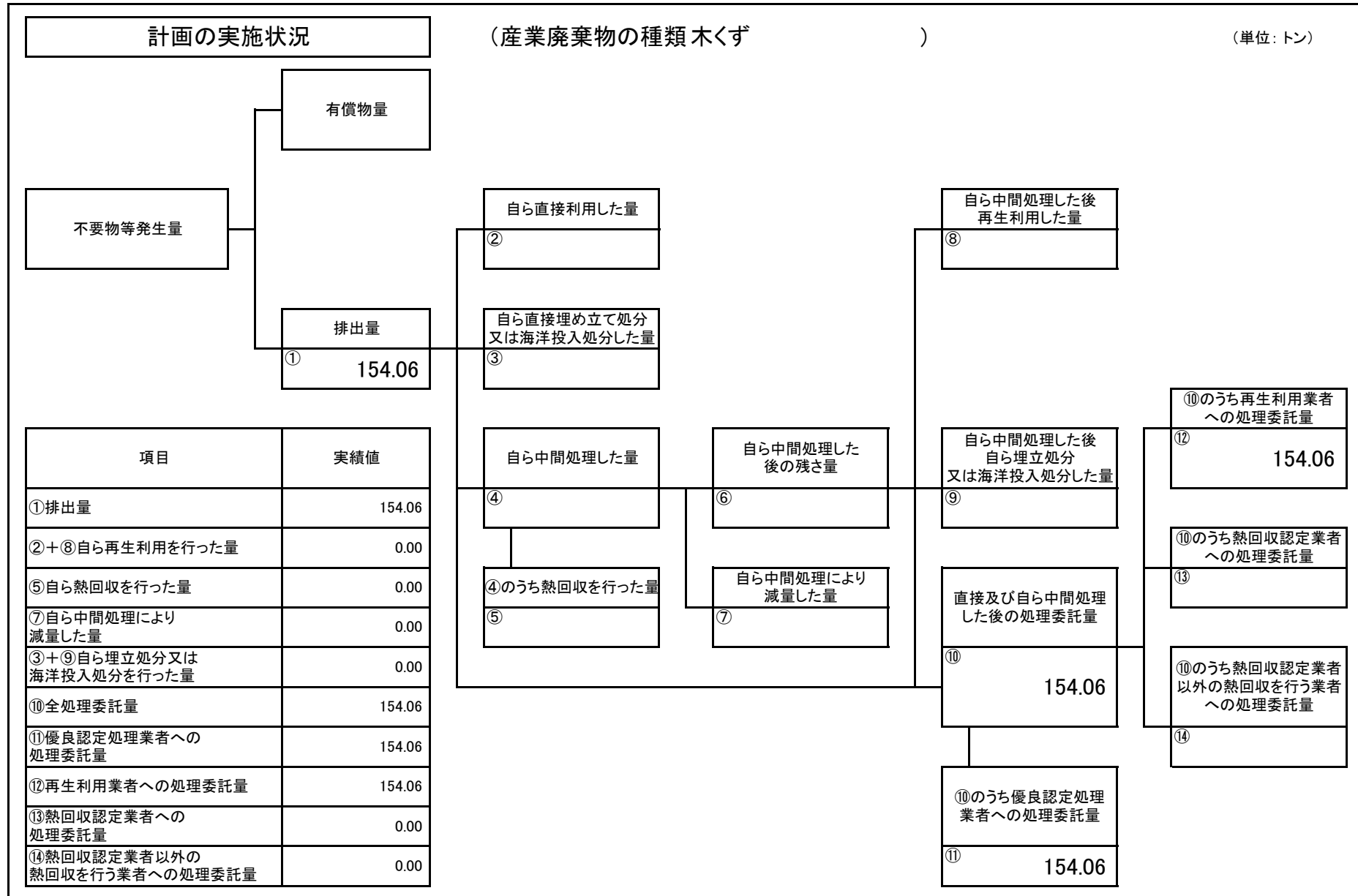
計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 廃プラスチック類)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		①		②		⑧			
排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
267.50		③		⑥		⑨		⑫	
		④		⑦		⑩		267.50	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
		⑤		⑦		⑩		⑬	
						267.50		⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量		⑭	
						⑪		267.50	

項目	実績値
①排出量	267.50
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	267.50
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	267.50
⑫再生利用業者への処理委託量	267.50
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 紙くず)				(単位: トン)																				
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量																						
	排出量	②		⑧																						
	① 75.93	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量																								
		③																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>75.93</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により減量した量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>75.93</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への処理委託量</td> <td>75.93</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td>75.93</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績値	①排出量	75.93	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	75.93	⑪優良認定処理業者への処理委託量	75.93	⑫再生利用業者への処理委託量	75.93	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量
	項目	実績値																								
	①排出量	75.93																								
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																								
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																								
	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00																								
	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00																								
	⑩全処理委託量	75.93																								
	⑪優良認定処理業者への処理委託量	75.93																								
	⑫再生利用業者への処理委託量	75.93																								
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00																									
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																									
④	⑥	⑨	⑫ 75.93																							
④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により 減量した量	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量																							
⑤	⑦	⑩	⑬																							
		75.93	⑭																							
		⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量																								
		⑪ 75.93																								

(第2面)



(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 繊維くず)				(単位: トン)
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量			自ら中間処理した後 再生利用した量	
	排出量	②	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		⑧	
	① 2.29	③	自ら中間処理した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量
		④	⑥	⑨	⑫ 2.29	
		④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により 減量した量	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑬	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量
		⑤	⑦	⑩ 2.29	⑭	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量
				⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量		
				⑪ 2.29		

項目	実績値
①排出量	2.29
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2.29
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	2.29
⑫再生利用業者への処理委託量	2.29
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 金属くず)				(単位: トン)
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量			自ら中間処理した後 再生利用した量	
	排出量	②	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		⑧	
	① 298.21	③	自ら中間処理した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量
		④	⑥	⑨	⑫ 298.21	
		④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により 減量した量	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑬	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量
		⑤	⑦	⑩ 298.21	⑭	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量
				⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量		
				⑪ 298.21		

項目	実績値
①排出量	298.21
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	298.21
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	298.21
⑫再生利用業者への処理委託量	298.21
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

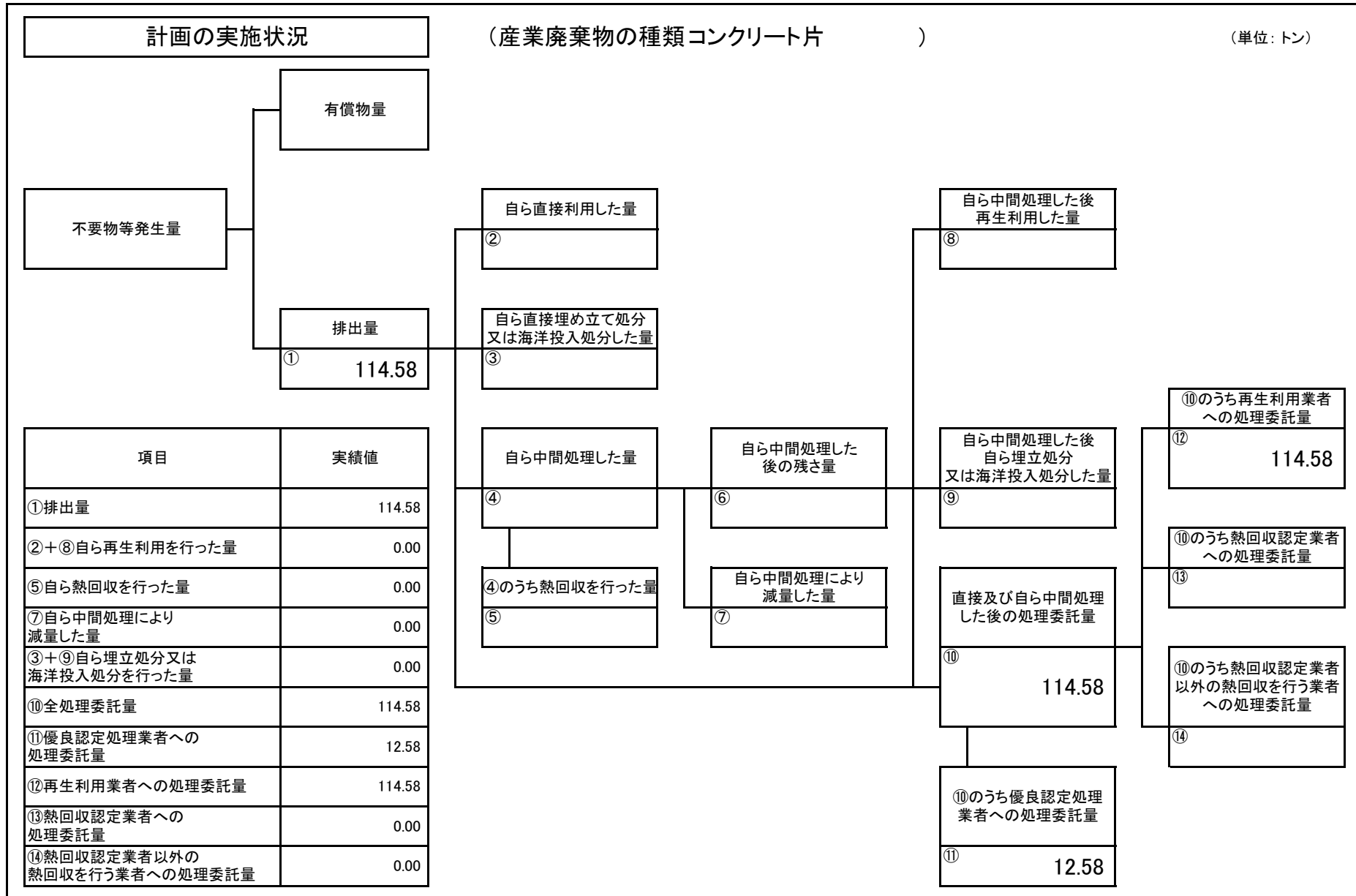
(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 ガラス陶磁器等くず)				(単位: トン)			
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理した後 再生利用した量				
	排出量	②	④	⑥	⑧				
	① 46.40	③ 自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦ 自ら中間処理により 減量した量	⑨ 自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	⑫ 46.40		
項目	実績値					⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑬		
①排出量	46.40					⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭		
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00								
⑤自ら熱回収を行った量	0.00								
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00								
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00								
⑩全処理委託量	46.40								
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	46.40								
⑫再生利用業者への処理委託量	46.40								
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00								
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00								
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
						⑪ 46.40			

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 廃石膏ボード)				(単位: トン)																				
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量																						
	排出量	②		⑧																						
	① 47.09	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量																								
		③																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>47.09</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により 減量した量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>47.09</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への 処理委託量</td> <td>47.09</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td>47.09</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への 処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績値	①排出量	47.09	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	47.09	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	47.09	⑫再生利用業者への処理委託量	47.09	⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量
	項目	実績値																								
	①排出量	47.09																								
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																								
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																								
	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00																								
	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00																								
	⑩全処理委託量	47.09																								
	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	47.09																								
	⑫再生利用業者への処理委託量	47.09																								
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00																									
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																									
④	⑥	⑨	⑫ 47.09																							
④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により 減量した量																									
⑤	⑦	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑬																							
		⑩	⑭																							
		47.09																								
		⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量																								
		⑪ 47.09																								

(第2面)



(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 アス・コン片)				(単位: トン)
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量 ②			自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧	
	排出量 ① 34.46	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量 ③	自ら中間処理した量 ④	自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 ⑨	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量 ⑫ 34.46
			④のうち熱回収を行った量 ⑤	自ら中間処理により 減量した量 ⑦	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑩ 34.46	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量 ⑬
					⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量 ⑪ 2.96	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑭

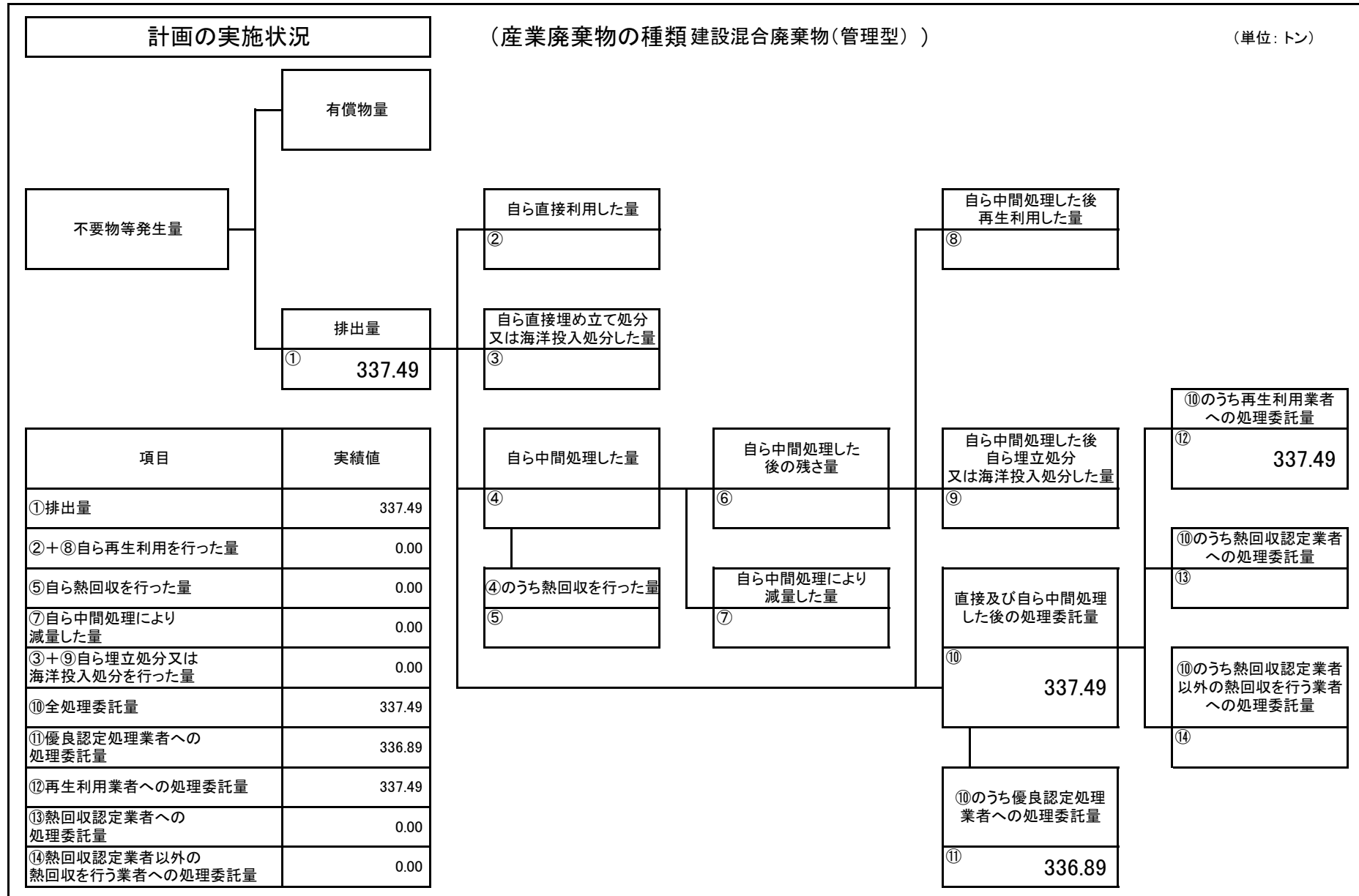
項目	実績値
①排出量	34.46
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	34.46
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	2.96
⑫再生利用業者への処理委託量	34.46
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類その他がれき類)				(単位:トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		排出量		②		⑧			
		① 108.04		③ 自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量					
				④ 自ら中間処理した量		⑥ 自ら中間処理した 後の残さ量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
				⑤ ④のうち熱回収を行った量		⑦ 自ら中間処理により 減量した量		⑫ 108.04	
						⑨ 自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
						⑩ 108.04 直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑭ ⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
						⑪ ⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
						⑪ 108.04			

項目	実績値
①排出量	108.04
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	108.04
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	108.04
⑫再生利用業者への処理委託量	108.04
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

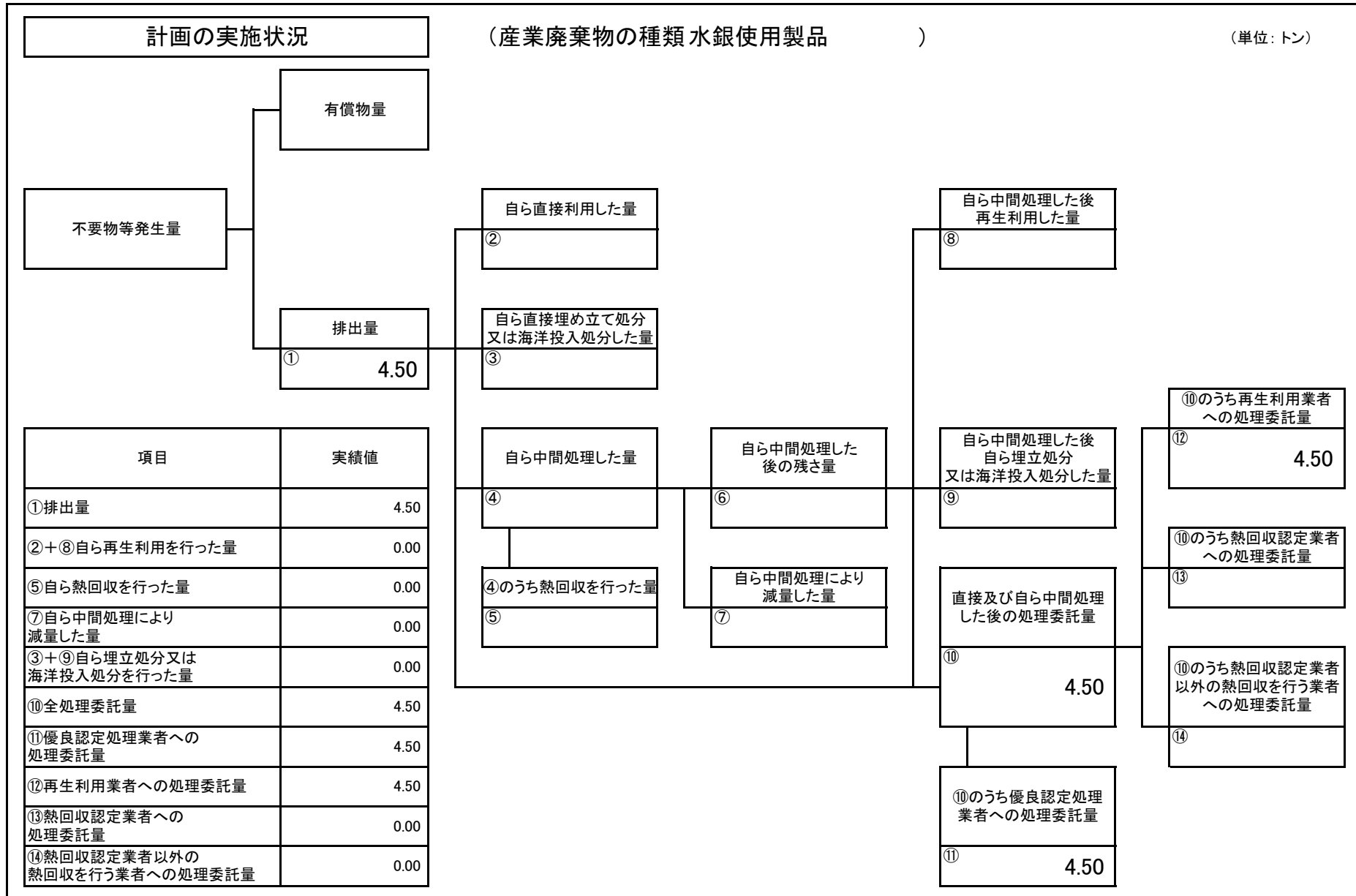


(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		①		②		⑧			
排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した 後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
① 19.46		③		⑥		⑨		⑫	
		④		⑦		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量		⑬	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
		⑤		⑦		⑩ 19.46		⑭	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
						⑪ 12.58			

項目	実績値
①排出量	19.46
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	19.46
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	12.58
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)



(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 廃電池類)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		排出量		②		⑧			
		① 0.05		③ 自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量					
				④ 自ら中間処理した量		⑥ 自ら中間処理した 後の残さ量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
				⑤ ④のうち熱回収を行った量		⑦ 自ら中間処理により 減量した量		⑫ 0.05	
						⑨ 自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
						⑩ 直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑭ ⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
						0.05			
						⑪ ⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
						0.05			

項目	実績値
①排出量	0.05
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.05
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.05
⑫再生利用業者への処理委託量	0.05
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月28日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 260-0025
住 所 千葉県千葉市中央区問屋町1-35千葉
ポートサイドタワー17階
法人名 パナソニックホームズ株式会社 千葉
支社
代表者 支社長 木下 博嗣
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 043-204-8714

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	パナソニックホームズ株式会社 千葉支社
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区問屋町1-35千葉ポートサイドタワー17階
計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類： 建設業 中分類： 総合工事業
②事業の規模	87億
③従業員数	172名
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	別紙 1 参照

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2 参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	3373.16 t	t
	(これまでに実施した取組) (解体) ・手壊しによる分別解体の徹底・リサイクル率の高い業者選定 ・事前調査による排出計画の厳密化・優良認定業者採用への促進 (新築) ・余剰部材削減・製造時プレカット促進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	2936.5 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状維持		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (解体)コンクリート・アスファルト・その他がれき、石綿含有建材、石膏ボード、金属、廃プラ、木くず、繊維、紙くず、混合廃棄物、確実に他と混入しないよう分別管理 (新築)排出者がわかるように記名し、袋詰めを行い、分別の徹底		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全 処 理 委 託 量	3373.16 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1003.26 t	t
	再生利用業者への処理委託量	3294.08 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、選定項目の中でもリサイクル率が高い業者を選定項目に加え、当社規定による書面にて契約を実施。 ・委託処理業者を定期的に現地視察。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全 処 理 委 託 量	2906.5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	987.5 t	t
	再生利用業者への処理委託量	2831.5 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者の採用推進		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

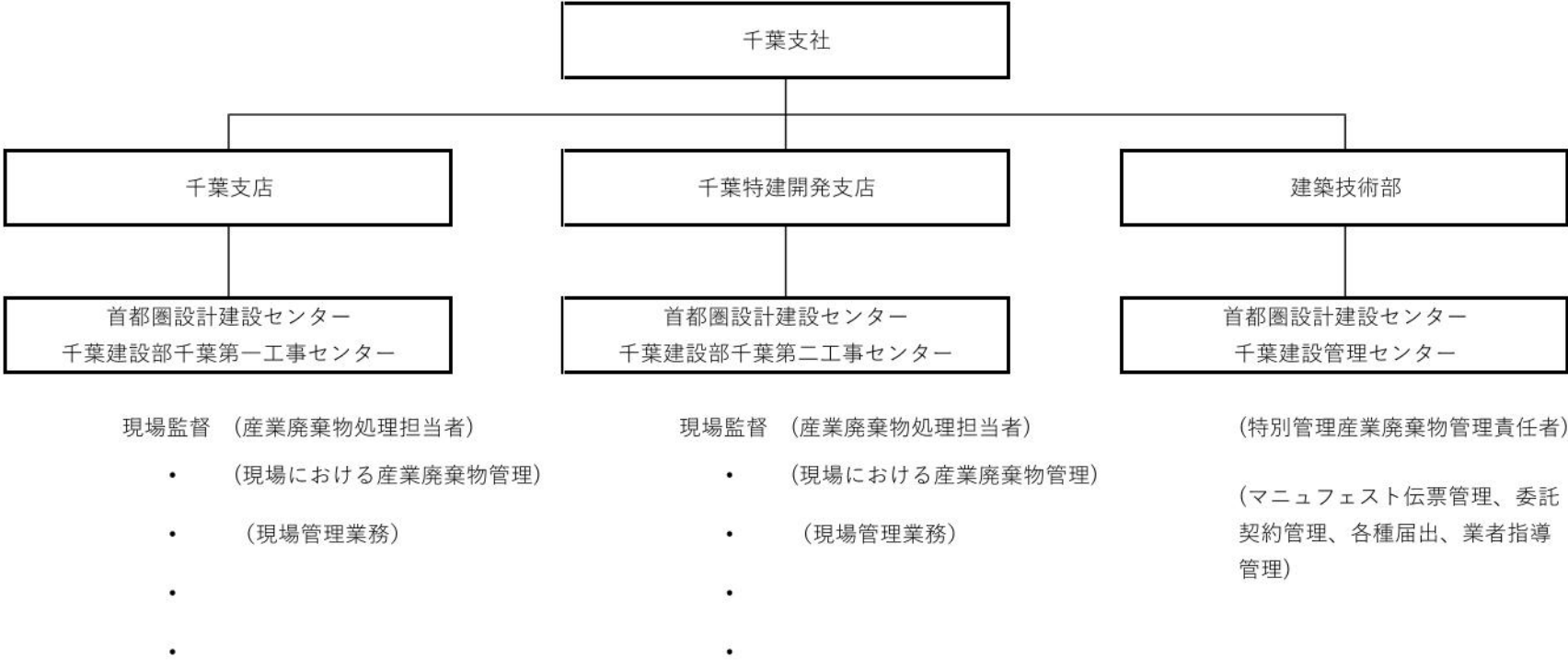
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物の一連の処理の工程

新築工事	木くず	広域認定第185号による再資源化处理	再生原料
	がれき類その他	広域認定第185号による再資源化处理	再生原料
	石膏ボード	広域認定第185号による再資源化处理	再生原料
	混合廃棄物	広域認定第185号による再資源化处理	再生原料
	紙くず	広域認定第185号による再資源化处理	再生原料
	金属くず	広域認定第185号による再資源化处理	再生原料
	廃プラスチック類	広域認定第185号による再資源化处理	再生原料
解体工事	コンクリートがら	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	ガレキ類その他	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	石膏ボード	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	ガラス・陶磁器	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	ガラス・陶磁器	破碎 再生処理業者委託	安定型埋立
	金属くず	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	廃プラスチック類	破碎 圧縮 再生処理業者委託	再生原料
	廃プラスチック類	破碎 圧縮 再生処理業者委託	安定型埋立
	繊維くず	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	木くず	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	紙くず	破碎 再生処理業者委託	循環利用
	アスファルト	破碎 再生処理業者委託	再生原料
	建設系混合廃棄物	破碎 圧縮 再生処理業者委託	管理型埋立
	建設系混合廃棄物	破碎 圧縮 再生処理業者委託	再生原料
	石綿含有建材	埋め立て処分業者へ搬入	管理型埋立
	銅さい	破碎 再生処理業者委託	再生原料

別紙2 (管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	排 出 量	123.6 t	67.81 t	1439.83 t	92.55 t	587.42 t	152.41 t	143.24 t	39.47 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	排 出 量	110 t	62 t	1200 t	85 t	530 t	140 t	120 t	35 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
----------------------	--	--	--

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

[illegible]

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず ^a	廃プラスチック	コンクリート	ガラス・陶磁器くず ^b	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず ^a	廃プラスチック	コンクリート	ガラス・陶磁器くず ^b	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず ^a	廃プラスチック	コンクリート	ガラス・陶磁器くず ^b	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	全処理委託量	123.6 t	67.81 t	1439.83 t	92.55 t	587.42 t	152.41 t	143.24 t	39.47 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	13.99 t	53.78 t	270.37 t	27.55 t	195.36 t	4.29 t	100.23 t	12.62 t
	再生利用業者への 処理委託量	123.6 t	67.81 t	1439.83 t	92.55 t	587.42 t	152.41 t	143.24 t	39.47 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず ^a	廃プラスチック	コンクリート	ガラス・陶磁器くず ^b	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	全処理委託量	110 t	62 t	1200 t	85 t	530 t	140 t	120 t	35 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	13 t	53 t	270 t	27 t	195 t	4 t	100 t	12 t
	再生利用業者への 処理委託量	110 t	62 t	1200 t	85 t	530 t	140 t	120 t	35 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず [※]	ばれき類(石綿含有)	紙くず [※]	木くず [※]				
	排 出 量	2.89 t	79.08 t	32.12 t	612.74 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず [※]	ばれき類(石綿含有)	紙くず [※]	木くず [※]				
	排 出 量	2.5 t	75 t	27 t	550 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず [※]	ばれき類(石綿含有)	紙くず [※]	木くず [※]				
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず [※]	ばれき類(石綿含有)	紙くず [※]	木くず [※]				
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず [※]	ばれき類(石綿含有)	紙くず [※]	木くず [※]				
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず [※]	ばれき類(石綿含有)	紙くず [※]	木くず [※]				
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず [※]	ばれき類(石綿含有)	紙くず [※]	木くず [※]				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず [※]	ばれき類(石綿含有)	紙くず [※]	木くず [※]				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず [※]	ばれき類(石綿含有)	紙くず [※]	木くず [※]				
	全処理委託量	2.89 t	79.08 t	32.12 t	612.74 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.55 t	79.08 t	31.82 t	212.62 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2.89 t	0 t	32.12 t	612.74 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	繊維くず [※]	ばれき類(石綿含有)	紙くず [※]	木くず [※]				
	全処理委託量	2.5 t	75 t	27 t	550 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t	75 t	27 t	210 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2.5 t	0 t	27 t	550 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書	
令和6年6月28日	
千葉県知事 熊谷 俊人 殿	
提出者 260-0025	
住所 千葉県千葉市中央区問屋町1-35千葉ポートサイドタワー17階	
法人名 パナソニックホームズ株式会社 千葉支社	
代表者 支社長 木下 博嗣	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 043-204-8714	

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	パナソニックホームズ株式会社 千葉支社
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区問屋町1-35千葉ポートサイドタワー17階
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4150 t	全処理委託量	4150 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	2110 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	4039 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	123.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	123.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	123.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	67.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	67.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	53.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	67.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	1439.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1439.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	270.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1439.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・陶磁器くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	92.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	92.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	27.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	92.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	587.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	587.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	195.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	587.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	152.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	152.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	152.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	143.2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	143.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	100.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	143.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石膏ボード)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	39.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	39.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	39.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	2.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

(第2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: がれき類(石綿含有))

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	79.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	79.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	79.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	32.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	32.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	31.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	32.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

①排出量
32.1t

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

32.1 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
31.8 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	612.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	612.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	212.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	612.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月30日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒
住 所 豊中市新千里西町1-1-4
氏 名 パナソニックリフォーム株式会社
代表取締役社長 栄 克浩
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 06-6834-5216

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	パナソニックリフォーム株式会社 関東支社 千葉営業部
事業場の所在地	松戸市新松戸北1-12-4
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

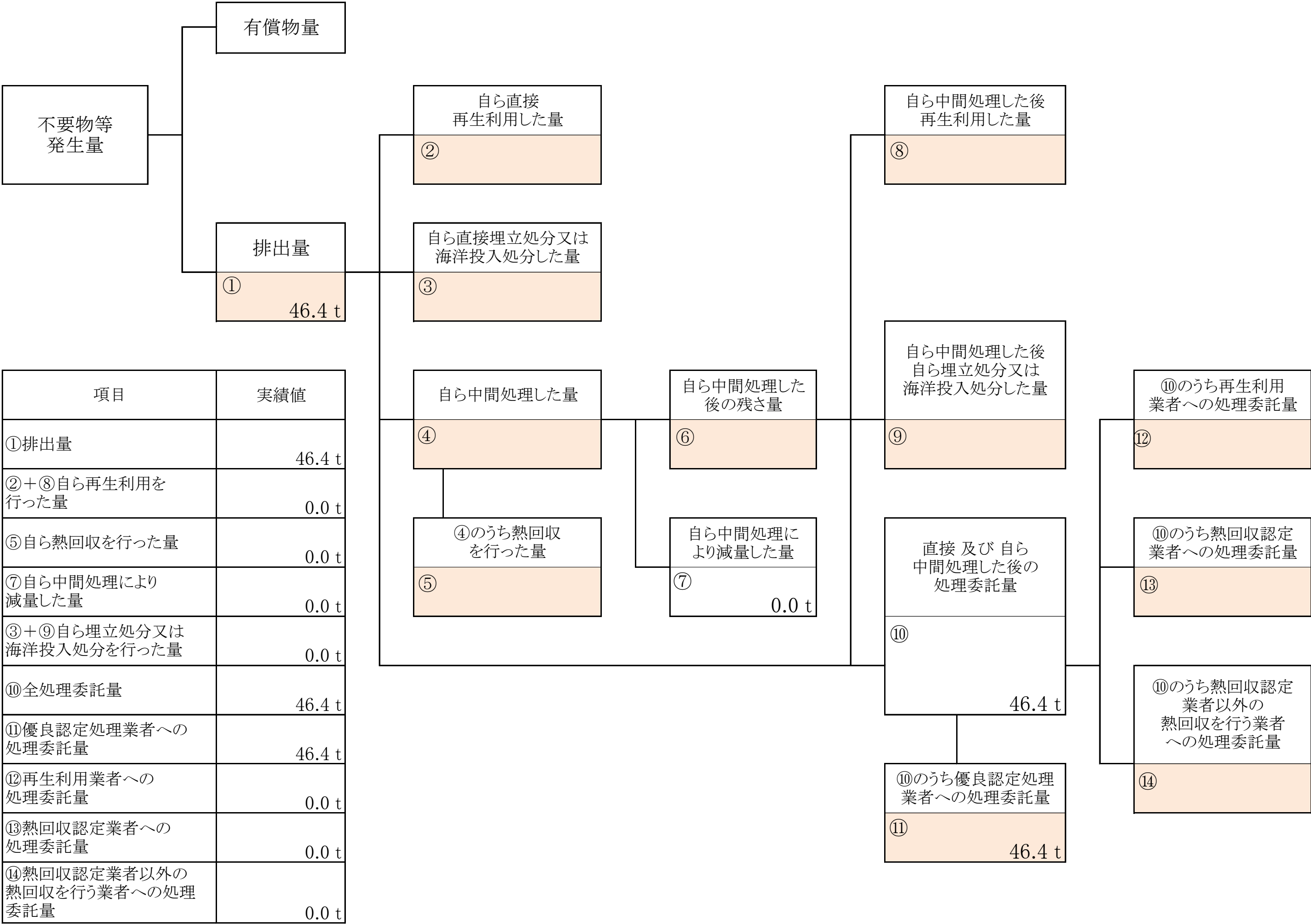
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	926.0 t	全処理委託量	926.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	861.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	65.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

※事務処理欄

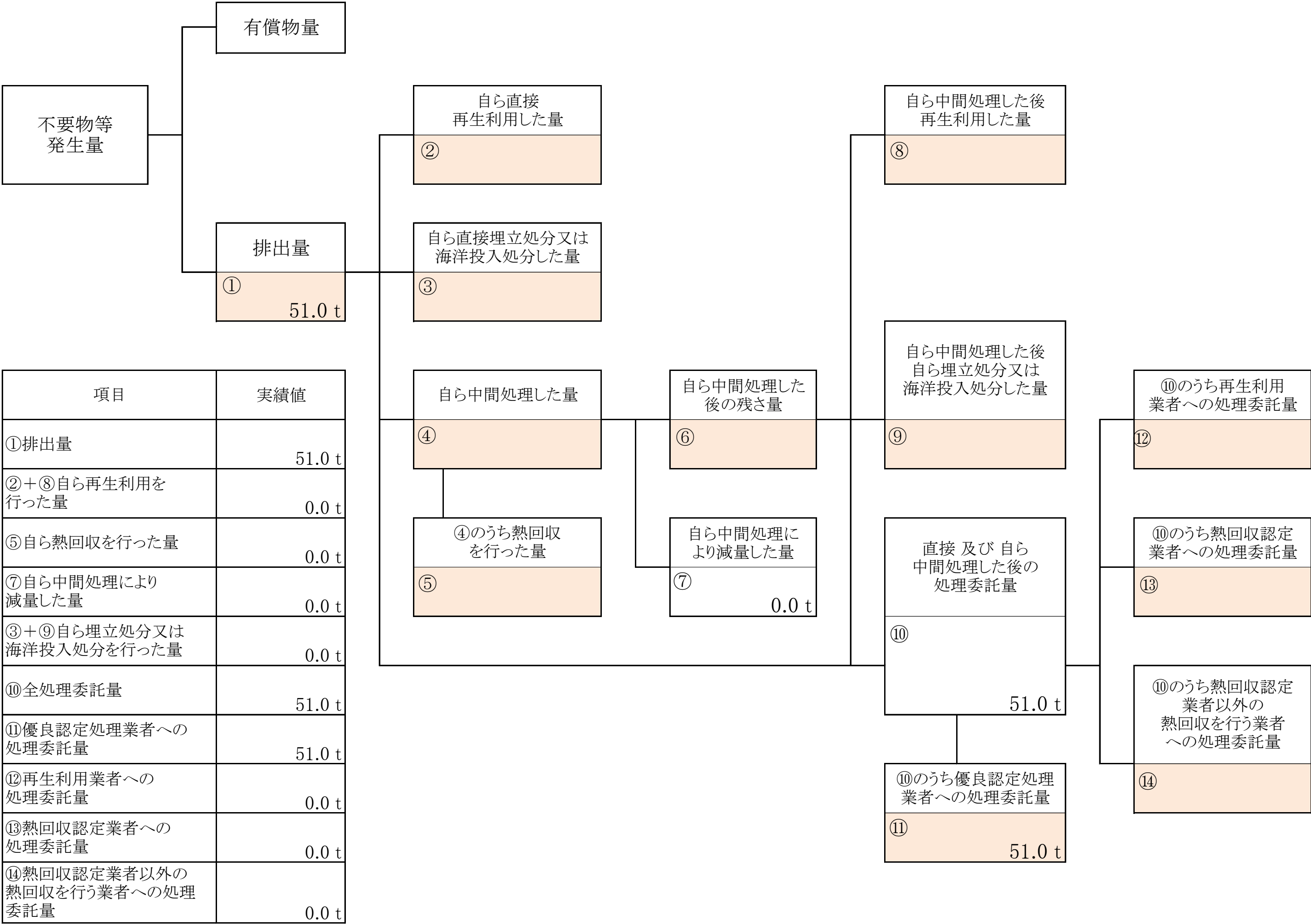
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



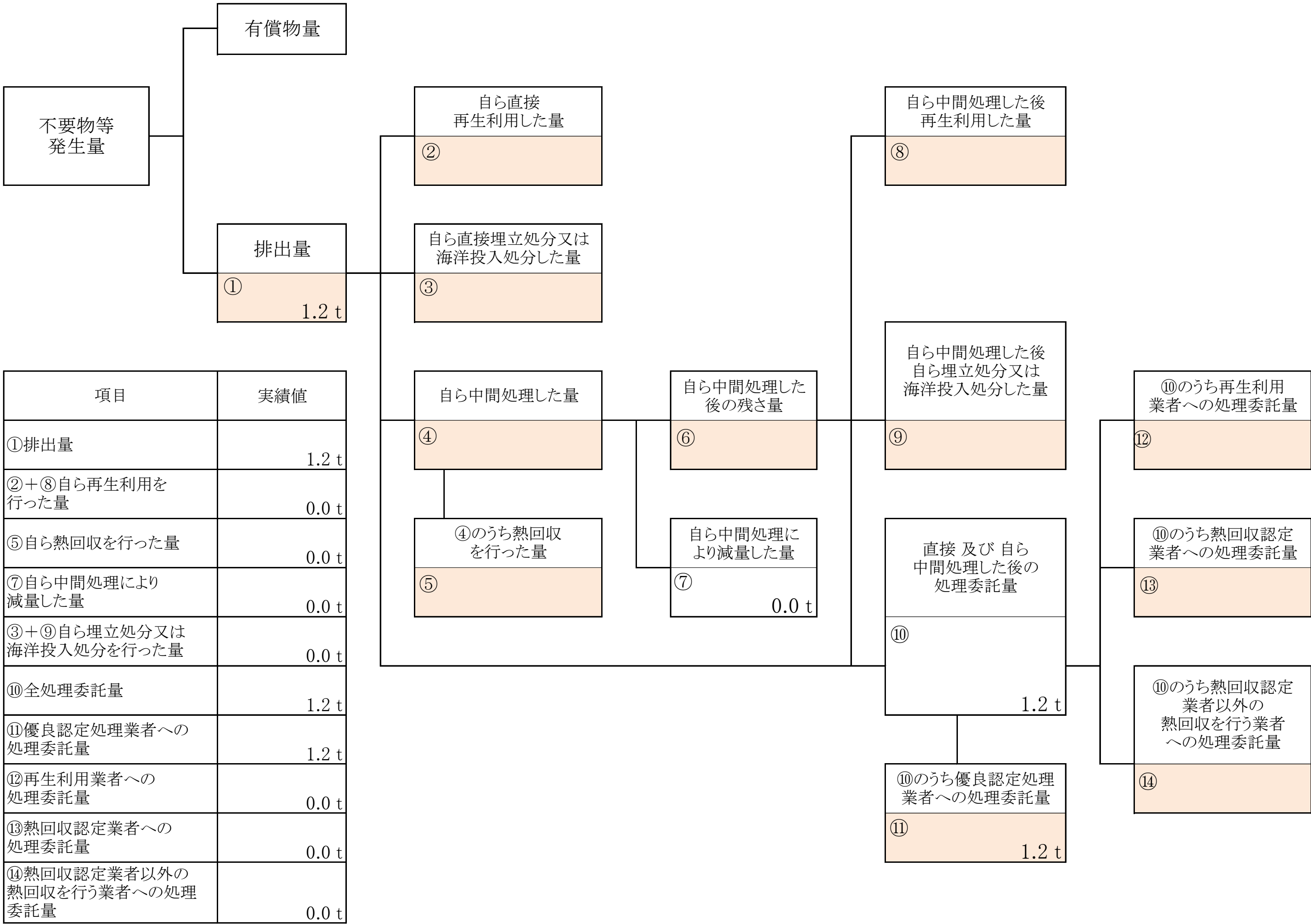
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器)



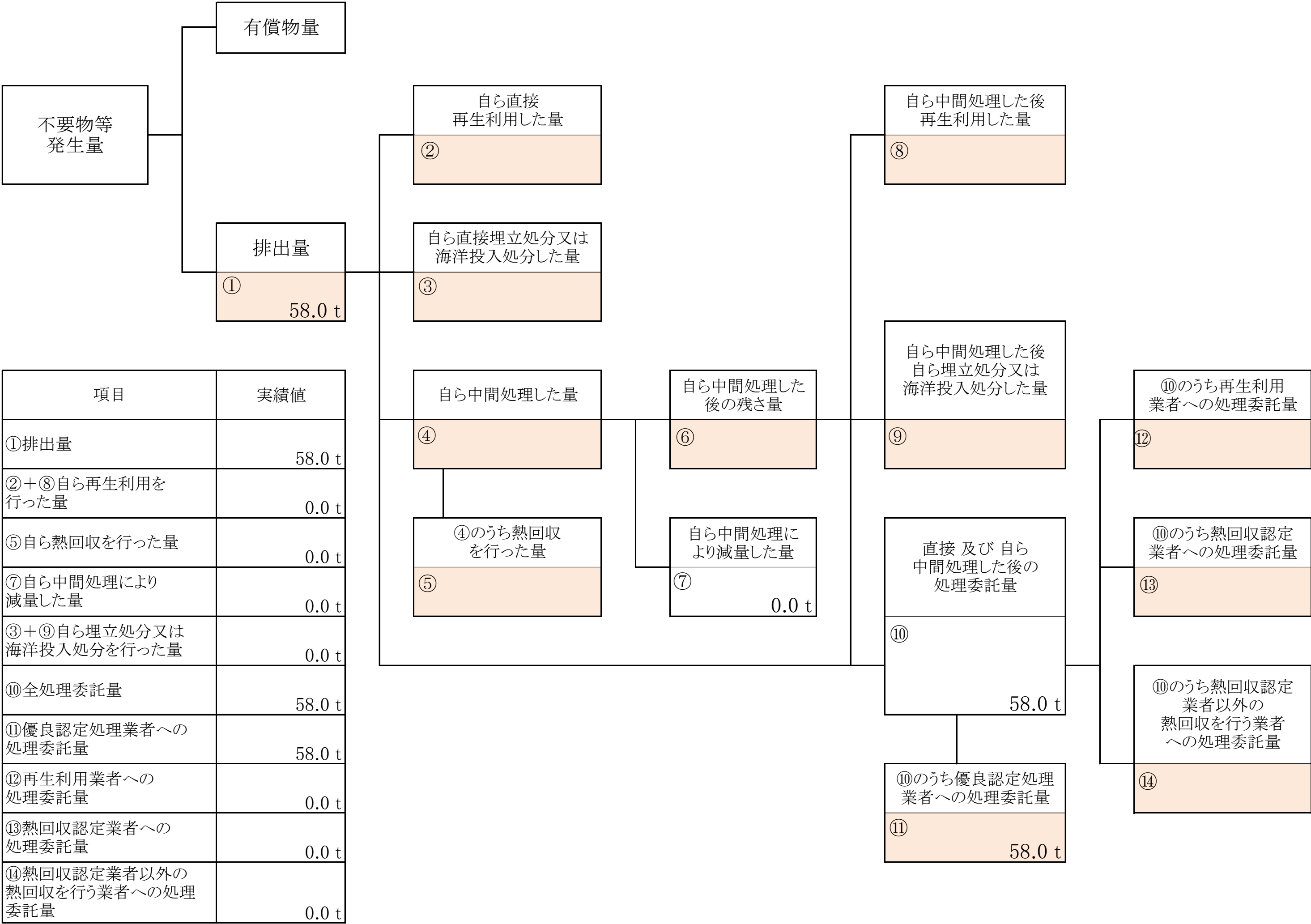
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラ)



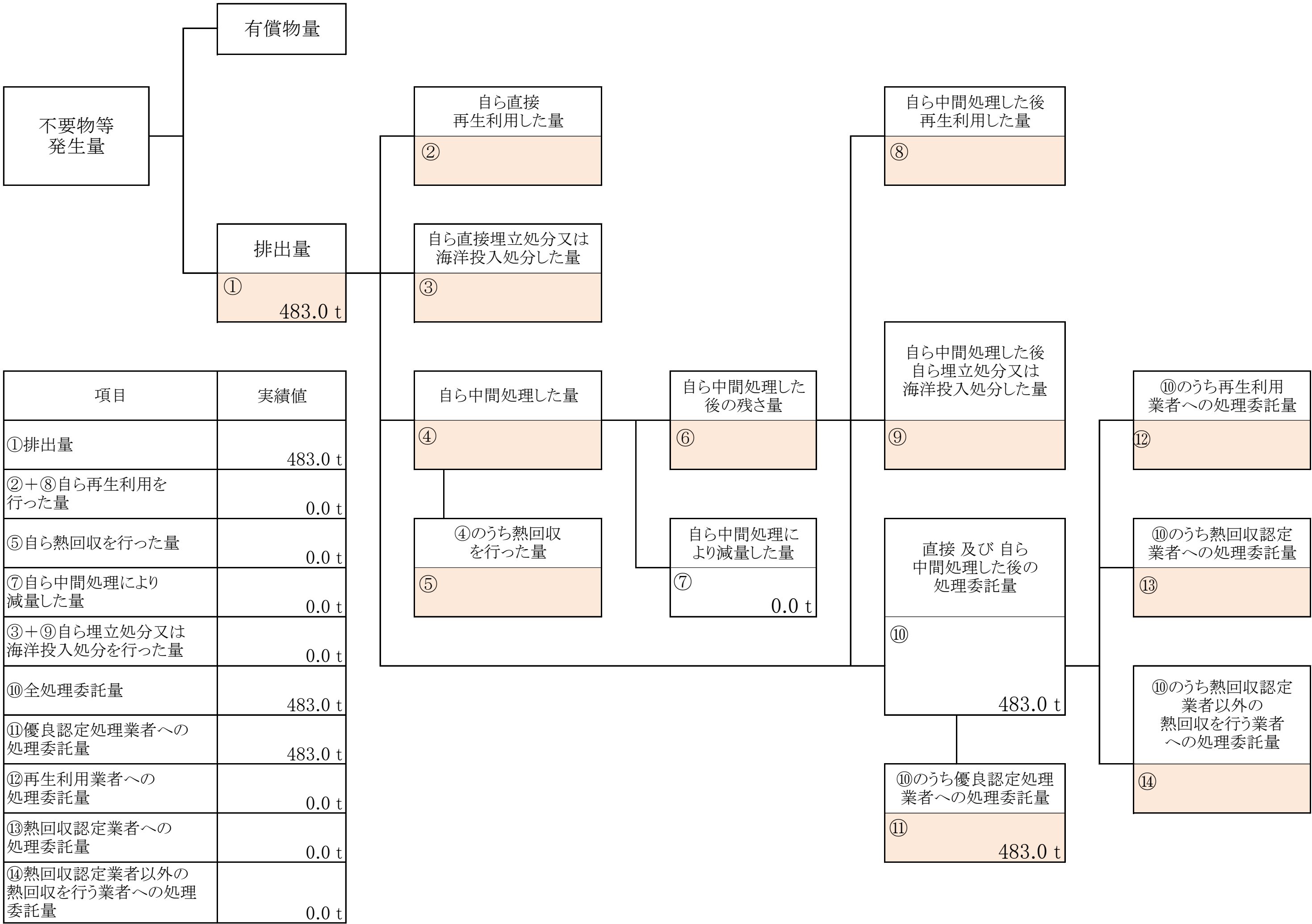
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



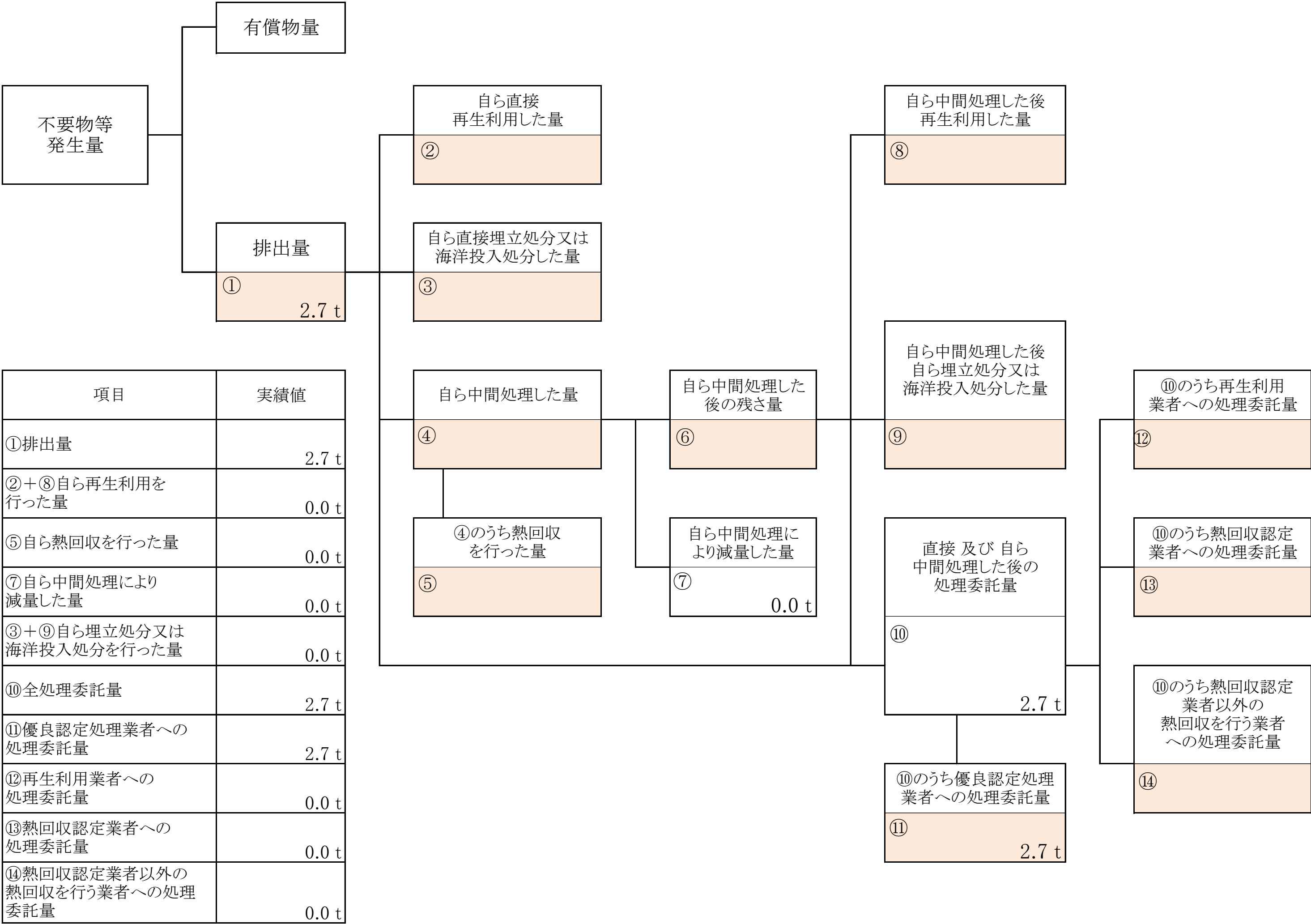
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合廃棄物)



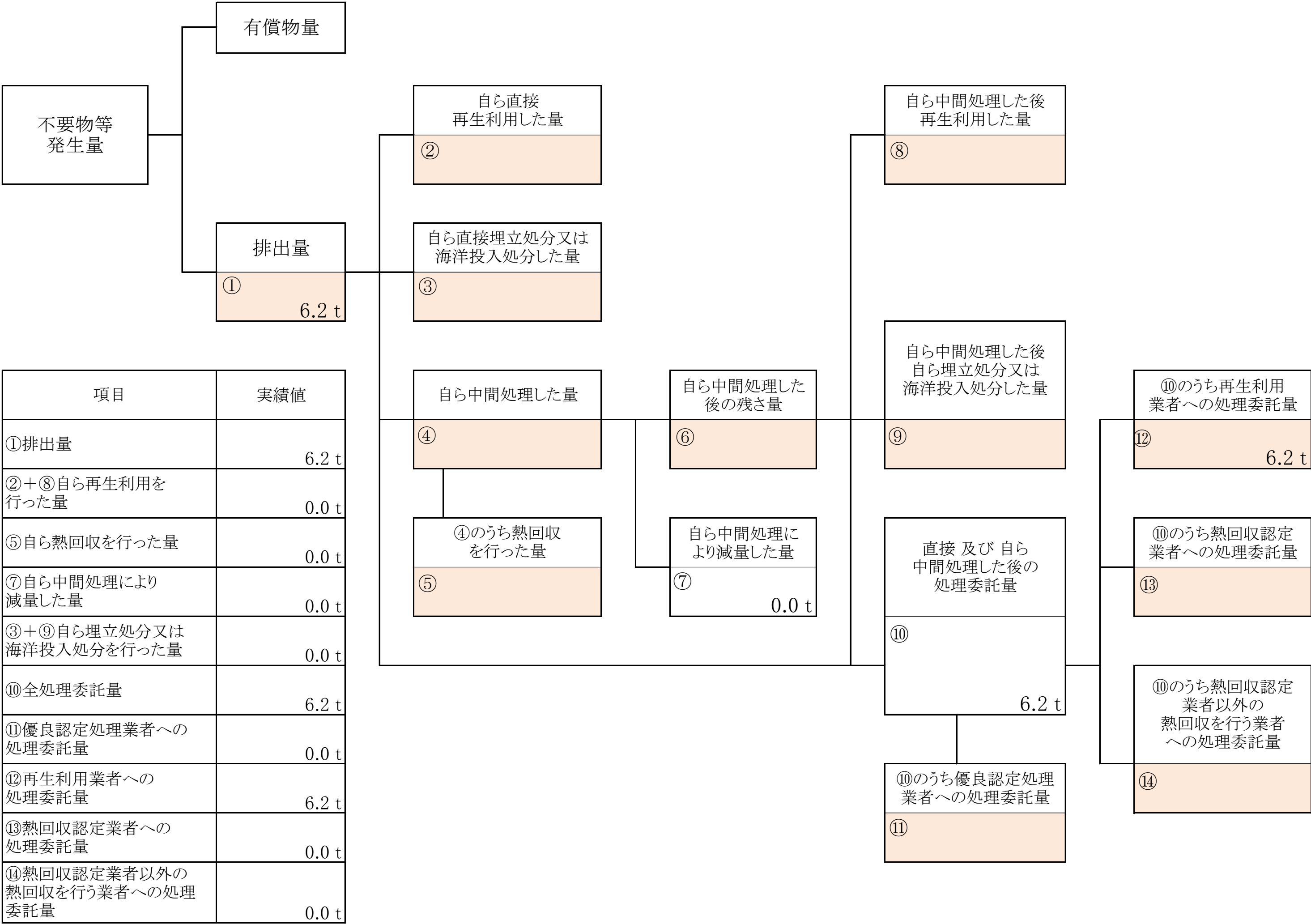
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



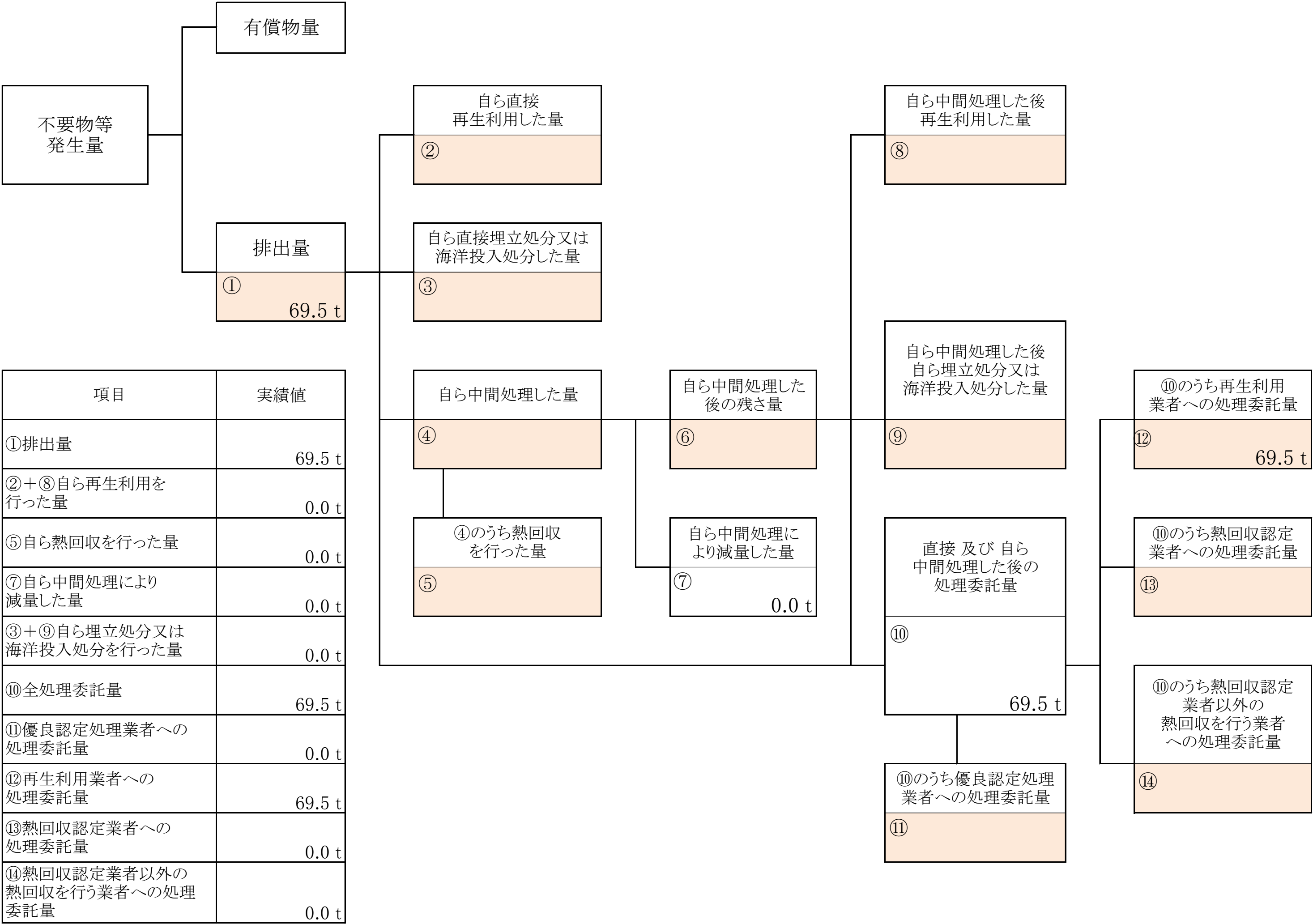
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 5日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒292-0834	
住 所 千葉県木更津市潮見四丁目14番地9	
氏 名 株式会社ハマダ 代表取締役 安藝 真一 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0438-36-7721	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ハマダ
事業場の所在地	千葉県木更津市潮見四丁目14番地9
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	前年度完成工事高 1,348,349千円
③ 従業員数	35名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事に伴う産業廃棄物の発生 ↓ コンガラ・アスガラ・木くず・がれき類・廃プラ・混合廃棄物・繊維・ガラス陶磁器・金属くず・紙くず・石膏ボード・水銀使用製品・石綿含有建材・廃石綿・建設汚泥等の建設産業廃棄物の選別・処理施設への搬入 ↓ 処理委託先での適正な処理方法・判断により処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
工事部 ↓ 各現場担当者(現場確認・管理・産廃処理業者の選定) ↓ 工事部事務(マニフェスト管理・搬出済み産廃の集計及び管理)	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 解体分別時に、出来る限り可能に再資源化できるように選別を実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 解体分別時に出来る限り再資源化できるようにするため、自社作業員及び協力会社作業員に選別の教育と指導を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 重機による破碎・選別後、安全の範囲内にて作業員による手作業での再選別を実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記作業を安全に留意して、リサイクル可能物を出来る限り選別するよう図る

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	全処理委託量	別紙のとおり	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり	t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり	t	t
	(これまでに実施した取組)			
	各処分場の処理方法を検討した上、環境により配慮した施設の優先的に利用する			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 現在利用している処理施設のみならず、より環境に配慮した施設があった場合には積極的に検討し利用していく。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	廃水銀
		排 出 量	81.45 t	6.29 t	49.91 t	555.27 t	12.39 t	5617.01 t	128.81 t	1.99 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	廃水銀
		排 出 量	80.23 t	6.2 t	49.16 t	546.94 t	12.2 t	5532.75 t	126.88 t	1.96 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	廃水銀
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	廃水銀
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	廃水銀
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	廃水銀	
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に係る事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アス・コンガラ	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンガラ	建設混合廃棄物	廃水銀
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アス・コンガラ	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンガラ	建設混合廃棄物	廃水銀
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アス・コンガラ	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンガラ	建設混合廃棄物	廃水銀
	全処理委託量	81.45 t	6.29 t	49.91 t	555.27 t	12.39 t	5617.01 t	128.81 t	1.99 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	15.28 t	6.29 t	47.09 t	365 t	2.24 t	2794.95 t	123.25 t	1.9 t
	再生利用業者への 処理委託量	81.45 t	6.29 t	49.91 t	555.27 t	12.39 t	5617.01 t	128.81 t	1.99 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アス・コンガラ	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンガラ	建設混合廃棄物	廃水銀
	全処理委託量	80.23 t	6.2 t	49.16 t	546.94 t	12.2 t	5532.75 t	126.88 t	1.96 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	15.05 t	6.2 t	46.38 t	359.53 t	2.21 t	2753.03 t	121.4 t	1.87 t
	再生利用業者への 処理委託量	80.23 t	6.2 t	49.16 t	546.94 t	12.2 t	5532.75 t	126.88 t	1.96 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	廃プラ：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
		排 出 量	5.01 t	72.98 t	2.03 t	6.18 t	134.61 t	34.48 t	0.14 t
	②計画	【目標】							
		産業廃棄物の種類	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	廃プラ：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
		排 出 量	4.93 t	71.89 t	2 t	6.09 t	132.59 t	33.96 t	0.14 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	廃プラ：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】							
		産業廃棄物の種類	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	廃プラ：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 0	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	廃プラ：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】							
		産業廃棄物の種類	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	廃プラ：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に關する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	廃プラ：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	廃プラ：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	廃プラ：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油	
	全処理委託量	5.01 t	72.98 t	2.03 t	6.18 t	134.61 t	34.48 t	0.14 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	5.01 t	69.66 t	2.03 t	1.48 t	112.51 t	12.22 t	0.14 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	6.18 t	134.61 t	34.48 t	0.14 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	廃プラ：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油	
	全処理委託量	4.93 t	71.89 t	2 t	6.09 t	132.59 t	33.96 t	0.14 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	4.93 t	68.62 t	2 t	1.46 t	110.82 t	12.04 t	0.14 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	6.09 t	132.59 t	33.96 t	0.14 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 5日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒292-0834
住 所 千葉県木更津市潮見四丁目14番地9
氏 名 株式会社ハマダ
代表取締役 安藝真一
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0438-36-7721

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社ハマダ
事業場の所在地	千葉県木更津市潮見四丁目14番地9
事業の種類	D06ー総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

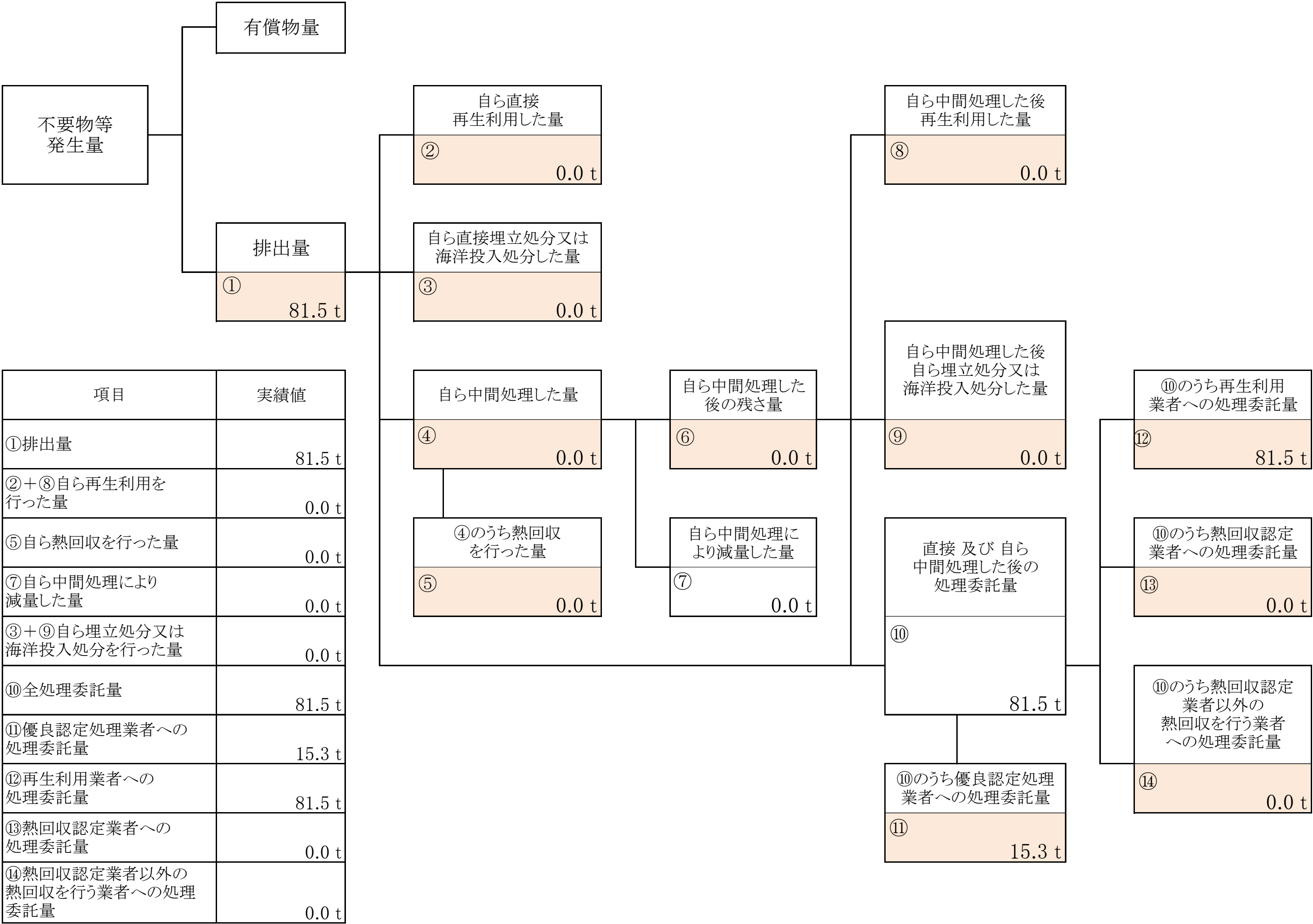
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	10137.8 t	全処理委託量	10137.8 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	4820.8 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	9968.2 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

※事務処理欄

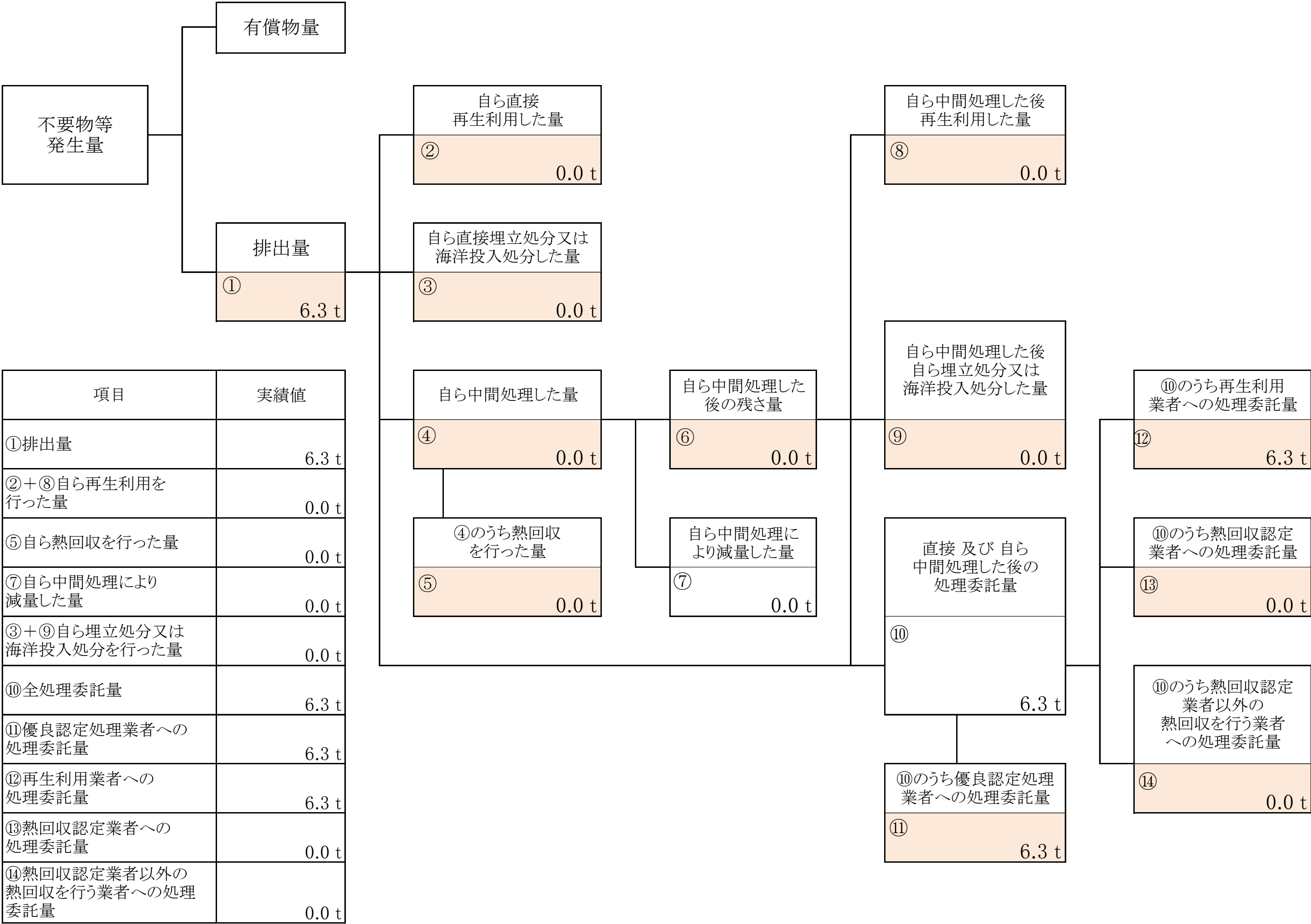
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリートがら)



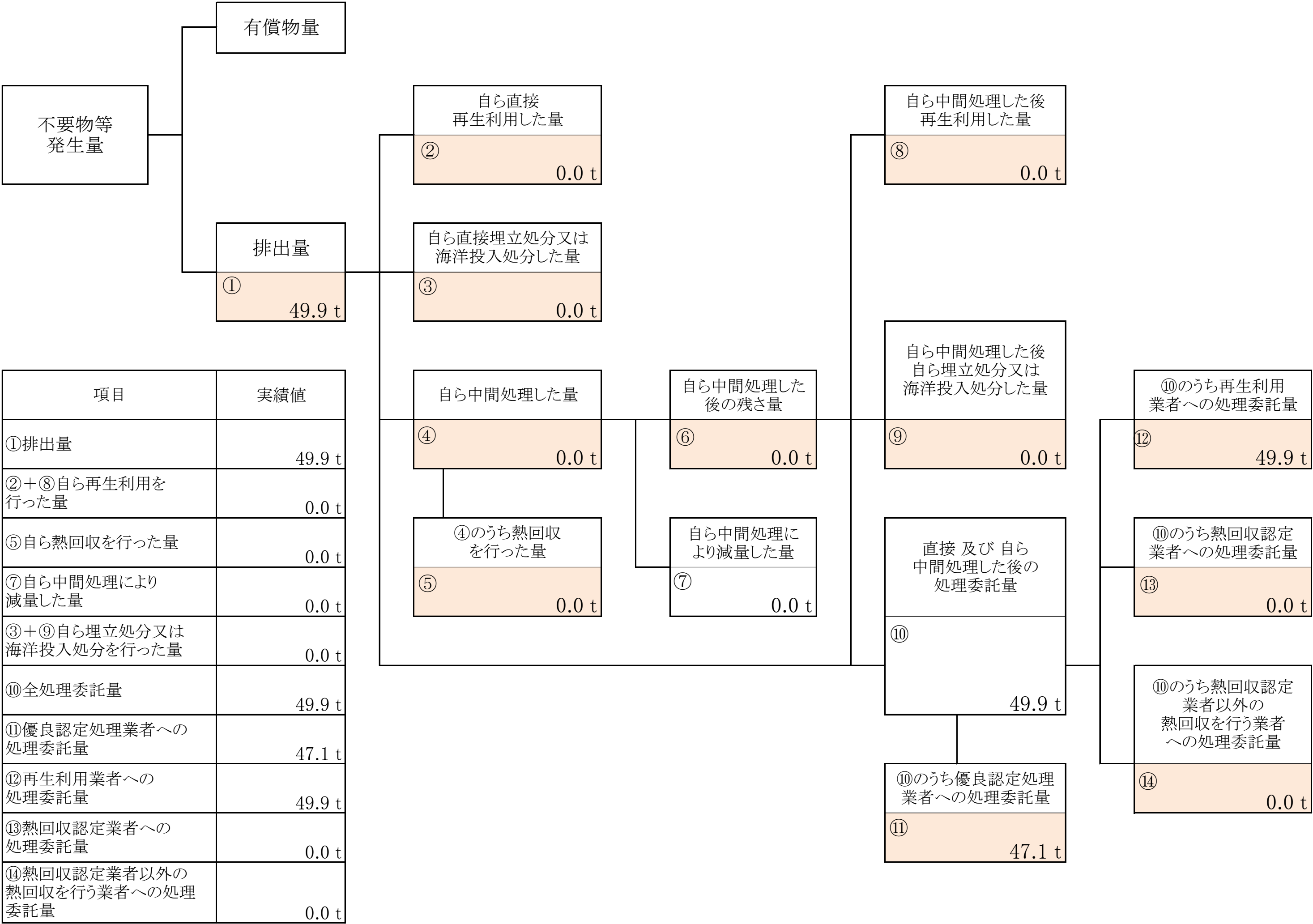
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



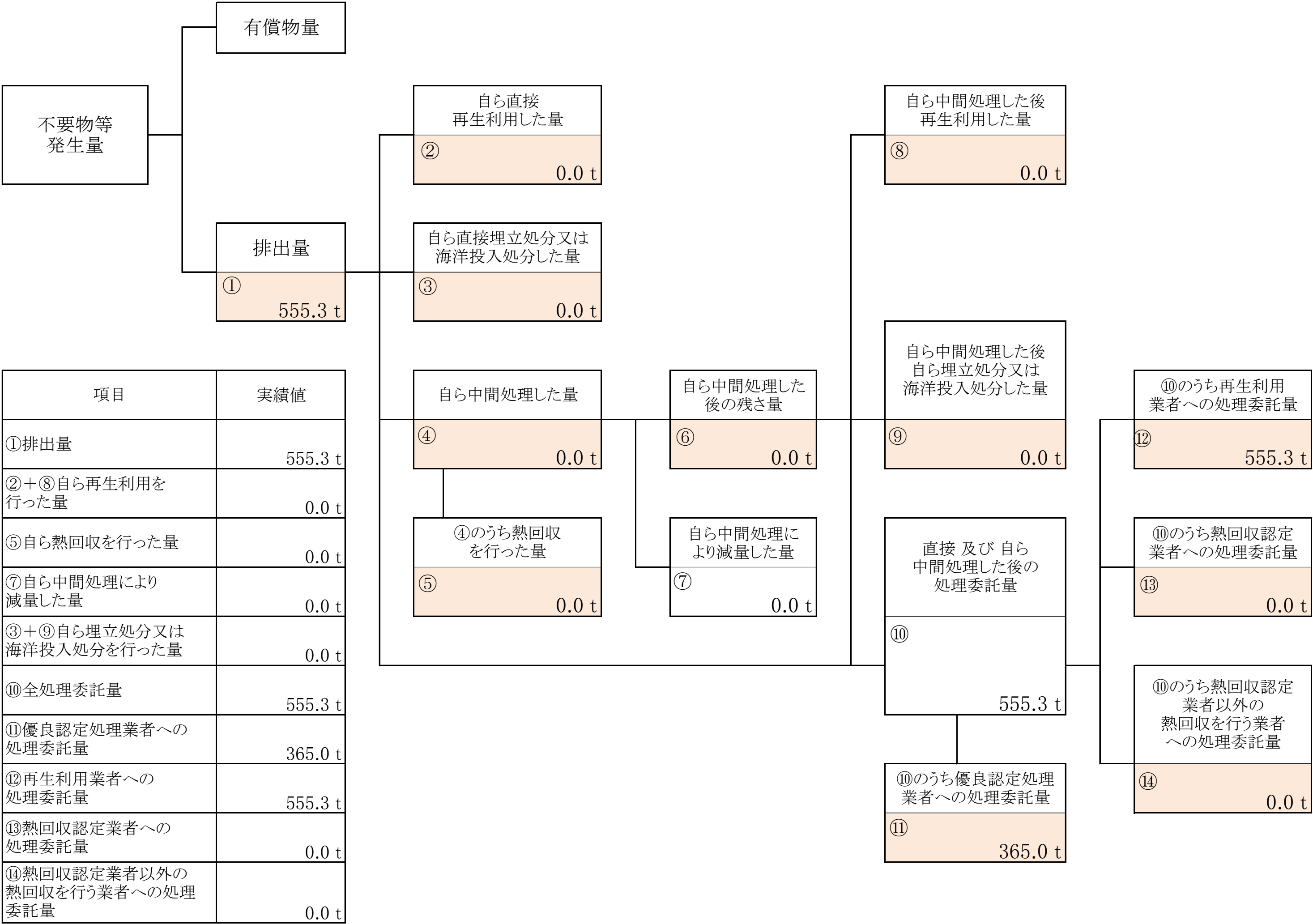
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)



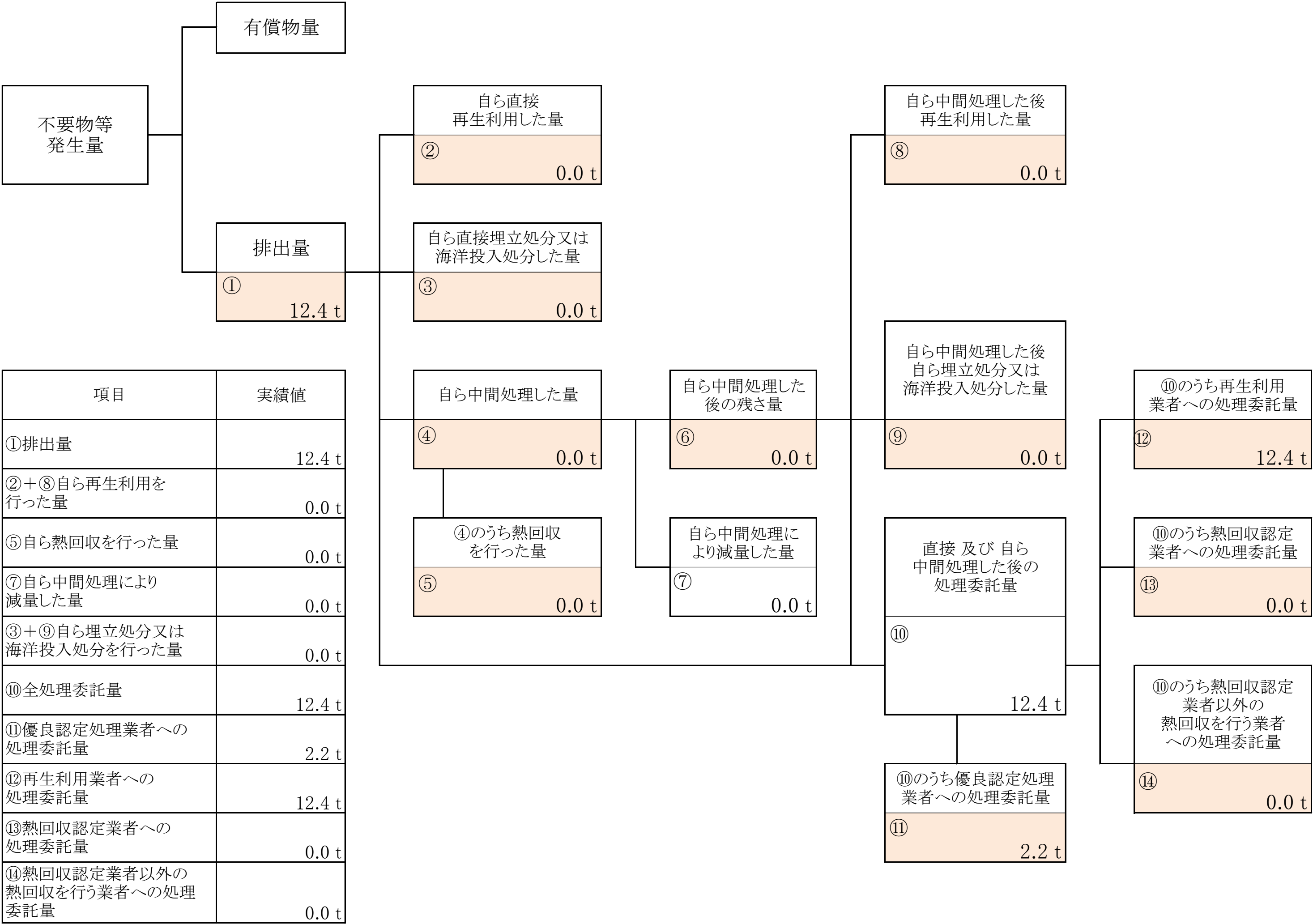
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



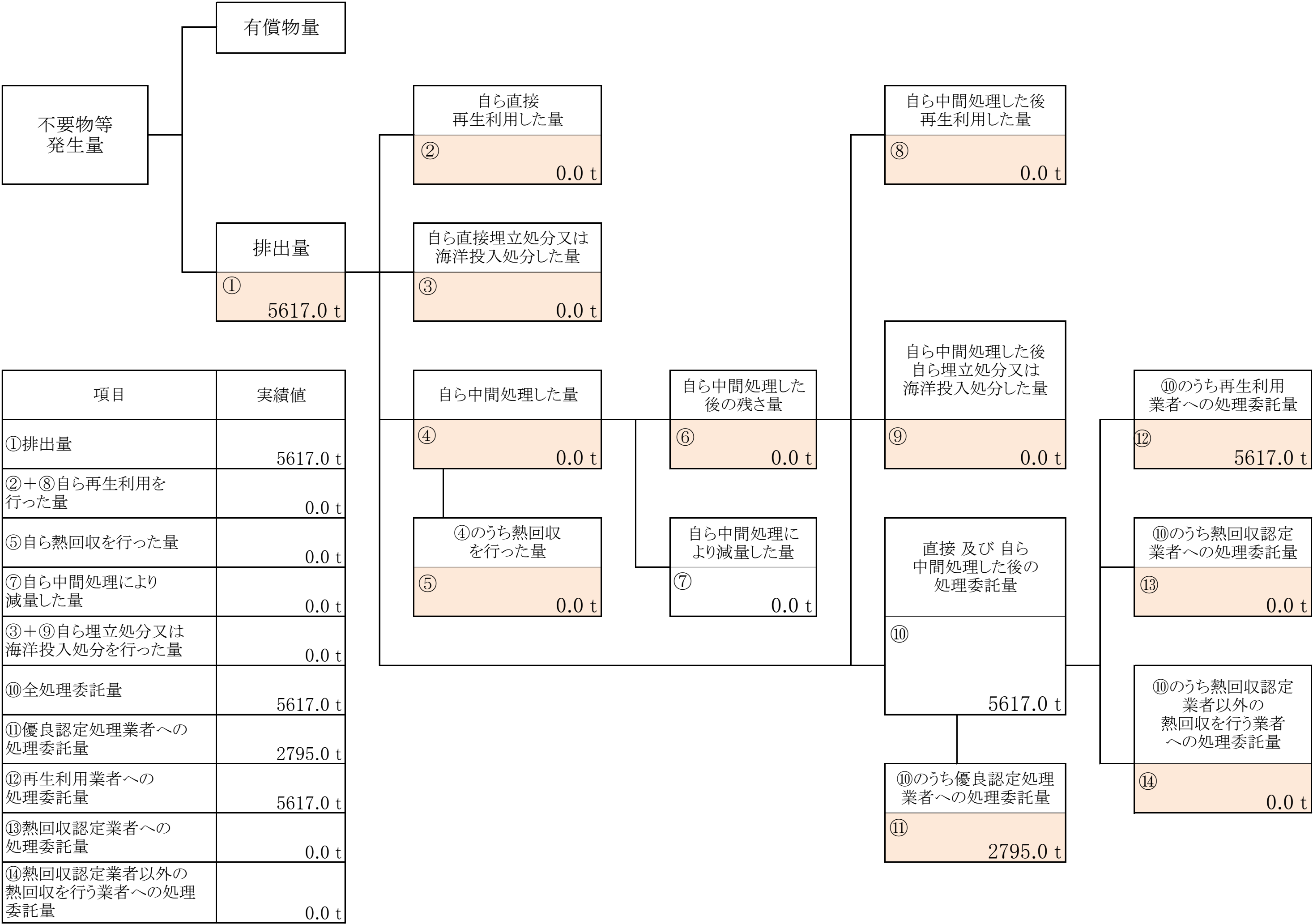
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



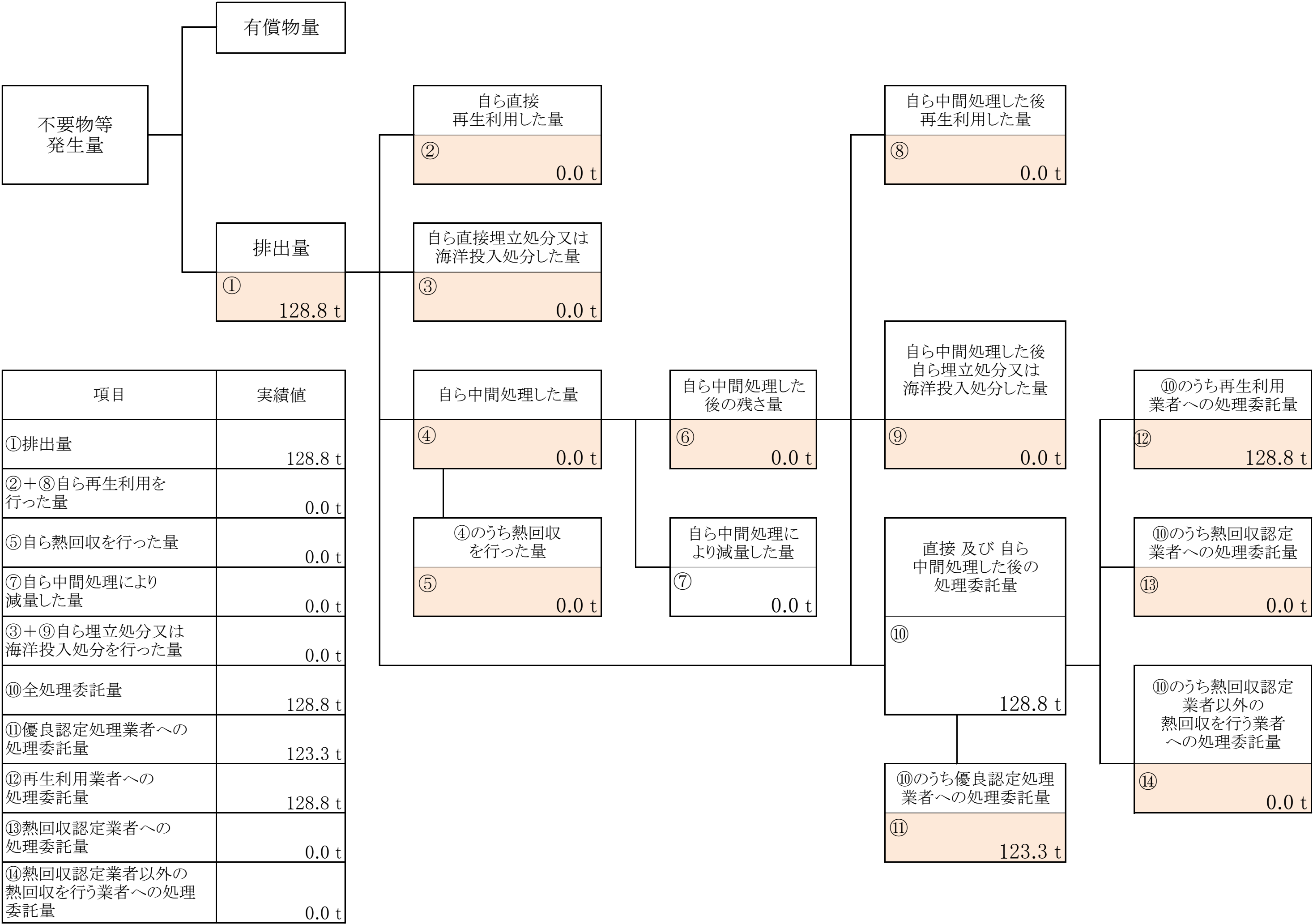
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)



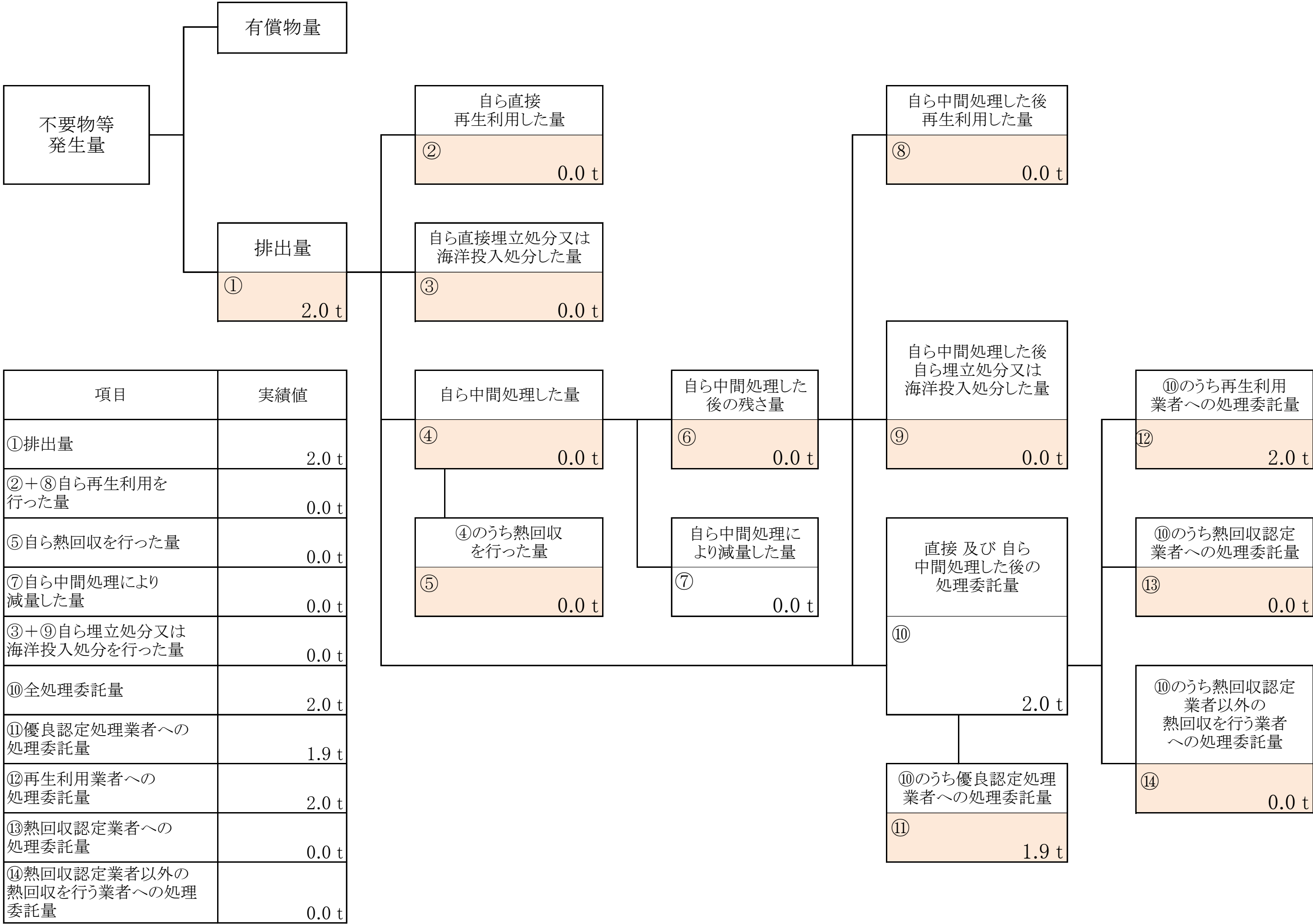
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)



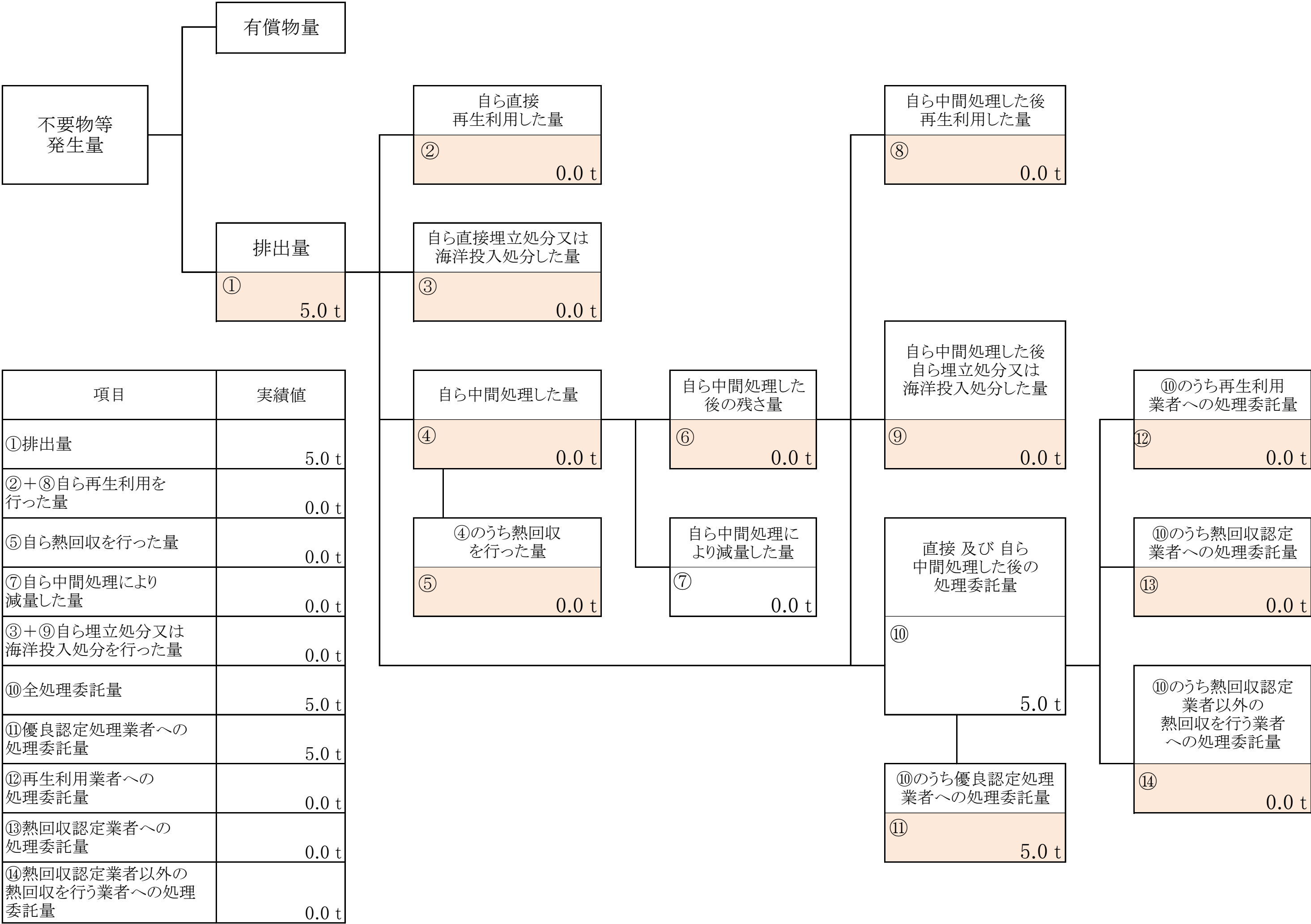
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃水銀等)



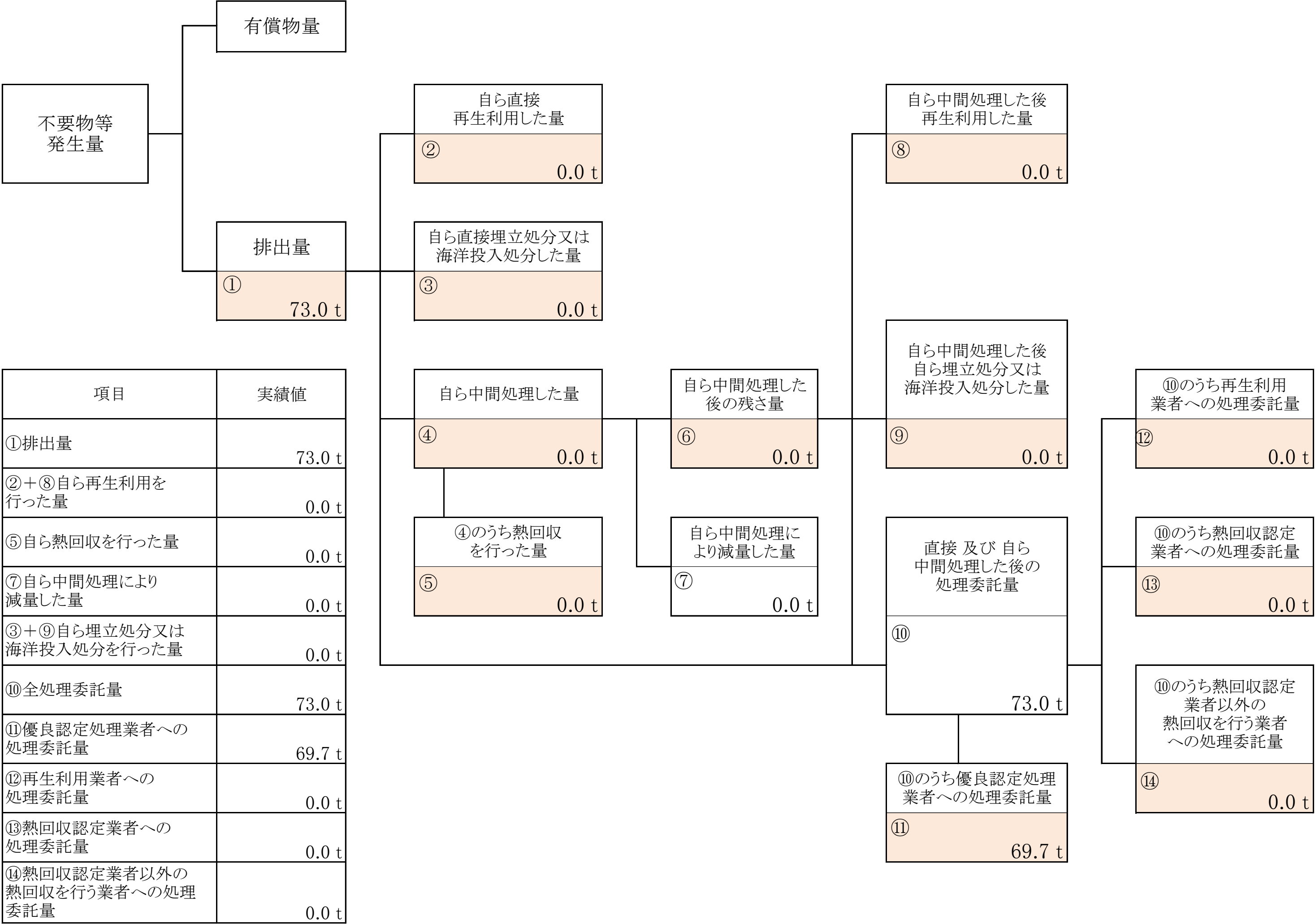
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず (石綿含有産業廃棄物))



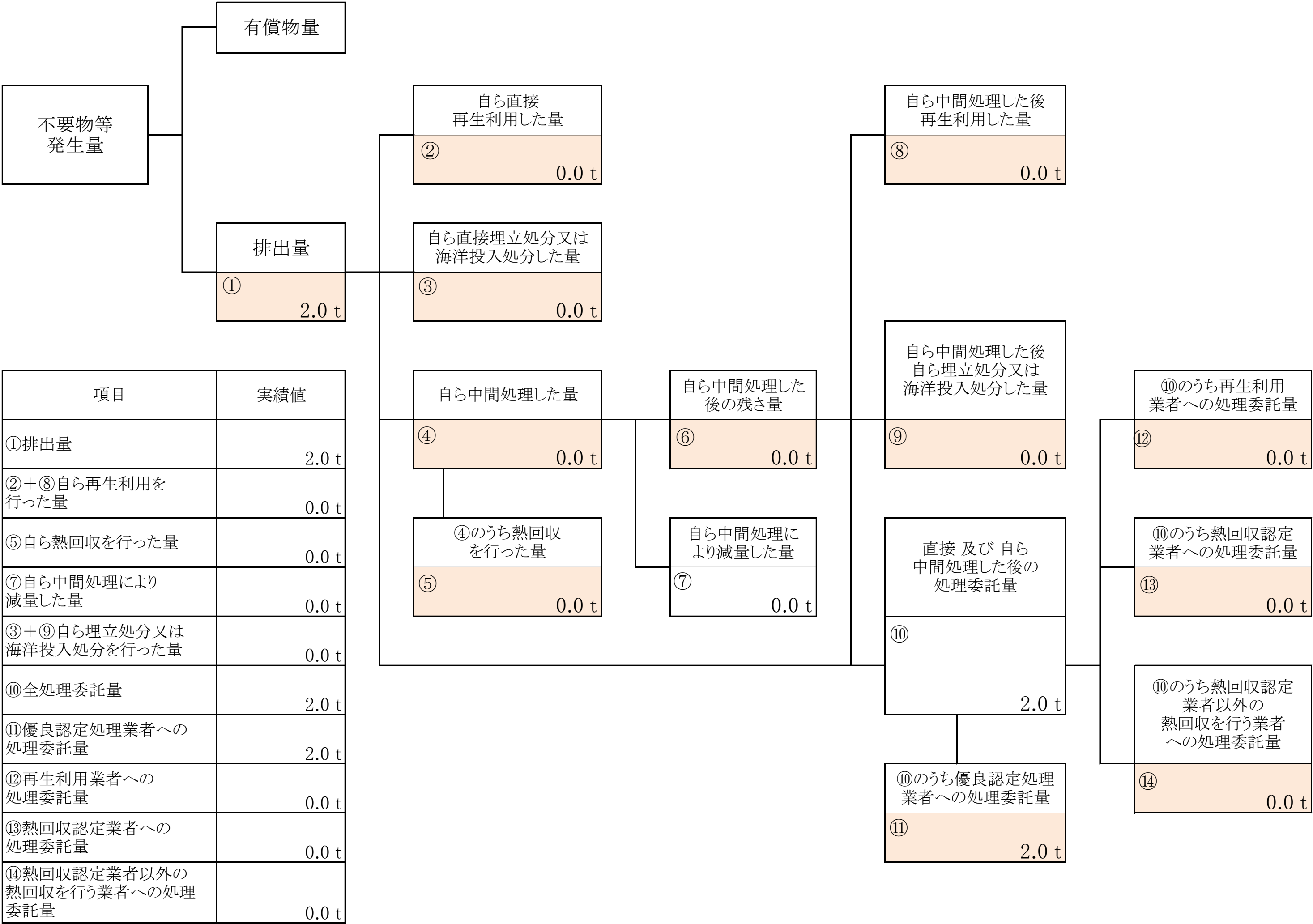
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: **がれき類
(石綿含有産業廃棄物)**)



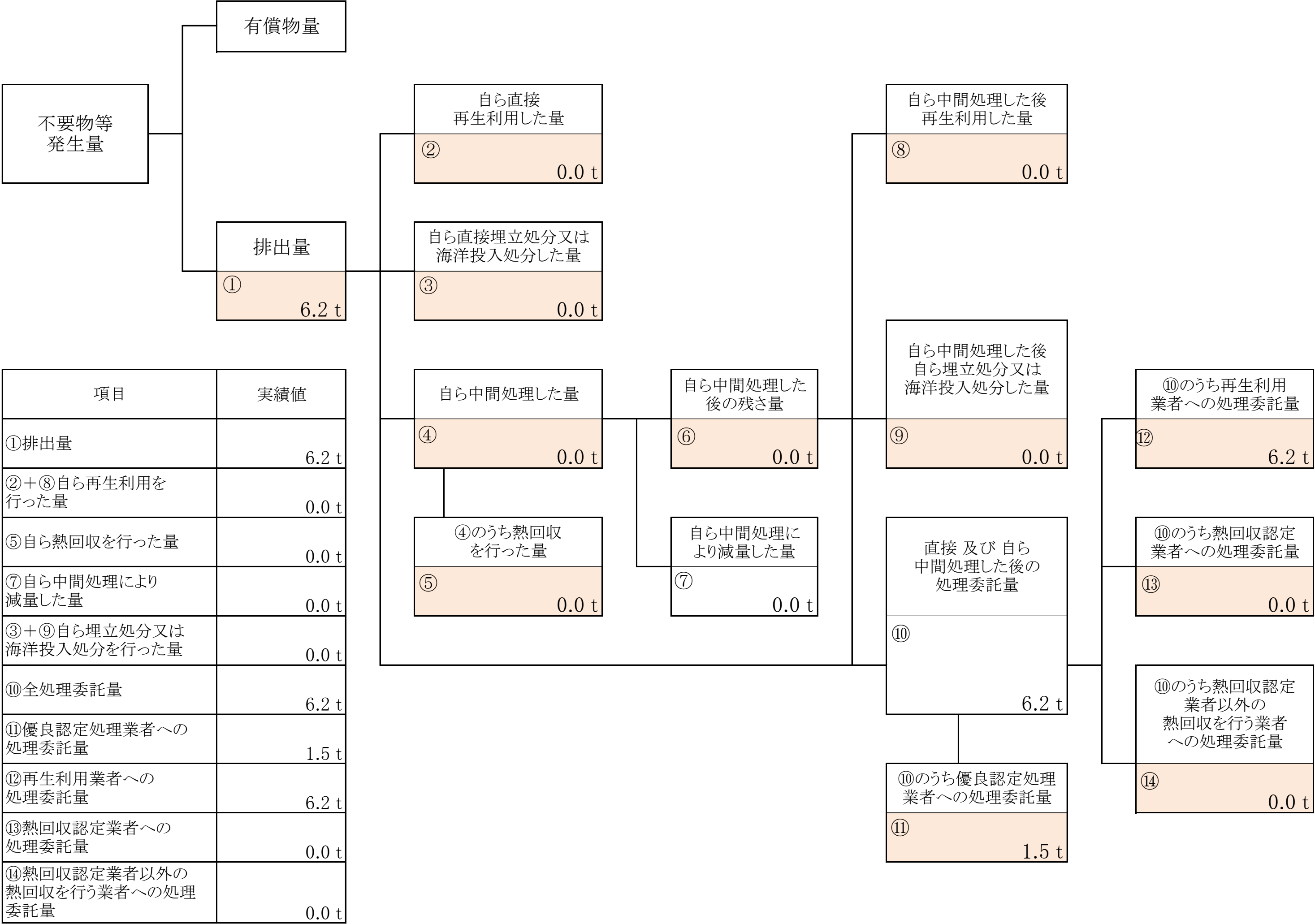
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物))



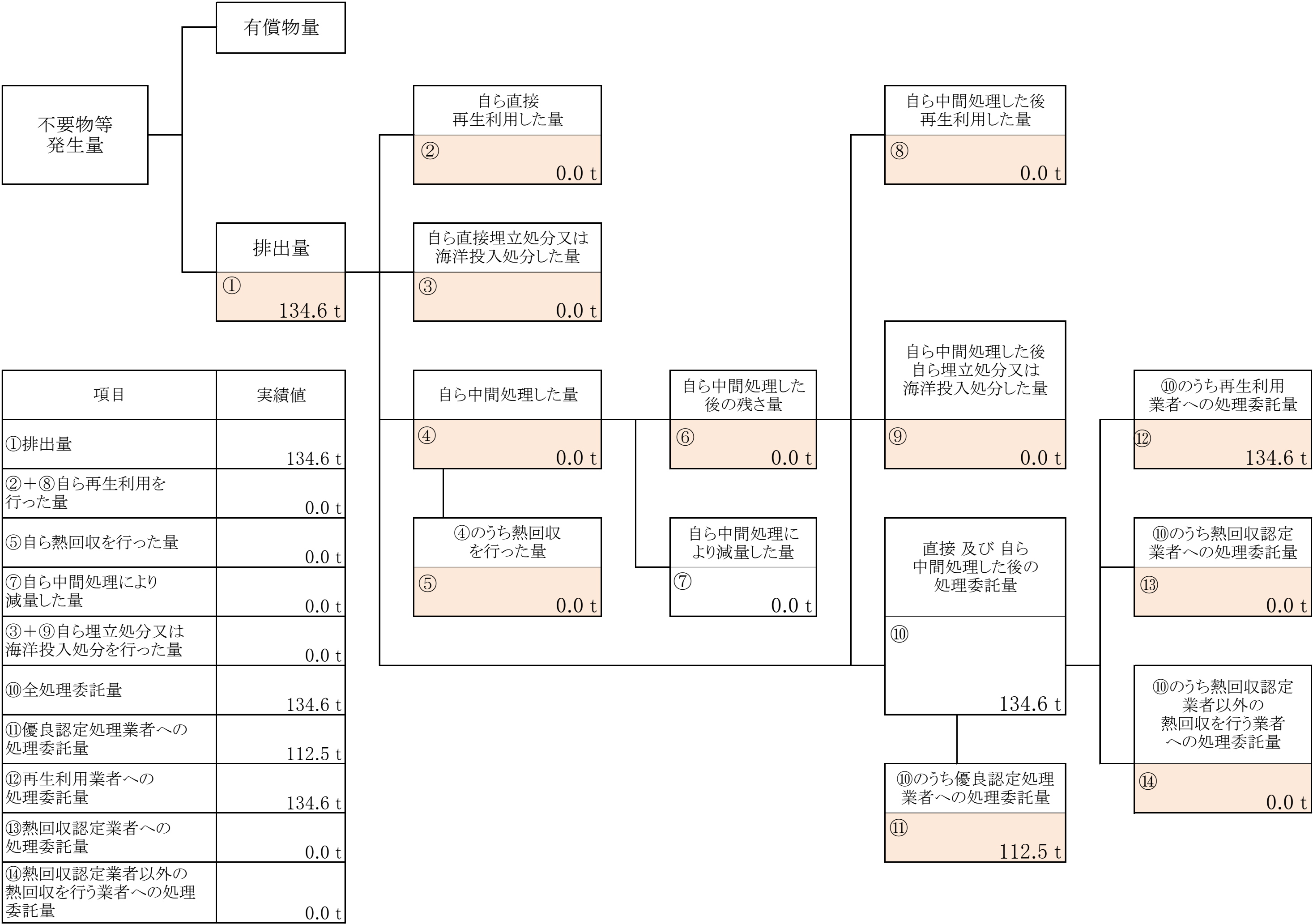
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



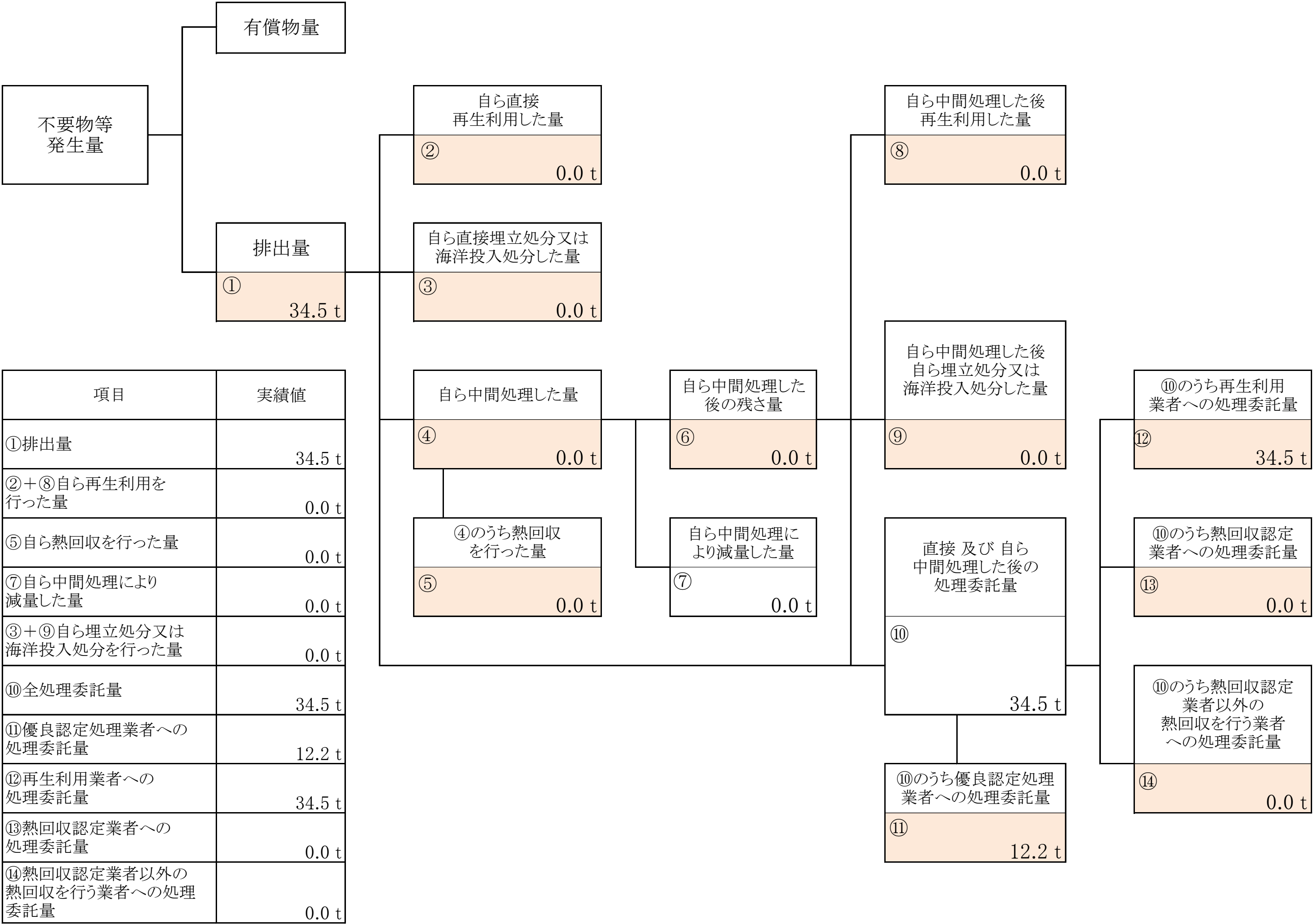
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



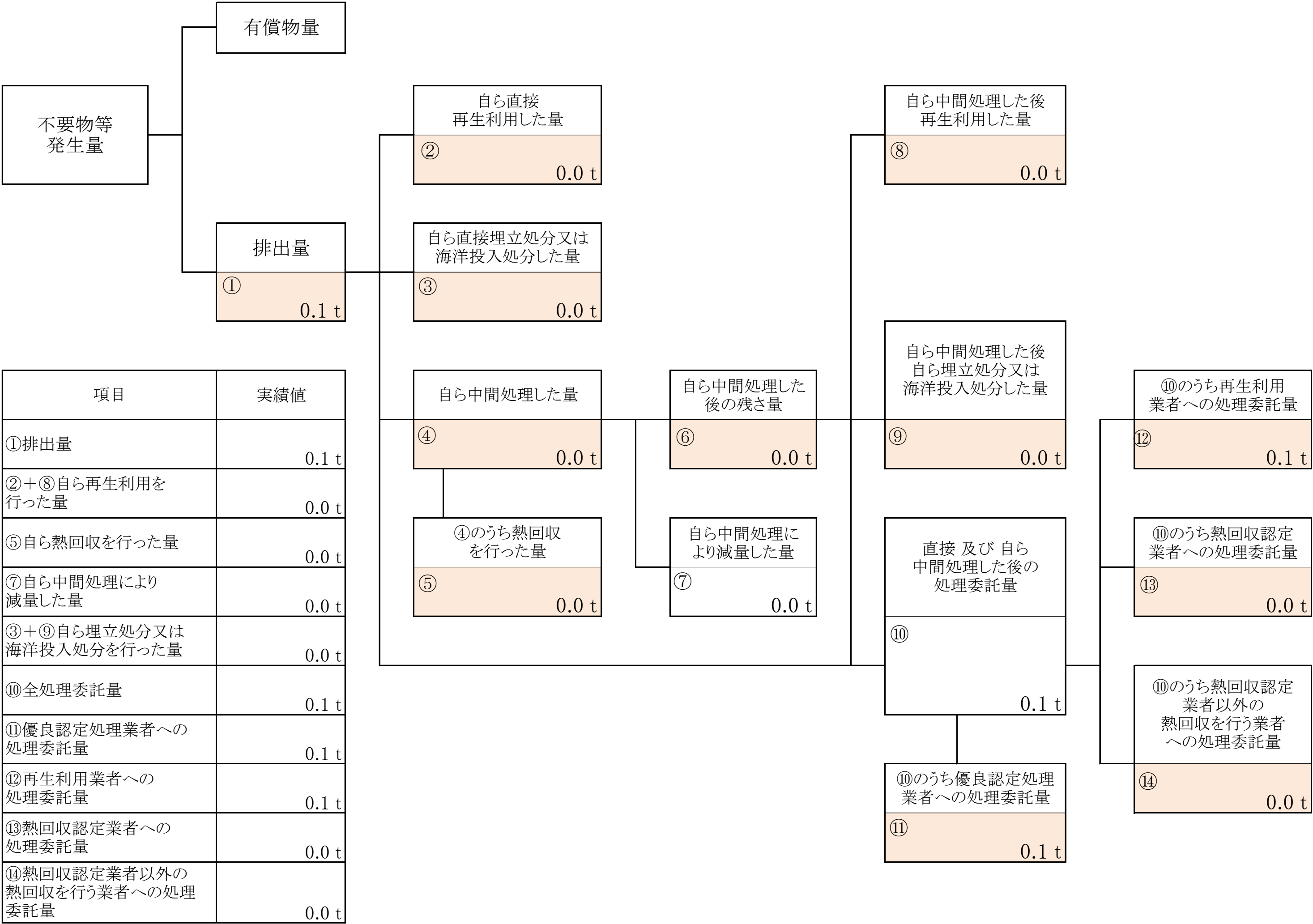
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

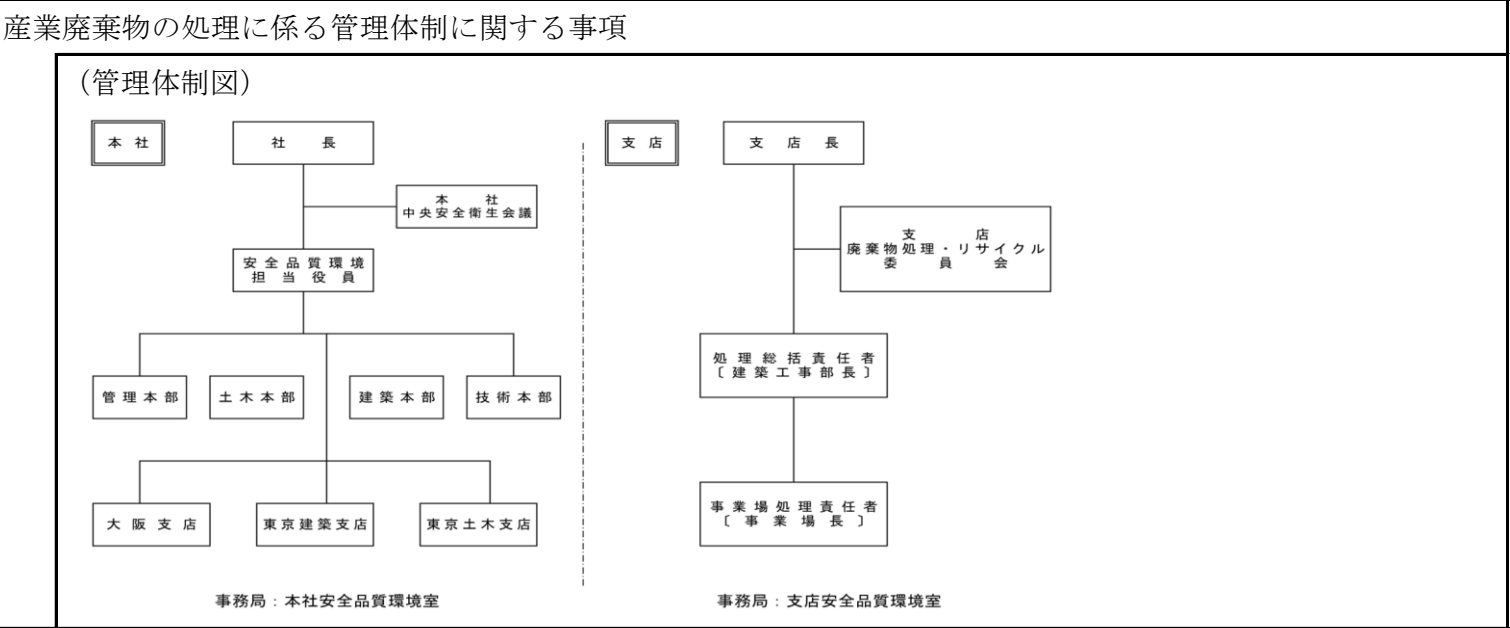


備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 2 0 日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒 1 0 5 - 7 3 6 7	
住 所 東京都港区東新橋 1 - 9 - 1 東京汐留ビルディング 1 8 階	
氏 名 株式会社ピーエス三菱 東京建築支店 執行役員支店長 平田 聖二	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0 3 - 6 3 8 5 - 8 1 0 0	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ピーエス三菱 東京建築支店
事業場の所在地	東京都港区東新橋 1 - 9 - 1 東京汐留ビルディング 1 8 階
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 2 0 , 6 6 2 百万円
③ 従業員数	1 8 5 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 委託処理 (中間処理:破砕)再生砕石として再資源化 廃プラスチック類 委託処理 (再生利用業者で処理) 金属くず 委託処理 (再生処理業者でスクラップとして再資源化) 木くず 委託処理 (再生処理業者でチップとして再資源化) 廃石膏ボード 委託処理 (広域認定制度等により再資源化) 汚泥 委託処理 (中間処理:脱水) 委託処理 (最終処分)埋立 混合物 委託処理 (中間処理:分別、破砕、焼却)

(第2面)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	排出量	974.6 t	52.1 t
	(これまでに実施した取組) ・ 計画的な資材搬入を徹底し、余剰材による産業廃棄物の排出を抑制している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	排出量	500 t	30 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 引き続き、余剰材による産業廃棄物の排出を抑制する。		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 仮置ヤードを場内に区画して設け、排出している。 ・ 費目毎の分別ヤードを設置し、分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 今後も継続して取り組みを実施する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	974.6 t	52.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	974.6 t	52.1 t
	再生利用業者への処理委託量	974.6 t	21.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
	・委託契約している中間処理処理工場で分別し、プラスチック製品として再生利用ができる委託業者に処理を委託している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	500 t	30 t
	優良認定処理業者への処理委託量	500 t	30 t
	再生利用業者への処理委託量	500 t	20 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も継続する。		
※事務処理欄			

備考	
1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。	
2 当該年度の6月30日までに提出すること。	
3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。	
(1)①の欄には 日本標準産業分類の区分を記入する。	

い/の欄には、目標値や標準値の類の記入を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	その他がれき類	紙くず	木くず	石綿含有廃棄物
		排 出 量	1.1 t	26 t	511.4 t	9.6 t	105.1 t	13.8 t	17.6 t	12.6 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	その他がれき類	紙くず	木くず	石綿含有廃棄物
排 出 量		5 t	20 t	300 t	10 t	100 t	10 t	10 t	10 t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	その他がれき類	紙くず	木くず	石綿含有廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	その他がれき類	紙くず	木くず	石綿含有廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	その他がれき類	紙くず	木くず	石綿含有廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	その他がれき類	紙くず	木くず	石綿含有廃棄物	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	その他がれき類	紙くず	木くず	石綿含有廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	その他がれき類	紙くず	木くず	石綿含有廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	その他がれき類	紙くず	木くず	石綿含有廃棄物
	全処理委託量	1.1 t	26 t	511.4 t	9.6 t	105.1 t	13.8 t	17.6 t	12.6 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1.1 t	26 t	63.6 t	9.6 t	105.1 t	13.8 t	17.6 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	1.1 t	15.2 t	511.4 t	9.6 t	77.5 t	13.8 t	17.6 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	その他がれき類	紙くず	木くず	石綿含有廃棄物
	全処理委託量	5 t	20 t	300 t	10 t	100 t	10 t	10 t	10 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	5 t	20 t	100 t	10 t	100 t	10 t	10 t	10 t
	再生利用業者への 処理委託量	5 t	15 t	300 t	10 t	80 t	10 t	10 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書																																									
令和6年6月19日																																									
千葉県知事																																									
熊谷 俊人 殿																																									
提出者 〒559-8559																																									
住 所 大阪府大阪市住之江区南港北1丁目7番89号																																									
氏 名 日立造船株式会社 取締役社長 桑原道																																									
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)																																									
電話番号 06-6569-0160																																									
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。																																									
事業場の名称	日立造船株式会社 東京本社																																								
事業場の所在地	東京都品川区南大井6丁目26番3号（現場：千葉県成田市ほか）																																								
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで																																								
当該事業場において現に行っている事業に関する事項																																									
① 事業の種類	D06－総合工事業																																								
② 事業の規模	元請完成工事高 ￥48,868,764,395－ （2023年度）																																								
③ 従業員数	615名																																								
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<table><tr><td>現場 →</td><td>汚泥</td><td>→</td><td>中間処理：脱水 中和</td></tr><tr><td></td><td>廃油</td><td>→</td><td>中間処理：油水分離</td></tr><tr><td></td><td>廃プラスチック類</td><td>→</td><td>中間処理：破砕</td></tr><tr><td></td><td>紙くず</td><td>→</td><td>中間処理：破砕</td></tr><tr><td></td><td>木くず</td><td>→</td><td>中間処理：破砕</td></tr><tr><td></td><td>繊維くず</td><td>→</td><td>中間処理：破砕</td></tr><tr><td></td><td>金属くず</td><td>→</td><td>中間処理：分別</td></tr><tr><td></td><td>ガラスくず</td><td>→</td><td>中間処理：破砕</td></tr><tr><td></td><td>がれき類</td><td>→</td><td>中間処理：破砕</td></tr><tr><td></td><td>混合廃棄物</td><td>→</td><td>中間処理：圧縮</td></tr></table>	現場 →	汚泥	→	中間処理：脱水 中和		廃油	→	中間処理：油水分離		廃プラスチック類	→	中間処理：破砕		紙くず	→	中間処理：破砕		木くず	→	中間処理：破砕		繊維くず	→	中間処理：破砕		金属くず	→	中間処理：分別		ガラスくず	→	中間処理：破砕		がれき類	→	中間処理：破砕		混合廃棄物	→	中間処理：圧縮
現場 →	汚泥	→	中間処理：脱水 中和																																						
	廃油	→	中間処理：油水分離																																						
	廃プラスチック類	→	中間処理：破砕																																						
	紙くず	→	中間処理：破砕																																						
	木くず	→	中間処理：破砕																																						
	繊維くず	→	中間処理：破砕																																						
	金属くず	→	中間処理：分別																																						
	ガラスくず	→	中間処理：破砕																																						
	がれき類	→	中間処理：破砕																																						
	混合廃棄物	→	中間処理：圧縮																																						

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
現場代理人 ← 処理計画統括責任者 ↓ 現場担当 処理計画作成担当、廃棄物担当	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	84.936 t	6.94 t
	(これまでに実施した取組) ・計画的な資材搬入を徹底し、余剰材による産業廃棄物の排出を抑制している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	70.2 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・引き続き余剰材による産業廃棄物の排出を抑制する。		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別に関するマニュアルの作成や環境教育を実施している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引く続き分別に関するマニュアルの作成や、環境教育を実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・自社では行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・自社では行わない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・自社では行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・自社では行わない。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・自社では行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・自社では行わない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	84.936 t	6.94 t
	優良認定処理業者への処理委託量	77 t	3.78 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・再生利用ができる処理業者への委託をする。		

②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類 _	汚 泥	廃 油
	全 処 理 委 託 量 _	70.2 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	70 t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・引き続き再生利用ができる処理業者への委託をする。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリートくず	がれき類	混合廃棄物
		排出量	32.562 t	2.22 t	95.442 t	0.18 t	9.575 t	215.845 t	2428.38 t	308.982 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリートくず	がれき類	混合廃棄物
排出量		20.2 t	2.4 t	9.95 t	t	7.65 t	23 t	60 t	40.56 t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリートくず	がれき類	混合廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリートくず	がれき類	混合廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリートくず	がれき類	混合廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリートくず	がれき類	混合廃棄物	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリートくず	がれき類	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリートくず	がれき類	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリートくず	がれき類	混合廃棄物
	全処理委託量	32.562 t	2.22 t	95.442 t	0.18 t	9.575 t	215.845 t	2428.38 t	308.982 t
	優良認定処理業者への処理委託量	11.725 t	2.22 t	12.375 t	0.18 t	5.055 t	1.995 t	22.64 t	305.29 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリートくず	がれき類	混合廃棄物
	全処理委託量	20.2 t	2.4 t	9.95 t	t	7.65 t	23 t	60 t	40.56 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3.2 t	t	0.55 t	t	3.13 t	1 t	t	14.44 t
	再生利用業者への処理委託量	t	2.4 t	4.4 t	t	4.52 t	t	t	3.12 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

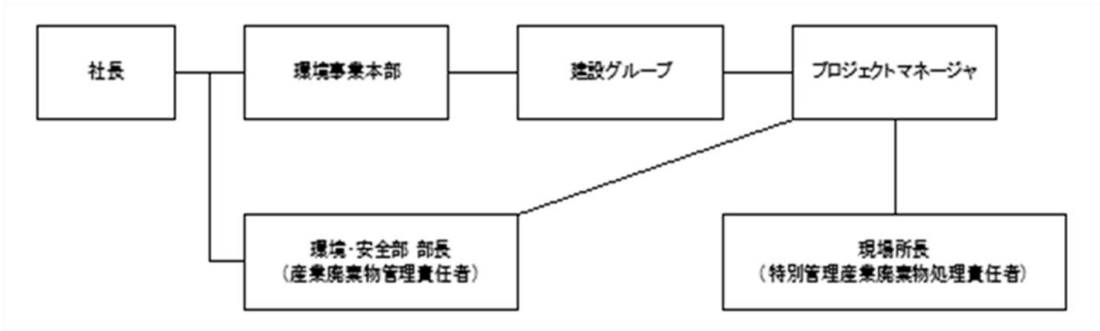
様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月19日	
千葉県知事 熊谷 俊人 殿	
提出者 〒559-8559	
住 所 大阪府大阪市住之江区南港北1丁目7番89号	
氏 名 日立造船株式会社 取締役社長 桑原道 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 06-6569-0160	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日立造船株式会社 東京本社
事業場の所在地	東京都品川区南大井6丁目26番3号(現場：千葉県松戸市ほか)
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 ￥48,868,764,395- (2023年度)
③ 従業員数	615名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	・引火性廃油→油水分離→再生油 ・強酸→中和、脱水→再生原料 ・強アルカリ→中和、脱水→再生原料 ・廃石綿等→熔融→建設資材 ・燃え殻→混錬→埋立 ・ばいじん→混錬→埋立

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	排出量	1.98 t	0.35 t
	(これまでに実施した取組) ・ごみ焼却施設の保守点検、補修工事が主であり、排出量を抑制することは難しい。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ごみ焼却施設の延命化工事による、更新工事を行っており、令和5年度まで工事が予定されているため、排出量を抑制する事は難しいが、令和6年度以降は補修範囲が減少するため、定期点検により排出量の削減に努める。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特別管理産業廃棄物の保管基準に従って種類毎に保管 ・保管場所は、分別特管名と処理責任者名を表示
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・維持管理

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・自社では行っていない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・自社では行わない。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・自社では行っていない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・自社では行わない。		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	自ら埋立処分を行つた特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・自社では行っていない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・自社では行わない。		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	全処理委託量	1.98 t	0.35 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	0.35 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 燃え殻：コンクリート固化処理、管理型埋立処理を行っている。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組を維持する。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和5年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	175.8	t
	(今後実施する予定の取組等) 特別管理産業廃棄物を排出する現場は、電子マニフェストを導入する。		
※事務処理欄			

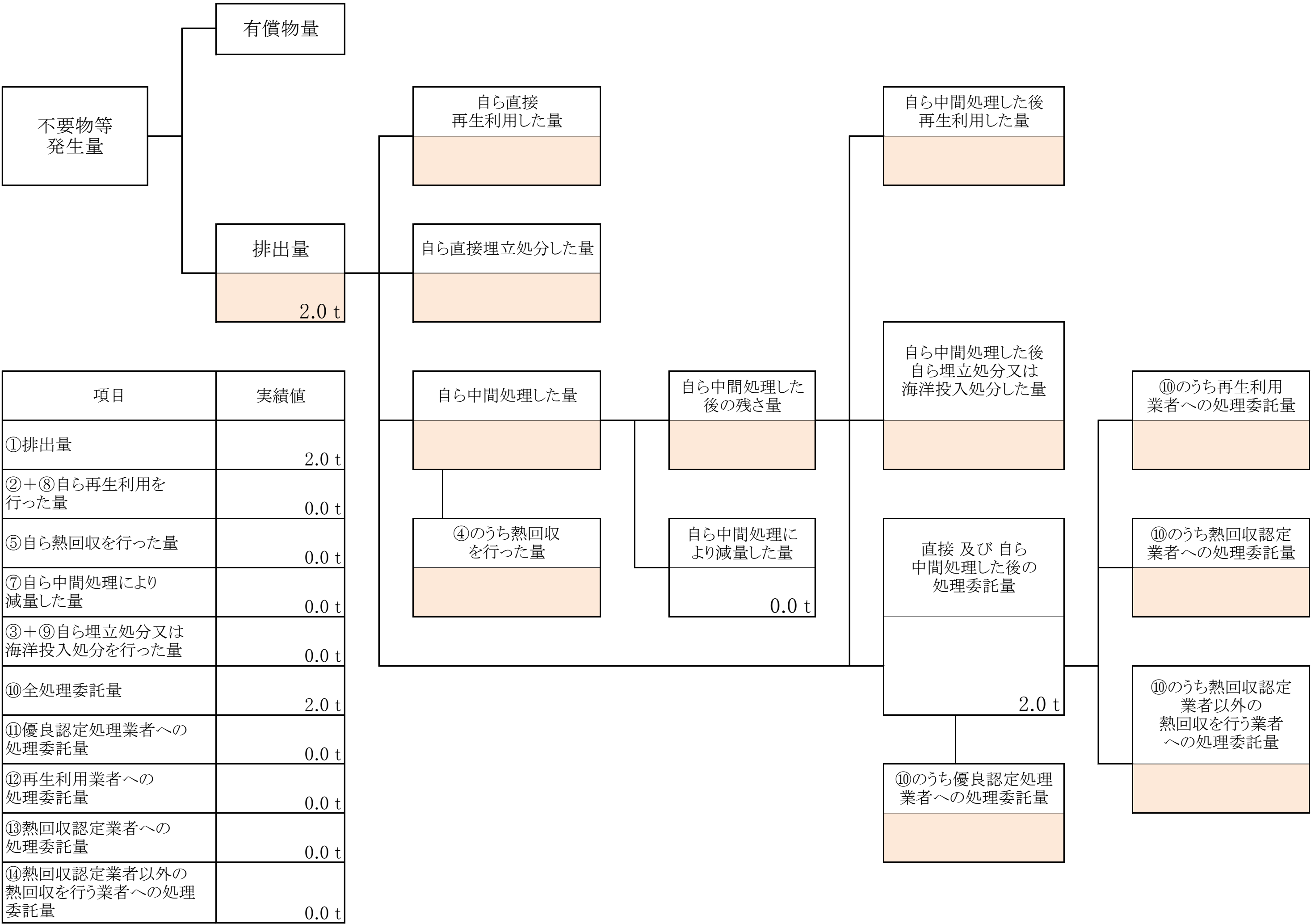
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	排 出 量	1.03 t	8.88 t	162.17 t	1.38 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	排 出 量	t	t	67 t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	全処理委託量	1.03 t	8.88 t	162.17 t	1.38 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	全処理委託量	t	t	67 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	2 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月19日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 〒559-8559			
住 所 大阪府大阪市住之江区南港北1丁目7番89号			
氏 名 日立造船株式会社 取締役社長 桑原道			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 06-6569-0160			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の特別管理産業 廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称		日立造船株式会社 東京本社	
事業場の所在地		東京都品川区南大井6丁目26番3号 (現場:千葉県館山市ほか)	
事業の種類		D06ー総合工事業	
特別管理産業廃棄物処理計画 における計画期間		令和5年4月1日から令和6年3月31日まで	
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値			
項目		目標値	
排出量		156.2 t	
自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量		優良認定処理業者への 処理委託量	
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量		再生利用業者への 処理委託量	
自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者への 処理委託量	
自ら埋立処分 を行う 特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
電子情報処理組織の使用に関する事項			
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		前々年度	282.4 t
		前年度	175.8 t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)			
特別管理産業廃棄物を排出する現場は、電子マニフェストを導入した。			
※事務処理欄			

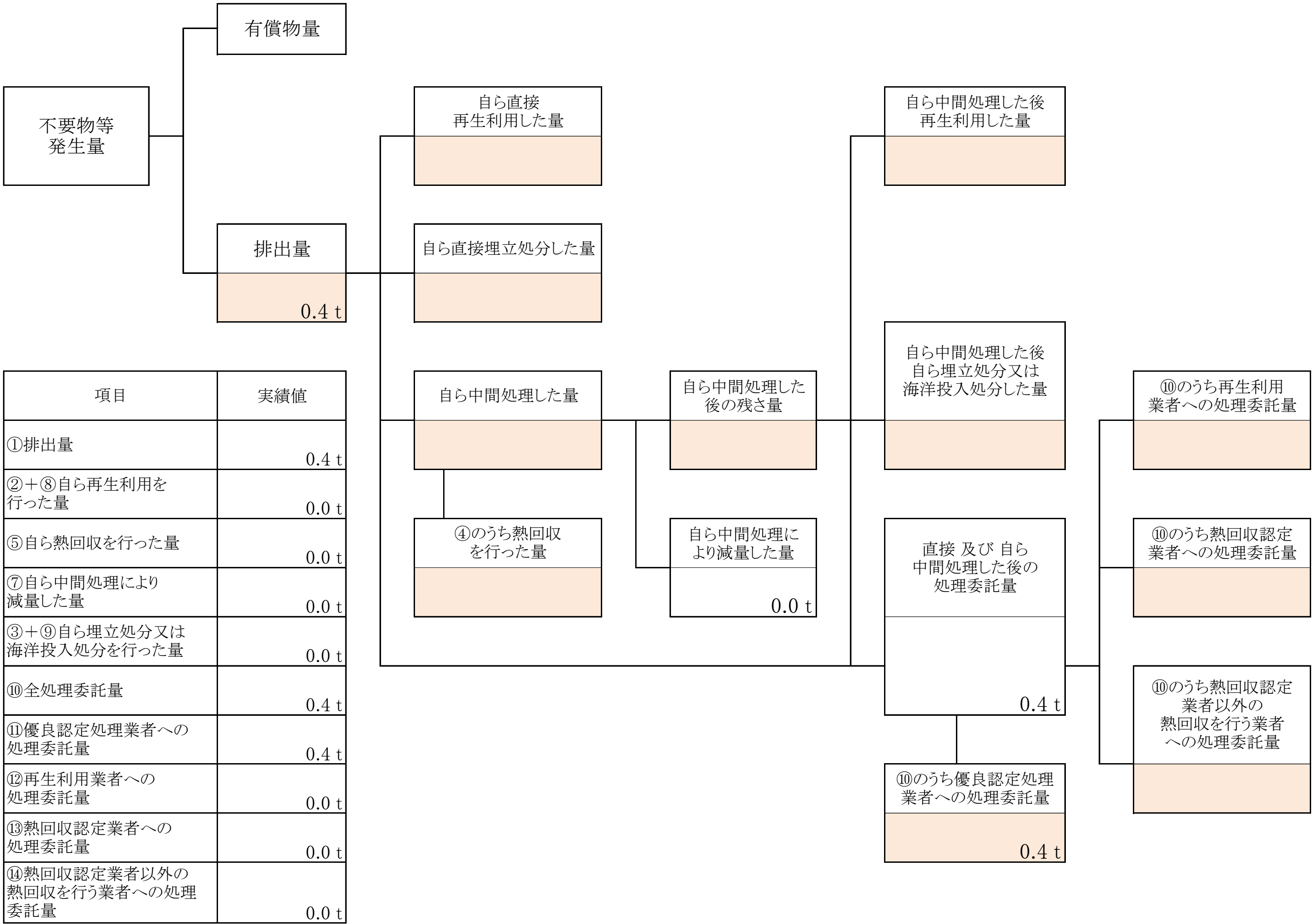
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃油(引火性廃油))



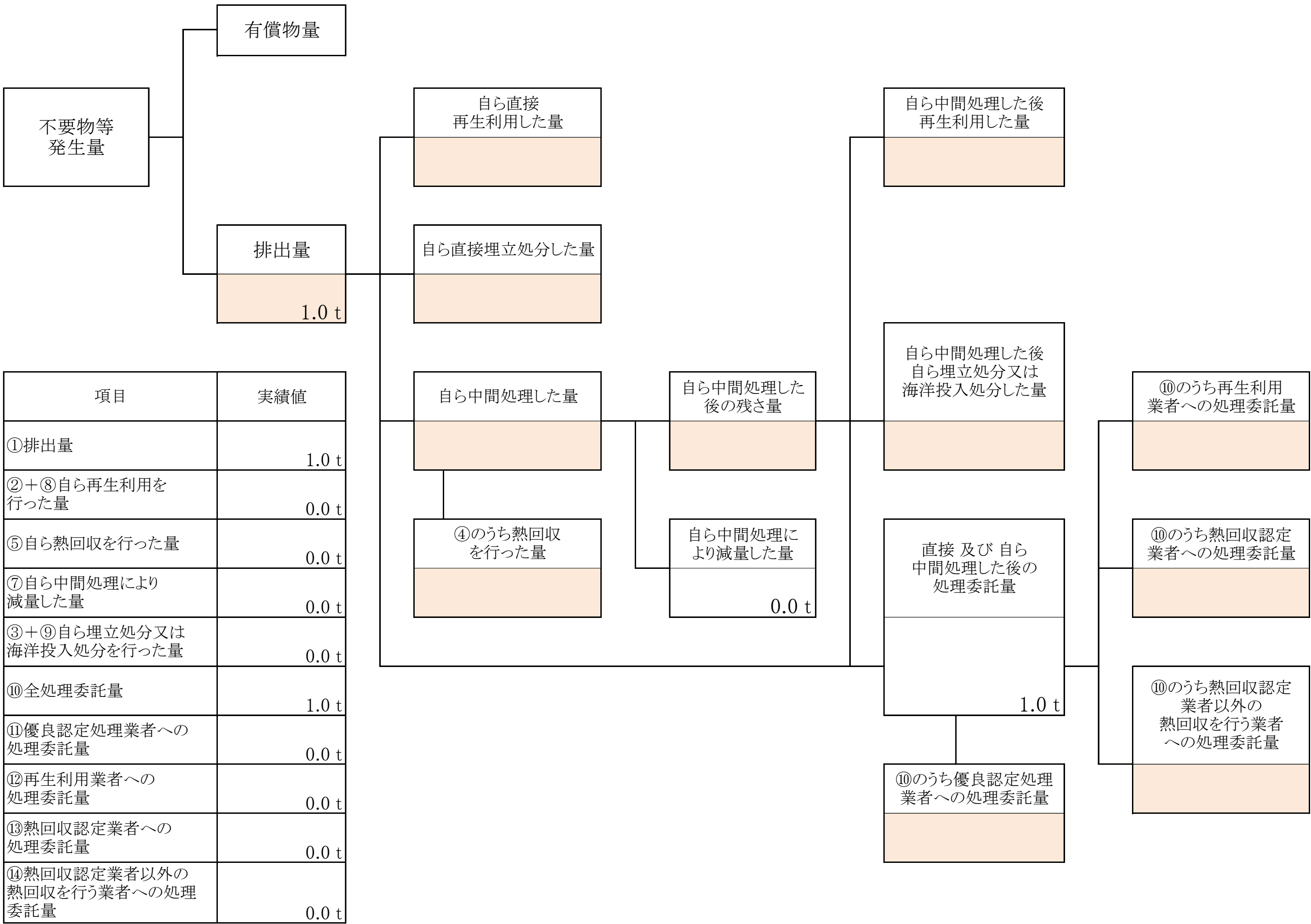
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃酸(強廃酸))



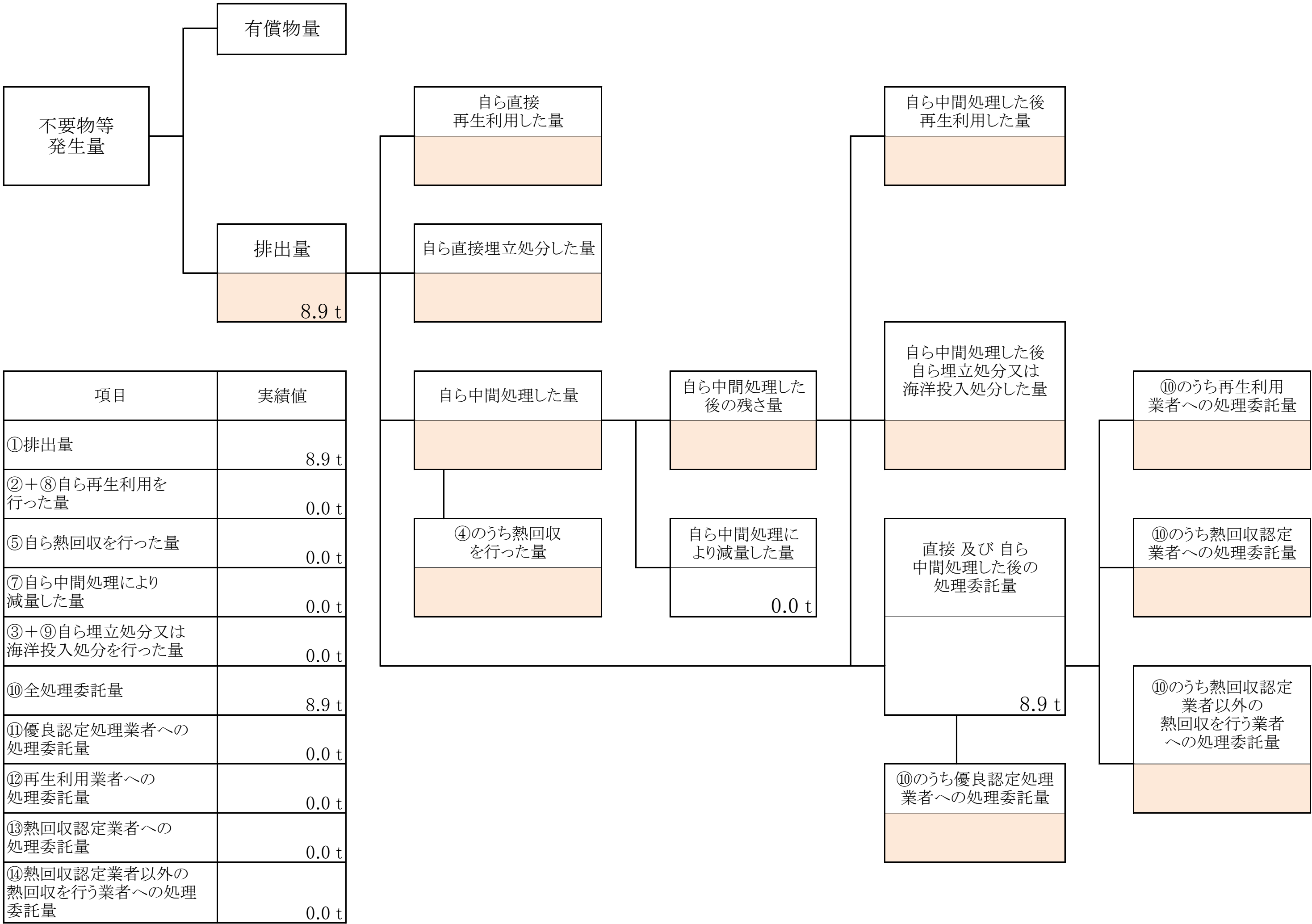
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃アルカリ(廃強アルカリ))



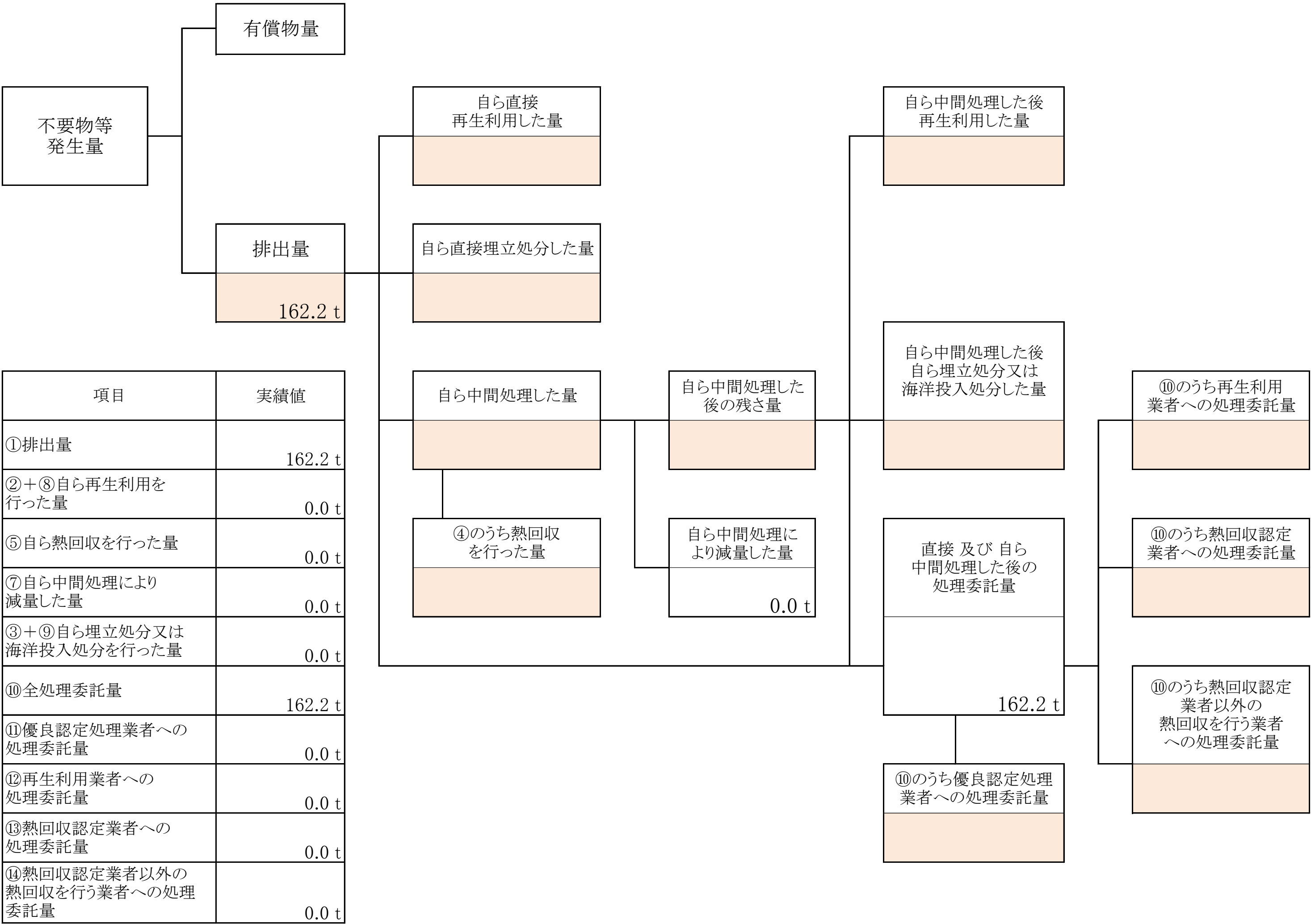
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃石綿等)



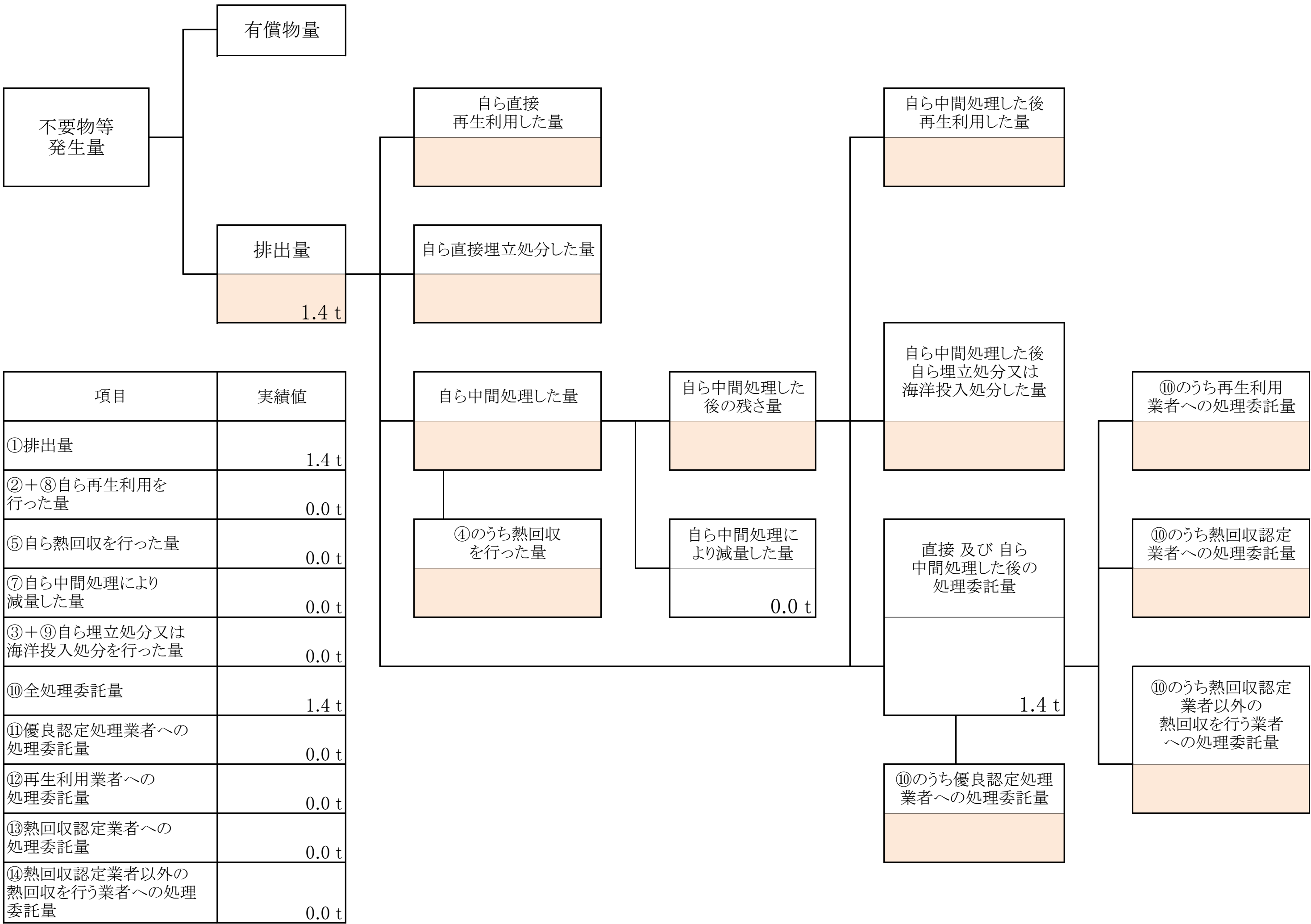
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 燃え殻(特定有害産業廃棄物))



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: **ばいじん(特定有害産業廃棄物)**)



（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年5月27日	
千葉県知事 殿	
提出者	
住 所 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館23階	
氏 名 桧家住宅カンパニー	
C00 伊藤正信	
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 050-1702-1925	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	桧家住宅カンパニー 千葉支社
事業場の所在地	千葉県柏市柏377-3
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
②事業の規模	70億円（元請完成工事高）
③従業員数	145人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添 2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物分別の徹底 余剰部材の再利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) プレカット材の採用による廃棄物排出の抑制を継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木材、紙、金属、段ボール、石膏ボード、その他をコンテナまたは分別用袋にて分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物の分別細分化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

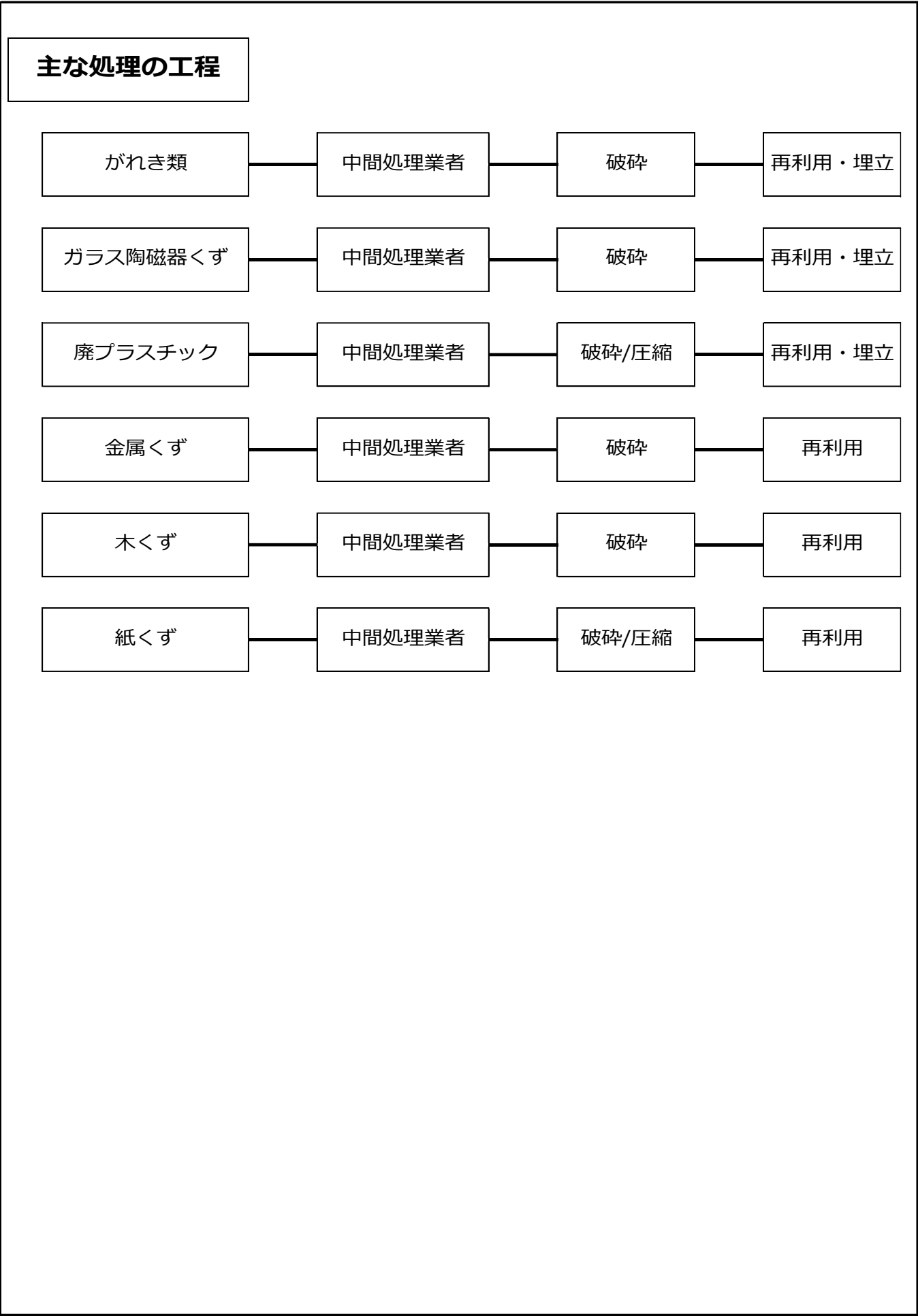
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託業者の選定		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組みを引き続き進めていく		
※事務処理欄			

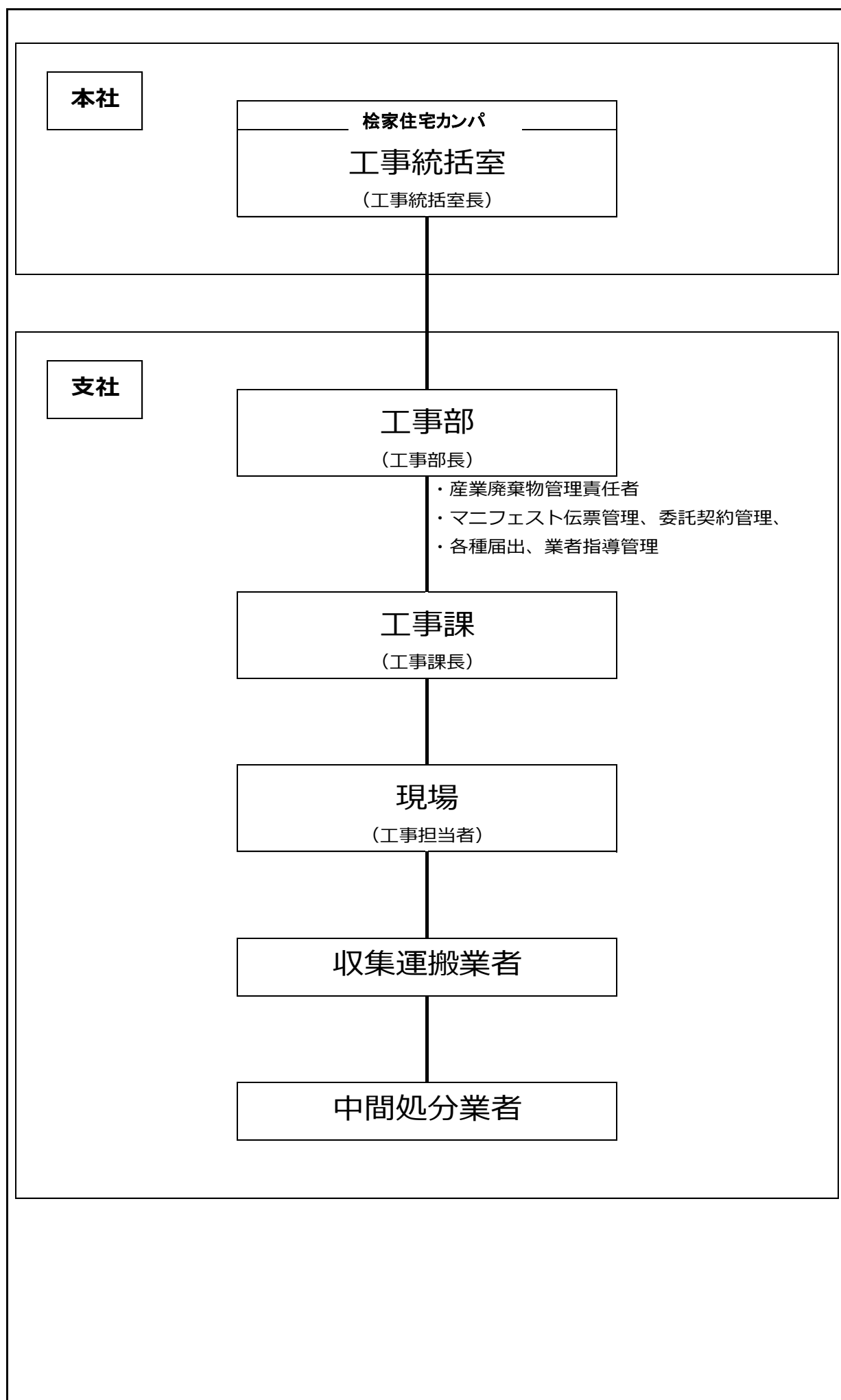
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図



別添 2 管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	排 出 量	296.70 t	261.45 t	764.42 t	32.29 t	229.52 t	566.90 t	434.59 t	147.65 t	478.72 t	16.58 t							
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	排 出 量	267.03 t	235.31 t	687.98 t	29.06 t	206.57 t	510.21 t	391.13 t	132.89 t	430.85 t	14.93 t							
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	全処理委託量	296.70 t	261.45 t	764.42 t	32.29 t	229.52 t	566.90 t	434.59 t	147.65 t	478.72 t	16.58 t							
	優良認定処理業者への処理委託量	223.97 t	181.86 t	559.54 t	25.96 t	195.40 t	316.80 t	214.95 t	2.96 t	5.20 t	16.58 t							
	再生利用業者への処理委託量	296.70 t	261.45 t	764.42 t	32.29 t	229.52 t	566.90 t	420.90 t	147.65 t	478.72 t	0.00 t							
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	全処理委託量	267.03 t	235.31 t	687.98 t	29.06 t	206.57 t	510.21 t	391.13 t	132.89 t	430.85 t	14.93 t							
	優良認定処理業者への処理委託量	201.57 t	163.67 t	503.59 t	23.36 t	175.86 t	285.12 t	193.46 t	2.66 t	4.68 t	14.93 t							
	再生利用業者への処理委託量	267.03 t	235.31 t	687.98 t	29.06 t	206.57 t	510.21 t	378.81 t	132.89 t	430.85 t	0.00 t							
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年5月27日			
千葉県知事 殿			
提出者			
住 所 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館23階			
氏 名 桧家住宅カンパニー			
C00 伊藤正信			
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）			
電話番号 050-1702-1925			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	桧家住宅カンパニー 千葉支社		
事業場の所在地	千葉県柏市柏377-3		
事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,270.84 t	全処理委託量	3,270.84 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1,709.76 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	3,197.09 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 廃プラスチック類)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		①		②		⑧			
排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
① 296.70		③		⑥		⑨		⑫ 296.70	
		④		⑦		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量		⑬	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
		⑤		⑦		⑩ 296.70		⑭	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
						⑪ 223.97			

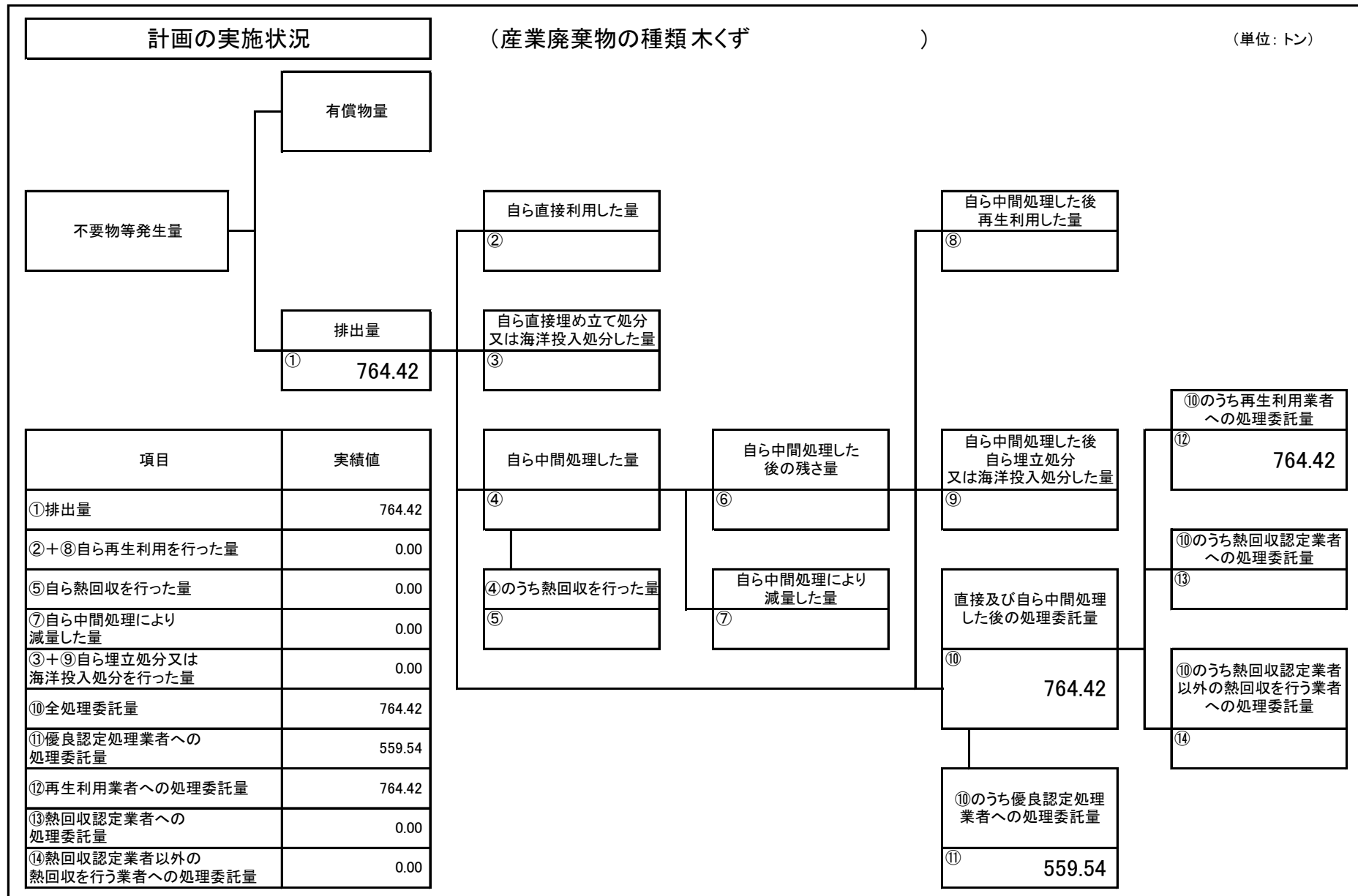
項目	実績値
①排出量	296.70
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	296.70
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	223.97
⑫再生利用業者への処理委託量	296.70
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 紙くず)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		②				⑧			
排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
① 261.45		③		⑥		⑨		⑫ 261.45	
		④		⑦		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量		⑬	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
		⑤		⑦		⑩ 261.45		⑭	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
						⑪ 181.86			

項目	実績値
①排出量	261.45
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	261.45
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	181.86
⑫再生利用業者への処理委託量	261.45
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)



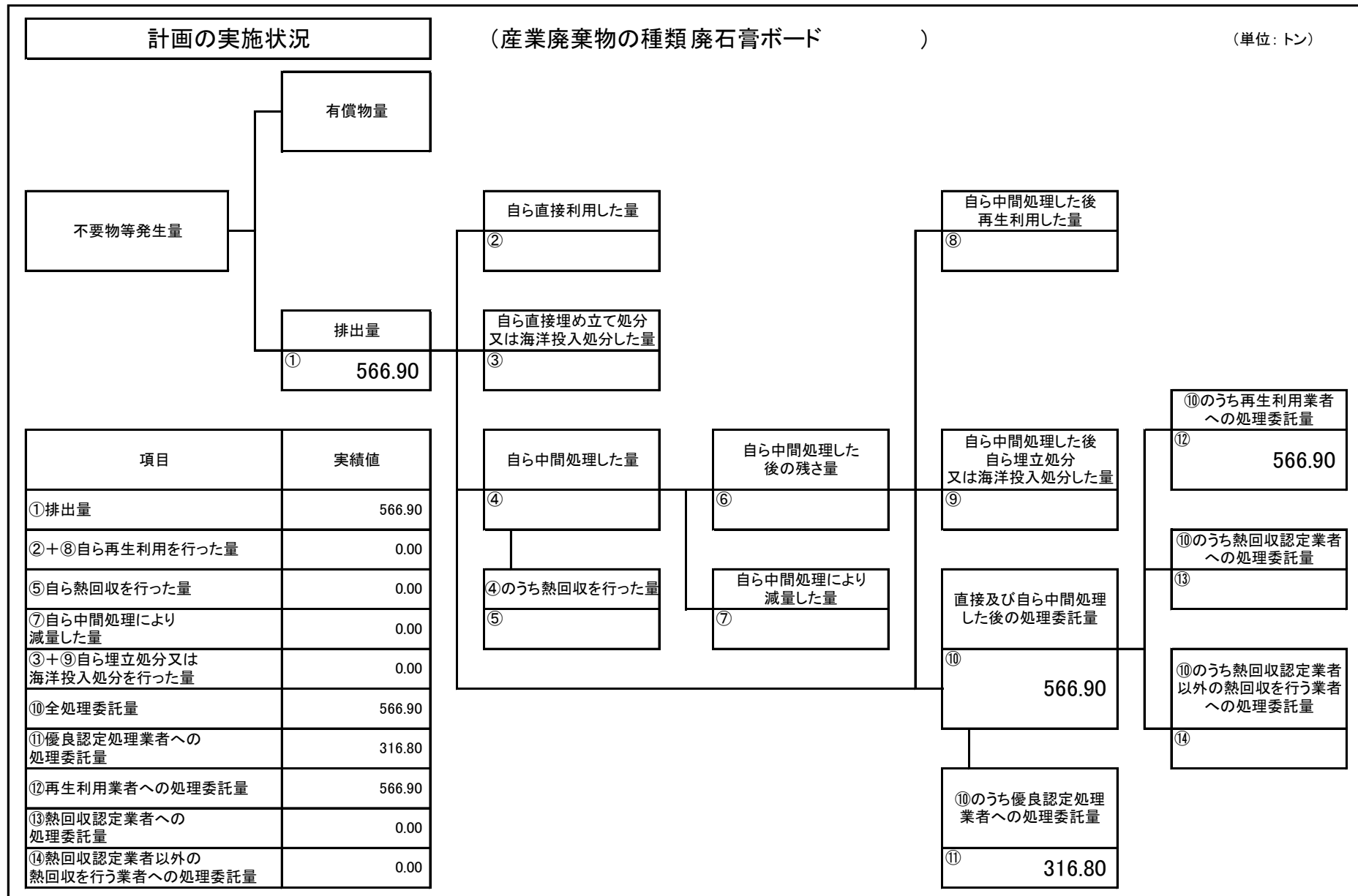
(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 金属くず)				(単位: トン)																				
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量																						
	排出量	②	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		⑧																					
	① 32.29	③																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>32.29</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により 減量した量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>32.29</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への 処理委託量</td> <td>25.96</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td>32.29</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への 処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績値	①排出量	32.29	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	32.29	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	25.96	⑫再生利用業者への処理委託量	32.29	⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量
	項目	実績値																								
	①排出量	32.29																								
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																								
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																								
	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00																								
	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00																								
	⑩全処理委託量	32.29																								
	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	25.96																								
	⑫再生利用業者への処理委託量	32.29																								
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00																									
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																									
④	⑥	⑨	⑫ 32.29																							
④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により 減量した量	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量																							
⑤	⑦	⑩	⑬																							
		32.29	⑭																							
		⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量																								
		⑪ 25.96																								

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 ガラス陶磁器等くず)				(単位: トン)																								
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量	②	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	⑫	229.52																						
	排出量	①	229.52	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量	③		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑬																						
<table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>①排出量</td><td>229.52</td></tr><tr><td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td><td>0.00</td></tr><tr><td>⑤自ら熱回収を行った量</td><td>0.00</td></tr><tr><td>⑦自ら中間処理により 減量した量</td><td>0.00</td></tr><tr><td>③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量</td><td>0.00</td></tr><tr><td>⑩全処理委託量</td><td>229.52</td></tr><tr><td>⑪優良認定処理業者への 処理委託量</td><td>195.40</td></tr><tr><td>⑫再生利用業者への処理委託量</td><td>229.52</td></tr><tr><td>⑬熱回収認定業者への 処理委託量</td><td>0.00</td></tr><tr><td>⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00</td></tr></tbody></table>	項目	実績値	①排出量	229.52	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	229.52	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	195.40	⑫再生利用業者への処理委託量	229.52	⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量	④	自ら中間処理した 後の残さ量	⑥	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑨	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭
	項目	実績値																												
	①排出量	229.52																												
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																												
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																												
	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00																												
	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00																												
	⑩全処理委託量	229.52																												
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	195.40																													
⑫再生利用業者への処理委託量	229.52																													
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00																													
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																													
	④のうち熱回収を行った量	⑤	自ら中間処理により 減量した量	⑦	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑩	229.52																							
					⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	⑪	195.40																							

(第2面)

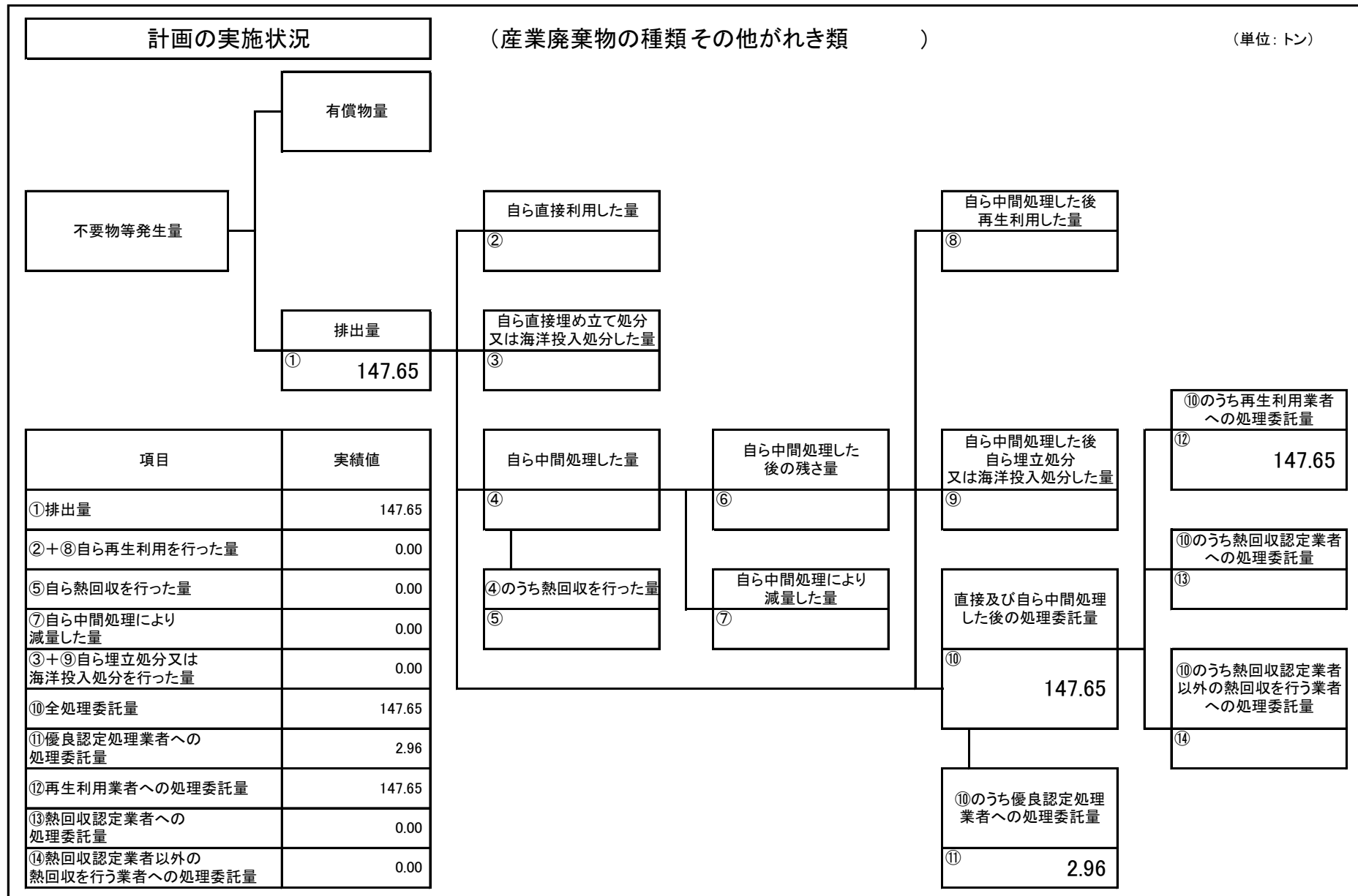


(第2面)

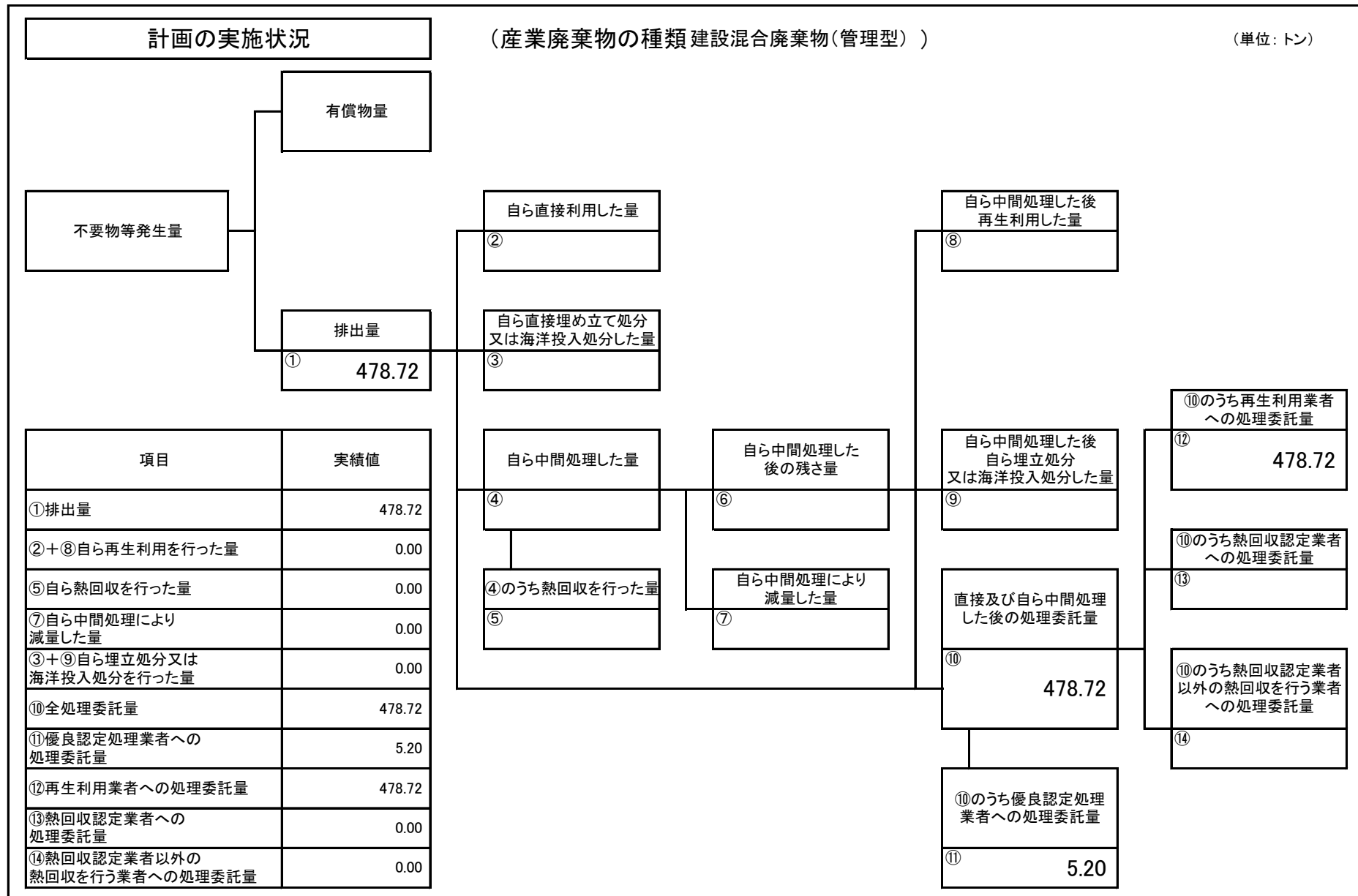
計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 コンクリート片)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		①		②		⑧			
排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
① 434.59		③		⑥		⑨		⑫ 420.90	
		④		⑦		⑩		⑬	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
		⑤		⑦		⑩ 434.59		⑭	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
						⑪ 214.95			

項目	実績値
①排出量	434.59
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	434.59
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	214.95
⑫再生利用業者への処理委託量	420.90
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)



(第2面)



(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		②				⑧			
排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した 後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
① 16.58		③		⑥		⑨		⑫	
		④		⑦		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量		⑬	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
		⑤		⑦		⑩ 16.58		⑭	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
						⑪ 16.58			

項目	実績値
①排出量	16.58
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	16.58
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	16.58
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月3日	
千葉県知事 殿	
提出者	
住 所 千葉県柏市豊四季1004番地	
氏 名 広島建設株式会社	
代表取締役 島田 秀貴	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 04-7143-1110	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	広島建設株式会社
事業場の所在地	千葉県柏市豊四季1004番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	286億円
③従業員数	330人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 余剰材の回収、抑制。 ・ 梱包材の簡素化、養生材の削減。 ・ 発生抑制に関する情報収集。 ・ 一部現場の外壁材のフレット化。 ・ 実寸発注の実施（木くずの削減）。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 上記の継続実施、品質向上。 ・ 設備材のフレット化。 ・ 外壁材のフレット化の全棟実施推進。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 木くず、ダンボール、石膏ボード、廃プラスチックを分別。 ・ 品目毎の専用カゴの設置。 ・ 分別に関する情報収集。 ・ 現場毎の分別作業の確認及び指導。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 上記の継続実施、品質向上。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 該当無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 該当無し。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 該当無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・ 該当無し。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・該当無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） ・該当無し。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・委託基準に従って委託できる業者の選定。 ・電子マニフェストの運用、管理。 ・可能なかぎり優良認定業者から選定する。 ・委託処分事業者の現地確認の実施。 ・再生処理を中心にした業者選定の促進。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・上記の継続実施。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図

主な処理の工程

廃プラスチック → 破碎/圧縮 → 再利用又は埋立

紙くず → 破碎/圧縮 → 再利用

木くず → 破碎 → 再利用

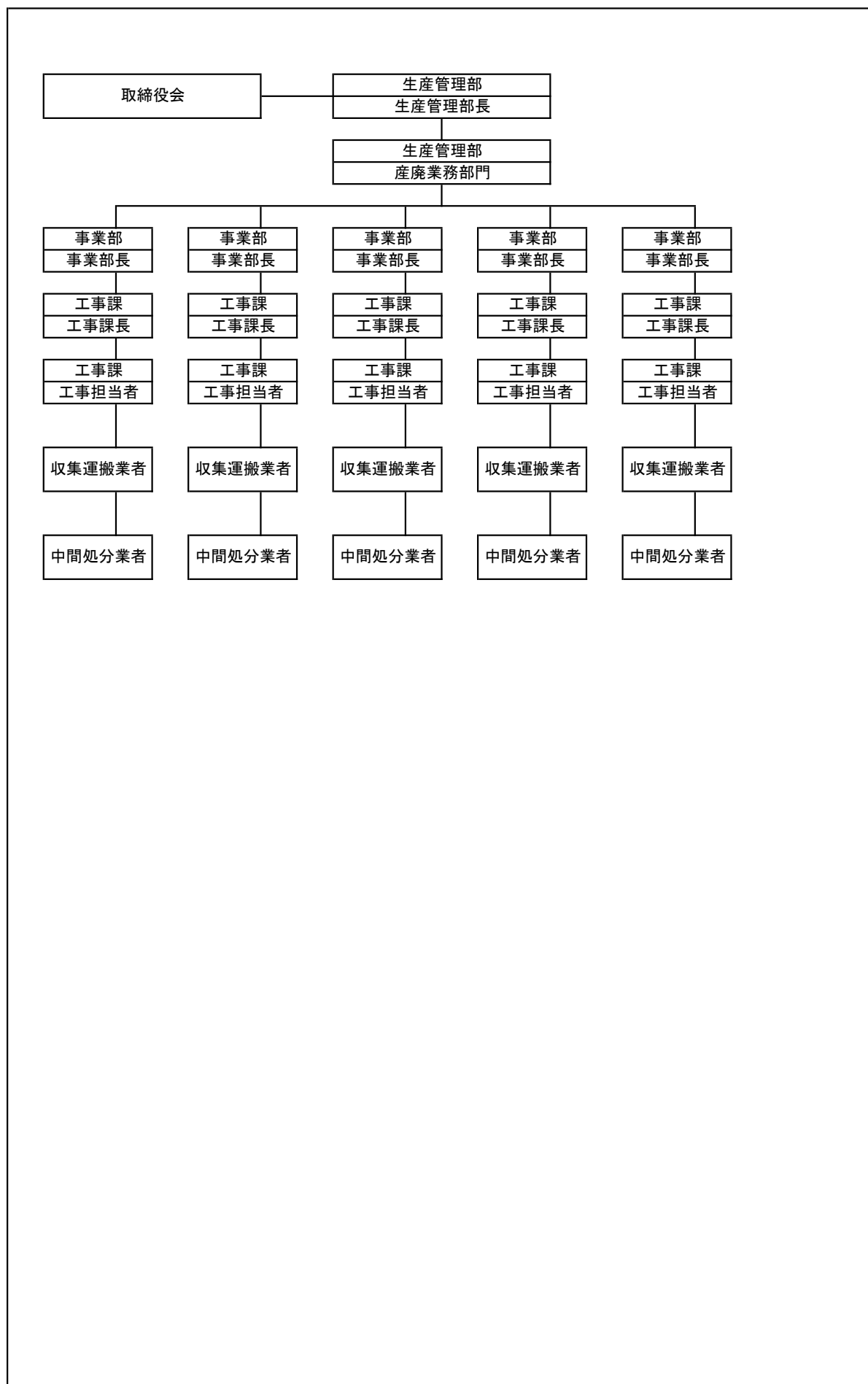
金属くず → 破碎 → 再利用

ガラス、陶磁器くず → 破碎 → 再利用又は埋立

がれき類 → 破碎 → 再利用又は埋立

収集運搬及び中間処分・最終処分を業者に委託 （委託先処理業者によって内容が異なる場合有）

別添2 管理体制図



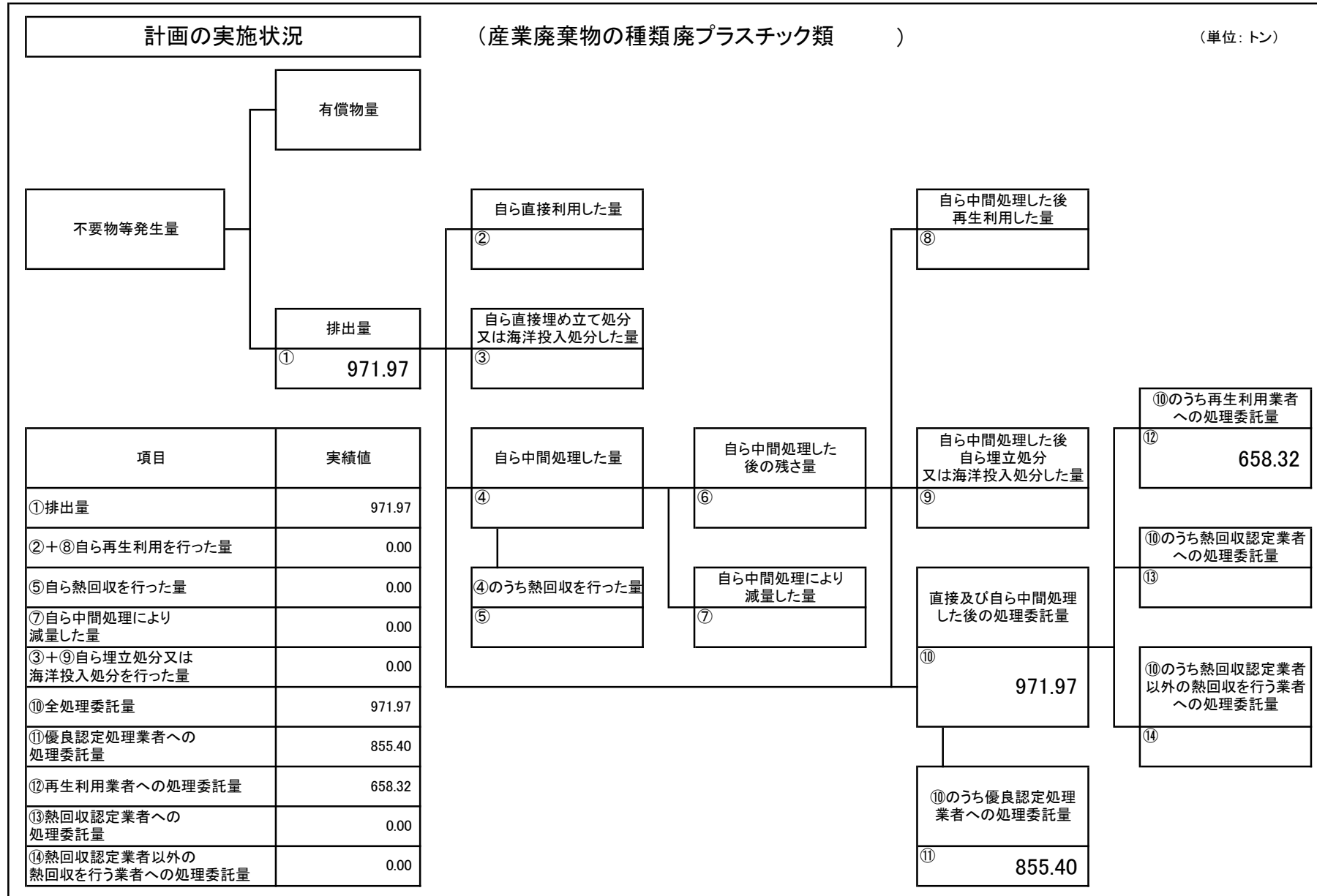
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	排出量	971.97 t	523.40 t	1,734.65 t	28.40 t	16.90 t	596.29 t	569.40 t	793.02 t	97.34 t	260.80 t	2.00 t	2,743.96 t	24.00 t				
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	排出量	874.77 t	471.06 t	1,561.19 t	25.56 t	15.21 t	536.66 t	512.46 t	713.72 t	87.61 t	234.72 t	1.80 t	2,469.56 t	21.60 t				
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	全処理委託量	971.97 t	523.40 t	1,734.65 t	28.40 t	16.90 t	596.29 t	569.40 t	793.02 t	97.34 t	260.80 t	2.00 t	2,743.96 t	24.00 t				
	優良認定処理業者への処理委託量	855.40 t	509.70 t	1,609.31 t	1.00 t	12.40 t	540.10 t	526.40 t	104.72 t	38.77 t	7.90 t	0.00 t	74.90 t	20.00 t				
	再生利用業者への処理委託量	658.32 t	348.00 t	1,026.08 t	5.85 t	1.80 t	438.80 t	447.70 t	337.60 t	0.40 t	208.90 t	0.00 t	73.40 t	0.00 t				
	認定熟回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	認定熟回収業者以外の熟回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	全処理委託量	874.77 t	471.06 t	1,561.19 t	25.56 t	15.21 t	536.66 t	512.46 t	713.72 t	87.61 t	234.72 t	1.80 t	2,469.56 t	21.60 t				
	優良認定処理業者への処理委託量	769.86 t	458.73 t	1,448.38 t	0.90 t	11.16 t	486.09 t	473.76 t	94.25 t	34.89 t	7.11 t	0.00 t	67.41 t	18.00 t				
	再生利用業者への処理委託量	592.49 t	313.20 t	923.47 t	5.27 t	1.62 t	394.92 t	402.93 t	303.84 t	0.36 t	188.01 t	0.00 t	66.06 t	0.00 t				
	認定熟回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	認定熟回収業者以外の熟回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書				
令和6年6月3日				
千葉県知事 殿				
提出者				
住 所 千葉県柏市豊四季1004番地				
氏 名 広島建設株式会社				
代表取締役 島田 秀貴				
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)				
電話番号 04-7143-1110				
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。				
事業場の名称		広島建設株式会社		
事業場の所在地		千葉県柏市豊四季1004番地		
事業の種類		06 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間		令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値				
項目		目標値	項目	目標値
排出量		8,287.60 t	全処理委託量	8,287.60 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	優良認定処理業者への処理委託量	5,138.86 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	再生利用業者への処理委託量	3,012.47 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量		t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄				

(第2面)



(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 紙くず)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量	自ら直接利用した量	②	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧			
		排出量	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量	③	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑨	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	⑫	
		① 523.40	④	⑥	⑩ 523.40	⑬	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑭	
			④のうち熱回収を行った量	⑦	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑪	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量		
						⑪ 509.70			

項目	実績値
①排出量	523.40
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	523.40
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	509.70
⑫再生利用業者への処理委託量	348.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 木くず)				(単位: トン)																				
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量																						
	排出量	②		⑧																						
	① 1,734.65	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量																								
		③																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>1,734.65</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により減量した量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>1,734.65</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への処理委託量</td> <td>1,609.31</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td>1,026.08</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績値	①排出量	1,734.65	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	1,734.65	⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,609.31	⑫再生利用業者への処理委託量	1,026.08	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量
	項目	実績値																								
	①排出量	1,734.65																								
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																								
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																								
	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00																								
	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00																								
	⑩全処理委託量	1,734.65																								
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,609.31																									
⑫再生利用業者への処理委託量	1,026.08																									
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00																									
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																									
④	⑥	⑨	⑫ 1,026.08																							
④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量																							
⑤	⑦		⑬																							
		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量																							
		⑩ 1,734.65	⑭																							
		⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量																								
		⑪ 1,609.31																								

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 繊維くず)				(単位: トン)
不要物等発生量	有償物量					
	排出量 ① 28.40					
		自ら直接利用した量 ②				
		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量 ③				
		自ら中間処理した量 ④	自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥	自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧		
		④のうち熱回収を行った量 ⑤	自ら中間処理により 減量した量 ⑦	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 ⑨		
					⑩のうち再生利用業者 への処理委託量 ⑫ 5.85	
					⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量 ⑬	
					⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑭	
					⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量 ⑪ 1.00	

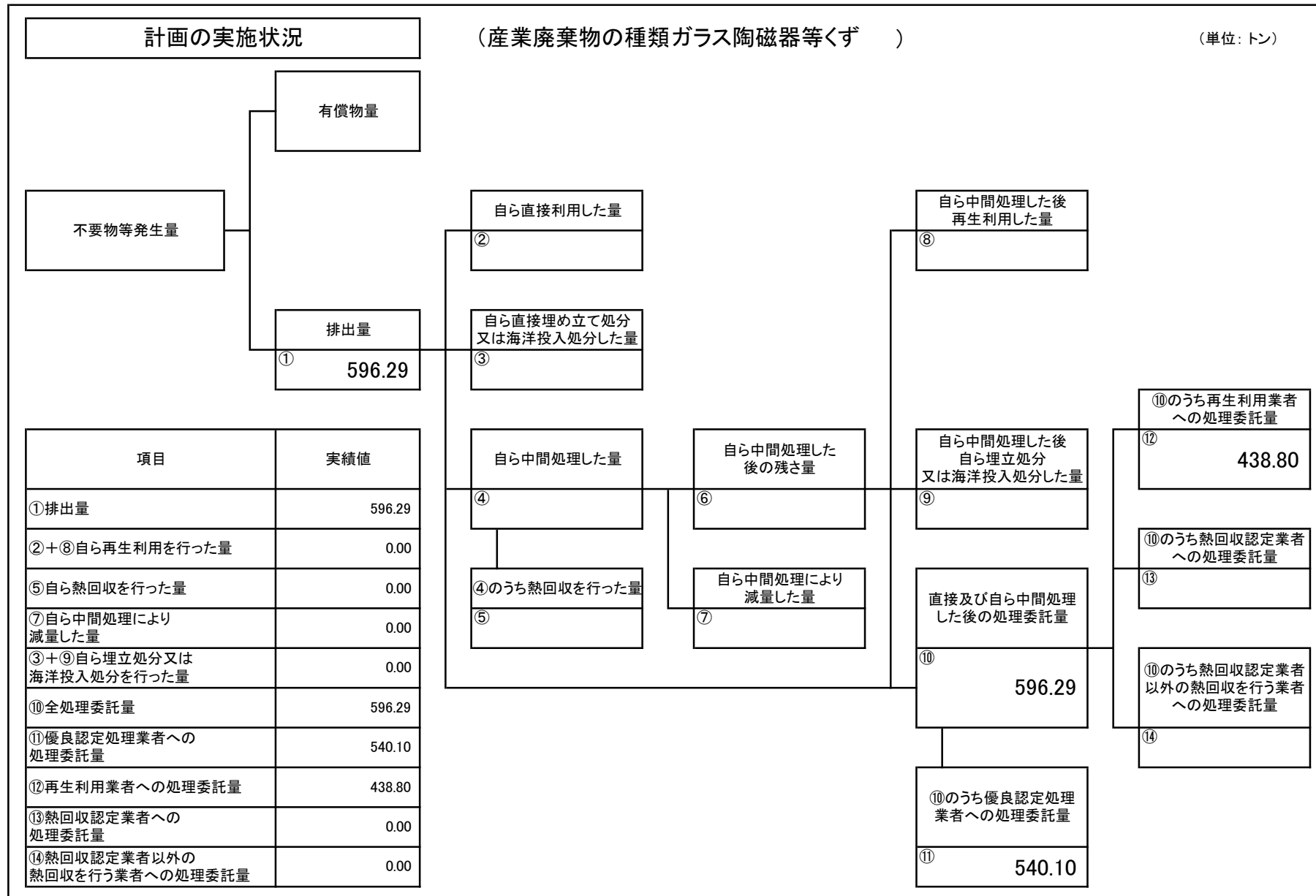
項目	実績値
①排出量	28.40
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	28.40
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	1.00
⑫再生利用業者への処理委託量	5.85
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

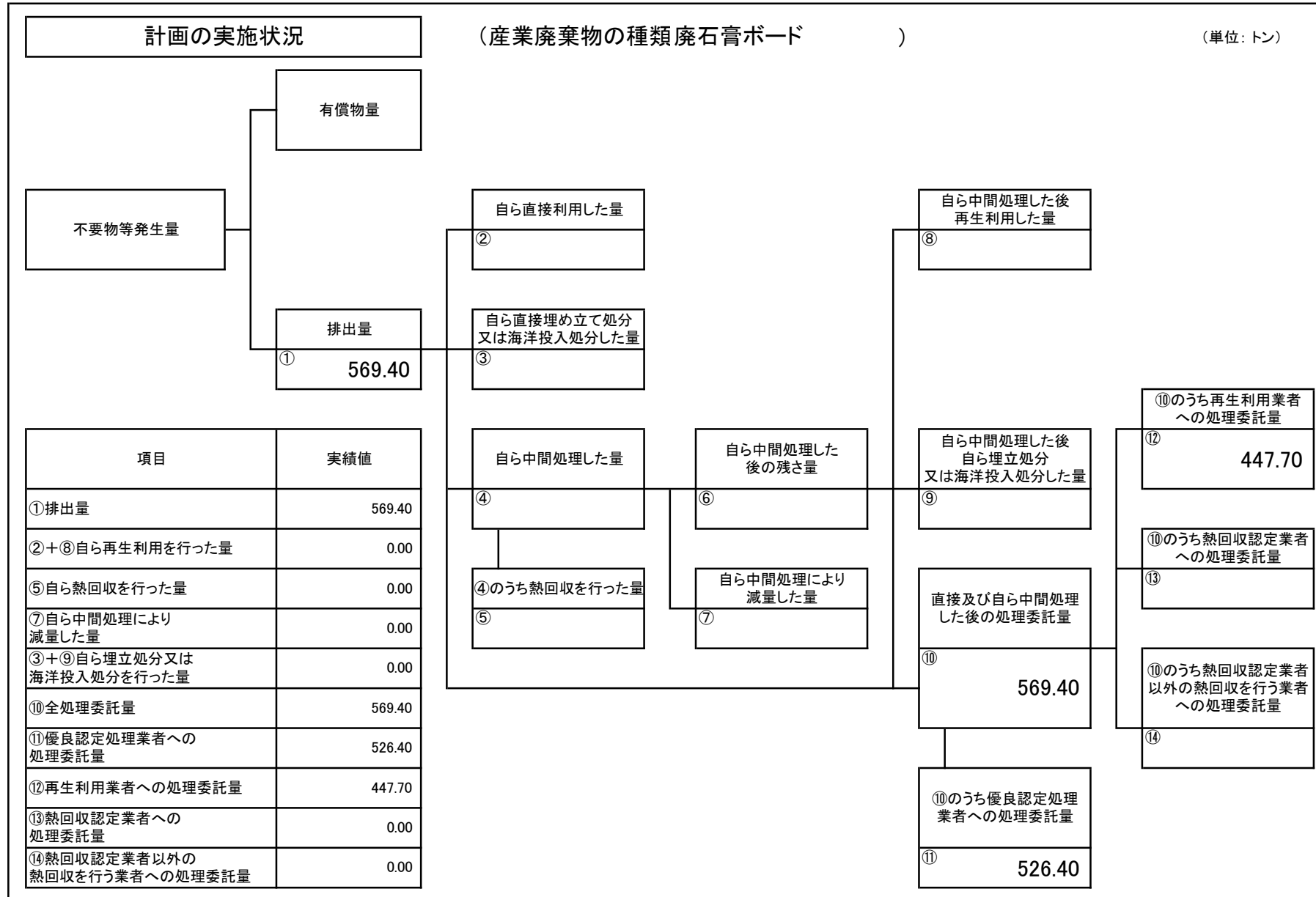
計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 金属くず)				(単位: トン)
不要物等発生量	有償物量					
	排出量 ① 16.90					
		自ら直接利用した量 ②				
		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量 ③				
		自ら中間処理した量 ④	自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥	自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧		
		④のうち熱回収を行った量 ⑤	自ら中間処理により 減量した量 ⑦	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 ⑨		
					⑩のうち再生利用業者 への処理委託量 ⑫ 1.80	
					⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量 ⑬	
					⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑭	
					⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量 ⑪ 12.40	

項目	実績値
①排出量	16.90
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	16.90
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.40
⑫再生利用業者への処理委託量	1.80
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)



(第2面)



(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類コンクリート片)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後再生利用した量			
		排出量		②		⑧			
		① 793.02		自ら直接埋め立て処分又は海洋投入処分した量					
				③					
				自ら中間処理した量		自ら中間処理した後の残さ量		自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
				④		⑥		⑨	
				④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により減量した量		直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
				⑤		⑦		⑩ 793.02	
								⑩のうち再生利用業者への処理委託量	
								⑫ 337.60	
								⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
								⑬	
								⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
								⑭	
								⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
								⑪ 104.72	

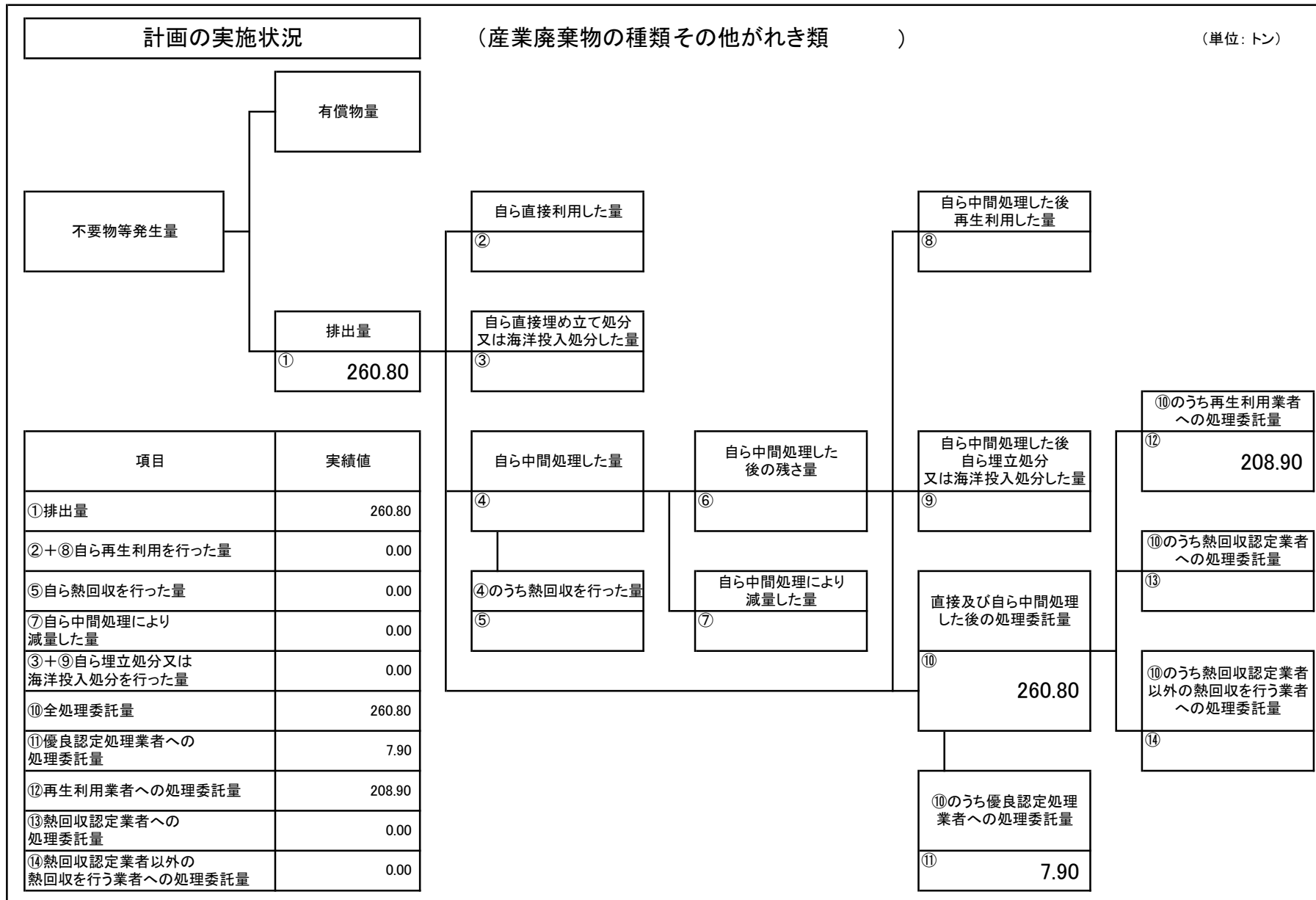
項目	実績値
①排出量	793.02
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	793.02
⑪優良認定処理業者への処理委託量	104.72
⑫再生利用業者への処理委託量	337.60
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類アス・コン片)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
				②		⑧			
		排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量					
		① 97.34		③					
				自ら中間処理した量		自ら中間処理した 後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	
				④		⑥		⑨	
				④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	
				⑤		⑦		⑩ 97.34	
								⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
								⑫ 0.40	
								⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
								⑬	
								⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
								⑭	
								⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	
								⑪ 38.77	

項目	実績値
①排出量	97.34
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	97.34
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	38.77
⑫再生利用業者への処理委託量	0.40
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

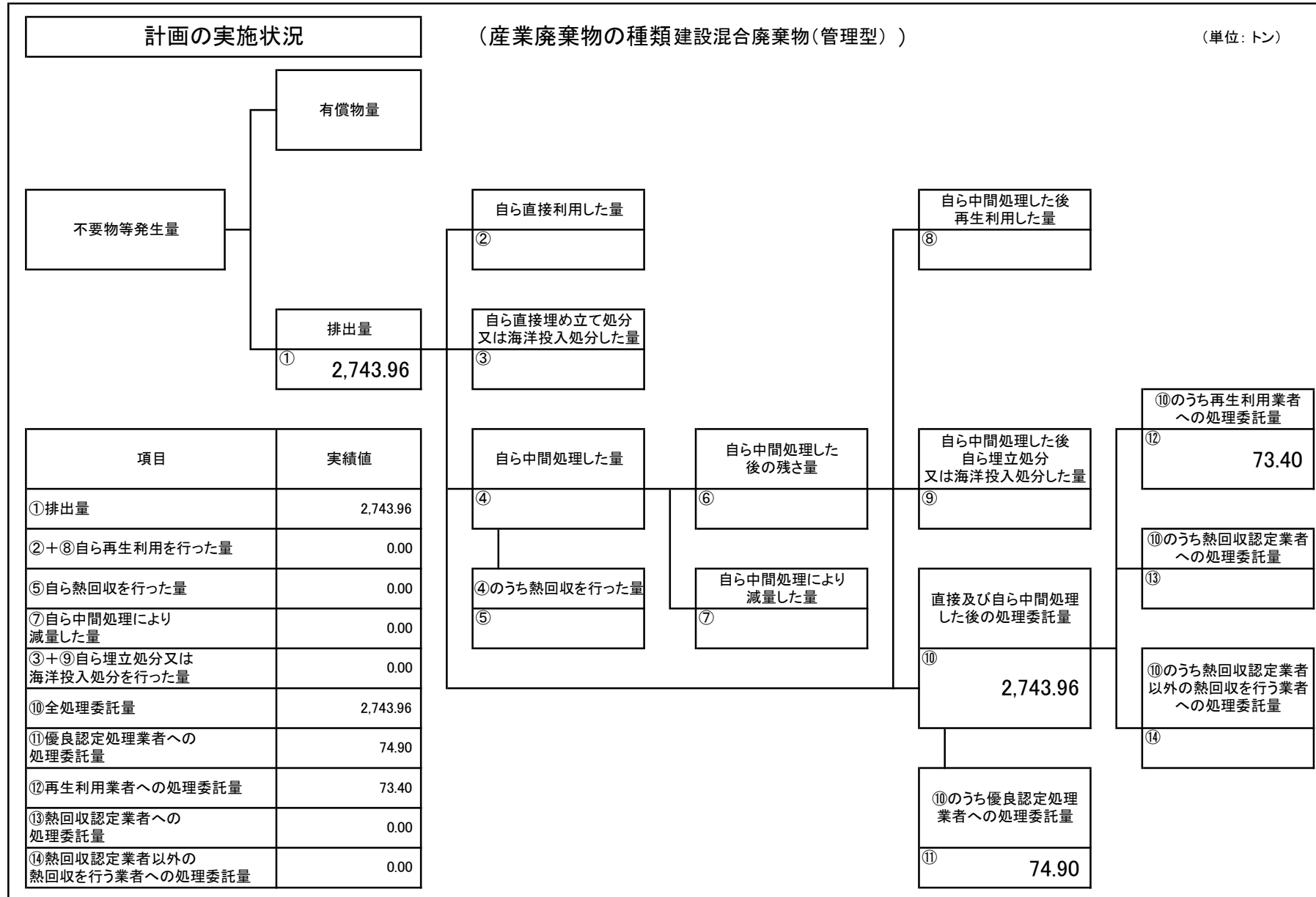


(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類建設混合廃棄物(安定型))				(単位:トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
				②		⑧			
		排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量					
		① 2.00		③					
				自ら中間処理した量		自ら中間処理した 後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	
				④		⑥		⑨	
				④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	
				⑤		⑦		⑩ 2.00	
								⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
								⑫	
								⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
								⑬	
								⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
								⑭	
								⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	
								⑪	

項目	実績値
①排出量	2.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2.00
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)



(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
				②		⑧			
		排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量					
		① 24.00		③					
				自ら中間処理した量		自ら中間処理した 後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	
				④		⑥		⑨	
				④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	
				⑤		⑦		⑩ 24.00	
								⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
								⑫	
								⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
								⑬	
								⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
								⑭	
								⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	
								⑪ 20.00	

項目	実績値
①排出量	24.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	24.00
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	20.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月24日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 105-0001
住 所 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平
タワー10階
法人名 株式会社フィールド・パートナーズ
代表者 長沢 泰輔
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-6268-8857

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社フィールド・パートナーズ		
事業場の所在地	東京都港区虎ノ門1-2-8虎ノ門琴平タワー10階		
計画期間	令和6年4月1日	から	令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類： D06－総合工事業
②事業の規模	売上26,246百万円（2023年度）		
③従業員数	164名		
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	別添 1 処理工程図のとおり		

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別添2 管理体制図のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	1178.8 t	25.1 t
	(これまでに実施した取組) ・梱包材の簡素化を実施している。 ・金属くずは有価売却処分を実施している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	1060.9 t	22.6 t
	(今後実施する予定の取組) ・梱包材の簡素化を促進する。 ・金属くずは有価売却処分を促進する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・単品袋詰め、またはコンテナに単品集積。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・単品袋詰め、またはコンテナに単品集積し、分別保管のスペースを確保する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	全 処 理 委 託 量	1178.8 t	25.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	86.6 t	25.1 t
	再生利用業者への処理委託量	1178.8 t	25.1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・再生利用先が確立された中間処理業者を選定した。		

(第5面)

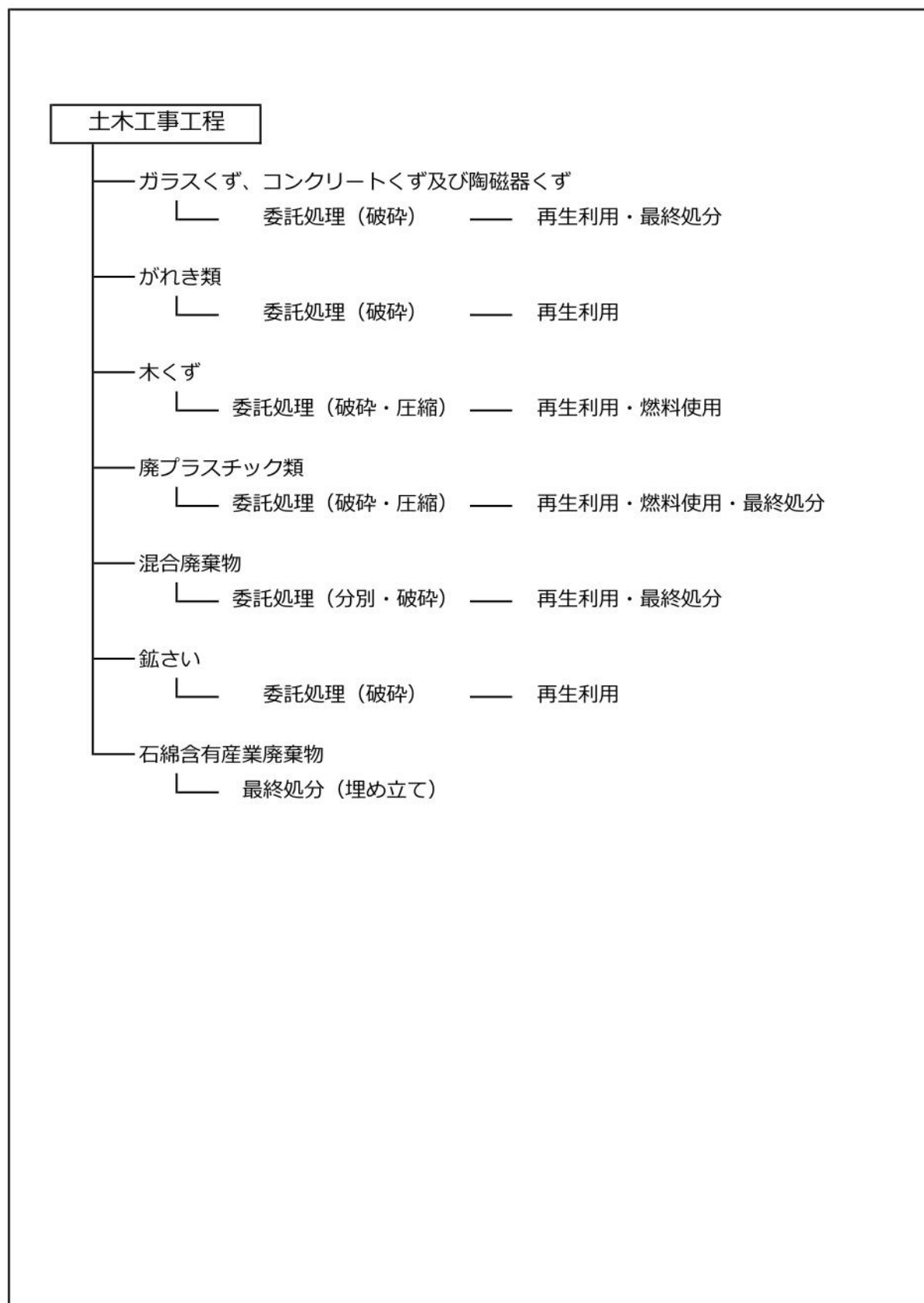
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	全 処 理 委 託 量	1060.9 t	22.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	77.9 t	22.6 t
	再生利用業者への処理委託量	1060.9 t	22.6 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用先が確立された中間処理業者を選定する。 ・優良認定処理業者を優先的に選定する。		
	※事務処理欄		

(第6面)

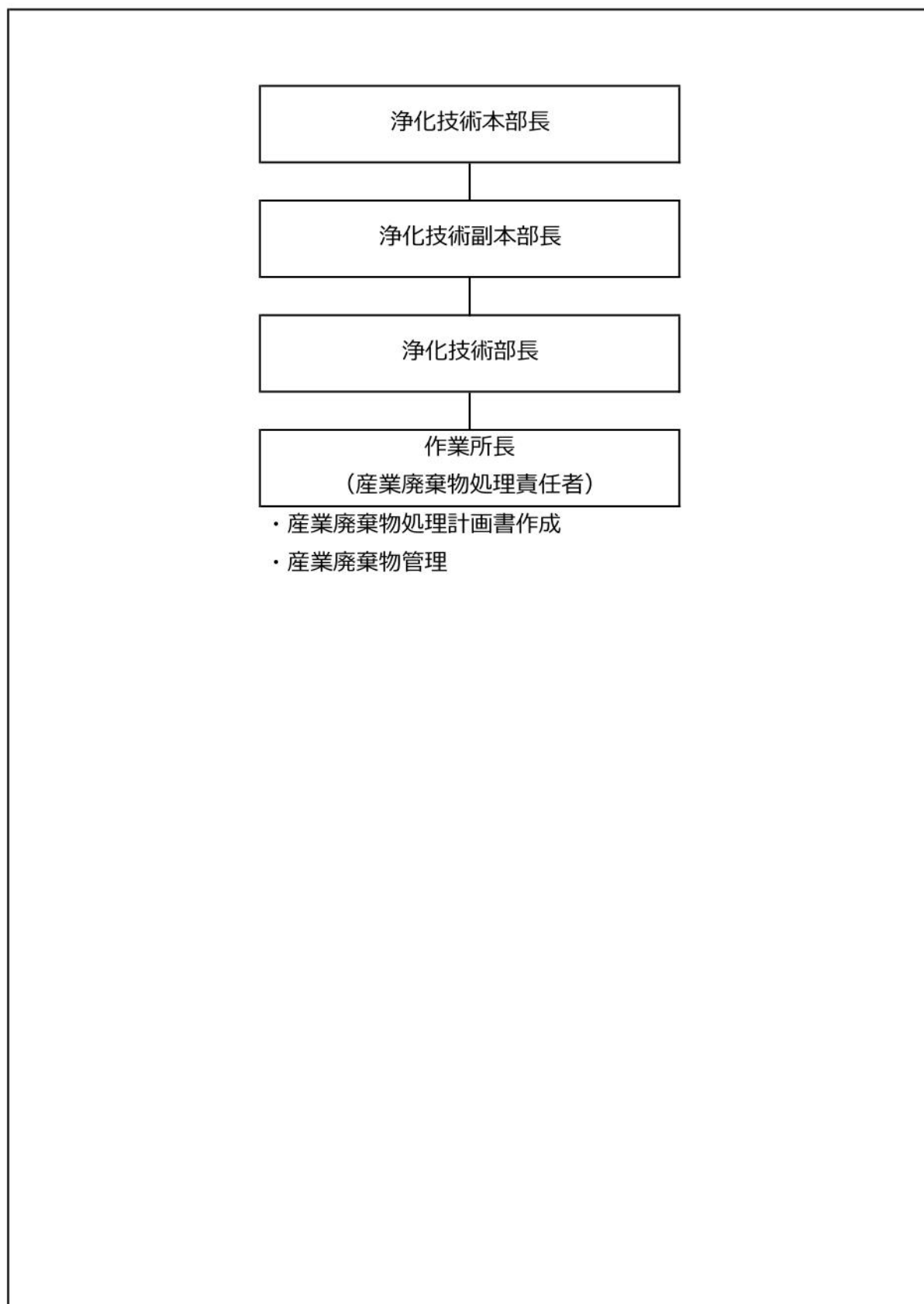
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図



別添 2 管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物	鋳さい	石綿含有産業廃棄物	廃プラスチック類	木くず			
		排 出 量	19.5 t	2589.7 t	328.6 t	23.5 t	147.5 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		その他混合廃棄物	鋳さい	石綿含有産業廃棄物	廃プラスチック類	木くず				
排 出 量		17.6 t	2330.7 t	295.7 t	21.2 t	132.8 t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物	鋳さい	石綿含有産業廃棄物	廃プラスチック類	木くず			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物	鋳さい	石綿含有産業廃棄物	廃プラスチック類	木くず			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物	鋳さい	石綿含有産業廃棄物	廃プラスチック類	木くず			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物	鋳さい	石綿含有産業廃棄物	廃プラスチック類	木くず			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物	鉦さい	石綿含有産業廃棄物	廃プラスチック類	木くず			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物	鉦さい	石綿含有産業廃棄物	廃プラスチック類	木くず			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

産業廃棄物の処理委託に関する事項

	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物	鉋さい	石綿含有産業廃棄物	廃プラスチック類	木くず			
①現状	全処理委託量	19.5 t	2589.7 t	328.6 t	23.5 t	147.5 t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	19.5 t	0 t	328.6 t	23.5 t	0 t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	19.5 t	2589.7 t	0 t	23.5 t	147.5 t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	【目標】								
	産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物	鉋さい	石綿含有産業廃棄物	廃プラスチック類	木くず			
②計画	全処理委託量	17.6 t	2330.7 t	295.7 t	21.2 t	132.8 t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	17.6 t	0 t	295.7 t	21.2 t	0 t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	17.6 t	2330.7 t	0 t	21.2 t	132.8 t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月24日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 951-8132
住 所 新潟県新潟市中央区一番堀通町3-10
法人名 株式会社 福田組
代表者 荒明 正紀
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 025-266-9113

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社福田組 東京本店		
事業場の所在地	東京都千代田区九段北 3 - 2 - 4		
計画期間	令和6年4月1日	から	令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類： 総合工事業
②事業の規模	建設工事元請完成工事高 27, 127, 415, 005円		
③従業員数	227名		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添 1 処理工程図のとおり		

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別添2 管理体制図のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	アス・コン片
	排出量	276.04 t	3684.15 t
	(これまでに実施した取組) 当初の設計数量より過剰に産業廃棄物を発生させないよう指導しています。 契約数量に対しある程度の増減は許容しますが、大幅に増えている品目については重点管理を行いました。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	アス・コン片
	排出量	248.44 t	3315.74 t
	(今後実施する予定の取組) 分別の徹底を図るとともに、梱包材などは軽微（リデュース）または引き取らせる（リユース）などし、発生自体の抑制を行います。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 土木工事では混合廃棄物の削減に取り組み、「安定型のみ」「管理型含む」の分別を徹底し最終処分量の削減を目指しています。建築工事では施工面積の原単位当りの廃棄物発生抑制に取り組み、集合住宅や店舗などといった工作物ごとに発生量の目標をもうけ監視しています。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 施工計画の段階でおおよそどの品目がどれくらい発生しそうかを想定し、それに見合った分別ボックスを設置するように指導します。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	アス・コン片
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	アス・コン片
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	アス・コン片
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	アス・コン片
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	アス・コン片
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	アス・コン片
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	アス・コン片
	全 処 理 委 託 量	276.04 t	3684.15 t
	優良認定処理業者への処理委託量	86.04 t	2.7 t
	再生利用業者への処理委託量	276.04 t	3684.15 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	データベースを用いたシステムにより、マニフェスト及び排出量の管理を行っています。これによりマニフェストの回収漏れ（中間処理・最終処分の遅滞）、異常発生（短期間に大量処分）がないか監視できるスキームを構築しています。		

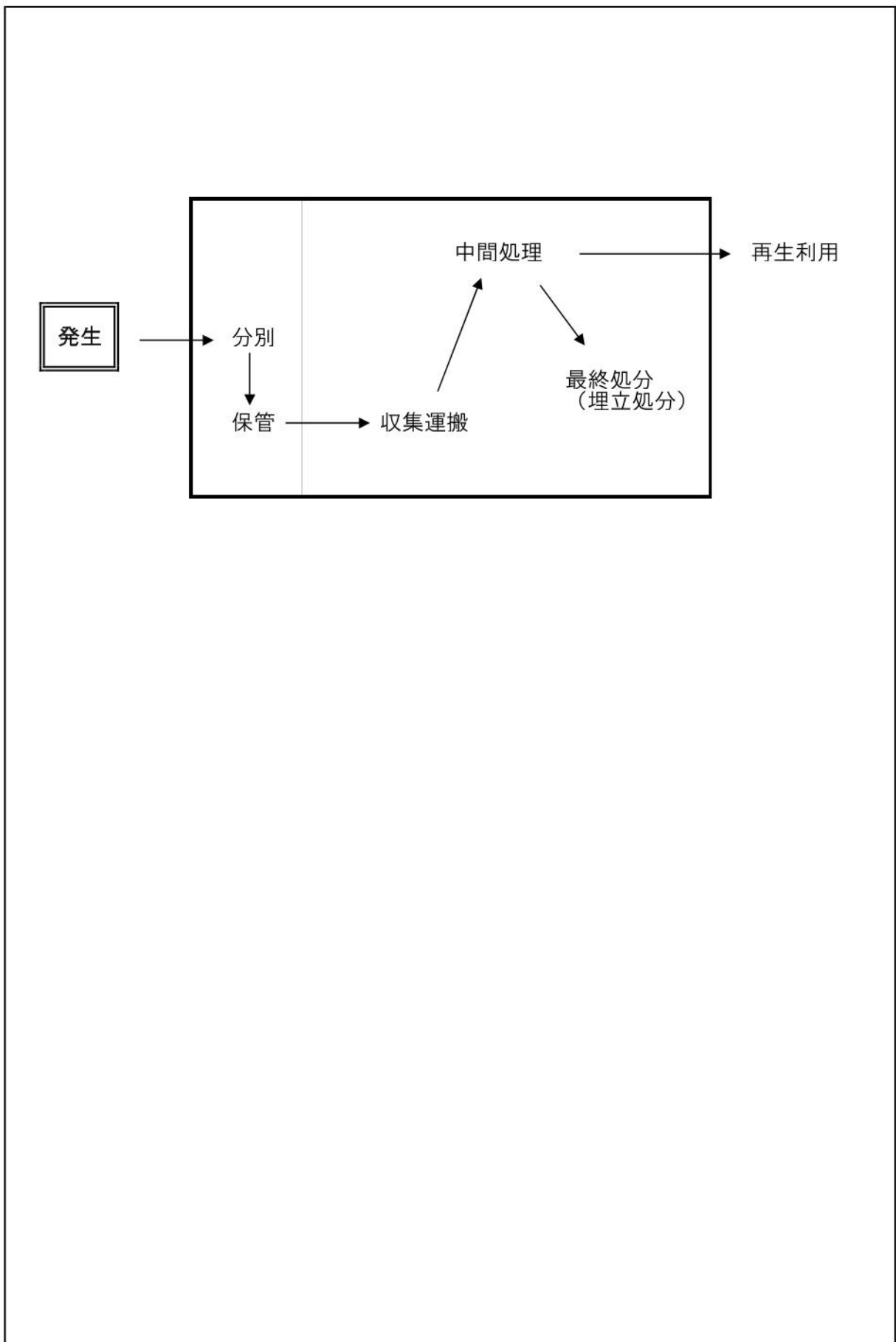
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	アス・コン片
	全 処 理 委 託 量	248.44 t	3315.74 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.57 t	331.57 t
	再生利用業者への処理委託量	248.44 t	3315.74 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者を積極的に徴用することが望ましいと考えます。現状では優良認定処理業者がまだ少なく、発生場所である現場から遠いなど立地的な問題もありますが、発生場所からほぼ同距離であれば、不法処理・処分などのリスクが少ない優良認定処理業者を積極的に選定するよう指導していきたいと考えます。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

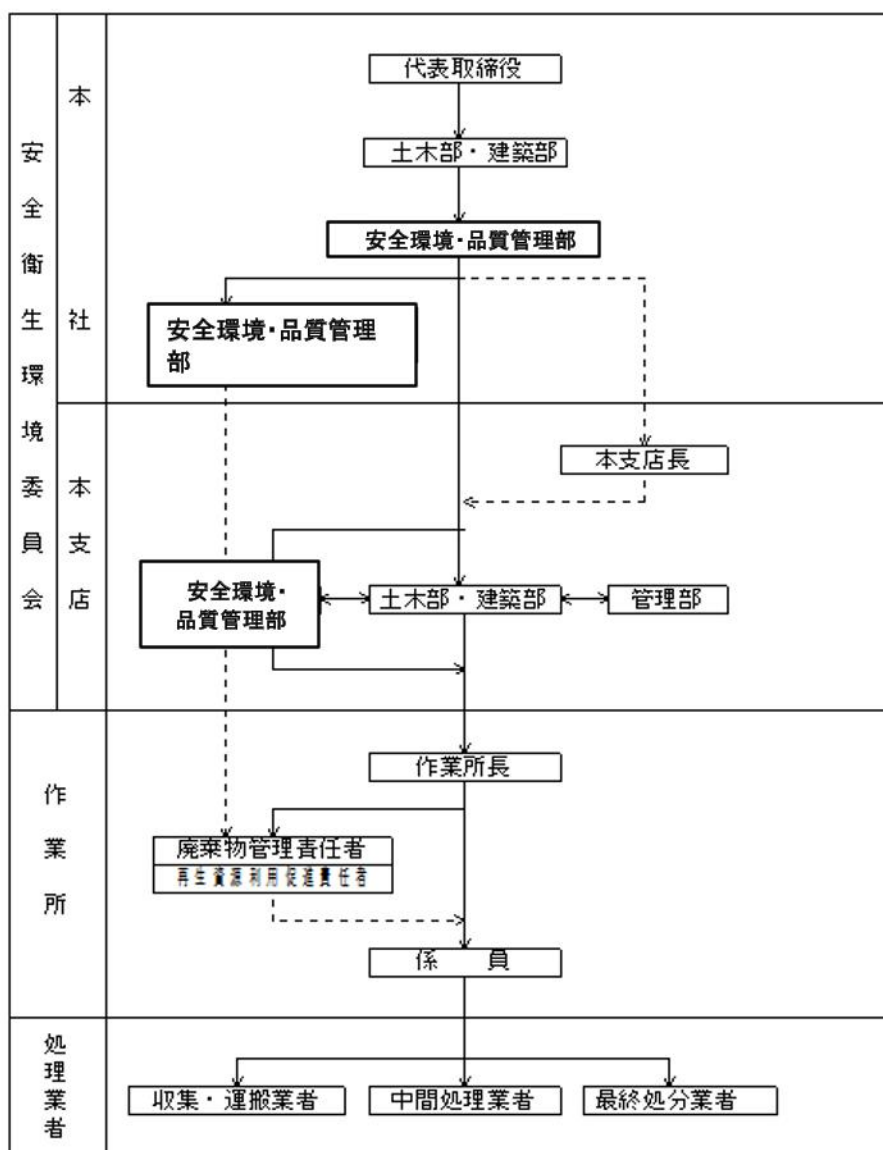
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添1 処理工程図



別添2 管理体制図

株式会社 福田組



[illegible]

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																
①現状	【前年度（令和5年度）実績】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	合 計
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
②計画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	合 計
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																
①現状	【前年度（令和6年度）実績】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	合 計
	全処理委託量	8.40 t	3.66 t	79.50 t	3.95 t	48.40 t	0.40 t	2.70 t	26.82 t	17.40 t	276.04 t	3,684.15 t	6.75 t	0.30 t	35.70 t	4,194.17 t
	優良認定処理業者への処理委託量	8.40 t	0.00 t	79.50 t	3.95 t	48.40 t	0.40 t	2.70 t	26.82 t	17.40 t	86.04 t	2.70 t	6.75 t	0.30 t	35.70 t	319.06 t
	再生利用業者への処理委託量	8.40 t	3.66 t	79.50 t	3.95 t	48.40 t	0.40 t	2.70 t	26.82 t	17.40 t	276.04 t	3,684.15 t	6.75 t	0.30 t	35.70 t	4,194.17 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	【目標】															
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	合 計
	全処理委託量	7.56 t	3.29 t	71.55 t	3.56 t	43.56 t	0.36 t	2.43 t	24.14 t	15.66 t	248.44 t	3,315.74 t	6.08 t	0.27 t	32.13 t	3,774.77 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.76 t	0.33 t	7.16 t	0.36 t	4.36 t	0.04 t	0.24 t	2.41 t	1.57 t	24.84 t	331.57 t	0.61 t	0.03 t	3.21 t	377.49 t
	再生利用業者への処理委託量	7.56 t	3.29 t	71.55 t	3.56 t	43.56 t	0.36 t	2.43 t	24.14 t	15.66 t	248.44 t	3,315.74 t	6.08 t	0.27 t	32.13 t	3,774.77 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	【目標】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	合 計

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月24日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 951-8132			
住所 新潟県新潟市中央区一番堀通町3-10			
法人名 株式会社福田組			
代表者 荒明 正紀			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 025-266-9113			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社福田組 東京本店		
事業場の所在地	東京都千代田区九段北3-2-4		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4005.46 t	全処理委託量	4005.46 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	400.54 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	4005.46 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
8.4t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
8.4 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
8.4 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
8.4 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	8.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
			0.0 t	0.0 t	
	①排出量	3.7 t	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
			0.0 t		
		④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
		0.0 t	0.0 t	0.0 t	3.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量		⑤ ④のうち熱回収を行った量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
0.0 t		⑦自ら中間処理により減量した量		⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		0.0 t		0.0 t	
⑤自ら熱回収を行った量				⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
0.0 t				3.7 t	
⑦自ら中間処理により減量した量				⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
0.0 t				0.0 t	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量					
0.0 t					
⑩全処理委託量					
3.7 t					
⑪優良認定処理業者への処理委託量					
0.0 t					
⑫再生利用業者への処理委託量					
3.7 t					
⑬熱回収認定業者への処理委託量					
0.0 t					
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
0.0 t					

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
79.5 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
79.5 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
79.5 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
79.5 t

項目	実績値
①排出量	79.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	79.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	79.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	79.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
			0.0 t	0.0 t	
	①排出量	4.0t	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
			0.0 t		
		④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
		0.0 t	0.0 t	0.0t	4.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量					
0.0 t					
⑤自ら熱回収を行った量		⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t					
⑦自ら中間処理により減量した量		0.0 t	0.0 t	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	0.0 t
0.0 t				4.0 t	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量					⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t					
⑩全処理委託量				⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
4.0 t				4.0 t	
⑪優良認定処理業者への処理委託量					
4.0 t					
⑫再生利用業者への処理委託量					
4.0 t					
⑬熱回収認定業者への処理委託量					
0.0 t					
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
0.0 t					

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
48.4t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤自ら熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
48.4 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
48.4 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
48.4 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	48.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	48.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	48.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	48.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.4 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.4 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.4 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
0.4 t

項目	実績値
①排出量	0.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
2.7 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
2.7 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
2.7 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
2.7 t

項目	実績値
①排出量	2.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器等くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
26.8 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
26.8 t

①排出量
26.8 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
26.8 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	26.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	26.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
17.4t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
17.4 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
17.4 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
17.4 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	17.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	17.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

コンクリート片

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量		有償物量		②自ら直接再生利用した量		⑧自ら中間処理した後再生利用した量			
				0.0 t		0.0 t			
		①排出量		③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量					
		276.0t		0.0 t					
		④自ら中間処理した量		⑥自ら中間処理した後の残さ量		⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	
		0.0 t		0.0 t		0.0t		276.0 t	
		⑤ ④のうち熱回収を行った量		⑦自ら中間処理により減量した量				⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
		0.0 t		0.0 t				0.0 t	
						⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
						276.0 t		0.0 t	
						⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量			
						86.0 t			
項目		実績値							
①排出量		276.0 t							
②+⑧自ら再生利用を行った量		0.0 t							
⑤自ら熱回収を行った量		0.0 t							
⑦自ら中間処理により減量した量		0.0 t							
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		0.0 t							
⑩全処理委託量		276.0 t							
⑪優良認定処理業者への処理委託量		86.0 t							
⑫再生利用業者への処理委託量		276.0 t							
⑬熱回収認定業者への処理委託量		0.0 t							
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.0 t							

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アス・コン片)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
3684.2t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
3684.2 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
2.7 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
3684.2 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	3684.2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3684.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3684.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

その他がれき類

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0.0 t

④自ら中間処理した量

0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量

0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量

0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量

0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

6.8 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

6.8 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

6.8 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0.0 t

①排出量

6.8t

項目	実績値
①排出量	6.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

建設混合廃棄物(安定型))

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
			0.0 t	0.0 t	
	①排出量	0.3t	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
			0.0 t		
		④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
		0.0 t	0.0 t	0.0t	0.3 t
項目		実績値			
①排出量		0.3 t			
②+⑧自ら再生利用を行った量		0.0 t			
⑤自ら熱回収を行った量		0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
			0.0 t	0.0 t	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量		0.0 t			
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		0.0 t			
⑩全処理委託量		0.3 t			⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量		0.3 t			
⑫再生利用業者への処理委託量		0.3 t			0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		0.0 t			
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.0 t			
			⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		
			0.3 t		
			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量		
			0.3 t		

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

建設混合廃棄物(管理型))

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量		有償物量							
			②自ら直接再生利用した量				⑧自ら中間処理した後再生利用した量		
			0.0 t				0.0 t		
		①排出量		③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量					
		35.7t		0.0 t					
			④自ら中間処理した量		⑥自ら中間処理した後の残さ量		⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
			0.0 t		0.0 t		0.0t		35.7 t
				⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量				⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
			0.0 t		0.0 t				0.0 t
							⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
							35.7 t		0.0 t
								⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
							35.7 t		
項目	実績値								
①排出量	35.7 t								
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t								
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t								
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t								
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t								
⑩全処理委託量	35.7 t								
⑪優良認定処理業者への処理委託量	35.7 t								
⑫再生利用業者への処理委託量	35.7 t								
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t								
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t								

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 14日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒264-0028	
住 所 千葉県千葉市若葉区桜木7-7-7	
氏 名 福田道路(株)千葉営業所 所長 六谷 伸一	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 043-233-7721	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	福田道路株式会社 千葉営業所
事業場の所在地	千葉県千葉市若葉区桜木7-7-7
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	元請受注完成工事高 335 百万円（前年実績）
③ 従業員数	28名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルトコンクリートがら→委託処理（中間処理）→再生利用 コンクリートがら→委託処理（中間処理）→再生利用 がれき類→処理委託（中間処理）→再生利用 汚泥→委託処理→脱水→再生利用 廃プラスチック類→委託処理（中間処理）→委託処理（再生利用） 紙くず・木くず→委託処理（中間処理）→委託処理（再生利用）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
※別紙添付

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら
	排出量	1074 t	6 t
	（これまでに実施した取組） 計画的な資材搬入を徹底し、余剰材料による産業廃棄物の排出を抑制している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら
	排出量	1074 t	6 t
	（今後実施する予定の取組） 今後も継続し計画的な資材搬入の徹底を図り、余剰材料による産業廃棄物の排出を抑制していく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 産業廃棄物の種類・分別等に関する教育を行っている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物は分別により再生利用が可能なため排出するものは全て分別を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	実績無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	予定無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
実績無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
予定無し			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 実績無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 予定無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら
	全処理委託量	1074 t	6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1074 t	6 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 100%再生利用ができる委託業者に処理を委託している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら
	全処理委託量	1074 t	6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1074 t	6 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も100%再生利用ができる委託業者に処理を委託する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	汚泥	管理型混合廃棄物	紙くず	木くず	廃プラスチック類		
	排 出 量	66 t	0.44 t	1.3 t	3.9 t	1.65 t	0.35 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	汚泥	管理型混合廃棄物	紙くず	木くず	廃プラスチック類		
	排 出 量	66 t	0.4 t	1 t	3.5 t	1.5 t	0.3 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	汚泥	管理型混合廃棄物	紙くず	木くず	廃プラスチック類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	汚泥	管理型混合廃棄物	紙くず	木くず	廃プラスチック類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	汚泥	管理型混合廃棄物	紙くず	木くず	廃プラスチック類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	汚泥	管理型混合廃棄物	紙くず	木くず	廃プラスチック類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

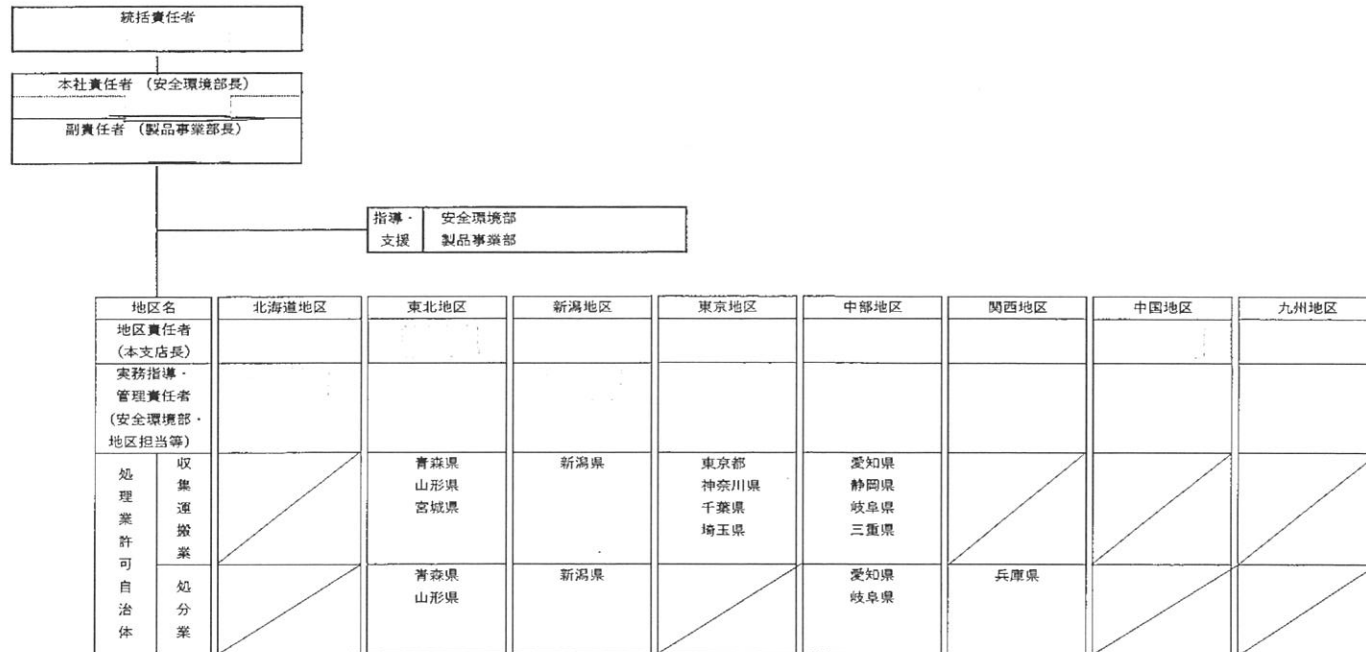
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	汚泥	管理型混合廃棄物	紙くず	木くず	廃プラスチック類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	汚泥	管理型混合廃棄物	紙くず	木くず	廃プラスチック類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	汚泥	管理型混合廃棄物	紙くず	木くず	廃プラスチック類		
	全処理委託量	66 t	0.44 t	1.3 t	3.9 t	1.65 t	0.35 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	66 t	0.44 t	1.3 t	3.9 t	1.65 t	0.35 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	その他がれき類	汚泥	管理型混合廃棄物	紙くず	木くず	廃プラスチック類		
	全処理委託量	66 t	0.4 t	1 t	3.5 t	1.5 t	0.3 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	66 t	0.4 t	1 t	3.5 t	1.5 t	0.3 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

福田道路 産業廃棄物責任者組織図



【役割と責務】

- * 統括責任者・・・産業廃棄物処理業許可条件の講習会受講、全社産業廃棄物に関する統括
- * 本社責任者・・・全社産業廃棄物処理業に関わる実務指導・支援、産業廃棄物処理法改正等に伴う通知
- * 地区責任者・・・管内における産業廃棄物処理業及び産業廃棄物排出事業所に関する責任
- * 実務指導・管理責任者・・・管内事業所が行う産業廃棄物処理委託契約書等の廃掃法に関する指導、廃掃法に準じる報告等に関する指導・管理、及び産業廃棄物処理業許可に関する指導・支援

【事業所の責務】

- * 廃掃法に基づく報告（①産業廃棄物管理票交付等状況報告書、②多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書・計画実施状況報告書、③産業廃棄物の収集運搬業実績報告書、④産業廃棄物の処分業実績報告書）
- * 産業廃棄物処理業許可（収集運搬業・処分業）の変更、更新手続き

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 7月 5日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者

住 所 埼玉県上尾市東町2-9-20

氏 名 株式会社富士住建 竹田 浩之
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 048-778-3310

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社富士住建 千葉県内事業所
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区寒川町2-201-2 その他
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06:総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 40億9千万
③ 従業員数	58名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

株式会社富士住建 本社

生産統括部(産業廃棄物管理統括)

工務所長(産業廃棄物管理責任者)

— 工事現場監督(産業廃棄物管理担当者)

— 下請け会社

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙3の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙3の通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙3の通り
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙3の通り

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙3の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙3の通り		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙3の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙3の通り		

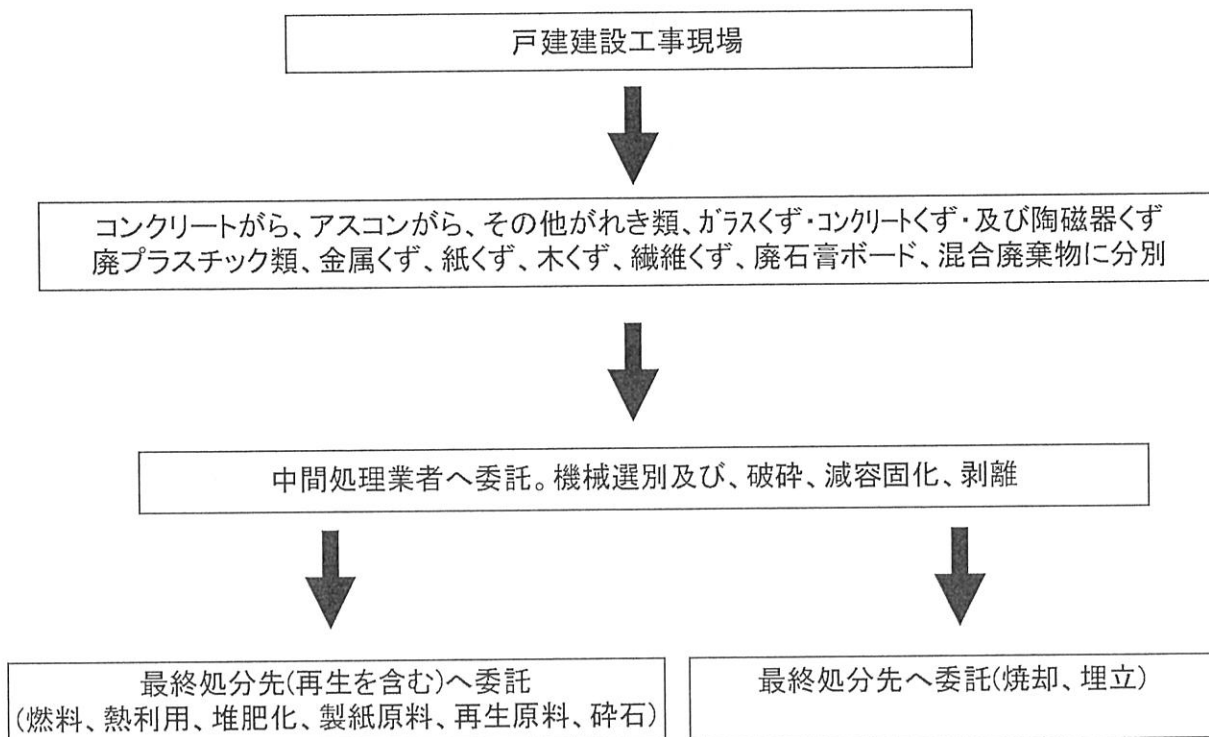
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙3の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙3の通り		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙3の通り		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙3の通り		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(産業廃棄物の一連の処理工程)



2024別紙2 千葉県		計 画									
		A 排出量	B 自ら再生利用を 行った量	C 自ら熱回収を 行った量	D 自ら中間処理により 減量した量	E 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った量 (t)	F 産業廃棄物の 全処理委託量	G 優良認定処理業者 への処理委託量(t)	H 再生利用業者への 処理委託量(t)	I 認定熱回収業者 への処理委託量(t)	J 認定熱回収業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)
		(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)
名 称	現状／計画										
産業廃棄物の種 類	前年度実績 ／ 今年度の計画	当該事業場に おいて生じた産 業廃棄物の種 類ごとの量	Aの量のうち、 自ら再生利用し た量	Aの量のうち熱 回収を行った量	Aの量のうち、 自ら中間処理に より減量した量	Aの量のうち、 自ら埋立処分 又は海洋投入 処分した量	中間処理及び 最終処分を委 託した量	Fの量のうち、 優良認定処理 業者への委託 処理量	Fの量のうち、 処理業者への 再生利用委託 量 (I、J除く)	Fの量のうち、 認定熱回収施 設設置者である 処理業者への 焼却処理委託 量	Fの量のうち、 認定熱回収施 設設置者以外 の熱回収を行 っている処理業 者への焼却処理 委託量
木くず	現状	497.7	-	-	-	-	497.7	390.4	472.8	-	-
	計画	447.9	-	-	-	-	447.9	370.9	425.5	-	-
繊維くず	現状	2.2	-	-	-	-	2.2	0.7	2.1	-	-
	計画	2.0	-	-	-	-	2.0	0.6	1.9	-	-
紙くず	現状	186.2	-	-	-	-	186.2	157.8	176.9	-	-
	計画	167.6	-	-	-	-	167.6	149.9	159.2	-	-
金属くず	現状	52.2	-	-	-	-	52.2	48.4	49.6	-	-
	計画	47.0	-	-	-	-	47.0	46.0	47.0	-	-
廃プラスチック類	現状	288.0	-	-	-	-	288.0	226.8	273.6	-	-
	計画	259.2	-	-	-	-	259.2	215.5	246.2	-	-
ガラスコンクリー ト陶磁器等くず	現状	671.1	-	-	-	-	671.1	88.9	637.5	-	-
	計画	604.0	-	-	-	-	604.0	84.5	573.8	-	-
がれき類	現状	52.4	-	-	-	-	52.4	3.6	49.8	-	-
	計画	47.2	-	-	-	-	47.2	3.4	44.8	-	-
建設混合廃棄物	現状	113.4	-	-	-	-	113.4	62.1	107.7	-	-
	計画	102.1	-	-	-	-	102.1	59.0	97.0	-	-
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合計	現状	1863.2	0	0	0	0	1863.2	978.6	1770.0	0	0
	計画	1676.9	0	0	0	0	1676.9	929.7	1595.4	0	0

別紙3

■産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
・新築工事：材料のプレカット化	・羽柄材プレカット化 ・梱包材の簡素化

■産業廃棄物の分別に関する事項

分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組
・木材、紙くず、廃プラ、石膏ボード、ダンボール、金属くず、ガラスくず、がれき類はそれぞれ分別し保管。	・先内容の継続

■自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

該当なし

■自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

該当なし

■自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

該当なし

■産業廃棄物の処理の委託に関する事項

これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
・新築工事・解体工事、リサイクル率の高い処分先への持込 ・解体工事、中間処理業者・最終処分業者視察	・先内容の継続

(第1面)

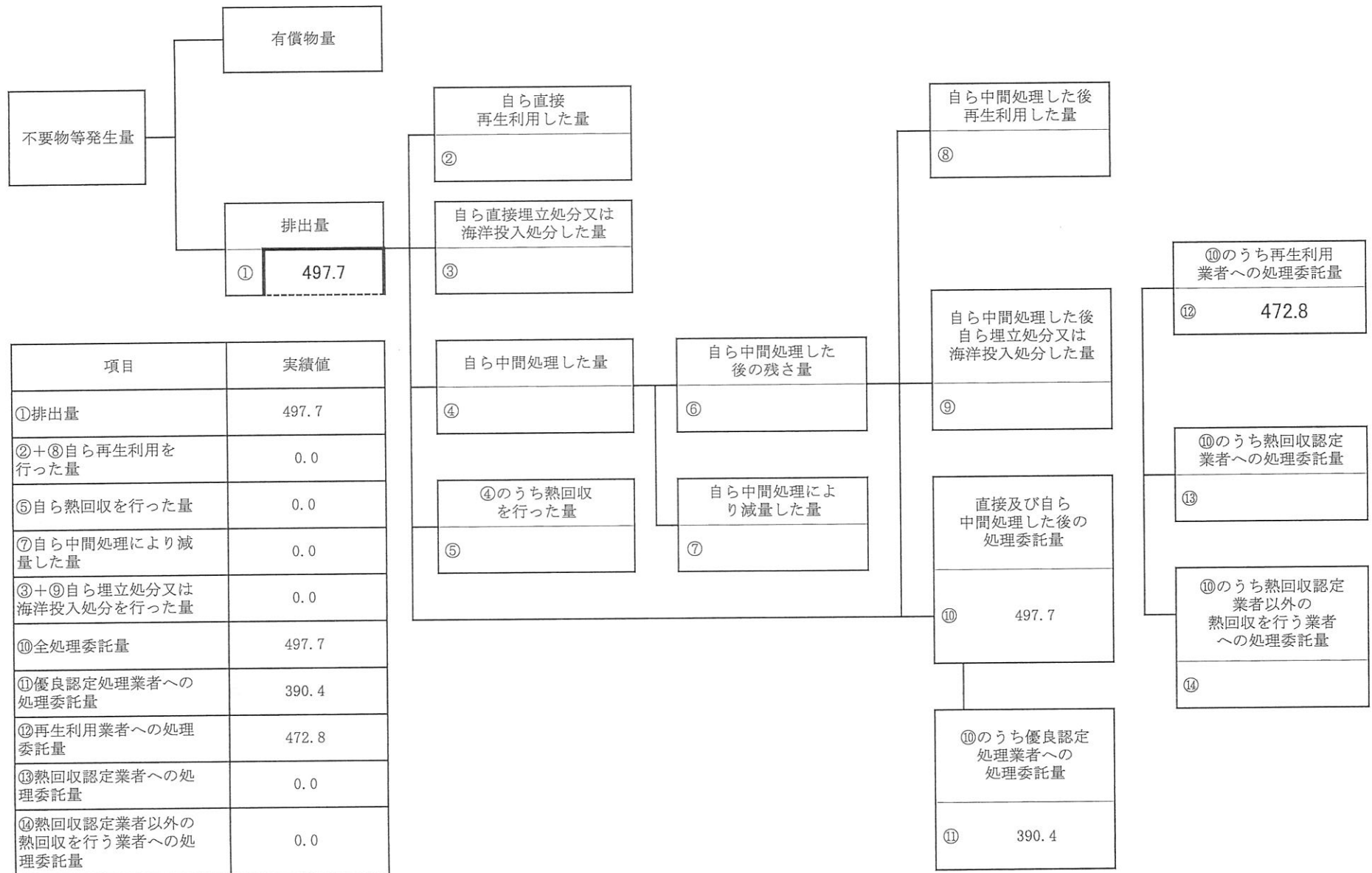
産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 6年 7月 5日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 住 所 埼玉県上尾市東町2-9-20 氏 名 株式会社 富士住建 代表取締役 竹田浩之 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 048-778-3310			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社 富士住建 千葉県内事業所		
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区寒川町2-201-2、その他		
事業の種類	06:総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1896.2	全処理委託量	1896.2
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0	優良認定処理業者への処理委託量	288.3
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0	再生利用業者への処理委託量	1803.5
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0	認定熱回収業者への処理委託量	0.0
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 :

木くず

)

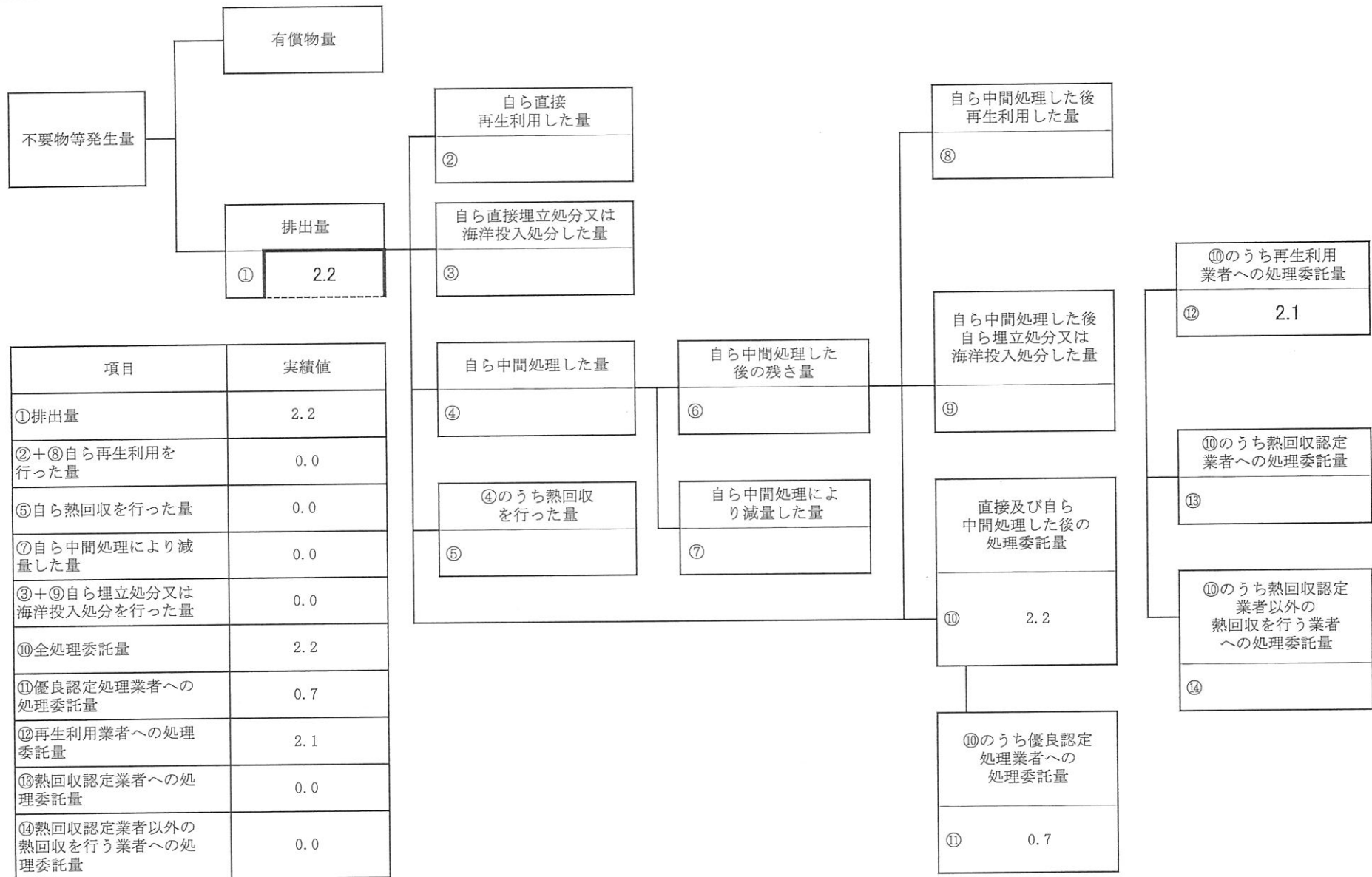


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 :

繊維くず

)

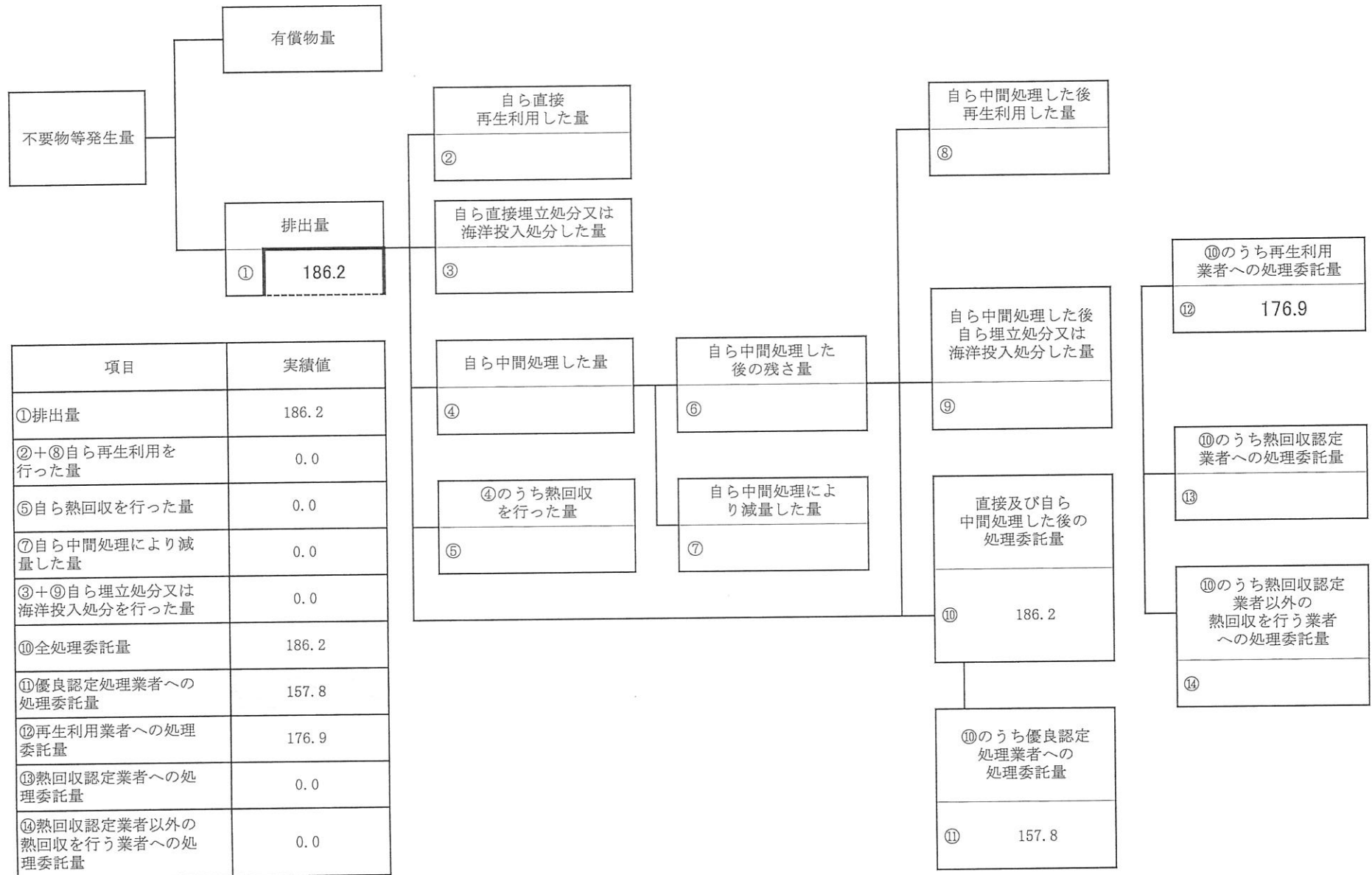


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

紙くず

)

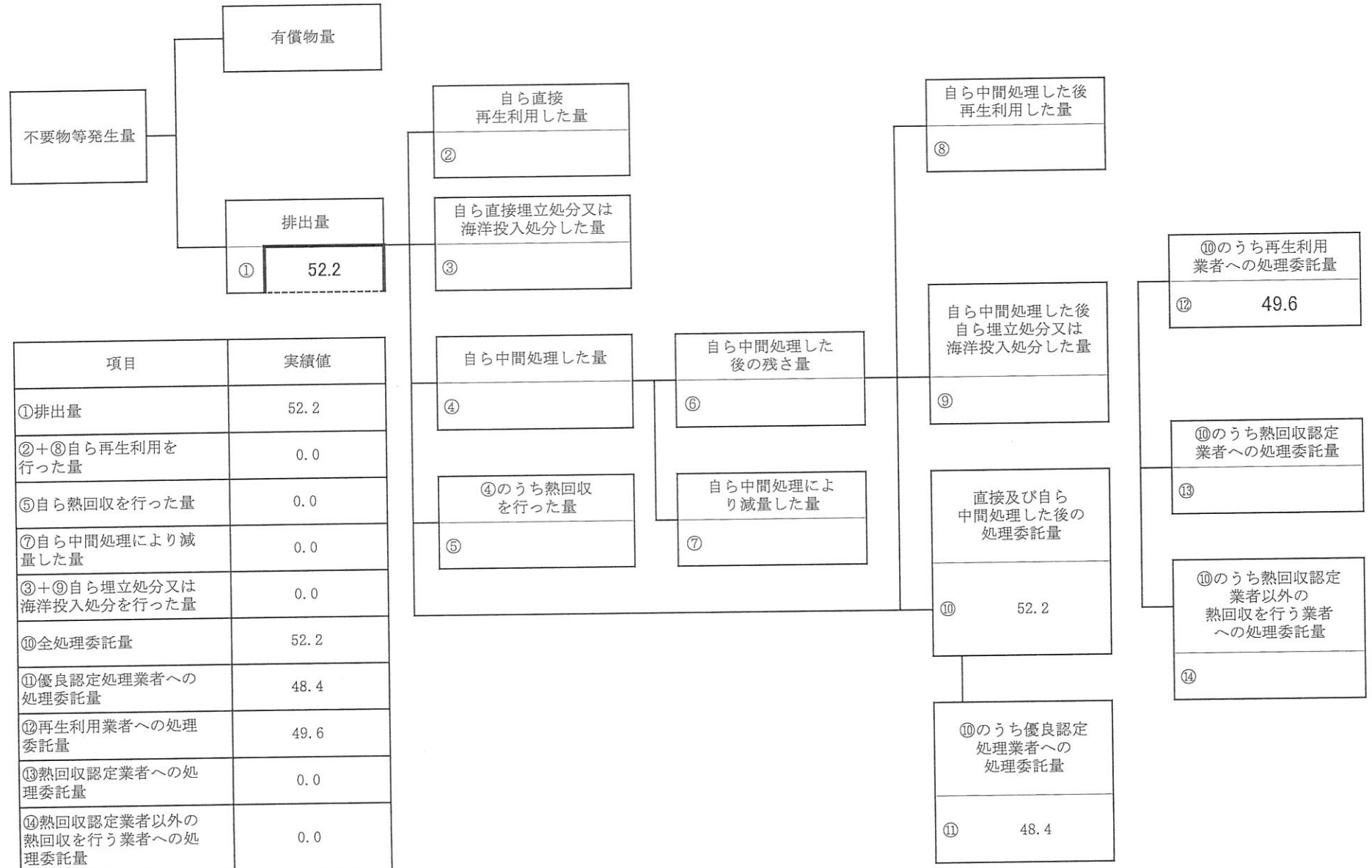


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 :

金属くず

)

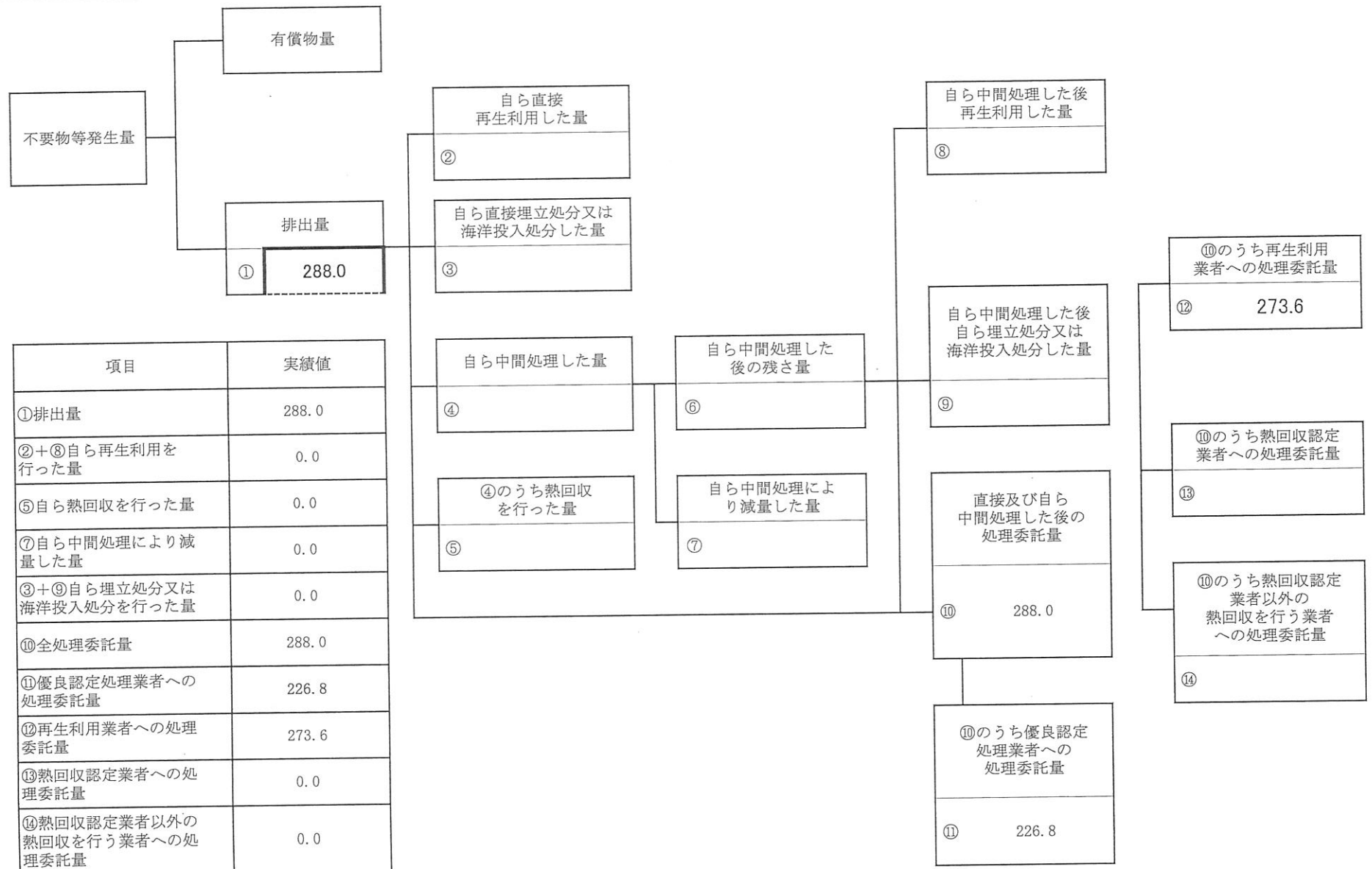


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

廃プラスチック

)

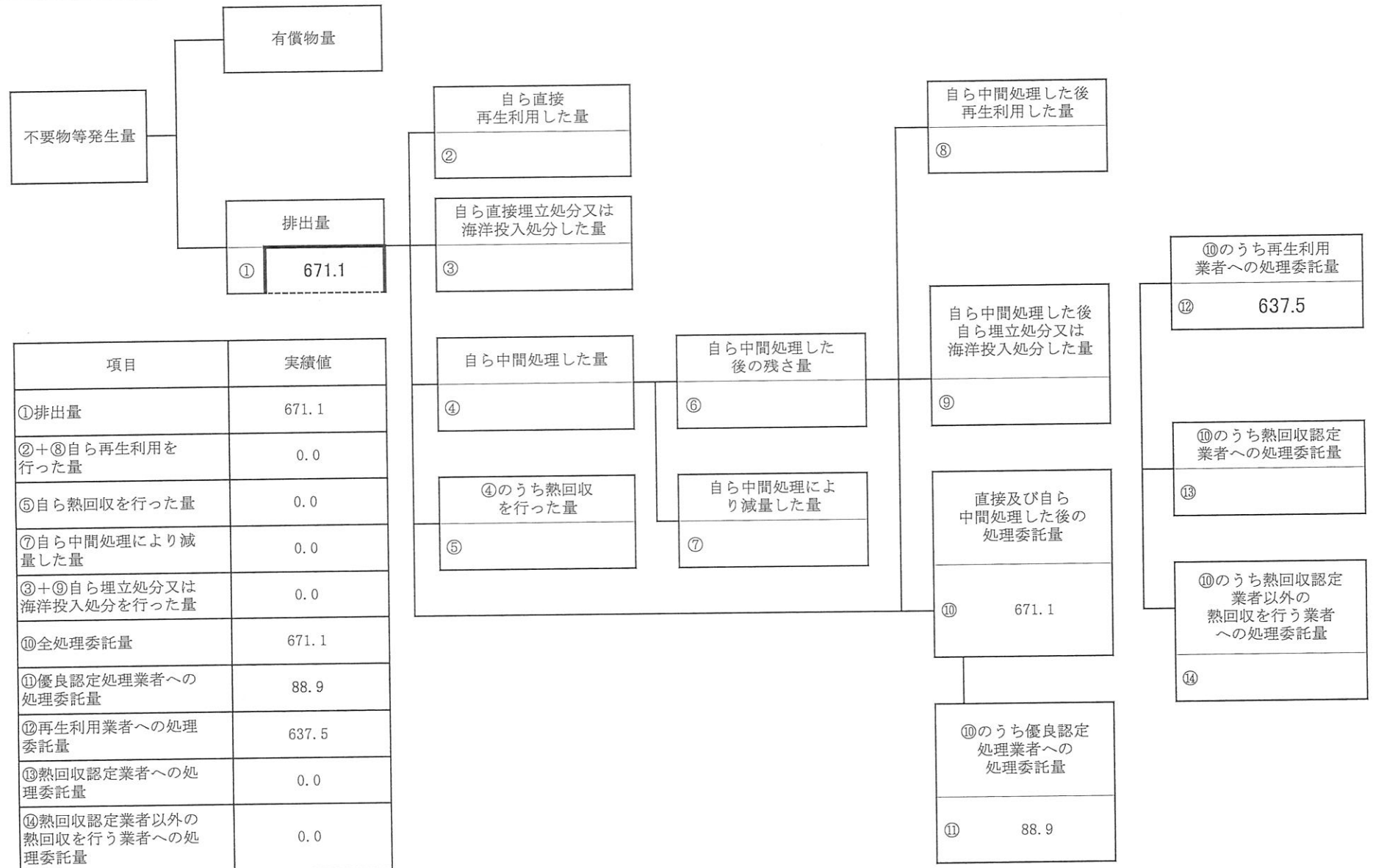


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

ガラス陶磁器等くず

)

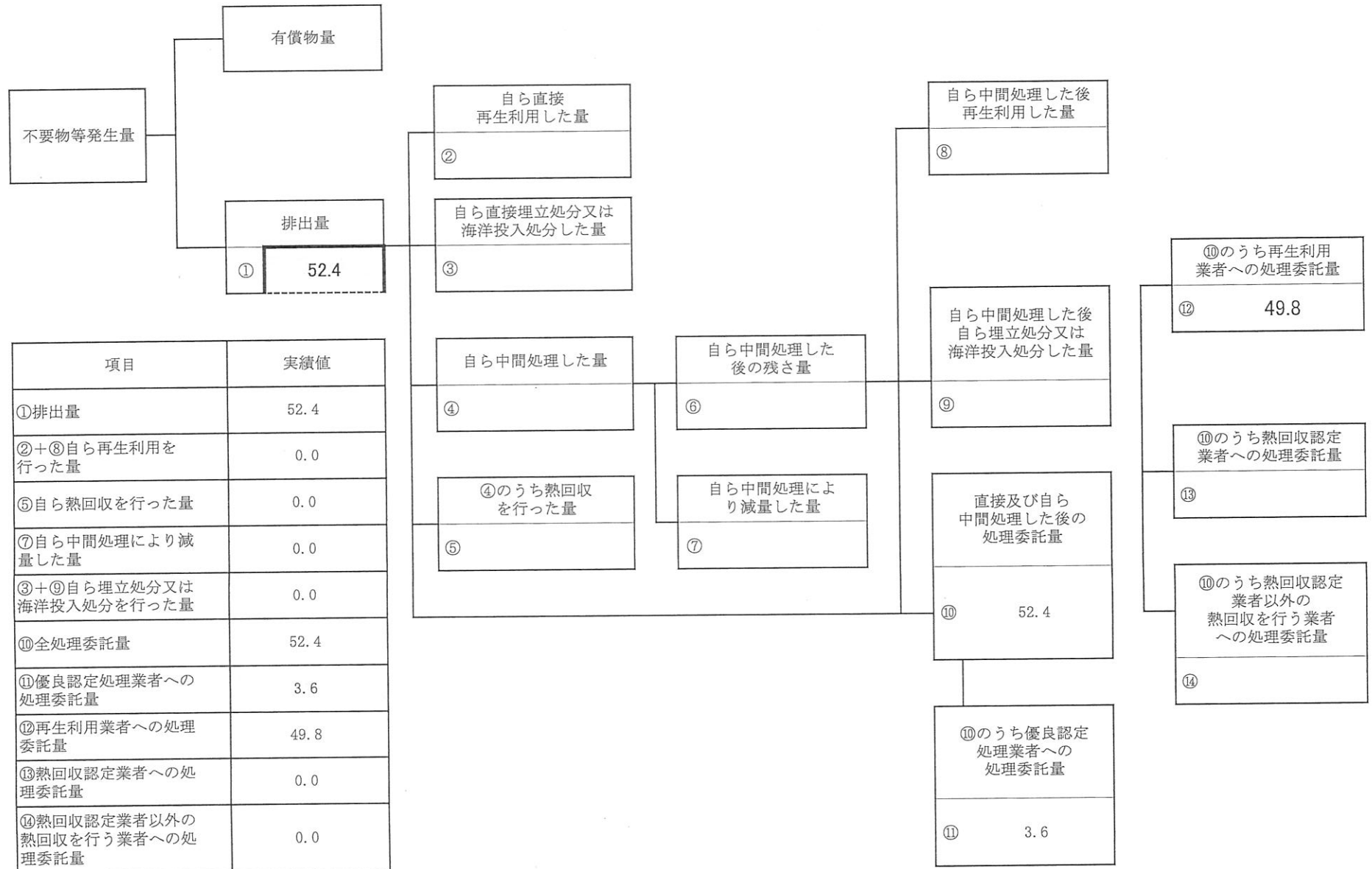


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

がれき

)

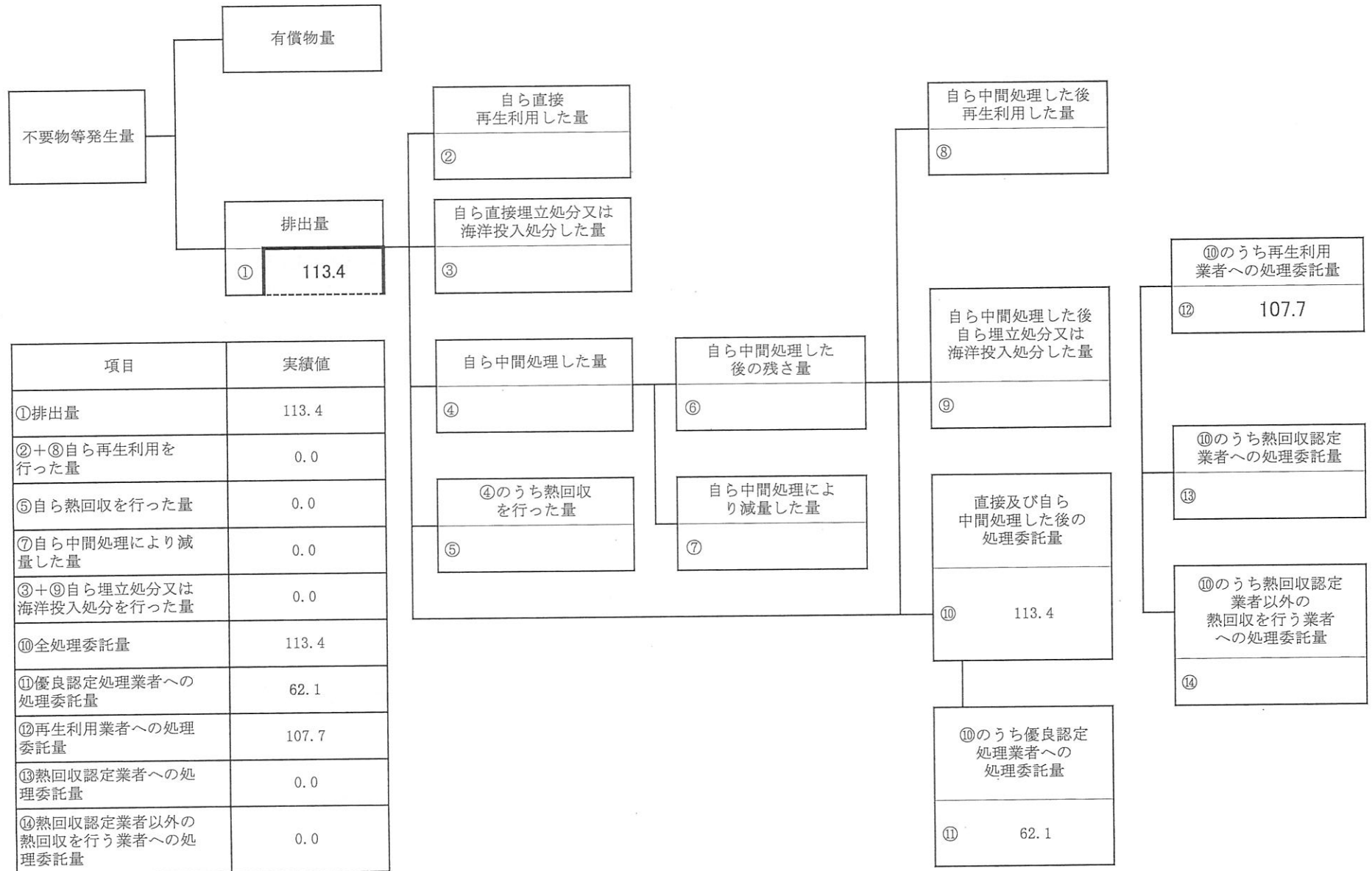


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

建設混合廃棄物

)

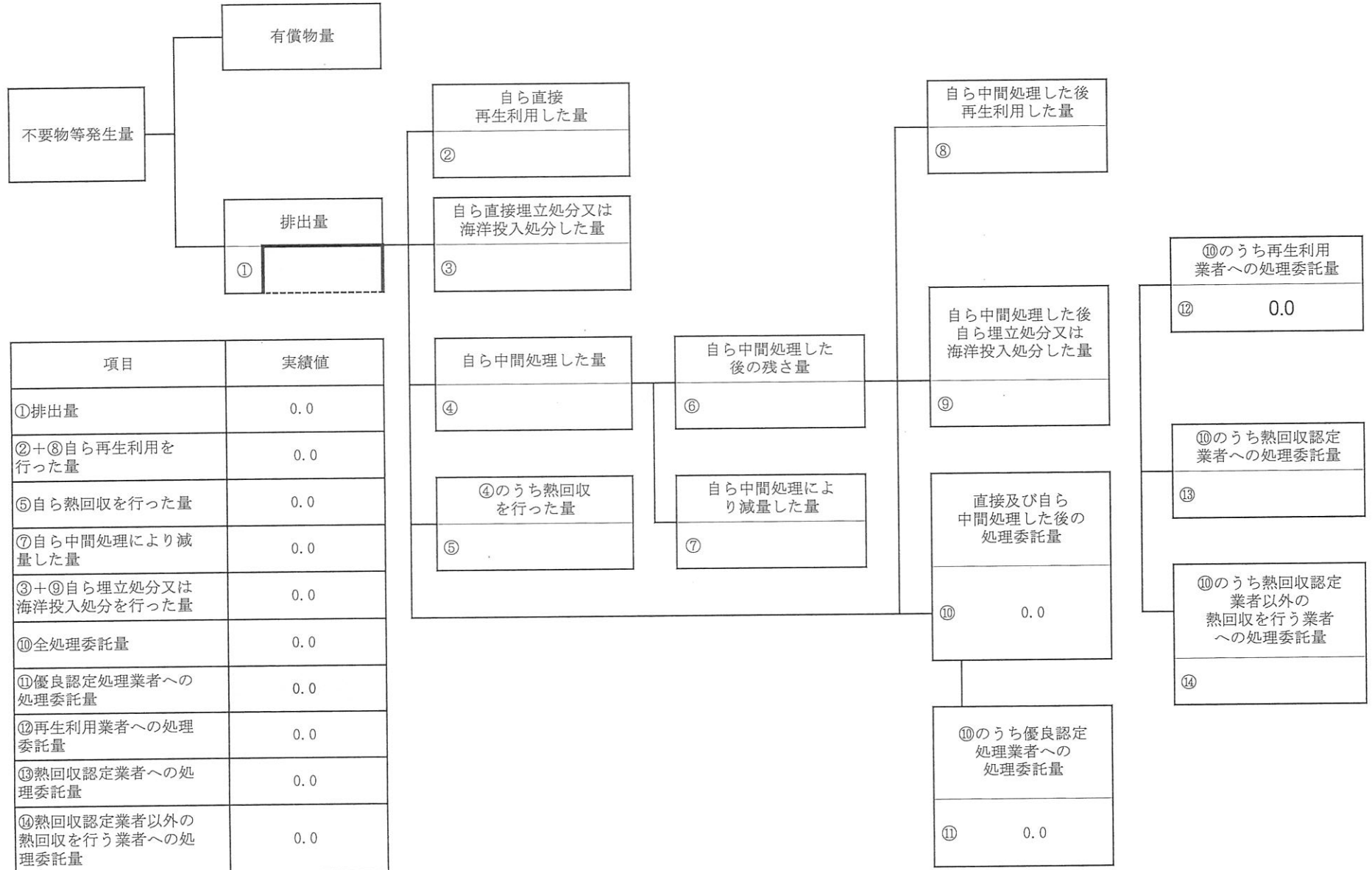


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

石綿含有産業廃棄物

)

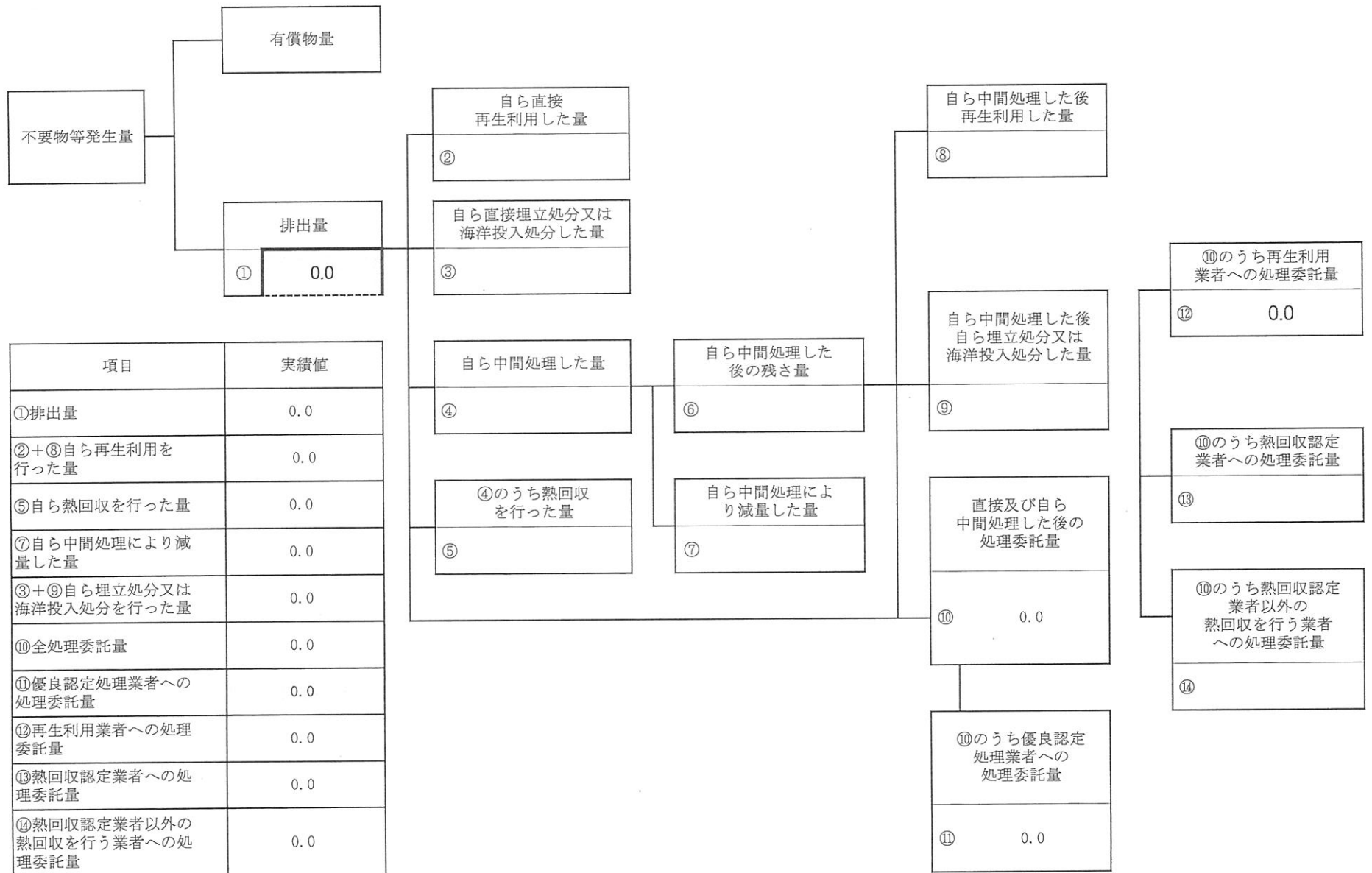


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 :

新築系

)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 千葉県		計 画									
		A 排出量	B 自ら再生利用を行なった量	C 自ら熱回収を行なった量	D 自ら中間処理により減量した量	E 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	F 産業廃棄物の全処理委託量	G 優良認定処理業者への処理委託量	H 再生利用業者への処理委託量	I 認定熱回収業者への処理委託量	J 認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量
名 称	計画	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)
産業廃棄物の種類	前年度実績 ／ 今年度の計画	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量	Aの量のうち、自ら再生利用した量	Aの量のうち熱回収を行なった量	Aの量のうち、自ら中間処理により減量した量	Aの量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	Fの量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	Fの量のうち、処理業者への再生利用委託量(I、J除く)	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
木くず	目標	497.9					497.9	92.1	473.0	－	－
繊維くず	目標	0.8					0.8	0	0.7	－	－
紙くず	目標	161.8					161.8	19.3	153.7	－	－
金属くず	目標	41.0					41.0	1.8	41.0	－	－
廃プラスチック類	目標	257.4					257.4	32	244.6	－	－
ガラス陶磁器等くず	目標	381.6					381.6	73.2	362.5	－	－
がれき類	目標	452.0					452.0	39.3	429.4	－	－
建設混合廃棄物	目標	91.1					91.1	30.6	86.6	－	－
石綿含有産業廃棄物	目標	12.6					12.6	0	12.0		
		1896.2					1896.2	288.3	1803.5		

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月19日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 160-8378
住 所 東京都新宿区西新宿4-32-22
法人名 株式会社フジタ 首都圏土木支店
代表者 水谷 圭一
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-5309-2075

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社フジタ 首都圏土木支店		
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿4-32-22（現場：山武郡横芝光町他）		
計画期間	令和6年4月1日	から	令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類： 総合工事業
②事業の規模	2,306 百万円		
③従業員数	首都圏土木支店 134 人 （全社 3,232人）		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・汚泥→混合、脱水→再生材 ・廃プラスチック類→破碎、選別、圧縮梱包→再生材（残渣等一部埋立最終処分） ・紙くず→破碎、選別、圧縮梱包→再資源化売却（残渣等一部埋立最終処分） ・木くず→破碎、選別→再生材（残渣等一部埋立最終処分） ・金属くず→破碎→売却		

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 「別紙 (管理体制)」			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	2641 t	t
	(これまでに実施した取組) ・計画時の製品の二次製品化の検討・実施 ・部材プレカットの検討・実施 ・簡易梱包の推進 ・工事での混合廃棄物の削減を目標として事業場ごとの実績原単位を社内公表		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年度に同じ		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・基本分別品目：がれき類3種、ガラ・陶、廃プラ、金属、木、廃石膏ボード、ダンボール		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年度に同じ		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
全量委託処理しているため、該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
委託処理を原則としているため、特になし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 契約時における施設確認の原則実施 ・ 再生利用業者への優先委託 ・ 支店での委託契約締結とmanifest発行 ・ 方針として、優良認定処理業者、熱回収認定業者への優先委託		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年度に同じ		
	※事務処理欄		

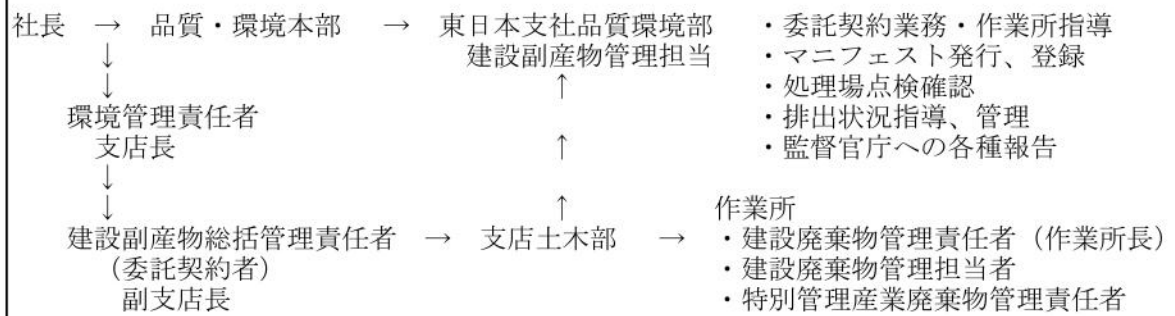
(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物	
		排 出 量	58.9 t	64 t	8.9 t	248.8 t	1.5 t	2012 t	246.9 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物	
排 出 量		30 t	50 t	20 t	200 t	0 t	3000 t	50 t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず ^a	木くず ^a	金属くず ^a	がれき類	建設混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず ^a	木くず ^a	金属くず ^a	がれき類	建設混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物	
	全処理委託量	58.9 t	64 t	8.9 t	248.8 t	1.5 t	2012 t	246.9 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	64 t	8.9 t	31 t	1.5 t	1.5 t	28.6 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	58.9 t	64 t	8.9 t	248.8 t	1.5 t	2012 t	28.6 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	建設混合廃棄物	
	全処理委託量	30 t	50 t	20 t	200 t	0 t	3000 t	50 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	50 t	20 t	30 t	0 t	100 t	50 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	30 t	50 t	20 t	200 t	0 t	3000 t	50 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月19日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 160-8378			
住所 東京都新宿区西新宿4-32-22			
法人名 株式会社フジタ 首都圏土木支店			
代表者 水谷 圭一			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 03-5309-2075			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社フジタ 首都圏土木支店		
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿4-32-22(現場:山武郡横芝光町他)		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2710 t	全処理委託量	2710 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	240 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2670 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	58.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	58.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	58.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	64.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	64.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	64.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	64.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	8.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	248.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	248.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	31.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	248.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	1.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

(第2面)

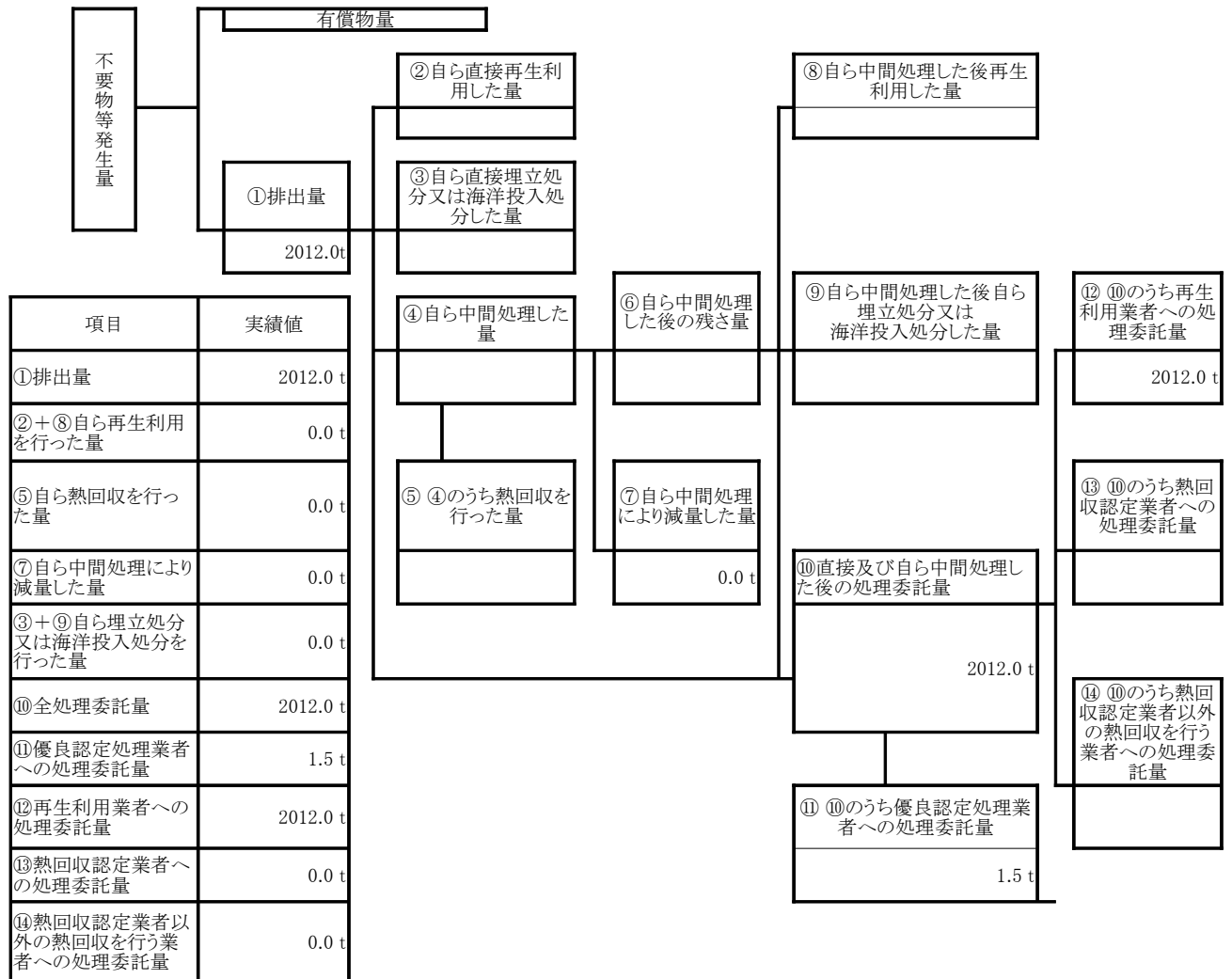
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	246.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	246.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	28.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	28.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
	①排出量				
		③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量			
項目	実績値	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
①排出量	0.0 t				
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t				
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t		0.0 t	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t			0.0 t	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑩全処理委託量	0.0 t				
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t				
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t				
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月24日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 160-8378
住 所 東京都新宿区西新宿4-32-22
法人名 株式会社フジタ 東京支店
代表者 金子 孝一
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-5309-2203

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社フジタ 東京支店		
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿4丁目32番22号		
計画期間	令和6年4月1日	から	令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類： 総合工事業
②事業の規模	21,415百万円		
③従業員数	東京支店635人（全店3136人）		
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	別添「資料1」の通り		

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別添「資料2」の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添「資料3」の通り	
	排出量	31450.63 t	t
	(これまでに実施した取組) ・分別活動推進による混合廃棄物の排出量の低減 ・内装工事等でのユニット化、プレカット化活動		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添「資料3」の通り	
	排出量	30000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記活動の継続的推進		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くず、紙くず、金属くず ・広域認定制度の紹介、分別先の広報		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添「資料3」の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添「資料3」の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添「資料3」の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
実績なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添「資料3」の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添「資料3」の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添「資料3」の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添「資料3」の通り	
	全 処 理 委 託 量	31450.63 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	16385.47 t	t
	再生利用業者への処理委託量	31004.76 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・処理施設点検の実施 ・同業他社との情報交換		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添「資料3」の通り	
	全 処 理 委 託 量	30000 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	30000 t	t
	再生利用業者への処理委託量	30000 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 処理施設点検の実施 ・ 同業他社との情報交換		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

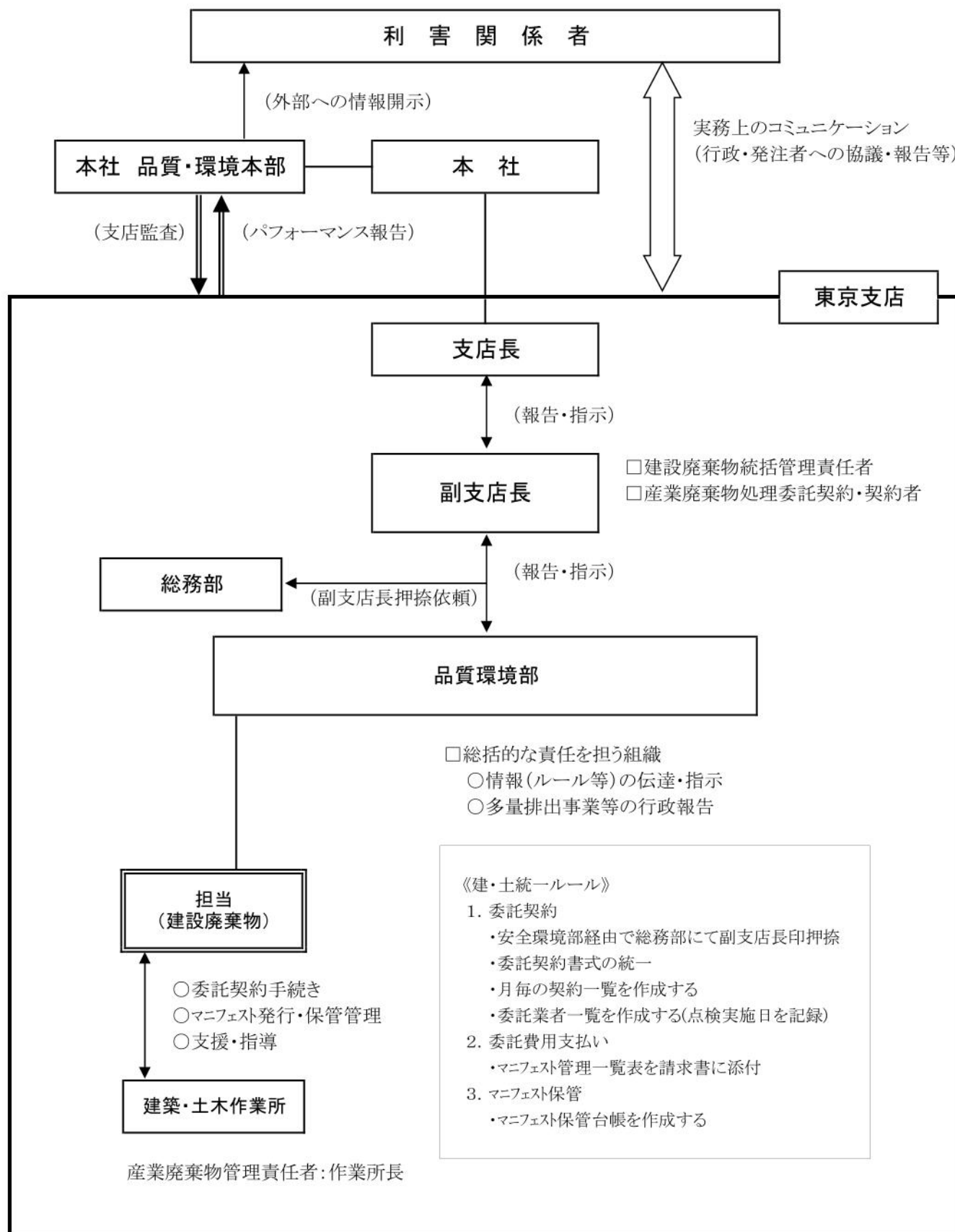
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理行程

- ・汚泥 → 脱水、固化（凝集・造粒・薬注） → 改良土
- ・廃油 → 油水分離・再生 → 再生油
- ・廃酸・廃アルカリ → 焼却 → 燃え殻を埋立
- ・廃プラスチック類（a） → 破碎・圧縮 → 再生プラスチック原料、RPF 原料
→ 破碎・焼成 → セメント原燃料
→ 破碎・切断・圧縮 → 埋立
- ・紙くず（b） → 圧縮 → 製紙原料、RPF 原料
- ・木くず（c） → 破碎 → 燃料チップ、セメント燃料、堆肥化
- ・繊維くず（d） → 破碎 → RPF 原料、セメント燃料、堆肥化
- ・金属くず（e） → 圧縮 → 金属製品原料等
- ・がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（f）
→ 破碎 → 再生骨材、埋立
- ・コンクリート破片、アスファルトコンクリート破片（g）
→ 破碎 → 再生骨材
- ・廃石膏ボード → 破碎 → （粉）石膏ボード原料、土壌改良材
（紙）製紙原料
- ・建設混合廃棄物 → 分別 → （a）～（g）
- ・鋳さい → 破碎 → 再生骨材
- ・蛍光灯類（水銀使用製品産業廃棄物）
→ 破碎 → グラスウール原料、精製水銀、金属製品原料等
- ・石綿含有産業廃棄物 → 最終処分場にて埋立
- ・廃電池類 → 選別・破碎・中和 → 金属製品・セメント・プラスチック原料

産業廃棄物に係る管理体制

2013.06



資料３：産業廃棄物処理計画書 第２面・第４面・第５面 一括表

(単位:t)

	平成5年度実績						令和6年度目標					
	排出量 ※第2面	全処理 委託量 ※第4面	優良認定処理 業者への処理 委託量 ※第4面	再生利用業者 への処理委託 量 ※第4面	熱回収認定業 者への処理委 託量 ※第4面	熱回収認定業 者以外の熱回 収を行う業者へ の処理委託量 ※第4面	排出量 ※第2面	全処理 委託量 ※第5面	優良認定処理 業者への処理 委託量 ※第5面	再生利用業者 への処理委託 量 ※第5面	熱回収認定業 者への処理委 託量 ※第5面	熱回収認定業 者以外の熱回 収を行う業者へ の処理委託量 ※第5面
燃え殻												
建設汚泥	8,530.200	8,530.200	5,680.500	8,530.200			8,000.000	8,000.000	8,000.000	8,000.000		
産廃汚泥												
廃油	0.855	0.855	0.855	0.855								
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類	123.150	123.150	117.500	123.150			130.000	130.000	130.000	130.000		
紙くず	17.450	17.450	17.450	17.450			20.000	20.000	20.000	20.000		
木くず	207.564	207.564	87.679	207.564			200.000	200.000	200.000	200.000		
繊維くず												
金属くず	3.350	3.350	3.350	3.350								
ガラス陶磁器くず	722.280	722.280	496.340	342.760			600.000	600.000	600.000	600.000		
鉱さい												
他がれき類	358.370	358.370	247.230	358.370			350.000	350.000	350.000	350.000		
コンクリート片	19,678.480	19,678.480	8,860.820	19,678.480			19,000.000	19,000.000	19,000.000	19,000.000		
アスファルトコンク リート片	942.380	942.380	136.080	942.380			900.000	900.000	900.000	900.000		
ばいじん												
建設混合廃棄物	799.500	799.500	670.870	799.500			800.000	800.000	800.000	800.000		
石綿含有産業廃棄 物	66.350	66.350	66.350									
水銀使用製品産業 廃棄物	0.705	0.705	0.445	0.705								
廃電気機械器具												
廃電池類												
合 計	31,450.634	31,450.634	16,385.469	31,004.764	0.000	0.000	30,000.000	30,000.000	30,000.000	30,000.000	0.000	0.000

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月24日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 160-8378			
住所 東京都新宿区西新宿4-32-22			
法人名 株式会社フジタ 東京支店			
代表者 金子 孝一			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 03-5309-2403			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社フジタ 東京支店		
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿4丁目32番22号		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	7680 t	全処理委託量	7680 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	7680 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	7680 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

N0.1

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:建設汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	8530.2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8530.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5680.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8530.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	123.2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	123.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	117.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	123.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

NO.4

(第2面)

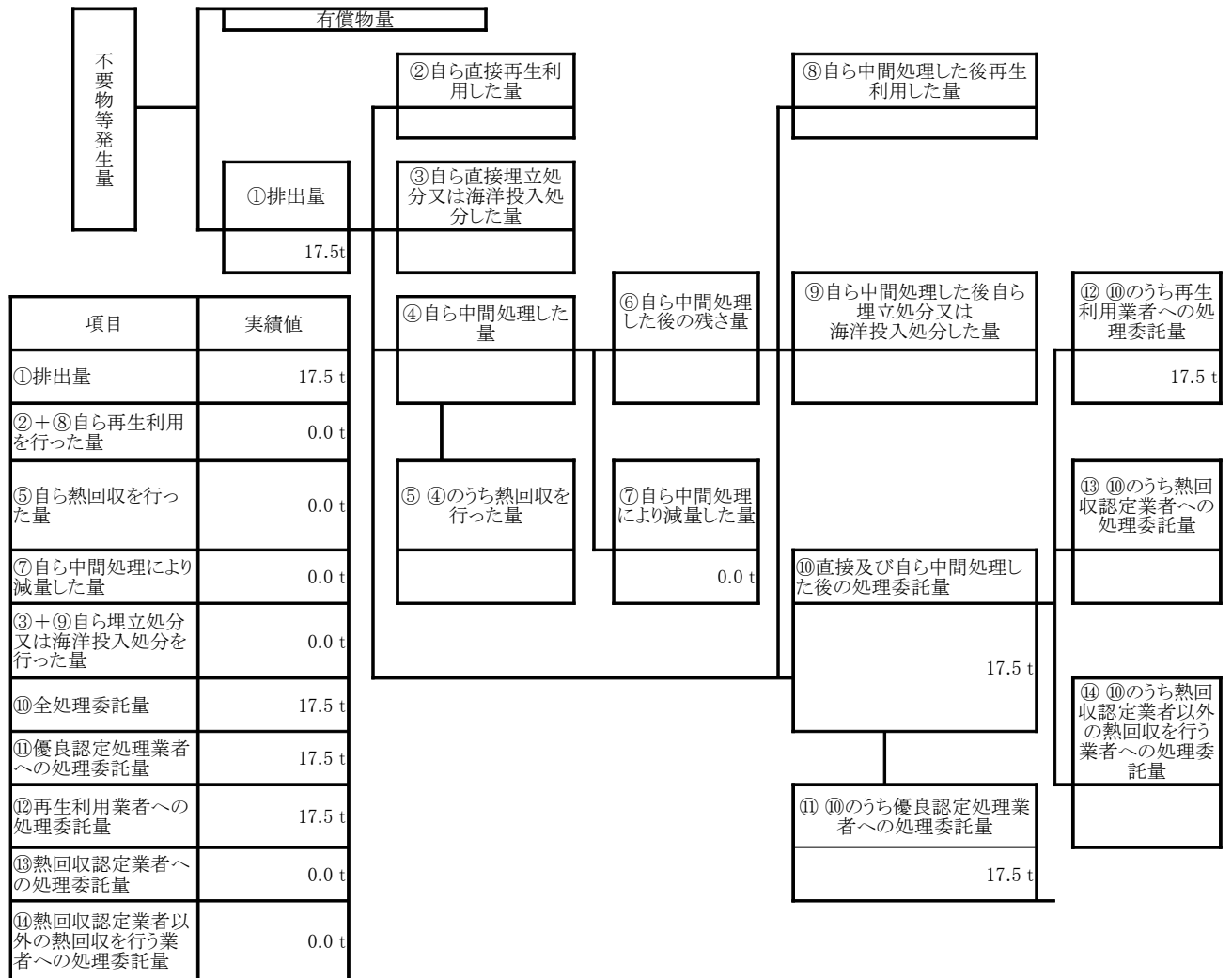
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

紙くず

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



N0.5

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	207.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	207.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	87.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	207.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	3.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ぐくず・コンクリートくず及び陶磁器)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	722.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	722.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	496.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	342.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 他がれき類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	358.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	358.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	247.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	358.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	19678.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	19678.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8860.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19678.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルトコンクリート片)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	942.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	942.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	136.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	942.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	799.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	799.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	670.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	799.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	66.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	66.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	66.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品産業廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月25日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿



提出者 〒151-0051
住 所 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目27番13号
氏 名 株式会社フジタ交通事業部
事業部長 伊藤 丈裕
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 03-3376-3146

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

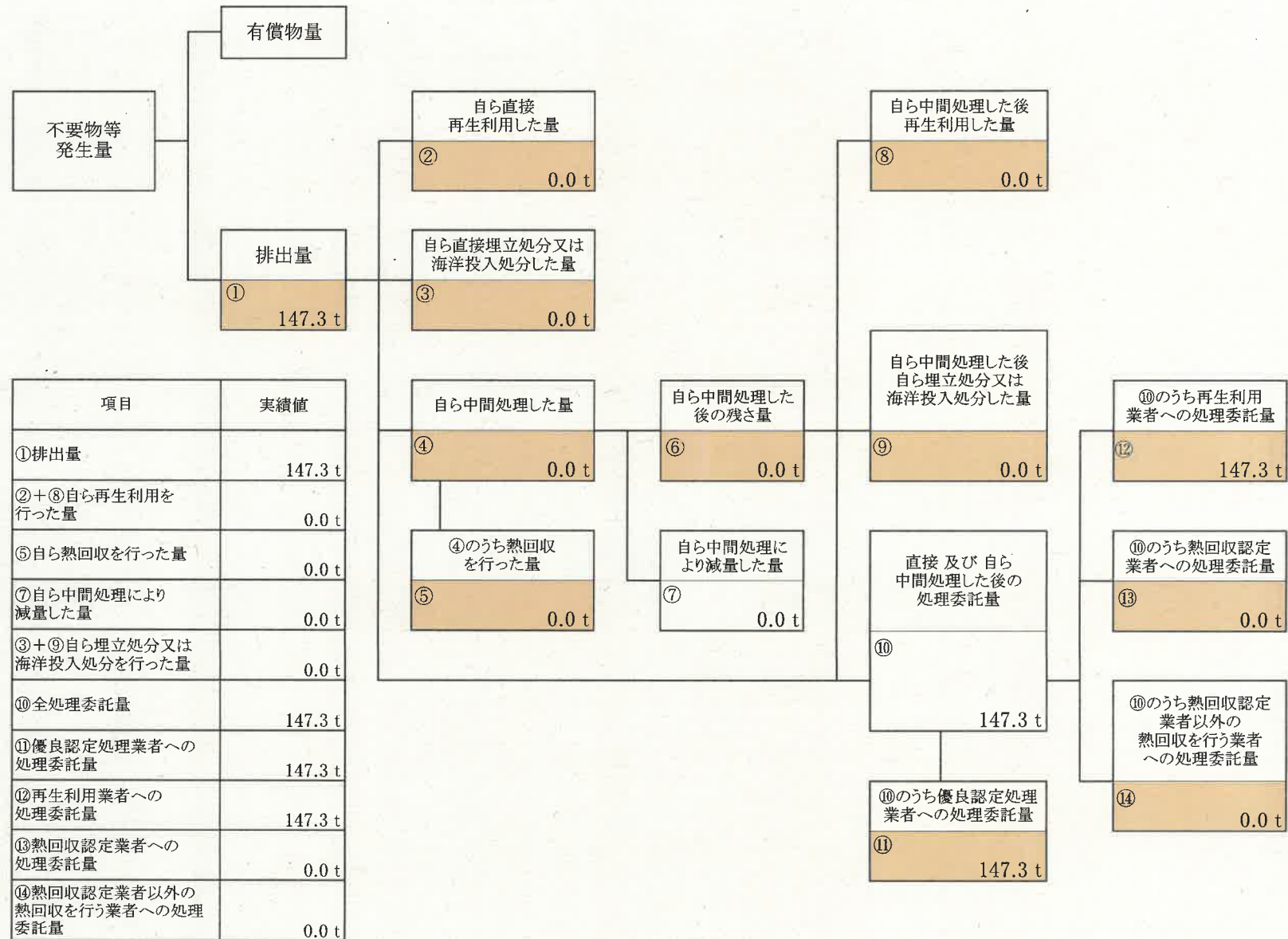
事業場の名称	株式会社フジタ交通事業部
事業場の所在地	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目27番13号 全農新宿ビル2階 (現場:千葉県松戸市 JR松戸駅構内)
事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	954.0 t	全処理委託量	954.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	334.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	919.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



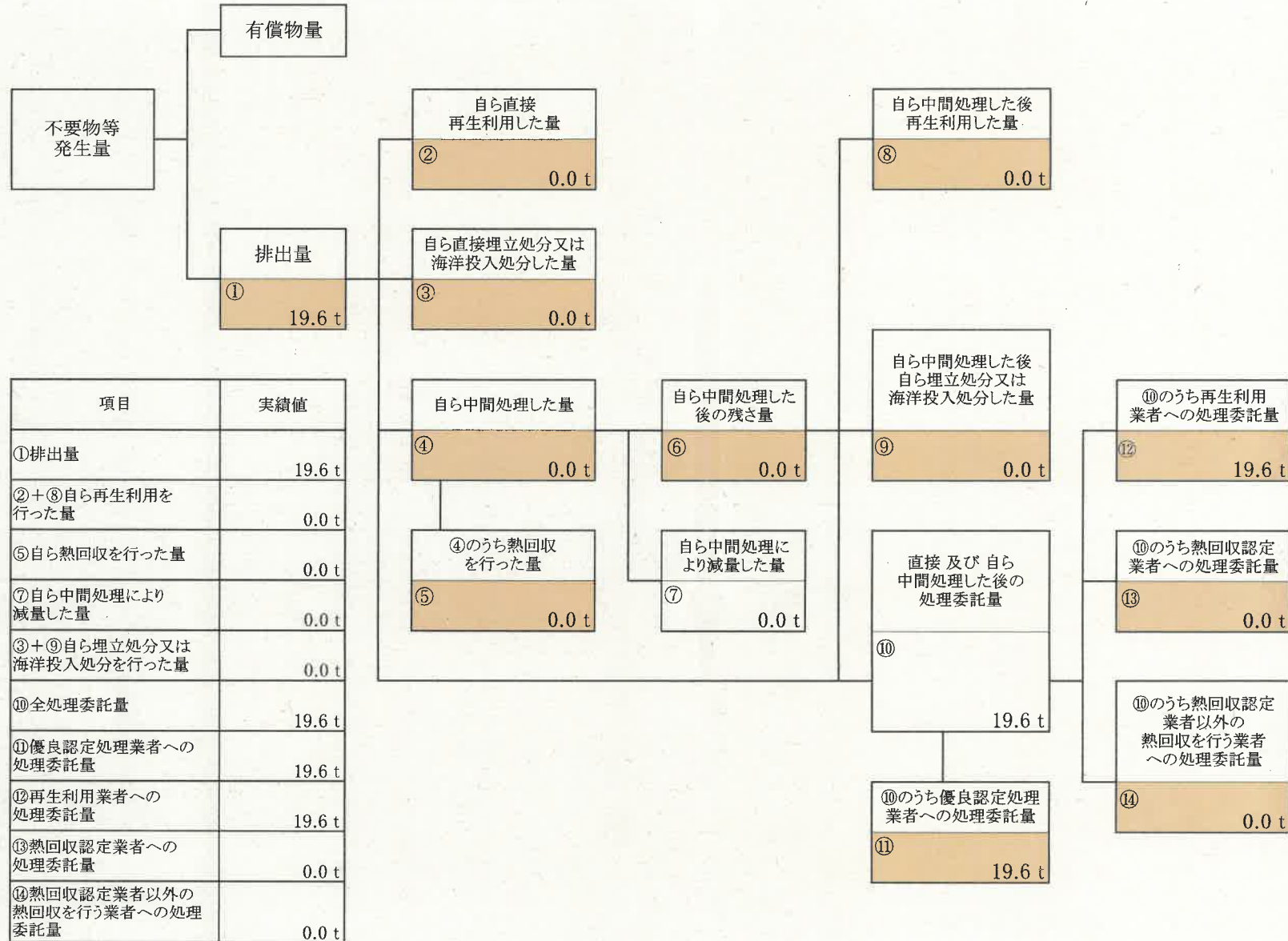
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

ガラス陶磁器くず

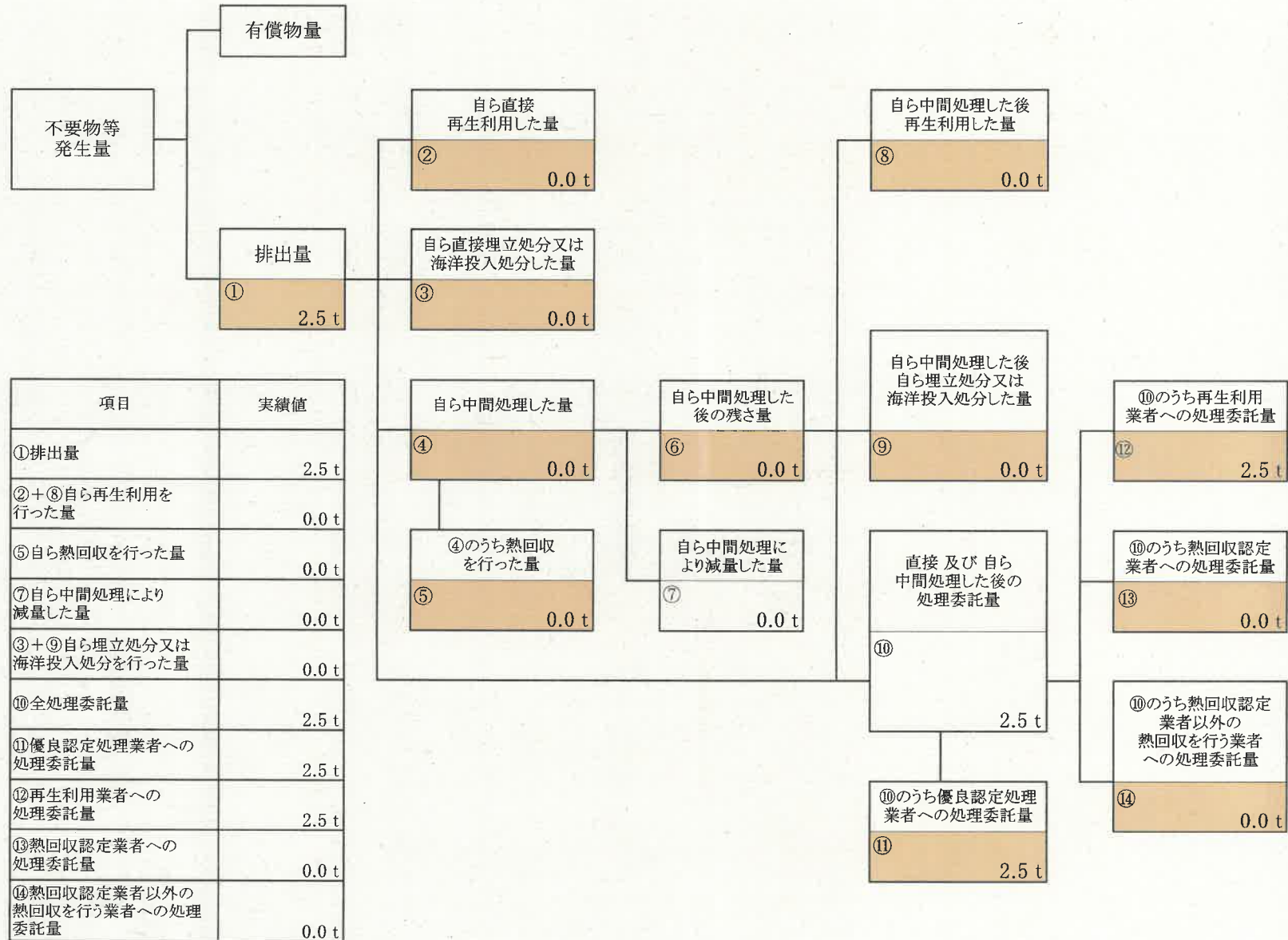
)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



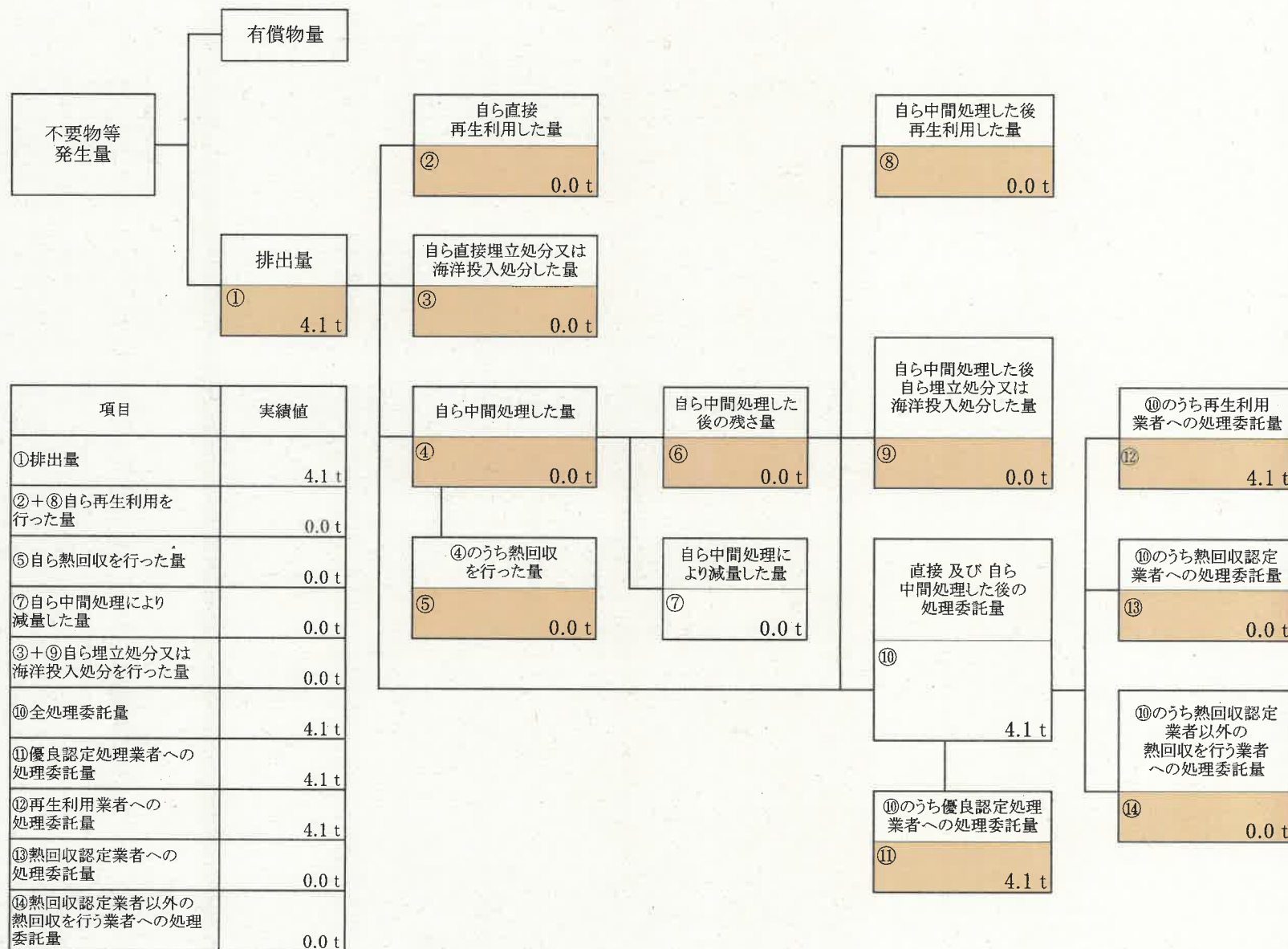
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

金属くず

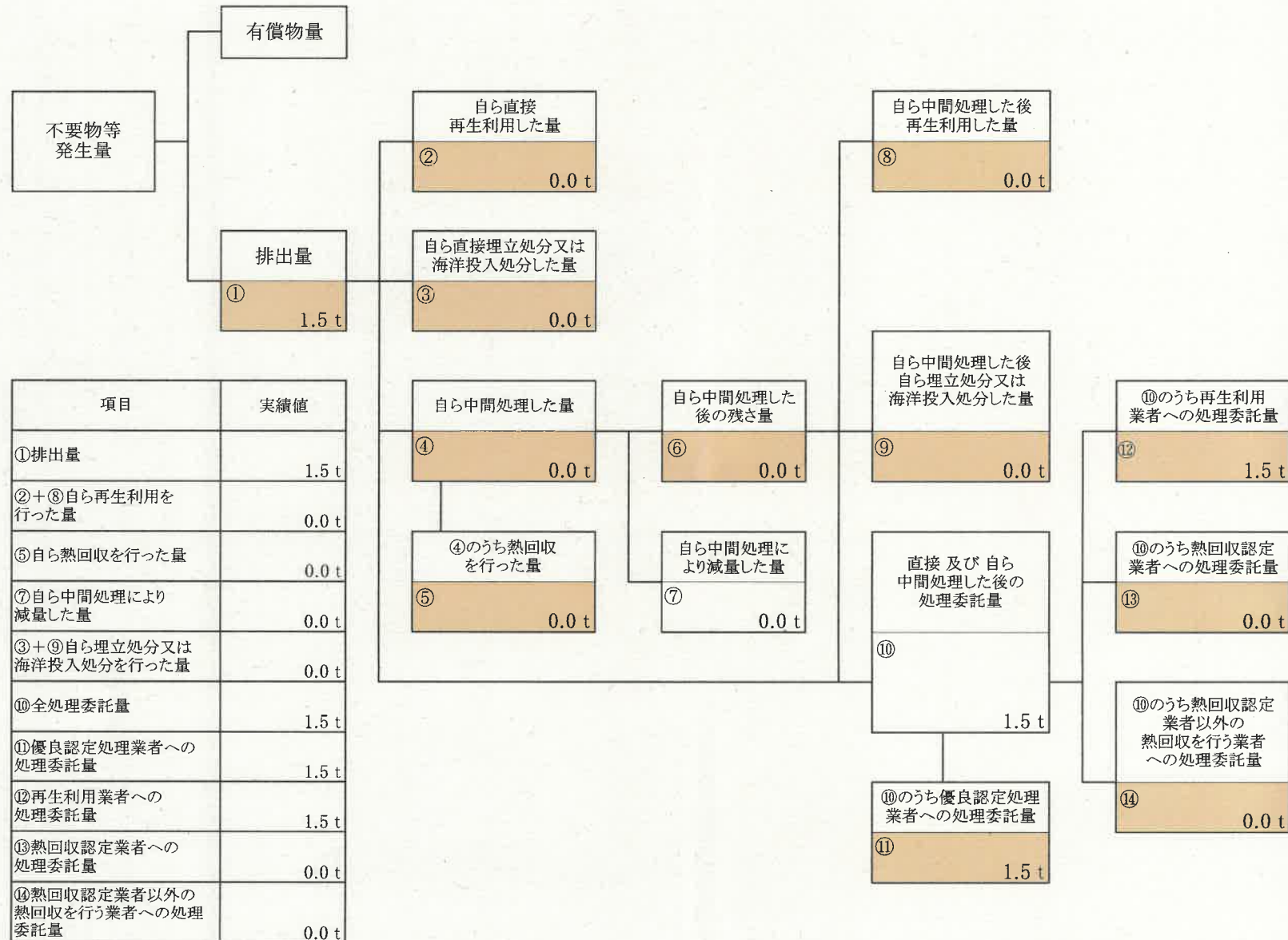
)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



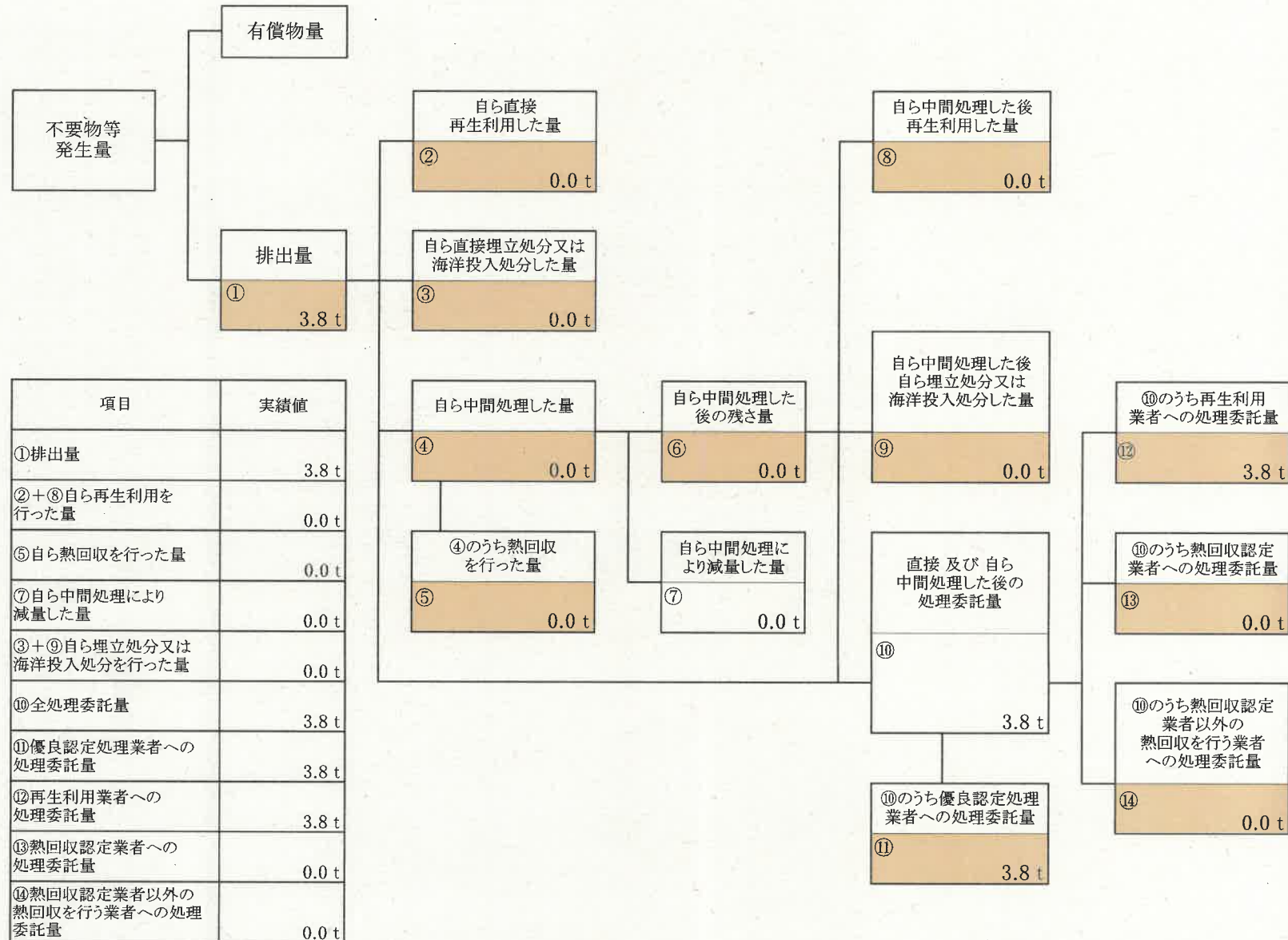
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず

)

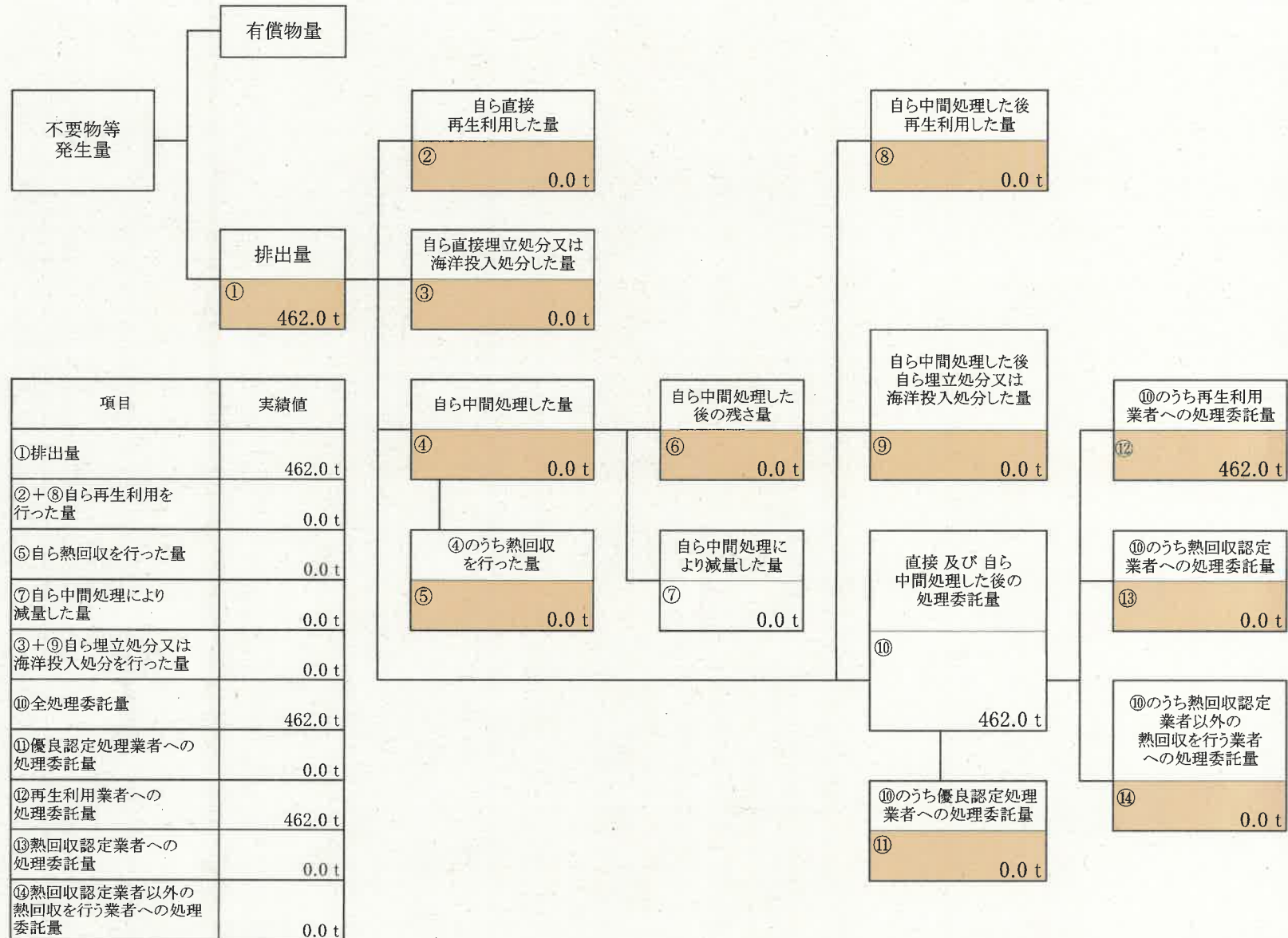


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

建設汚泥)



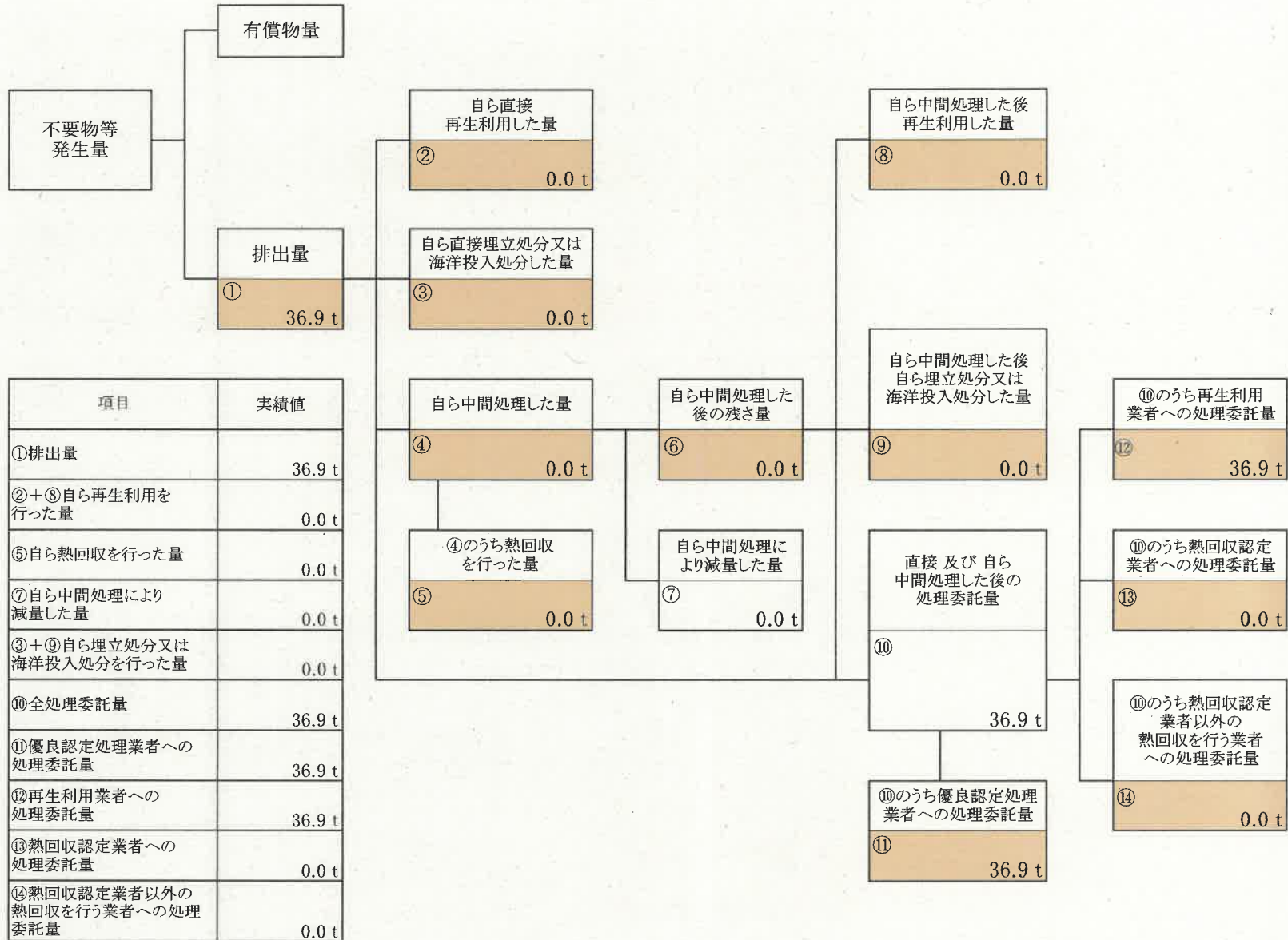
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

建設混合廃棄物

)

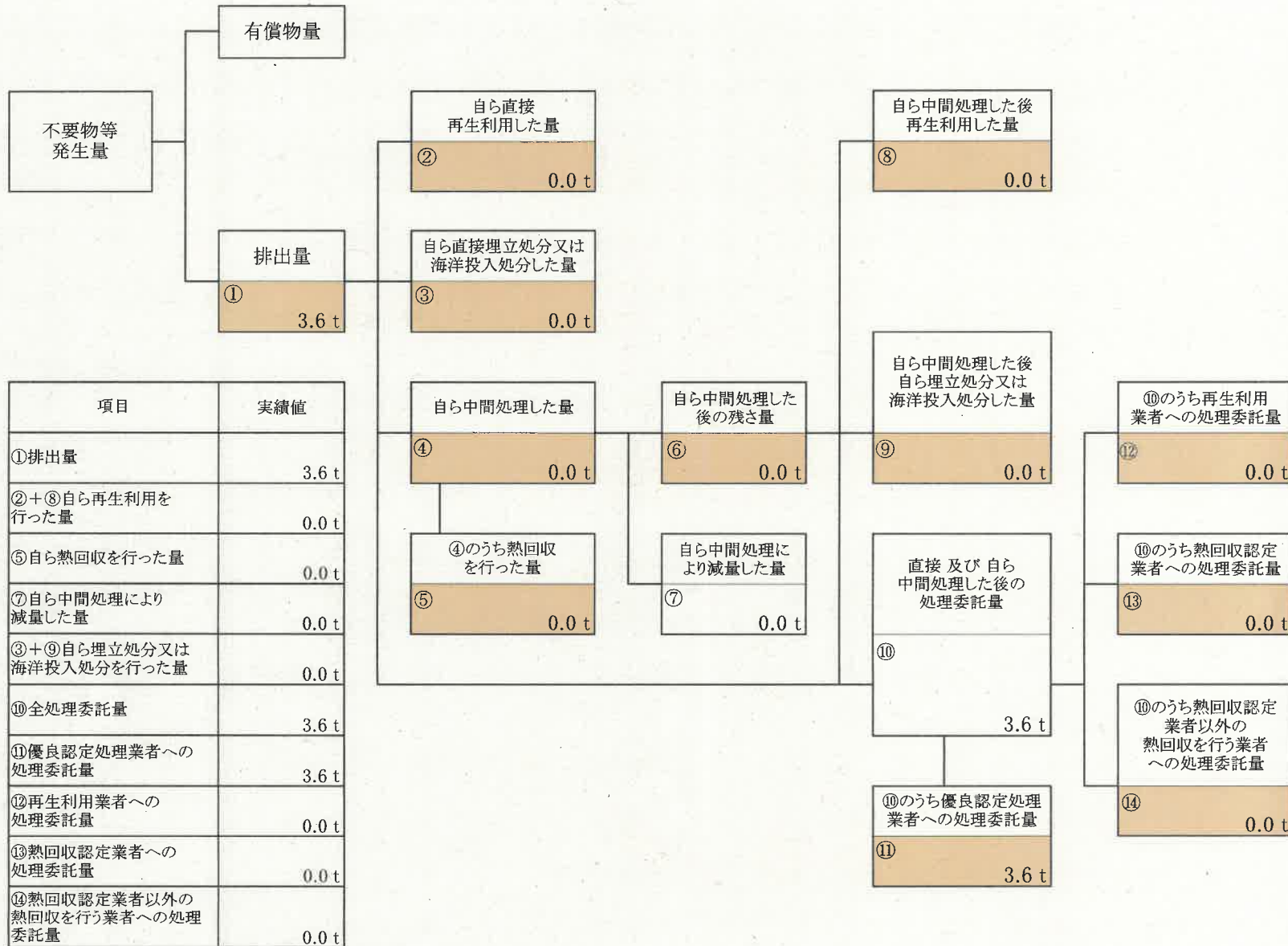


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃石綿等(特管物)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

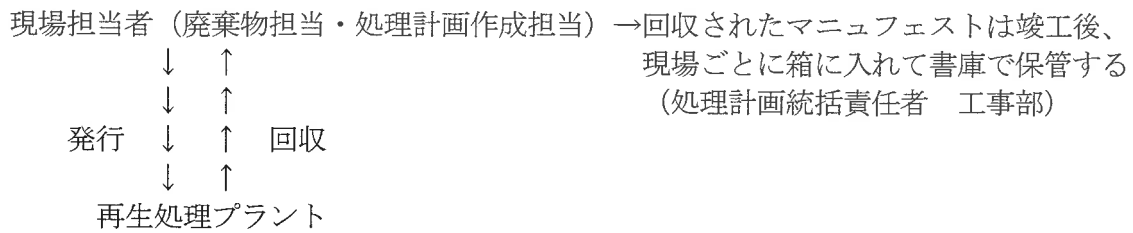
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 4月 19日	
千葉県知事 熊谷 俊人 殿	
	提出者 住 所 千葉県松戸市六高台2-125 氏 名 株式会社藤田土木 代表取締役 藤田 智久 電話番号 047-387-5111
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社藤田土木
事業場の所在地	千葉県松戸市六高台2-125
計画期間	令和 6年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高 9億円
③ 従業員数	25人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事現場→がれき類→中間処理業者委託処理

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず
	排 出 量	3,446.15 t	142.59 t	154.8 t
	（これまでに実施した取組） 再生処理プラントへの搬入 （請負工事の内容による）			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず
	排 出 量	3,000.0 t	100.0 t	120.0 t
	（今後実施する予定の取組） 再生処理プラントへの搬入 （請負工事の内容による）			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） アスファルト、コンクリートがら、路盤廃材 再生処理プラントへの搬入
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） アスファルト、コンクリートがら、路盤廃材 再生処理プラントへの搬入

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項				
(管理体制図) 現場担当者 (廃棄物担当・処理計画作成担当) ↓ ↓ 発行 ↓ ↓ 再生処理プラント ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ 回収 回収 →回収されたマニフェストは竣工後、 現場ごとに箱に入れて書庫で保管する (処理計画統括責任者 工事部)				
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
① 現状	【前年度（ 5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物		
	排 出 量	4.5 t	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生処理プラントへの搬入 (請負工事の内容による)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物		
	排 出 量	3.0 t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生処理プラントへの搬入 (請負工事の内容による)			
産業廃棄物の分別に関する事項				
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルト、コンクリートがら、路盤廃材 再生処理プラントへの搬入			
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルト、コンクリートがら、路盤廃材 再生処理プラントへの搬入			

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（ 5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず
	全 処 理 委 託 量	3,446.15 t	142.59 t	154.8 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	3,446.15 t	142.59 t	154.8 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生処理プラントへの搬入 建設廃棄物処理委託契約書に基づき、適切な委託処理を行った			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t		t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t		t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（ 5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物		
	全 処 理 委 託 量	4.5 t	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	4.5 t	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生処理プラントへの搬入 建設廃棄物処理委託契約書に基づき、適切な委託処理を行った			

(第5面)

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず
	全 処 理 委 託 量	3,000.0 t	100.0 t	120.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3,000.0 t	100.0 t	120.0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生処理プラントへの搬入 建設廃棄物処理委託契約書に基づき、適切な委託処理を行う			
※事務処理欄				

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物		
	全 処 理 委 託 量	3.0 t	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3.0 t	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生処理プラントへの搬入 建設廃棄物処理委託契約書に基づき、適切な委託処理を行う			
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

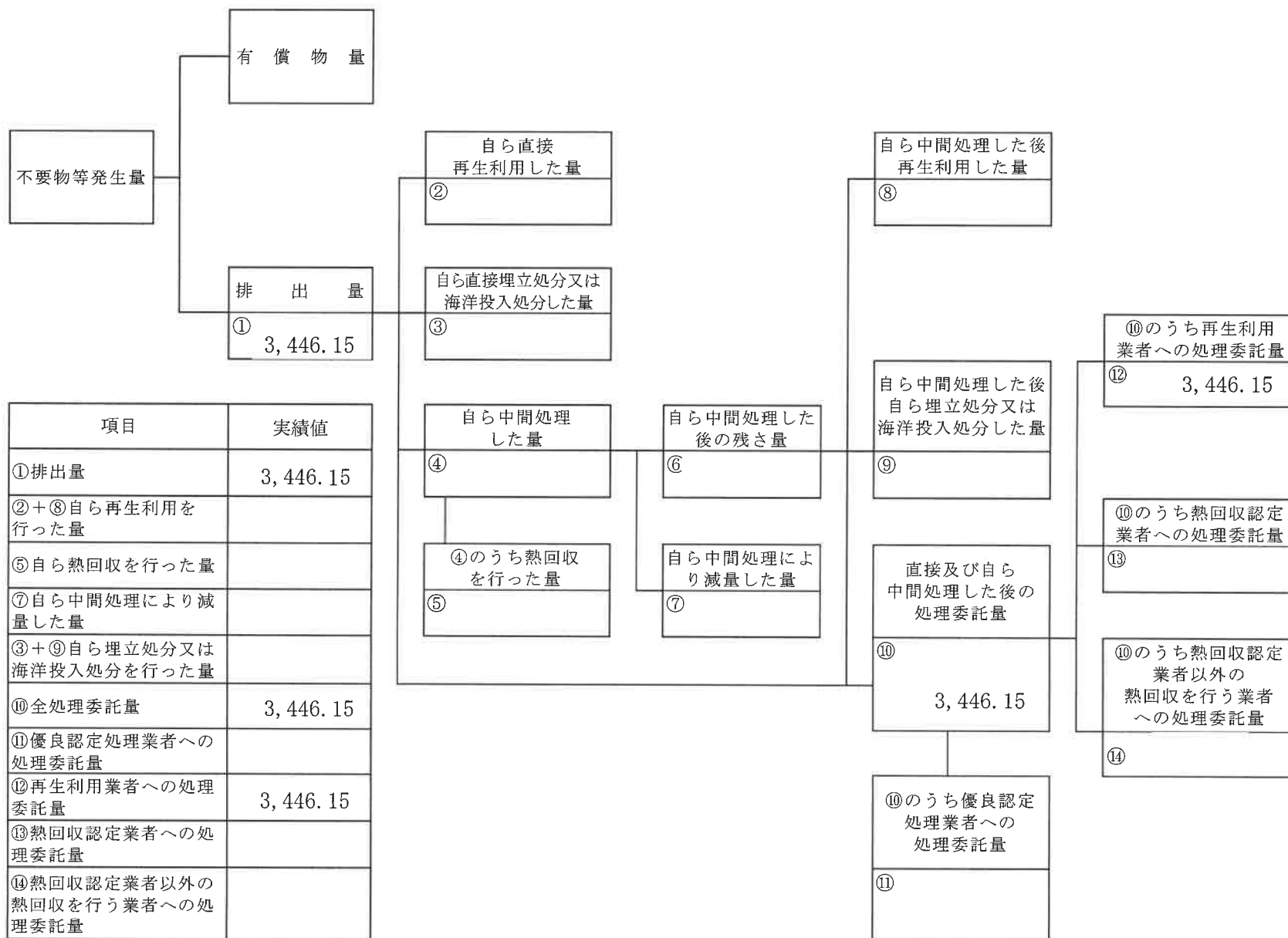
様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
		令和 6年 4月 19日	
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
		提出者 住 所 千葉県松戸市六高台2-125 氏 名 株式会社藤田土木 代表取締役 藤田 智久 電話番号 047-387-5111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 ⁵ 4 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称		株式会社 藤田土木	
事業場の所在地		千葉県松戸市六高台2-125	
事業の種類		大分類：建設業 中分類：総合工事業	
産業廃棄物処理計画における計画期間		令和 5年 4月 1日 ～ 令和 6年 3月31日	
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目		目標値	
排出量		1,205.0 t	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	
全処理委託量		1,205.0 t	
優良認定処理業者への処理委託量		t	
再生利用業者への処理委託量		1,205.0 t	
認定熱回収業者への処理委託量		t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	
※事務処理欄			

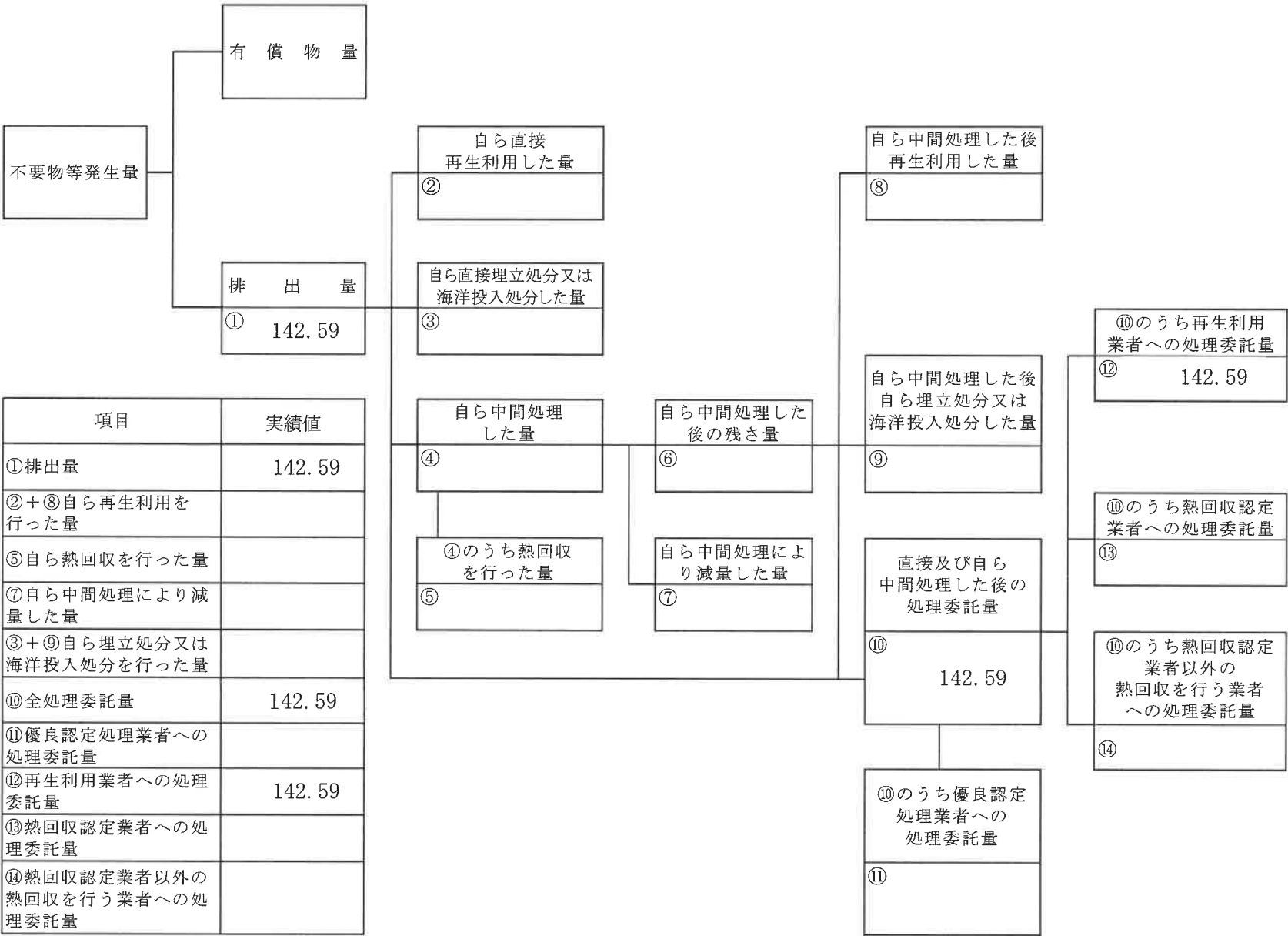
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



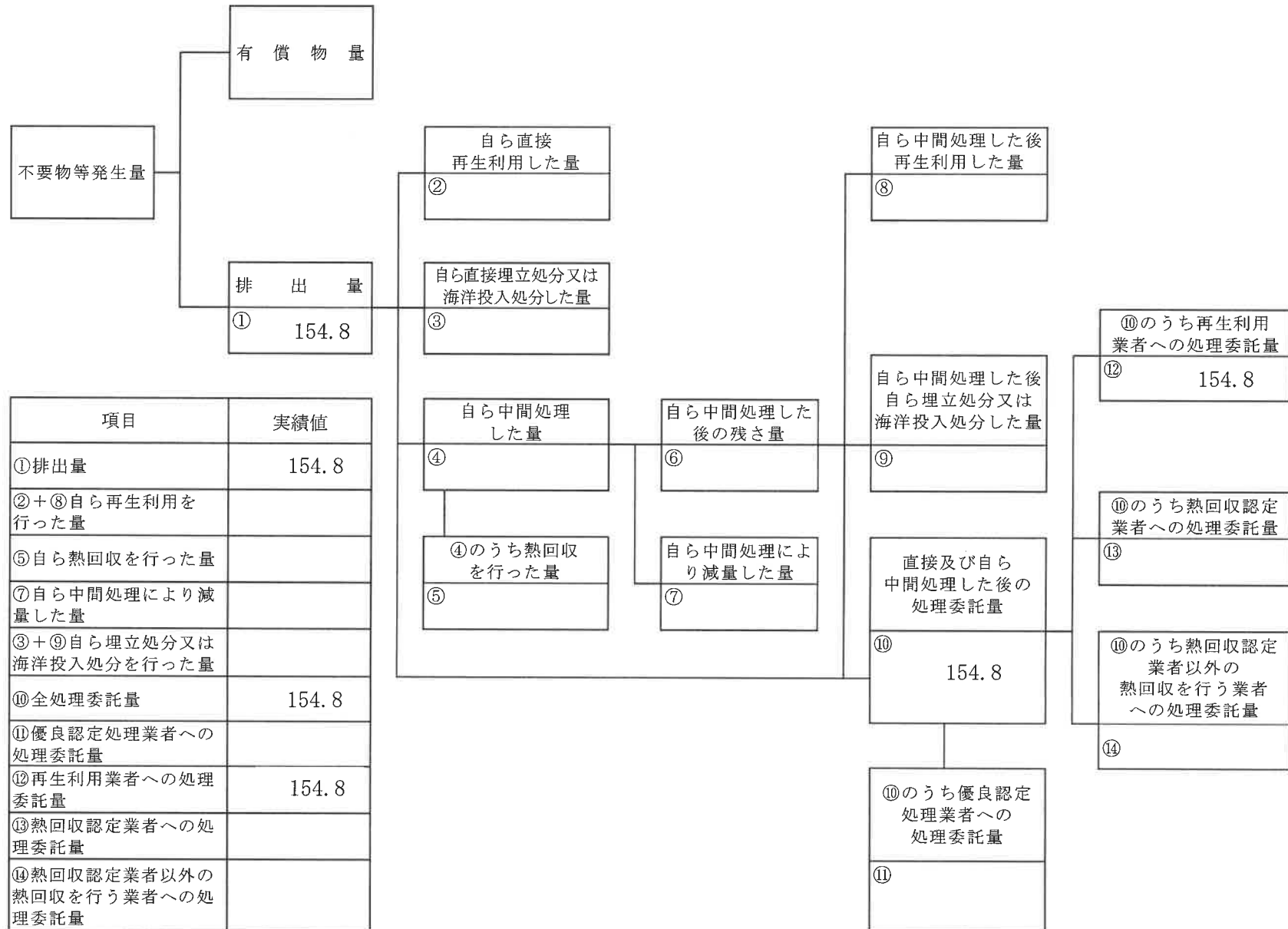
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



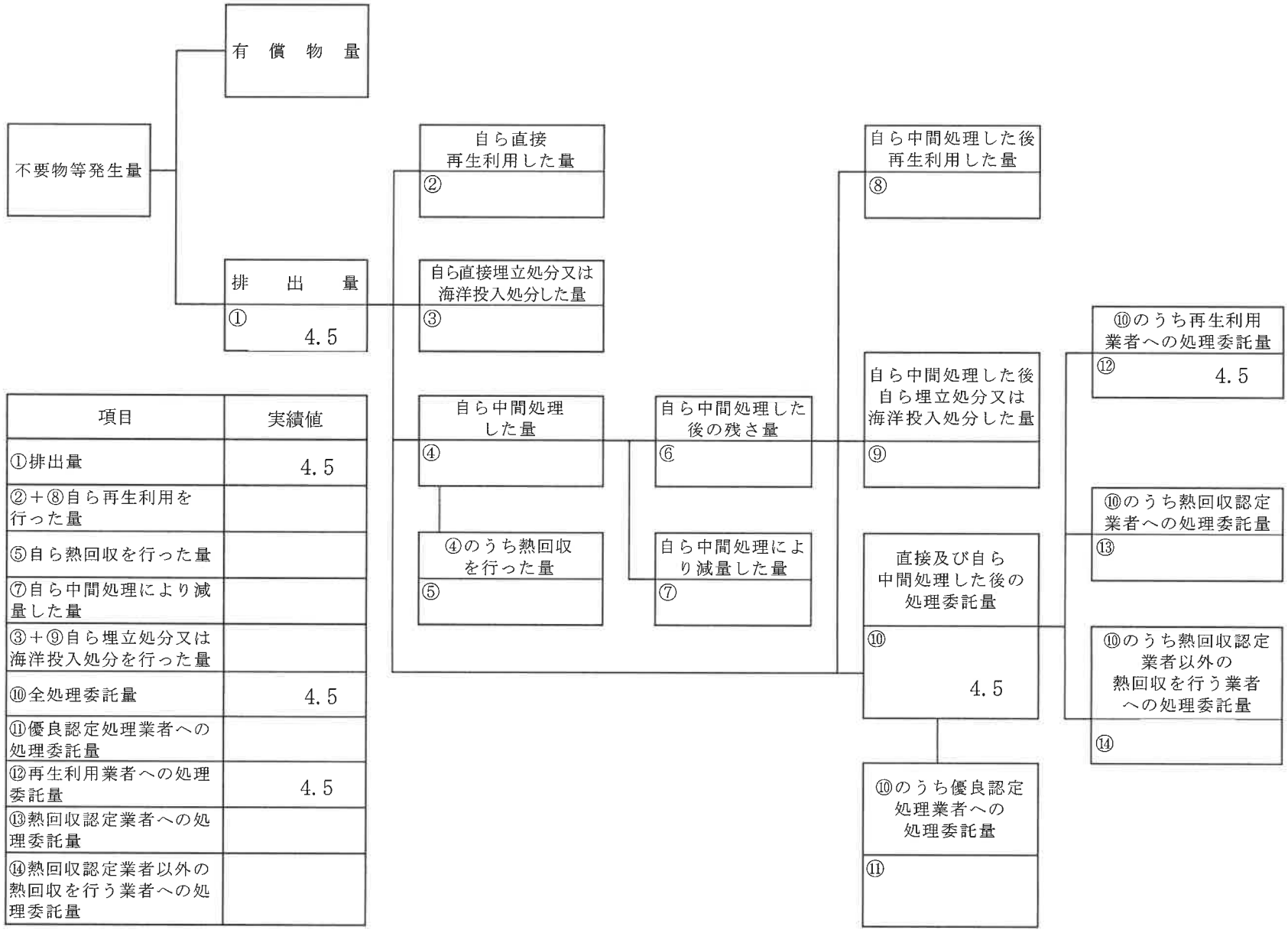
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 25日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒212-0013	
住 所 神奈川県川崎市幸区堀川町580	
氏 名 富士古河E&C株式会社 品質保証部) 鈴木 靖二 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 044-548-4385	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	富士古河E&C株式会社
事業場の所在地	神奈川県川崎市幸区堀川町580
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D08－設備工事業
② 事業の規模	1,919百万円
③ 従業員数	1,301名（令和6年5月31日付）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1 参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2 参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	3.57 t	2.43 t
	(これまでに実施した取組) ・ 施工方法の見直しにより、発注材料を少なくする。 ・ 梱包材は最小限になるよう発注先に依頼する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	3 t	2 t
	(今後実施する予定の取組) 上記の取組に加え、 ・ 混合廃棄物比率の低減 （多量排出の際は契約時に分別計画を 依頼） ・ 優良業者の選定を推進する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ サステナブル活動として混合廃棄物比率の低減に取り組んでいる。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 上記の取組に加え、新入社員教育にも上記の内容を指導する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし（処理業者に委託）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 同上		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 特になし（処理業者に委託）			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 同上			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 実施していません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	全処理委託量	3.57t	2.43t
	優良認定処理業者への処理委託量	3.57t	2.43t
	再生利用業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り優良認定業者を選定し、委託契約を交わす。 ・電子マニフェスト100%運用の推進		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	全処理委託量	3 t	2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	3 t	2 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・継続して可能な限り、優良認定業者と委託契約を結ぶ。		
	・分別や施工方法を工夫して廃棄物の発生を抑制する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず	建設混合廃棄物	汚泥	がれき類	くず及び陶磁器	
		排出量	11.385 t	60.003 t	4.9 t	26.41 t	1056 t	678.42 t	2 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	コンクリートくず	建設混合廃棄物	汚泥	がれき類	くず及び陶磁器	
排出量		8 t	50 t	4 t	15 t	500 t	200 t	1 t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	コンクリートくず	建設混合廃棄物	汚泥	がれき類	くず及び陶磁器	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	コンクリートくず	建設混合廃棄物	汚泥	がれき類	くず及び陶磁器	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	コンクリートくず	建設混合廃棄物	汚泥	がれき類	くず及び陶磁器	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		木くず	金属くず	コンクリートくず	建設混合廃棄物	汚泥	がれき類	くず及び陶磁器		
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	コンクリートくず	建設混合廃棄物	汚泥	がれき類	くず及び陶磁器	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	コンクリートくず	建設混合廃棄物	汚泥	がれき類	くず及び陶磁器	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	コンクリートくず	建設混合廃棄物	汚泥	がれき類	くず及び陶磁器	
	全処理委託量	11.385 t	60.003 t	4.9 t	26.41 t	1056 t	678.42 t	2 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	10.29 t	56.05 t	4.9 t	24.33 t	0 t	105.88 t	2 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	コンクリートくず	建設混合廃棄物	汚泥	がれき類	くず及び陶磁器	
	全処理委託量	8 t	50 t	4 t	15 t	500 t	200 t	1 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	8 t	50 t	4 t	15 t	500 t	200 t	1 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

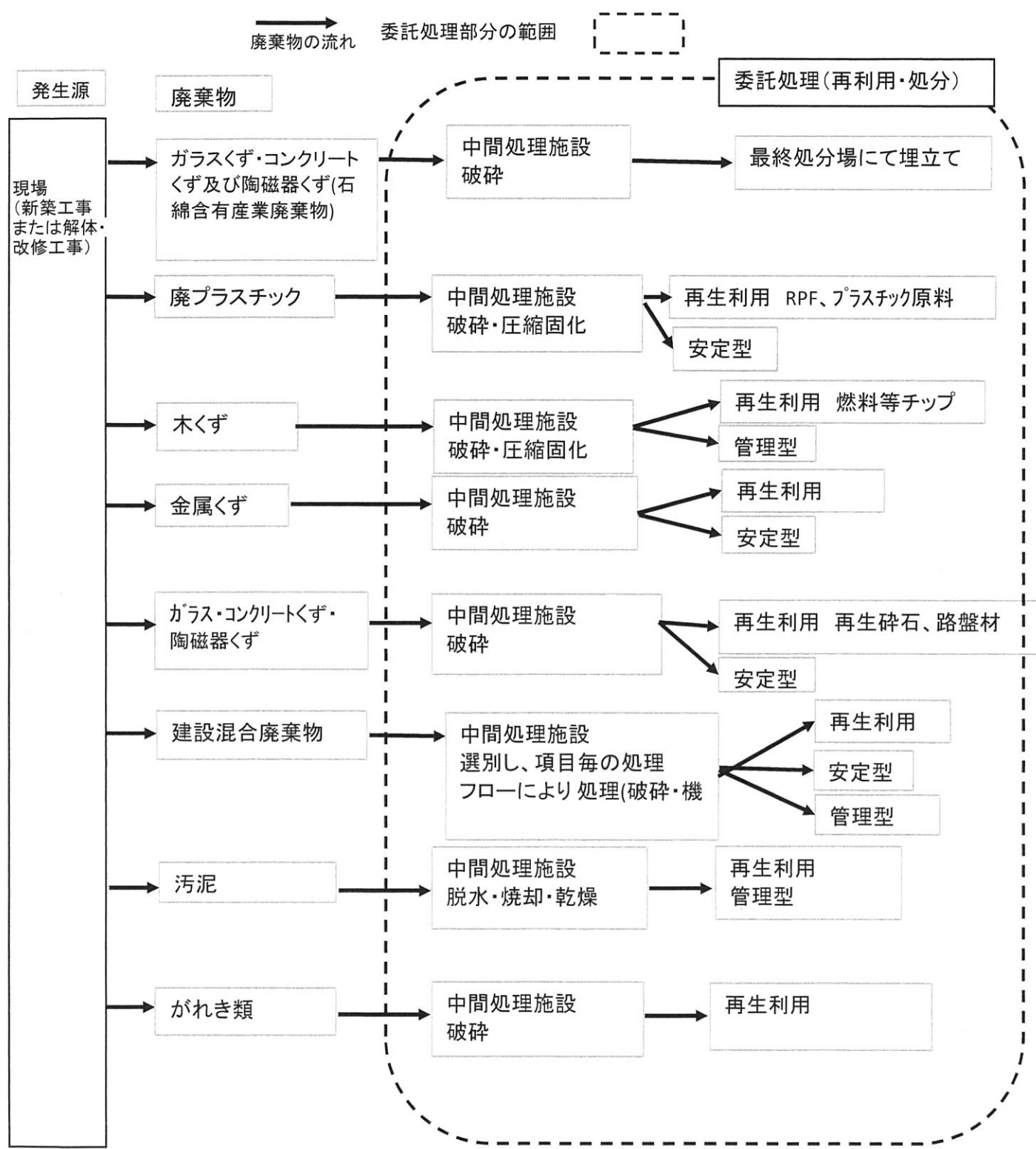
1. 現状(前年度の処理量)

[illegible]

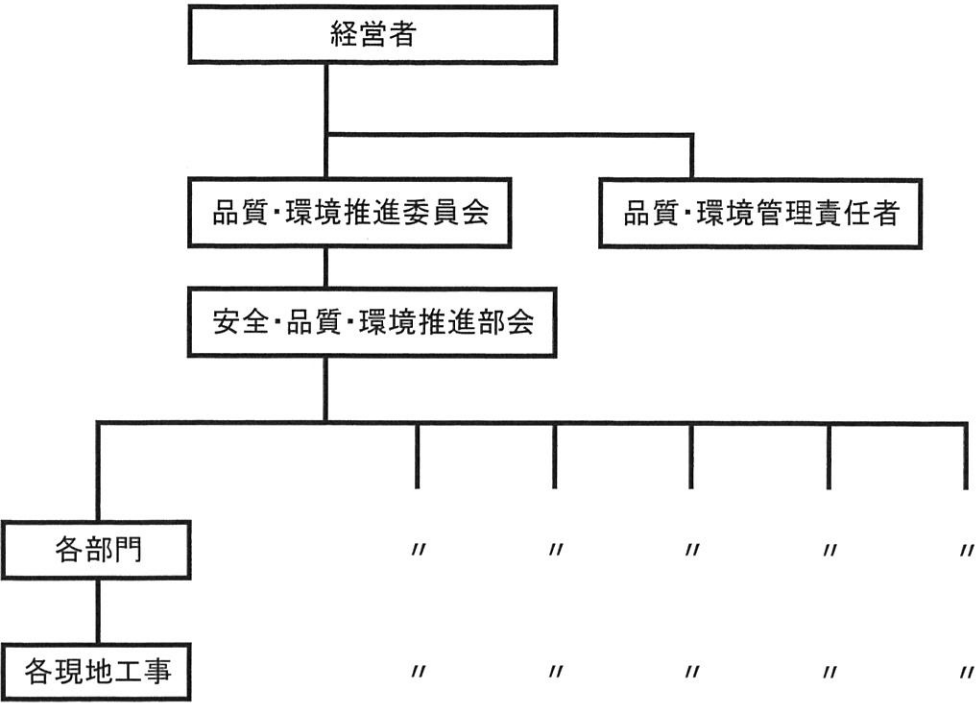
2. 計画(本年度の処理量)

[illegible]

別紙1 廃棄物処理フロー図



別紙2 管理体制図



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 24日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒276-0034

住 所 千葉県八千代市八千代台西8-11-4

氏 名 株式会社船越組

代表取締役 船越文徳

電話番号 047-482-2621

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

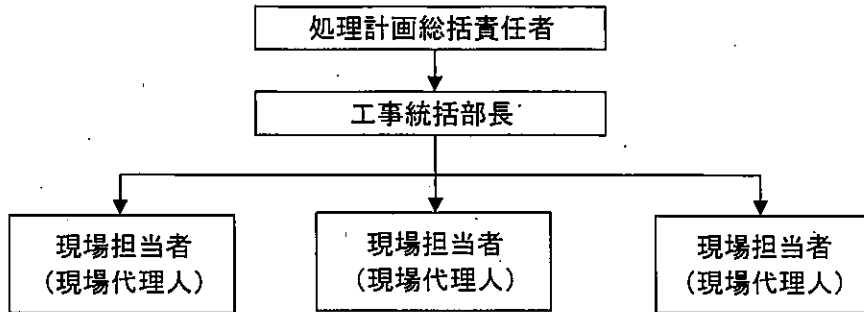
事業場の名称	株式会社船越組
事業場の所在地	千葉県八千代市八千代台西8-11-4
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
② 事業の規模	前年度完成工事高66千万円
③ 従業員数	15人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルト・コンクリート塊・がれき類・カッター汚泥・汚泥・木くず・金属く 工事受注 → 廃材運搬 → 委託処理（再生利用業者で処理） ↓ 再生アスファルト・再生砕石 伐採・木くず → 廃材運搬 → 委託処理（再生利用業者で処理）

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 受注工事の量と質による		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 受注工事の量と質による		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場の作業員に指導する
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場の作業員に指導する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 受注工事の量と質による		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 受注工事の量と質による		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者への処理を優先する		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用業者への処理を優先する		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	排 出 量	3708 t	395 t	2109 t	3 t	250 t	50 t	0 t	40 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	排 出 量	1000.00 t	100.00 t	500.00 t	2.00 t	100 t	20 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
----------------------	--	--	--

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（令和5年度）実績】								
①現状	産業廃棄物の種類	アルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	アルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	全処理委託量	3708 t	395 t	2109 t	3 t	250 t	50 t	t	40 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	3 t	t	t	t	40 t
	再生利用業者への処理委託量	3708 t	395 t	2109 t	t	250 t	50 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	全処理委託量	1000 t	100 t	500 t	2 t	100 t	20 t	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	2 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1000 t	100 t	500 t	t	100 t	20 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月24日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒276-0034
住 所 千葉県八千代市八千代台西8-11-4
氏 名 株式会社 船越組
代表取締役 船越文徳
電話番号 047(482)2621

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

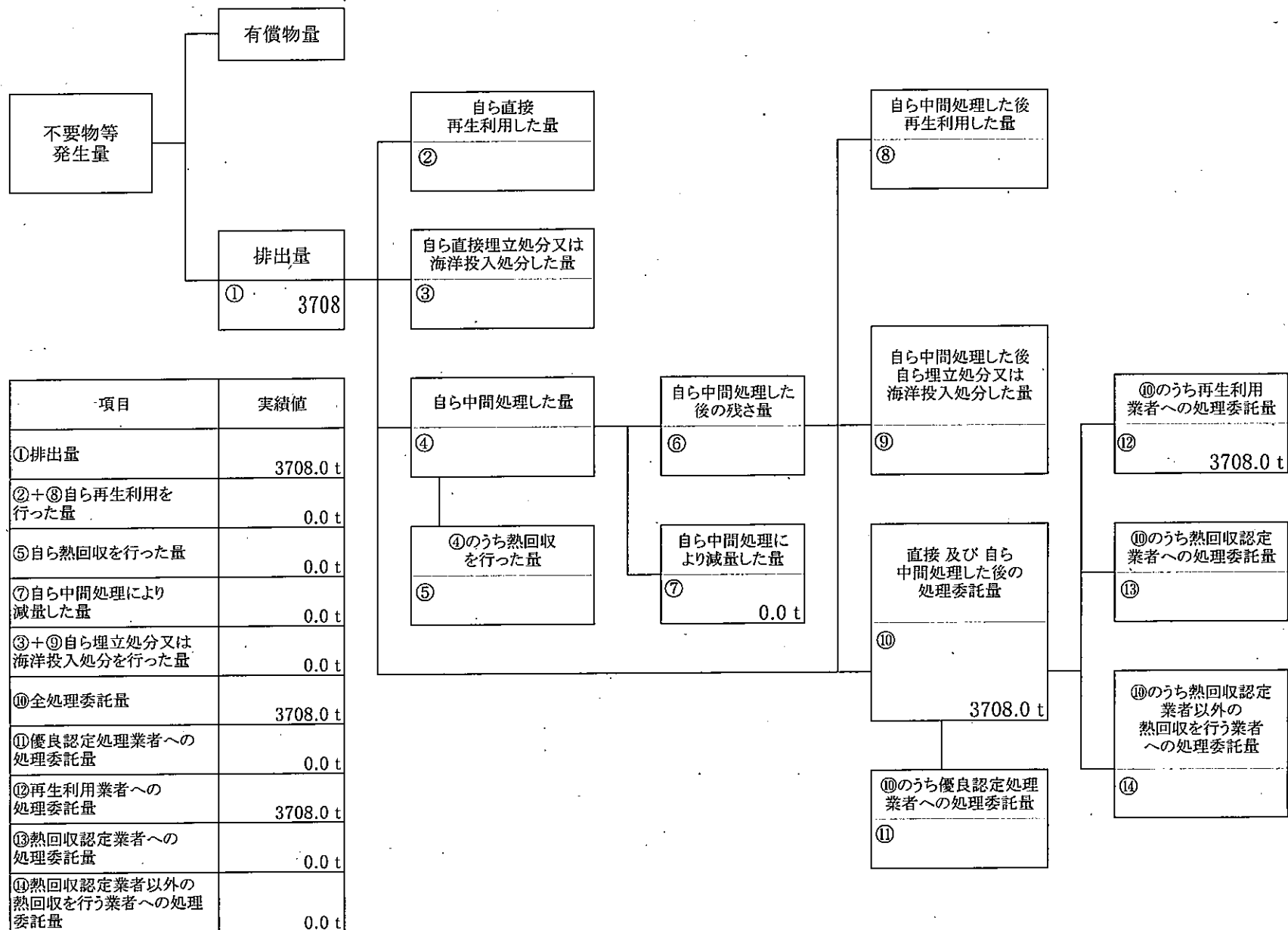
事業場の名称	株式会社船越組		
事業場の所在地	千葉県八千代市八千代台西8-11-4		
事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1602.0 t	全処理委託量	1602.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	2
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1602.0 t 1600
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

アスファルト・コンクリート殻

)



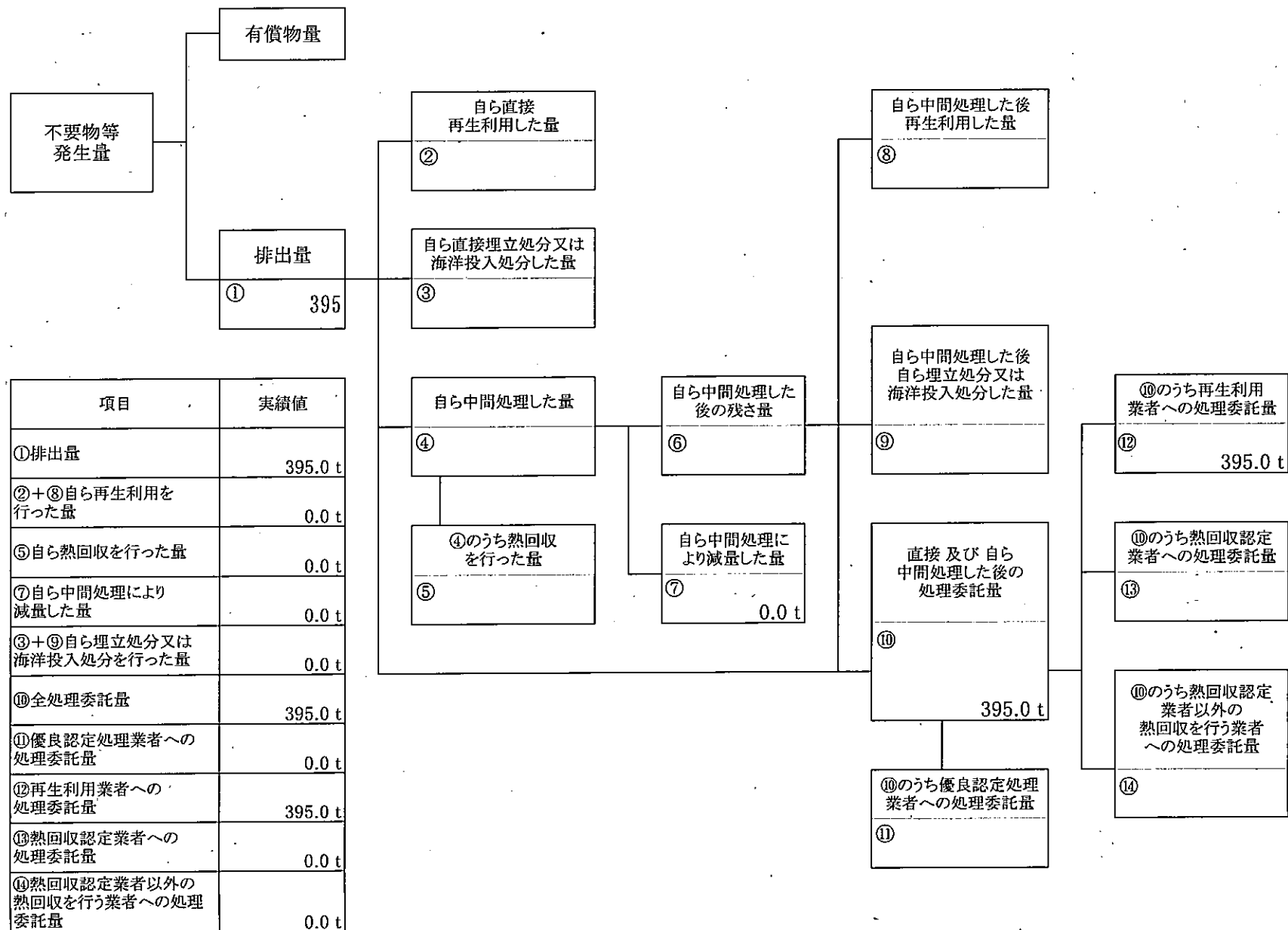
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

コンクリート殻

)



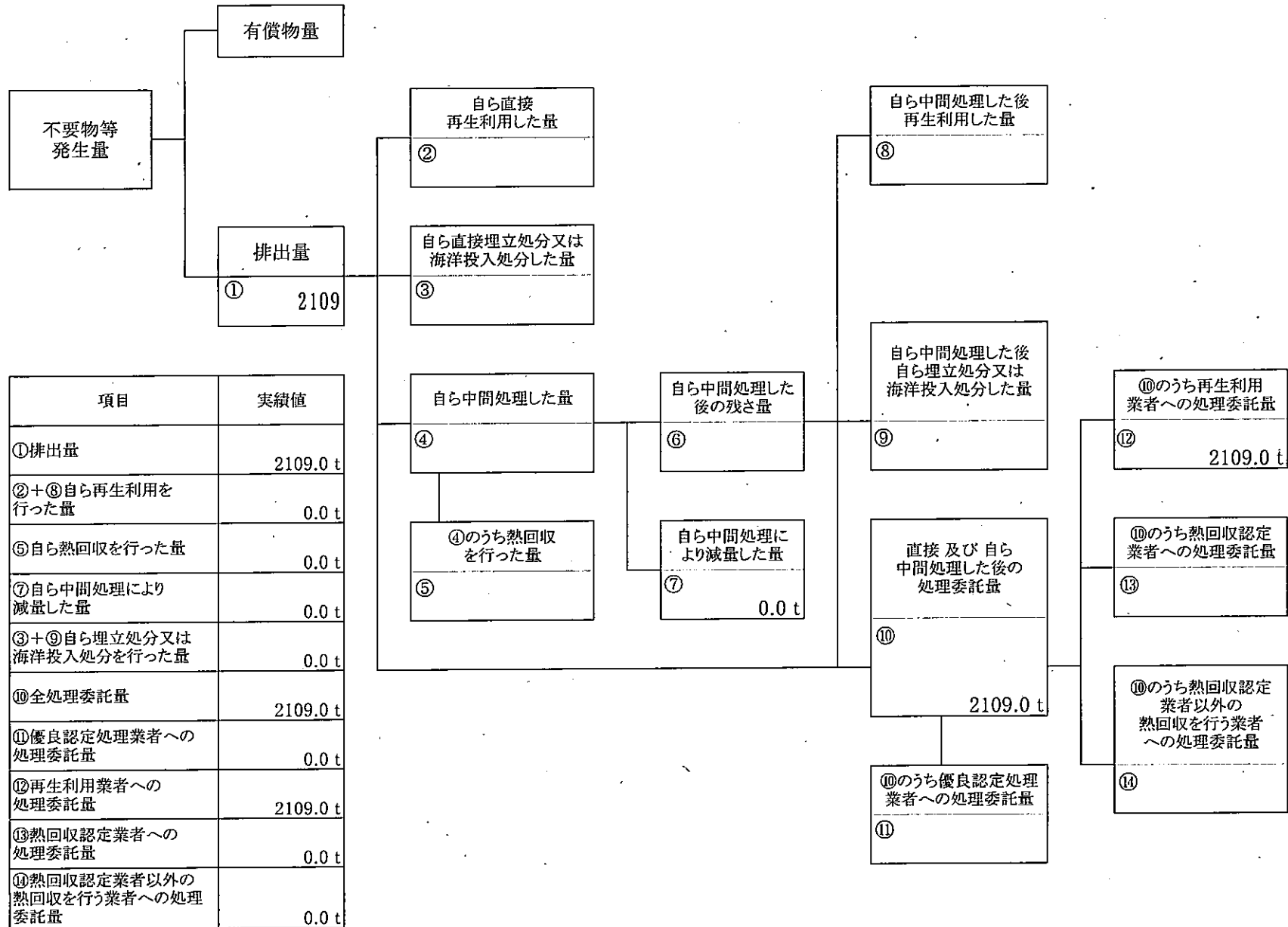
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

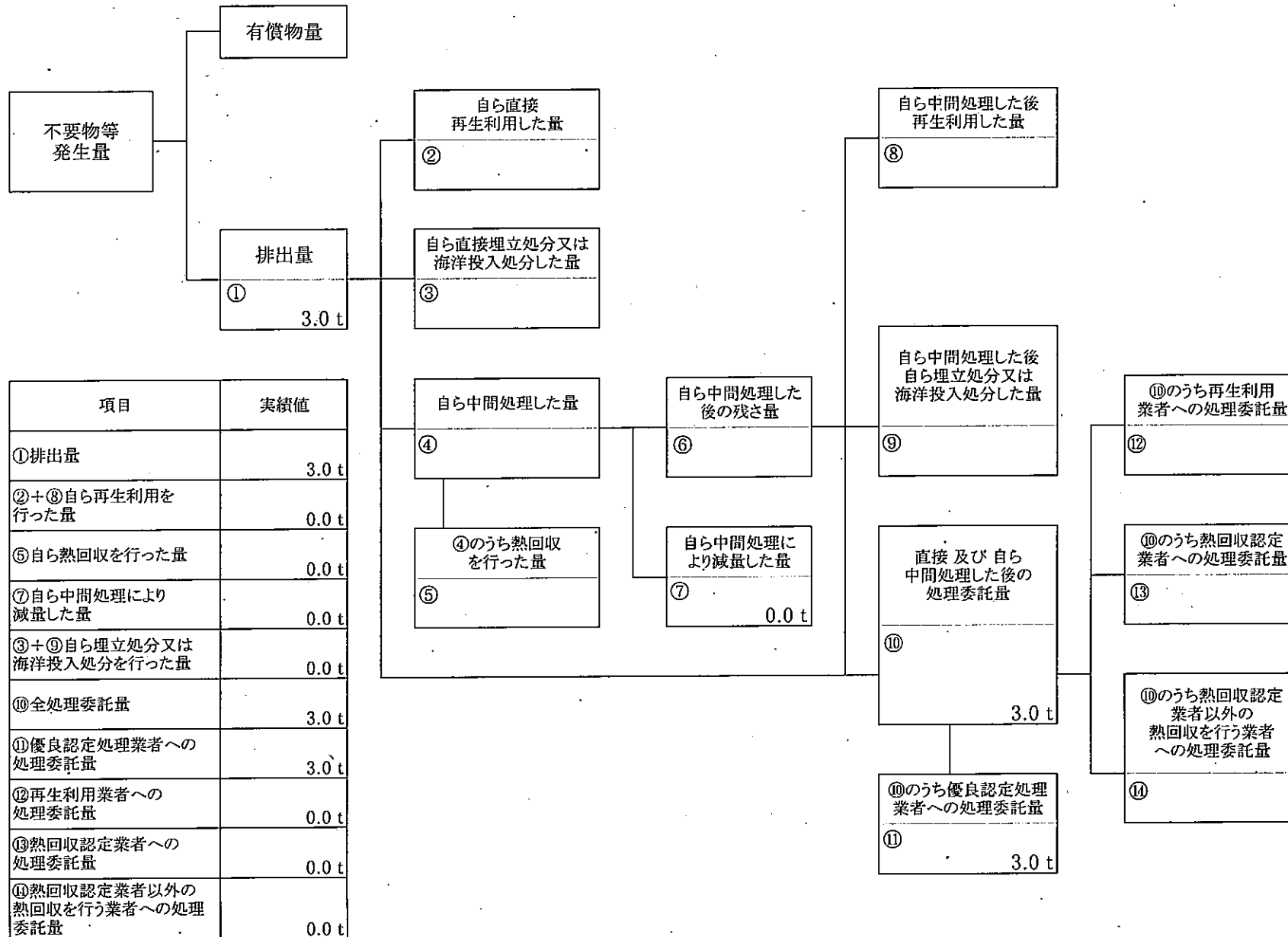


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

カッター汚泥

)



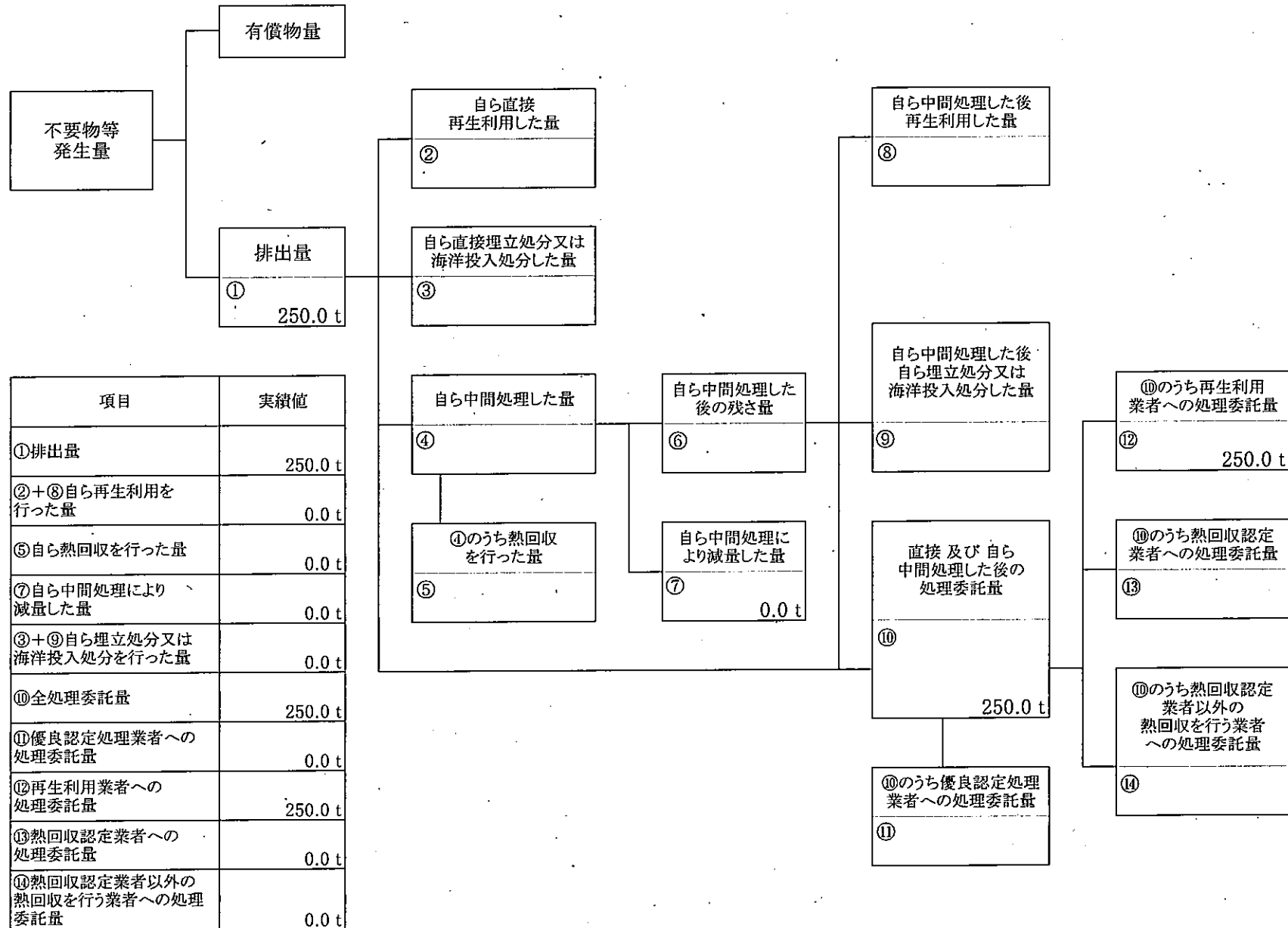
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

汚泥

)



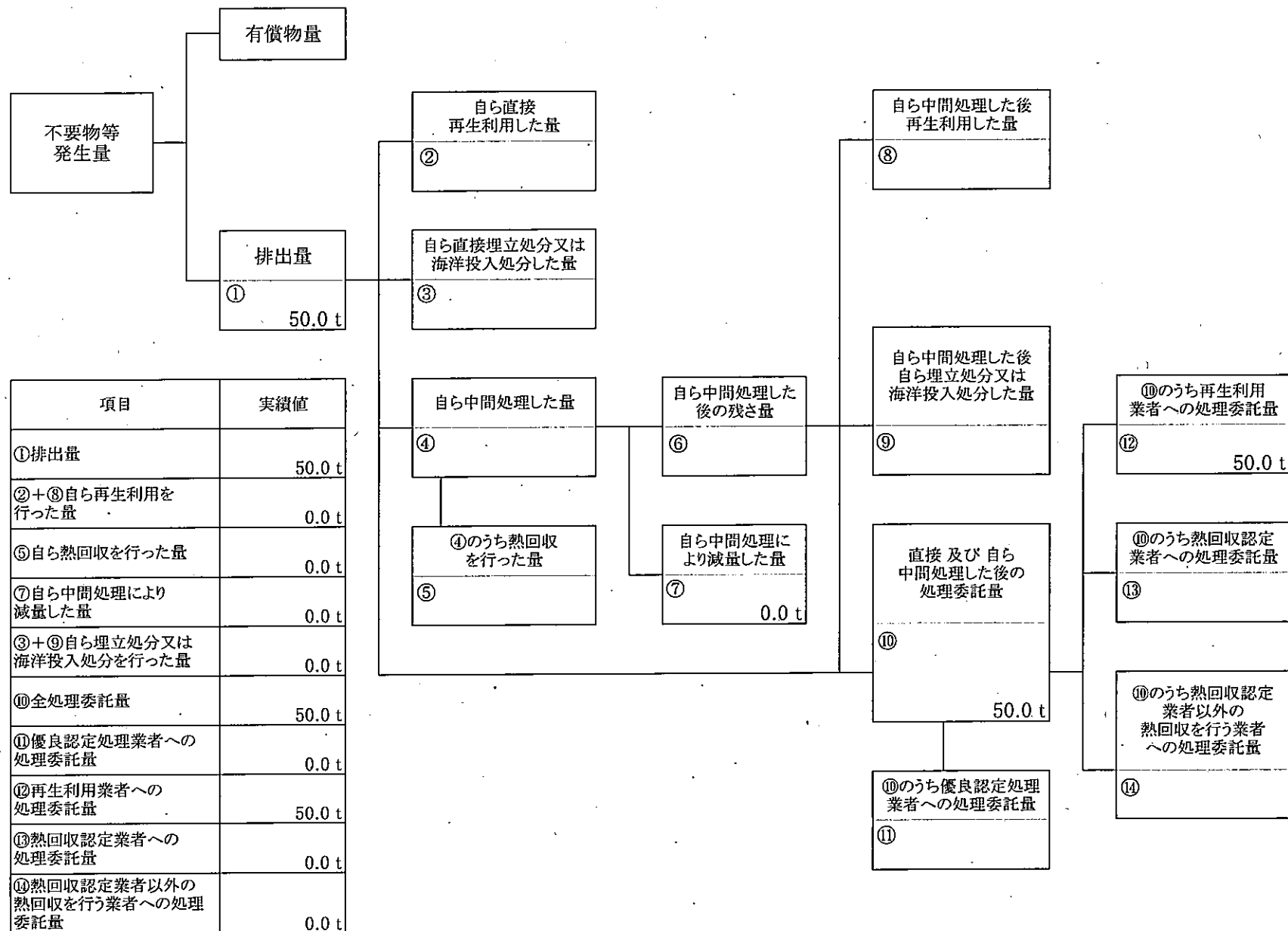
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず

)



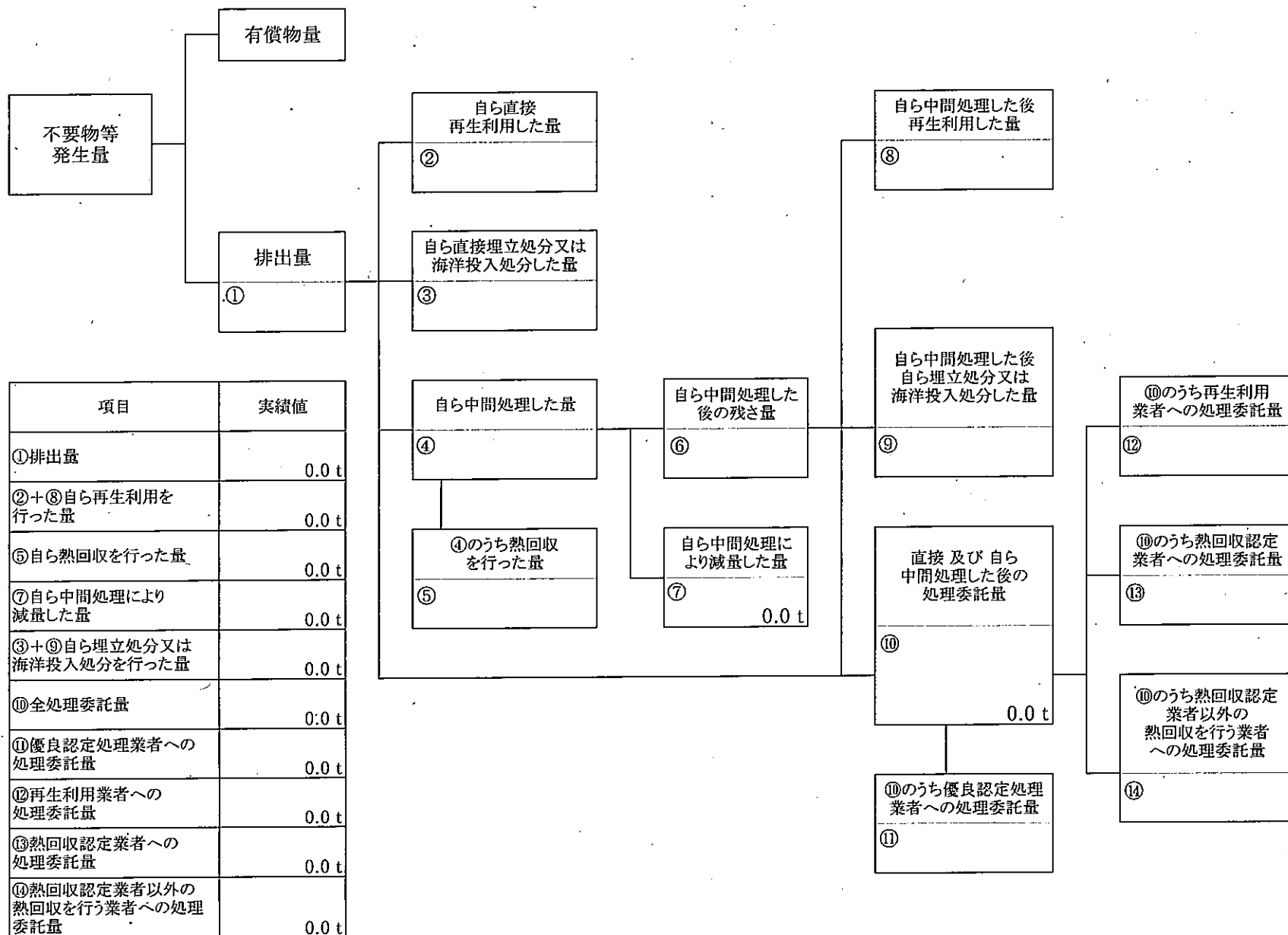
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

金属くず

)



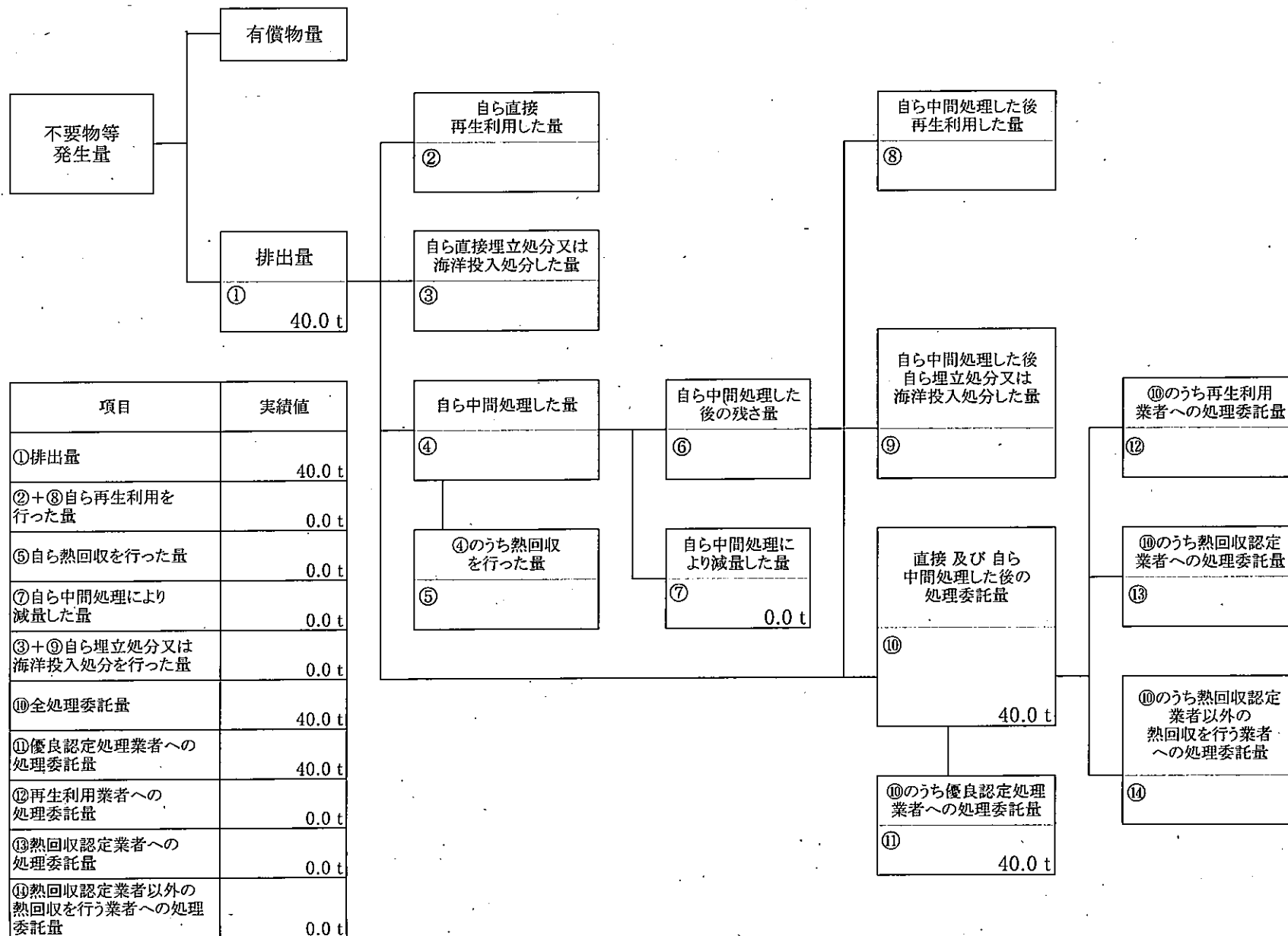
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

その他混合廃棄物

)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 14 日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒737-2131	
住 所 広島県江田島市江田島町秋月4-10-9	
氏 名 株式会社フルサワ 代表取締役 古澤成憲	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0823-42-1602	
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	三井E&S造船 千葉工場設備他撤去工事
事業場の所在地	千葉縣市原市八幡海岸通1番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 69,278万円
③ 従業員数	29名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(現場) 産業廃棄物発生 ↓ 分別・保管 ⇒ 収集運搬 ⇒ 中間処理 (破碎等処分) ⇒ 再資源化・再利用 最終処分 (埋立処分)

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙1のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2集計表のとおり	—
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・解体工事でのみ発生するため、排出抑制ではなく他の廃棄物と混合しないように徹底した分別と梱包作業。 ・保管場所の管理。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2集計表のとおり	—
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・解体工事着手前に事前調査による廃棄物の特定。 ・ほかの廃棄物との混合を避けるために徹底した分別と梱包作業。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ほかの廃棄物との混合を避けるために徹底した分別を行う。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2集計表のとおり	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2集計表のとおり	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2集計表のとおり	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2集計表のとおり	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2集計表のとおり	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2集計表のとおり	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2集計表のとおり	—
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託先の処理受け入れ可能な産業廃棄物の種類、及び適正処理が可能なかの確認をし委託契約書を終結している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙2集計表のとおり	—
	全 処 理 委 託 量_	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も適正な委託契約を終結すると共に可能な限り優良業者を選択したい。		
※事務処理欄			

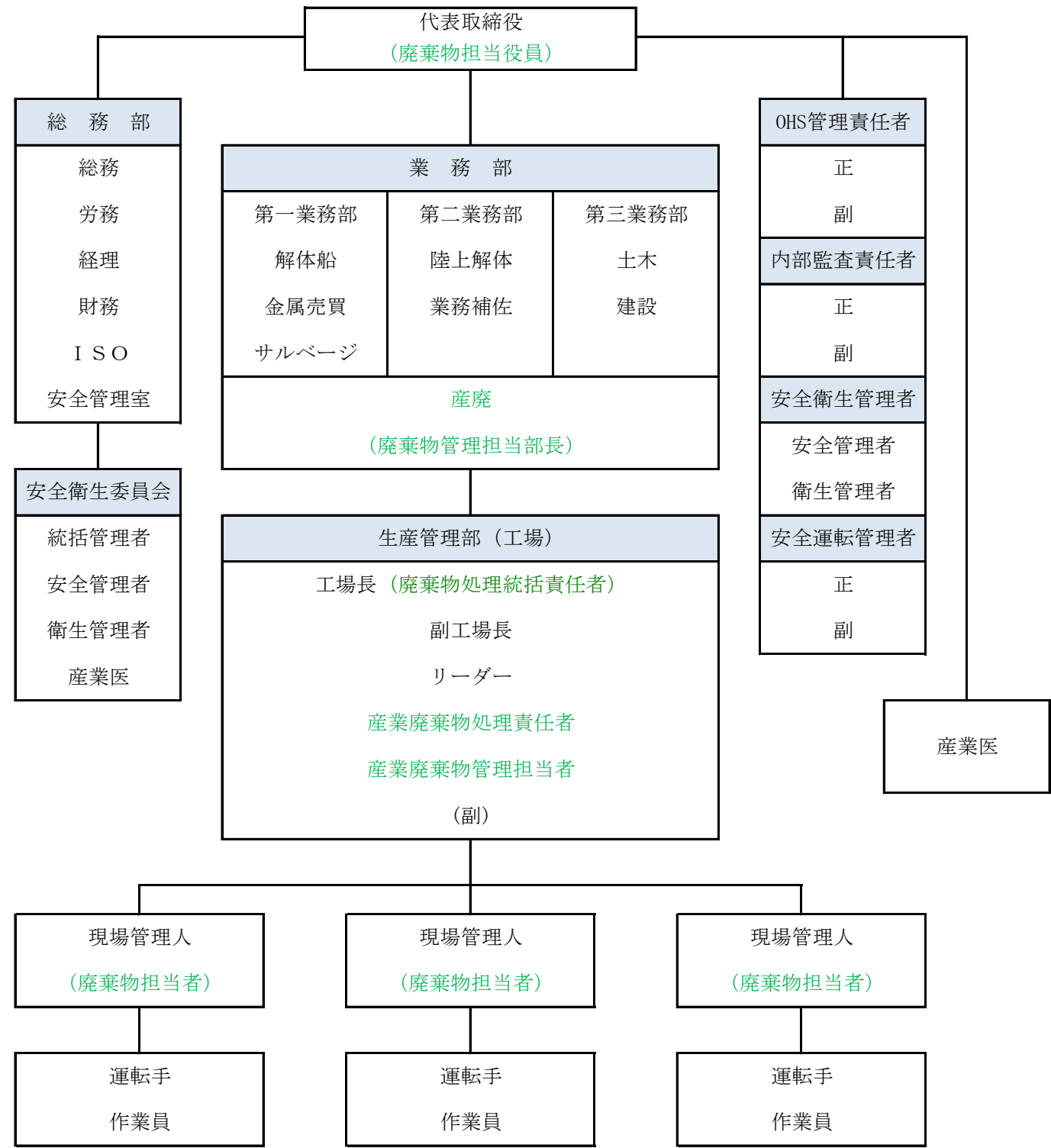
(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図）

管理体制図



別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	ロックウール	石膏ボード	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	蛍光灯
	排 出 量	205.15 t	12.00 t	9.90 t	58.50 t	1260.01 t	99.80 t	99.62 t	0.33 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	ロックウール	石膏ボード	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	蛍光灯
	排 出 量	10.00 t	0 t	0 t	20.00 t	0 t	40.00 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	ロックウール	石膏ボード	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	蛍光灯
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	ロックウール	石膏ボード	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	蛍光灯
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	ロックウール	石膏ボード	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	蛍光灯
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	ロックウール	石膏ボード	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	蛍光灯
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に關する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	ロックウール	石膏ボード	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	蛍光灯
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	ロックウール	石膏ボード	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	蛍光灯
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	ロックウール	石膏ボード	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	蛍光灯
	全処理委託量	205.15 t	12.00 t	9.90 t	58.50 t	1260.01 t	99.80 t	99.62 t	0.33 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	204.60 t	0 t	0 t	55.80 t	0 t	0 t	62.16 t	0.33 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	ロックウール	石膏ボード	がれき類	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	蛍光灯
	全処理委託量	10.00 t	0 t	0 t	20.00 t	0 t	40.00 t	0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	10.00 t	0 t	0 t	20.00 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月14日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒737-2131
住 所 広島県江田島市江田島町秋月4-10-9
氏 名 株式会社フルサワ 代表取締役 古澤成憲
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0823-42-1602

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

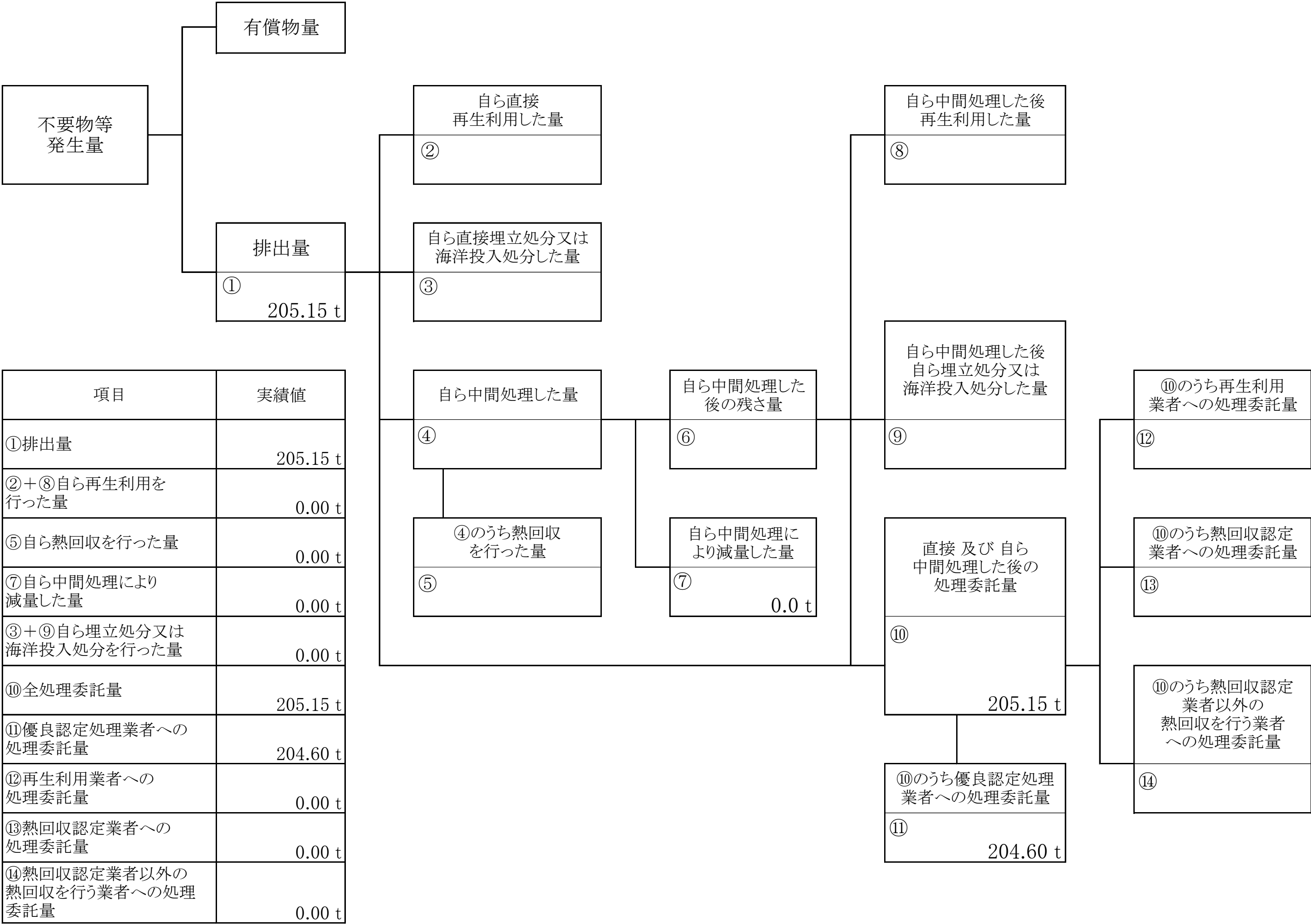
事業場の名称	三井E&S造船 千葉工場設備他撤去工事
事業場の所在地	千葉縣市原市八幡海岸通1番地
事業の種類	建設業 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1100 t	全処理委託量	1100 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

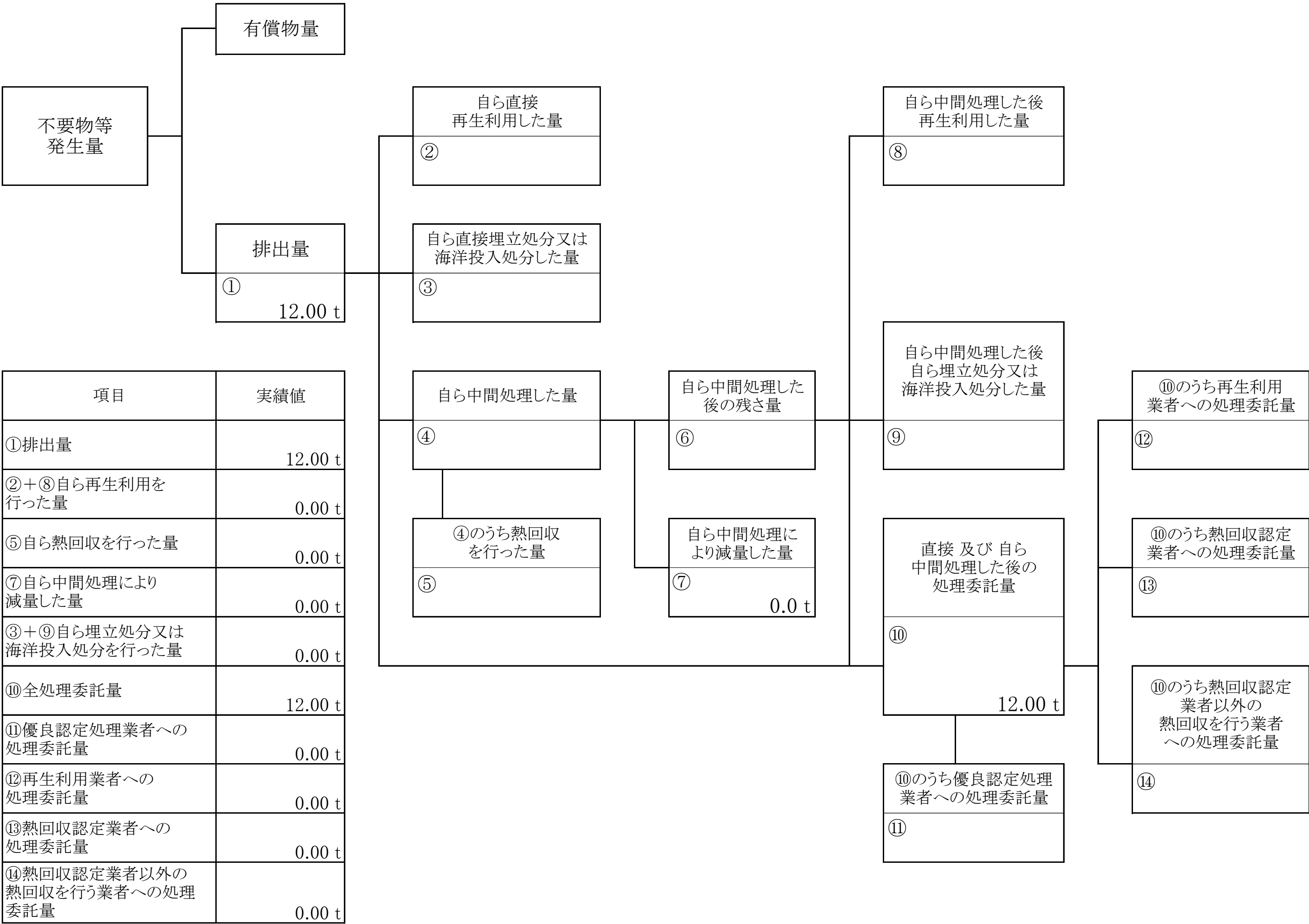
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



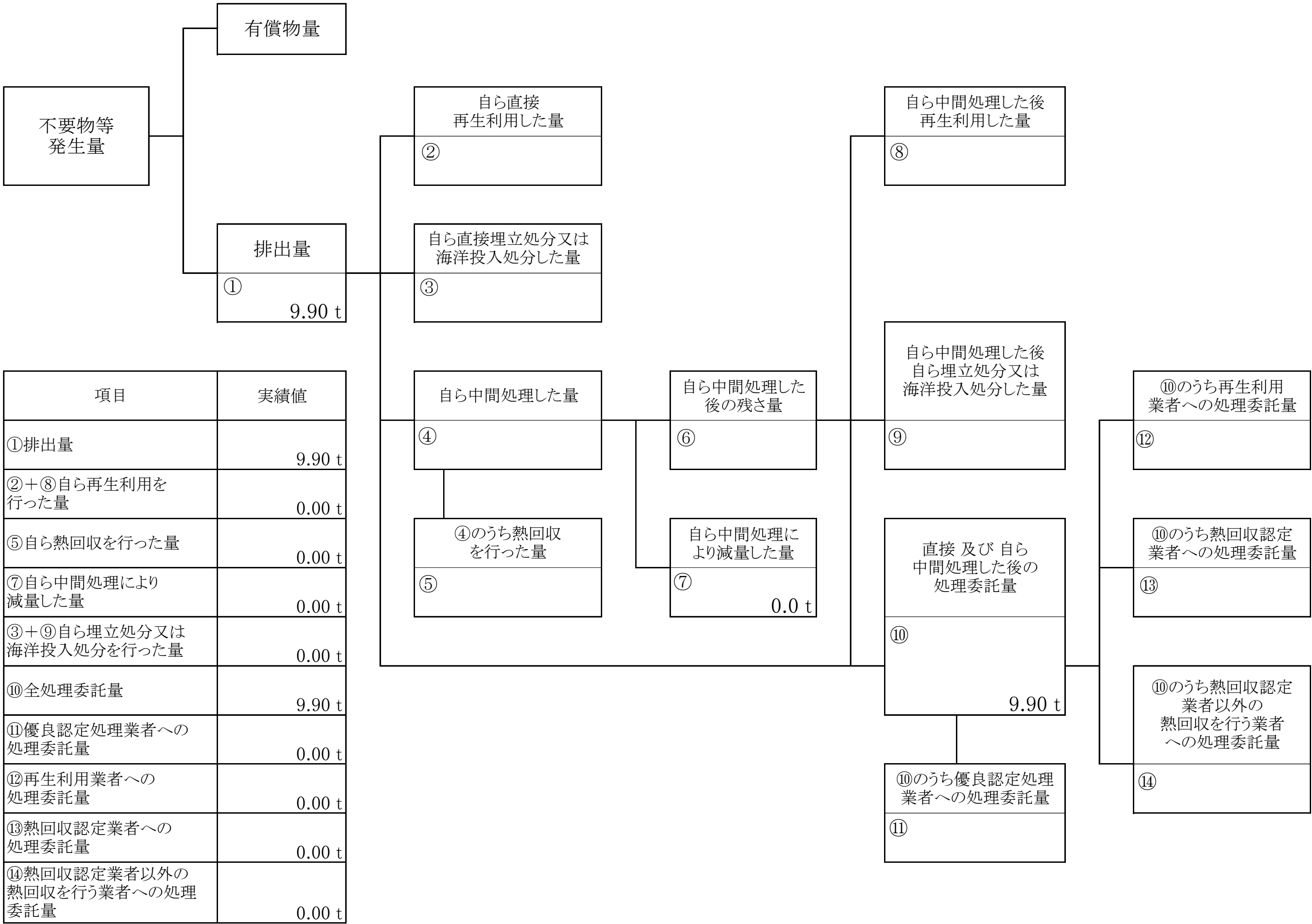
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)



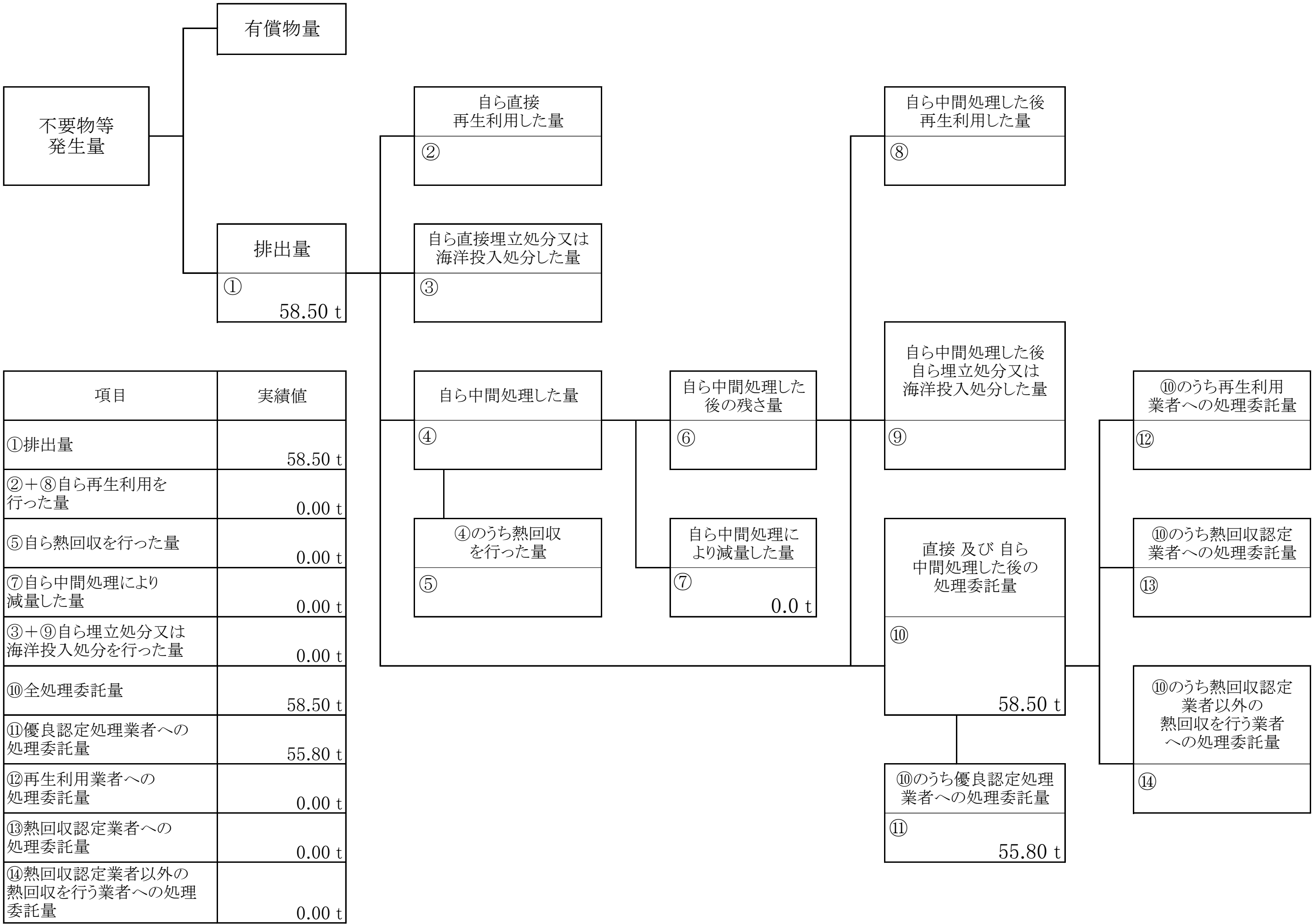
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ロックウール)



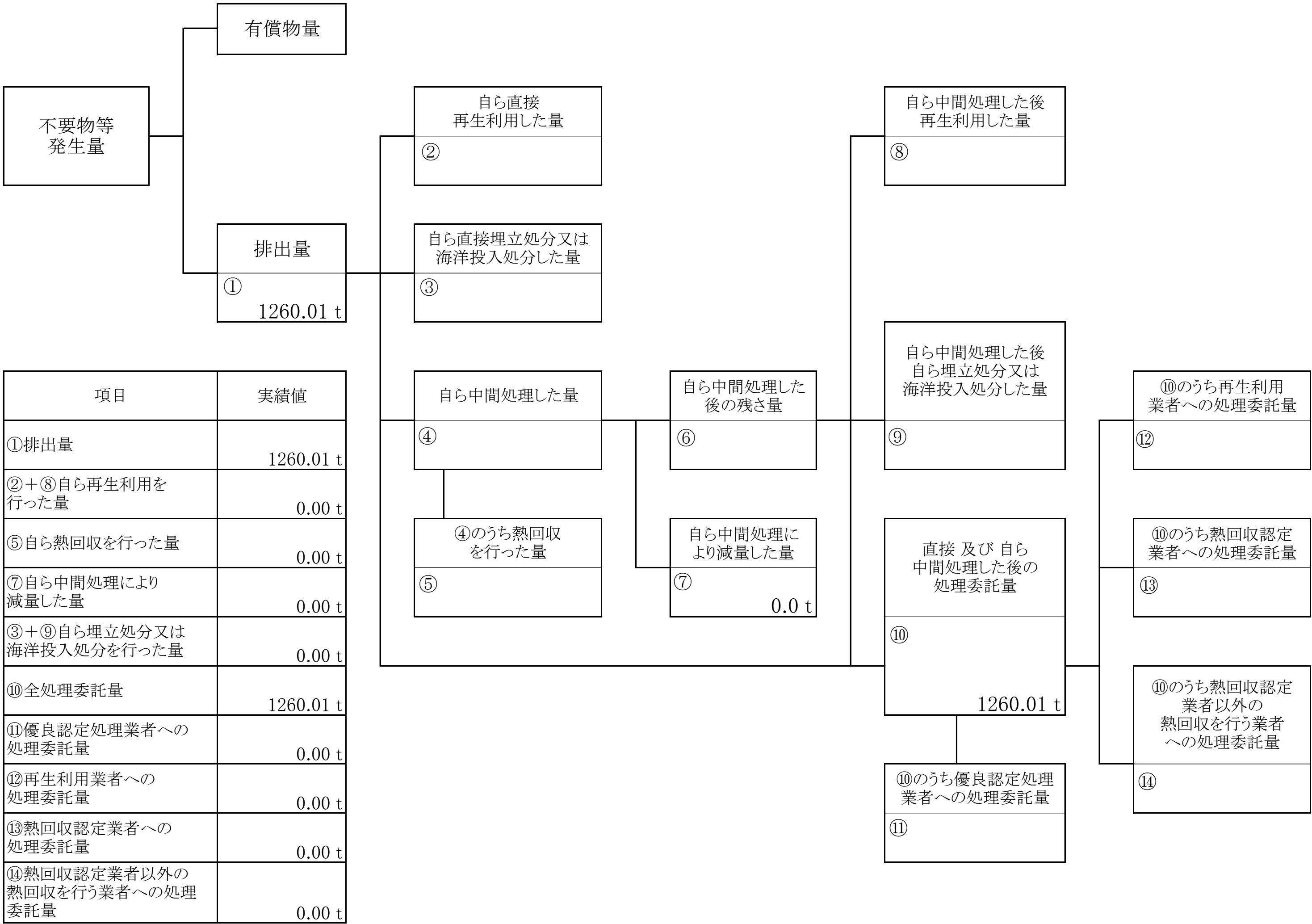
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石膏ボード)



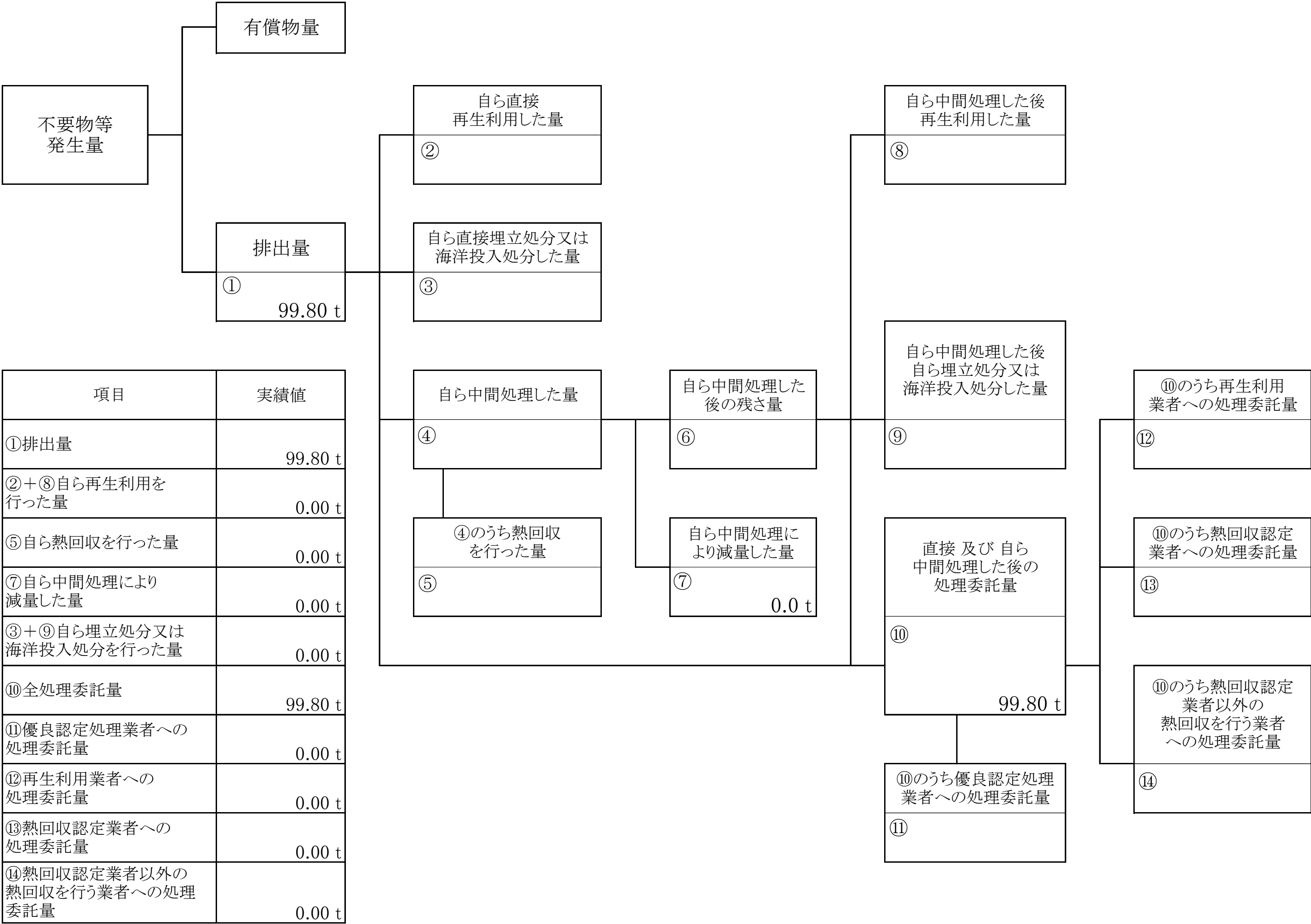
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



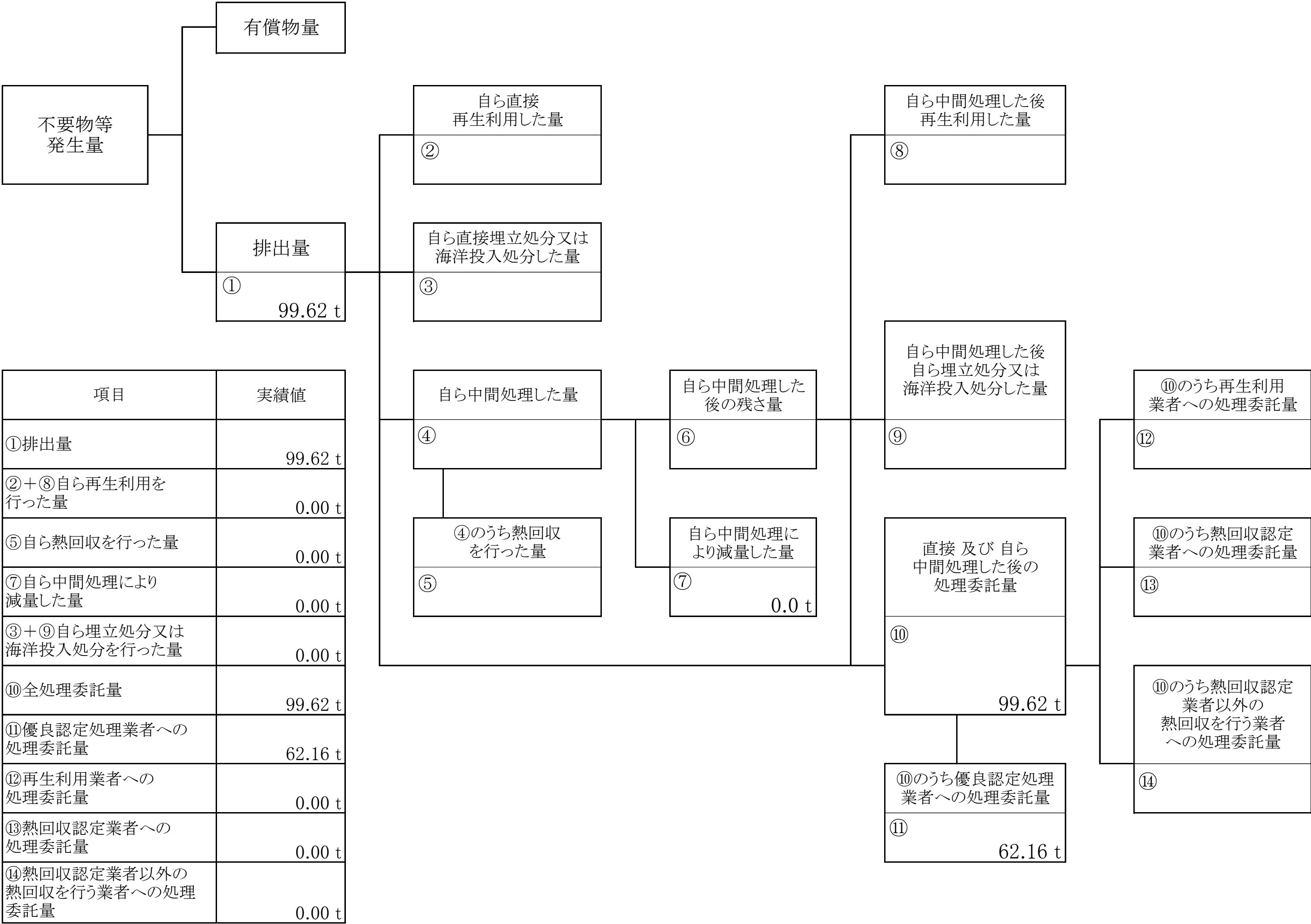
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)



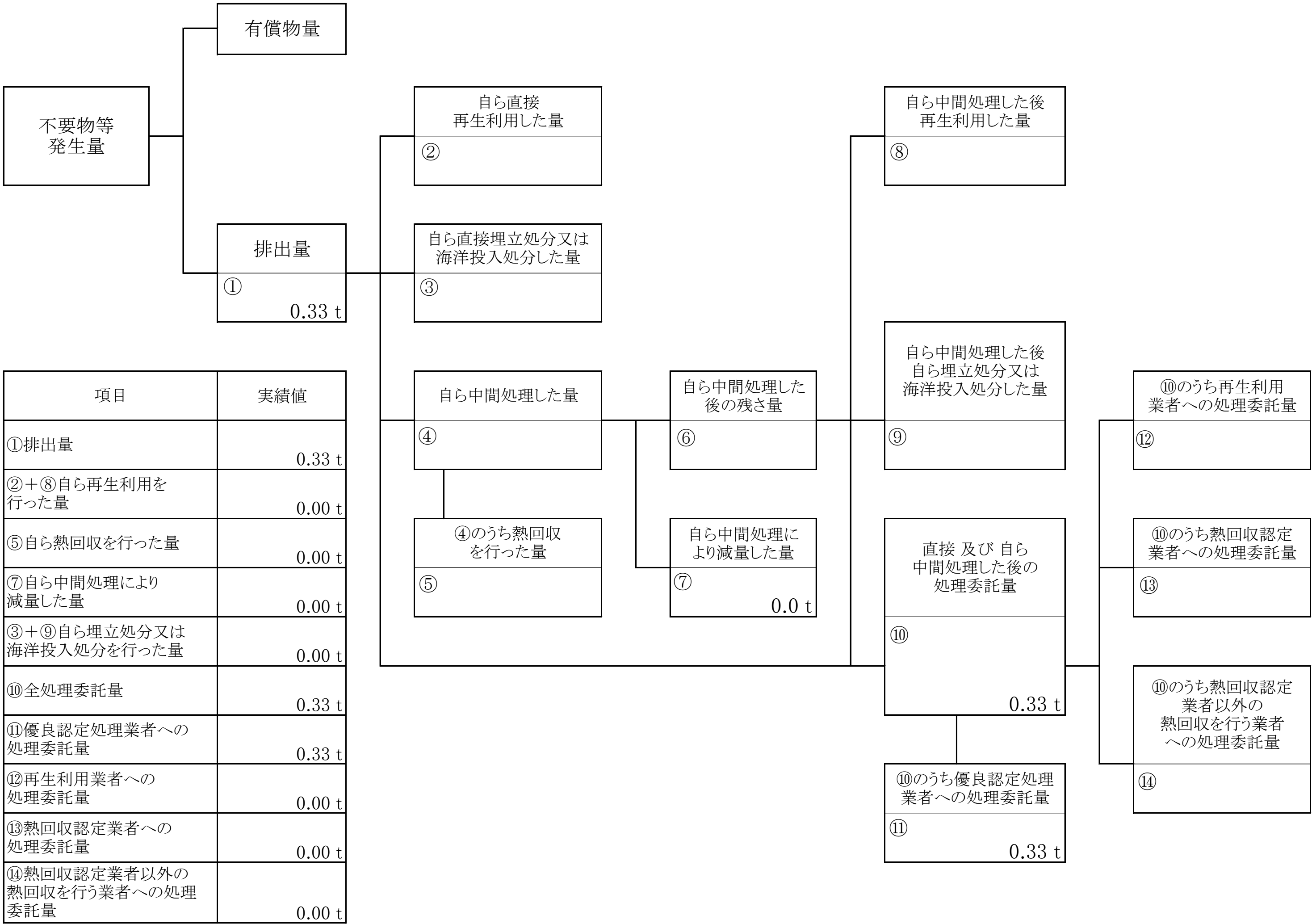
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類(石綿含有))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 蛍光灯)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月28日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 289-1733
住 所 千葉県山武郡横芝光町栗山3195番地1
法人名 古谷建設株式会社
代表者 古谷 秀一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0479-82-3311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	古谷建設株式会社		
事業場の所在地	〒289-1733 千葉県山武郡横芝光町栗山3195番地1（現場：横芝光町）		
計画期間	令和6年4月1日	から	令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類： 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 96億円		
③従業員数	92人		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	※(別紙1)のとおり		

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
※(別紙2)のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	2822.94 t	0.81 t
	(これまでに実施した取組) ・杭汚泥が主であるが、委託量の観点からは試験杭にて施工精度を排泥量の関係性を十分に検証し、本杭施工時では施工精度の向上を図り、設計以上の排泥抑制に努めている。 ・発注者に対して、場内再利用等の提案・協議を行う。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	3000 t	0.8 t
	(今後実施する予定の取組) ・現在まで実施している取り組みをさらに強化し、施工精度・品質の向上を図り、排出抑制に努める。 ・資材メーカー・業者に対し、梱包材の抑制協力を求める。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・工種・現場環境等により、分別精度が良好とは言えない現状であり、混合廃棄物としての搬出が多い中で、木くず・がれき類・コンクリートがら・アスファルトがら・石膏ボードの分別を実施。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別ヤードについて発注者と協議のうえ、確保するようにする。 ・現場ごとに推奨分別品目を指導する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全 処 理 委 託 量	2822.94 t	0.81 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0.81 t
	再生利用業者への処理委託量	2664.54 t	0.81 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	198 t	0.63 t
	(これまでに実施した取組)		
	・コスト・地域性を優先した上でも、リサイクル率の高い処理業者を選定し委託している。		

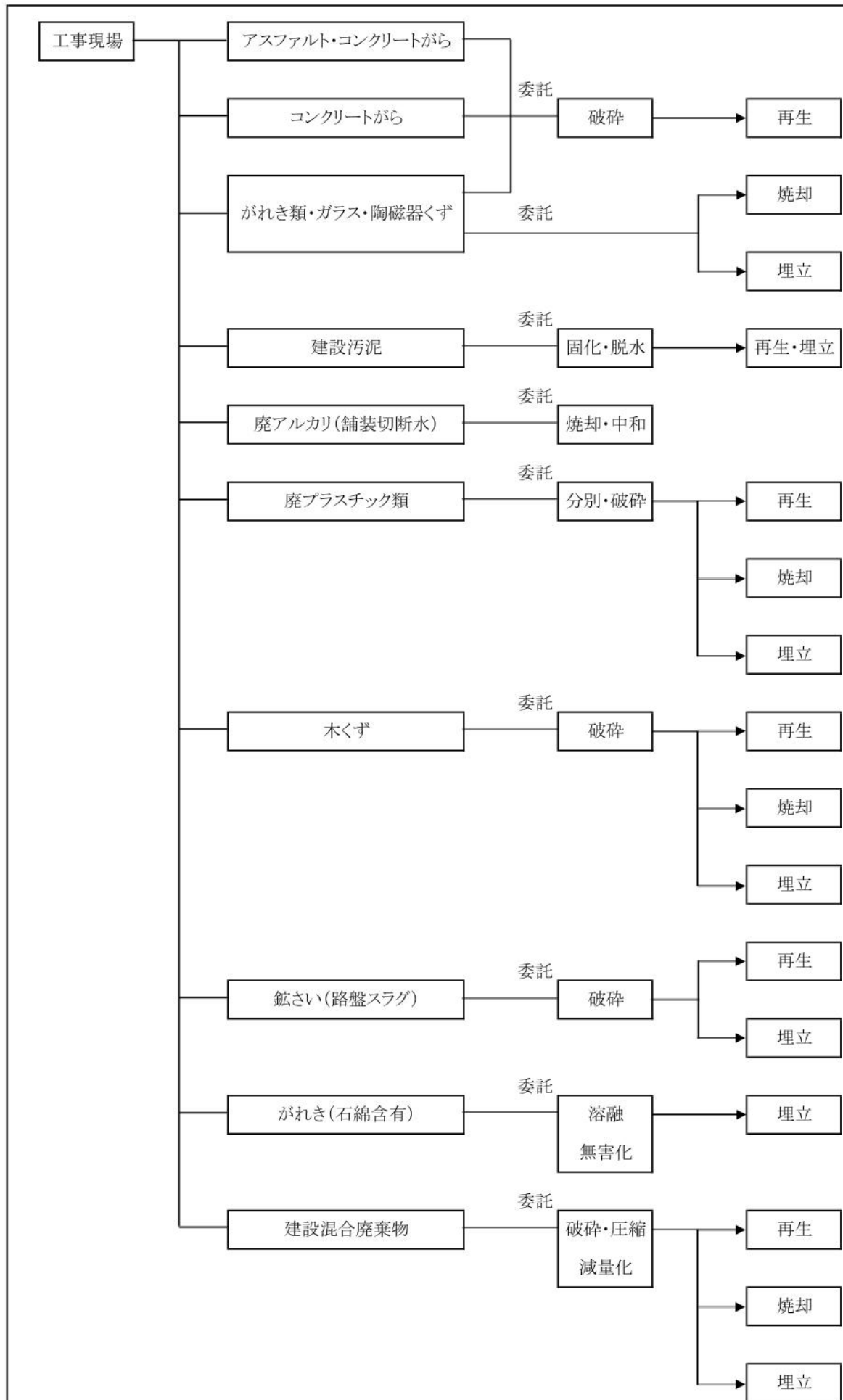
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全 処 理 委 託 量	3000 t	0.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1000 t	0.4 t
	再生利用業者への処理委託量	2000 t	0.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・処理業者施設の現地確認にて優良認定処理業者の開拓を強化し、地域性等を考慮した上で可能な限り優良認定処理業者に委託する。 ・ガラス・コンクリート及び陶磁器くず(石膏ボード)については、広域認定メーカーの材料を推奨・取決めすることで、石膏ボード原料としてのリサイクル率向上に繋げる。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

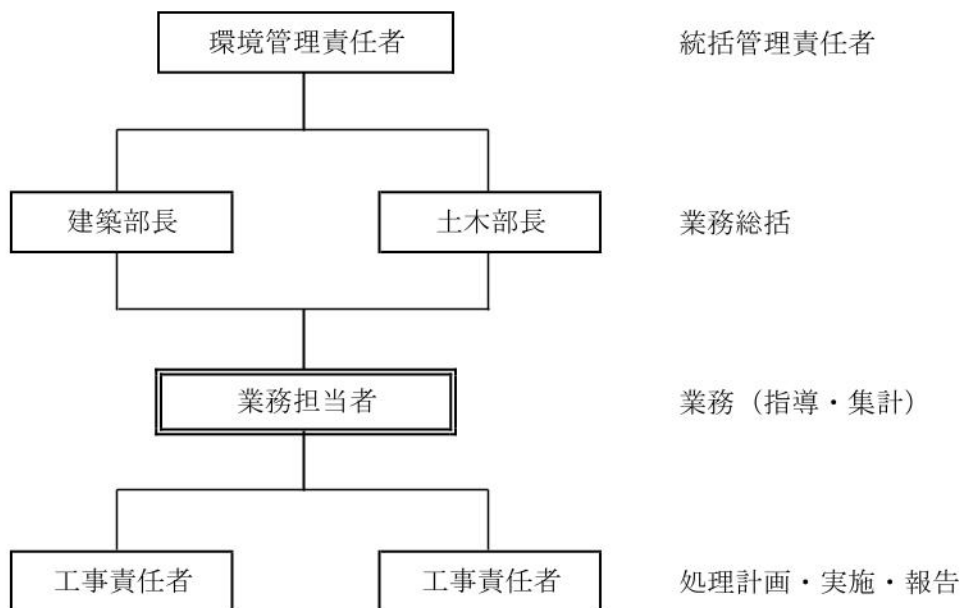
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

④産業廃棄物の一連の処理工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず [※]	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	
		排出量	178.16 t	3,004.60 t	0.07 t	34.08 t	176.20 t	9,496.09 t	5,211.42 t	404.61 t	
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず [※]	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	
排出量		175.00 t	2,970.00 t	0.05 t	30.00 t	150.00 t	9,400.00 t	5,300.00 t	400.00 t		
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】									
		産業廃棄物の種類									
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】									
		産業廃棄物の種類									
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類									
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (石綿含有)	がれき類 (石綿含有)	建設 混合廃棄物	管理型 混合廃棄物	安定型 混合廃棄物	その他混合廃棄物 (カッター汚泥)	その他混合廃棄物 (水銀使用蛍光灯)	廃電気機械器具
	排 出 量	9.08 t	2.96 t	107.34 t	301.60 t	74.75 t	1.56 t	6.89 t	0.50 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (石綿含有)	がれき類 (石綿含有)	建設 混合廃棄物	管理型 混合廃棄物	安定型 混合廃棄物	その他混合廃棄物 (カッター汚泥)	その他混合廃棄物 (水銀使用蛍光灯)	廃電気機械器具
	排 出 量	9.00 t	2.50 t	105.00 t	280.00 t	65.00 t	1.50 t	6.50 t	0.30 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (石綿含有)	がれき類 (石綿含有)	建設 混合廃棄物	管理型 混合廃棄物	安定型 混合廃棄物	その他混合廃棄物 (カッター汚泥)	その他混合廃棄物 (水銀使用蛍光灯)	廃電気機械器具
	全処理委託量	9.08 t	2.96 t	107.34 t	301.60 t	74.75 t	1.56 t	6.89 t	0.50 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	9.08 t	2.96 t	94.34 t	290.94 t	74.75 t	0.00 t	6.89 t	0.50 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t	59.11 t	133.51 t	74.75 t	1.56 t	6.89 t	0.50 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00 t	2.96 t	107.34 t	290.94 t	74.75 t	0.00 t	6.89 t	0.50 t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (石綿含有)	がれき類 (石綿含有)	建設 混合廃棄物	管理型 混合廃棄物	安定型 混合廃棄物	その他混合廃棄物 (カッター汚泥)	その他混合廃棄物 (水銀使用蛍光灯)	廃電気機械器具
	全処理委託量	9.00 t	2.50 t	105.00 t	280.00 t	65.00 t	1.50 t	6.50 t	0.30 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	9.00 t	2.50 t	105.00 t	280.00 t	65.00 t	1.50 t	6.50 t	0.30 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t	80.00 t	200.00 t	65.00 t	1.50 t	5.00 t	0.30 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	9.00 t	2.50 t	20.00 t	30.00 t	0.00 t	0.00 t	1.00 t	0.00 t

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月28日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 289-1733			
住所 千葉県山武郡横芝光町栗山3195番地1			
法人名 古谷建設株式会社			
代表者 古谷 秀一			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0479-82-3311			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	古谷建設株式会社		
事業場の所在地	〒289-1733 千葉県山武郡横芝光町栗山3195番地1(現場:山武郡横芝光町)		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	10608.5 t	全処理委託量	10608.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	657 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	7653.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	699.5 t

N0.1

(第2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量																						
			0.0 t	0.0 t																						
	①排出量		③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量																							
	2822.9t		0.0 t																							
<table><thead><tr><th>項目</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>①排出量</td><td>2822.9 t</td></tr><tr><td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑤自ら熱回収を行った量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑦自ら中間処理により減量した量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑩全処理委託量</td><td>2822.9 t</td></tr><tr><td>⑪優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑫再生利用業者への処理委託量</td><td>2664.5 t</td></tr><tr><td>⑬熱回収認定業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>198.0 t</td></tr></tbody></table>	項目	実績値	①排出量	2822.9 t	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t	⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	⑩全処理委託量	2822.9 t	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	⑫再生利用業者への処理委託量	2664.5 t	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	198.0 t	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
	項目	実績値																								
	①排出量	2822.9 t																								
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t																								
	⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t																								
	⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t																								
	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t																								
	⑩全処理委託量	2822.9 t																								
	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t																								
	⑫再生利用業者への処理委託量	2664.5 t																								
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t																									
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	198.0 t																									
	0.0 t	0.0 t	0.0t	2664.5 t																						
	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量																						
	0.0 t	0.0 t		0.0 t																						
			⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																						
			2822.9 t																							
			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量																							
			0.0 t	198.0 t																						

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
0.8t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤自ら熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.8 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.8 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.8 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.6 t

項目	実績値
①排出量	0.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.6 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
0.0t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.0 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.0 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
178.2 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
157.9 t

①排出量
178.2 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
135.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
163.8 t

項目	実績値
①排出量	178.2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	178.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	157.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	135.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	163.8 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
3004.6t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
3004.6 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
237.9 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
3004.6 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
2999.4 t

項目	実績値
①排出量	3004.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3004.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	237.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3004.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2999.4 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
0.1 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.1 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.1 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.1 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.1 t

項目	実績値
①排出量	0.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
34.1 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
21.5 t

①排出量
34.1 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0.0 t

⑩全処理委託量
34.1 t

⑪優良認定処理業者への処理委託量
21.5 t

⑫再生利用業者への処理委託量
12.6 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
21.5 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
12.6 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
21.5 t

項目	実績値
①排出量	34.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	34.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	12.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	21.5 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
176.2 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
176.2 t

①排出量
176.2 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0.0 t

⑩全処理委託量
176.2 t

⑪優良認定処理業者への処理委託量
176.2 t

⑫再生利用業者への処理委託量
174.2 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
176.2 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
174.2 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

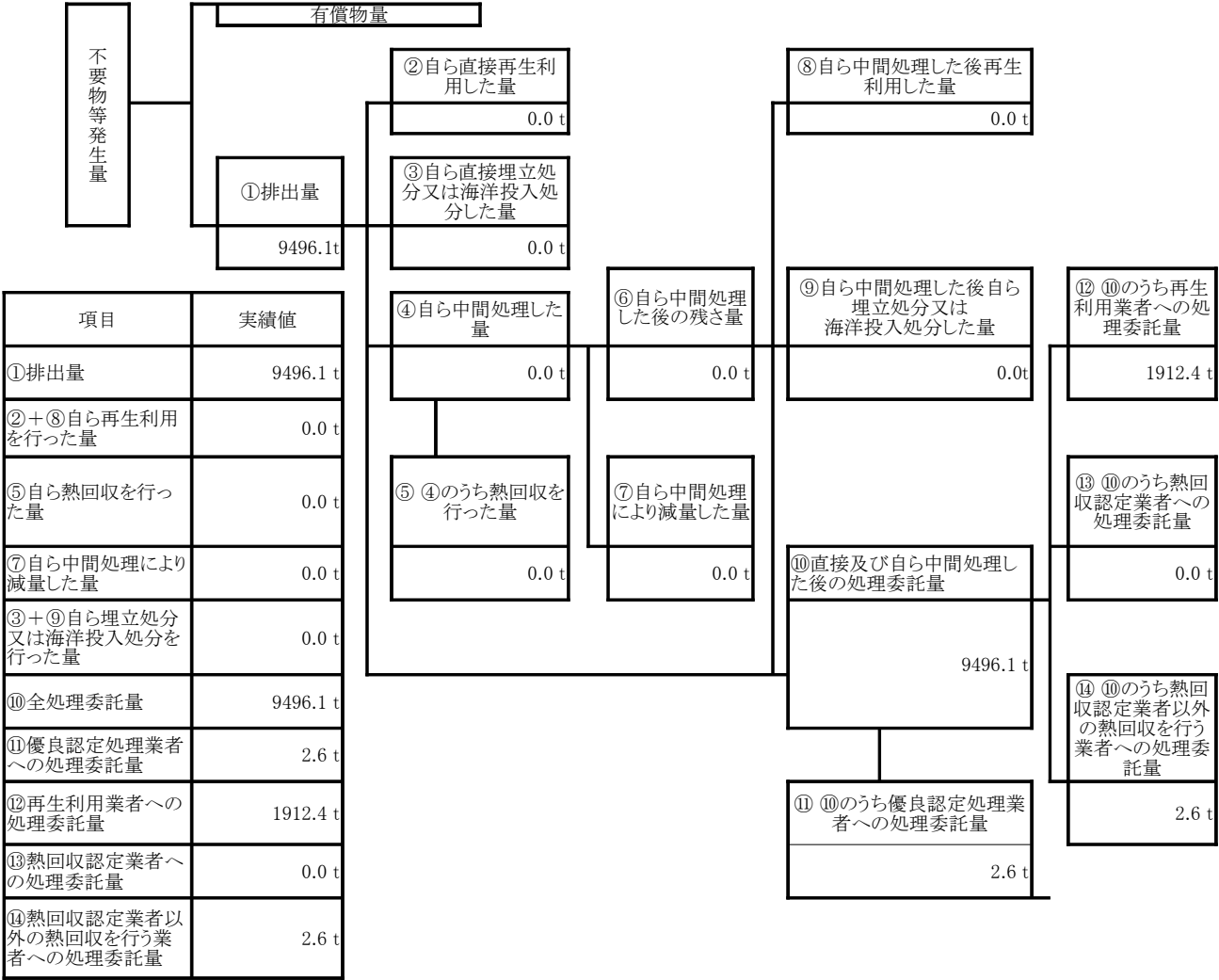
⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
176.2 t

項目	実績値
①排出量	176.2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	176.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	176.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	174.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	176.2 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



N0.10

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリートがら)

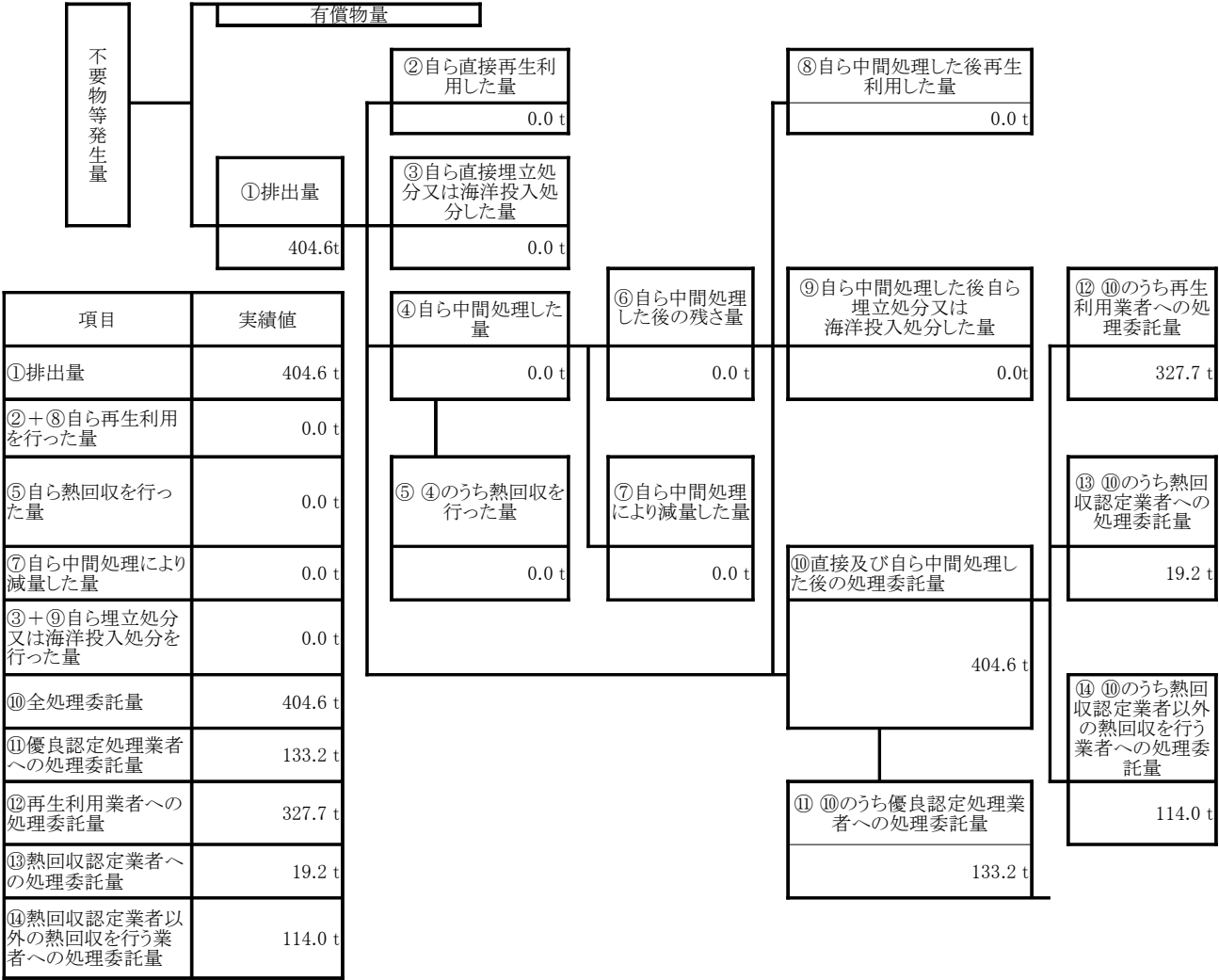
※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量																									
	①排出量	②自ら直接再生利用した量																								
		0.0 t																								
		③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量																								
5211.4t	0.0 t																									
<table><thead><tr><th>項目</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>①排出量</td><td>5211.4 t</td></tr><tr><td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑤自ら熱回収を行った量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑦自ら中間処理により減量した量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑩全処理委託量</td><td>5211.4 t</td></tr><tr><td>⑪優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑫再生利用業者への処理委託量</td><td>4913.3 t</td></tr><tr><td>⑬熱回収認定業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td></tr></tbody></table>	項目	実績値	①排出量	5211.4 t	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t	⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	⑩全処理委託量	5211.4 t	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	⑫再生利用業者への処理委託量	4913.3 t	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
	項目	実績値																								
	①排出量	5211.4 t																								
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t																								
	⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t																								
	⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t																								
	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t																								
	⑩全処理委託量	5211.4 t																								
	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t																								
	⑫再生利用業者への処理委託量	4913.3 t																								
	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t																								
	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t																								
	0.0 t	0.0 t	0.0t	4913.3 t																						
	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量																						
0.0 t	0.0 t																									
0.0 t	0.0 t																									
5211.4 t	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																								
0.0 t																										
0.0 t																										

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック類(石綿含有))

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量	①排出量 9.1t	②自ら直接再生利用した量 0.0 t	⑧自ら中間処理した後再生利用した量 0.0 t
			③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 0.0 t	
			④自ら中間処理した量 0.0 t	
			⑥自ら中間処理した後の残さ量 0.0 t	
⑤④のうち熱回収を行った量 0.0 t	⑦自ら中間処理により減量した量 0.0 t	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 0.0t	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量 0.0 t	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0.0 t	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 9.1 t	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 0.0 t		
⑩全処理委託量 9.1 t	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 9.1 t	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0.0 t		
①優良認定処理業者への処理委託量 9.1 t				
⑫再生利用業者への処理委託量 0.0 t				
⑬熱回収認定業者への処理委託量 0.0 t				
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0.0 t				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類(石綿含有))

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
3.0 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
3.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
3.0 t

①排出量
3.0 t

項目	実績値
①排出量	3.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
107.3 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
94.3 t

①排出量
107.3 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0.0 t

⑩全処理委託量
107.3 t

⑪優良認定処理業者への処理委託量
94.3 t

⑫再生利用業者への処理委託量
59.1 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
107.3 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
59.1 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
107.3 t

項目	実績値
①排出量	107.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	107.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	94.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	59.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	107.3 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
301.6 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
290.9 t

①排出量
301.6 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0.0 t

⑩全処理委託量
301.6 t

⑪優良認定処理業者への処理委託量
290.9 t

⑫再生利用業者への処理委託量
133.5 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
290.9 t

項目	実績値
①排出量	301.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	301.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	290.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	133.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	290.9 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 安定型混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
74.8t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
74.8 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
74.8 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
74.8 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
74.8 t

項目	実績値
①排出量	74.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	74.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	74.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	74.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	74.8 t

N0.17

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他混合廃棄物(カッター汚泥))

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
			0.0 t	0.0 t	
	①排出量	1.6t	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
			0.0 t		
		④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
		0.0 t	0.0 t	0.0t	1.6 t
項目		実績値			
①排出量		1.6 t			
②+⑧自ら再生利用を行った量		0.0 t			
⑤自ら熱回収を行った量		0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
			0.0 t	0.0 t	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量		0.0 t			
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		0.0 t			
⑩全処理委託量		1.6 t			
⑪優良認定処理業者への処理委託量		0.0 t			
⑫再生利用業者への処理委託量		1.6 t			
⑬熱回収認定業者への処理委託量		0.0 t			
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.0 t			
			⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
			1.6 t		0.0 t
			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量		
			0.0 t		

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 他混合廃棄物(水銀使用蛍光))

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
			0.0 t	0.0 t	
	①排出量	6.9t	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
			0.0 t		
		④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
		0.0 t	0.0 t	0.0t	6.9 t
項目		実績値			
①排出量		6.9 t			
②+⑧自ら再生利用を行った量		0.0 t			
⑤自ら熱回収を行った量		0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
			0.0 t	0.0 t	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量		0.0 t			
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		0.0 t			
⑩全処理委託量		6.9 t			⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量		6.9 t			
⑫再生利用業者への処理委託量		6.9 t			6.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		0.0 t			
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		6.9 t			
			⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		
			6.9 t		
			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量		
			6.9 t		

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃電気機械器具

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
			0.0 t	0.0 t	
	①排出量	0.5t	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
			0.0 t		
		④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
		0.0 t	0.0 t	0.0t	0.5 t
項目		実績値			
①排出量		0.5 t			
②+⑧自ら再生利用を行った量		0.0 t			
⑤自ら熱回収を行った量		0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
			0.0 t	0.0 t	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量		0.0 t			
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		0.0 t			
⑩全処理委託量		0.5 t			⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量		0.5 t			
⑫再生利用業者への処理委託量		0.5 t			0.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		0.0 t			
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.5 t			
			⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		
			0.5 t		
			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量		
			0.5 t		

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年5月23日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者	
住 所 千葉県千葉市中央区千葉寺町1210-5	
氏 名 株式会社 フレスコ	
代表取締役 岡部 祐太	
電話番号 043-209-2045	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 フレスコ
事業場の所在地	千葉市中央区千葉寺町1210-5
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業/中分類：総合工事業/業種名：木造建築工事業
② 事業の規模	前年度の建築売上高 50億
③ 従業員数	167名（正社員151人、常勤関係職員16人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別表1の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別表2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表3の通り	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ①OSプレカット推進の対象物件を拡大することによって木材投入量を削減し、現場排出量を抑制した。 ②構造材、羽柄材、外壁材プレカット推進の対象物件を拡大することによって、投入量を削減し、現場排出量を抑制した。 ③現場投入量の削減策を検討し、試行した。 ④部資材ロット単位や拾い基準の見直しによる排出量の削減を推進した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表3の通り	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ①OSプレカット推進の対象物件を拡大することによって木材投入量を削減し、現場排出量を抑制する。 ②構造材、羽柄材、外壁材プレカット推進の対象物件を拡大することによって、投入量を削減し、現場排出量を抑制する。 ③現場投入量の削減策を検討し、試行する。 ④部資材ロット単位や拾い基準の見直しによって、排出量の削減を推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①新築系産業廃棄物は、原則以下の品目ごとに分類し排出するように関係者への指導、徹底を行った。＜袋詰め排出＞1. 廃石膏ボード 2. 廃プラスチック類 3. 木くず 4. 紙くず 5. 金属くず 6. その他（ガラス陶磁器くず、コンクリートくず他）＜束ねて排出＞7. 長尺材（ランバー等） 8. 段ボール ②解体系産業廃棄物は建設リサイクル法の定める手順を遵守し、分別解体の推進を指導した。また特定品目（木くず、コンクリート）の再資源化施設へ処理委託を推進した。		
	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①新築系産業廃棄物は、原則以下の品目ごとに分類し排出する。＜袋詰め排出＞1. 廃石膏ボード 2. 廃プラスチック類 3. 木くず 4. 紙くず 5. 金属くず 6. その他（ガラス陶磁器くず、コンクリートくず他）＜束ねて排出＞7. 長尺材（ランバー等） 8. 段ボール ②解体系産業廃棄物は建設リサイクル法の定める手順を遵守し、分別解体を行う。また特定品目（木くず、コンクリート）の再資源化施設へ処理委託を行う。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表4の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	①産業廃棄物の処理は、委託契約を締結した収集運搬業者と処理処分業者のみに委託することを徹底している。 ②廃棄物の発生から最終処分が終了するまでの処理の工程を把握する為廃棄物処理体制表を作成。処理ルートの変更があった場合は委託契約の変更等、必要な手続きを速やかに行った。 ③廃棄物管理票（マニフェスト）により、最終処分までの工程の確認を行った。 ④新築系においては可能な限り袋詰め分別を行い、解体系においては現場での分別排出（解体）及び再資源化施設での処理委託を推進した。 ⑤委託契約先処理施設の現地確認を行い、委託に適する業者か否か確認した。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表4の通り	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ①産業廃棄物の収集運搬、処理処分を委託する場合には、事前に収集運搬業者と処理処分業者のそれぞれ個別に書面により委託基本契約を締結する。 ②処理の工程の確認は、廃棄物管理票（マニフェスト）により行う。 ③新築系においては可能な限り袋詰め分別排出を行い、解体系においては現場での分別排出（解体）及び再資源化施設での処理委託を推進する。 ④委託契約先処理施設の現場確認を行う。 中間処理現場及びリサイクル施設—年1回 処理処分場—3年に1回		
※事務処理欄			

(第6面)

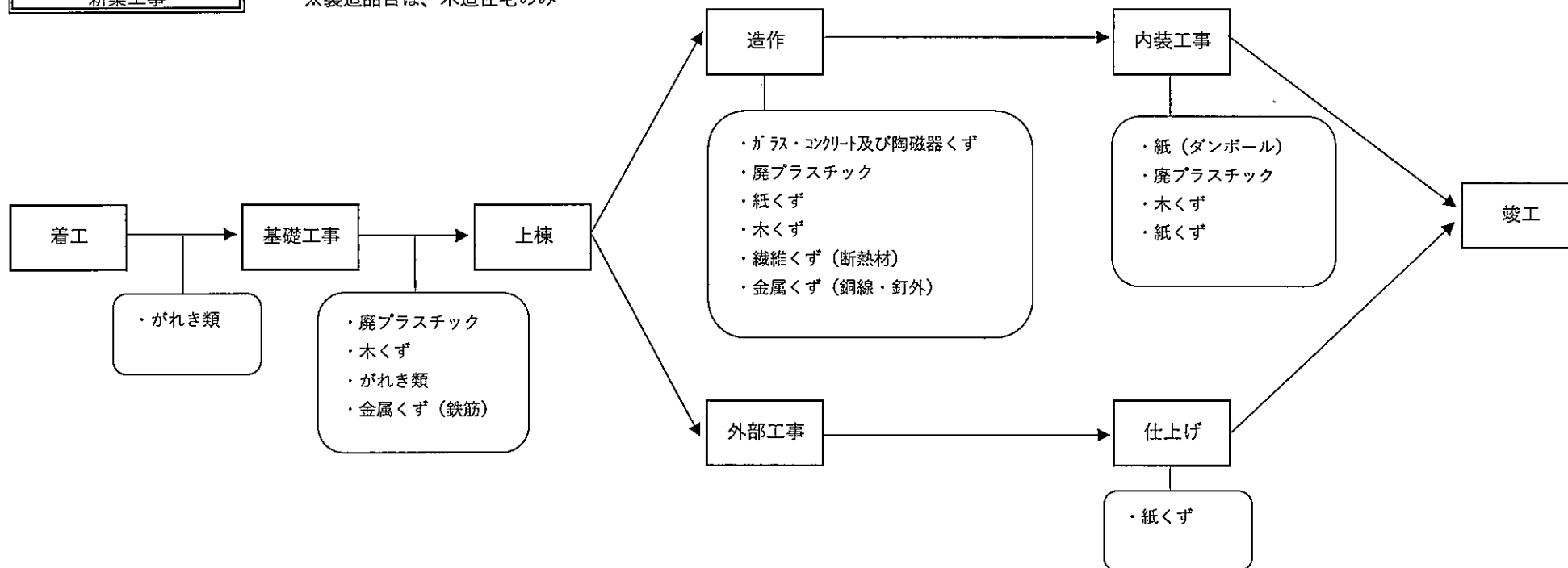
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別表1】

新築工事

※製造品目は、木造住宅のみ



解体工事

※既存家屋解体工事

がれき類/ガラス・コンクリート及び陶磁器くず/廃プラスチック/紙くず/木くず/繊維くず/金属くず/廃石膏ボード/混合廃棄物（管理型含む）

【別表2】 千葉県

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

廃棄物管理責任者	(株)フレスコ 施工管理部 工事課 課長
廃棄物処理統括責任者	(株)フレスコ 施工管理部 部長
廃棄物処理責任者	廃棄物管理責任者が任命した者
廃棄物処理担当者	(株)フレスコ 施工管理部 工事課 担当者

廃棄物管理責任者	
職位	(株)フレスコ 施工管理部 工事課 課長
権限	産業廃棄物に関する業務の責任者として、(株)フレスコ建設部施工課の業務遂行を指揮・管理する
役割	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する ○委託契約の締結 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ・事務局 建設部 施工課

廃棄物処理統括責任者	
職位	(株)フレスコ 施工管理部 工事課 部長
権限	廃棄物処理に関する(株)フレスコ 施工管理部の最高責任者として、部下を指揮・監督し、業務執行を統括する
役割	○廃棄物処理方針の策定 ○建設部の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種運用事項の決定、承認

廃棄物処理責任者	
職位	廃棄物管理責任者が任命した者
権限	廃棄物処理に関する業務を遂行する
役割	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○監督官庁への各種報告

廃棄物処理担当者	
職位	(株)フレスコ 施工管理部 工事課 担当者
権限	廃棄物処理責任者の命を受け、廃棄物に関する業務を遂行する
役割	○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○その他関連する事項

【別表 3】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	排出量	
	①現状	①計画
	前年度（令和5年度）実績	今年度（令和6年度）目標
廃プラスチック類	386.2	378.48
発泡スチロール	0	0.00
紙くず	205.9	201.78
木くず	362	354.76
繊維くず	0	0.00
金属くず	8.7	8.53
ガラスくず・コンクリートくず及び 陶磁器くず	152.1	149.06
石膏ボード	217.8	213.44
がれき類	1.3	1.27
混合廃棄物（管理型含む）	241.5	236.67
総計 （t）	1575.5	1543.99

【別表４】

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類	①現状					②計画				
	前年度（令和5年度）実績					今年度（令和6年度）目標				
	全処理委託量	優良認定処理業者 への処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者 への処理委託量	認定熱回収を行う業 者への処理委託量	全処理委託量	優良認定処理業 者への処理委託	再生利用業者へ の処理委託量	認定熱回収業者 への処理委託量	認定熱回収を行う業 者への処理委託量
廃プラスチック類	386.2	386.2	—	—	—	378.48	378.48	—	—	—
発泡スチロール	0	0	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
紙くず	205.9	205.9	—	—	—	201.78	201.78	—	—	—
木くず	362	362	—	—	—	354.76	354.76	—	—	—
繊維くず	0	0	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
金属くず	8.7	8.7	—	—	—	8.53	8.53	—	—	—
ガラスくず、コンクリート くず 及び陶磁器くず	152.1	152.1	—	—	—	149.06	149.06	—	—	—
石膏ボード	217.8	217.8	—	—	—	213.44	213.44	—	—	—
がれき類	1.3	1.3	—	—	—	1.27	1.27	—	—	—
混合廃棄物（管理型）	241.5	241.5	—	—	—	236.67	236.67	—	—	—
総計 （t）	1575.5	1575.5	—	—	—	1543.99	1543.99	—	—	—

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月23日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒260-0844
住 所 千葉県千葉市中央区千葉寺町1210-5
氏 名 株式会社プレスコ
代表取締役 岡部 祐太
電話番号 043-209-2045

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社プレスコ
事業場の所在地	千葉市中央区千葉寺町1210-5
事業の種類	D06ー総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

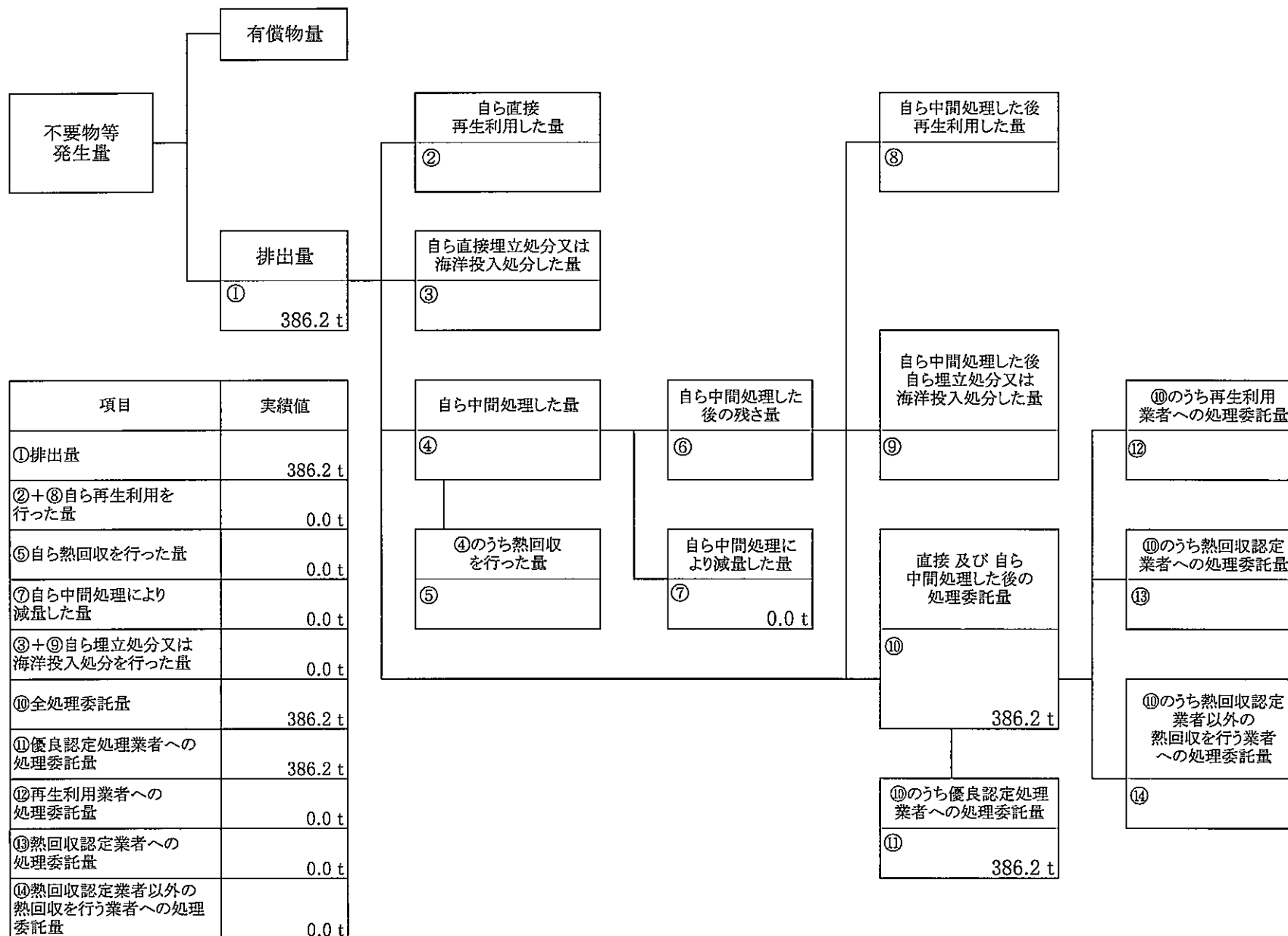
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2888.49 t	全処理委託量	2888.49 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		優良認定処理業者への 処理委託量	2882.38 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		再生利用業者への 処理委託量	
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		認定熱回収業者への 処理委託量	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック類

)



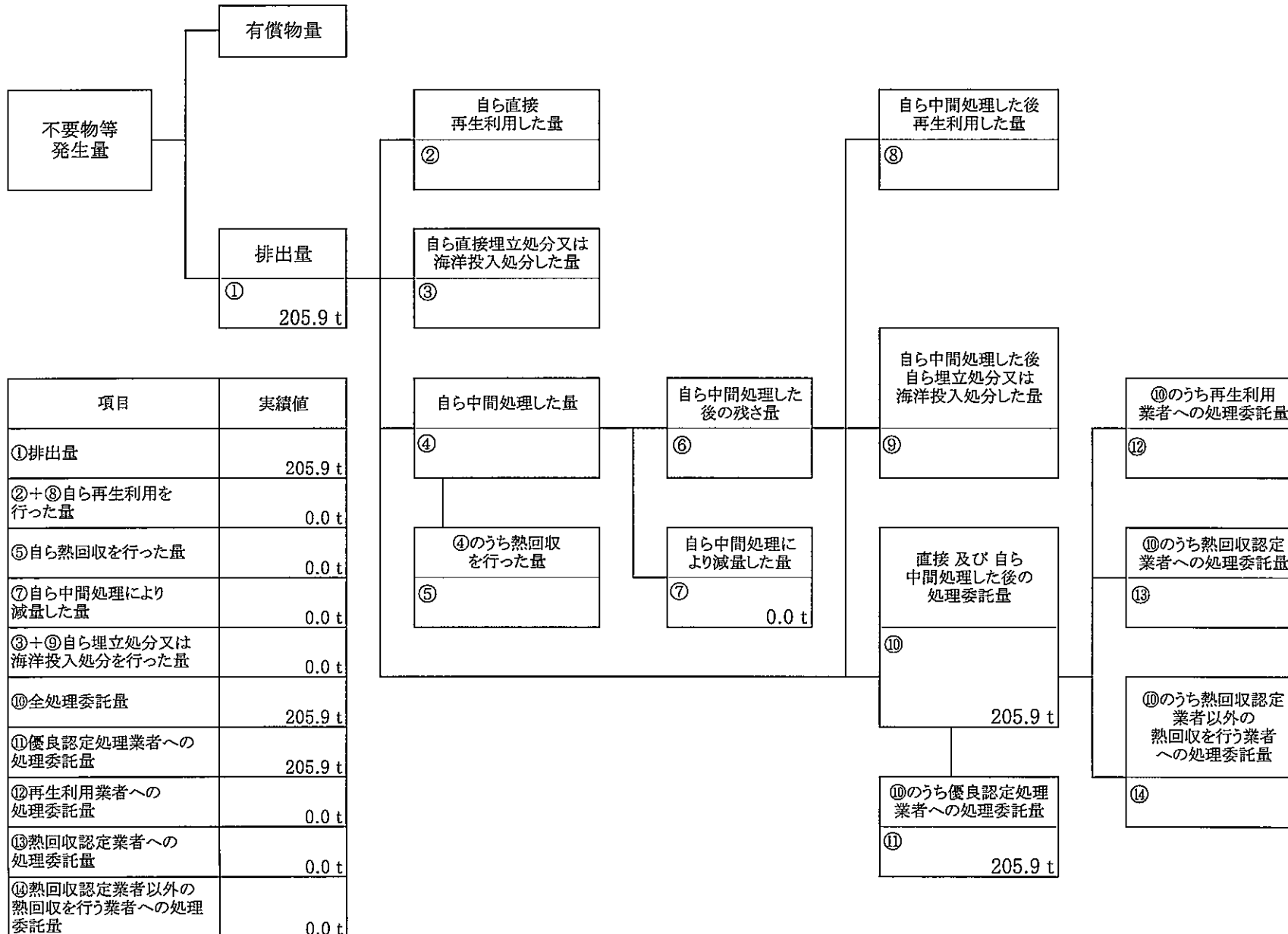
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

紙くず

)



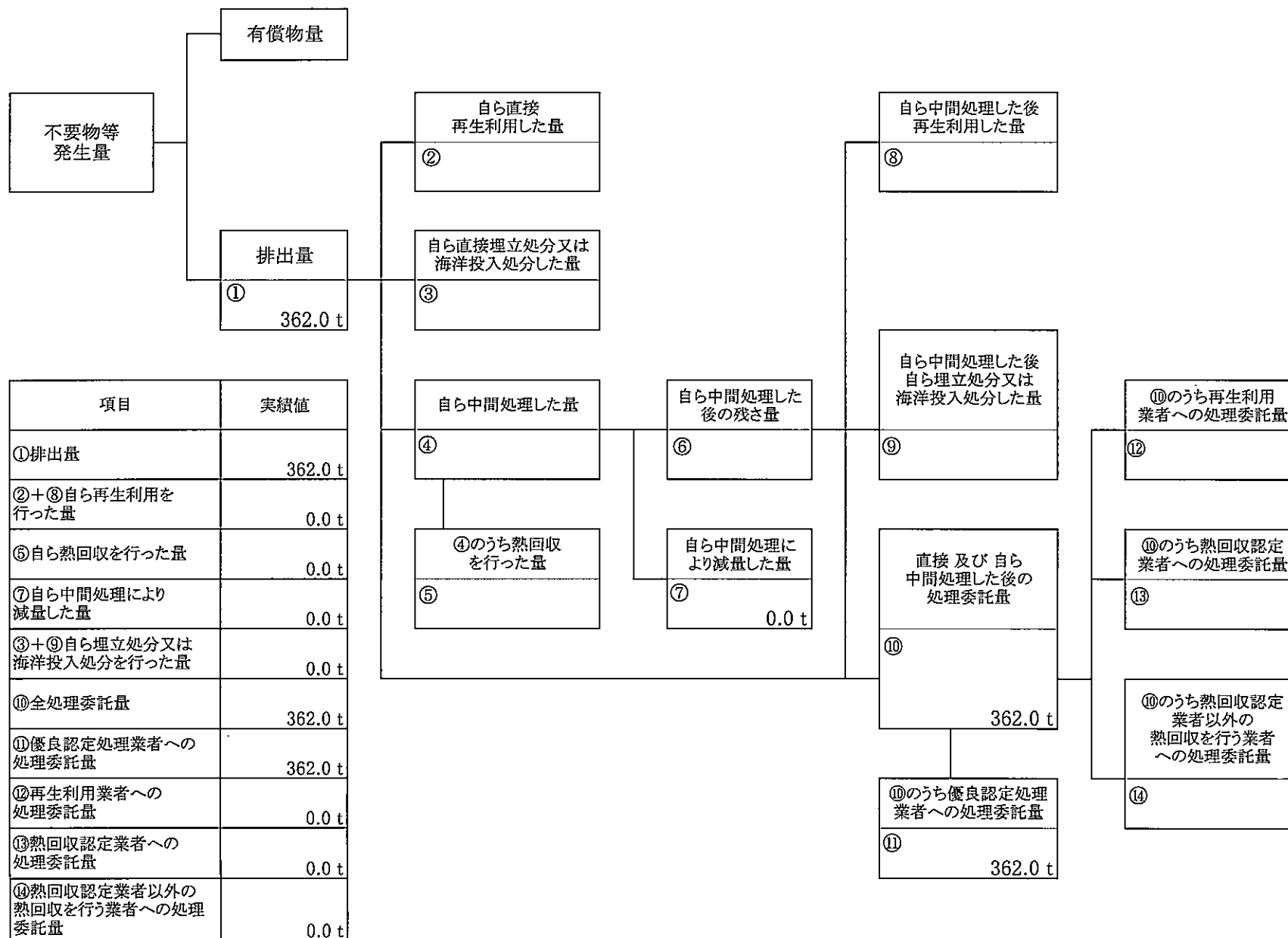
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず

)



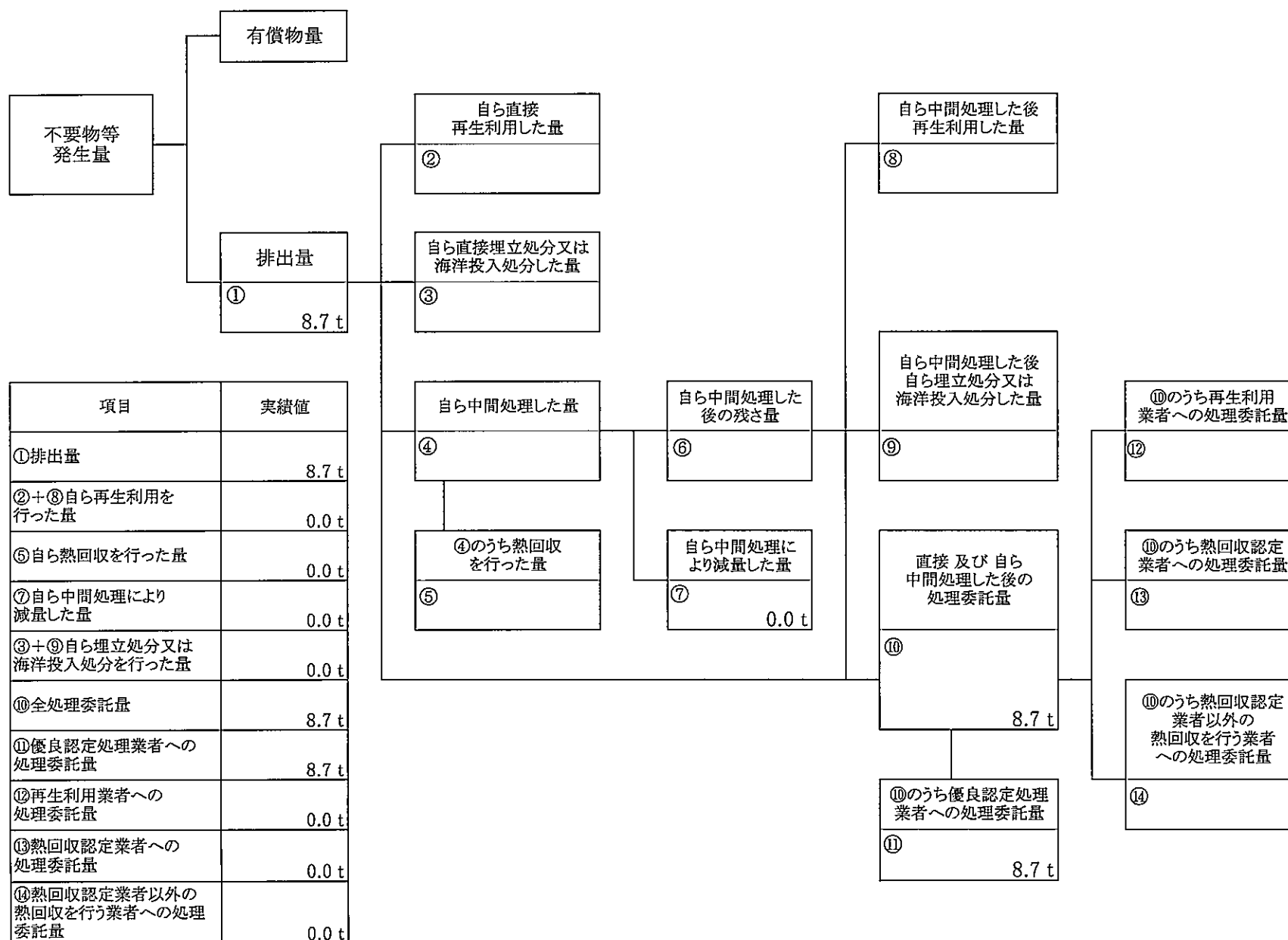
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

金属くず

)

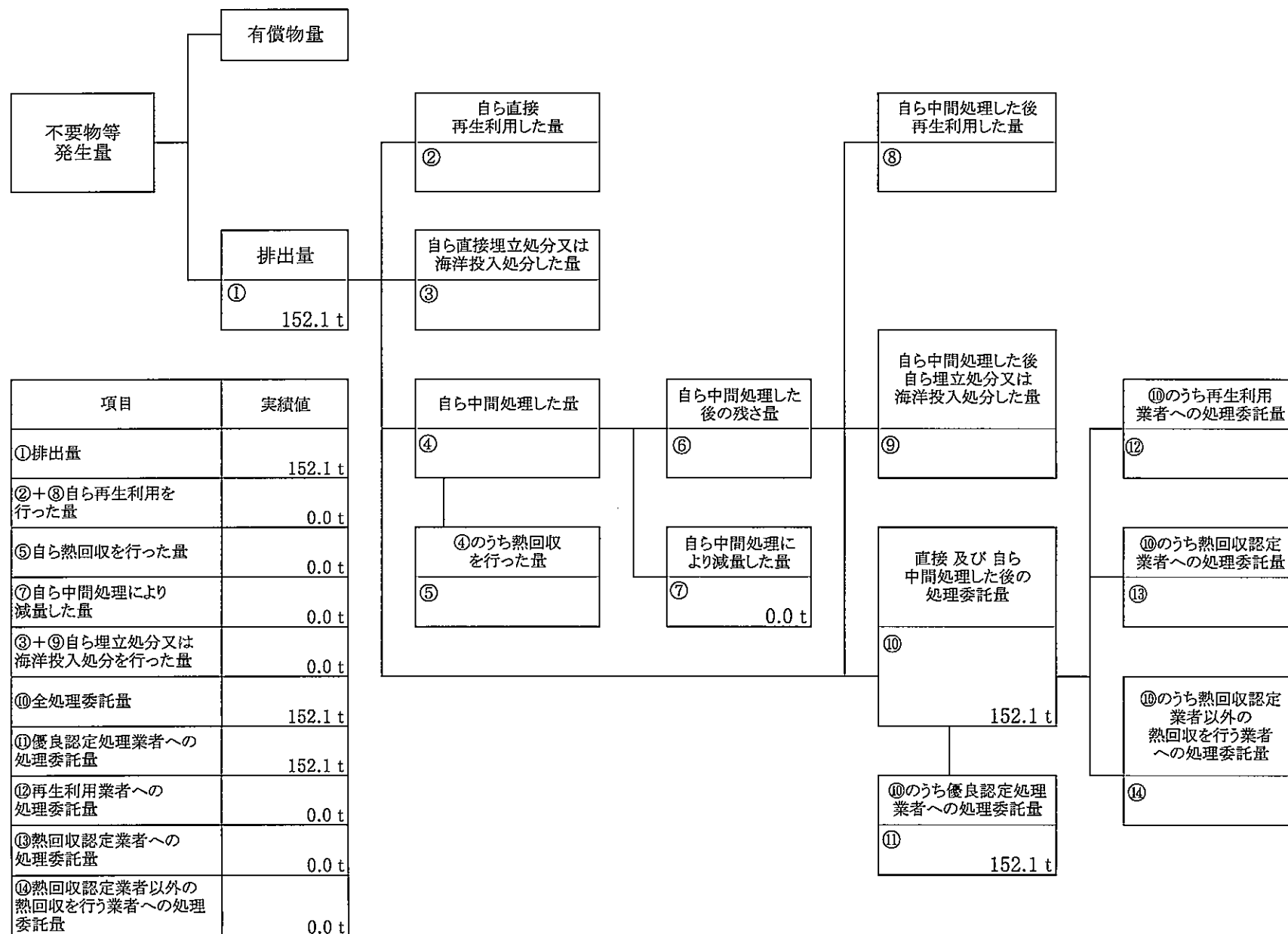


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

ガラスくず、陶磁器くず)



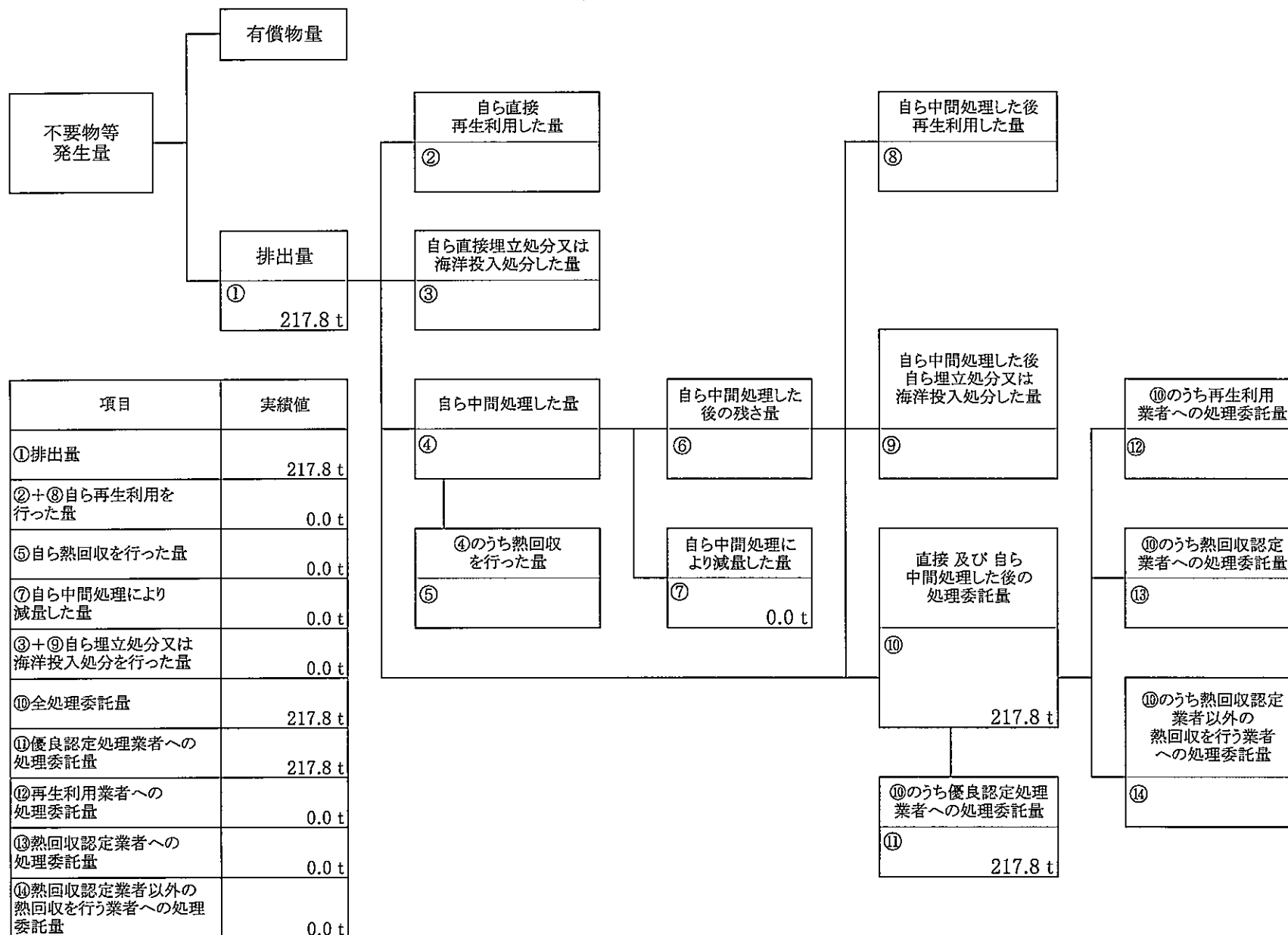
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃石膏ボード

)



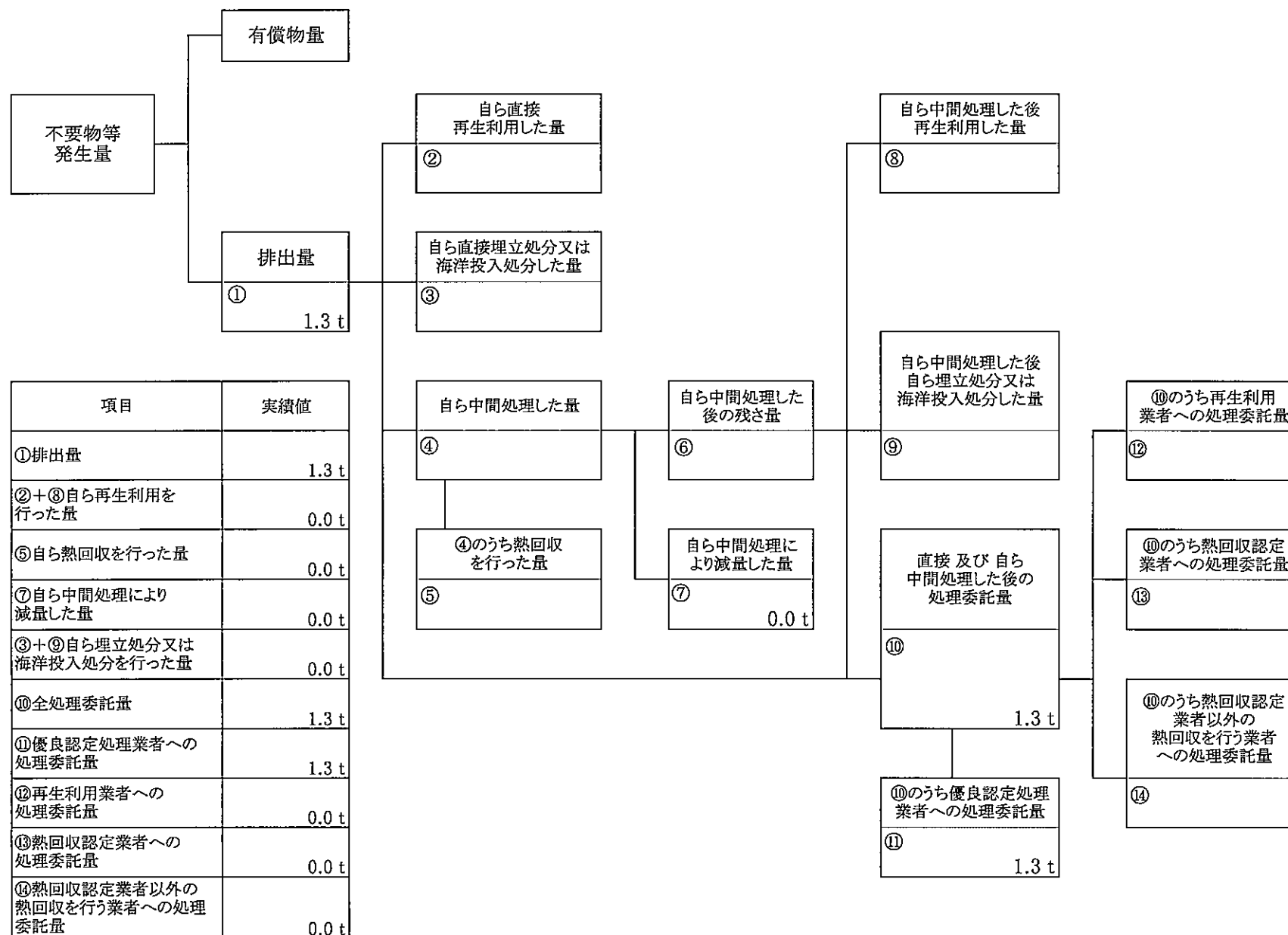
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

その他がれき類

)



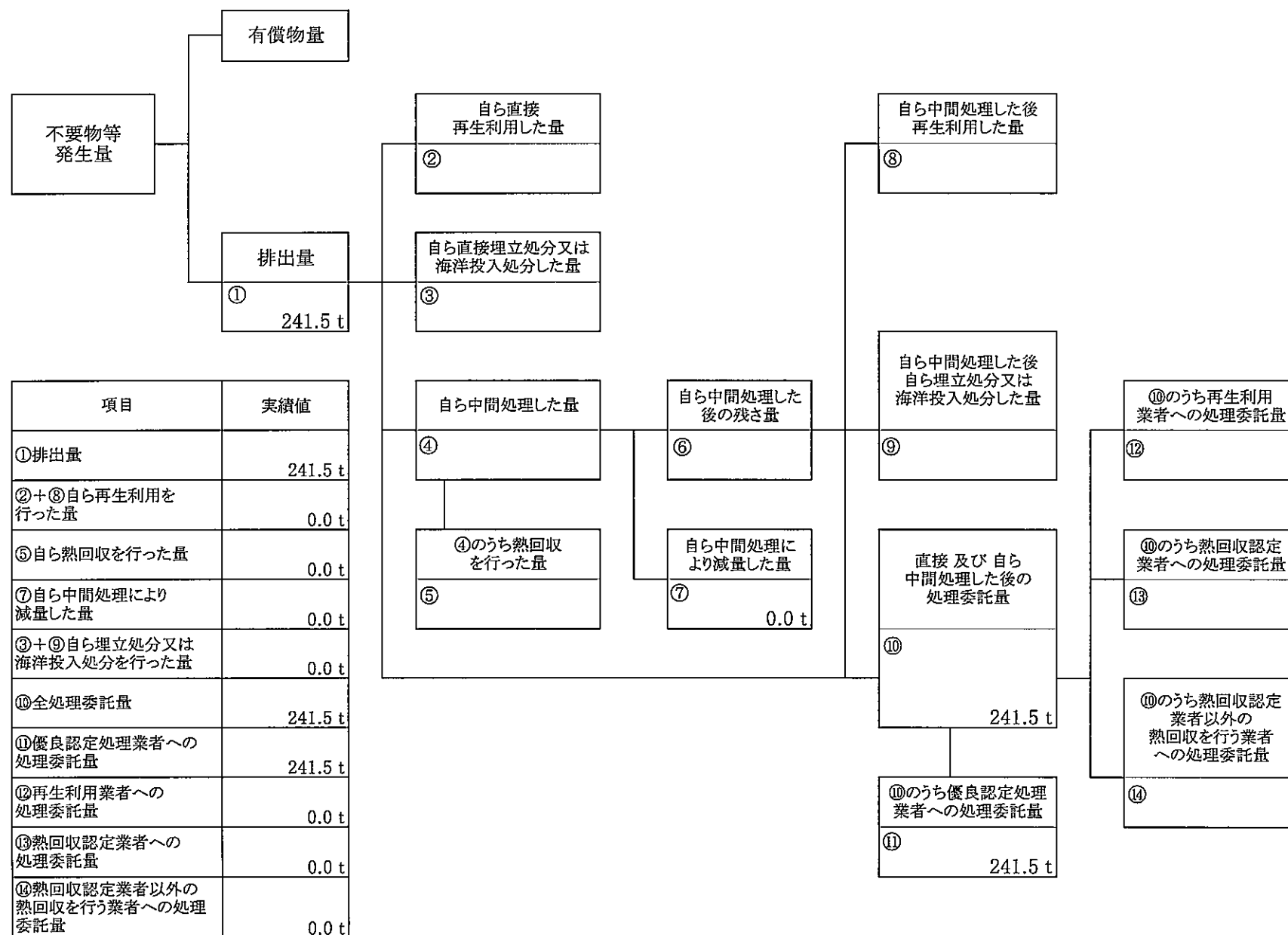
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

混合(管理型含)

)



(第2面)

備考

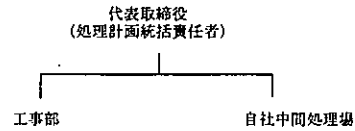
- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 20 日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒288-0037	
住 所 千葉県銚子市北小川町2432番地の1	
氏 名 有限会社 星山リサイクル	
代表取締役 星山 龍則	
電話番号 0479-25-3766	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	有限会社 星山リサイクルセンター
事業場の所在地	千葉県銚子市小浜町2543-5 外
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：職別工事業（設備工事業を除く）
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高 3,504万円
③ 従業員数	3人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類、ガラ陶、廃プラスチック類、木くず、建設混合廃棄物 各工事現場 → 収集 → 中間処理 → 最終処分 ↓ 販売 または 最終処分

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状		【前年度（令和5年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず	
		排出量	886.8 t	88.1 t	0 t	314.8 t	20.9 t	0 t	
		(これまでに実施した取組) ・現場毎に混合廃棄物の排出目標を定め、分別の徹底を行う。							
② 計画		【目標】							
		産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず	
		排出量	985 t	90 t	5 t	320 t	25 t	5 t	
		(今後実施する予定の取組) ・上記取り組みを継続実施する。							

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状		(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特定建築資材廃棄物および石綿含有廃棄物の分別の徹底 ・委託契約書のとおり種類毎に分別・適正処理を行っている。
② 計画		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記取り組みを継続実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	803.5 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
	（これまでに実施した取組） 自社で破砕後、売却しております								
② 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	900 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
	（今後実施する予定の取組） 自社で破砕後、売却を予定しております								
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
（これまでに実施した取組）									
② 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
（今後実施する予定の取組）									

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
①現状	【前年度（ 5 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組)							
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
① 現状	【前年度（ 令和 5 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類		がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず
	全処理委託量		83.3 t	88.1 t	0 t	314.8 t	20.9 t	0 t
		優良認定処理業者への処理委託量	9.3 t	3.9 t	0 t	0 t	20.9 t	0 t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 事前の契約に基づき、適正処分をしています。							

(第5面)

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず
	全処理委託量	85 t	90 t	5 t	320 t	25 t	5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	10 t	5 t	5 t	10 t	25 t	5 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 事前の契約に基づき、適正処分を予定しています。						

※事務処理欄

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 6 月 20 日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒288-0037
住 所 千葉県銚子市北小川町2432番地の1
氏 名 有限会社 星山リサイクル
代表取締役 星山 龍則

電話番号 0479-25-3766

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	有限会社 星山リサイクルセンター		
事業場の所在地	千葉県銚子市小浜町2543-5 外		
事業の種類	大分類:建設業 中分類:職別工事業(設備工事業を除く)		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3503.4 t	全処理委託量	2339.4 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1164.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	463.4 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1588.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

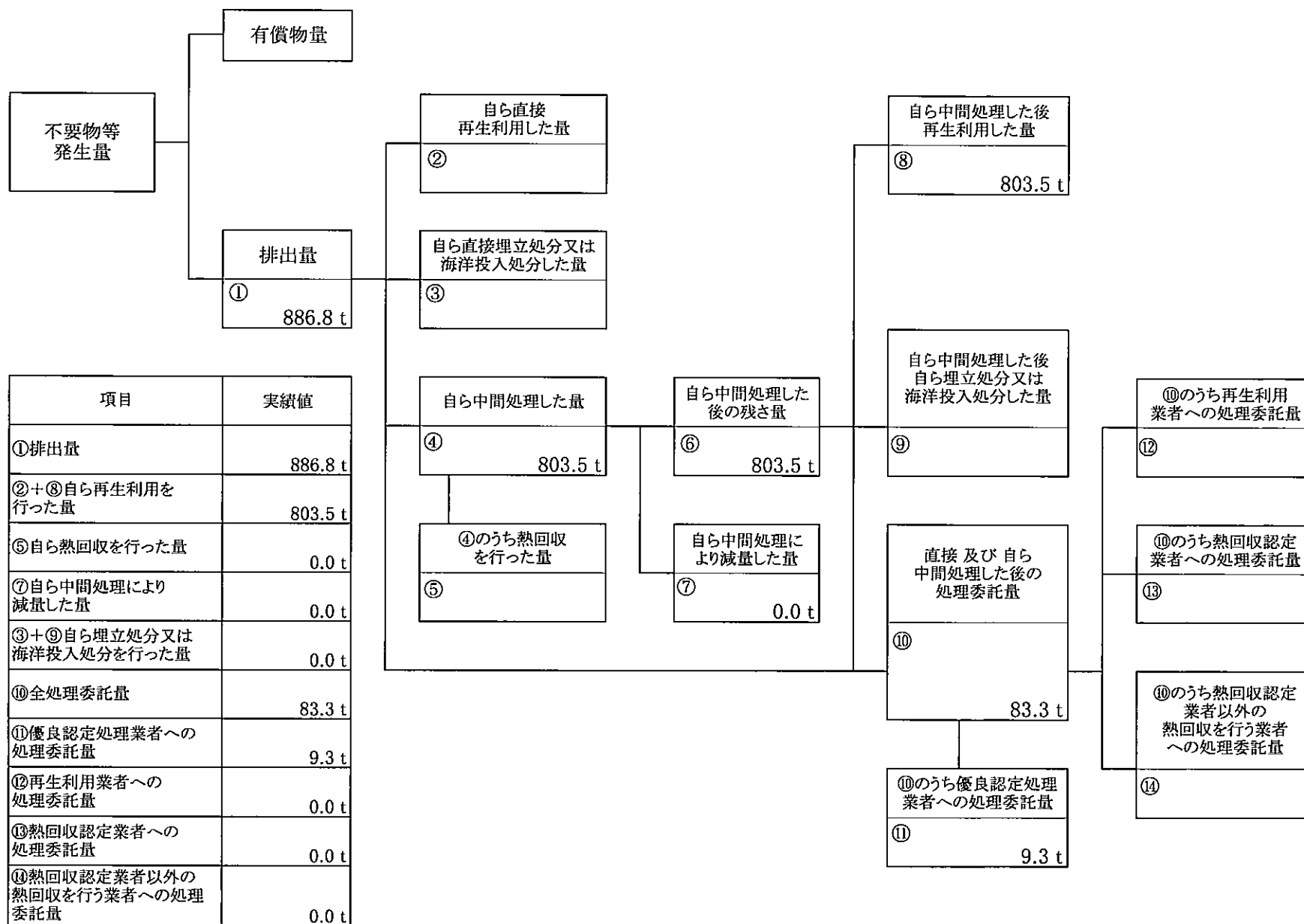


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

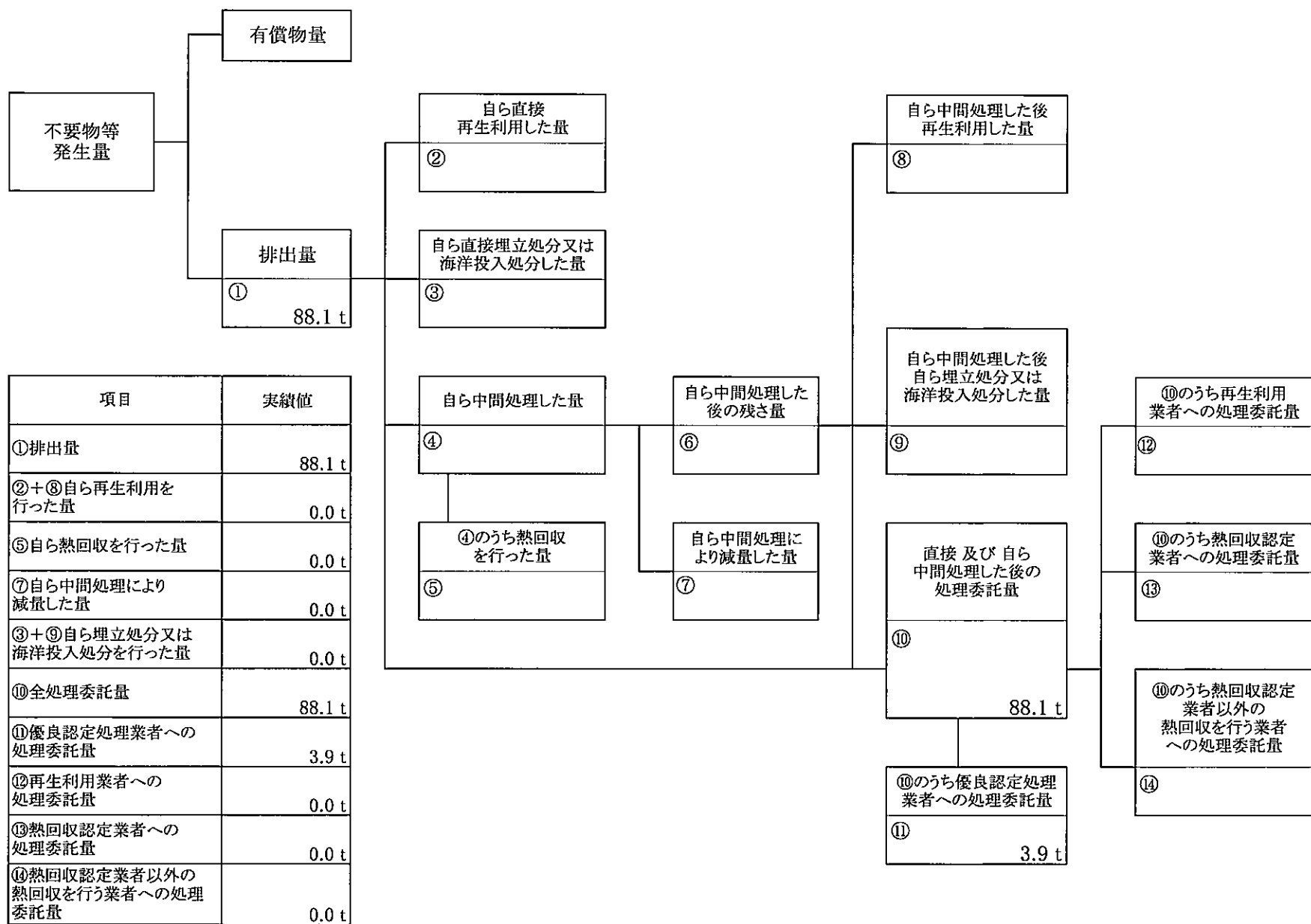
)



(第2面)

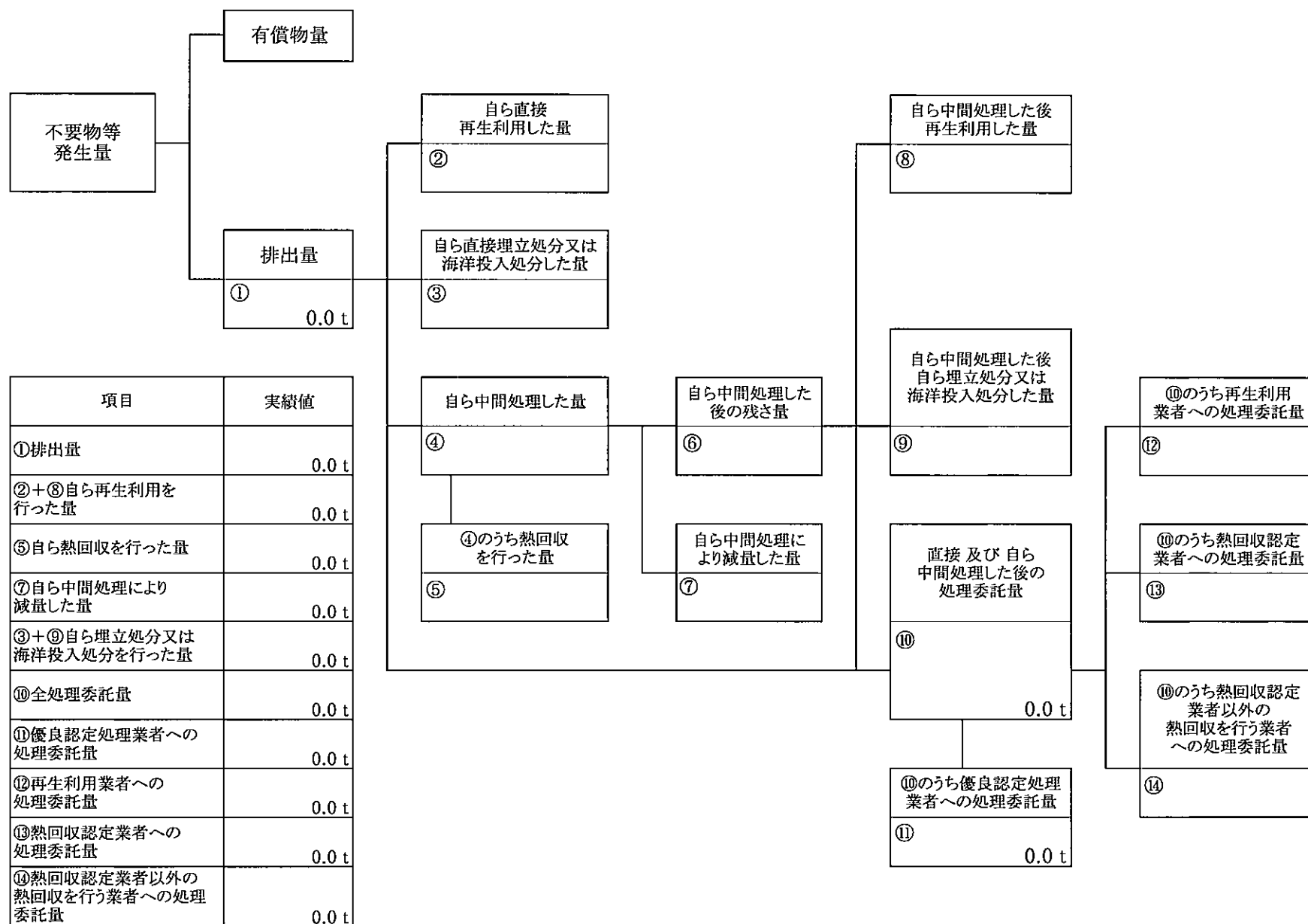
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



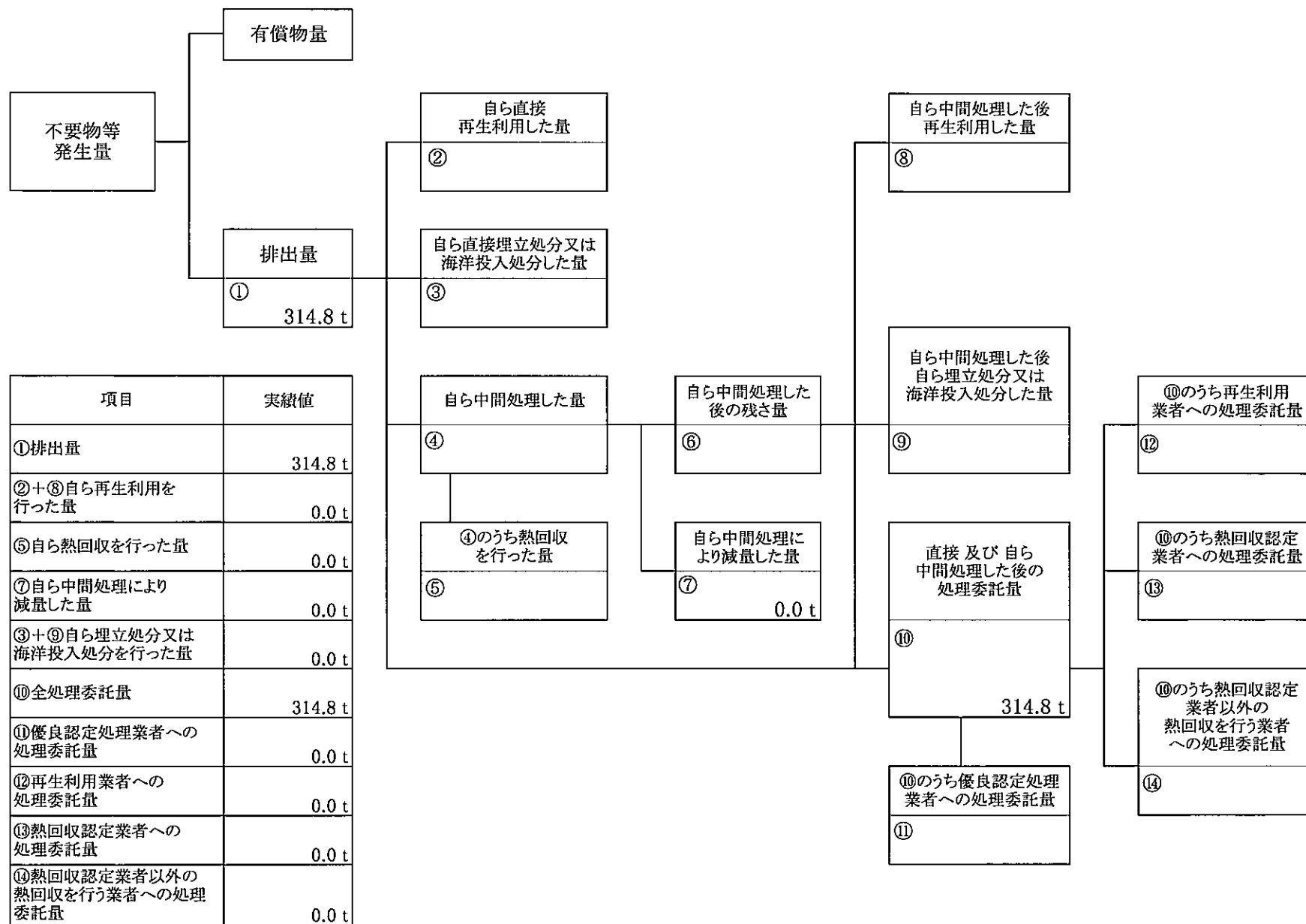
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず

)



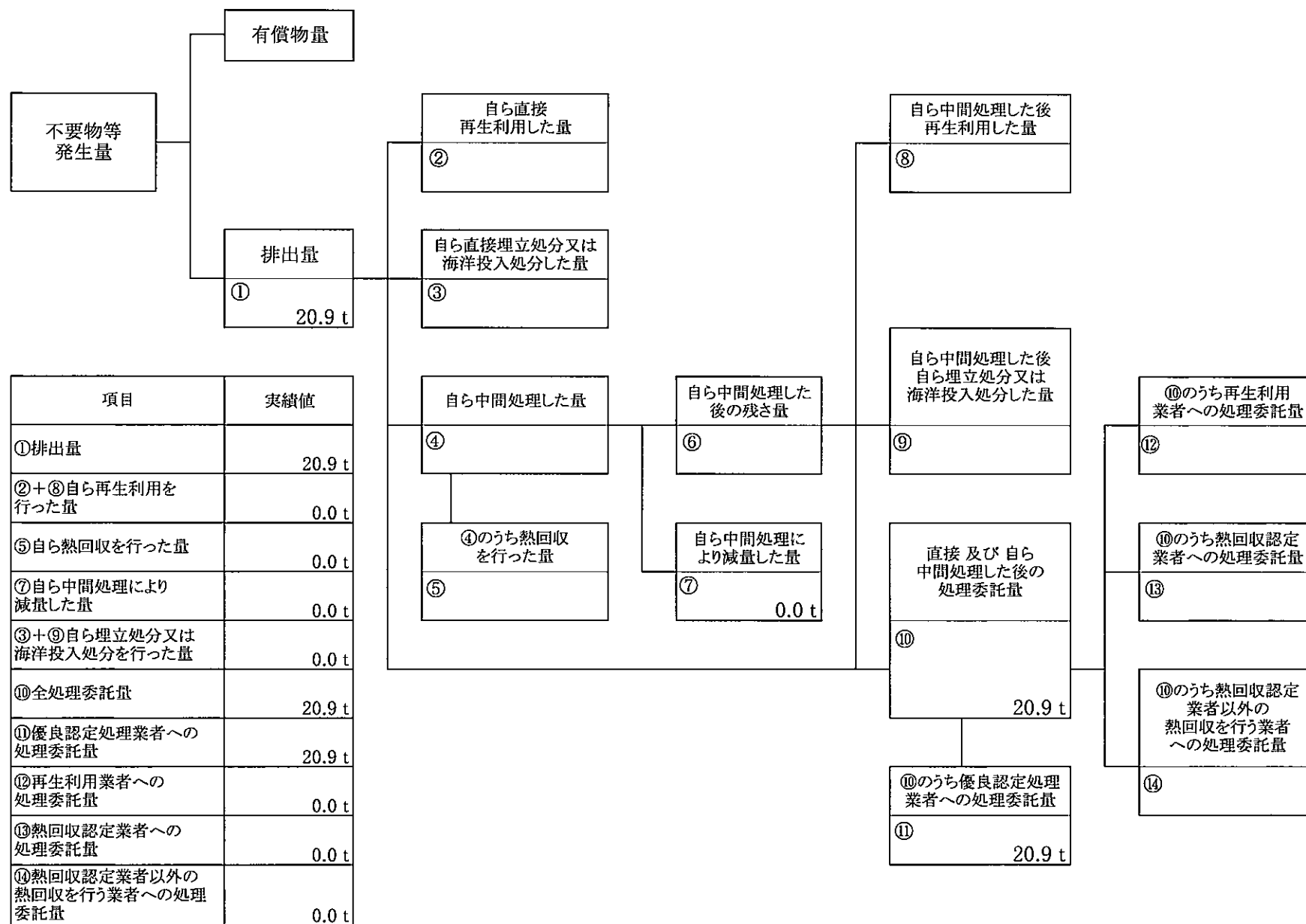
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

建設混合廃棄物

)



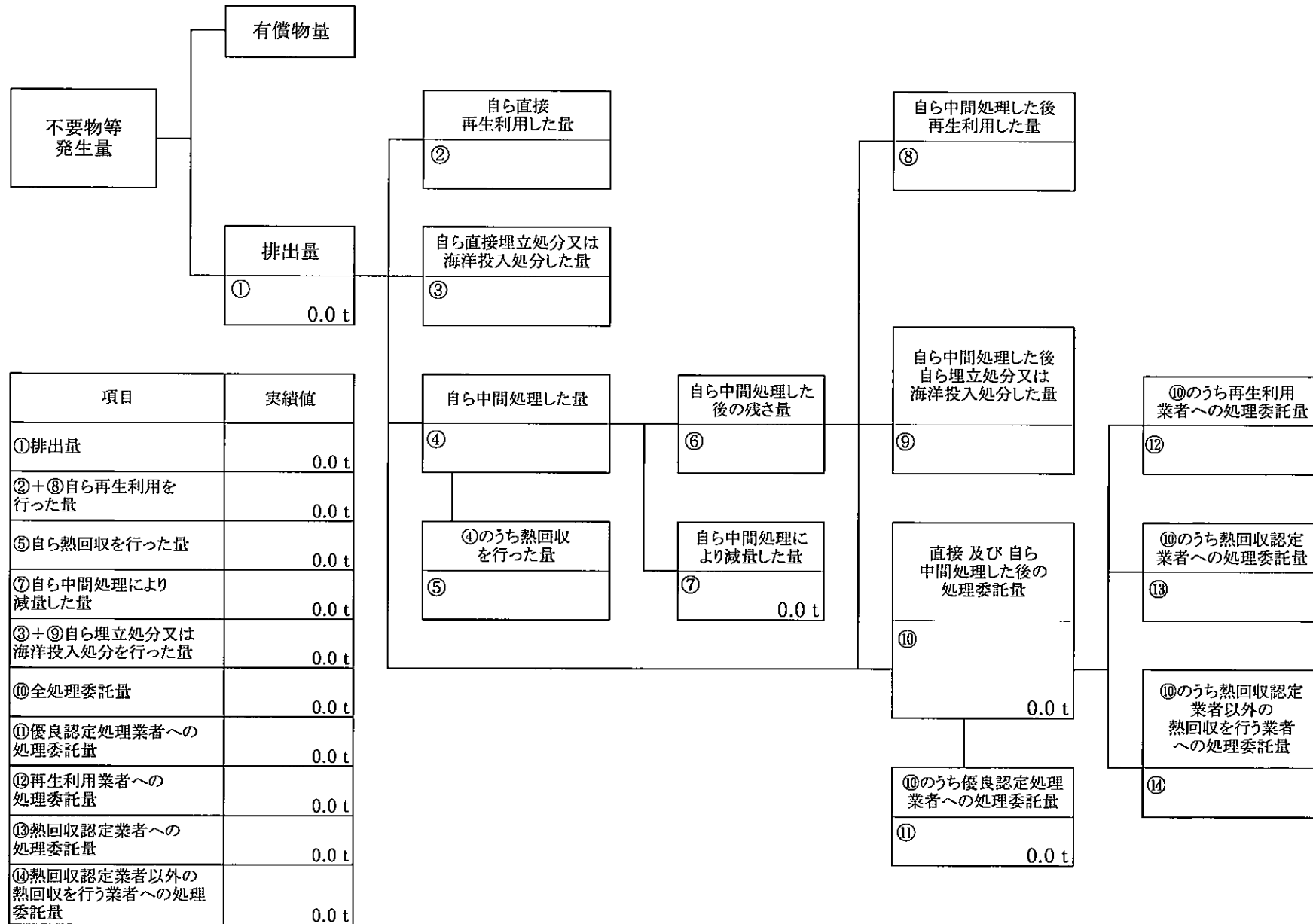
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

金属くず

)



(第2面)

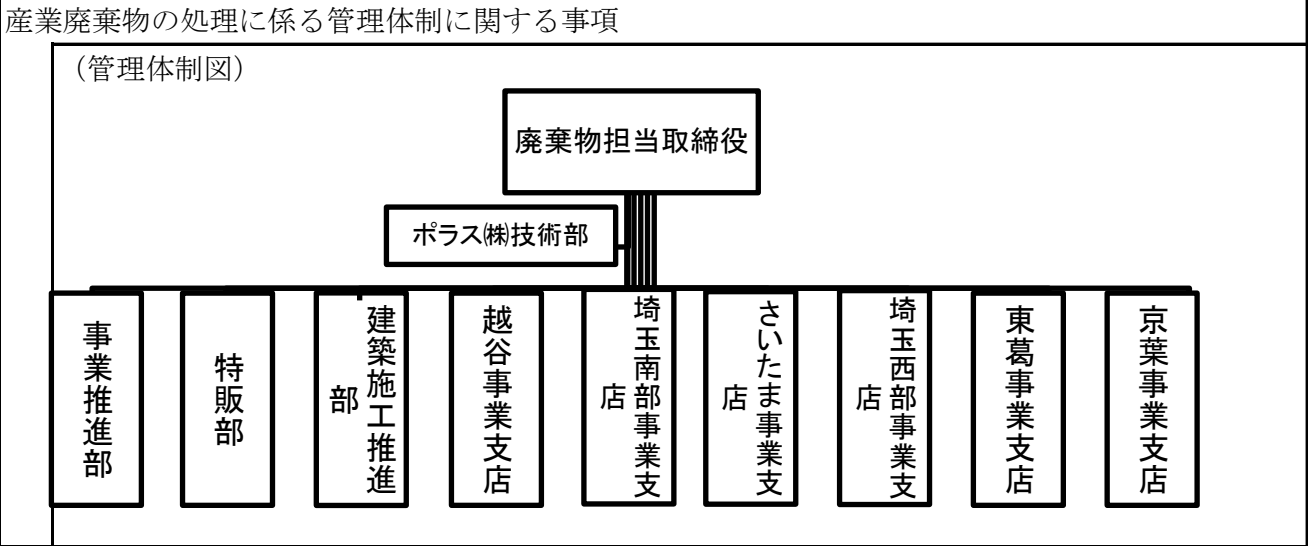
備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月 25日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒343-0857	
住 所 埼玉県越谷市新越谷1-71-2 3F	
氏 名 ポラテック株式会社	
代表取締役 中内 晃次郎	
電話番号 047-309-7723	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	ポラテック株式会社東葛事業支店
事業場の所在地	千葉県松戸市八ヶ崎8-31-10 B1F
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 9,553,000,000円
③ 従業員数	97名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	木くず→破砕→再生利用 廃プラスチック類→圧縮梱包→再生利用 がれき類→破砕→再生利用 紙屑→圧縮梱包→再生利用 金属くず→破砕→再生利用 ガラス陶磁器→破砕→再生利用 混合廃棄物→破砕・圧縮梱包→再生利用



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	任意様式参照	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	○パネル化の向上 ○専らを筆頭に工事現場での分別 ○端材が発生しない精度の高い積算・木拾い ○余剰材は他現場で転用 ○余剰材が他現場で転用できるよう汎用性の高い資材を選定		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	任意様式参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	上記①を一層向上させる		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新築工事では段ボール・木くず・金属くず・がれき類・石膏ボード・廃プラ（塩素系を除く）の一部を分別し、できるだけ再生委託
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	任意様式参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	自ら再生処理・加工を行って利用しているものはない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	任意様式参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	自ら再生処理・加工を行って利用しているものはない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	任意様式参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
自ら熱回収・中間処理を行っているものはない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	任意様式参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら熱回収・中間処理を行っているものはない			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	任意様式参照		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
	自ら埋立・海洋投入は行っていない			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	任意様式参照		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
	自ら埋立・海洋投入は行っていない			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	任意様式参照		
	全処理委託量	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
	新築工事 木くずや廃プラスチックの一部はRPF製造業者へ、石膏ボードは 広域認定メーカーへ再生委託			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類 _	任意様式参照	
	全 処 理 委 託 量 _	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記の実績と同様		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ラス及び陶磁器く	混合廃棄物
		排 出 量	428.4 t	83.9 t	400.5 t	0.1 t	150.4 t	123.5 t	2056.5 t	276 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ラス及び陶磁器く	混合廃棄物
		排 出 量	616.8 t	120.8 t	576.7 t	0.2 t	216.5 t	177.9 t	2961.4 t	397.4 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ラス及び陶磁器く	混合廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ラス及び陶磁器く	混合廃棄物
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ラス及び陶磁器く	混合廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ラス及び陶磁器く	混合廃棄物	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に關する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ラス及び陶磁器く	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ラス及び陶磁器く	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず ²	廃プラスチック	がれき類	繊維くず ²	紙くず ²	金属くず	ラス及び陶磁器く	混合廃棄物
	全処理委託量	428.4 t	83.9 t	400.5 t	0.1 t	150.4 t	123.5 t	2056.5 t	276 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	428.4 t	0 t	400.5 t	0 t	0 t	123.5 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず ²	廃プラスチック	がれき類	繊維くず ²	紙くず ²	金属くず	ラス及び陶磁器く	混合廃棄物
	全処理委託量	616.8 t	120.8 t	576.7 t	0.2 t	216.5 t	177.9 t	2961.4 t	397.4 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	616.8 t	0 t	576.7 t	0 t	0 t	177.9 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月 25日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒343-0857
住 所 埼玉県越谷市新越谷1-71-2 3F
氏 名 ポラテック株式会社
代表取締役 中内 晃次郎
電話番号 047-309-7723

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ポラテック株式会社東葛事業支店
事業場の所在地	千葉県松戸市八ヶ崎8-31-10 B1F
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

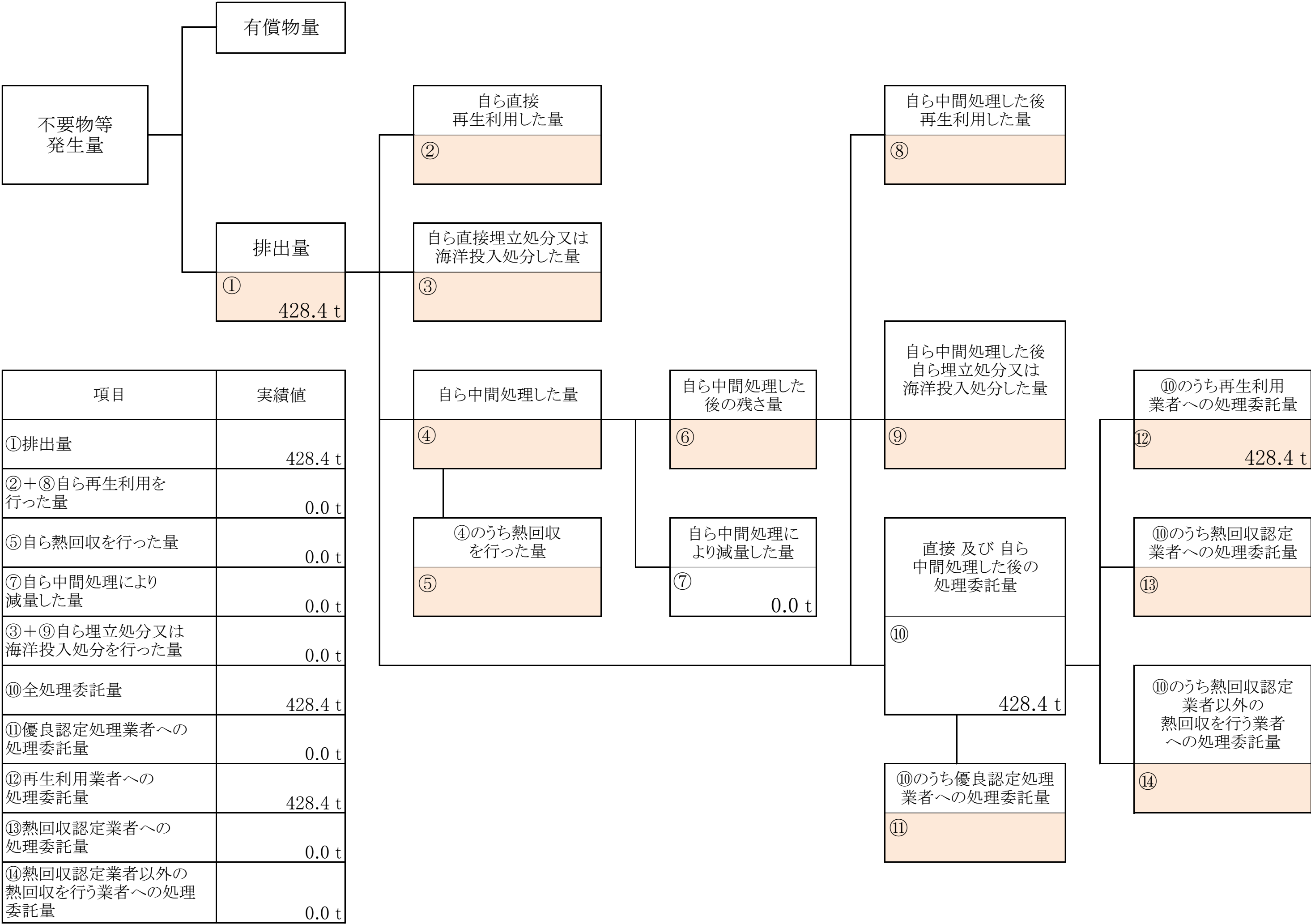
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5045.2 t	全処理委託量	5045.2 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1283.2 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

※事務処理欄

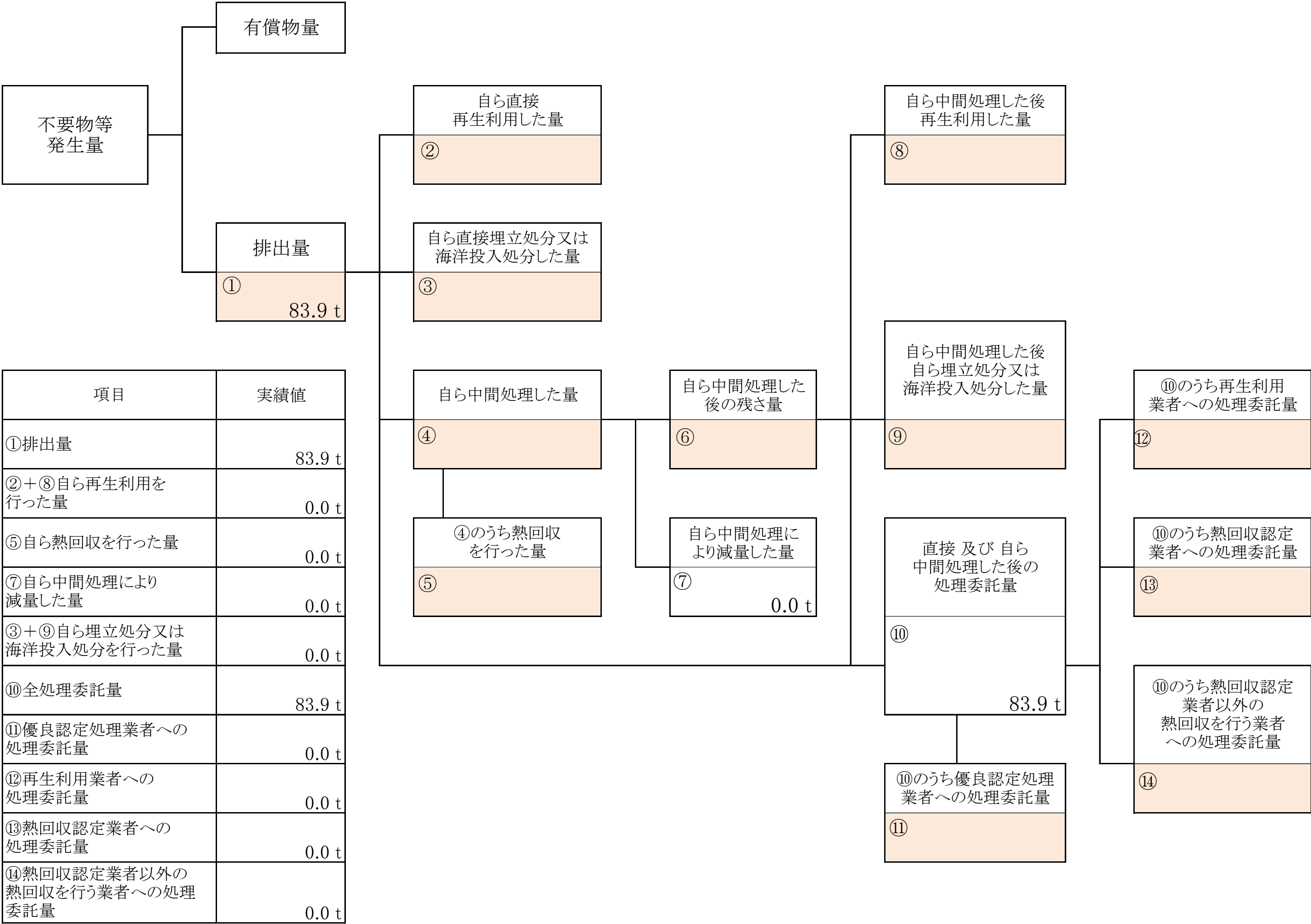
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



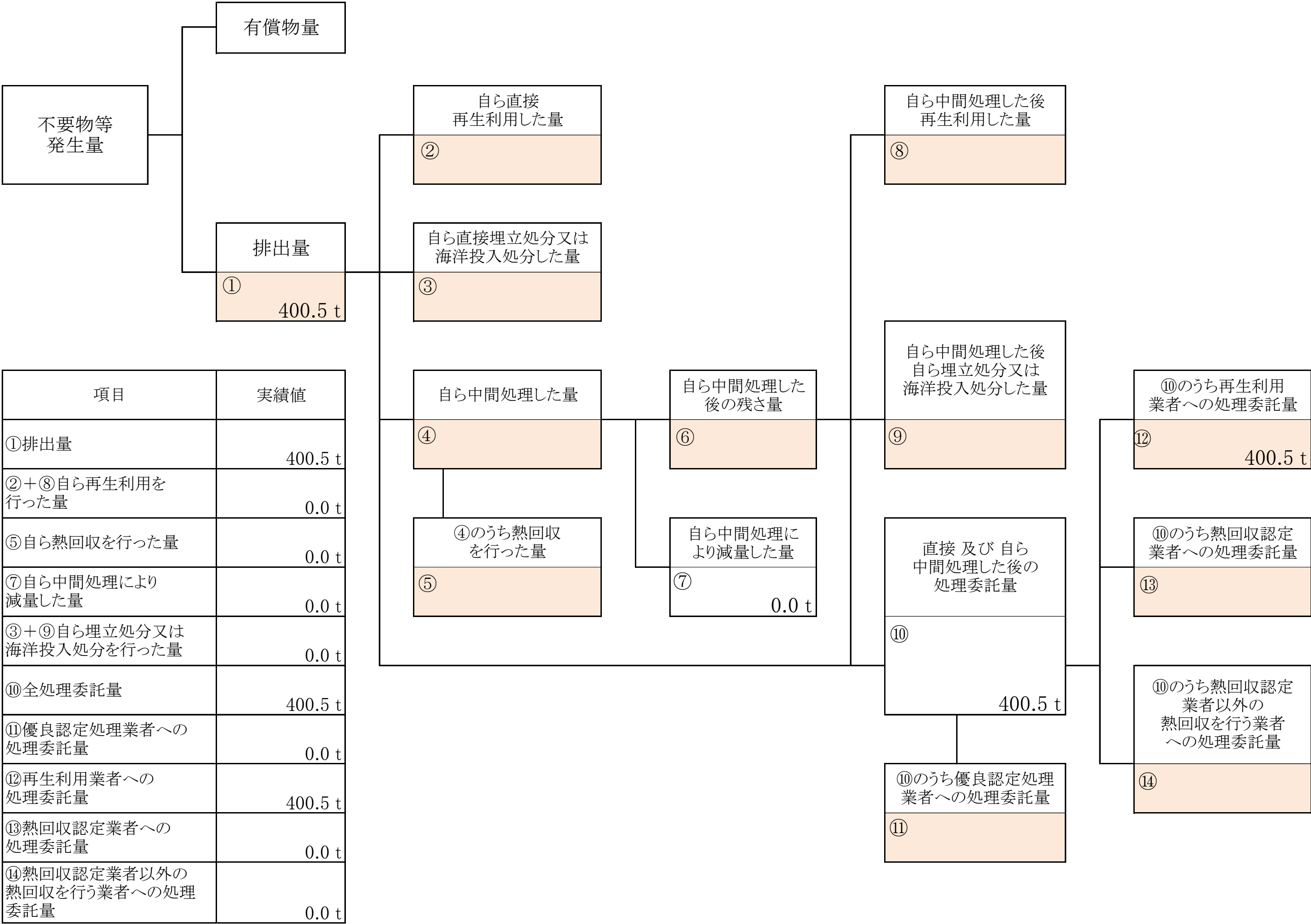
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)



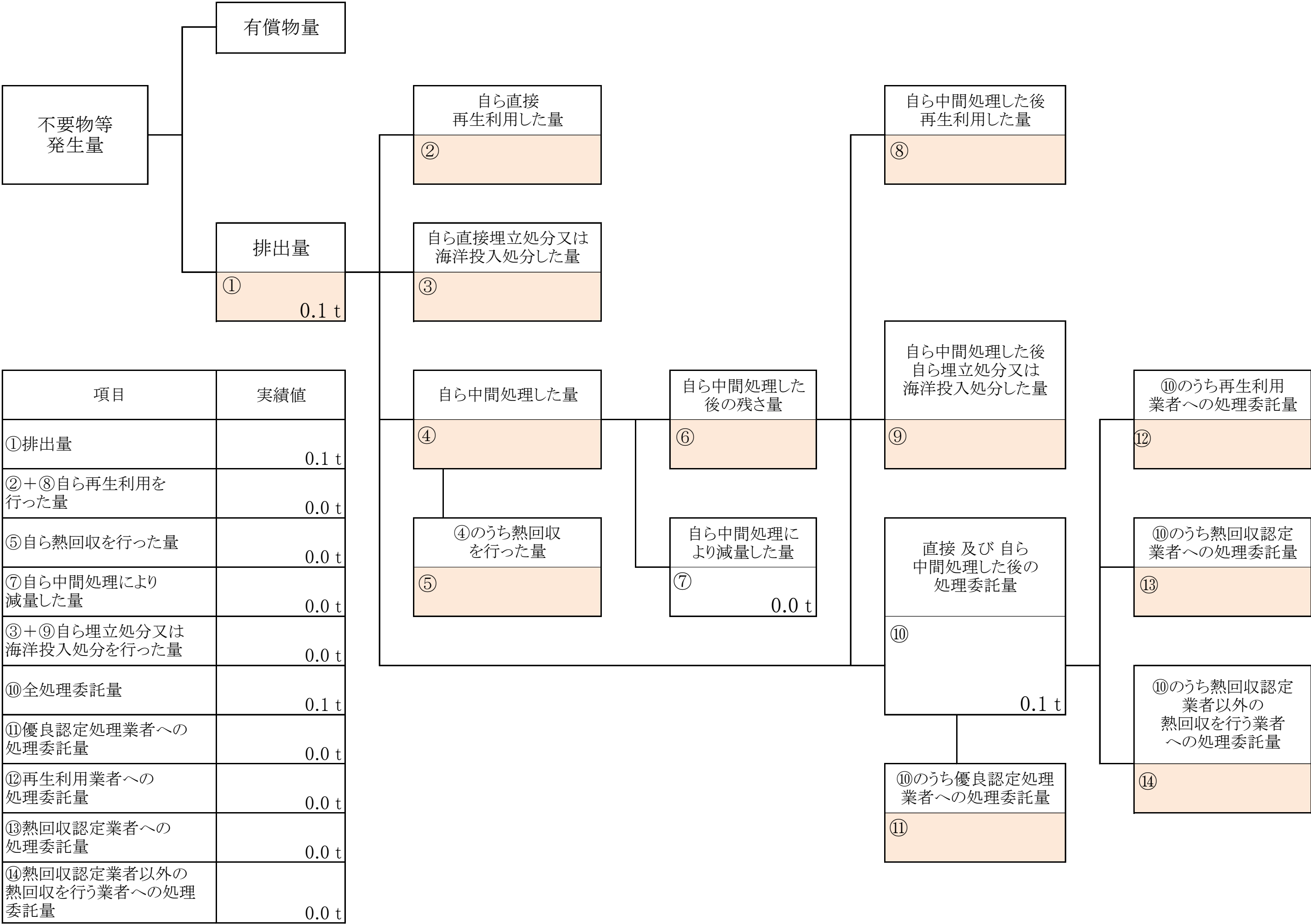
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



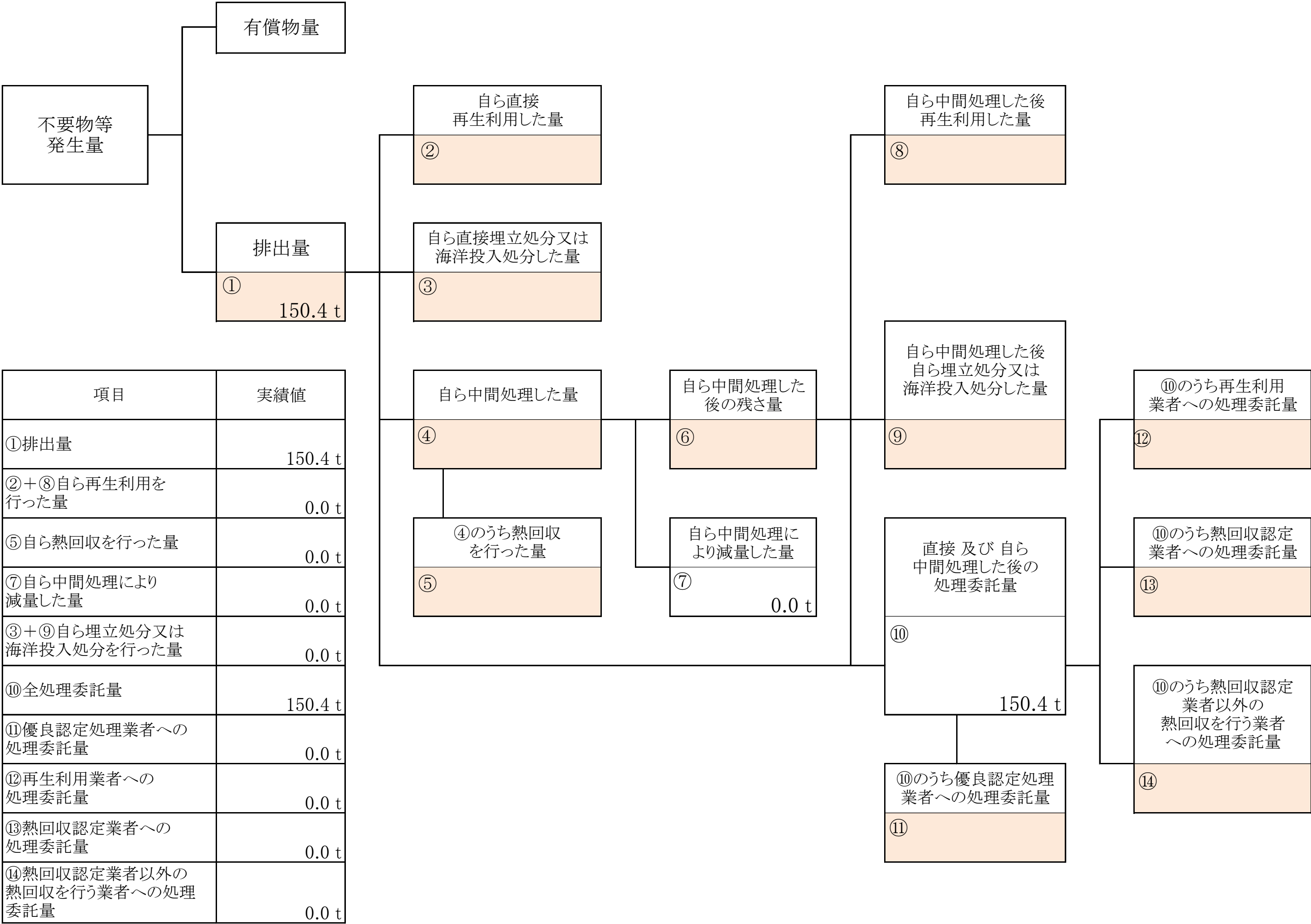
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



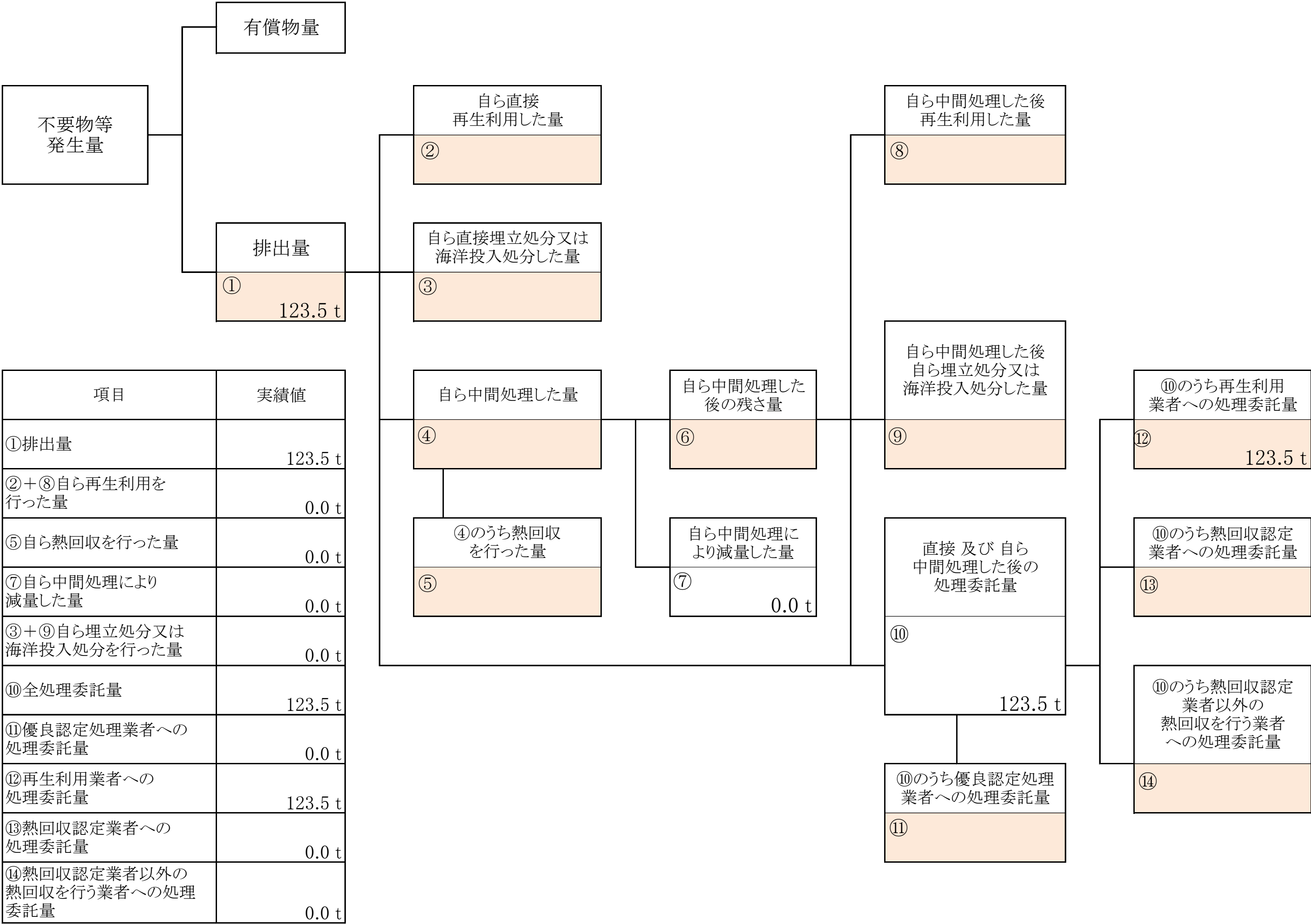
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



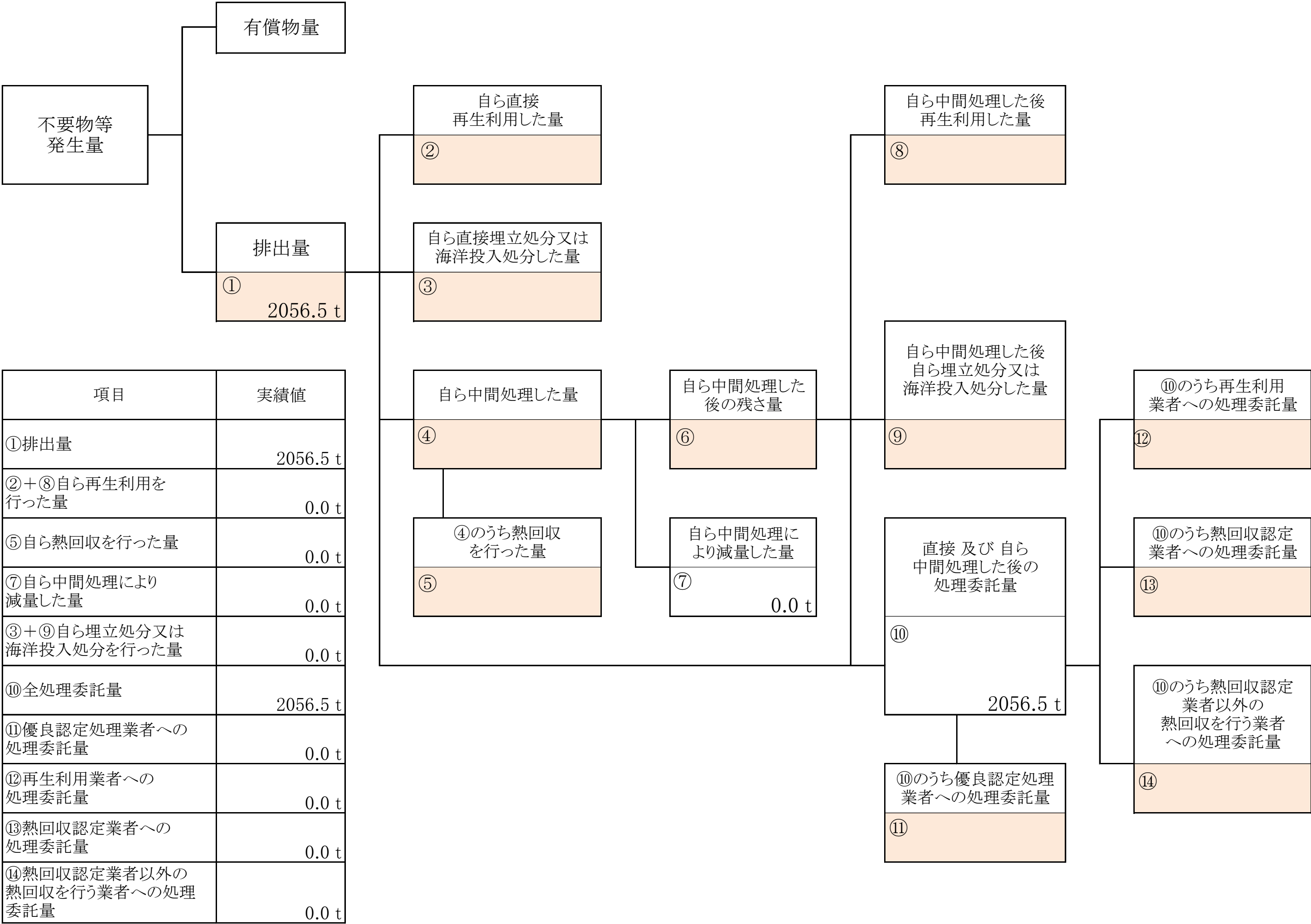
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



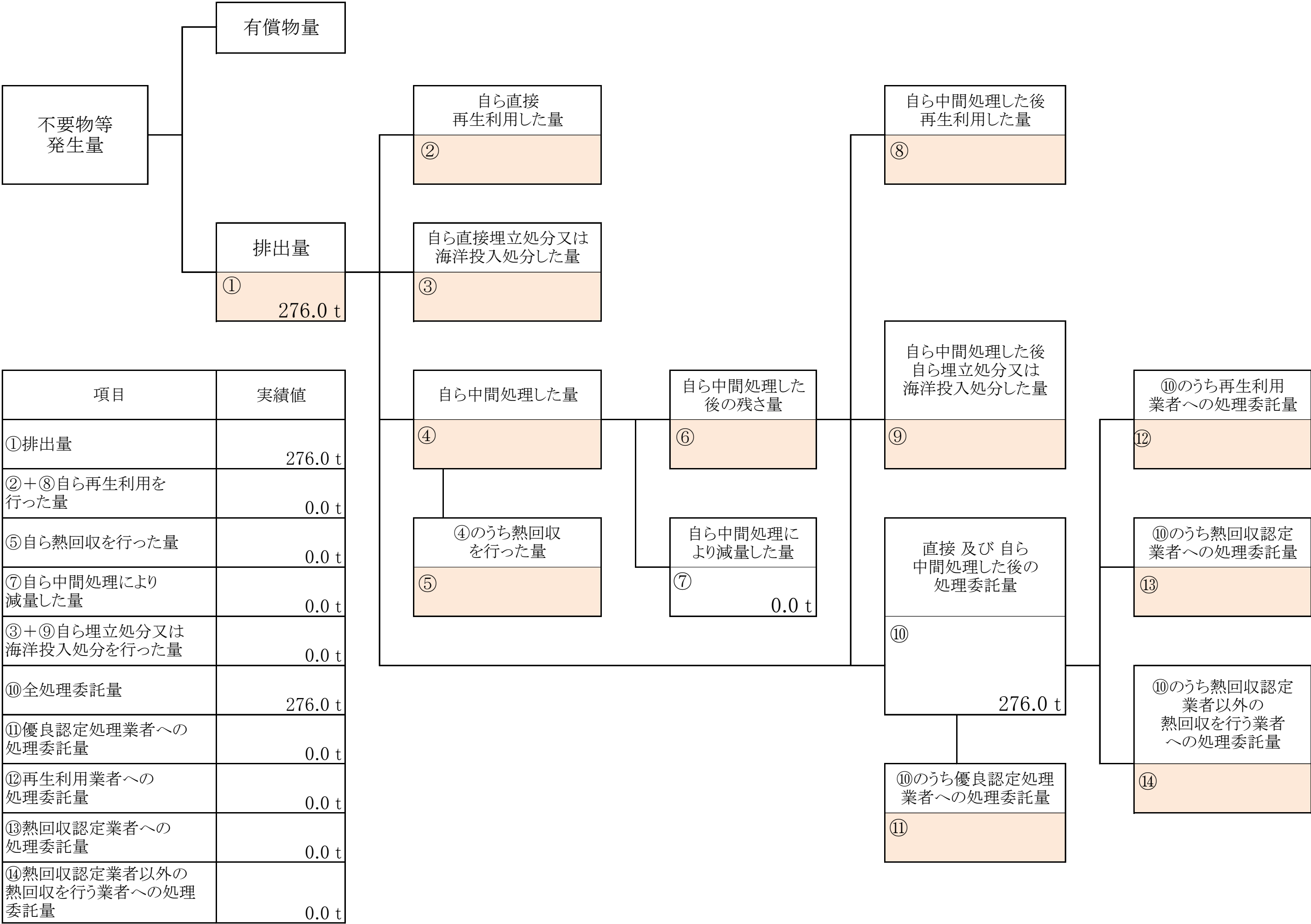
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合廃棄物)



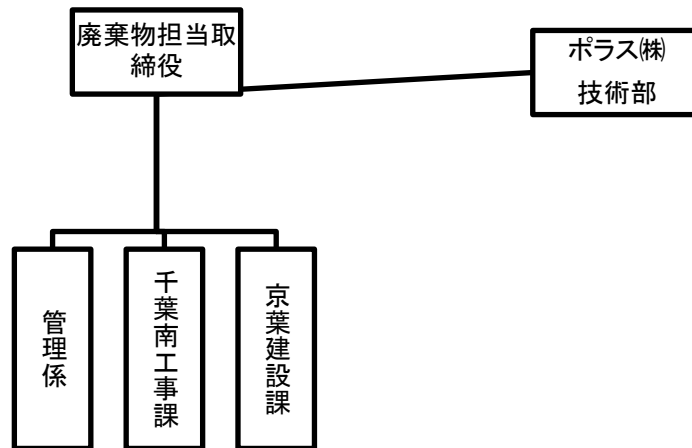
備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 8日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒343-0857	
住 所 埼玉県越谷市新越谷1-71-2	
氏 名 ポラテック㈱代表取締役 中内 晃次郎	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 047-769-2688	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	木造建築事業部 京葉事業支店
事業場の所在地	千葉市・柏市・船橋市を除く、千葉県内各地域
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	完成売上高 626246万円
③ 従業員数	70名（2024年5月21日現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①現状 参照	
	排出量	4582.40 t	t
	(これまでに実施した取組) ○パネル化率の向上 ○専ら物を筆頭に工事現場での分別 ○端材が発生しない精度の高い積算・木拾い ○余剰材は他現場で転用 ○余剰材が他現場で転用できるよう汎用性の高い資材を選定		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙②計画 参照	
	排出量	4124.16 t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記①を一層向上させる		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 解体工事では特定建設資材、新築工事では段ボール・木くず・金属くず・か
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①現状 参照	
	全処理委託量	4582.40 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	解体工事 建り法特定建設資材や金属くずは専門再生業者へ委託		
	新築工事 木くずや廃プラスチックの一部はRPF製造業者へ、石膏ボードは広域認定メーカーへ再生委託		

②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	別紙②計画 参照	
	全 処 理 委 託 量	4124.16 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記の実績と同様		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず*	廃プラスチック	がれき類	繊維くず*	紙くず*	金属くず*	ガラス及び陶磁器	混合廃棄物
	排 出 量	252.16 t	78.37 t	112.88 t	0.01 t	92.04 t	64.72 t	3832.95 t	149.28 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず*	廃プラスチック	がれき類	繊維くず*	紙くず*	金属くず*	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	排 出 量	226.94 t	70.53 t	101.59 t	0.01 t	82.84 t	58.25 t	3449.65 t	134.35 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず*	廃プラスチック	がれき類	繊維くず*	紙くず*	金属くず*	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず*	廃プラスチック	がれき類	繊維くず*	紙くず*	金属くず*	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず*	廃プラスチック	がれき類	繊維くず*	紙くず*	金属くず*	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず*	廃プラスチック	がれき類	繊維くず*	紙くず*	金属くず*	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

廃棄物の種類が3以上ある場合は、本シートをご活用ください。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず*	廃プラスチック	がれき類	繊維くず*	紙くず*	金属くず*	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず*	廃プラスチック	がれき類	繊維くず*	紙くず*	金属くず*	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず*	廃プラスチック	がれき類	繊維くず*	紙くず*	金属くず*	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	全処理委託量	252.16 t	78.37 t	112.88 t	0.01 t	92.04 t	64.72 t	3,832.95 t	149.28 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず*	廃プラスチック	がれき類	繊維くず*	紙くず*	金属くず*	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	全処理委託量	226.94 t	70.53 t	101.59 t	0.01 t	82.84 t	58.25 t	3,449.65 t	134.35 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
③実績	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

昨年度 (2023 年度)の目標 産業廃棄物発生量 <表1>

昨年度 (2023 年度)の実績 産業廃棄物発生量 <表2>

本年度（2024年度）の目標 産業廃棄物発生量 <表3>

昨年度（2023年度）の実績 産業廃棄物再生委託量 <表4>

本年度（2024年度）の目標 産業廃棄物再生委託量 <表5>

[illegible]

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月8日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒343-0857
住 所 埼玉県越谷市新越谷1-71-2
氏 名 ポラテック㈱代表取締役 中内 晃次郎
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 047-769-2688

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

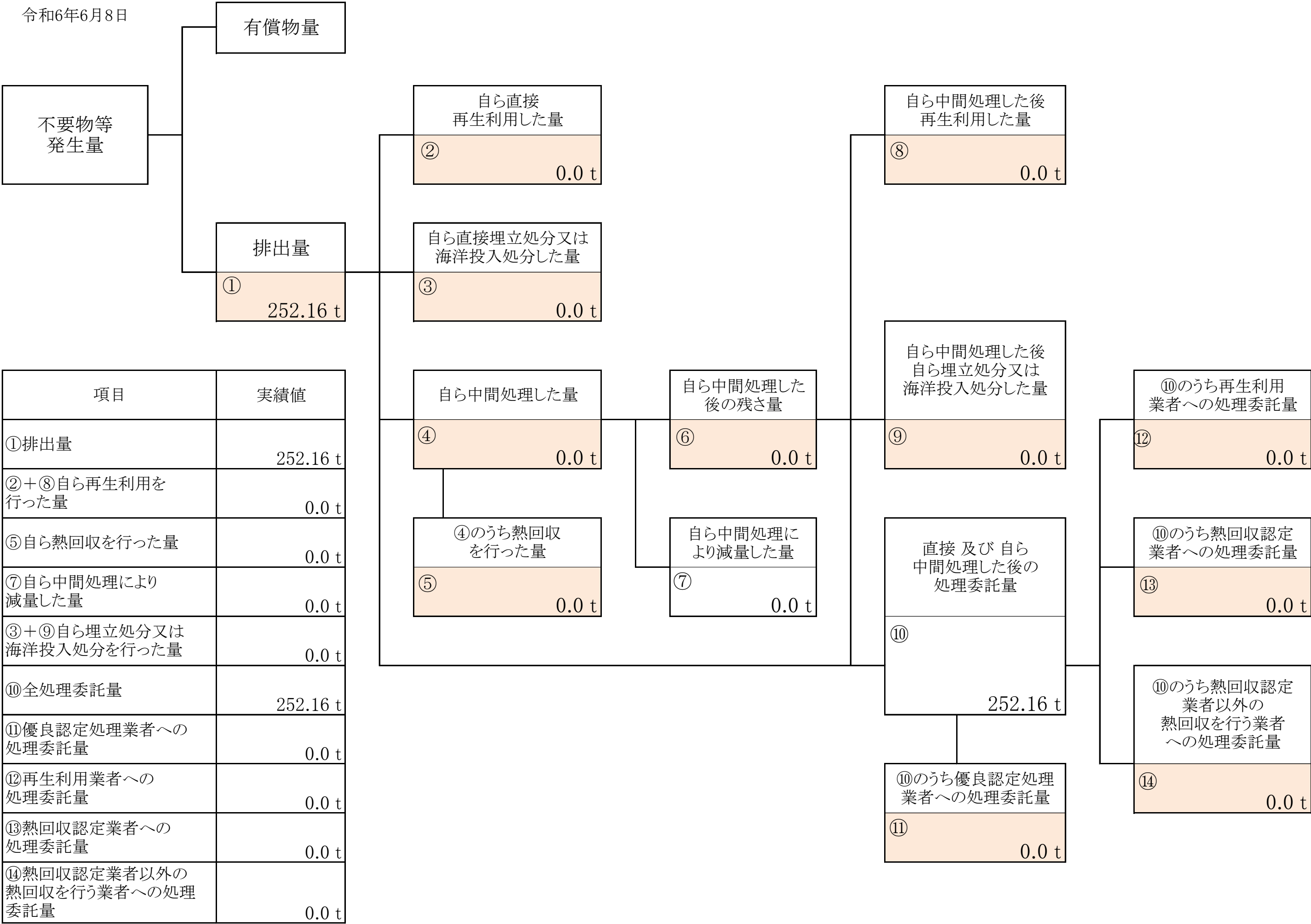
事業場の名称	木造建築事業部 京葉事業支店
事業場の所在地	千葉市・柏市・船橋市を除く、千葉県内各地域
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	7692.24 t	全処理委託量	7692.24 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

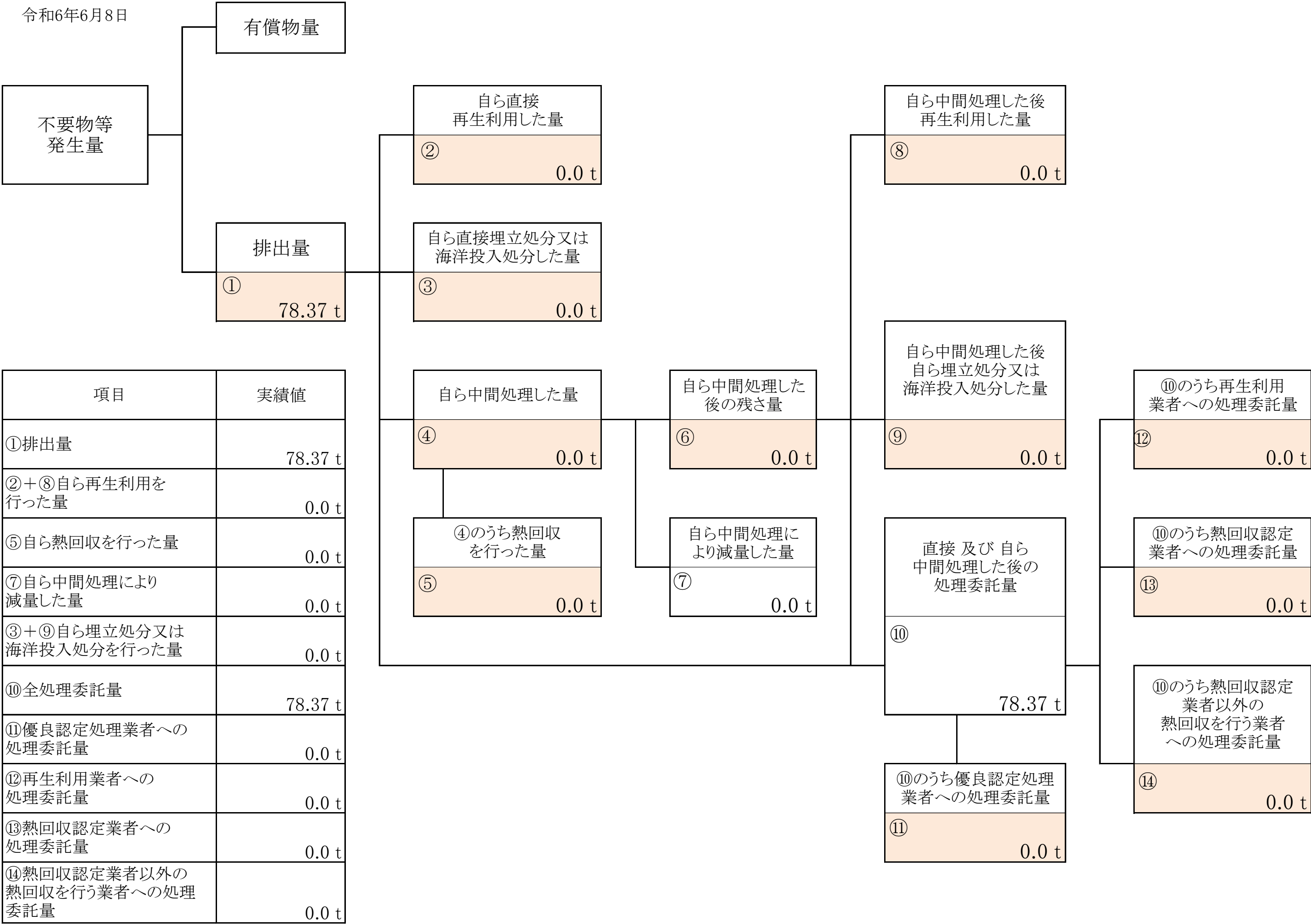
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



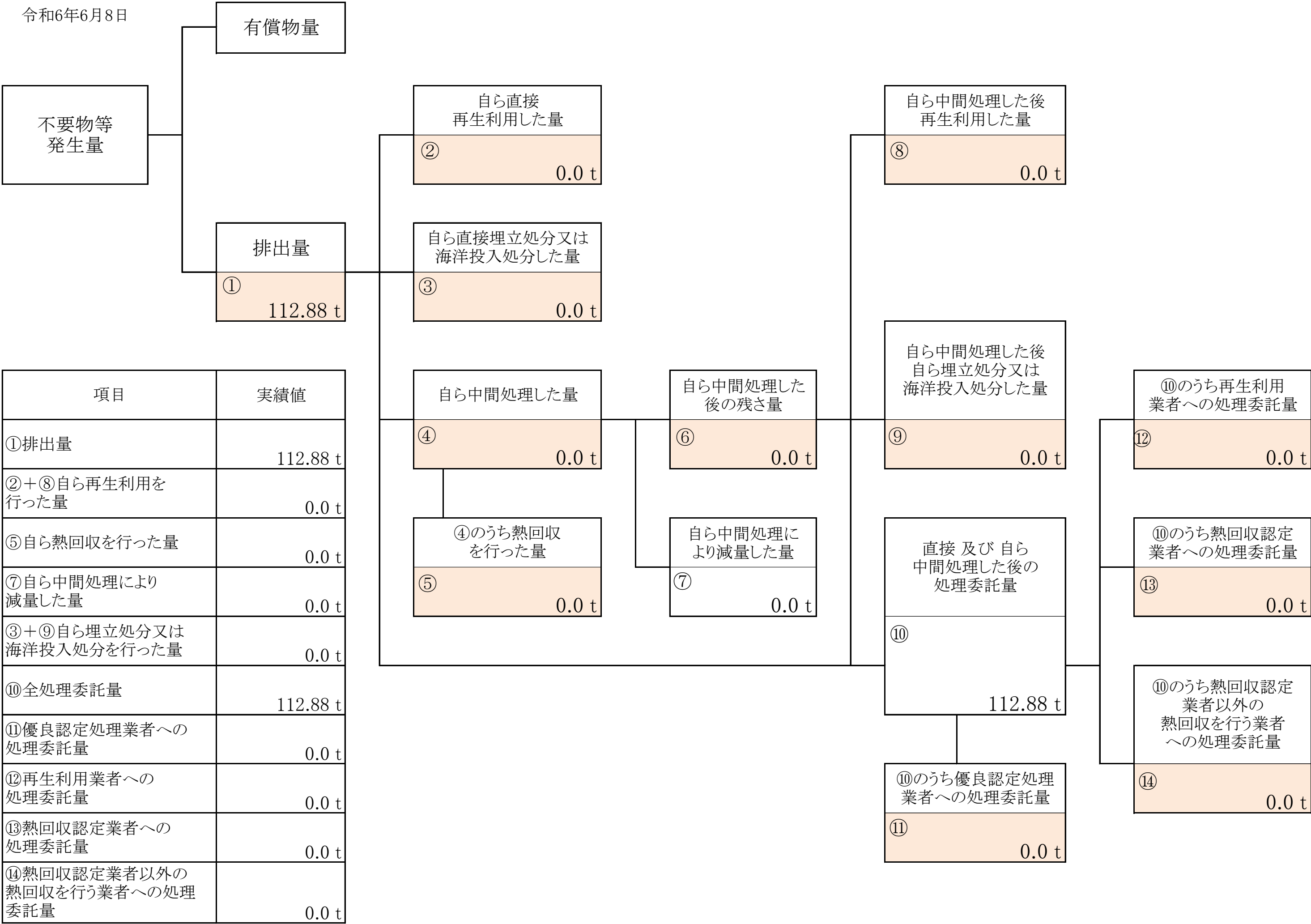
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)



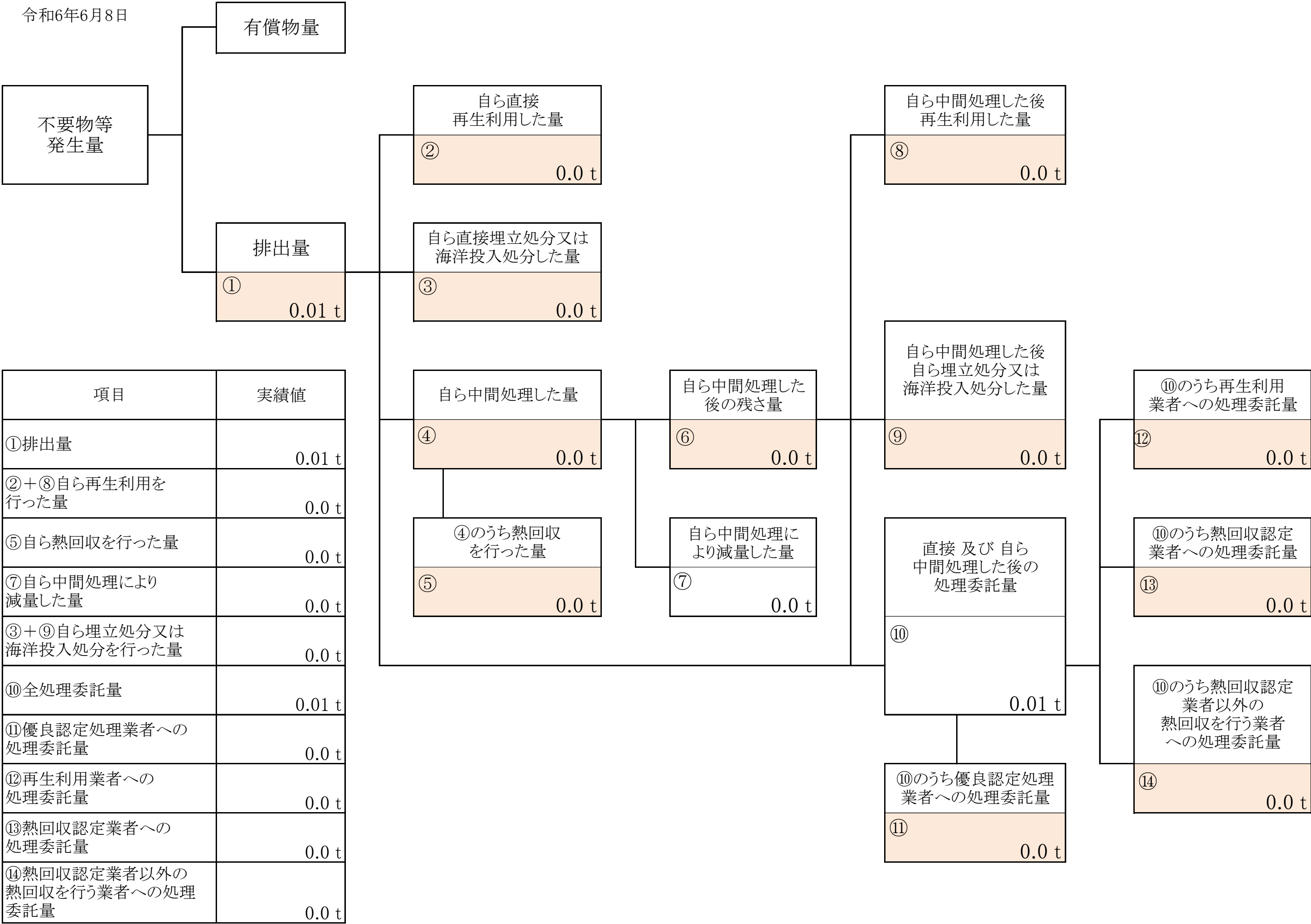
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



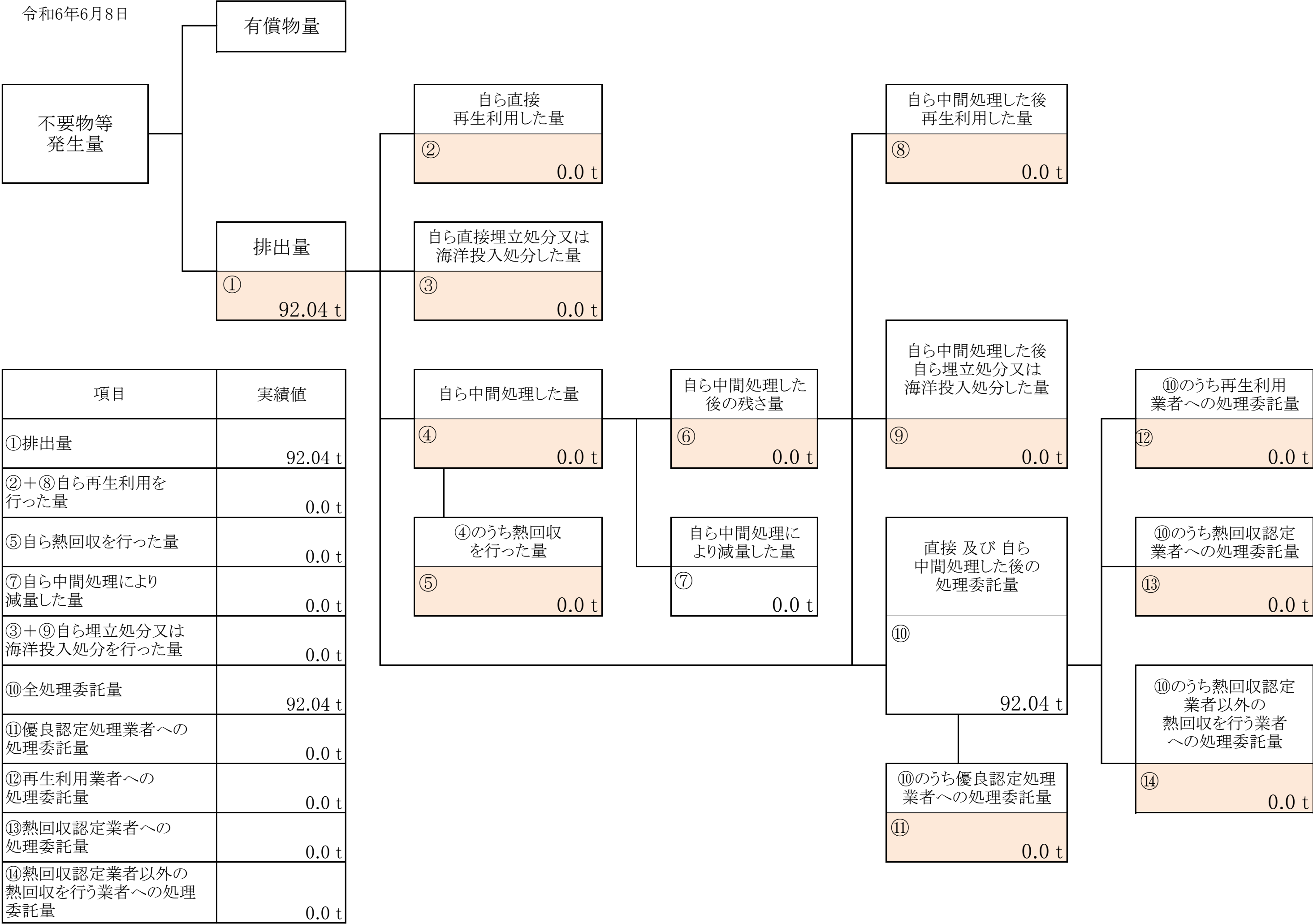
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



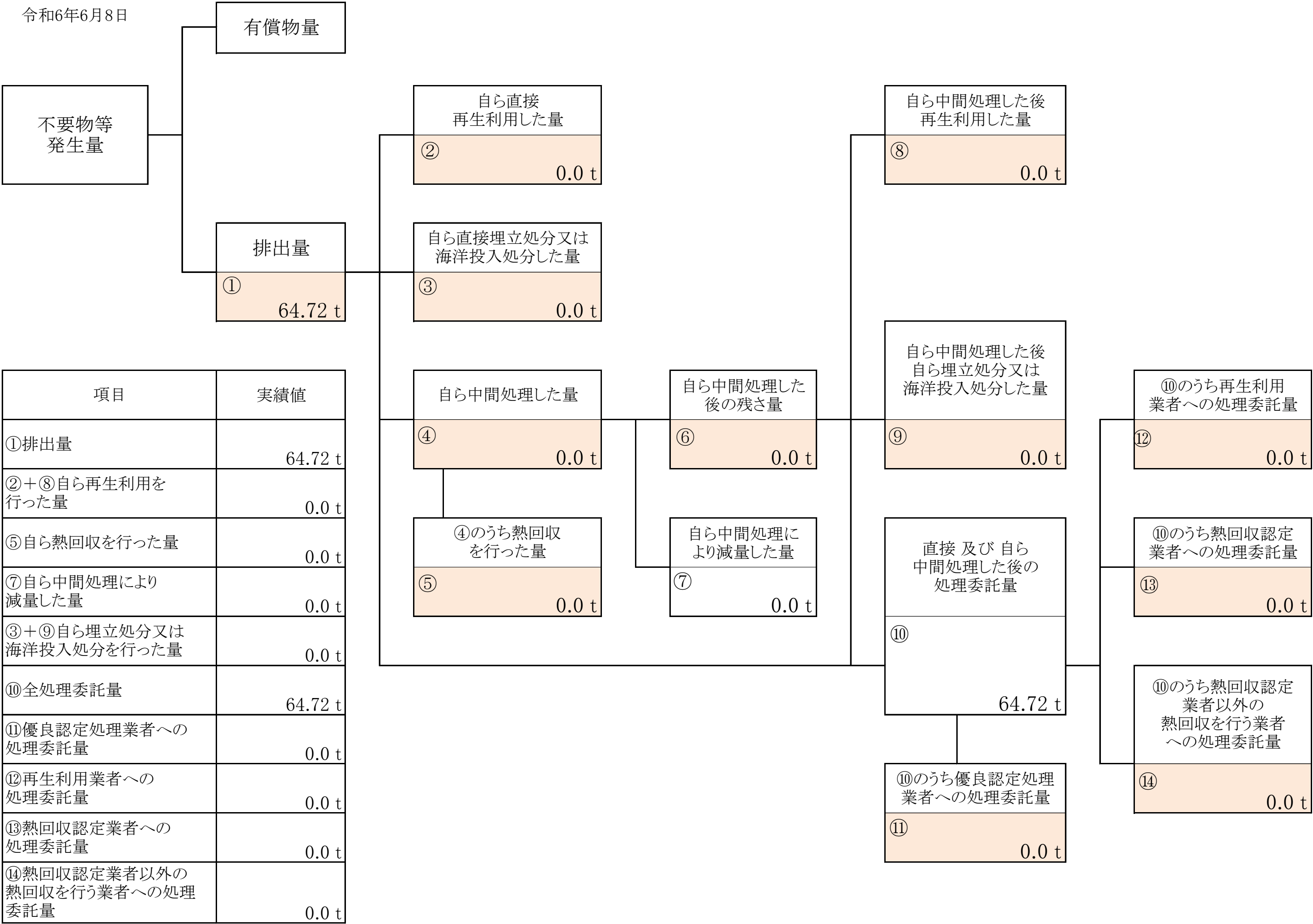
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



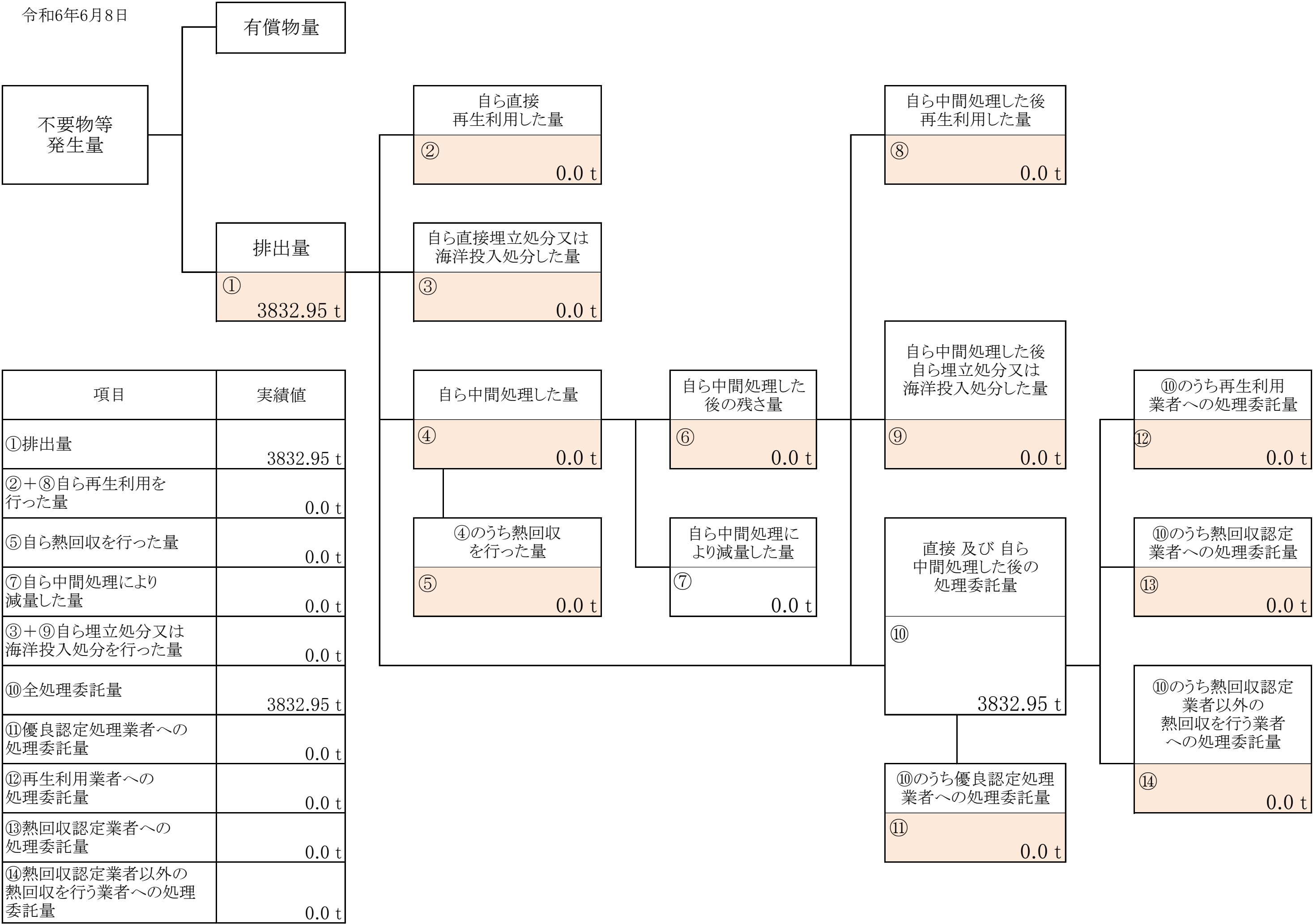
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



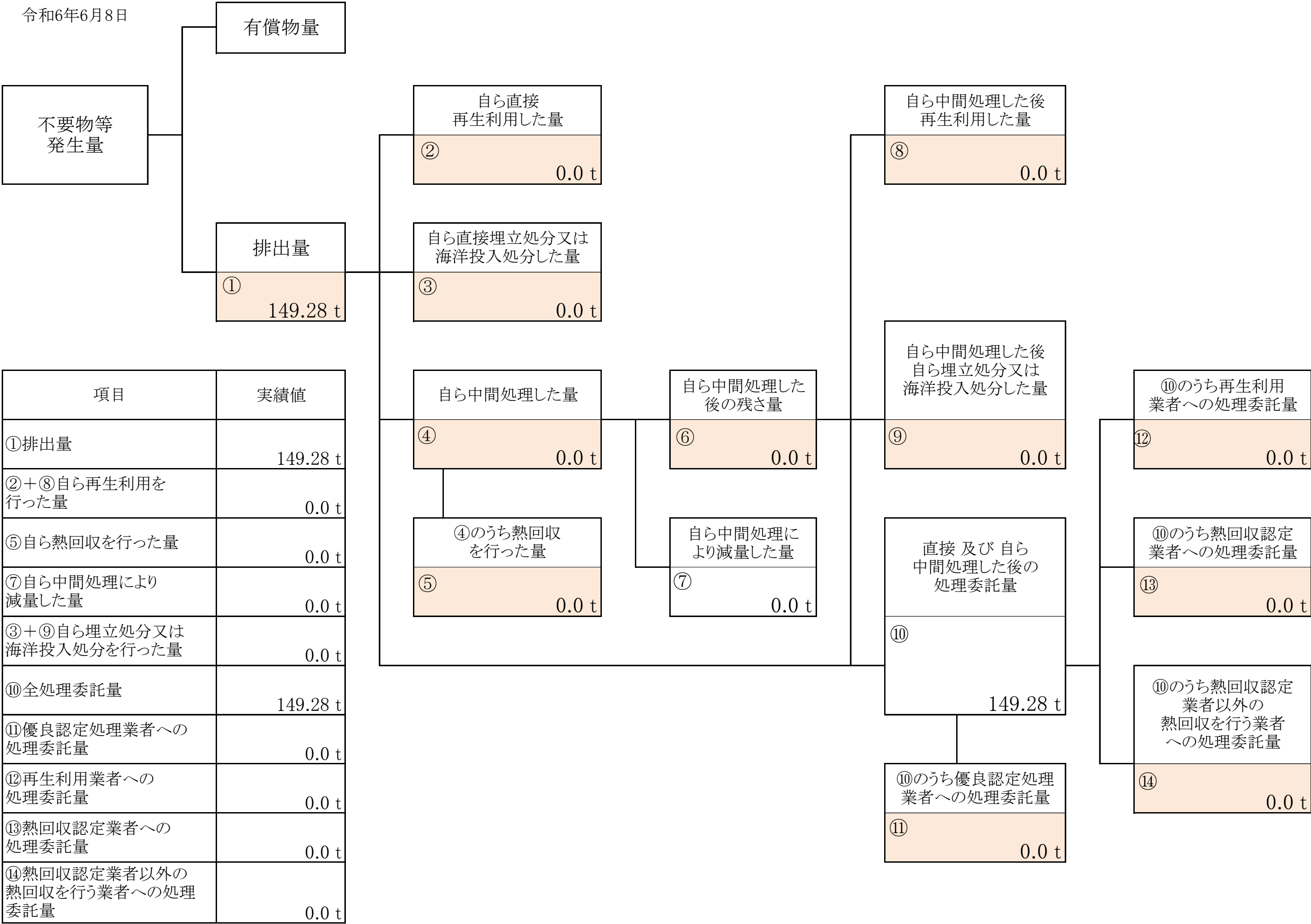
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)



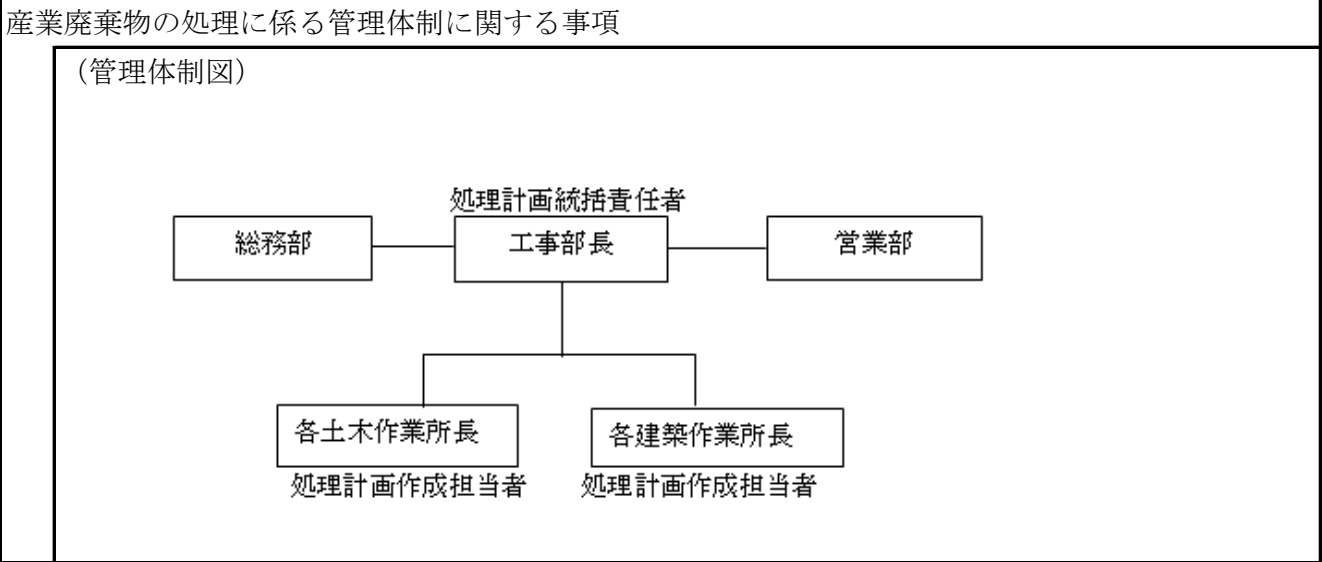
備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における###
した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 4月24日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒278-0037	
住 所 千葉県野田市野田720-1	
氏 名 株式会社 堀建設	
代表取締役 堀 直道	
電話番号 04-7124-1111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 堀建設
事業場の所在地	千葉県野田市野田720-1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 103.0億円
③ 従業員数	33名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	作業所 中間処理委託 最終処分委託 最終処分委託



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	排出量	262 t	1248.2 t
	(これまでに実施した取組)		
	・建設混合廃棄物の分別を促進。 ・各作業所にて、分別を行い中間処理業者へ委託して処分を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	排出量	250 t	1180 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・混合廃棄物の分別を行い混合廃棄物の抑制を行う。 ・中間処理業者に委託して適正な処理を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・作業所にて、産業廃棄物の種別毎に分別を行い、混合廃棄物の削減に努めている。 ・一般廃棄物（事務所）の処理を別に行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別処理を継続実施。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	全処理委託量	262 t	1248.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	163.4 t
	再生利用業者への処理委託量	262 t	1248.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	建設廃棄物は委託契約書に基づき適正に委託処理を行っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	全処理委託量	250 t	1180 t
	優良認定処理業者への処理委託量	100 t	440 t
	再生利用業者への処理委託量	250 t	1180 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 委託契約書に基づき適正に処理を行う。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設混合廃棄物	廃プラスチック類	汚泥			
	排 出 量	132 t	105 t	58.7 t	8.4 t	1.1 t	t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設混合廃棄物	廃プラスチック類	汚泥			
	排 出 量	120 t	90 t	54 t	5 t	1 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設混合廃棄物	廃プラスチック類	汚泥			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設混合廃棄物	廃プラスチック類	汚泥			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設混合廃棄物	廃プラスチック類	汚泥			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設混合廃棄物	廃プラスチック類	汚泥			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設混合廃棄物	廃プラスチック類	汚泥			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設混合廃棄物	廃プラスチック類	汚泥			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設混合廃棄物	廃プラスチック類	汚泥			
	全処理委託量	132 t	105 t	58.7 t	8.4 t	1.1 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	58.7 t	8.4 t	0 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	132 t	105 t	58.7 t	8.4 t	1.1 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設混合廃棄物	廃プラスチック類	汚泥			
	全処理委託量	120 t	90 t	54 t	5 t	1 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	50 t	50 t	54 t	5 t	1 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	120 t	90 t	54 t	5 t	1 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年4月24日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 278-0037			
住所 千葉県野田市野田720-1			
法人名 株式会社 堀建設			
代表者 堀 直道			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 04-7124-1111			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社 堀建設		
事業場の所在地	千葉県野田市野田720-1		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4250 t	全処理委託量	4250 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1070 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	4250 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

N0.1

(第2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

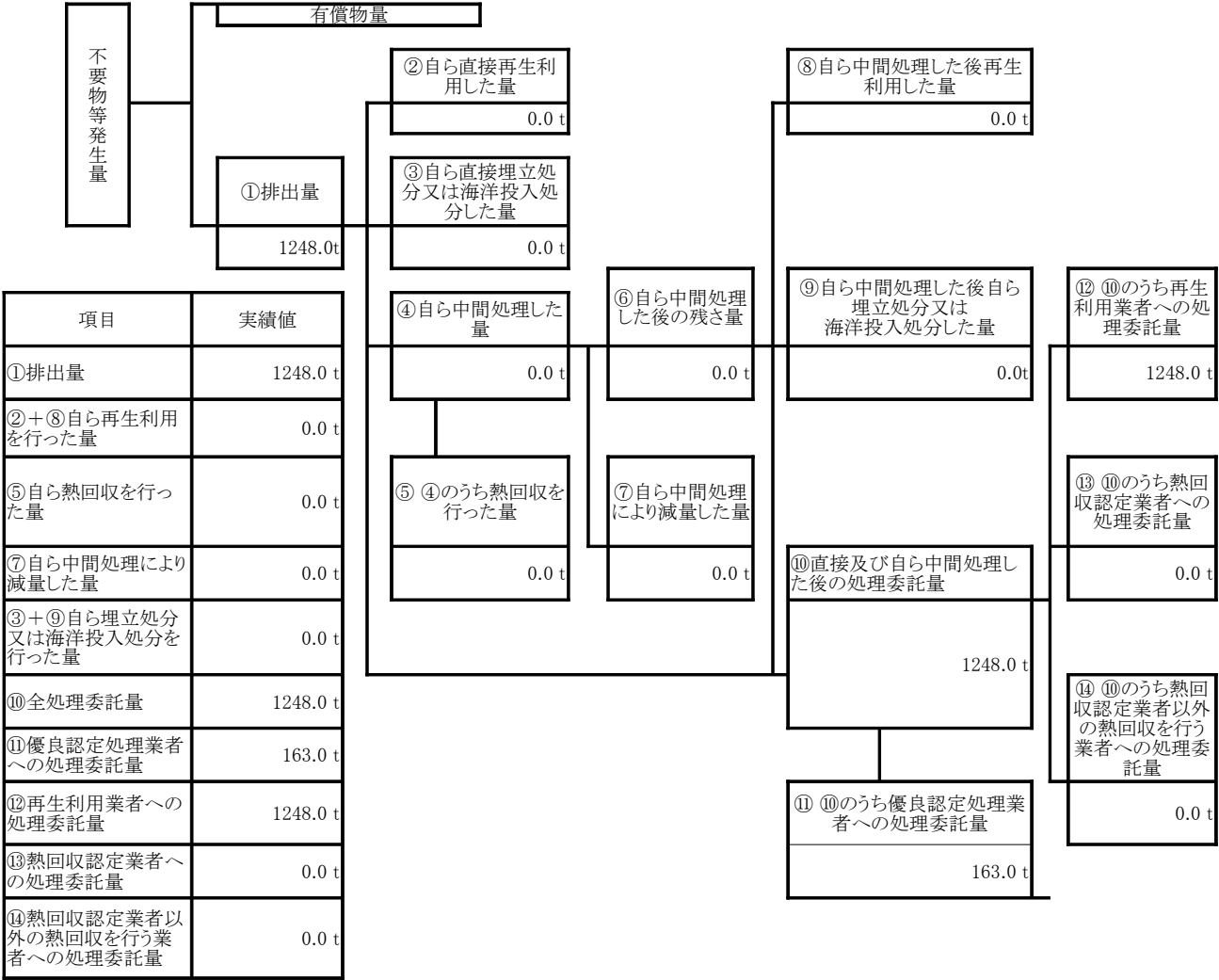
※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
			0.0 t	0.0 t	
	①排出量		③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
	262.0t		0.0 t		
項目	実績値	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
①排出量	262.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0t	262.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t				
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t		0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t				
⑩全処理委託量	262.0 t			⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t			262.0 t	
⑫再生利用業者への処理委託量	262.0 t			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t			0.0 t	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリートがら)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
132.0t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
132.0 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
132.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	132.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	132.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	132.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
105.0t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
105.0 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
105.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	105.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	105.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	105.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
59.0 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
59.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
59.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
59.0 t

項目	実績値
①排出量	59.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	59.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	59.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	59.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
8.0 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
8.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
8.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
8.0t

項目	実績値
①排出量	8.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
1.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
1.0 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
1.0 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	1.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
	①排出量				
			③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
項目	実績値	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
①排出量	0.0 t				
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t				
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t		0.0 t	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t			0.0 t	
⑩全処理委託量	0.0 t				⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t				
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t				
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
	①排出量				
		③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量			
		④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
①排出量	0.0 t				
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t				
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t		0.0 t	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t			0.0 t	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑩全処理委託量	0.0 t				
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t				
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t				
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 5 月 13 日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿



提出者 〒289-0411

住 所 千葉県香取市府馬2957-1

氏 名 前田建設株式会社

代表取締役 前 田 泰 弘

電話番号 0478-78-3131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	前田建設株式会社
事業場の所在地	千葉県香取市府馬2957-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日 ✓
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 総合工事業
② 事業の規模	973,396千円
③ 従業員数	26人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	在来舗装版掘削→アスファルト廃材運搬→アスファルト廃材処理

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
官公庁発注工事の為、各現場による

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有）
	排出量	5584.6 / t	1.5 / t
	（これまでに実施した取組） 中間処理施設にて100%リサイクル		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有）
	排出量	5000 / t	1 / t
	（今後実施する予定の取組） 中間処理施設にて100%リサイクル		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有）
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有）
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有）
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有）
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有）
	全処理委託量	5584.6 t	1.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	1.5 t
	再生利用業者への処理委託量	5584.6 t	1.5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有）
	全 処 理 委 託 量	5000 ✓ t	1 ✓ t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 ✓ t	1 ✓ t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	5000 ✓ t	1 ✓ t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 ✓ t	0 ✓ t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 ✓ t	0 ✓ t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ						
	排 出 量	3.4 t	6.2 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ						
	排 出 量	3 t	5 t	t	t	t	t	t	t

[illegible]

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ						
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ						
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

[illegible]

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ						
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0/t	0 t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0/t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ						
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の種類	0/t	0 t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0/t	0/t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ						
	全処理委託量	3.4 t	6.2 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3.4 t	6.2 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ						
	全処理委託量	3 t	5 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3 t	5 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 5月13日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿



提出者 〒289-0411
住 所 千葉県香取市府馬2957-1
氏 名 前田建設株式会社
代表取締役 前 田 泰 弘
電話番号 0478-78-3131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

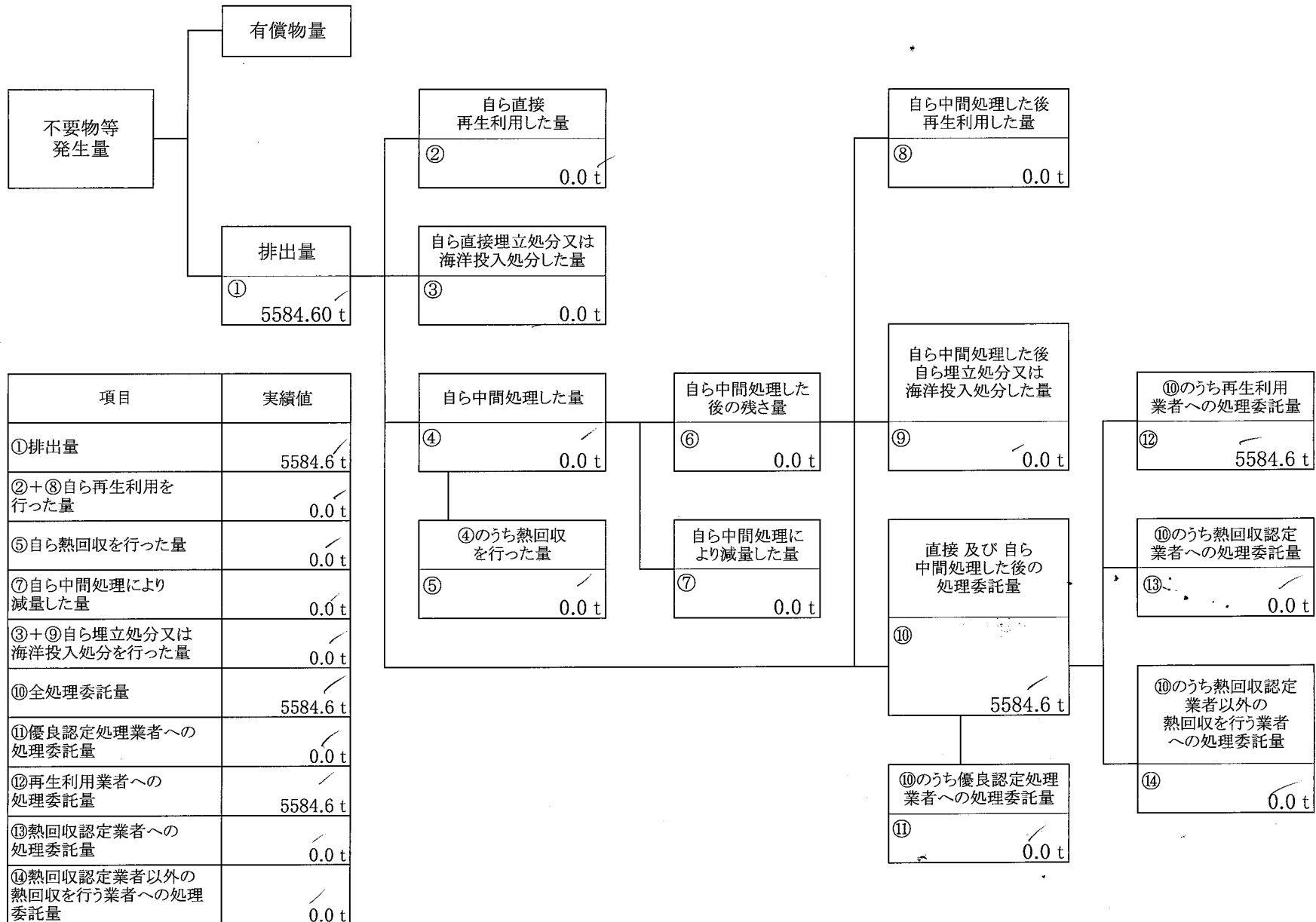
事業場の名称	前田建設株式会社		
事業場の所在地	千葉県香取市府馬2957-1		
事業の種類	建設業 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	5007.5 t	全処理委託量	5007.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	5007.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

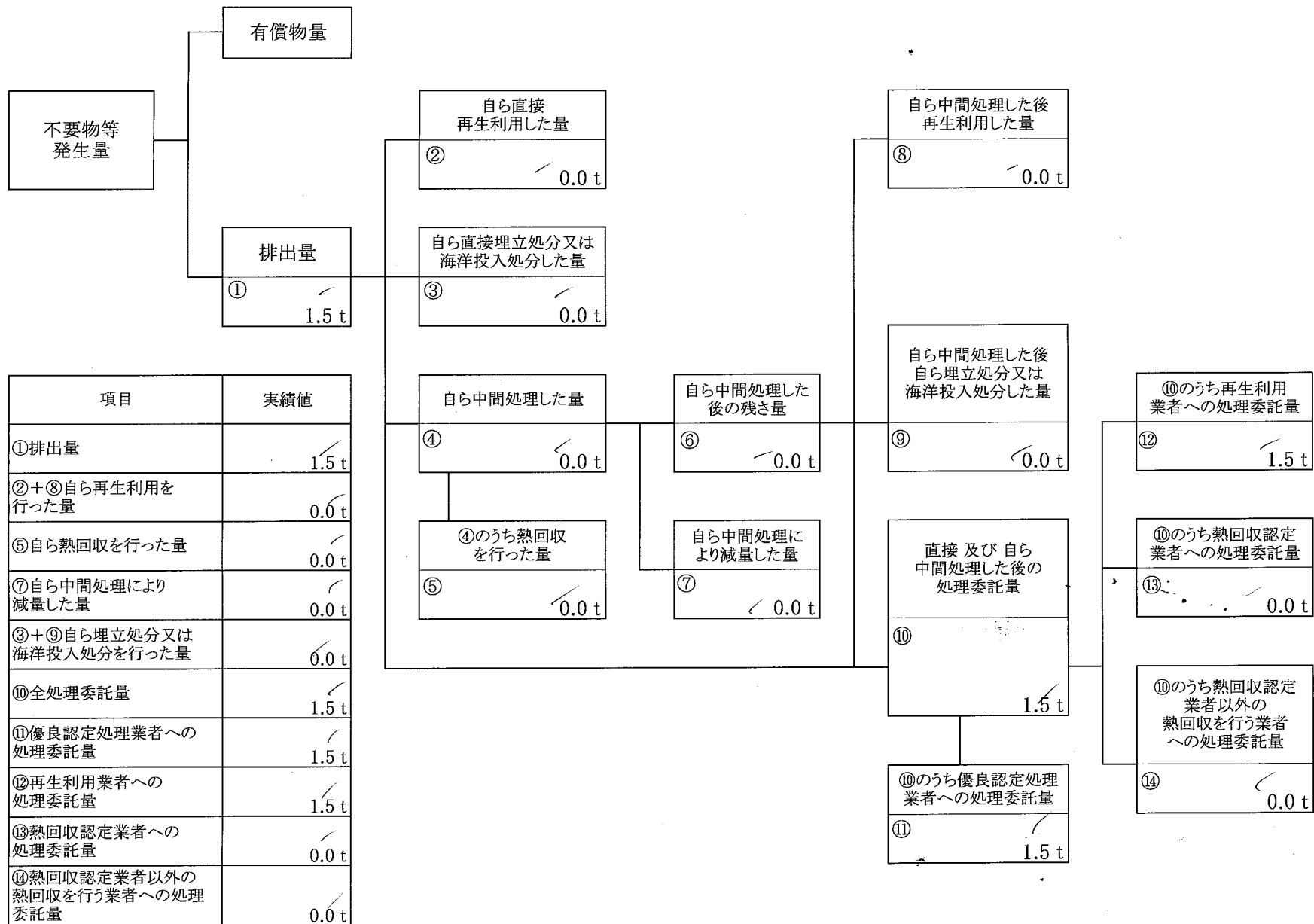


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類(石綿含有)



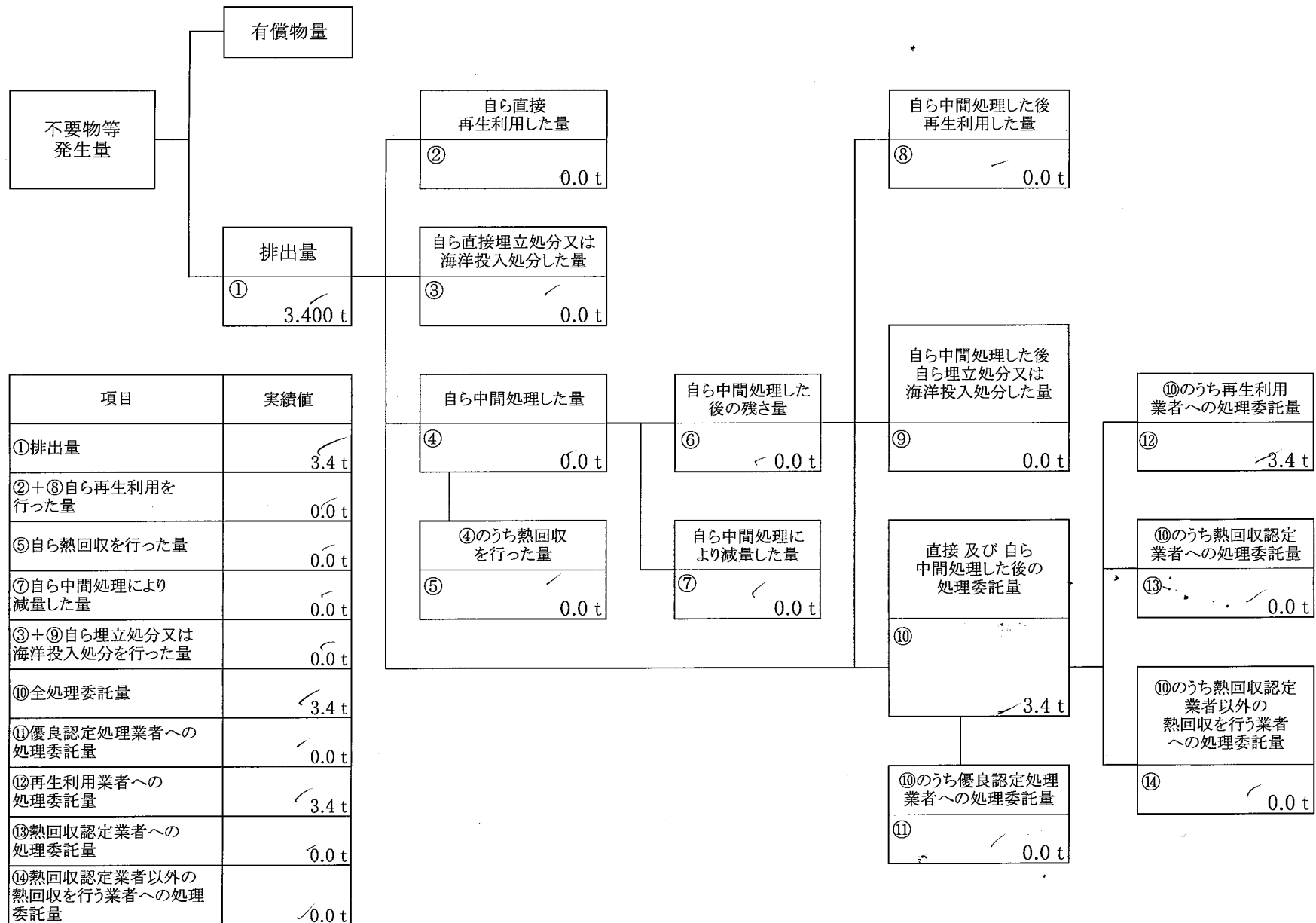
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

汚泥

)



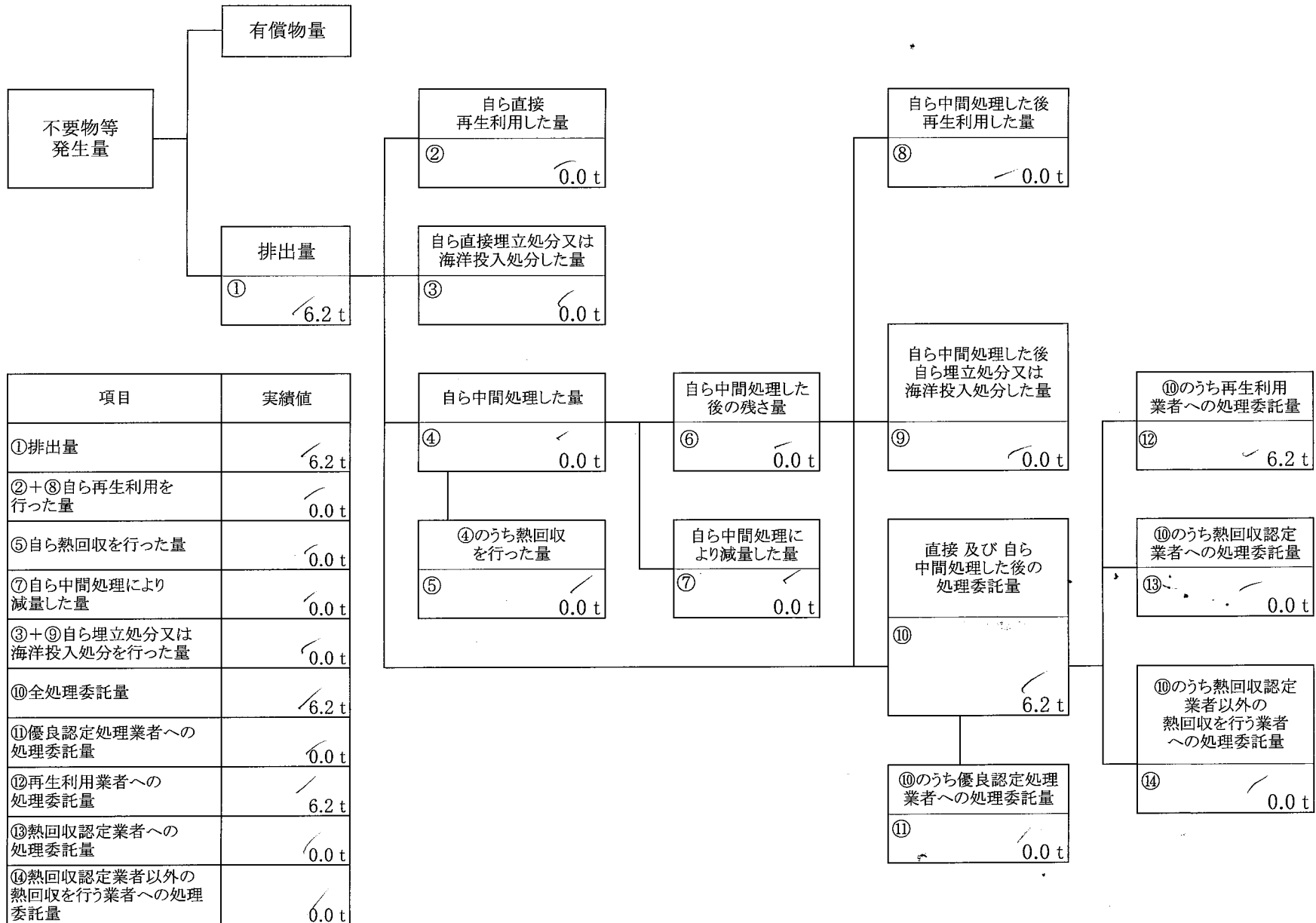
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック類

)



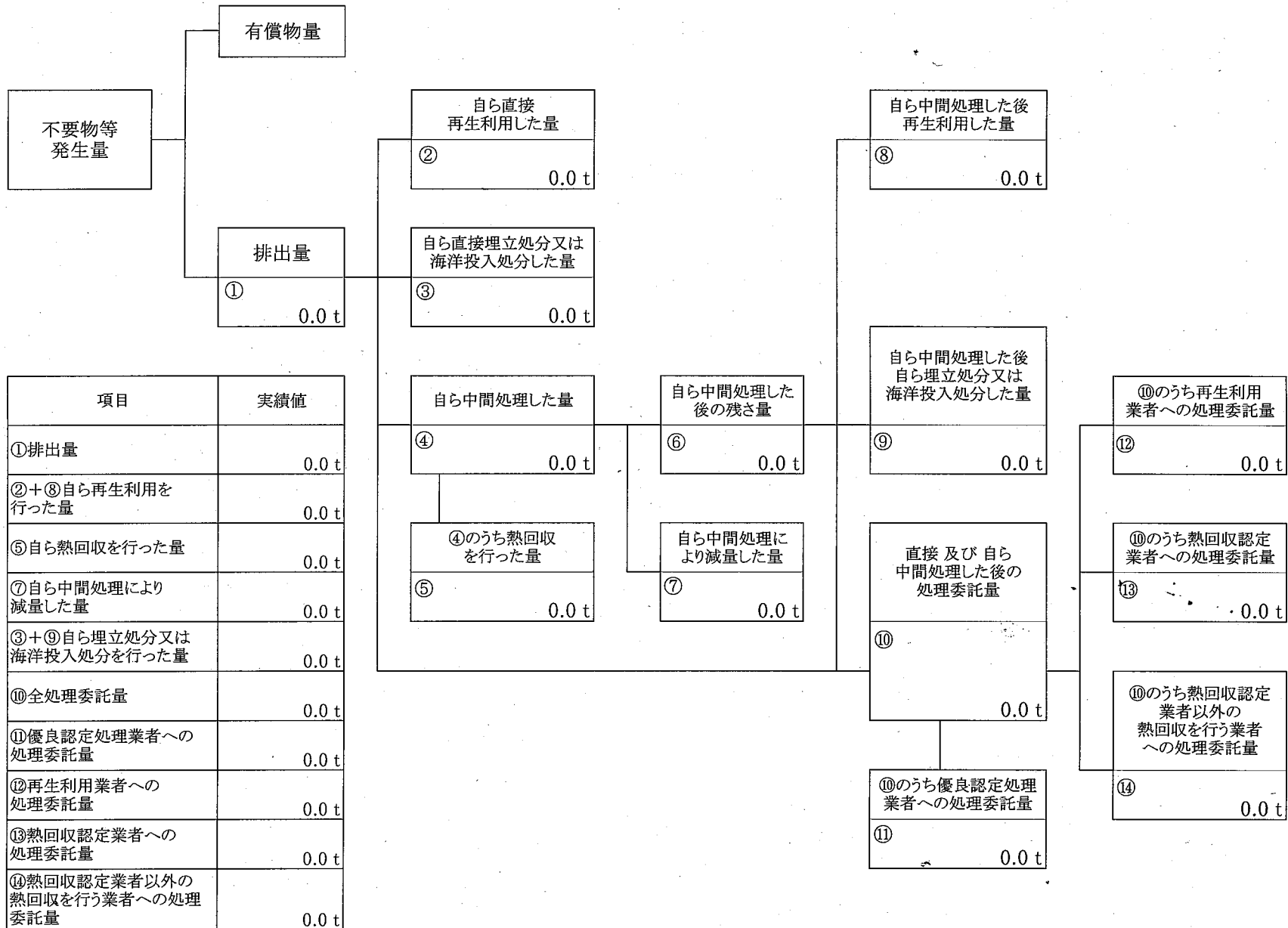
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

金属くず

)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月25日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 113-0033
住 所 東京都千代田区九段北 4 - 3 - 1
法人名 前田建設工業株式会社 東京建築支店
代表者 清末 信行
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-3222-0828

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	前田建設工業株式会社 東京建築支店
事業場の所在地	東京都千代田区九段北 4 - 3 - 1
計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類： 建設業 中分類： 総合工事業
②事業の規模	完成工事高 1024億円（東京建築支店令和 5 年度実績）
③従業員数	564名 （東京建築支店令和5年4月1日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック：破碎・圧縮→プラスチック原料・燃料、金属屑：破碎→製鉄原料、ガラス・コンクリート・陶磁器屑：破碎→再生砕石・砂、がれき類：破碎→再生砕石・砂、汚泥：改良→改良土、木屑：破碎・減容→木質材原料・燃料、紙屑：破碎・減容→再生燃料・製紙材料、繊維屑：破碎→燃料、石綿含有廃棄物：埋立、水銀使用製品（廃蛍光管）：破碎、選別→非鉄材料、製鉄材料、建設資材、廃石膏ボード：破碎→石膏ボード材料

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙 (管理体制)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	排出量	7261.1 t	t
	(これまでに実施した取組) ・省梱包、通い箱による資材の現場搬入 ・資材、工具、用品を転用し有効利用を図る ・資材のプレカット 等		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上欄 1 記載の取り組みを実施継続する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特定 4 品目 (コンがら、コンがら (有筋)、アスコンがら、木材) と石膏ボードの分別は必ず実施し、これら 5 品目以外についても分別に取り組むことを社内ルールで規定している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上欄 1 の分別の取り組みを継続する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	各現場が締結する委託契約に関し、支店でも委託業者の許可情報、業者の過去の実績、行政処分の有無などを確認し、委託可能な業者かどうか確認を行っている。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙1参照	
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 業者選定の際に優良認定業者や電子マニフェスト使用可能業者を選定するように努める。		
		※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

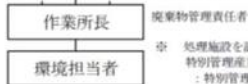
< 本店 >



< 支店 >



< 土木/建築作業所 >



※ 処理施設を設置した場合：技術管理者を配置する
特別管理産業廃棄物を生ずる場合
：特別管理産業廃棄物管理責任者を配置する

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度(令和5年度)実績】 (単位:t)								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック	金属くず	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	紙くず	木くず
	排出量	2,837.7	128.0	420.2	54.8	317.9	14.3	29.3	905.9
②計画	【目標】 (単位:t)								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック	金属くず	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	紙くず	木くず
	排出量	2,270.0	102.0	336.0	44.0	254.0	11.0	23.0	725.0

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度(令和5年度)実績】 (単位:t)								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃石膏ボード						合計
	排出量	2,460.1	92.9						7,261.1
②計画	【目標】 (単位:t)								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃石膏ボード						合計
	排出量	1,968.0	74.0						5,807.0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度(令和5年度)実績】 (単位:t)								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック	金属くず	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	紙くず	木くず
	全処理委託量	2837.7	128.0	420.2	54.8	317.9	14.3	29.3	905.9
	優良認定処理業者への処理委託量	1113.7	121.0	420.2	54.8	282.4	14.3	29.3	768.1
	再生利用業者への処理委託量	2837.7	128.0	420.2	54.8	317.9	0.0	29.3	905.9
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②計画	【目標】 (単位:t)								
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック	金属くず	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	紙くず	木くず
	全処理委託量	2,270.0	102.0	336.0	44.0	254.0	11.0	23.0	725.0
	優良認定処理業者への処理委託量	891.0	97.0	336.0	44.0	223.0	11.0	23.0	154.0
	再生利用業者への処理委託量	2,270.0	102.0	336.0	44.0	254.0	0.0	23.0	725.0
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度(令和5年度)実績】 (単位:t)								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃石膏ボード						合計
	全処理委託量	2460.1	92.9						7261.1
	優良認定処理業者への処理委託量	782.7	33.8						3620.3
	再生利用業者への処理委託量	2460.1	92.9						7246.8
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0						0.0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0						0.0
②計画	【目標】 (単位:t)								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃石膏ボード						合計
	全処理委託量	1,968.0	74.0						5,807.0
	優良認定処理業者への処理委託量	626.0	27.0						2,432.0
	再生利用業者への処理委託量	1,968.0	74.0						5,796.0
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0						0.0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0						0.0

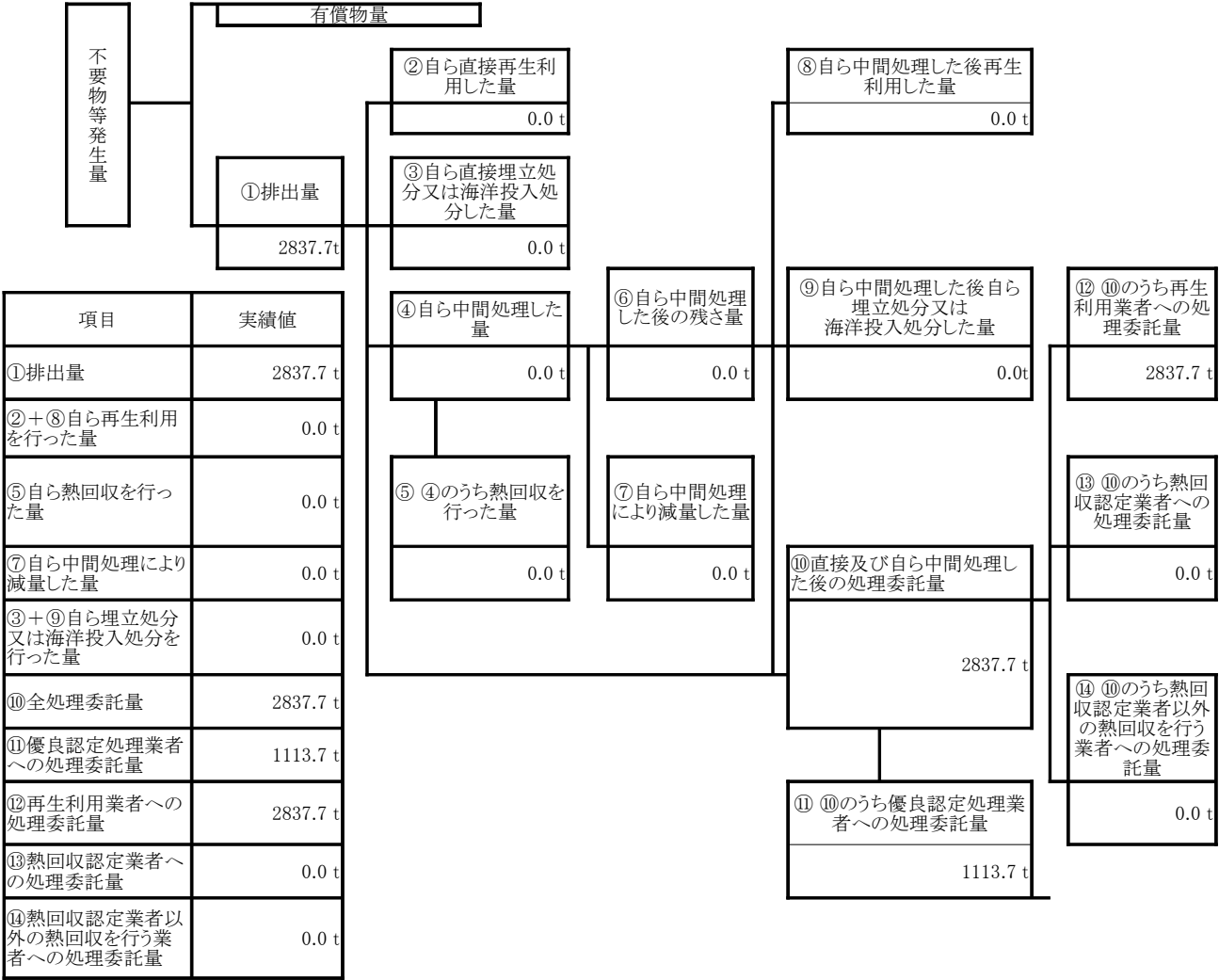
(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月25日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 113-0033			
住所 東京都千代田区九段北4-3-1			
法人名 前田建設工業株式会社 東京建築支店			
代表者 清末 信行			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 03-3222-0828			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	前田建設工業株式会社 東京建築支店		
事業場の所在地	東京都千代田区九段北4-3-1		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	10957 t	全処理委託量	10957 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	3709 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	10838 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

ガラス陶磁器くず

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量		有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量
				0.0 t	0.0 t
		①排出量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
		128.0t	0.0 t		
項目	実績値	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
①排出量	128.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0t	128.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t				
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t		0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t				
⑩全処理委託量	128.0 t			⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量	121.0 t				
⑫再生利用業者への処理委託量	128.0 t			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t			121.0 t	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
420.2t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
420.2 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
420.2 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
420.2 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	420.2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	420.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	420.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	420.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
54.8t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
54.8 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
54.8 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
54.8 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	54.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	54.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	54.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	54.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
317.9 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
282.4 t

①排出量
317.9 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0.0 t

⑩全処理委託量
317.9 t

⑪優良認定処理業者への処理委託量
282.4 t

⑫再生利用業者への処理委託量
317.9 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
317.9 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	317.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	317.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	282.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	317.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
14.3 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
14.3 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
14.3 t

項目	実績値
①排出量	14.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
29.3t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
29.3 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
29.3 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
29.3 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	29.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	29.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	29.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
905.9 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
768.1 t

①排出量
905.9 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0.0 t

⑩全処理委託量
905.9 t

⑪優良認定処理業者への処理委託量
768.1 t

⑫再生利用業者への処理委託量
905.9 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
905.9 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	905.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	905.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	768.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	905.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
2460.1 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
782.7 t

①排出量
2460.1 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0.0 t

⑩全処理委託量
2460.1 t

⑪優良認定処理業者への処理委託量
782.7 t

⑫再生利用業者への処理委託量
2460.1 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
2460.1 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	2460.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2460.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	782.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2460.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

(第2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量		
			0.0 t	0.0 t		
	①排出量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量				
	92.9t	0.0 t				
項目		実績値	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
①排出量		92.9 t	0.0 t	0.0 t	0.0t	92.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量		0.0 t				
⑤自ら熱回収を行った量		0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑦自ら中間処理により減量した量		0.0 t	0.0 t	0.0 t		0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		0.0 t			⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
⑩全処理委託量		92.9 t			92.9 t	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量		33.8 t				
⑫再生利用業者への処理委託量		92.9 t			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		0.0 t			33.8 t	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.0 t				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
	①排出量				
			③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
項目	実績値	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
①排出量	0.0 t				
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t				
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t		0.0 t	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t			0.0 t	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑩全処理委託量	0.0 t				
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t				
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t				
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月26日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒102-0072	
住 所 東京都千代田区飯田橋1-12-7	
氏 名 前田建設工業株式会社 東京土木支店	
執行役員支店長 小島 靖雅	
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 03-3222-0980	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	前田建設工業株式会社 東京土木支店
事業場の所在地	東京都千代田区飯田橋1-12-7
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	完工高 300.2億
③ 従業員数	263名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<別紙>廃棄物処理フローによる。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

<別紙>管理体制図による。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
	排出量	1616 t	46.4 t
	（これまでに実施した取組） ＊全ての作業所がゼロエミッションに取り組み、発生抑制・排出抑制を実施。 ＊計画的な資材搬入を徹底し、余剰材による産廃搬出を抑制。 ＊現場に破砕機を設置し、伐採樹木の運搬効率と減容化を向上。 ＊無梱包、省梱包を取引業者に徹底し、梱包材による産廃発生を抑制。 ＊現場搬入資材のプレカットをルール化し、不要材の発生を抑制。		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
	排出量	1584 t	45 t
	（今後実施する予定の取組） ＊上記”①現状”の各項目を、引き続き継続して取り組んでゆく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ＊全ての作業所に於いて、8品目以上の分別をルール化し実践している。 ＊協力会社・取引業者を加えた環境教育を実施し分別意識の向上を図っている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ＊上記”①現状”の各項目を、引き続き継続して取り組んでゆく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ＜該当なし＞		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ＜該当なし＞		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ＜該当なし＞		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ＜該当なし＞		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	<該当なし>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	<該当なし>		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
	全処理委託量	1616 t	46.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	221.4 t	46.4 t
	再生利用業者への処理委託量	1616 t	46.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	*委託契約前の産廃業者選定を厳格に行い、処理施設の現地確認を徹底した。		
	*新規委託業者の与信管理を徹底し、実績を踏まえた適正業者選定に努めた。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック
	全処理委託量	1584 t	45 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	217 t	45 t
	再生利用業者への 処理委託量	1584 t	45 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) * 委託契約前の業者選定に際し、施設の現地確認や与信管理に加え、 優良認定処理業者や、認定熱回収業者を選定するように努める。		
※事務処理欄			

(第 6 面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	陶磁器がラスくず	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
		排 出 量	14 t	20.9 t	0.3 t	4.8 t	794.5 t	0.1 t	39.7 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	陶磁器がラスくず	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
排 出 量		13 t	19 t	0.2 t	4 t	778 t	0 t	38 t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	陶磁器がラスくず	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	陶磁器がラスくず	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	陶磁器がラスくず	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		陶磁器がラスくず	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物		
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	

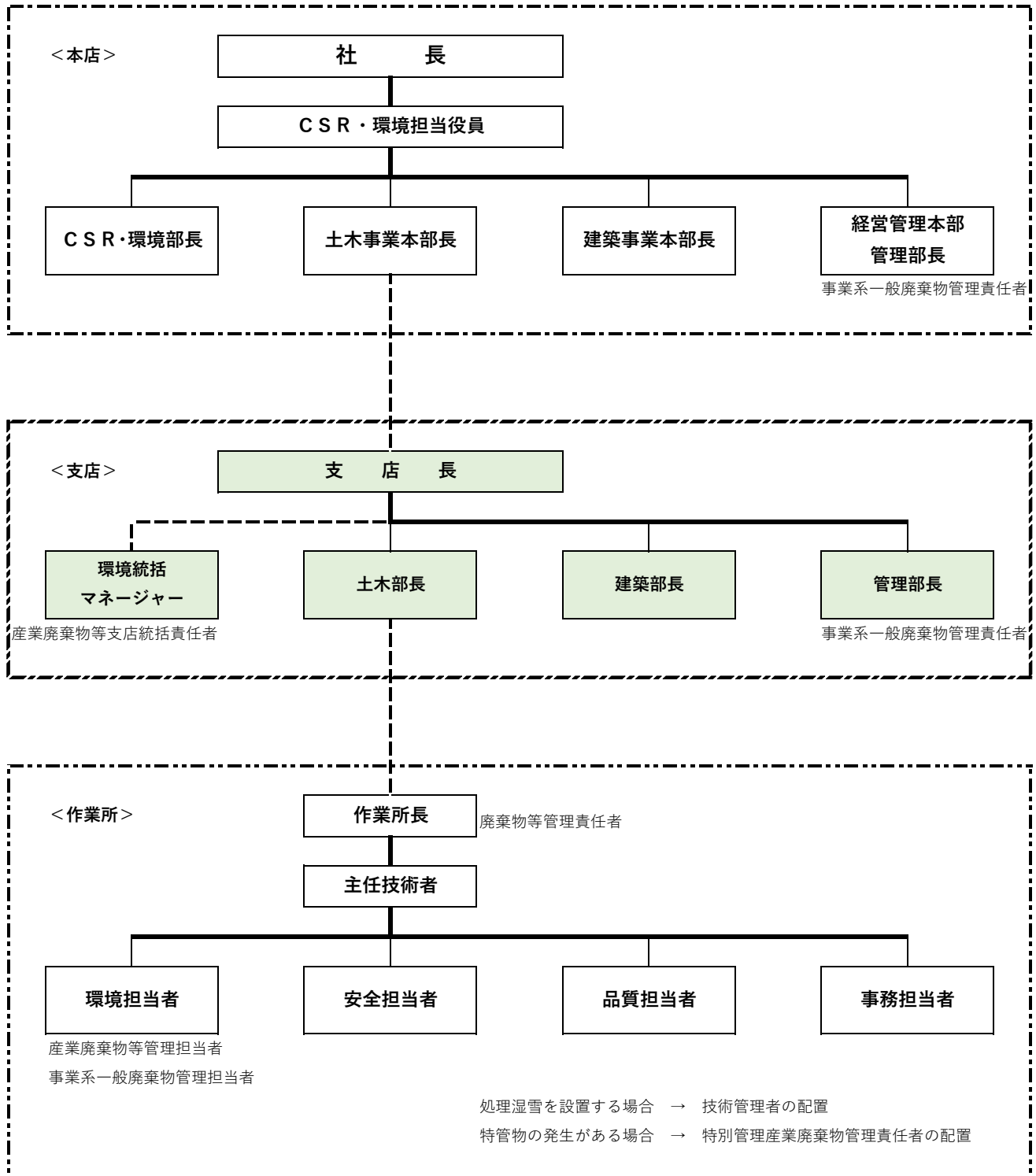
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	陶磁器 ^a ガラスくず	金属くず ^a	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず ^a	建設混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	陶磁器 ^a ガラスくず	金属くず ^a	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず ^a	建設混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

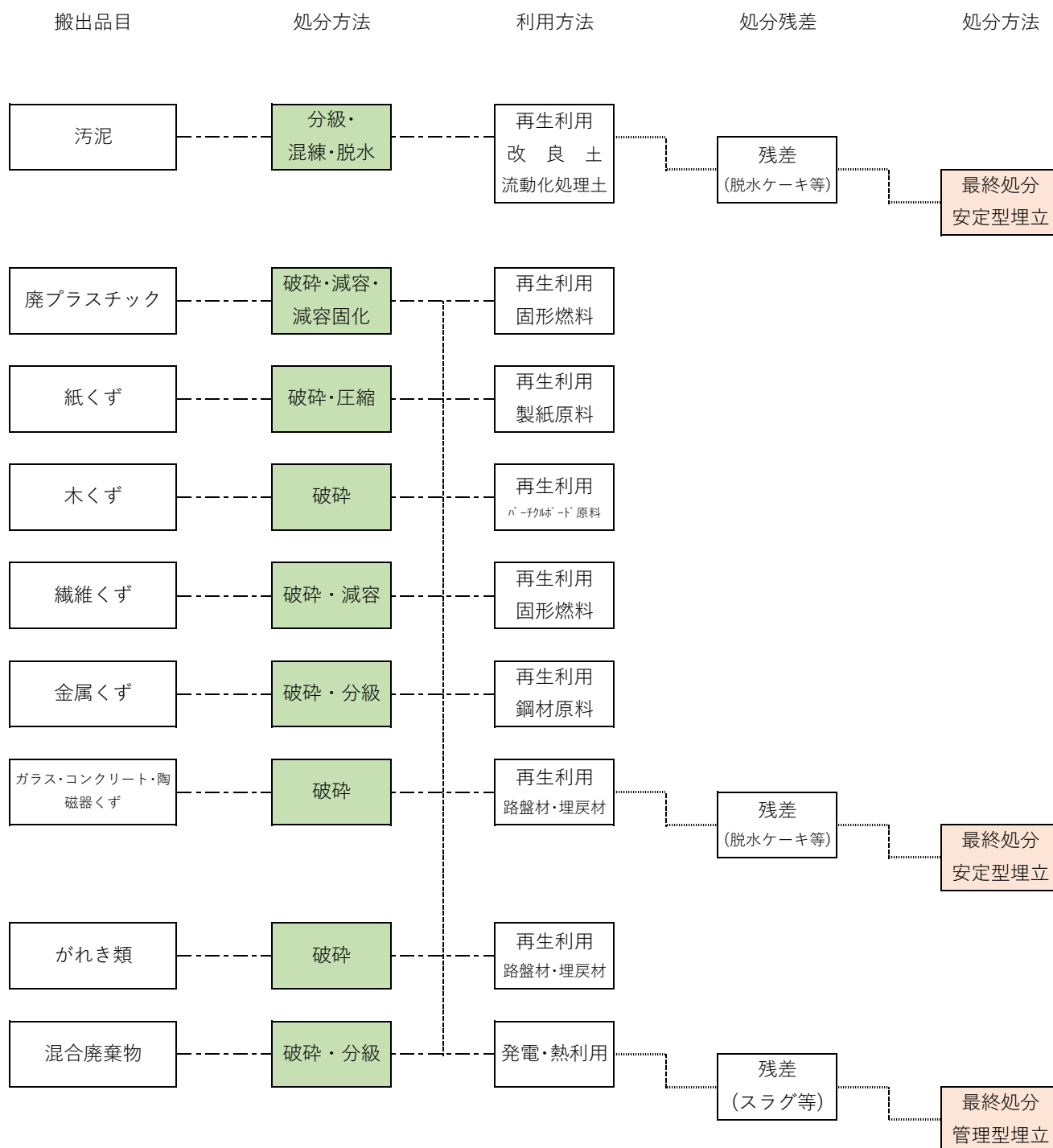
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	陶磁器 ^{ガラス} くず	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
	全処理委託量	14 t	20.9 t	0.3 t	4.8 t	794.5 t	0.1 t	39.7 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	14 t	20.9 t	0 t	4.8 t	112.5 t	0.1 t	39.7 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	14 t	20.9 t	0.3 t	4.8 t	794.5 t	0.1 t	39.7 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	陶磁器 ^{ガラス} くず	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
	全処理委託量	13 t	19 t	0.2 t	4 t	778 t	0 t	38 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	13 t	19 t	0 t	4 t	110 t	0 t	38 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	13 t	19 t	0.2 t	4 t	778 t	0 t	38 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

管 理 体 制 図



産業廃棄物一処理工程(フロー図)



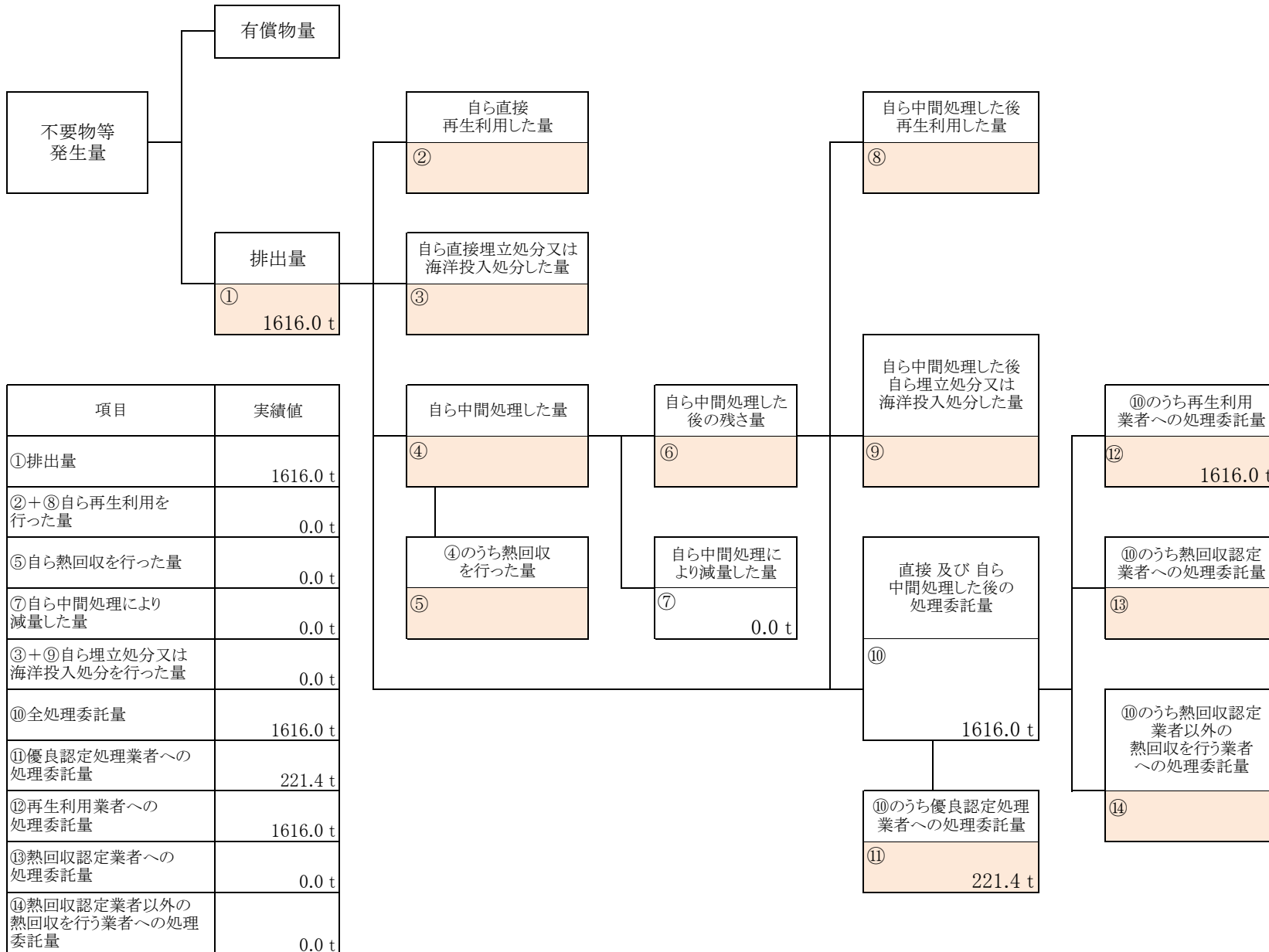
様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 6年 6月 26日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 〒102-0072			
住 所 東京都千代田区飯田橋1-12-7			
氏 名 前田建設工業株式会社東京土木支店			
執行役員支店長 小島 靖雅			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 03-3222-0980			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称		前田建設工業株式会社東京土木支店	
事業場の所在地		東京都千代田区飯田橋1-12-7	
事業の種類		D06－総合工事業	
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間		令和5年4月1日から令和6年3月31日まで	
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目		目標値	
排出量		8867.0 t	
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		優良認定処理業者への 処理委託量	
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		再生利用業者への 処理委託量	
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		認定熱回収業者への 処理委託量	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
※事務処理欄			

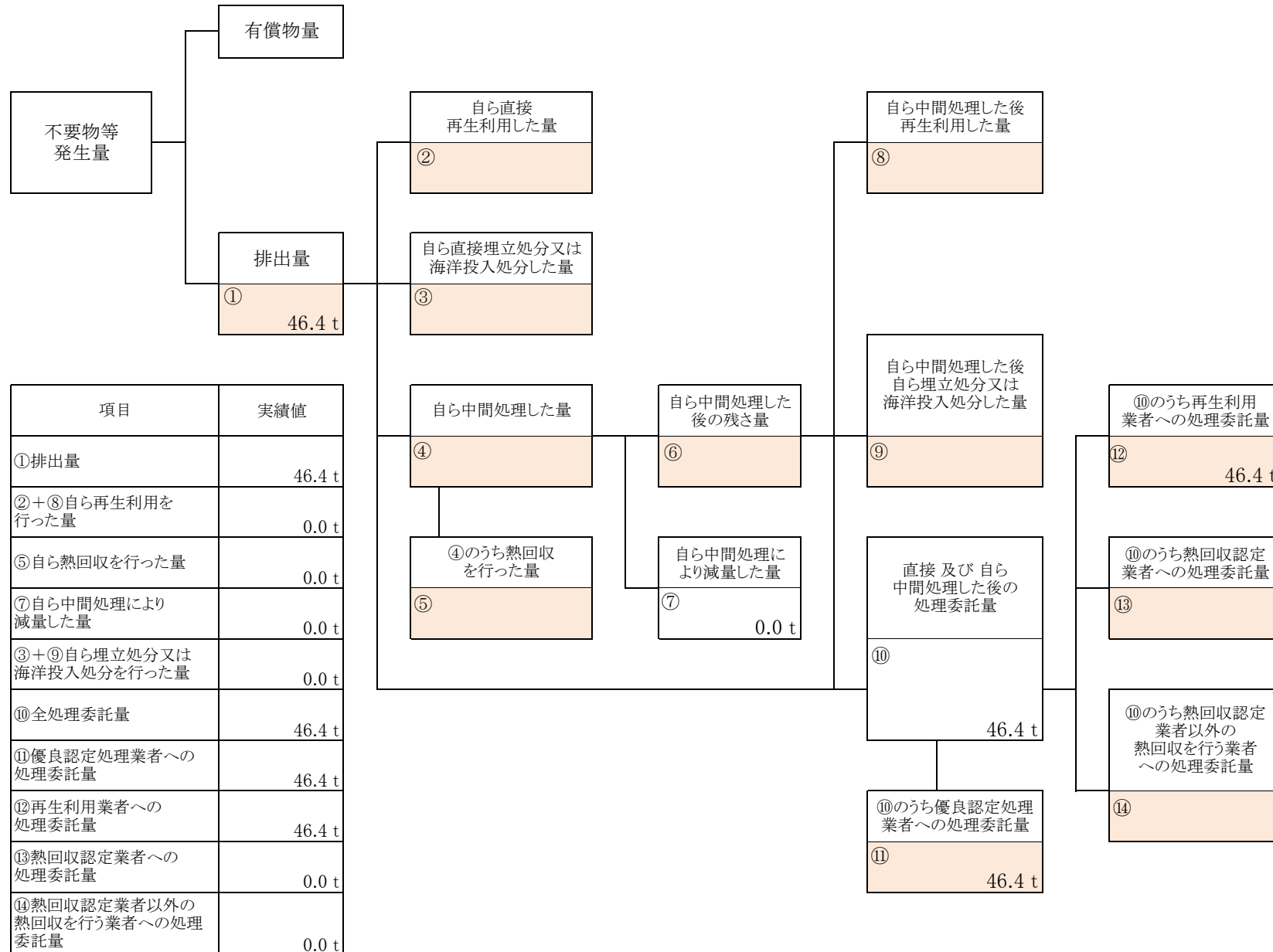
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: **がれき類**)



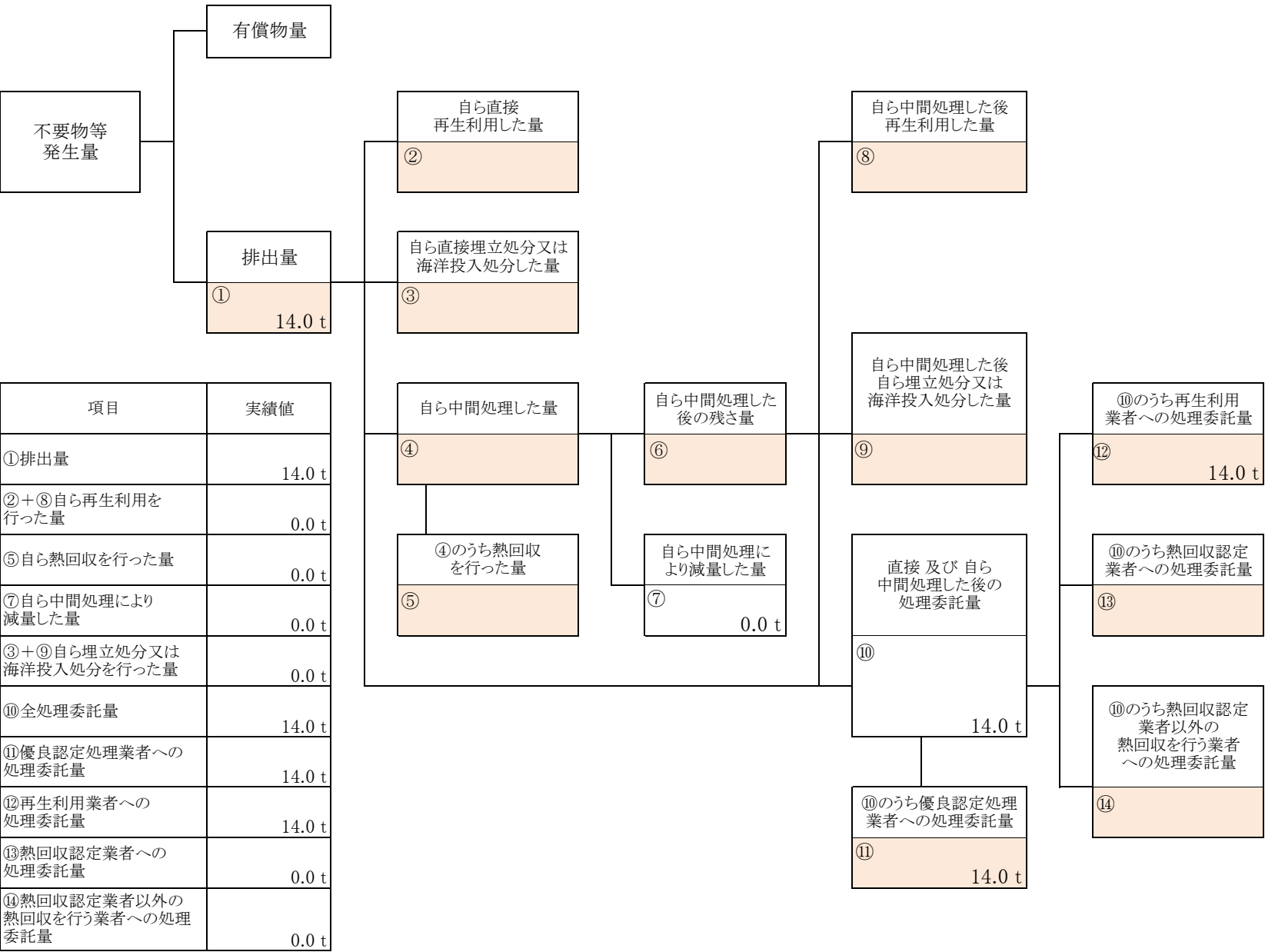
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: **廃プラスチック**)



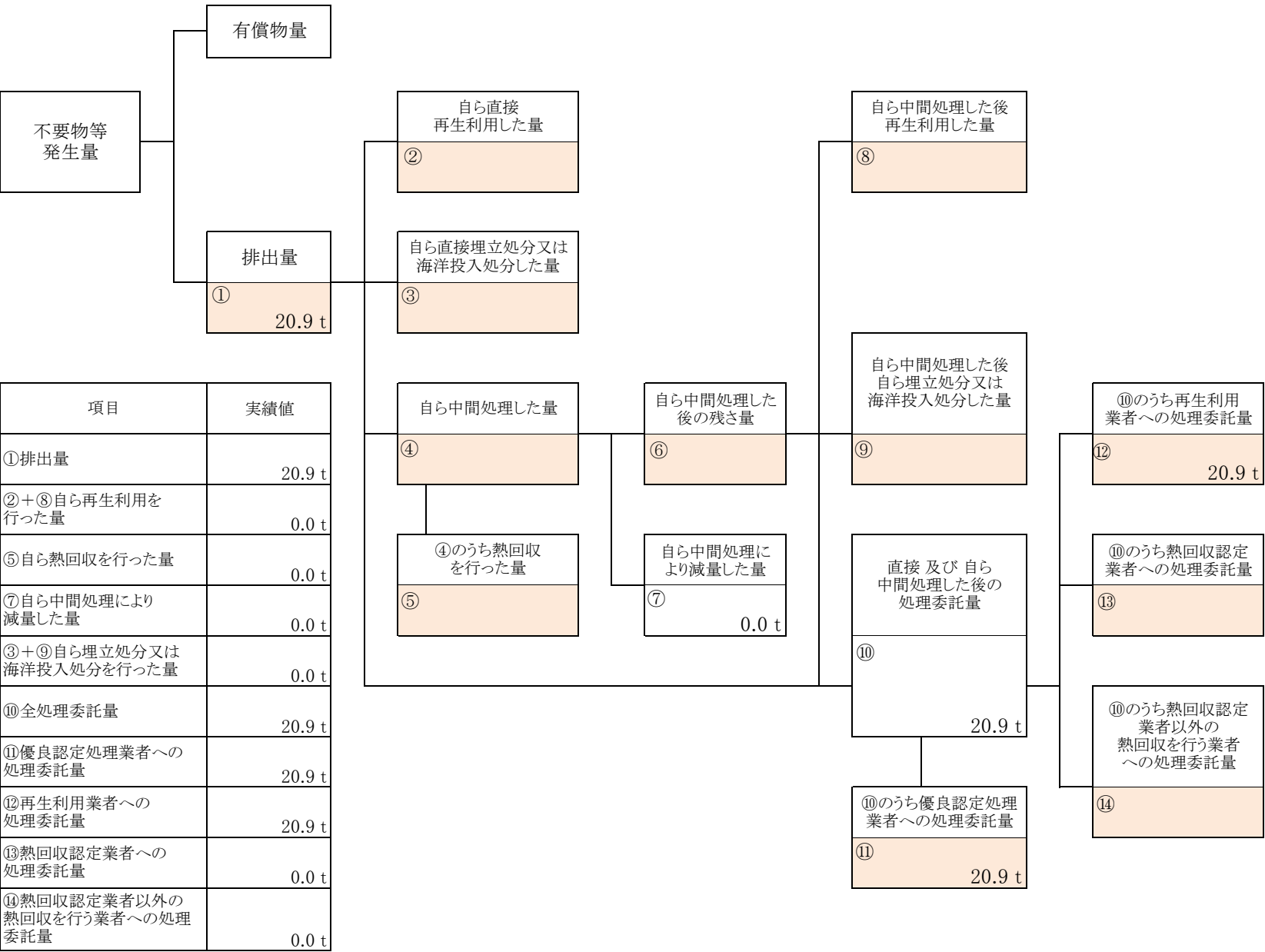
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 陶磁器ガラスくず)



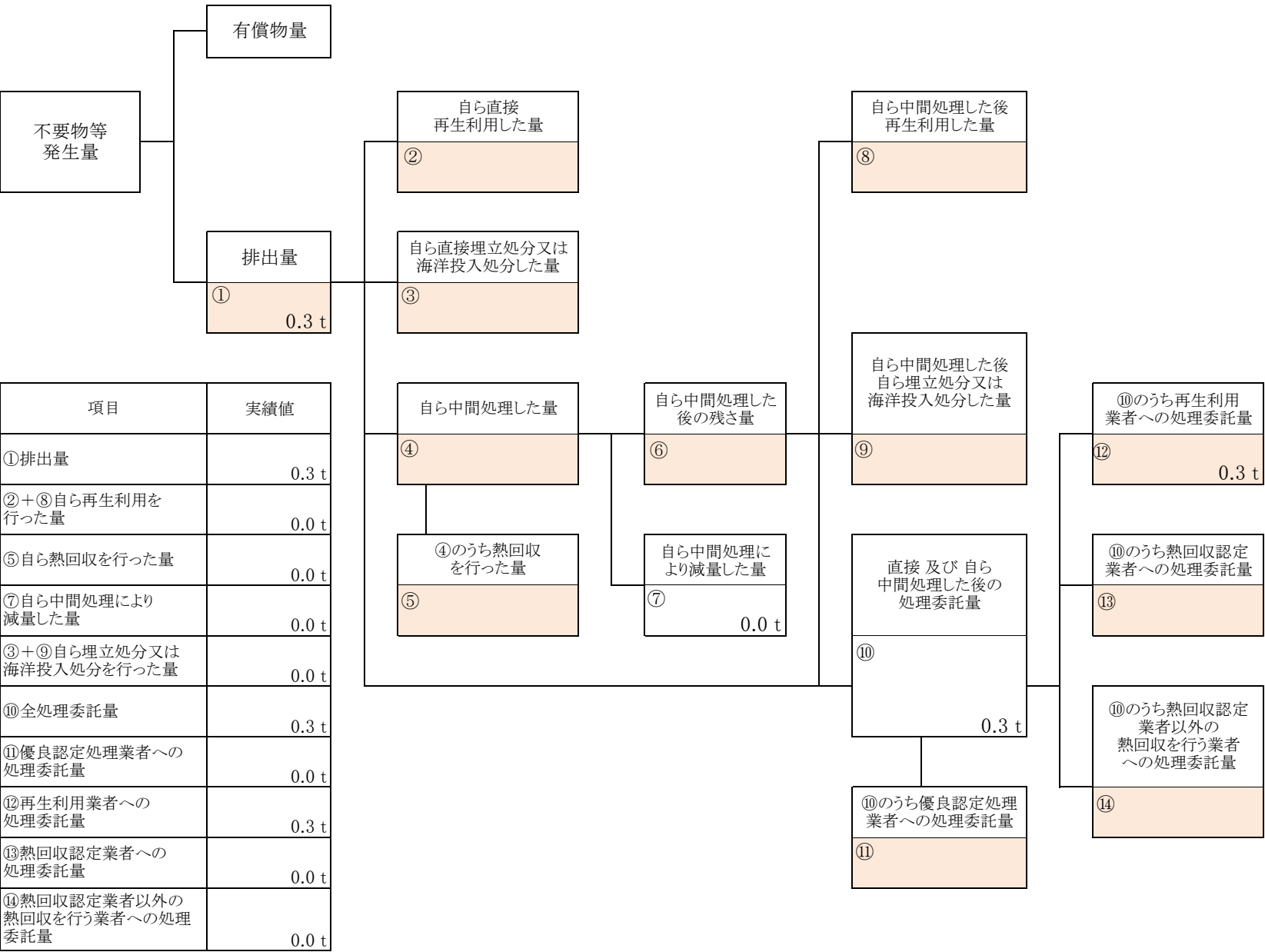
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



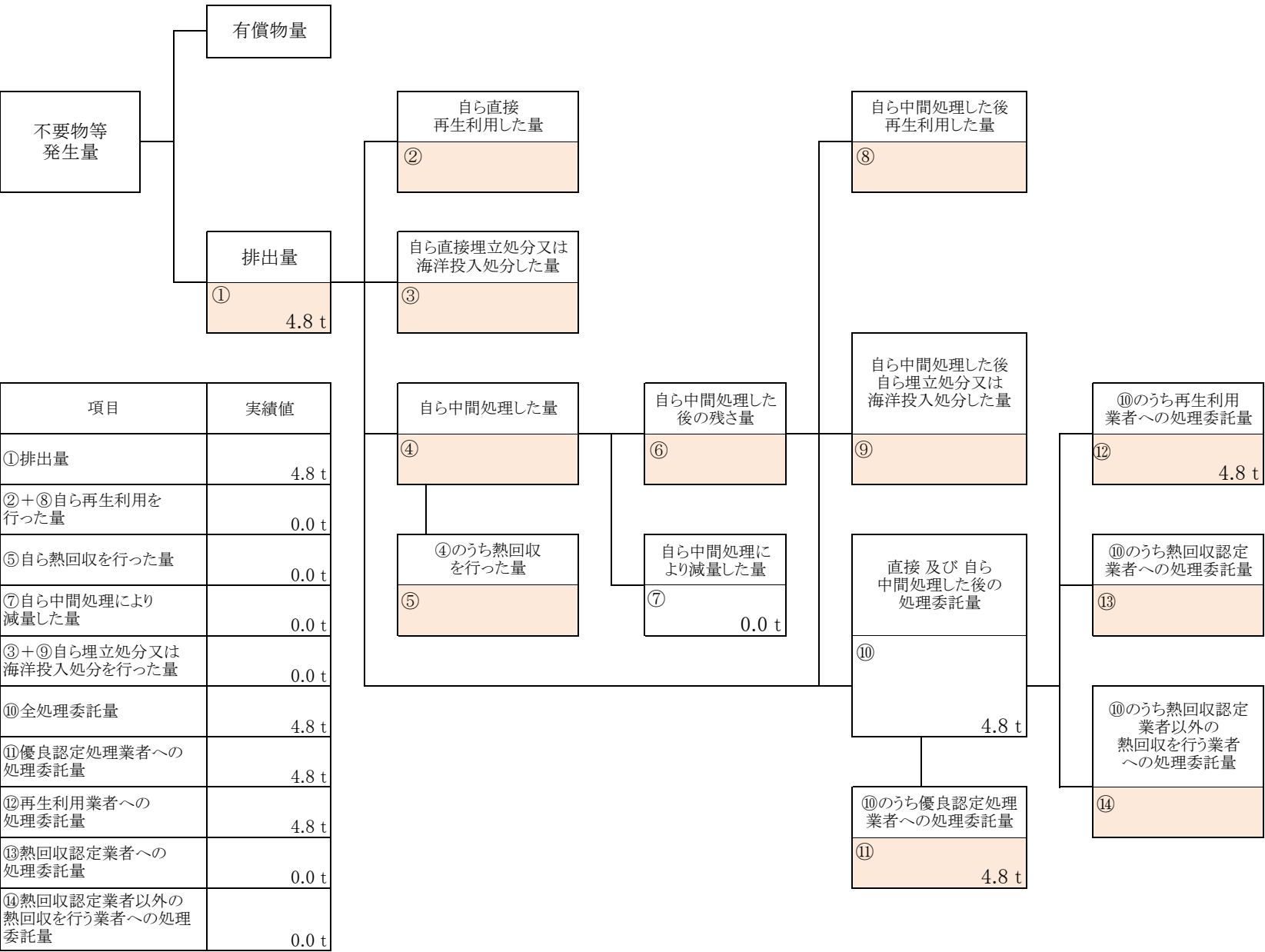
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



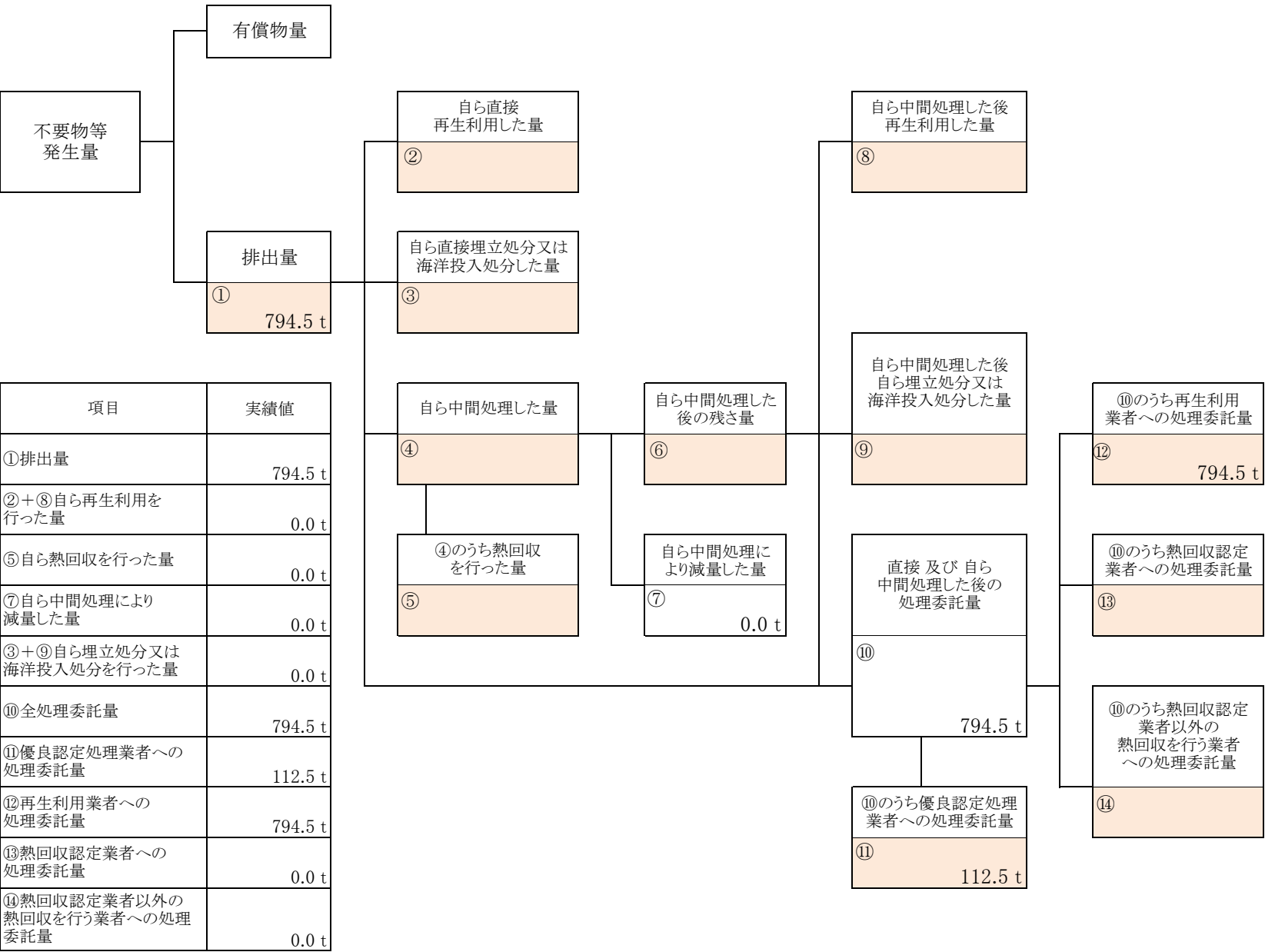
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



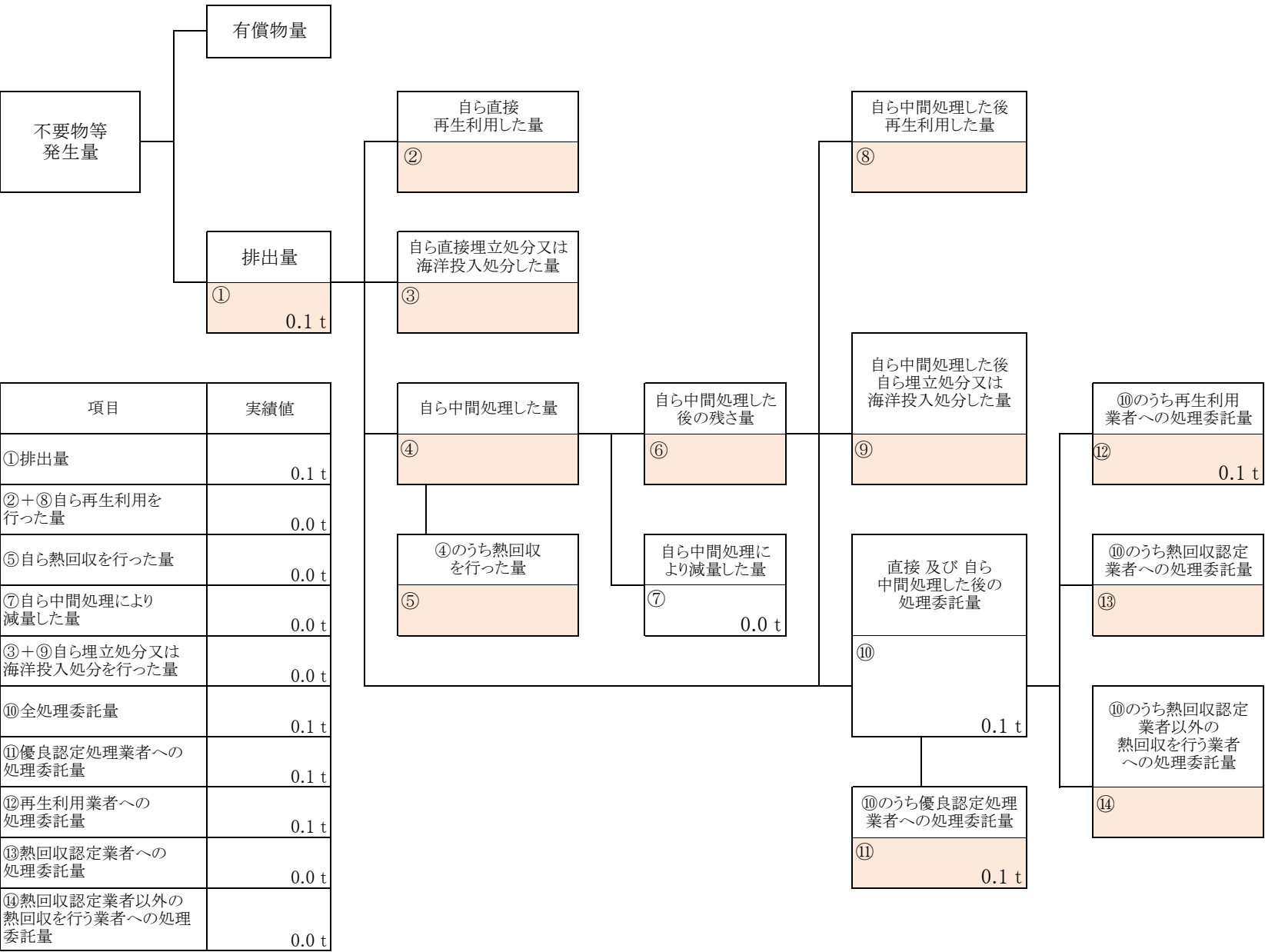
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: **木くず**)



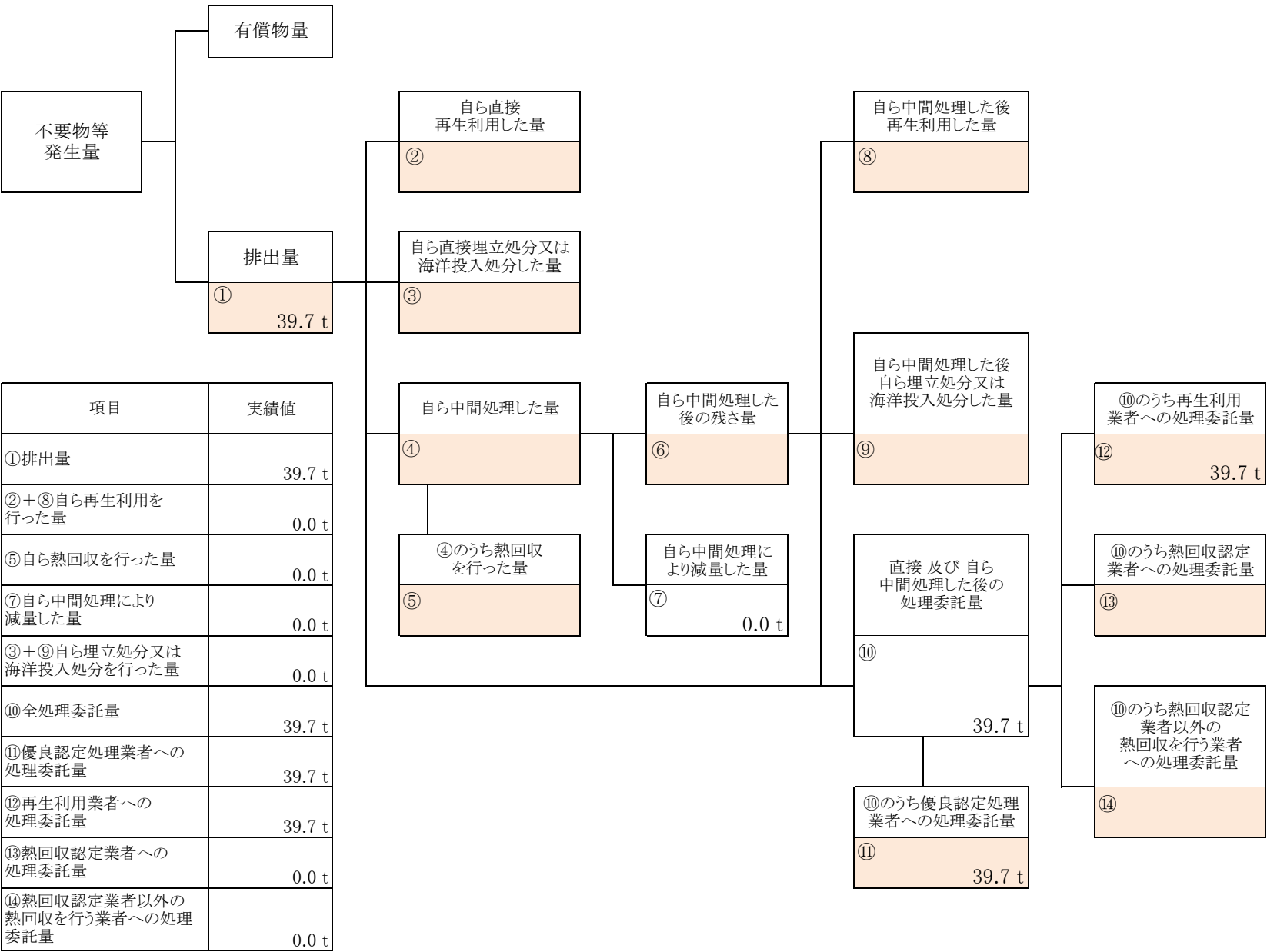
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: **繊維くず**)



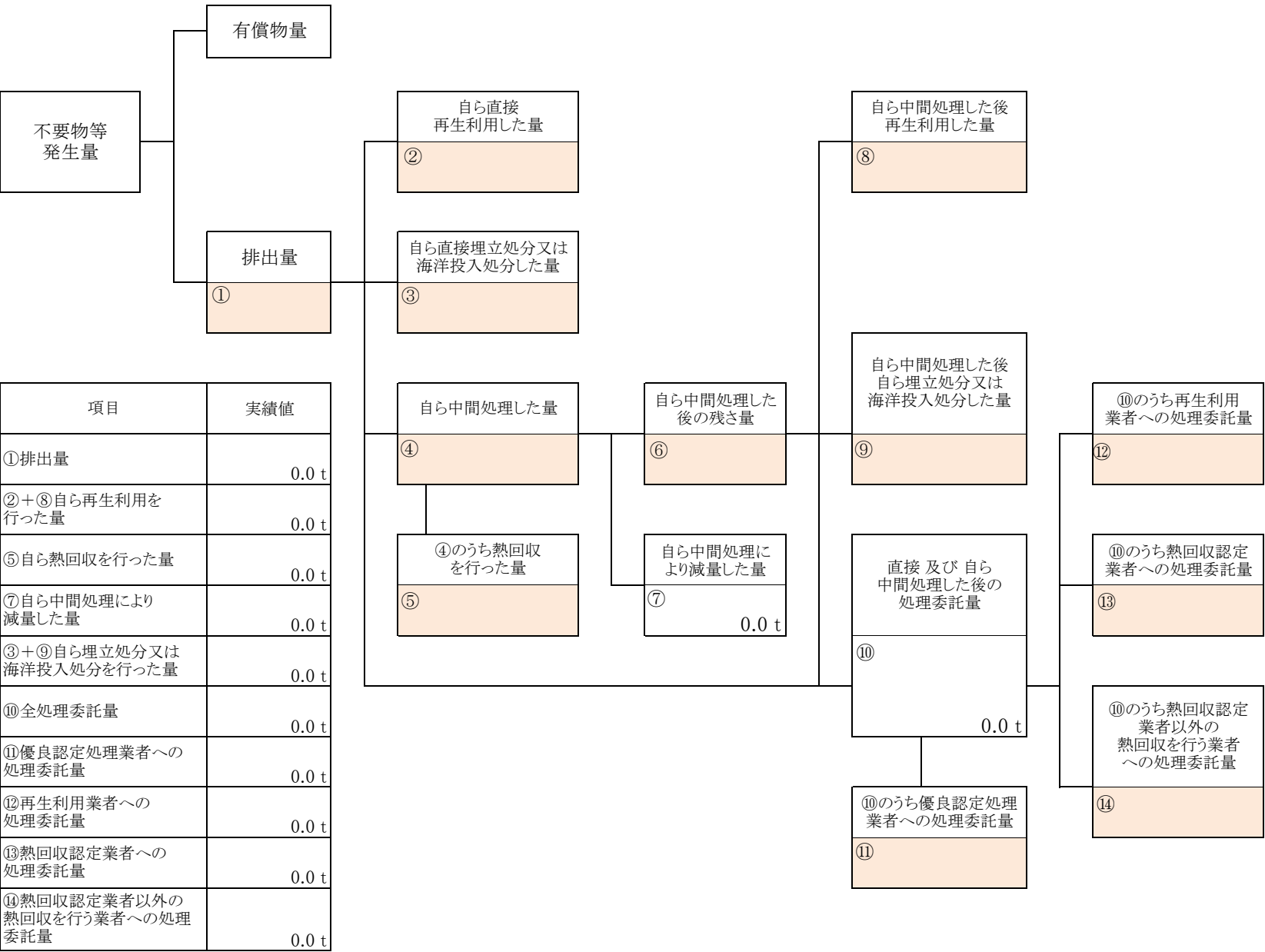
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: **建設混合廃棄物**)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

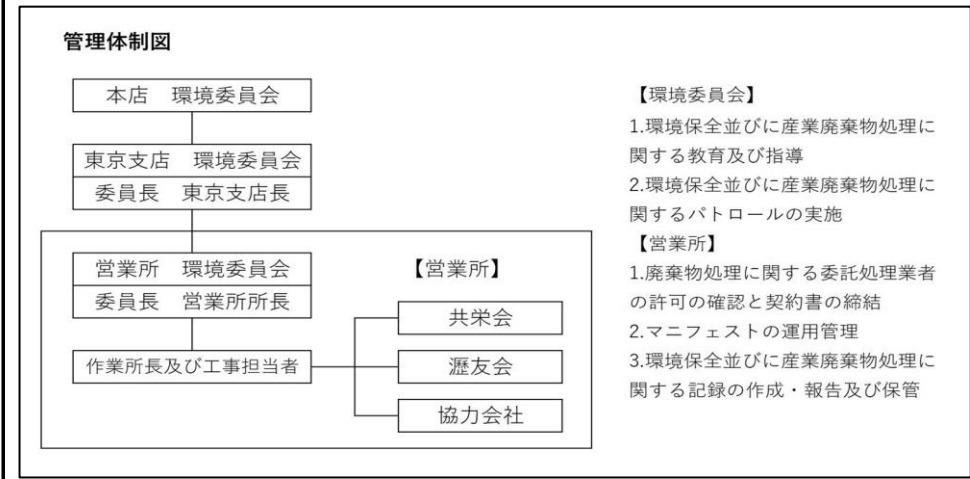
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 5月 22日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒290-0068	
住 所 千葉県市原市八幡浦2-8-1	
氏 名 前田道路株式会社 市原営業所	
所長 多田 清市	
電話番号 0436-43-1162	
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	前田道路株式会社 市原営業所
事業場の所在地	千葉県市原市八幡浦2-8-1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事業
② 事業の規模	令和5年度 千葉県内 元請工事完成工事額 51百万円
③ 従業員数	9名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類⇒破碎⇒再生骨材・再生砕石 汚泥⇒焼成⇒セメント原料 建設混合廃棄物⇒選別処理⇒各再生処理 木くず⇒破碎⇒燃料材

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	①路上表層再生工法等の廃材の出ない工法の提案 ②全天候型高耐久常温合材の開発と販売 ③梱包材の削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	①仮設資材の再利用の促進 ②舗装の長寿命化への研究と推進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①アスファルト魂とコンクリート片の分別解体を徹底し、再生骨材供給を確保する
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①建設混合廃棄物の分別の細分化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	①自社中間処理施設の設置と拡充		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	①リサイクリング技術の研究による、他産業排出産業廃棄物の受入 ②自さリサイクリング施設の拡充による、産廃処理能力のアップ		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	①許可内容と再生処理状況を確認している		

②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類 _	別紙参照	
	全 処 理 委 託 量 _	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	①優良認定処理業者への委託を推進する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	建設混合廃棄物	木くず				
		排 出 量	9075.7 t	5.8 t	40.6 t	28.3 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	建設混合廃棄物	木くず				
排 出 量		7000 t	4 t	40 t	20 t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	建設混合廃棄物	木くず				
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	9075.7 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	建設混合廃棄物	木くず				
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		7000 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	建設混合廃棄物	木くず				
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	建設混合廃棄物	木くず				
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	建設混合廃棄物	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	建設混合廃棄物	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	建設混合廃棄物	木くず				
	全処理委託量	0 t	5.8 t	40.6 t	28.3 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	40.6 t	28.3 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	5.8 t	40.6 t	28.3 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	建設混合廃棄物	木くず				
	全処理委託量	0 t	4 t	40 t	20 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	40 t	20 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	4 t	40 t	20 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 5月 22日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒290-0068
住 所 千葉県市原市八幡浦2-8-1
氏 名 前田道路(株)市原営業所
所長 多田 清市
電話番号 0436-43-1162

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

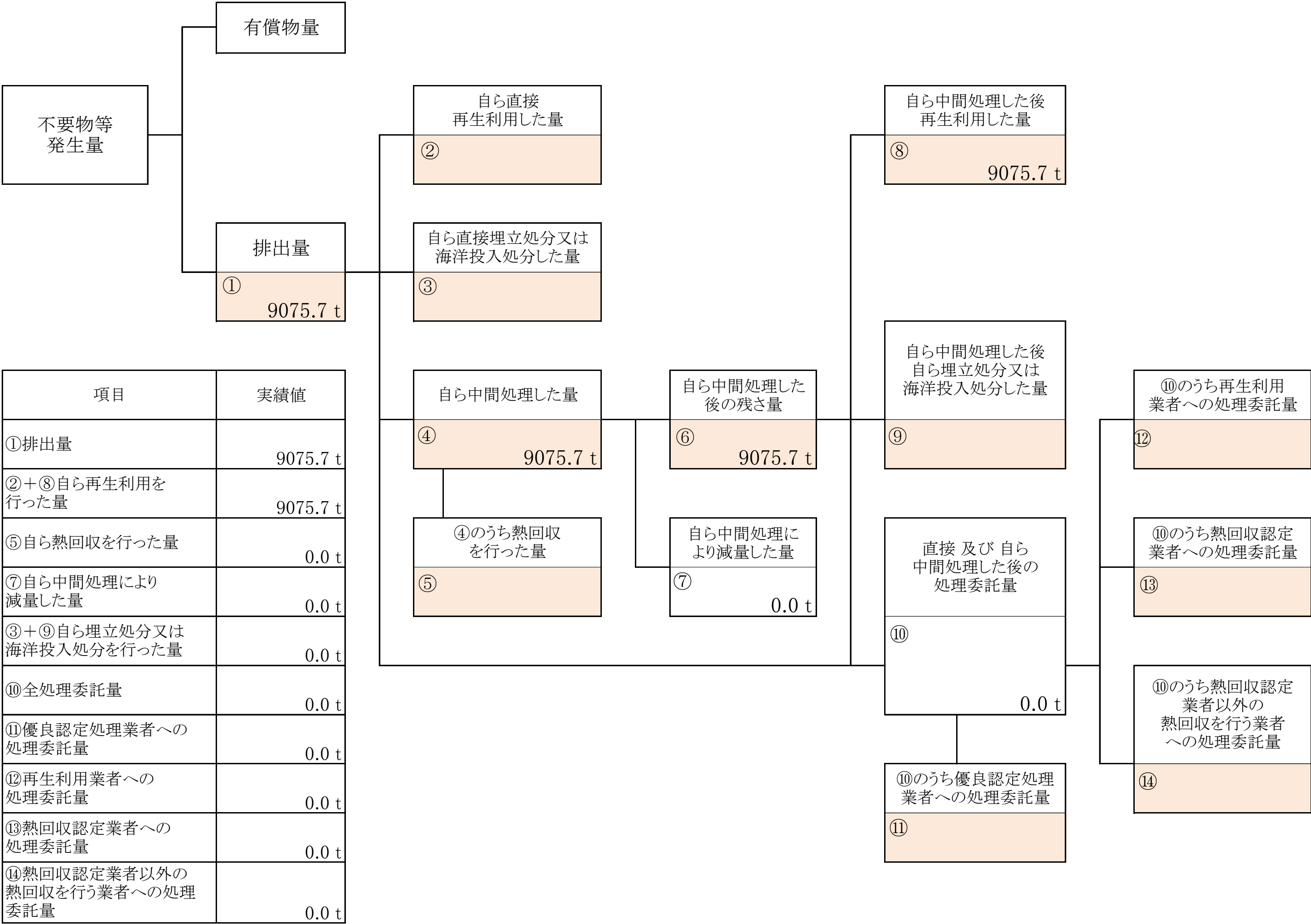
事業場の名称	前田道路株式会社市原営業所
事業場の所在地	千葉県市原市八幡浦2-8-1
事業の種類	D06-総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5060.0 t	全処理委託量	60.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	5000.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	50.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	60.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

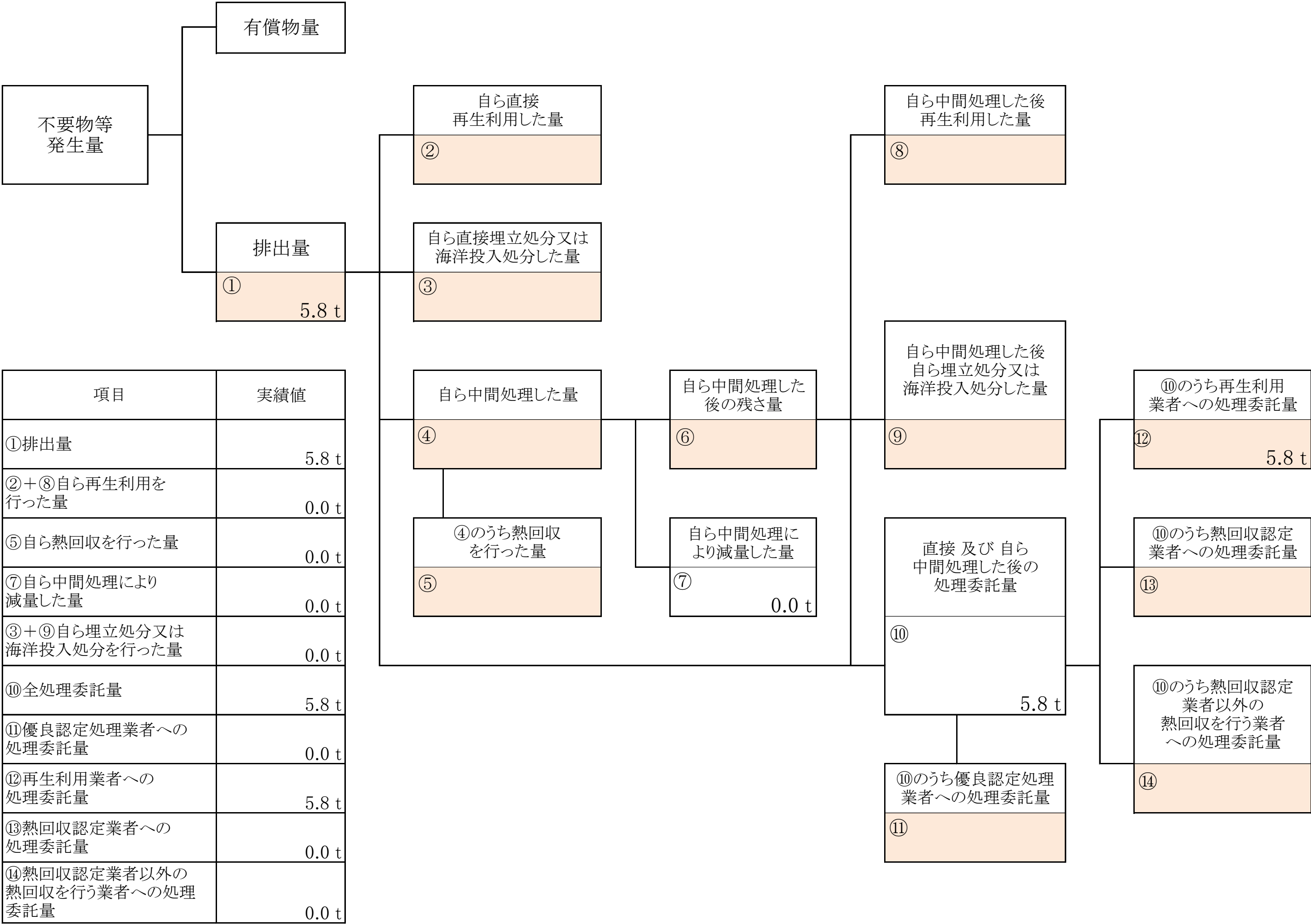
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



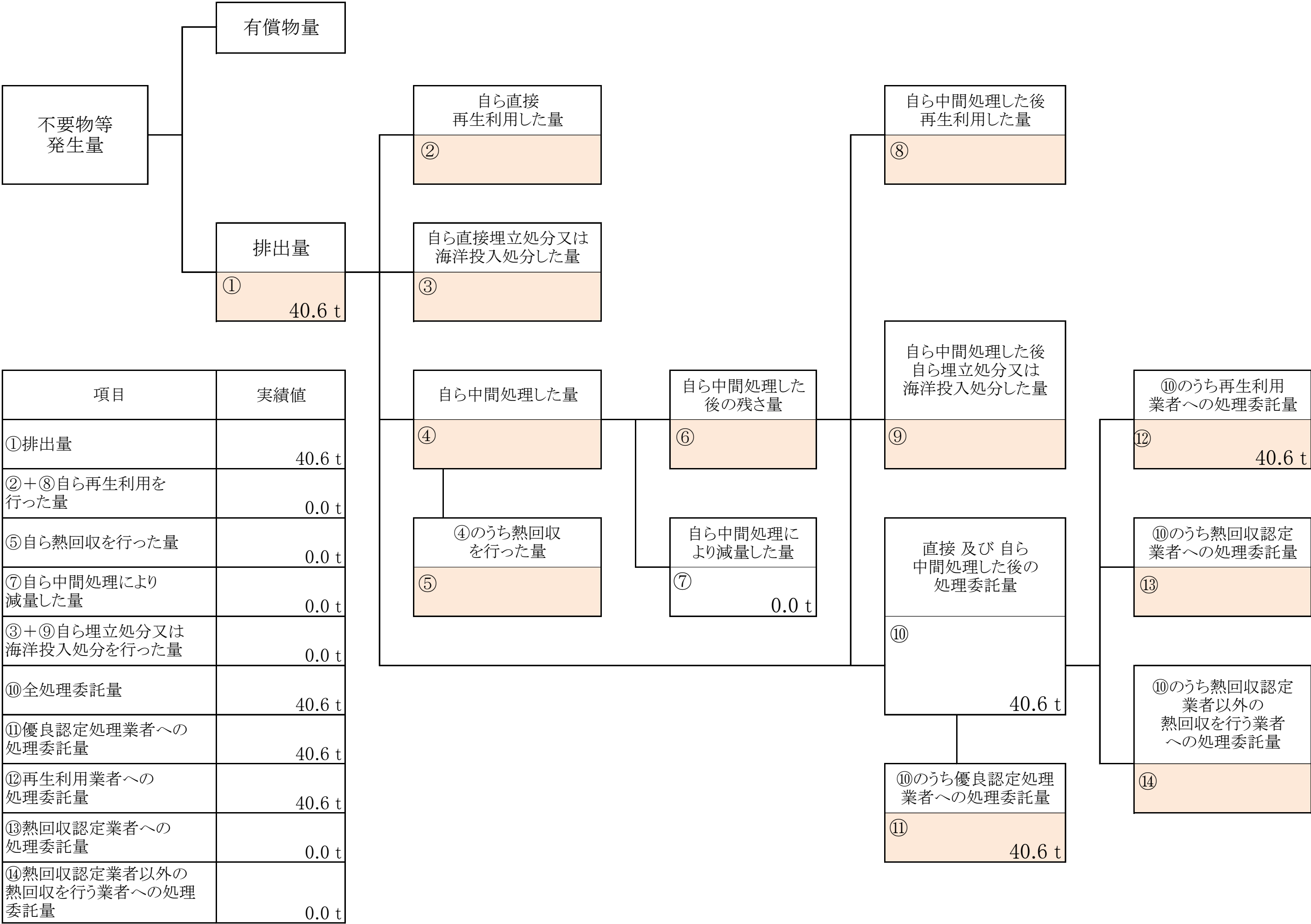
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



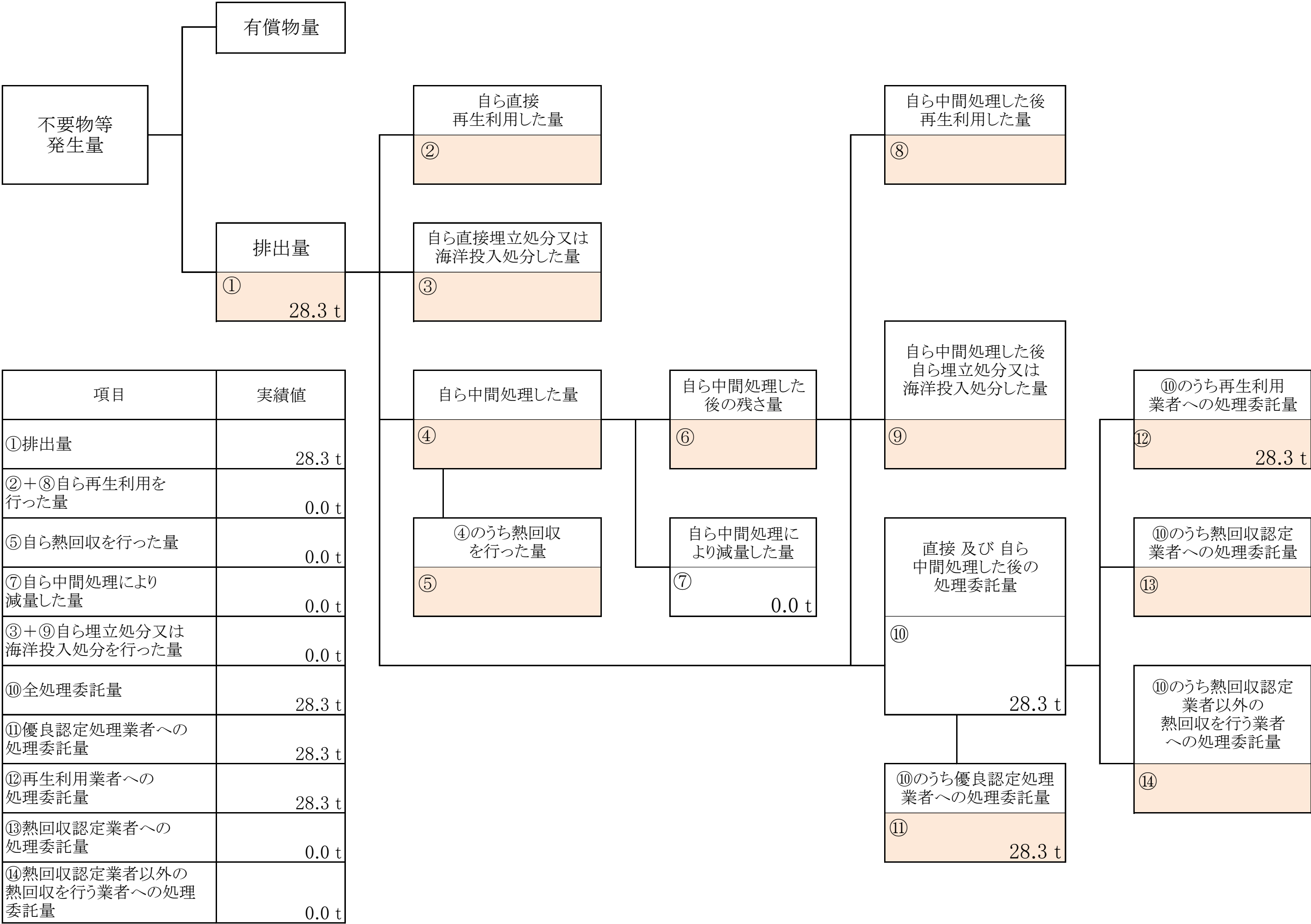
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型混合廃棄物)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月12日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒263-0005	
住 所 千葉県稲毛区長沼町461-1	
氏 名 前田道路株式会社 千葉営業所	
所長 吉田 孝志	
電話番号 043-259-2131	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	前田道路株式会社 千葉営業所
事業場の所在地	千葉県稲毛区長沼町461-1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06-総合工事業
② 事業の規模	令和5年 元請完成工事高 569百万円
③ 従業員数	17名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルトコンクリート破片⇒破砕⇒再生砕石 コンクリート破片⇒破砕⇒再生砕石 汚泥⇒脱水・混合⇒改良土 金属くず⇒破砕⇒金属材料 紙くず⇒焼却処理 廃プラスチック⇒破砕・圧縮⇒固形燃料 木くず⇒破砕⇒木チップ

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
本店 環境委員会 東京支店 環境委員会 委員長 東京支店長 営業所 環境委員会 委員長 営業所所長 作業所長及び工事担当者 【営業所】 共栄会 瀝友会 協力会社 【環境委員会】 1.環境保全並びに産業廃棄物処理に関する教育及び指導 2.環境保全並びに産業廃棄物処理に関するパトロールの実施 【営業所】 1.廃棄物処理に関する委託処理業者の許可の確認と契約書の締結 2.マニフェストの運用管理 3.環境保全並びに産業廃棄物処理に関する記録の作成・報告及び保管		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	任意様式による	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	①路上再生工法・切削オーバーレイ等の廃棄物排出の少ない工法の推進 ②半たわみ性舗装など強度の出る工法で舗装の長寿命化 ③高耐久性常温合材の開発・販売		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	任意様式による	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	高耐久性常温合材の開発・販売に力を入れ改良型の商品化を目指す		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれきのASガラ、C0ガラの分別の徹底しリサイクル品の価値を高める
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の管理の継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	任意様式による	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) がれき類の再利用は、100%です		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	任意様式による	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年実施事項の継続		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	任意様式による	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	任意様式による	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	任意様式による	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	任意様式による	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	任意様式による	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	処分状況の確認の実施		

②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類 _	任意様式による	
	全 処 理 委 託 量 _	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定業者を選定する		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	コンクリート破片	汚泥	金属くず	紙くず	廃プラスチック類	木くず	
		排 出 量	3960.6 t	141.4 t	1.6 t	1.7 t	1.3 t	2.3 t	0.3 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	コンクリート破片	汚泥	金属くず	紙くず	廃プラスチック類	木くず	
排 出 量		1000 t	100 t	1 t	t	t	1 t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	コンクリート破片	汚泥	金属くず	紙くず	廃プラスチック類	木くず	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	3960.6 t	141.1 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	コンクリート破片	汚泥	金属くず	紙くず	廃プラスチック類	木くず	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1000 t	100 t	t	t	t	t	t	t
	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	コンクリート破片	汚泥	金属くず	紙くず	廃プラスチック類	木くず	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	コンクリート破片	汚泥	金属くず	紙くず	廃プラスチック類	木くず	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	コンクリート破片	汚泥	金属くず	紙くず	廃プラスチック類	木くず	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	コンクリート破片	汚泥	金属くず	紙くず	廃プラスチック類	木くず	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	コンクリート破片	汚泥	金属くず	紙くず	廃プラスチック類	木くず	
	全処理委託量	t	0.3 t	1.6 t	1.7 t	1.3 t	2.3 t	0.3 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	1.4 t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	0.3 t	1.6 t	1.7 t	1.3 t	2.3 t	0.3 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	コンクリート破片	汚泥	金属くず	紙くず	廃プラスチック類	木くず	
	全処理委託量	t	t	1 t	t	t	1 t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	1 t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	1 t	t	t	1 t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月12日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒263-0005
住 所 千葉県千葉市稲毛区長沼町461-1
氏 名 前田道路株式会社 千葉営業所
所長 吉田 孝志
電話番号 043-259-2131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

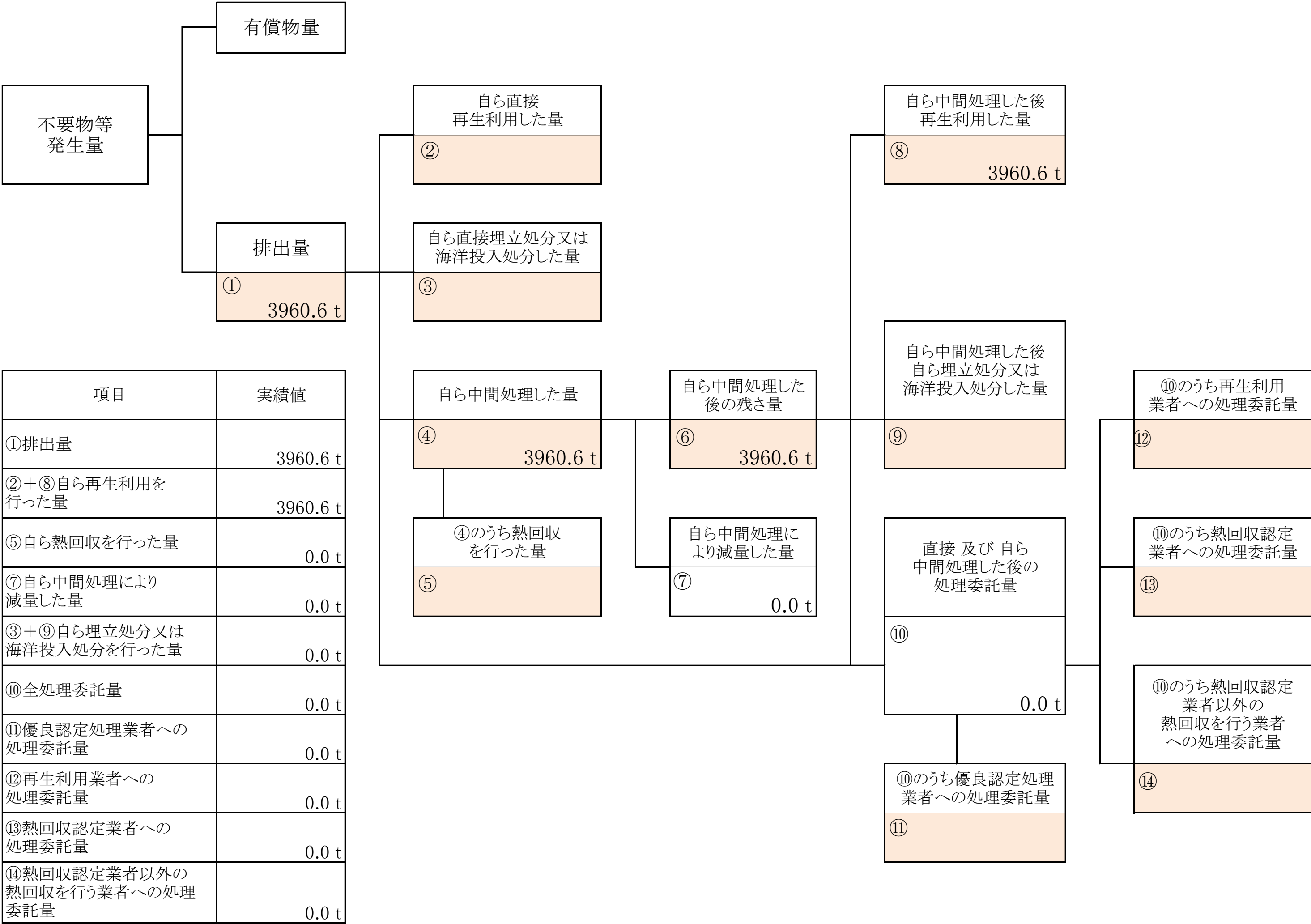
事業場の名称	前田道路株式会社 千葉営業所
事業場の所在地	千葉県千葉市稲毛区長沼町461-1
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1702.0 t	全処理委託量	2.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1700.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	2.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

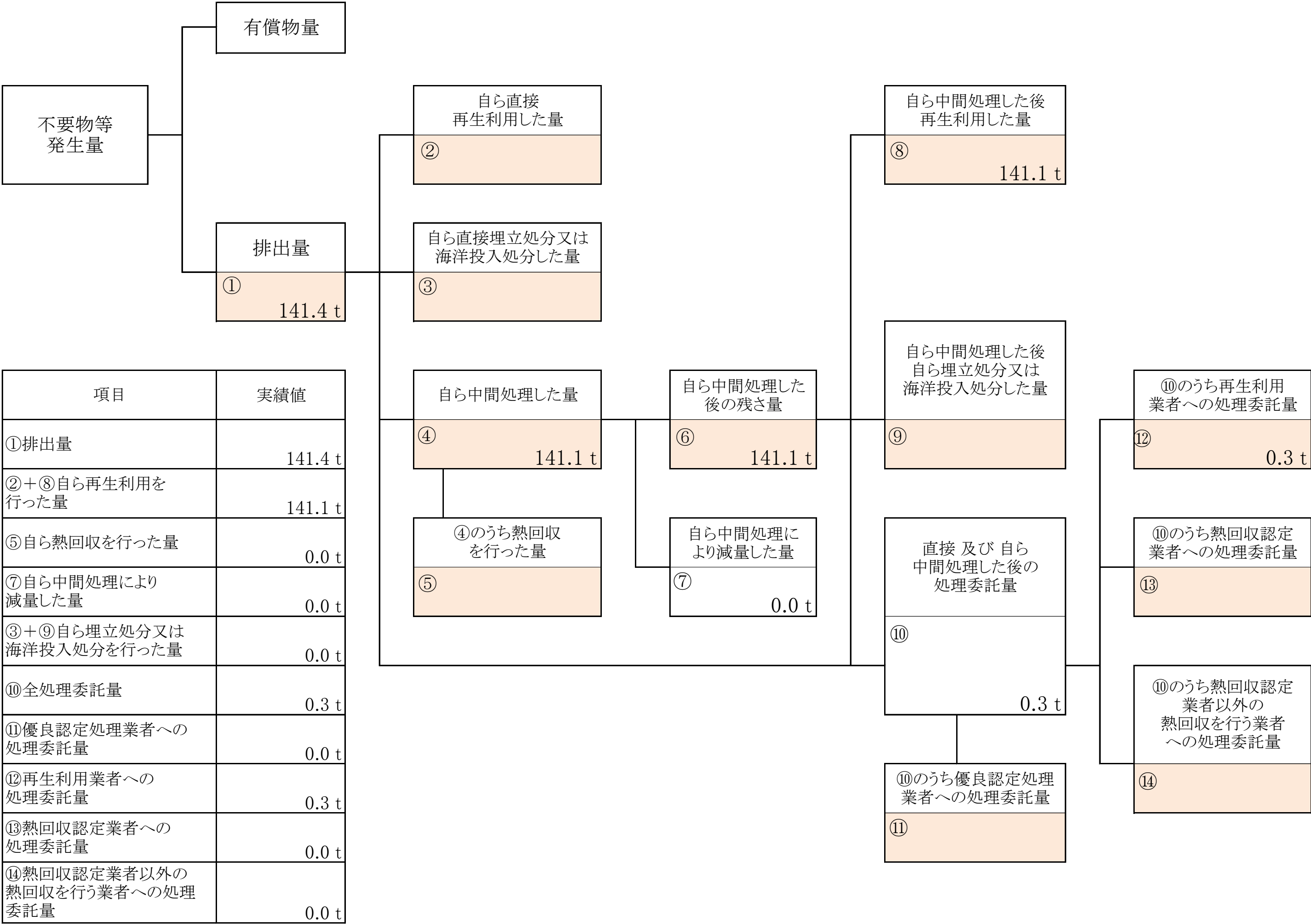
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト破片)



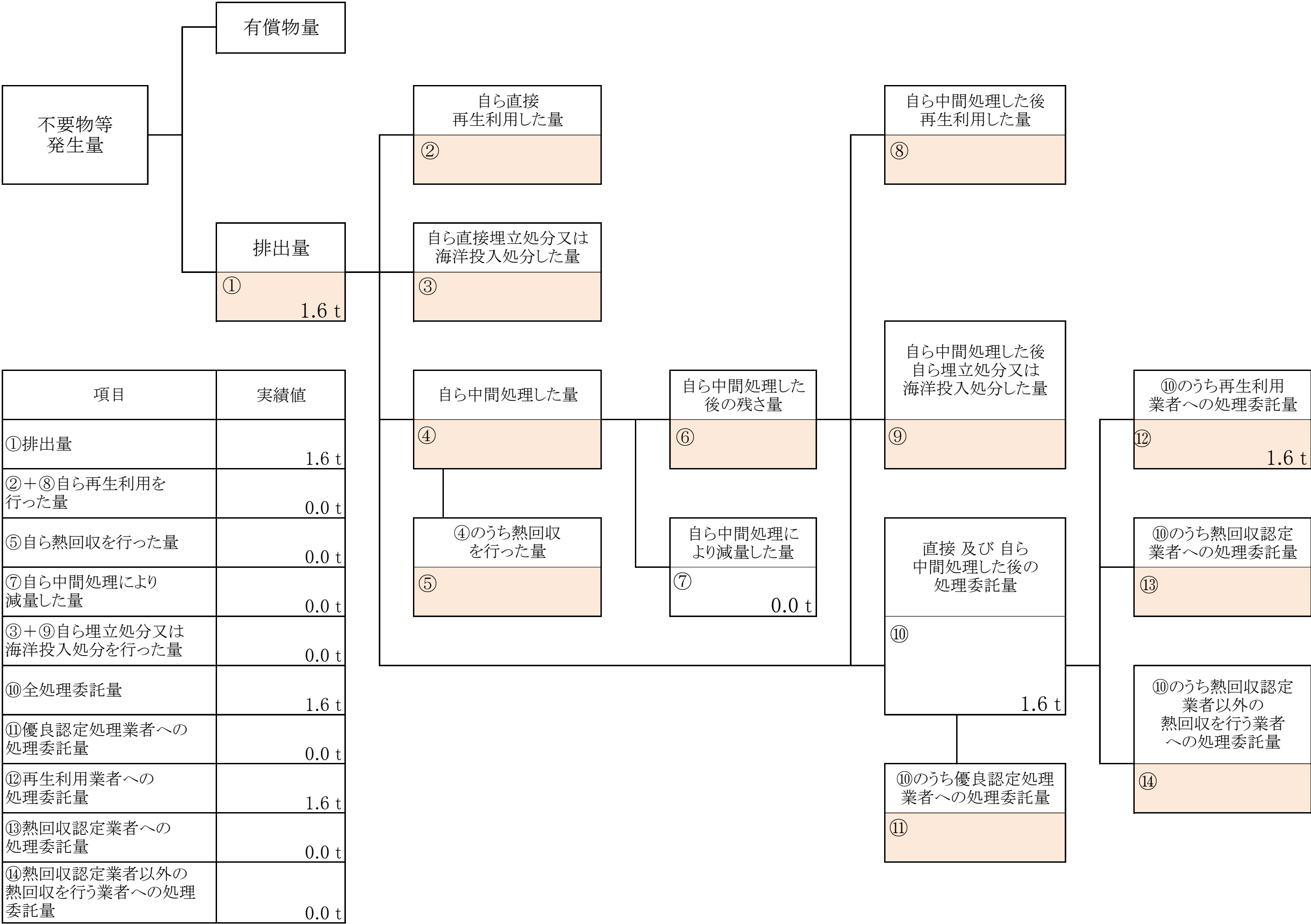
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート破片)



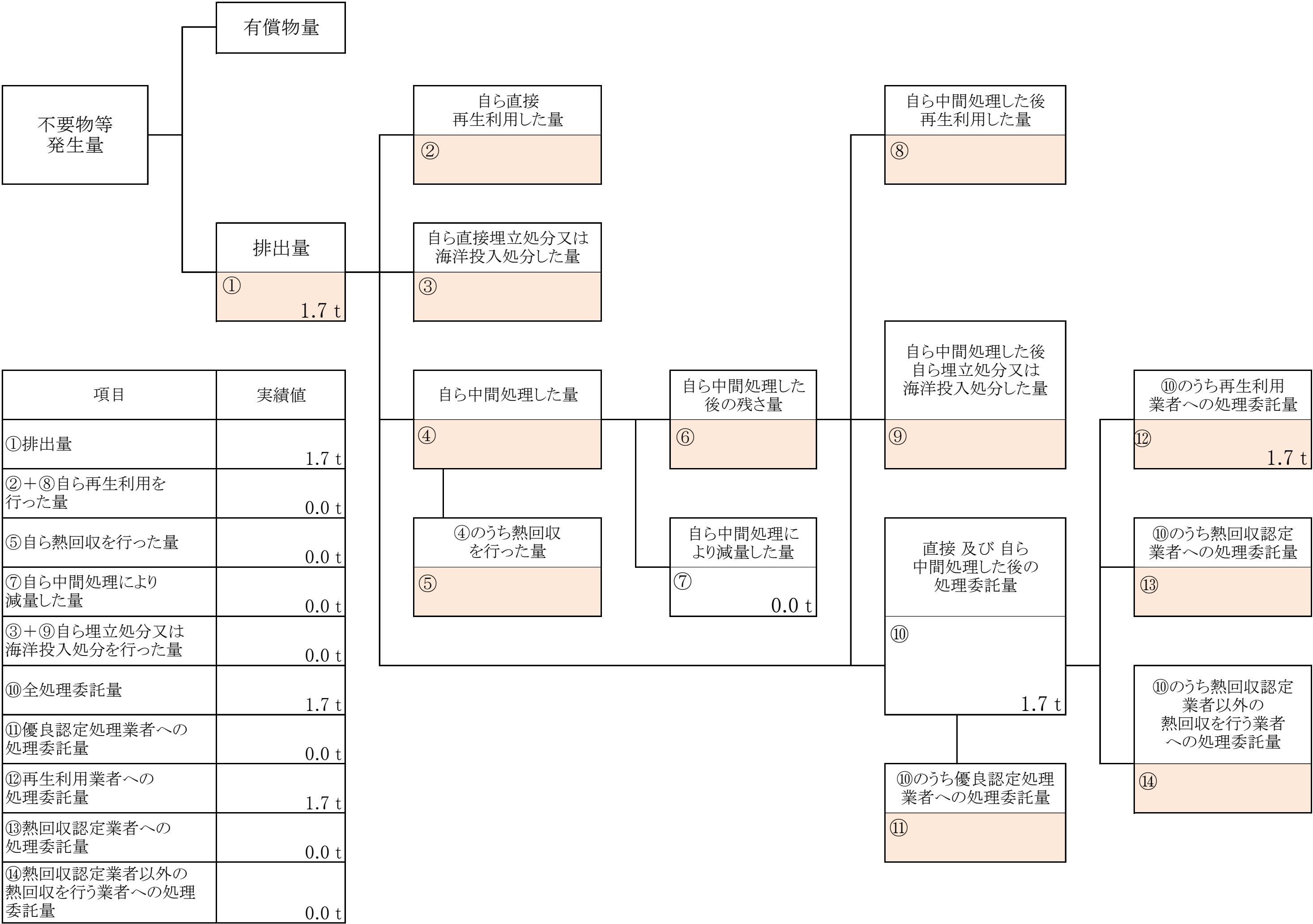
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



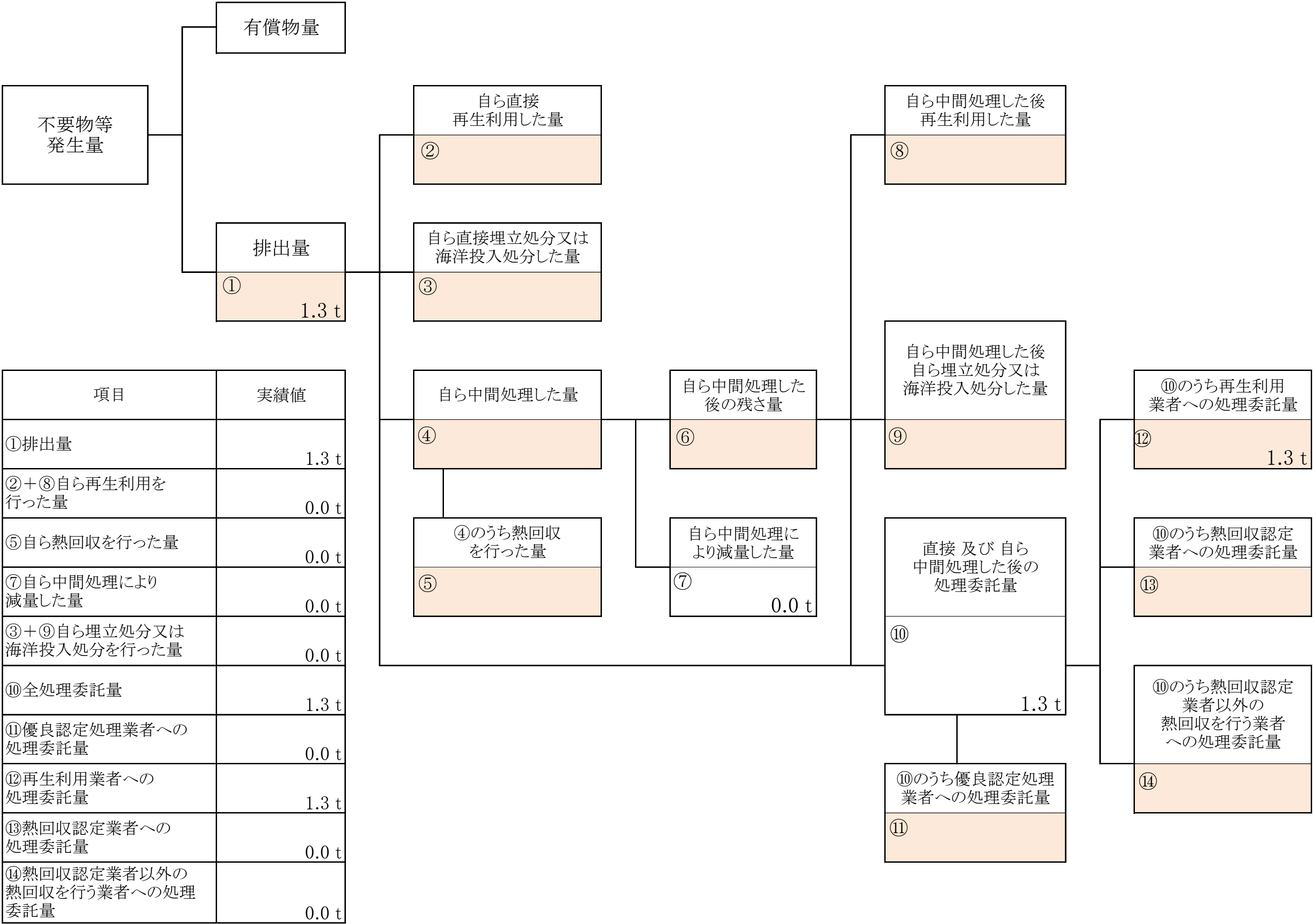
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属クズ)



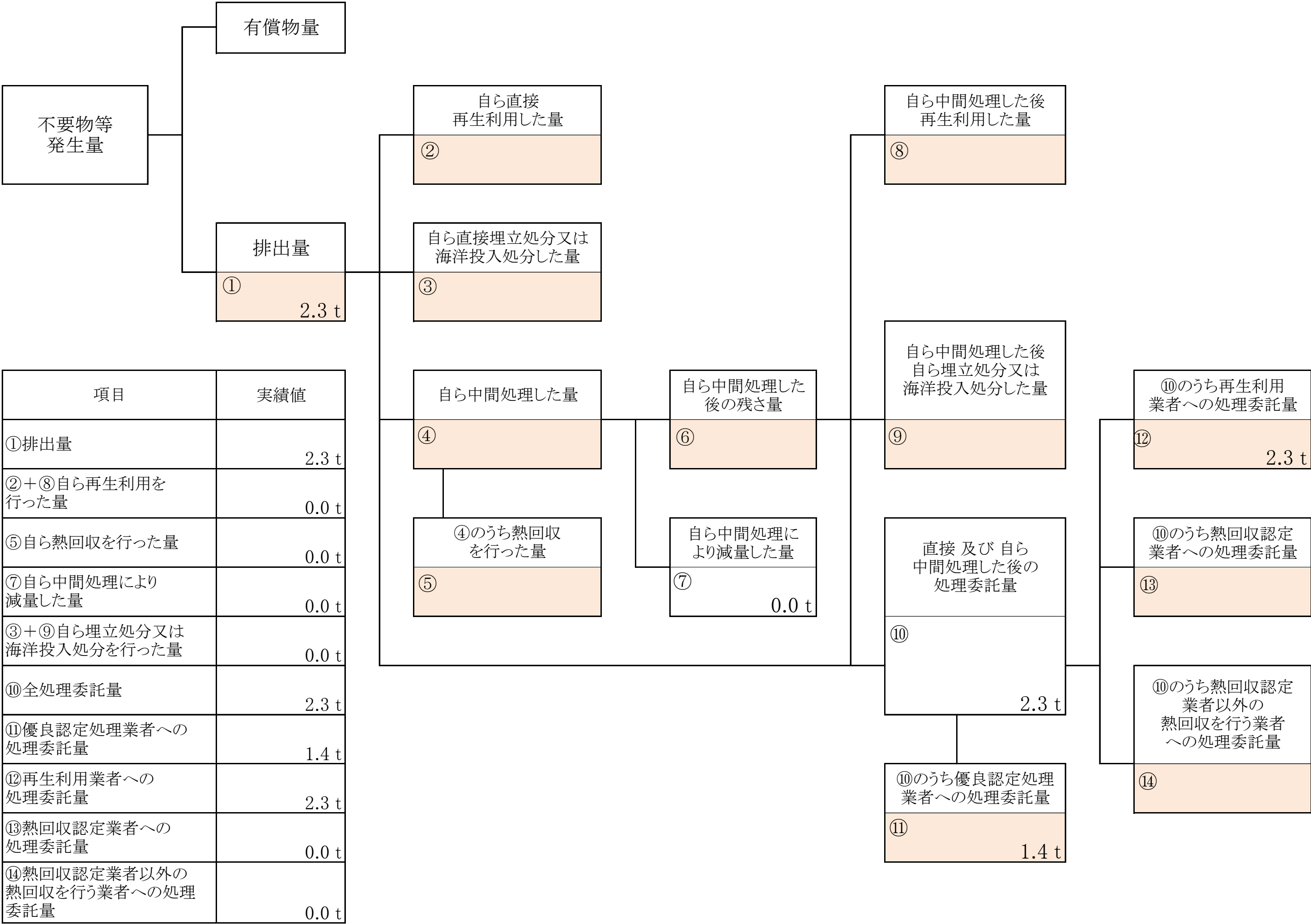
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



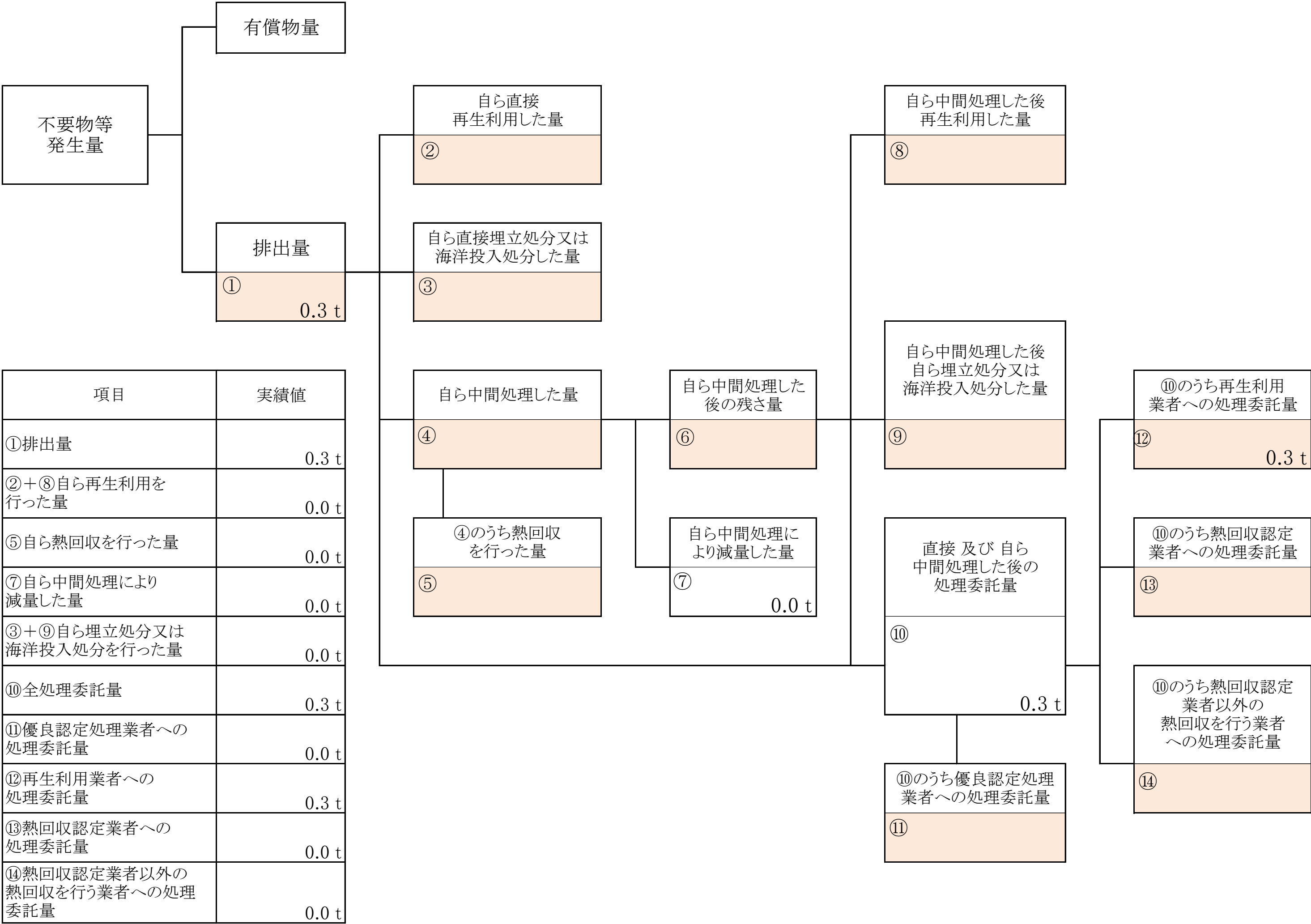
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 18 日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒134-0084	
住 所 東京都江戸川区東葛西3-17-14	
氏 名 前田道路株式会社東京営業所	
所 長 片 山 正 博	
電話番号 03-3688-5223	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	前田道路株式会社東京営業所
事業場の所在地	東京都江戸川区東葛西3-17-14
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 87.1 百万
③ 従業員数	16 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	廃アスファルト⇒破碎⇒再生骨材 コンクリート片⇒破碎⇒再生砕石 汚泥⇒脱水・混合⇒改良土 建設混合廃棄物⇒選抜処理⇒各再生処理 廃プラ⇒破碎圧縮⇒固形燃料 ガラス陶磁器⇒破碎⇒再生砂 木くず⇒破碎⇒木チップ

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
本店 環境委員会 東京支店 環境委員会 委員長 東京支店長 営業所 環境委員会 委員長 営業所所長 作業所長及び工事担当者 【営業所】 共栄会 瀝友会 協力会社 【環境委員会】 1.環境保全並びに産業廃棄物処理に関する教育及び指導 2.環境保全並びに産業廃棄物処理に関するパトロールの実施 【営業所】 1.廃棄物処理に関する委託処理業者の許可の確認と契約書の締結 2.マニフェストの運用管理 3.環境保全並びに産業廃棄物処理に関する記録の作成・報告及び保管		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ①路上再生工法等の産廃のでない工法による施工 ②半たわみ性舗装等高耐久性舗装の施工による舗装の長寿命化 ③高性能常温合材の開発と販売		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年の実施事項の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルト塊とコンクリート片の現場での分別はほぼ100%です
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年実施事項の継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 県内に5か所の破砕リサイクル施設を持っています		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 他産業発生の産廃リサイクルングを研究・実現化を図っています		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	県内に5か所の破砕リサイクル施設を持っています		

②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類 _	別紙参照	
	全 処 理 委 託 量 _	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自社中間処理施設の利用率を上げる⇒委託処理量の削減		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	建設汚泥	管理型混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	
		排出量	318.9 t	1096.7 t	0.5 t	1 t	0.9 t	0.5 t	0.6 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	建設汚泥	管理型混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	
排出量		300 t	1000 t	t	1 t	1 t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	建設汚泥	管理型混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	163.8 t	956.1 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	建設汚泥	管理型混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	200 t	800 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	建設汚泥	管理型混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	建設汚泥	管理型混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	建設汚泥	管理型混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	建設汚泥	管理型混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	建設汚泥	管理型混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	建設汚泥	管理型混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	
	全処理委託量	155.1 t	140.6 t	0.5 t	1 t	0.9 t	0.5 t	0.6 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	0.5 t	t	0.9 t	0.5 t	0.6 t	t
	再生利用業者への処理委託量	155.1 t	140.6 t	0.5 t	1 t	0.9 t	0.5 t	0.6 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	建設汚泥	管理型混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず	
	全処理委託量	100 t	200 t	t	1 t	1 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	1 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	100 t	200 t	t	1 t	1 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

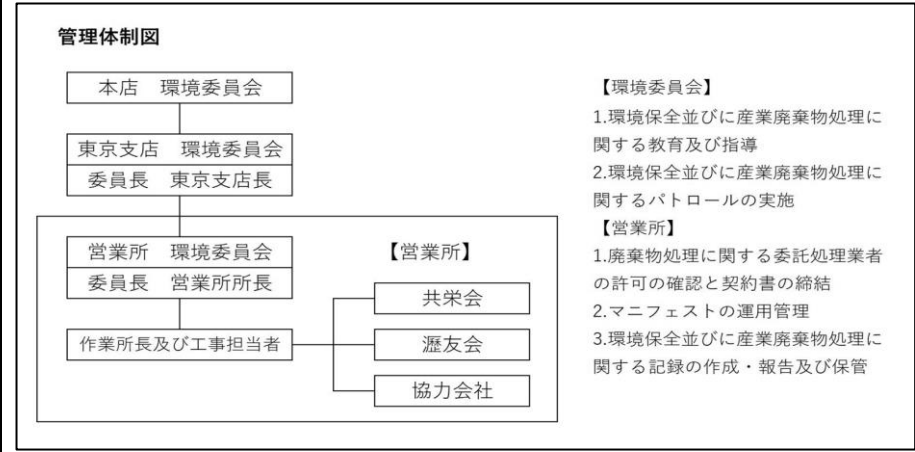
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 5月 27日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒273-0018	
住 所 千葉県船橋市栄町1-19-19	
氏 名 前田道路株式会社 船橋営業所	
所長 小林 聡	
電話番号 047-400-9292	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	前田道路株式会社 船橋営業所
事業場の所在地	千葉県船橋市栄町1-19-19
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	99期の千葉県管内の元請完成工事高 ¥111,383,734 (千葉県市、船橋市、柏市の政令市除く)
③ 従業員数	20名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルト塊⇒破砕⇒再生骨材 コンクリート塊⇒破砕⇒再生砕石 汚泥⇒脱水・固化等⇒最終処分 木屑⇒破砕⇒木チップ 建設混合廃棄物⇒分別⇒建設資材、再生破砕他 石綿含有がれき類⇒最終処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	①路上表層再生工法等の廃材の出ない工法の提案 ②全天候型高耐久常温合材の開発と販売 ③梱包材の削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	①仮設資材の再利用の促進 ②舗装の長寿命化への研究と推進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①アスファルト魂とコンクリート片の分別解体を徹底し、再生骨材供給を確保する
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①建設混合廃棄物の分別の細分化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	①自社中間処理施設の設置と拡充		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	①リサイクリング技術の研究による、他産業排出産業廃棄物の受入 ②自さリサイクリング施設の拡充による、産廃処理能力のアップ		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙参照		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙参照		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙参照		
	全処理委託量	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
	①許可内容と再生処理状況を確認している			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類 _	別紙参照	
	全 処 理 委 託 量 _	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	①優良認定処理業者への委託を推進する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト コンクリート破片	がれき類	汚泥及び 廃アルカリ	木屑	建設混合廃棄物		
		排 出 量	206 t	2322.7 t	27 t	0.8 t	0.7 t	2 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト コンクリート破片	がれき類	汚泥及び 廃アルカリ	木屑	建設混合廃棄物		
排 出 量		300 t	600 t	27 t	1 t	1 t	3 t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト コンクリート破片	がれき類	汚泥及び 廃アルカリ	木屑	建設混合廃棄物		
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	206 t	2322.7 t	27 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト コンクリート破片	がれき類	汚泥及び 廃アルカリ	木屑	建設混合廃棄物		
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		300 t	600 t	27 t	t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト コンクリート破片	がれき類	汚泥及び 廃アルカリ	木屑	建設混合廃棄物		
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		コンクリート破片	アスファルト コンクリート破片	がれき類	汚泥及び 廃アルカリ	木屑	建設混合廃棄物			
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の種類		t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に關する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト コンクリート破片	がれき類	汚泥及び 廃アルカリ	木屑	建設混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト コンクリート破片	がれき類	汚泥及び 廃アルカリ	木屑	建設混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト コンクリート破片	がれき類	汚泥及び 廃アルカリ	木屑	建設混合廃棄物		
	全処理委託量	t	t	t	0.8 t	0.7 t	2 t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	0.7 t	2 t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t	0.8 t	0.7 t	2 t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト コンクリート破片	がれき類	汚泥及び 廃アルカリ	木屑	建設混合廃棄物		
	全処理委託量	t	t	t	1 t	1 t	3 t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	1 t	3 t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t	1 t	1 t	3 t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 15 日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒104-8281	
住 所 東京都中央区新川1-17-22	
氏 名 松井建設(株)東京支店 常務執行役員支店長 金子勇	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 03-3553-1172	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	松井建設(株)東京支店
事業場の所在地	東京都中央区新川1-17-22
計画期間	2024/4/1 ～ 2025/3/31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 総合工事業
② 事業の規模	45,000百万円
③ 従業員数	350人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・汚泥⇒脱水⇒改良土、流動化処理土として利用 ・廃プラスチック⇒破砕⇒リサイクル売却 ・金属屑⇒破砕⇒リサイクル売却 ・がれき類⇒破砕⇒再生砕石として利用 ・ガラス陶磁器⇒破砕⇒人工石材、ガラスにリサイクル ・木屑⇒破砕⇒チップとして再生利用 ・紙屑⇒破砕圧縮梱包⇒リサイクル売却 ・繊維屑⇒破砕圧縮梱包⇒燃料として売却 ・石膏ボード⇒破砕⇒セメント材料、地盤改良材として利用 ・アスコン⇒破砕、熱処理⇒アスファルト合材としてリサイクル

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
 担当専務 ⇒ 経営会議 ⇒ 建設本部安全品質環境部品質環境課 ⇒ 支店安全品質環境部品質環境課 ⇒ 各作業所

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラ
	排出量	2557.5 t	9.2 t
	（これまでに実施した取組） 現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には再資源化施設の活用に務めた		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラ
	排出量	2557.5 t	9.2 t
	（今後実施する予定の取組） （今後実施する予定の取組） 今後現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には引き続き再資源化施設の活用に務める予定		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） （分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラはそれぞれの現場に、専用のコンテナを設置し再資源化施設の活用に勤めています
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） （今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後再資源化の効率向上に努めるため、廃プラの発生現場での分別向上に努める予定。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) これまで自社で再生利用をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) 今後も自社で再生利用する予定はない		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) これまで自社で中間処理をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) 今後も自社で中間処理をする予定はない		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） これまで自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 今後自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分の予定はない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラ
	全処理委託量	2557.5 t	9.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2557.5 t	9.2 t
	再生利用業者への処理委託量	2557.5 t	9.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 再生利用できるものは全て再生利用が出来る委託業者に委託している		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラ
	全処理委託量	2557.5 t	9.2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	2557.5 t	9.2 t
	再生利用業者への 処理委託量	2557.5 t	9.2 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 今後現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には再資源化施設の活用を務める予定。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

担当専務 ⇒ 経営会議 ⇒ 建設本部安全品質環境部品質環境課 ⇒ 支店安全品質環境部品質環境課 ⇒ 各作業所

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	排出量	53.7 t	31.6 t
	（これまでに実施した取組） 現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には再資源化施設の活用に務めた		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	排出量	53.7 t	31.6 t
	（今後実施する予定の取組） （今後実施する予定の取組） 今後現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には引き続き再資源化施設の活用に務める予定		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） （分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラはそれぞれの現場に、専用のコンテナを設置し再資源化施設の活用に勤めています
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） （今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後再資源化の効率向上に努めるため、廃プラの発生現場での分別向上に努める予定。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) これまで自社で再生利用をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) 今後も自社で再生利用する予定はない		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) これまで自社で中間処理をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) 今後も自社で中間処理をする予定はない		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） これまで自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 今後自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分の予定はない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	全処理委託量	53.7 t	31.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	53.7 t	31.6 t
	再生利用業者への処理委託量	53.7 t	31.6 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 再生利用できるものは全て再生利用が出来る委託業者に委託している		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	全 処 理 委 託 量	53.7 t	31.6 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	53.7 t	31.6 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	53.7 t	31.6 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 今後現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には再資源化施設の活用を務める予定。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 担当専務 ⇒ 経営会議 ⇒ 建設本部安全品質環境部品質環境課 ⇒ 支店安全品質環境部品質環境課 ⇒ 各作業所			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物
	排出量	346.2 t	49.9 t
	(これまでに実施した取組) 現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には再資源化施設の活用に務めた		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物
	排出量	346.2 t	49.9 t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) 今後現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には引き続き再資源化施設の活用に務める予定		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラはそれぞれの現場に、専用のコンテナを設置し再資源化施設の活用に勤めています		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後再資源化の効率向上に努めるため、廃プラの発生現場での分別向上に努める予定。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) これまで自社で再生利用をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) 今後も自社で再生利用する予定はない		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) これまで自社で中間処理をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) 今後も自社で中間処理をする予定はない		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） これまで自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 今後自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分の予定はない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物
	全処理委託量	346.2 t	49.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	346.2 t	49.9 t
	再生利用業者への処理委託量	346.2 t	49.9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 再生利用できるものは全て再生利用が出来る委託業者に委託している		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物
	全処理委託量	346.2 t	49.9 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	346.2 t	49.9 t
	再生利用業者への 処理委託量	346.2 t	49.9 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 今後現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には再資源化 施設の活用に務める予定。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
 担当専務 ⇒ 経営会議 ⇒ 建設本部安全品質環境部品質環境課 ⇒ 支店安全品質環境部品質環境課 ⇒ 各作業所

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス陶器屑
	排出量	4 t	34 t
	（これまでに実施した取組） 現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には再資源化施設の活用に務めた		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス陶器屑
	排出量	4 t	34 t
	（今後実施する予定の取組） （今後実施する予定の取組） 今後現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には引き続き再資源化施設の活用に務める予定		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） （分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラはそれぞれの現場に、専用のコンテナを設置し再資源化施設の活用に勤めています
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） （今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後再資源化の効率向上に努めるため、廃プラの発生現場での分別向上に努める予定。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス陶器屑
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) これまで自社で再生利用をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス陶器屑
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) 今後も自社で再生利用する予定はない		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス陶器屑
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) これまで自社で中間処理をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス陶器屑
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) 今後も自社で中間処理をする予定はない		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス陶器屑
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） これまで自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス陶器屑
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 今後自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分の予定はない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス陶器屑
	全処理委託量	4 t	34 t
	優良認定処理業者への処理委託量	4 t	34 t
	再生利用業者への処理委託量	4 t	34 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 再生利用できるものは全て再生利用が出来る委託業者に委託している		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	紙くず	ガラス陶器屑
	全 処 理 委 託 量_	4 t	34 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	4 t	34 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	4 t	34 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 今後現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には再資源化施設の活用を務める予定。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
 担当専務 ⇒ 経営会議 ⇒ 建設本部安全品質環境部品質環境課 ⇒ 支店安全品質環境部品質環境課 ⇒ 各作業所

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	
	排出量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には再資源化施設の活用に務めた		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	
	排出量	0 t	- t
	（今後実施する予定の取組） （今後実施する予定の取組） 今後現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には引き続き再資源化施設の活用に務める予定		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） （分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラはそれぞれの現場に、専用のコンテナを設置し再資源化施設の活用に勤めています
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） （今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後再資源化の効率向上に努めるため、廃プラの発生現場での分別向上に努める予定。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) これまで自社で再生利用をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) 今後も自社で再生利用する予定はない		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) これまで自社で中間処理をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) 今後も自社で中間処理をする予定はない		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） これまで自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 今後自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分の予定はない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	
	全処理委託量	0 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 再生利用できるものは全て再生利用が出来る委託業者に委託している		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	繊維くず	
	全 処 理 委 託 量_	0 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 今後現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には再資源化施設の活用を務める予定。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月30日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 102-0075
住 所 東京都千代田区三番町 2 番地
法人名 株式会社松村組東京本店
代表者 執行役員本店長 瀧川 和志
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-5210-6155

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 松村組 東京本店		
事業場の所在地	東京都千代田区三番町 2 番地		
計画期間	令和6年4月1日	から	令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	D 建設業	中分類： 06 総合工事業
②事業の規模	13,316百万円（2023年度完成工事高）		
③従業員数	116名（2024年3月31日現在）		
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	別添 1 処理工程図のとおり		

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別添2 管理体制図のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 集計表のとおり	
	排出量	10017.3 t	t
	(これまでに実施した取組) ・各工事毎に排出量の目標値を設定し抑制を図った。 ・各工事毎に減量化対策を策定し抑制を図った。 ・各工事毎に分別保管品目を最大限設定し抑制を図った。 ・石膏ボードメーカーの広域認定制度利用により排出した。 ・下請負業者に資材搬入時の簡易梱包を依頼し抑制を図った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 集計表のとおり	
	排出量	9015.6 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・これまでに実施した取り組みを継続する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類、ダンボール、木くず、金属くず、廃石膏ボード、ガラス・陶磁器類、コンクリートがら、混合廃棄物		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記分別を継続し、混合廃棄物の廃プラスチック類を含む廃棄物と含まない廃棄物を分別する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 集計表のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 集計表のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 集計表のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 集計表のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 集計表のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 集計表のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	10017.3 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1120 t	t
	再生利用業者への処理委託量	9323 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・適正に産業廃棄物委託契約書を締結している ・新規取引する処分業者の処理施設の現地確認を行っている。 ・電子マニフェスト加入業者とのみ委託契約を締結している ・できる限り有料認定業者を選定している。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	9015.6 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1008 t	t
	再生利用業者への処理委託量	8390.7 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・これまでに実施した取り組みを継続する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
平成36年05月30日	
千葉県知事 殿	
提出者	
住 所 東京都千代田区三番町2番地	
氏 名 株式会社 松村組 東京本店	
執行役員本店長 瀧川 和志	
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 03-5210-6155	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 松村組 東京本店
事業場の所在地	東京都千代田区三番町2番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	13,316百万円（2023年度完成工事高）
③従業員数	116名（2024年3月31日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	10,017.3 t	t
	(これまでに実施した取組) ・各工事毎に排出量の目標値を設定し抑制を図った。 ・各工事毎に減量化対策を策定し抑制を図った。 ・各工事毎に分別保管品目を最大限設定し抑制を図った。 ・石膏ボードメーカーの広域認定制度利用により排出した。 ・下請負業者に資材搬入時の簡易梱包を依頼し抑制を図った。 ・下請負業者に資材のプレカット搬入を依頼し抑制を図った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	9,015.6 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・これまでに実施した取組を継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類、ダンボール、木くず、金属くず、 廃石膏ボード、ガラス・陶磁器類、コンクリートがら、 混合廃棄物。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記分別を継続し、混合廃棄物の廃プラスチック類を含む廃棄物 と含まない廃棄物を分別する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

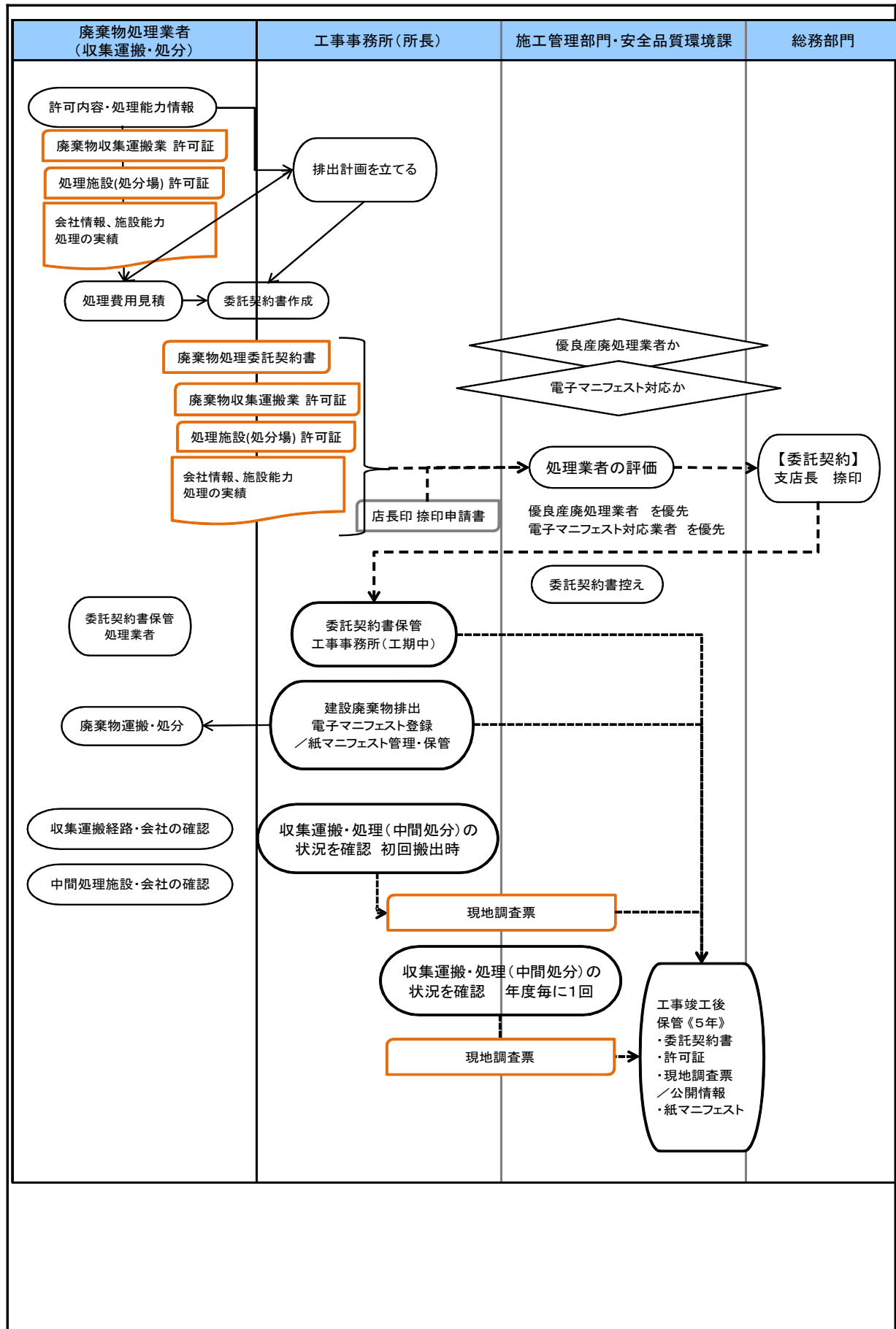
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	10,017.3 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1,120.0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	9,323.0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・適正に産業廃棄物委託契約書を締結している。 ・新規取引する処分業者の処理施設の現地確認を行っている。 ・電子マニフェスト加入業者とのみ委託契約を締結している。 ・できる限り優良認定業者を選定している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	9,015.6 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1,008.0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	8,390.7 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ これまでに実施した取組を継続する。		
※事務処理欄			

備考備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。 前年度の産業廃棄物
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。「当該
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成
工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規
模が分かるような前年度の実績を記入すること。 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまで
の一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中
間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間
処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量
を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行
令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収
施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)であ
る処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者
への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のと
おり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の
種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入
すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、
「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

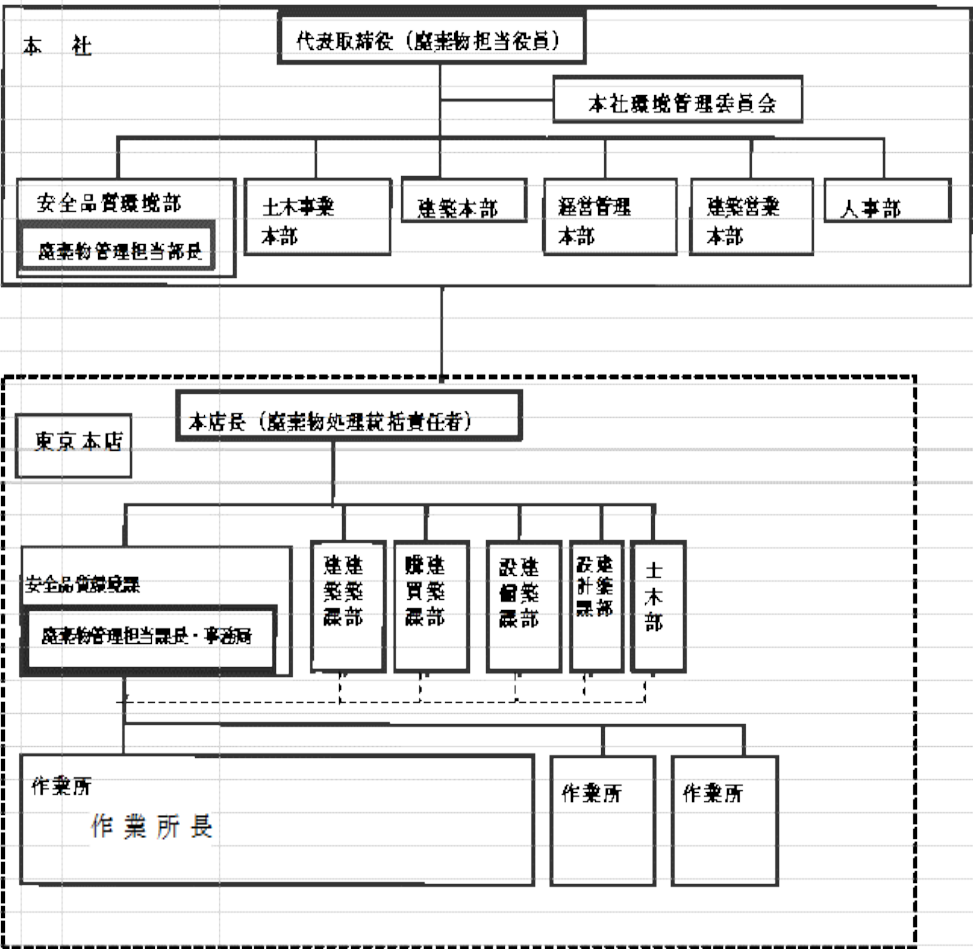
別添 1 処理工程図



別添 2 管理体制図

統括責任者		所属：株式会社松村組東京本店 職・氏名：本店長 瀧川 和志
廃棄物担当		組織名：建築課、安全品質環境課、購買課組織人数：7人
役割	支店環境 管理委員会	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を 行う上で必要な事項を検討する。 *委員長—支店長 *委員—関連部署部長 *事務局—安全品質環境課
	廃棄物処理 統括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○支店の廃棄物管理規程の策定・改定 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理 担当課長 (又は作業所長)	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理0委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ○その他関係する事項

廃棄物管理組織図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	排 出 量	24.95 t	3.30 t	0.24 t	181.20 t	2.00 t	2.87 t	40.90 t	4.34 t	6,990.48 t	1,238.00 t	788.85 t	45.90 t	694.23 t				
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	排 出 量	22.46 t	2.97 t	0.22 t	163.08 t	1.80 t	2.58 t	36.81 t	3.91 t	6,291.43 t	1,114.20 t	709.97 t	41.31 t	624.81 t				
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
③中間処理	【前年度（令和5年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物				
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

[illegible]

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月26日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒290-0021	
住 所 千葉縣市原市山田橋2丁目3番地18	
氏 名 株式会社帝設備 代表取締役 齋藤 俊輔	
電話番号 0436-43-1252	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社帝設備
事業場の所在地	千葉縣市原市山田橋2丁目3番地18
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D08－設備工事業
② 事業の規模	完成工事高 2,002,507千円
③ 従業員数	23名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各現場 汚泥 廃油 廃プラスチック 金属くず ガラス・陶器くず アスファルト・コンクリートがらがれき類 建設混合廃棄物 がれき類（石棉含有産業廃棄物） 委託処理 中間処理業者 脱水、分離 破砕、切断等 委託 再生 埋立

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役社長
(処理計画統括責任者)

取締役工事部長

工事部
各現場担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別紙集計表の通り	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 工法の改善 ・ 実寸発注の実施 ・ 余剰材の引き取り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※別紙集計表の通り	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 梱包材の簡素化。 ・ 安全衛生協議会等で産業廃棄物の抑制案を検討・実施。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 金属くず、ガラス陶磁器、廃プラスチック等の分別を各現場で作業員・協力業者へ周知。 ・ 分別依頼のポスター掲示。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 前年同様、分別に関する周知・依頼をする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別紙集計表の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 優良認定処理業者、再生利用業者へ処理委託を優先的に依頼。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※別紙集計表の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・産業廃棄物を昨年よりも減らすことを意識して施工を行う。 ・継続して優良認定処理業者、再生利用業者へ処理委託を優先的に依頼する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙(管理体制)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	39.3 t	0.3 t
	(これまでに実施した取組) ・ 工法の改善 ・ 実寸発注の実施 ・ 余剰材の引き取り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 梱包材の簡素化。 ・ 安全衛生協議会等で産業廃棄物の抑制案を検討・実施。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 金属くず、ガラス陶磁器、廃プラスチック等の分別を各現場で作業員・協力業者へ周知。 ・ 分別依頼のポスター掲示。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 前年同様、分別に関する周知・依頼をする。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

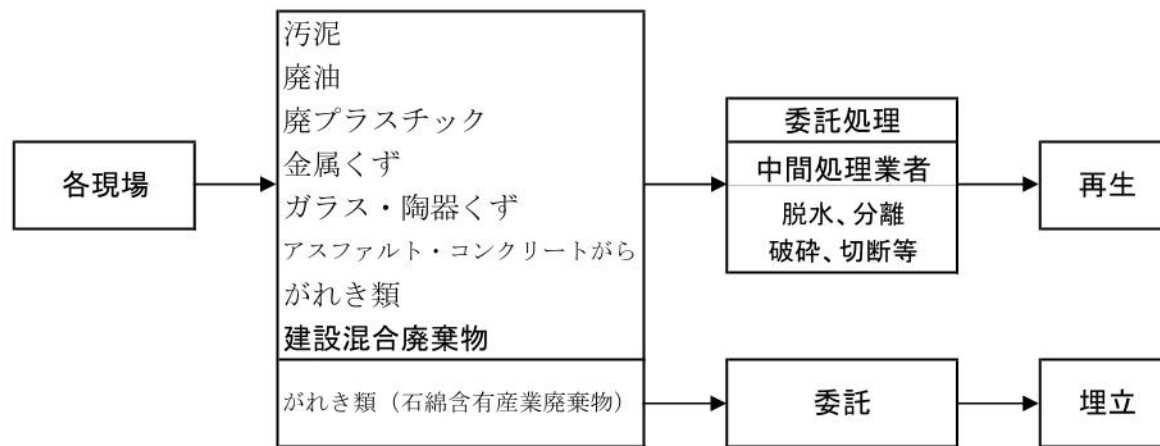
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 優良認定処理業者、再生利用業者へ処理委託を優先的に依頼。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・産業廃棄物を昨年よりも減らすことを意識して施工を行う。 ・継続して優良認定処理業者、再生利用業者へ処理委託を優先的に依頼する。		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。





(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	金属くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	建設混合廃棄物
	排出量	39.3 t	0.3 t	0.9 t	5.8 t	3.0 t	77.8 t	2232.7 t	1877.5 t	270.3 t	10.9 t
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	金属くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	建設混合廃棄物
	排出量	40 t	0 t	0.5 t	5 t	1 t	75 t	2100 t	1700 t	50 t	10 t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

[illegible]

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

[illegible]

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

[illegible]

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]

(第5面)

[illegible]

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月24日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒273-0005	
住 所 千葉県船橋市本町2-10-14 船橋サウスビル	
氏 名 ミサワホーム株式会社 千葉県・茨城支社 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 千葉県・茨城支社長 伊藤 正博	
電話番号 047-432-3311	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	ミサワホーム株式会社 千葉県・茨城支社
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事業
② 事業の規模	売上高：4,302億円
③ 従業員数	2,893名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	コンがら・アスコンがら・がれき類 → 破砕 → リサイクル ガラス・陶磁器くず → 破砕 → リサイクル 廃プラスチック類 → 破砕・溶融・圧縮 → リサイクル 金属くず → 破砕・切断・圧縮 → リサイクル 紙くず → 破砕・圧縮 → リサイクル 木くず → 破砕 → リサイクル 繊維くず → 破砕・圧縮 → リサイクル ※ 各品目とも処理困難物については埋立処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
適正処理総括責任者:支社長 適正処理総括管理者:設計・建設統括部長 適正処理推進責任者:建設部長 適正処理推進者:現場管理者	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	126.1 t	56.6 t
	(これまでに実施した取組) ①ゼロエミッションの実施 ②手壊し分別解体の推進 ③リサイクル率の高い処分業者の選定 ④優良業者認定制度の認定業者への委託		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	119.8 t	53.7 t
	(今後実施する予定の取組) ①ゼロエミッションの実施 ②手壊し分別解体の推進 ③リサイクル率の高い処分業者の選定 ④優良業者認定制度の認定業者への委託		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (解体) 施工現場で7品目に分別するとともに、アスベスト含有廃棄物は、他の廃棄物に混入しないように分別する。 (新築) 施工現場で10品目に分別した廃棄物を資源循環センターにて30品目に分類する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (解体) 施工現場で7品目に分別するとともに、アスベスト含有廃棄物は、他の廃棄物に混入しないように分別する。 (新築) 施工現場で10品目に分別した廃棄物を資源循環センターにて30品目に分類する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	全処理委託量	126.1 t	56.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	121.4 t	56.6 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	①中間処理業者の施設確認を実施。		
	②リサイクル率の高い処理施設を選定。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	全処理委託量	119.8 t	53.7 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	115.3 t	53.7 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	①優良認定処理業者の採用推進。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物		
		排出量	850.2 t	6.1 t	4.6 t	421.6 t	1500.9 t	54.4 t	65.5 t	t	
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物		
排出量		807.7 t	5.8 t	4.4 t	400.6 t	1425.9 t	51.7 t	62.2 t	t		
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物		
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	②計画	【目標】									
産業廃棄物の種類		木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物			
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t		
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
	全処理委託量	850.2 t	6.1 t	4.6 t	421.6 t	1500.9 t	54.4 t	65.5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	411.8 t	t	t	t	406.1 t	t	65.5 t	t
	再生利用業者への処理委託量	850.2 t	5.8 t	4.6 t	379.8 t	1500.9 t	52.7 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
	全処理委託量	807.7 t	5.8 t	4.4 t	400.6 t	1425.9 t	51.7 t	62.2 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	391.2 t	t	t	t	385.8 t	t	62.2 t	t
	再生利用業者への処理委託量	807.7 t	5.5 t	4.4 t	360.9 t	1425.9 t	50.1 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月24日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒273-0005
住 所 千葉県船橋市本町2-10-14 船橋サウスビル
氏 名 ミサワホーム株式会社 千葉・茨城支社
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
千葉・茨城支社長 伊藤 正博
電話番号 047-432-3311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ミサワホーム株式会社 千葉・茨城支社
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

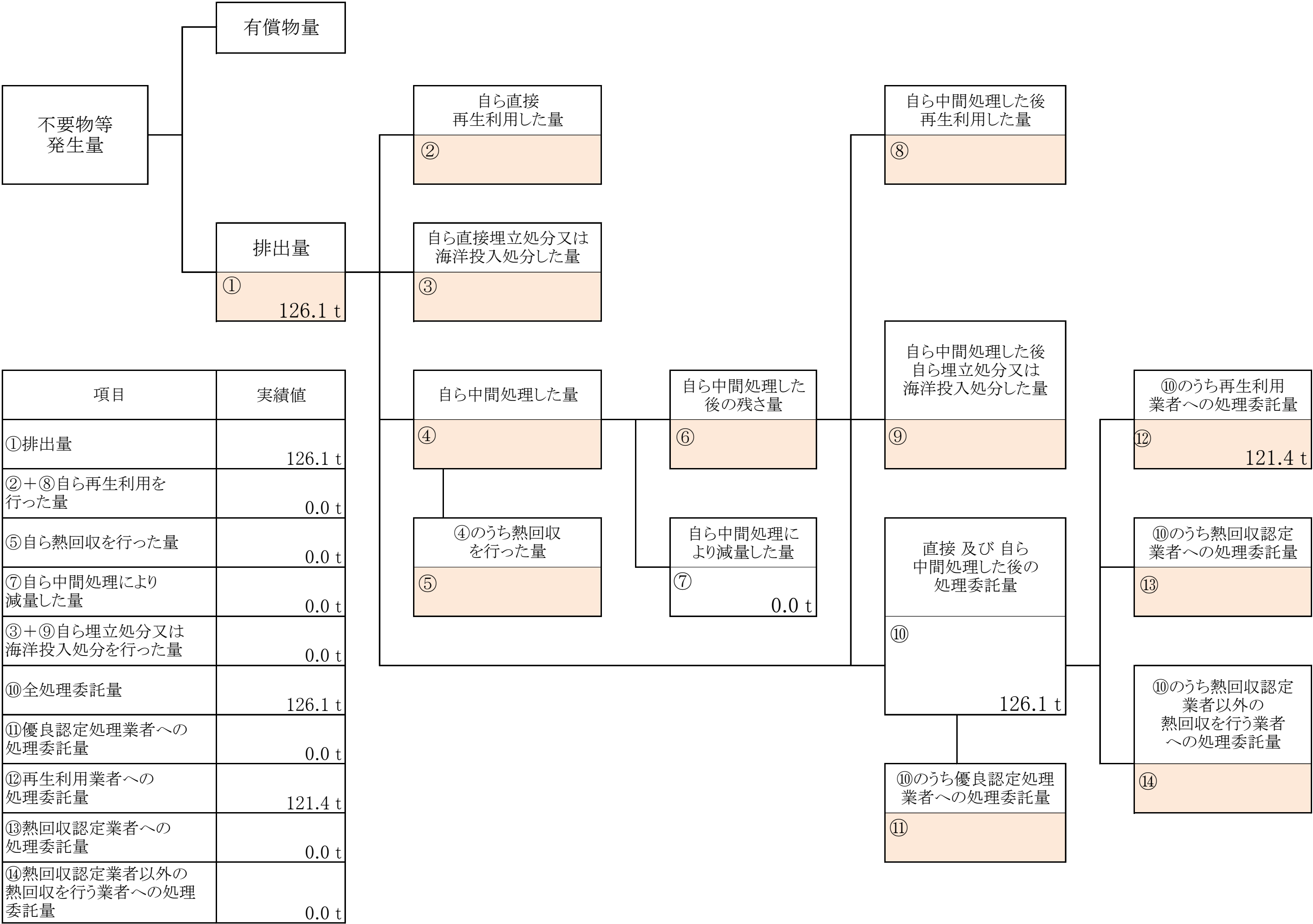
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2882.0t	全処理委託量	2882.0t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	721.0t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	2790.5t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

※事務処理欄

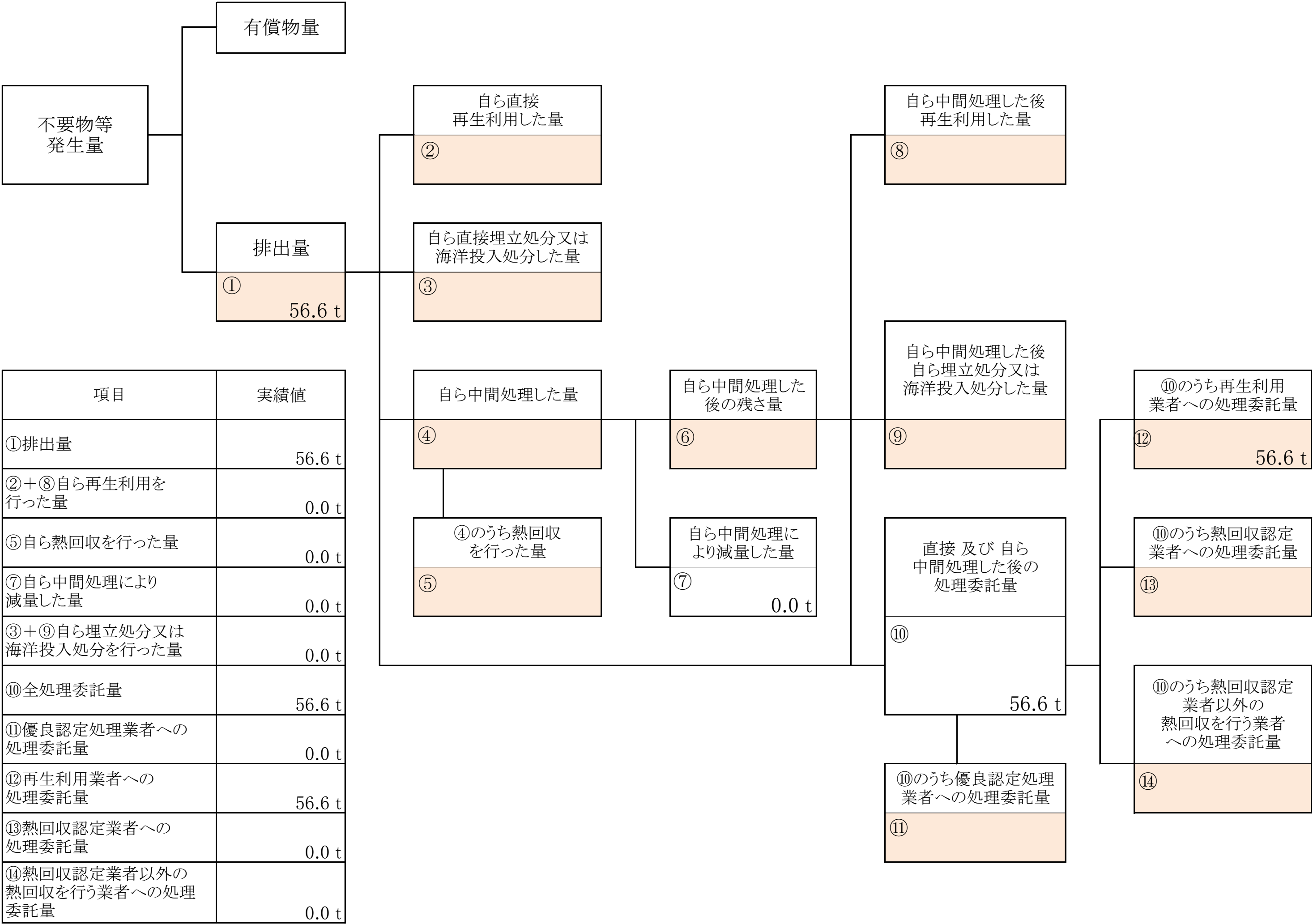
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



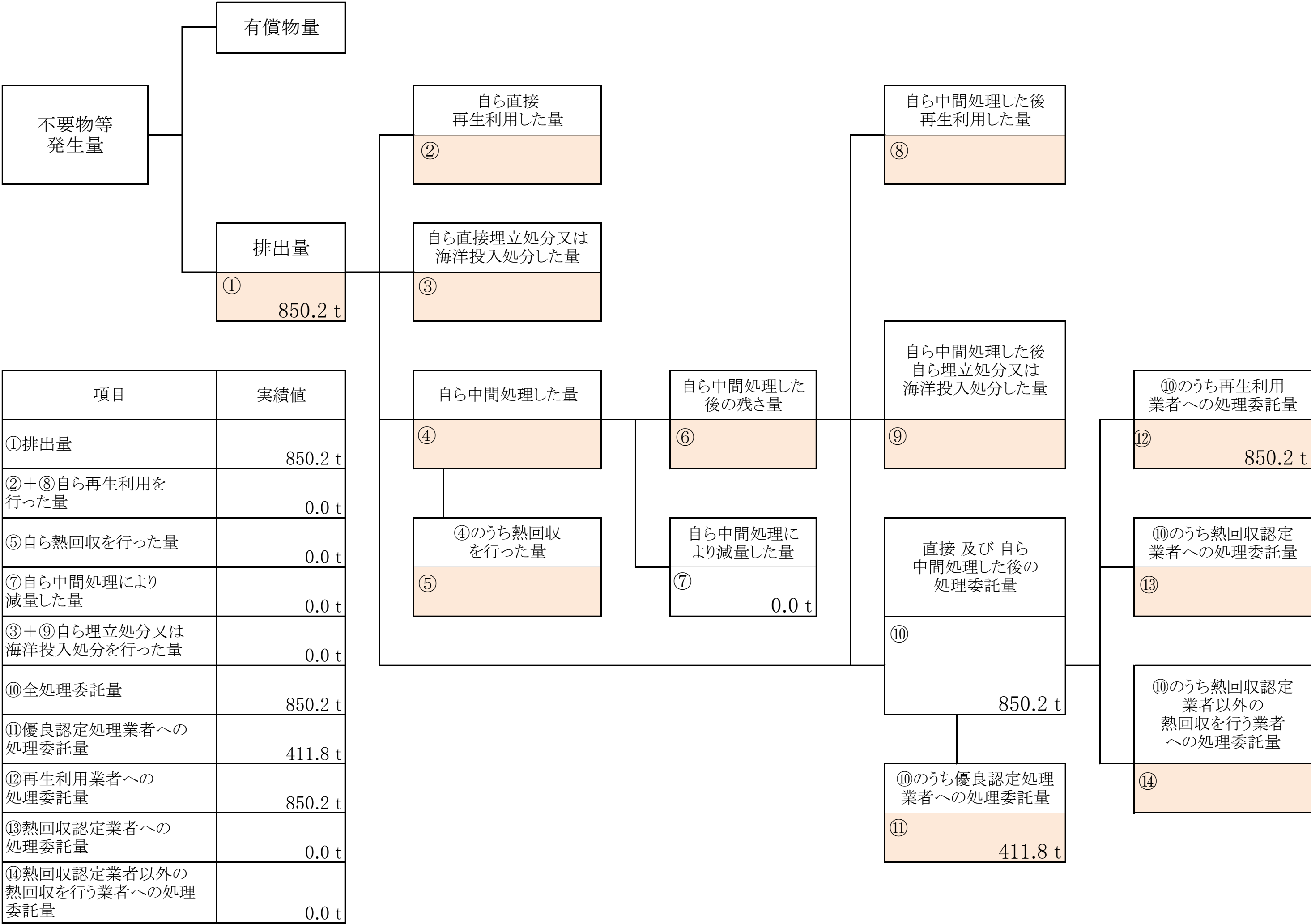
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



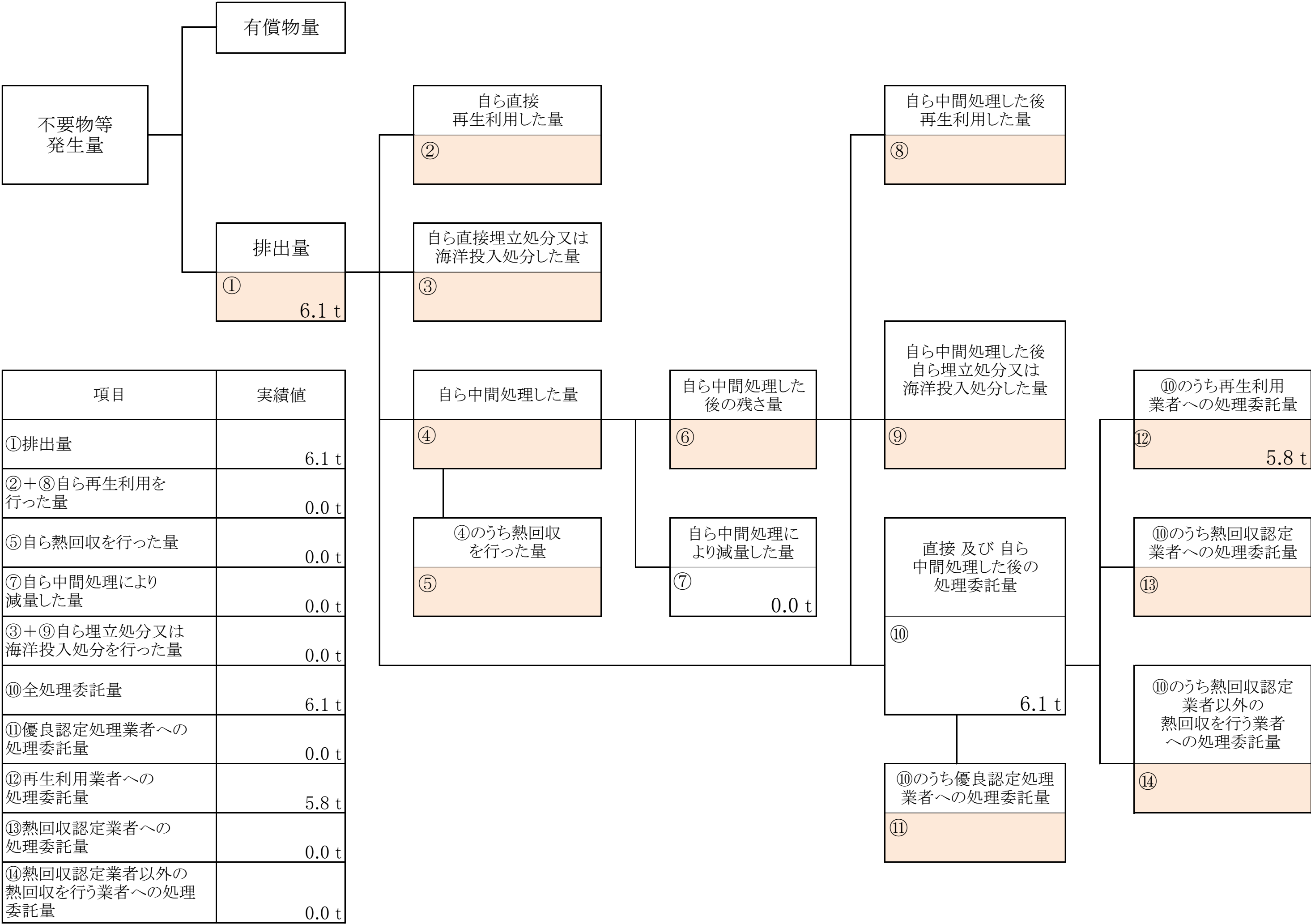
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



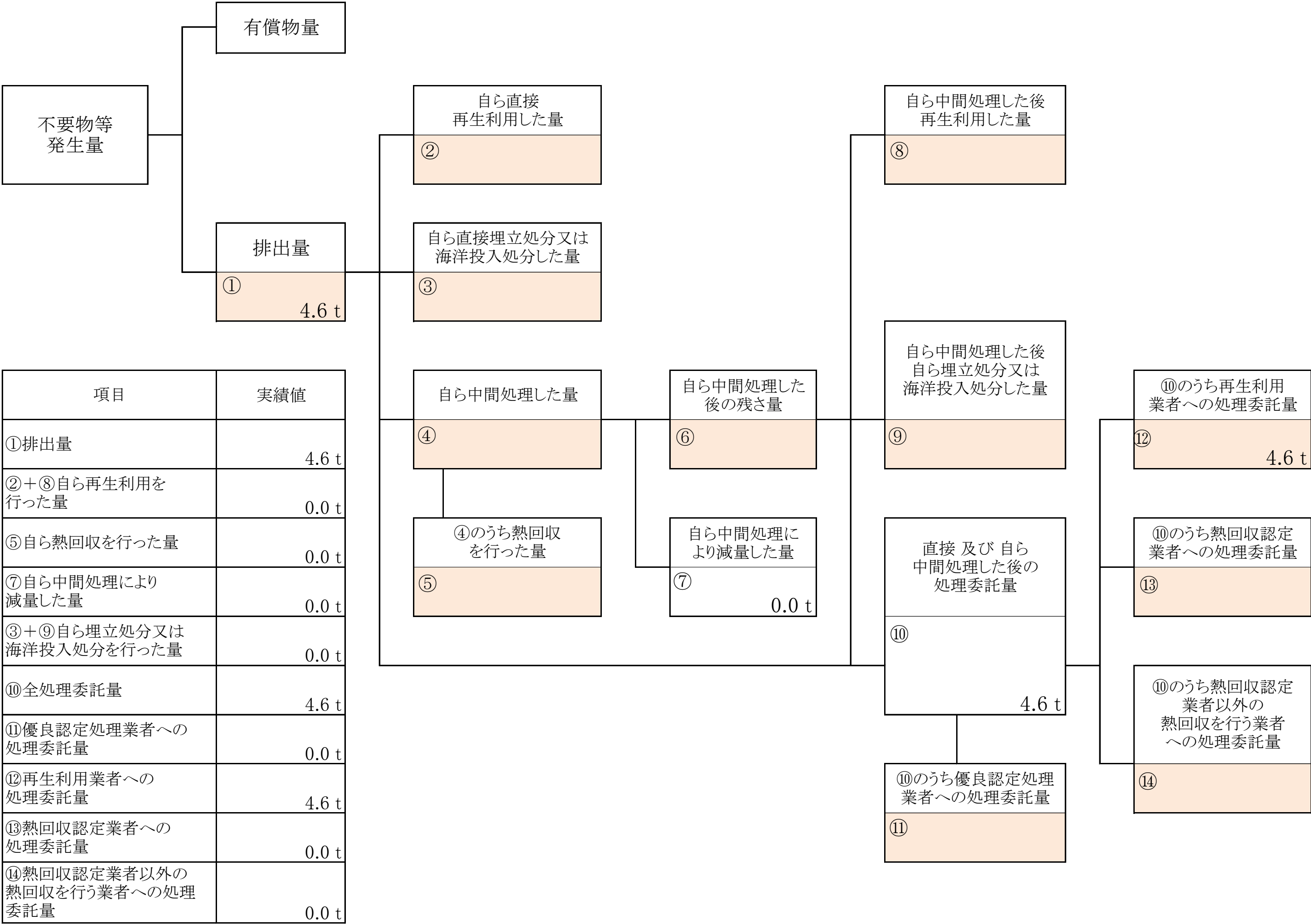
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



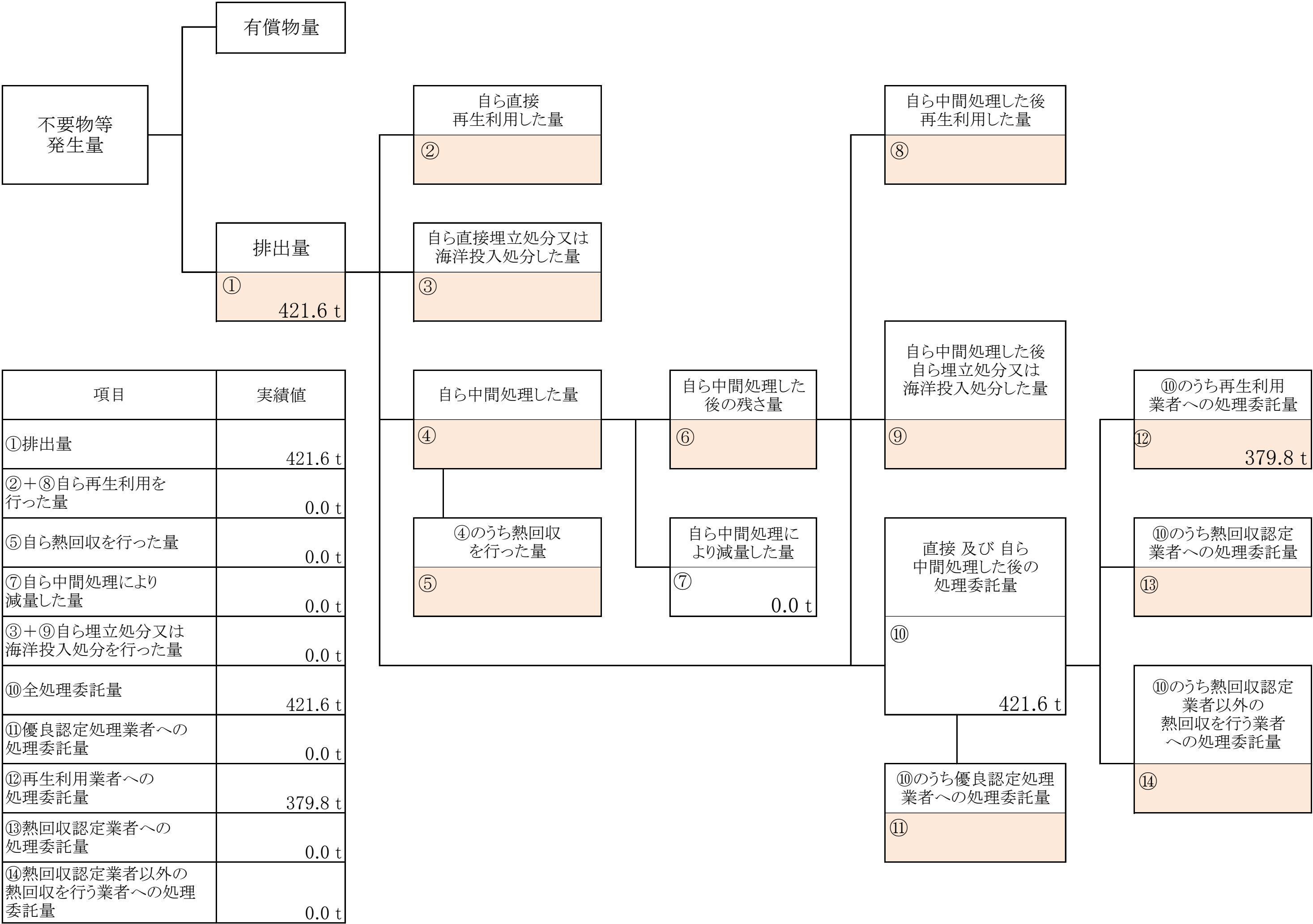
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



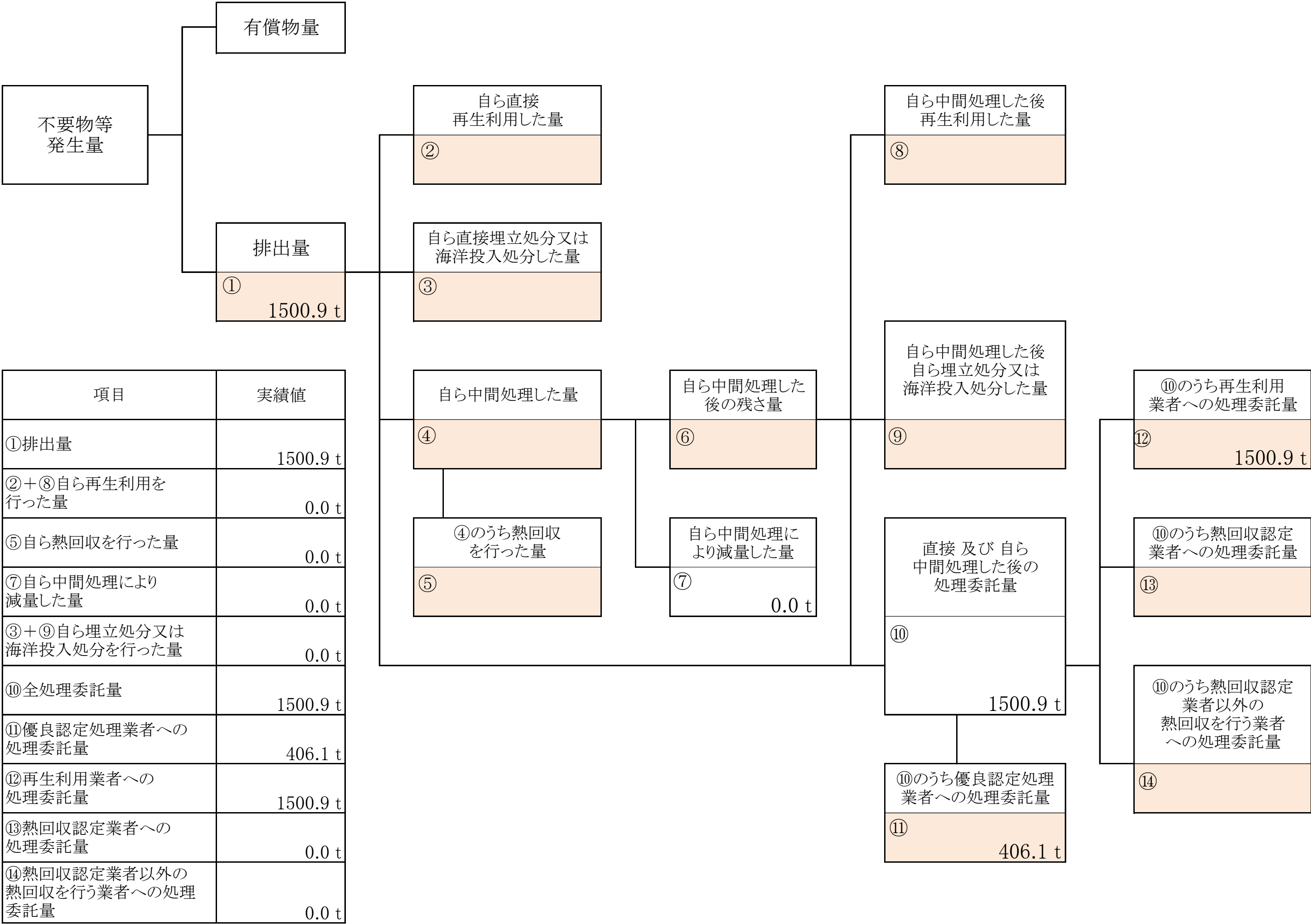
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)



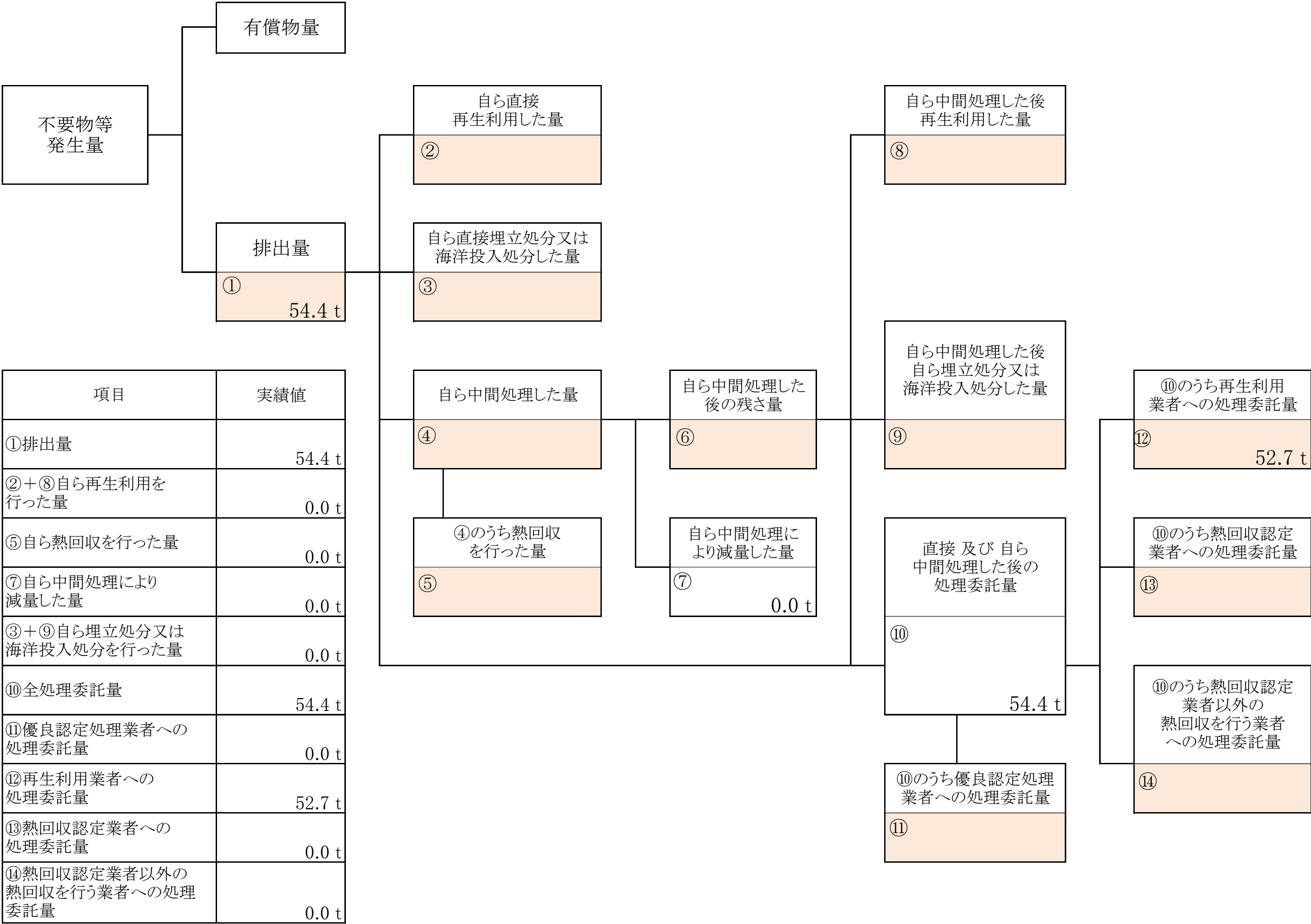
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



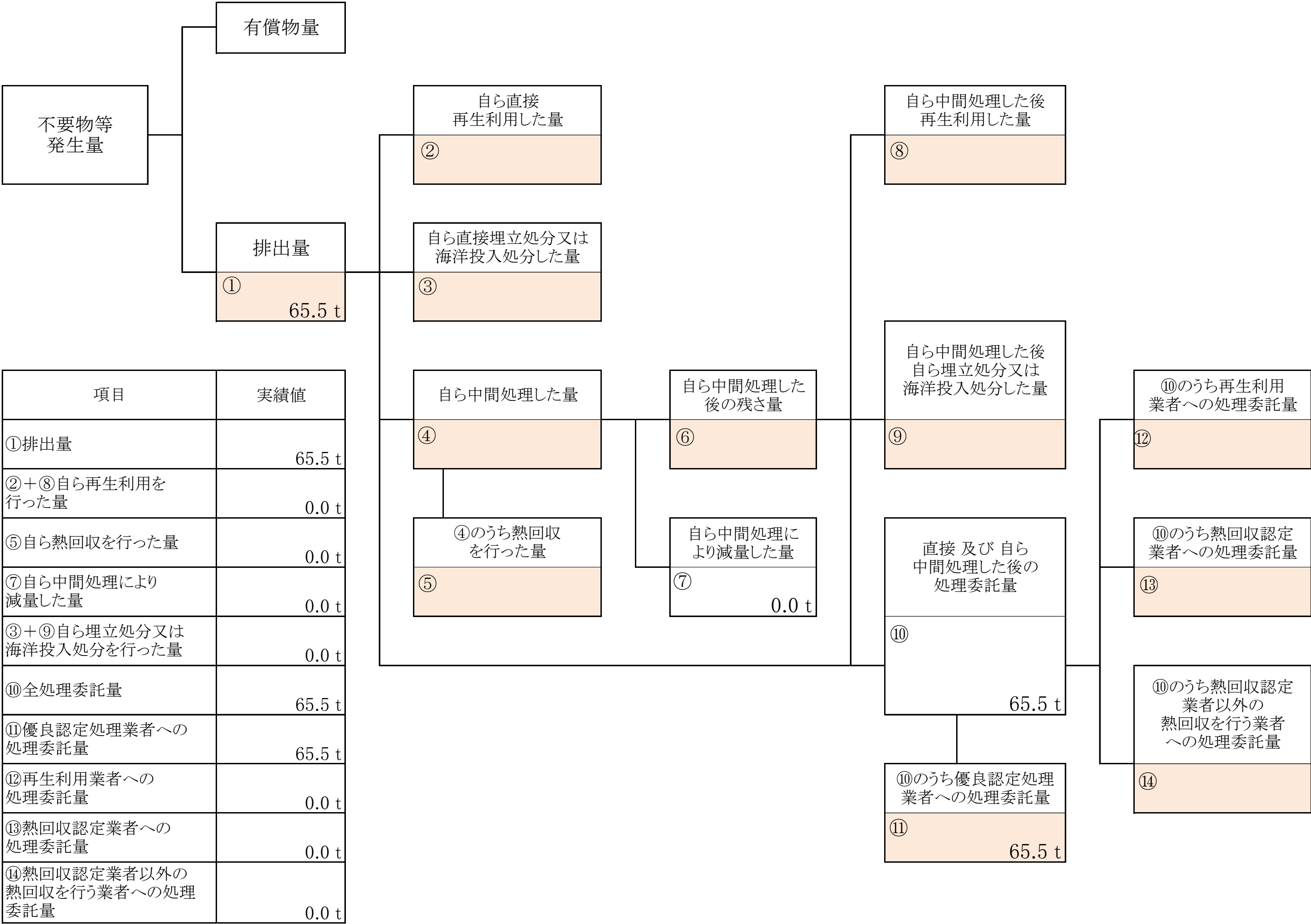
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合廃棄物)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月20日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 338-0007
住 所 埼玉県さいたま市中央区円阿弥7-7-8
法人名 ミサワリフォーム関東株式会社
代表者 島田 直人
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 048-677-6031

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ミサワリフォーム関東株式会社千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市稲毛区園生町 3 8 8 - 1 3
計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類： 建設業 中分類： 総合工事業
②事業の規模	39億2千5百万円
③従業員数	85名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	県内排出事業場→廃プラスチック・木くず・金属くず・紙くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・繊維くず・がれき類→委託処理（中間処理：破碎・圧縮）→委託処理（最終処分） 県内排出事業場→石綿含有産業廃棄物→委託処理（最終処分）

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 廃棄物処理適正処理統括（代表取締役）→廃棄物適正処理推進管理者（建設推進本部 執行役員）→廃棄物適正処理推進者（千葉建設部長）			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	排出量	203.5 t	56.1 t
	（これまでに実施した取組） 現場での分別		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	排出量	190 t	50 t
	（今後実施する予定の取組） 重ね張りを積極的に提案し、解体作業を少なし、廃棄物の量を減らす		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ガラ袋を複数枚用意し、品目ごとに廃棄物を入れるようにしている		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の事柄を引き続きを行う		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	全 処 理 委 託 量	203.5 t	56.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	191.9 t	50 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 現場での分別		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	全 処 理 委 託 量	190 t	50 t
	優良認定処理業者への処理委託量	180 t	45 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 重ね張りを積極的に提案し、解体作業を少なし、廃棄物の量を減らす		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
		排 出 量	0.2 t	119.4 t	337.5 t	5 t	177.3 t	152.5 t	224.7 t	88.5 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
		排 出 量	0.2 t	100 t	300 t	4.7 t	160 t	150 t	200 t	75 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず	石綿含有産業廃棄物	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	全処理委託量	0.2 t	119.4 t	337.5 t	5 t	177.3 t	152.5 t	224.7 t	88.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t	104.8 t	314.3 t	4.7 t	161.8 t	152.5 t	203.6 t	76.4 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	全処理委託量	0.2 t	100 t	300 t	4.7 t	160 t	150 t	200 t	75 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t	90 t	280 t	4.4 t	150 t	150 t	190 t	70 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 19日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒104-0051	
住 所 東京都中央区佃二丁目1番6号	
氏 名 三井住友建設株式会社 東京土木支店	
執行役員支店長 大場 聡	
電話番号 03-4582-3134	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	三井住友建設株式会社 東京土木支店
事業場の所在地	東京都中央区佃二丁目1番6号
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	34,140百万円（令和5度元請完成工事高）
③ 従業員数	269名（令和6年3月31日現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1 産業廃棄物処理工程参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
別紙-2 建設副産物管理組織図参照		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	1927.2 t	4.9 t
	(これまでに実施した取組)		
	・計画、施工段階での発生抑制の検討 ・廃棄物の発生量を減少できる工法を採用する。(プレキャスト化) ・仮設材（型枠材等）の転用率向上に努める。 ・梱包材の簡易化及び再利用の向上。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	50 t	40 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・がれき類、建設汚泥の発生抑制に努める。 ・工事関係者の意識向上教育の実施。		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・作業所条件に適合した分別方法、分別品目を決める。 ・分別ヤードの確保と分別表示の実施。 ・分別品目の細分化による混合廃棄物の縮減。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・更なる定期的な教育訓練の実施。 ・廃プラスチック類の更なる分別、再生プラスチック類を分別しリサイクル率を推進。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 自社において建設廃棄物の再生利用した作業所はなかった。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 自社において建設廃棄物の再生利用が行える場合は再生利用を行う。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 自社において建設廃棄物の中間処理は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 自社において建設廃棄物の中間処理が行える場合は中間処理を行う。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・自社で埋立処分または海洋投棄処分を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後、自社で埋立処分または海洋投棄処分を行う予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	1927.2 t	4.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	4.9 t
	再生利用業者への処理委託量	1927.2 t	4.9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・支店独自に取引実績、業績、電子対応等を加味し、委託業者認定リストを作成し、優先的に委託先を決めている。 ・処理委託業者の中間処理施設のパトロールを実施し、適正処理が実行されていることを確認する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	50 t	40 t
	優良認定処理業者への処理委託量	20 t	40 t
	再生利用業者への処理委託量	50 t	40 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・優良認定処理業者及び認定熱回収施設設置者、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への処理委託率の増加を図る。		
	・リサイクル率の高い処理業者への委託率増加。		
	・「廃プラスチック類」と「再生プラスチック類」の分別回収に対応可能な処理業者への委託率増加。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

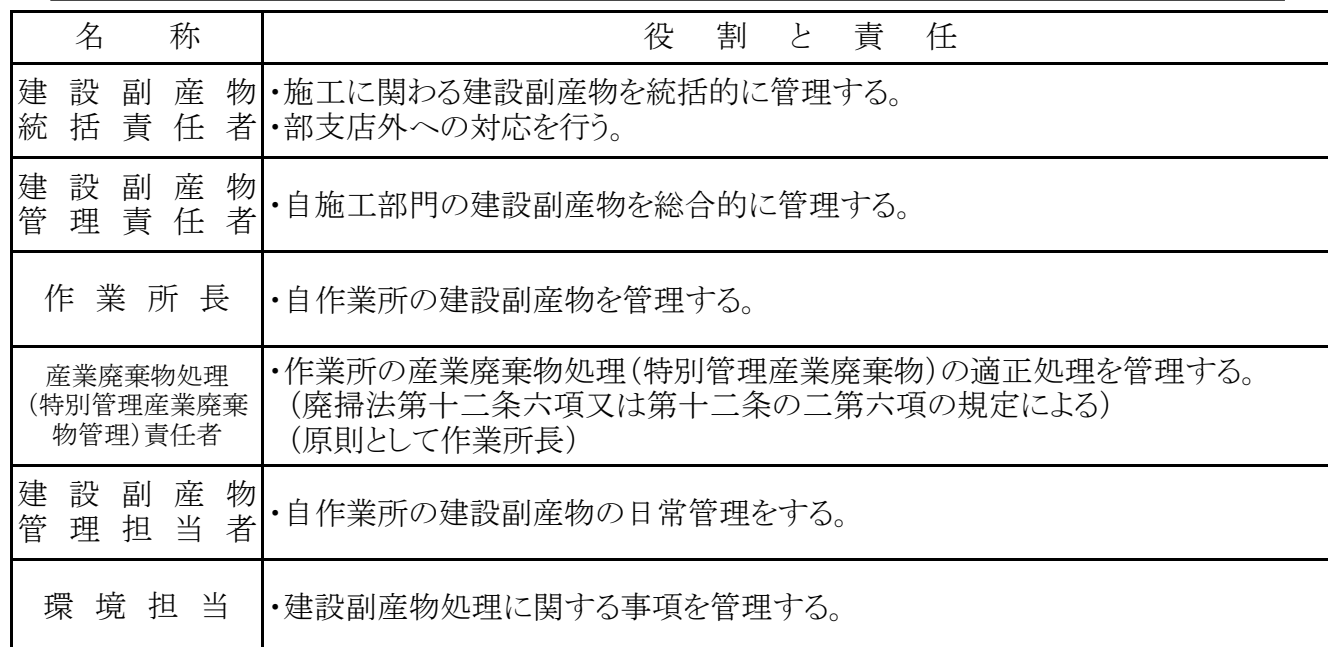
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
		排 出 量	0.24 t	33.45 t	32.4 t	1 t	0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
排 出 量		2 t	70 t	810 t	30 t	2 t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
	全処理委託量	0.24 t	33.45 t	32.4 t	1 t	0 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.24 t	33.45 t	0 t	1 t	0 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.24 t	33.45 t	32.4 t	1 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	がれき類	混合廃棄物	金属くず			
	全処理委託量	2 t	70 t	810 t	30 t	2 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2 t	70 t	280 t	30 t	2 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2 t	70 t	810 t	30 t	2 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

産業廃棄物の一連の処理の工程





産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 19日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒104-0051
住 所 東京都中央区佃二丁目1番6号
氏 名 三井住友建設株式会社 東京土木支店
執行役員支店長 大場 聡
電話番号 03-4582-3134

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

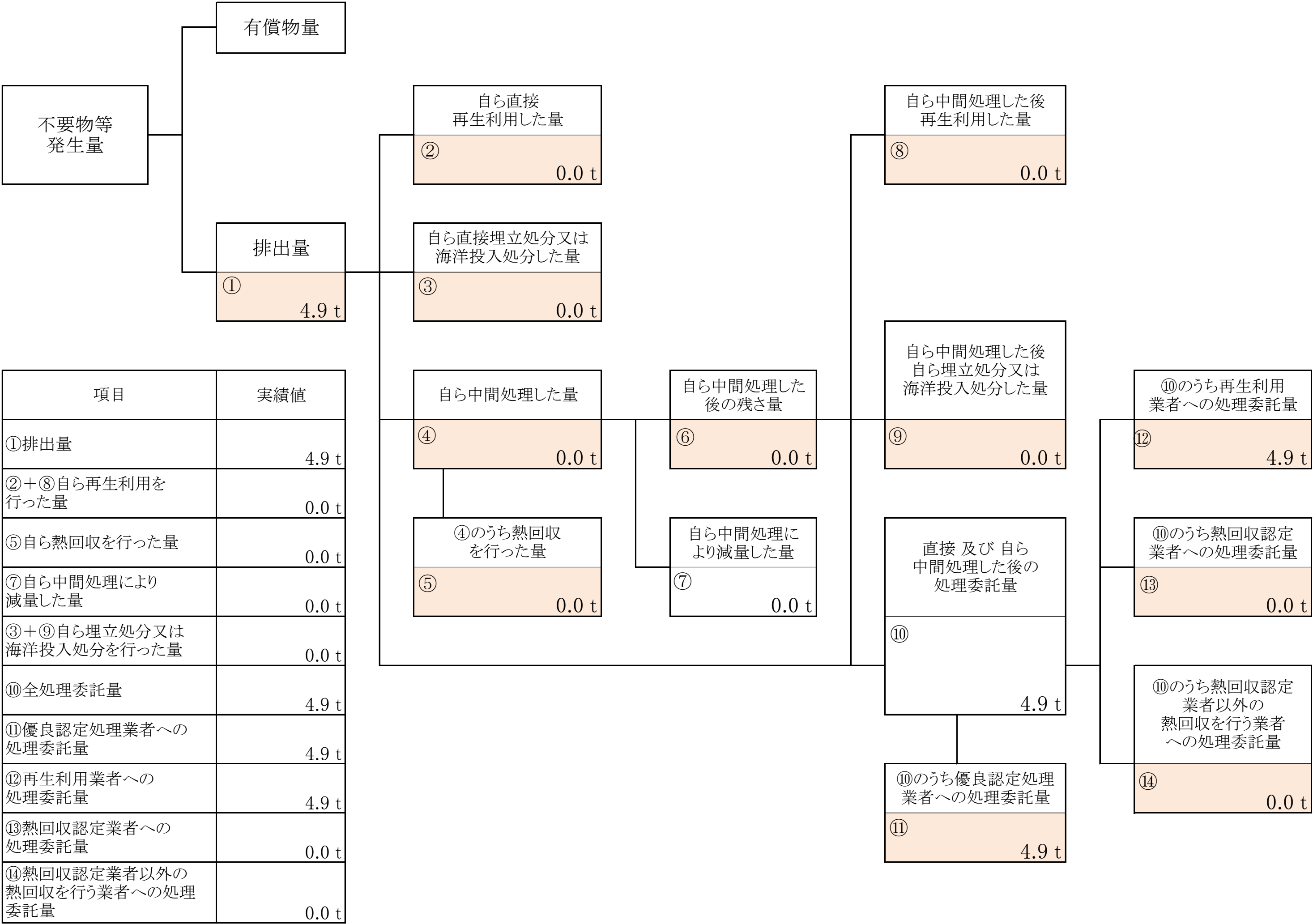
事業場の名称	三井住友建設株式会社 東京土木支店
事業場の所在地	東京都中央区佃二丁目1番6号
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2429.0 t	全処理委託量	2429.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	29.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	2429.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

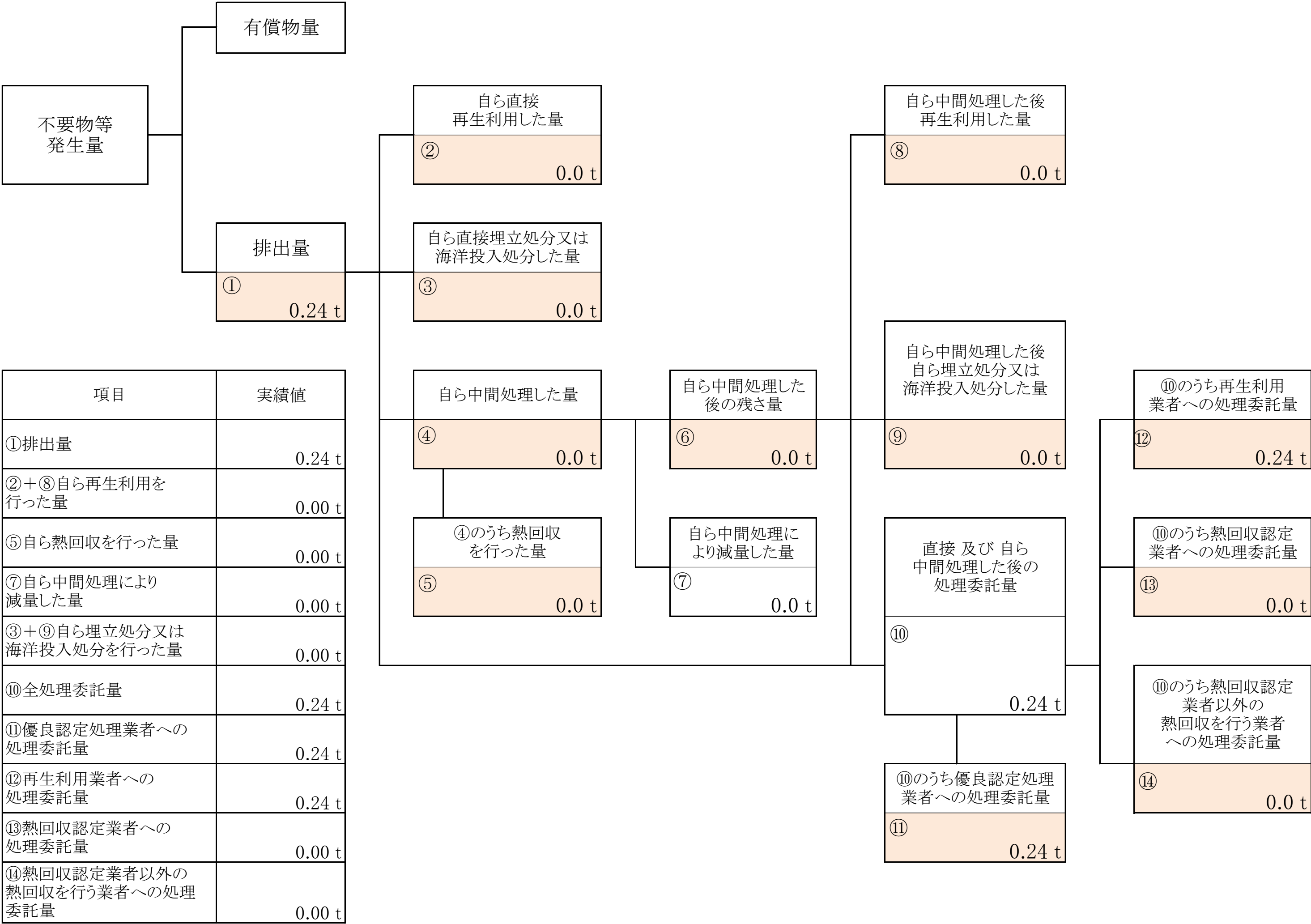
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



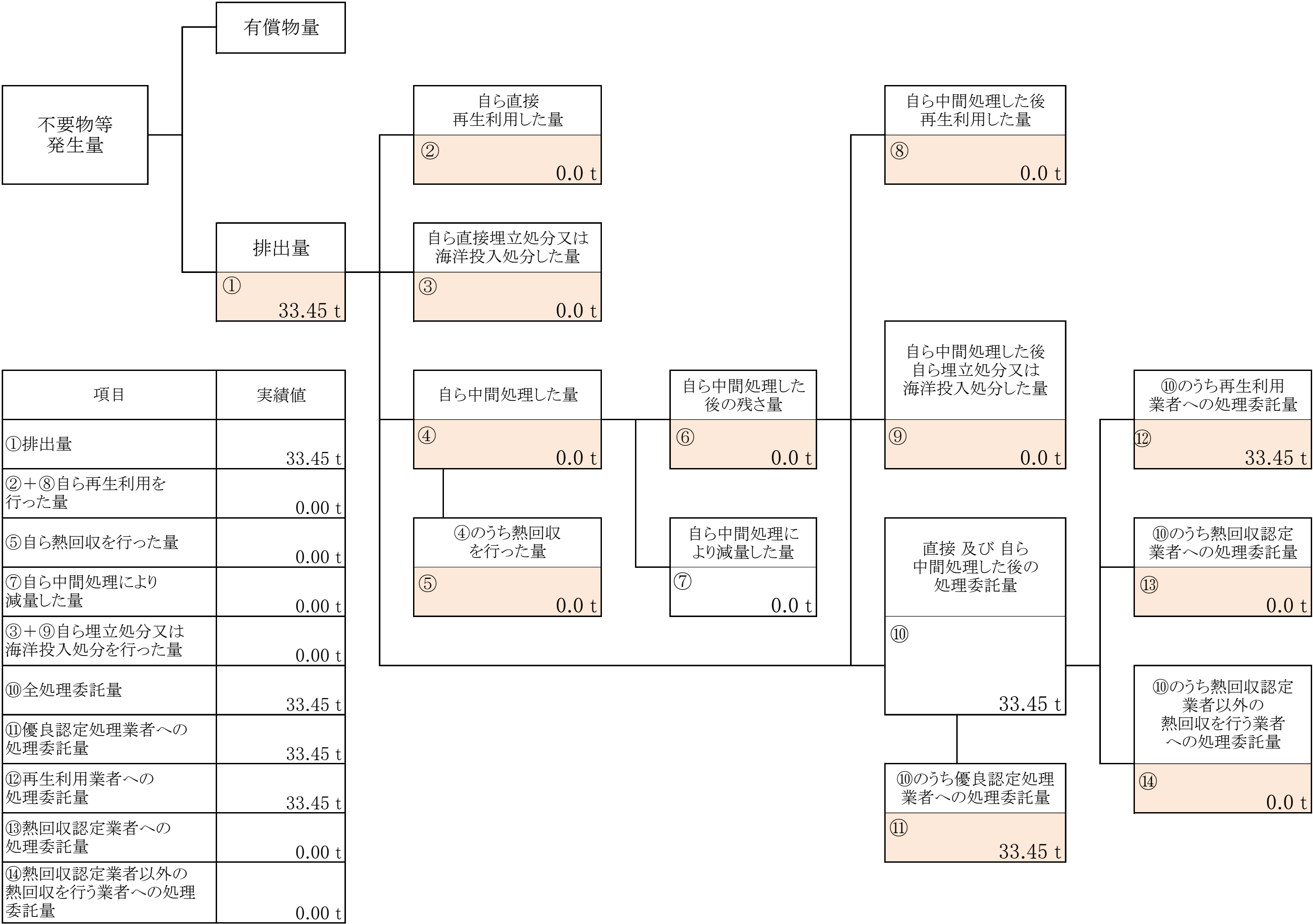
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



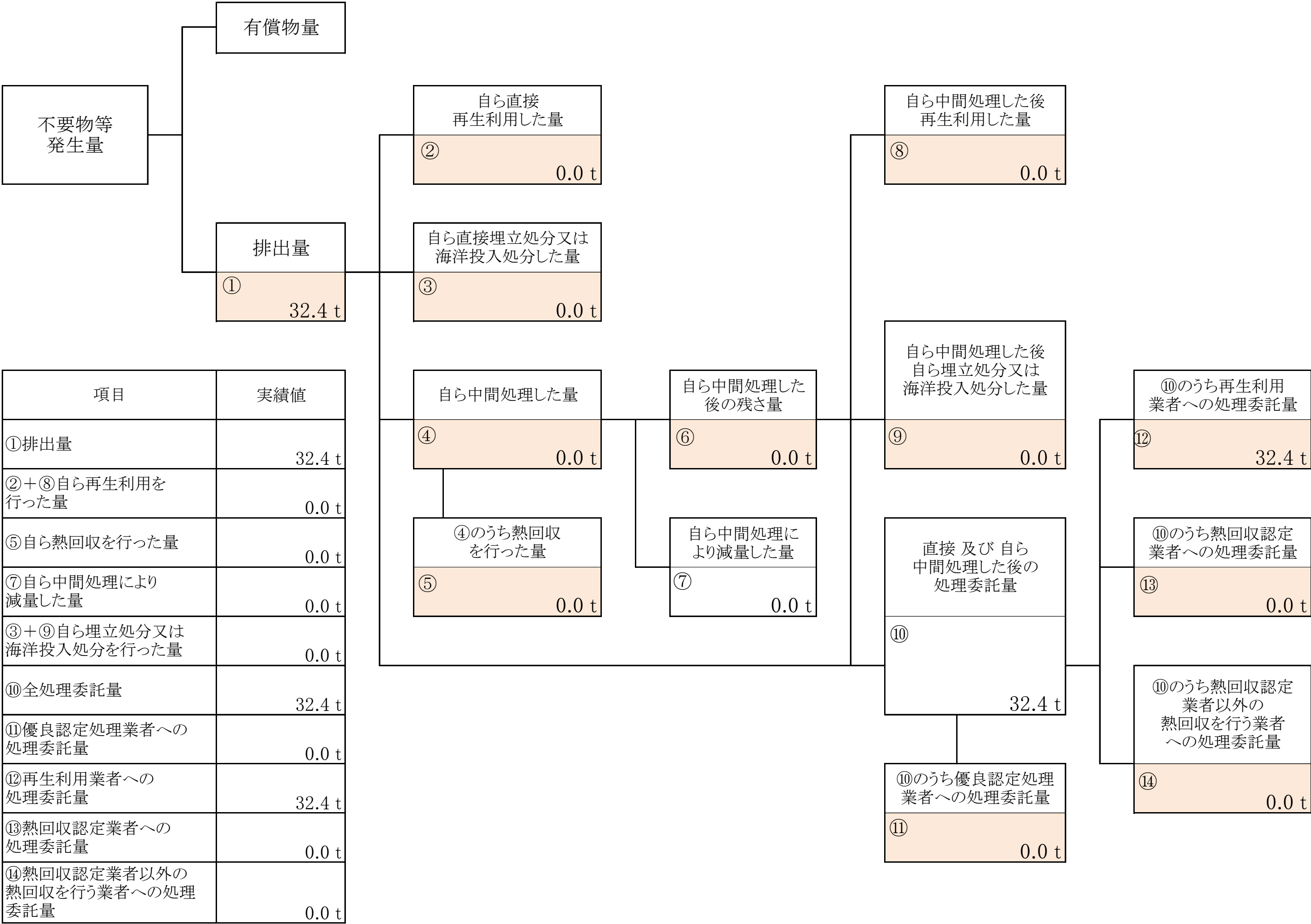
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



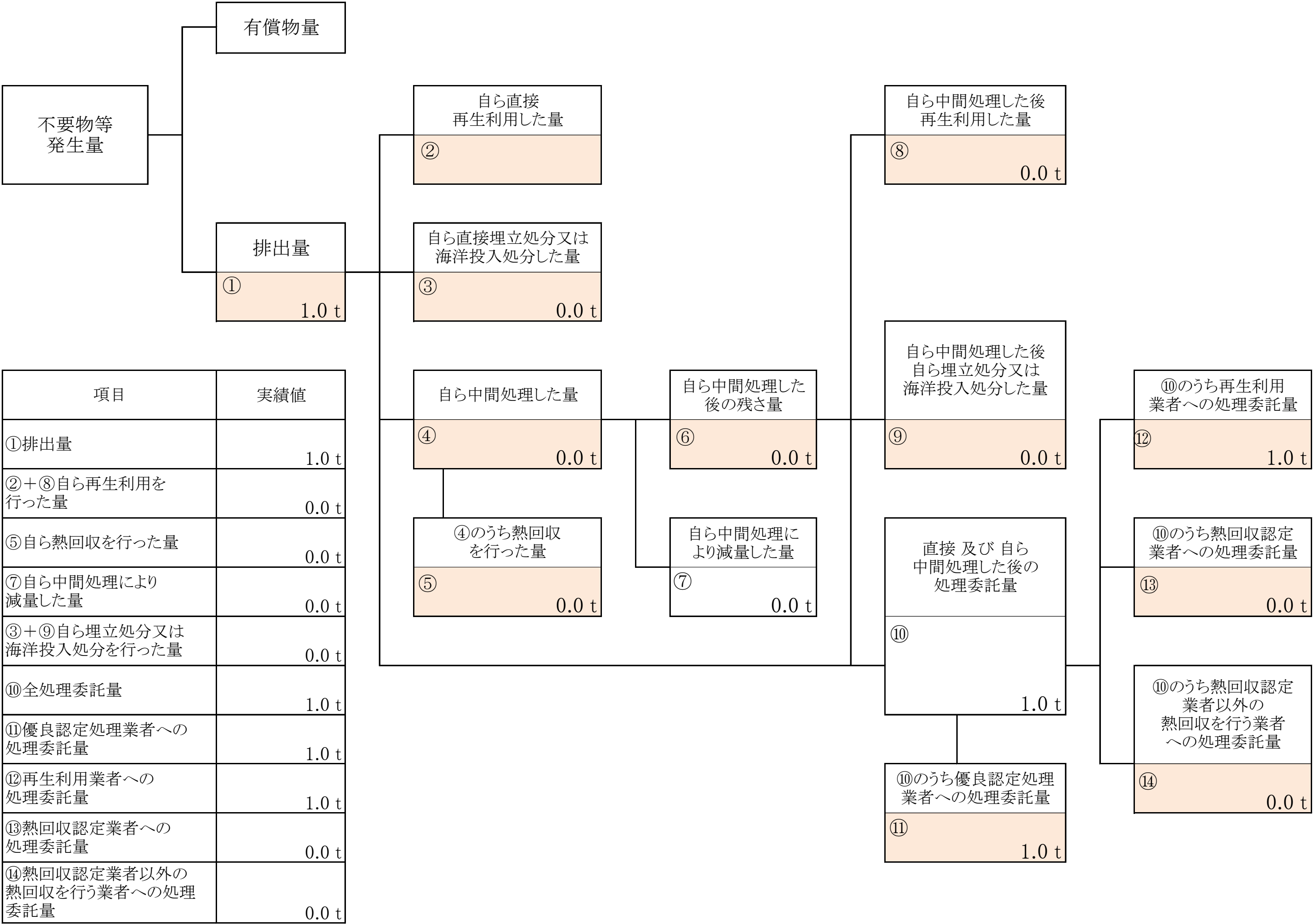
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



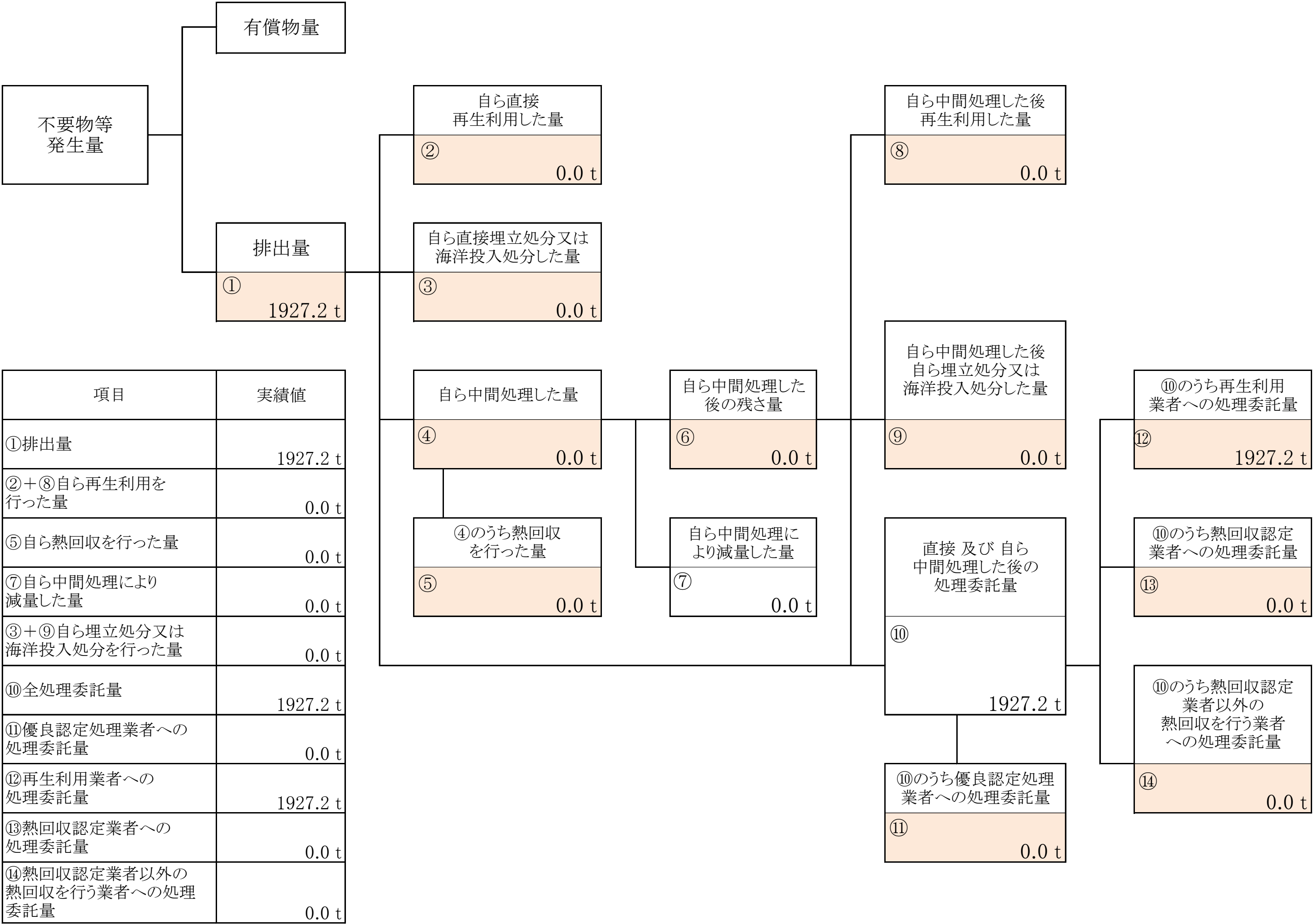
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合廃棄物)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
2024年 6月 5日	
千葉県知事 熊谷 俊人 殿	
提出者 住 所 千葉県美浜区中瀬 2 丁目 6 番地 1 名 称 三井住友建設株式会社東関東支店 代表者 支 店 長 川 崎 雄 二 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 043-299-0560	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	三井住友建設株式会社東関東支店
事業場の所在地	千葉県美浜区中瀬 2 丁目 6 番地 1
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	完成工事高19,709百万円(2023年度)
③従業員数	90人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙(1) 産業廃棄物の処理工程による

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙(2)管理体制図による

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	87.4 t	42.7 t
	(これまでに実施した取組) ・設計計画(意匠・構造・設備)で廃棄物の発生を抑制する工法を採用する。(工業化・システムユニット化) ・仮設材(型枠材)の転用率向上と断熱材打込型枠の採用 ・工場でプレカット加工の実施 ・梱包材の簡素化、再利用 ・気泡ソイルセメント柱列工法の採用による汚泥の発生量低減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	80.0 t	40.0 t
	(今後実施する予定の取組) 前年度の施策を継続して確実に実施していく。 ・設計計画(意匠・構造・設備)で廃棄物の発生を抑制する工法を採用する。(工業化・システムユニット化) ・仮設材(型枠材)の転用率向上と断熱材打込型枠の採用 ・工場でプレカット加工の実施 ・梱包材の簡素化、再利用 ・気泡ソイルセメント柱列工法の採用による汚泥の発生量低減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・主な分別品目は、建設汚泥、廃プラスチック、金属くず、がれき類 廃石膏ボード、電線くず、ダンボール、石綿含有産業廃棄物等 ・最終処分比率の低減を目指して、混合廃棄物原単位の目標を設定し分別に努めている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今年度も昨年度の品目を分別予定。 ・最終処分比率の低減を目指して、引き続き各工事毎に分別品目数と、混合廃棄物原単位の目標を設定し分別に努める。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
① 現 状	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類
	排 出 量	25.2 t	50.1 t	343.1 t
② 計 画	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類
	排 出 量	20.0 t	45.0 t	300.0 t
① 現 状	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物
	排 出 量	1,228.0 t	1,990.5 t	139.4 t
② 計 画	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物
	排 出 量	1,200.0 t	1,800.0 t	130.0 t
① 現 状	産業廃棄物の種類	紙くず・伐採伐根材・金属くず	石綿含有作業廃棄物	
	排 出 量	33.8 t	9.1 t	t
② 計 画	産業廃棄物の種類	紙くず・伐採伐根材・金属くず		
	排 出 量	30.0 t	8.0 t	t
① 現 状	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t	t	t
② 計 画	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t	t	t
① 現 状	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t	t	t
② 計 画	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t	t	t
① 現 状	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t	t	t
② 計 画	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t	t	t
① 現 状	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t	t	t
② 計 画	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t	t	t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	87.4 t	42.7 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	87.4 t	41.5 t
	再生利用業者への 処理委託量	87.4 t	42.7 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙（3）産業廃棄物の処理に関する事項（2023年度）		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず [※]
	全 処 理 委 託 量	80.0 t	40.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	80.0 t	40.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	80.0 t	40.0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙(4) 産業廃棄物の処理の委託に関する事項(2024年度)		
※事務処理欄			

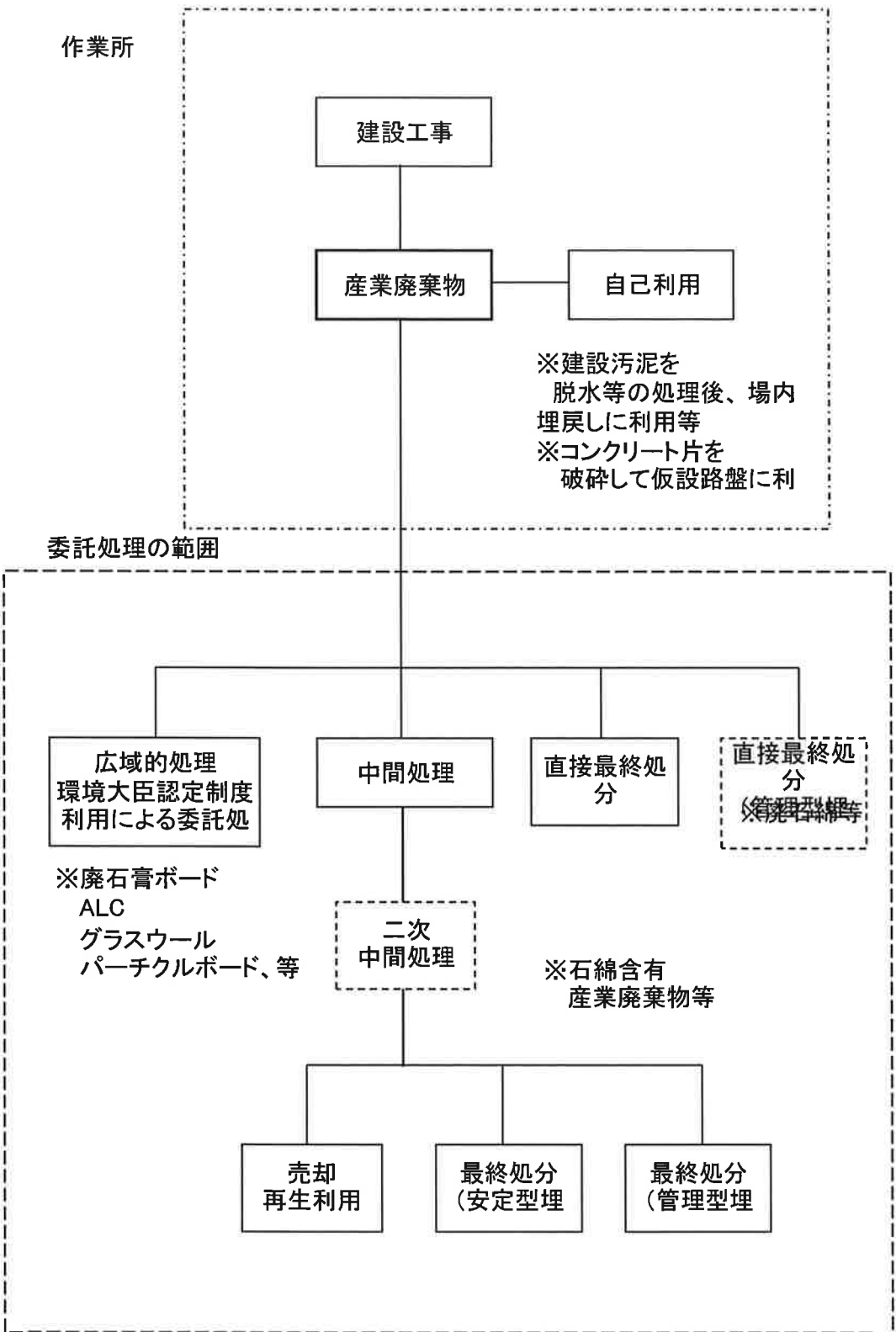
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状			
産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類
全 処 理 委 託 量	25.2 t	50.1 t	343.1 t
優良認定処理業者への処理委託量	25.2 t	50.1 t	343.1 t
再生利用業者への処理委託量	25.2 t	50.1 t	343.1 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t
②計画			
産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類
全 処 理 委 託 量	20.0 t	45.0 t	300.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	20.0 t	45.0 t	300.0 t
再生利用業者への処理委託量	20.0 t	45.0 t	300.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t
①現状			
産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物
全 処 理 委 託 量	1,228.0 t	1,990.5 t	139.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	942.7 t	2.7 t	137.1 t
再生利用業者への処理委託量	1,228.0 t	1,990.5 t	139.4 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t
②計画			
産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物
全 処 理 委 託 量	1,200.0 t	1,800.0 t	130.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	1,200.0 t	1,800.0 t	130.0 t
再生利用業者への処理委託量	1,200.0 t	1,800.0 t	130.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託			
①現状			
産業廃棄物の種類	紙くず・伐採伐根材・金属くず	石綿含有廃棄物	
全 処 理 委 託 量	33.8 t	9.1 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	9.8 t	9.1 t	t
再生利用業者への処理委託量	33.8 t	0.0 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t
②計画			
産業廃棄物の種類	紙くず・伐採伐根材・金属くず	石綿含有廃棄物	
全 処 理 委 託 量	30.0 t	8.0 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	30.0 t	8.0 t	t
再生利用業者への処理委託量	30.0 t	0.0 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t
①現状			
産業廃棄物の種類			
全 処 理 委 託 量	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t
②計画			
産業廃棄物の種類			
全 処 理 委 託 量	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t

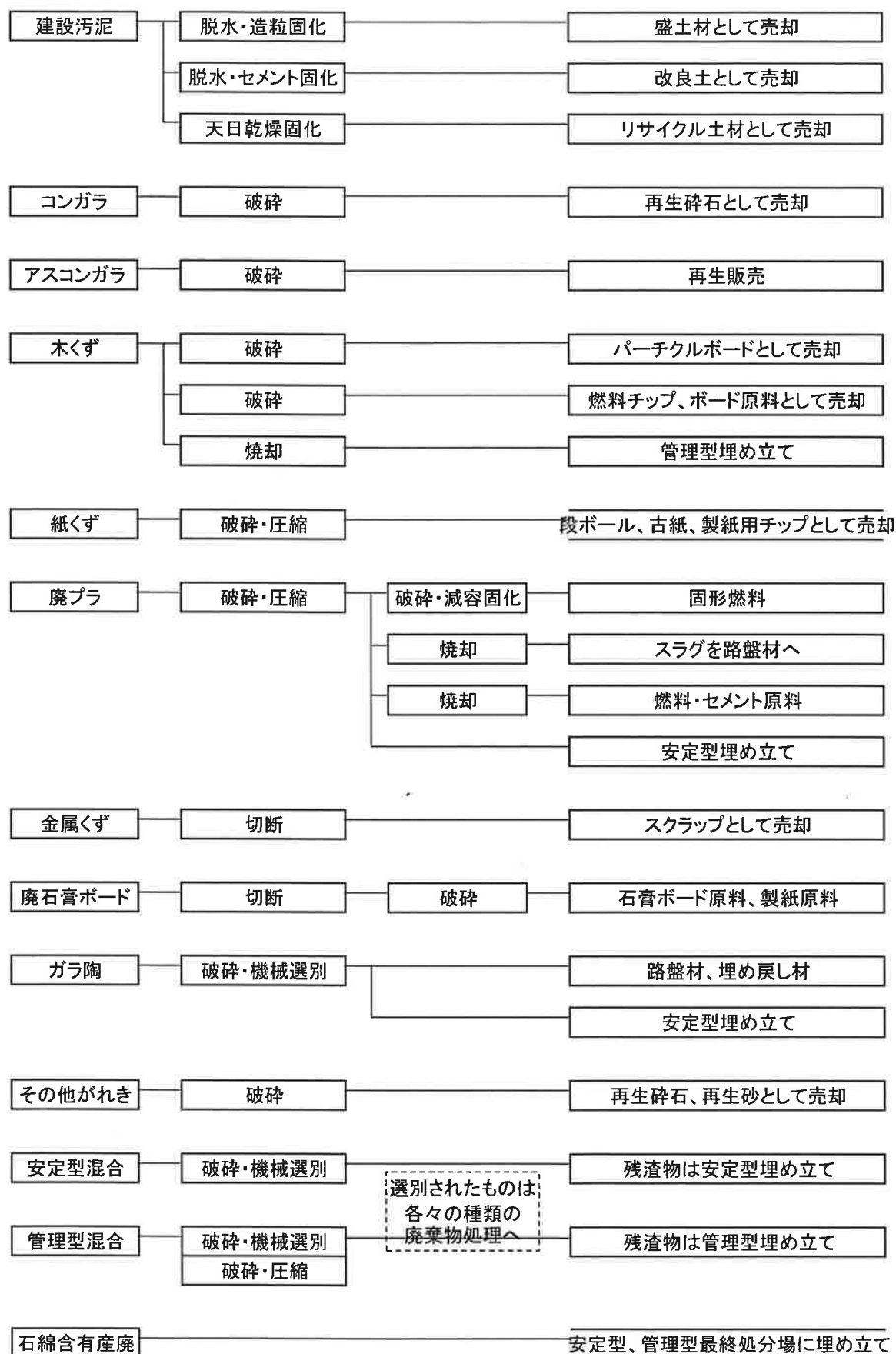
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理工程



廃棄物の種類別処理の工程

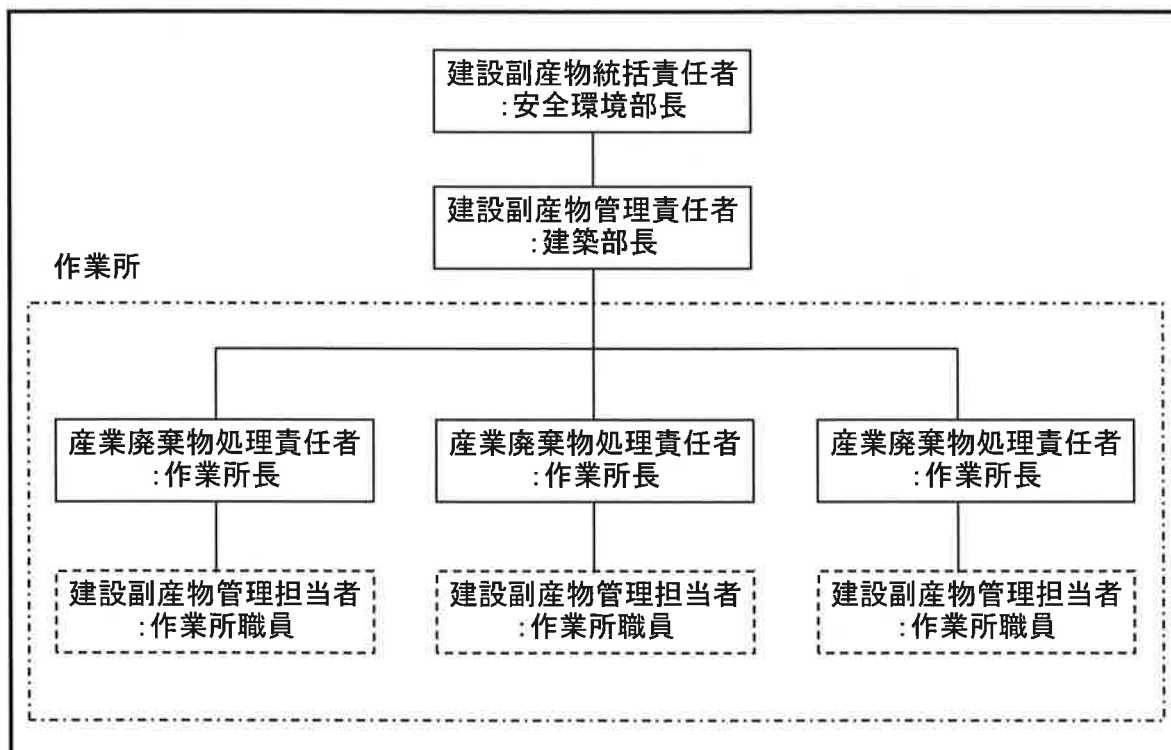


東関東支店の建設副産物に関する管理体制

名 称	役 割 と 責 任	職 名
建設副産物統括責任者	・施工に関わる建設副産物を総括的に管理する ・支店外への対応を行う	支店長が指名 原則、安全環境部長
建設副産物管理責任者	・施工部門の建設副産物を総合的に管理する	支店長が指名 原則、建築部長
産業廃棄物処理責任者	・作業所の産業廃棄物の適正処理を管理する	支店長が指名 作業所長
建設副産物管理担当者	・作業所の建設副産物の日常管理を行う	(作業所職員から作 業所長が指名)

東関東支店

管理体制図



産業廃棄物の処理の委託に関する事項(2023年度)

・契約に当たっては、許可証の内容、現地確認等により以下の内容を確認した

収集運搬会社	・発生場所と処分場所(中間処理施設、最終処分場)の両方の都道府県、政令市の許可を持っていること ・許可の期限(委託中に切れる場合は、更新を確認すること) ・委託する廃棄物の種類の許可を持っていること ・積み替え・保管施設経由の有無 ・許可車両の一覧表を持っていること ・なるべく電子マニフェストに対応できること
中間処理、 最終処分会社	・許可の期限(委託中に切れる場合は、更新を確認すること) ・業の区分(中間処理、最終処分) ・委託する廃棄物の種類の許可を持っていること ・中間処理の場合は、委託量に対して処理施設の能力があるかどうか ・最終処分の場合は、委託量に対して埋立地の容量があるかどうか ・県外廃棄物の規制があるかどうか(調査して、規制があれば従う) ・なるべく電子マニフェストに対応できること

産業廃棄物の処理の委託に関する事項(2024年度)

- ・契約に当たっては、許可証の内容、現地確認等により以下の内容を確認する

収集運搬会社	・発生場所と処分場所(中間処理施設、最終処分場)の両方の都道府県の許可を持っていること ・許可の期限(委託中に切れる場合は、更新を確認すること) ・委託する廃棄物の種類の許可を持っていること ・積み替え・保管施設経由の有無 ・許可車両の一覧表を持っていること ・なるべく電子マニフェストに対応できること
中間処理、 最終処分会社	・許可の期限(委託中に切れる場合は、更新を確認すること) ・業の区分(中間処理、最終処分) ・委託する廃棄物の種類の許可を持っていること ・中間処理の場合は、委託量に対して処理施設の能力があるかどうか ・最終処分の場合は、委託量に対して埋立地の容量があるかどうか ・県外廃棄物の規制があるかどうか(調査して、規制があれば従う) ・なるべく電子マニフェストに対応できること

- ・可能であれば優良認定処理業者に処理を委託する
- ・焼却の場合は単純焼却ではなく、可能であれば熱回収業者に処理を委託する
- ・電子マニフェストの利用を原則とする
- ・委託処理施設の現地確認を定期的を実施する

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月5日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者
住 所 千葉市美浜区中瀬2丁目6番地1
名 称 三井住友建設株式会社東関東支店
代表者 支店長 川 崎 雄 二
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 043-299-0560

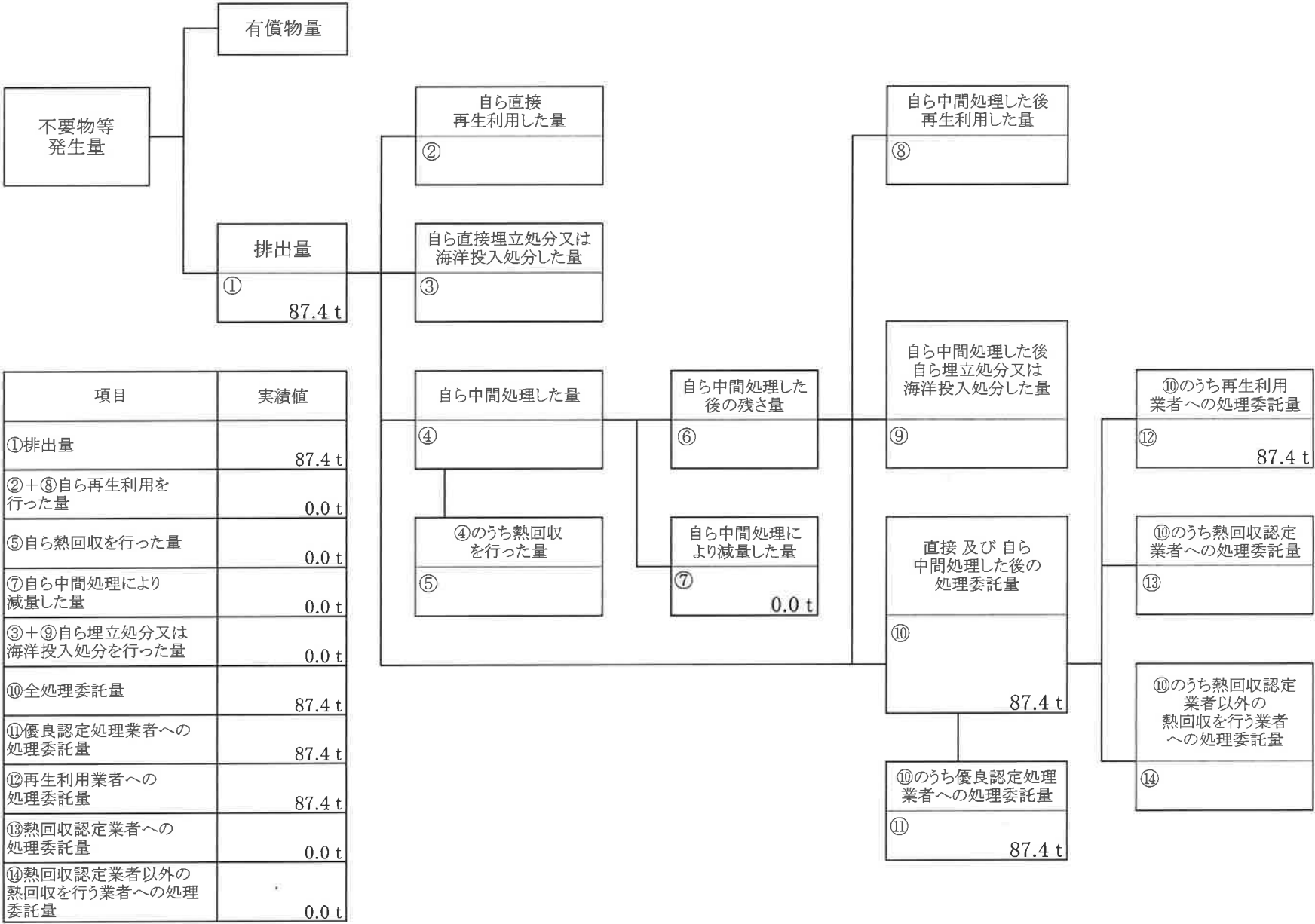
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三井住友建設株式会社東関東支店		
事業場の所在地	千葉市美浜区中瀬2丁目6番地1		
事業の種類	総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	33518.0 t	全処理委託量	33518.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	33518.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	33518.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

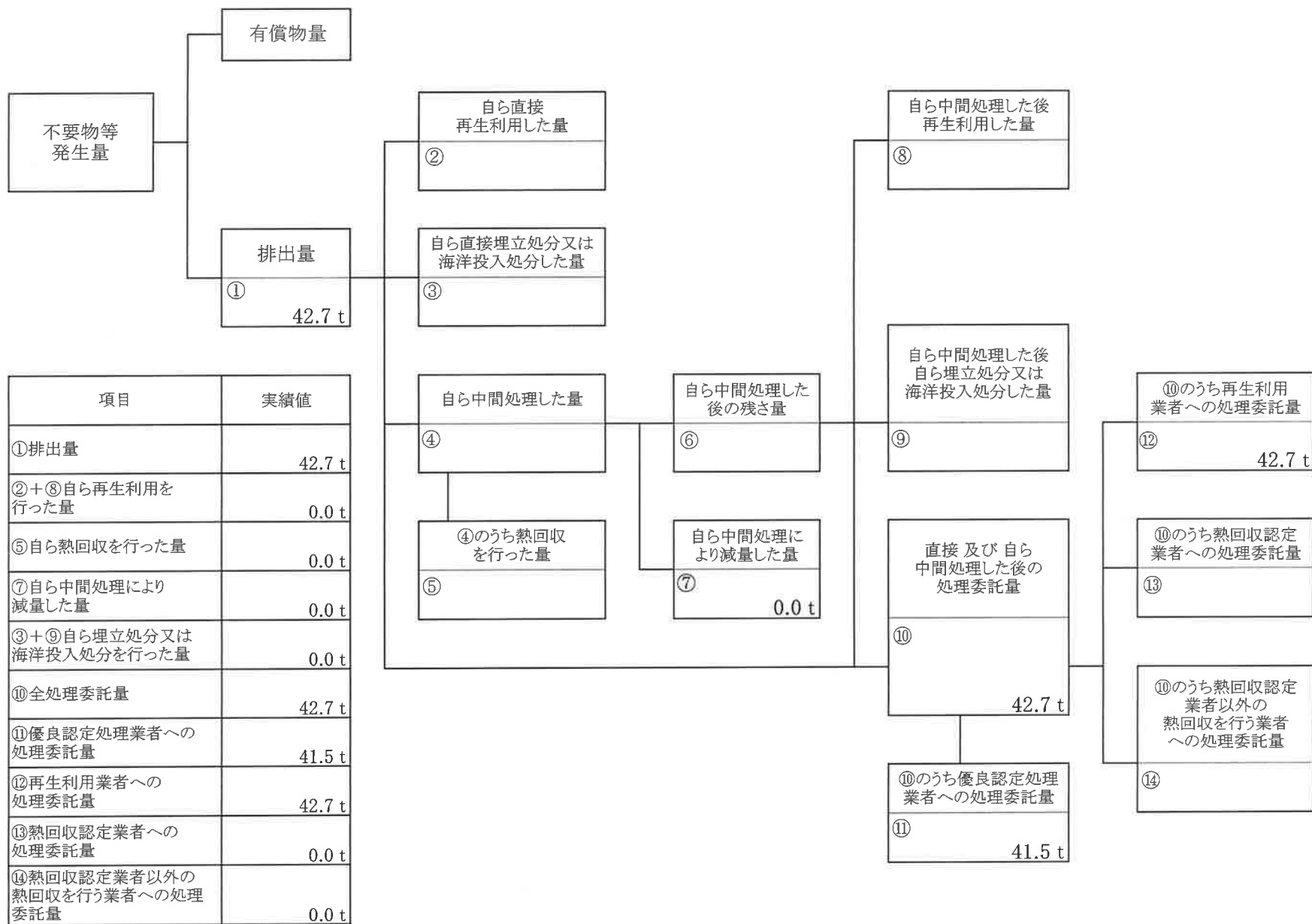


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

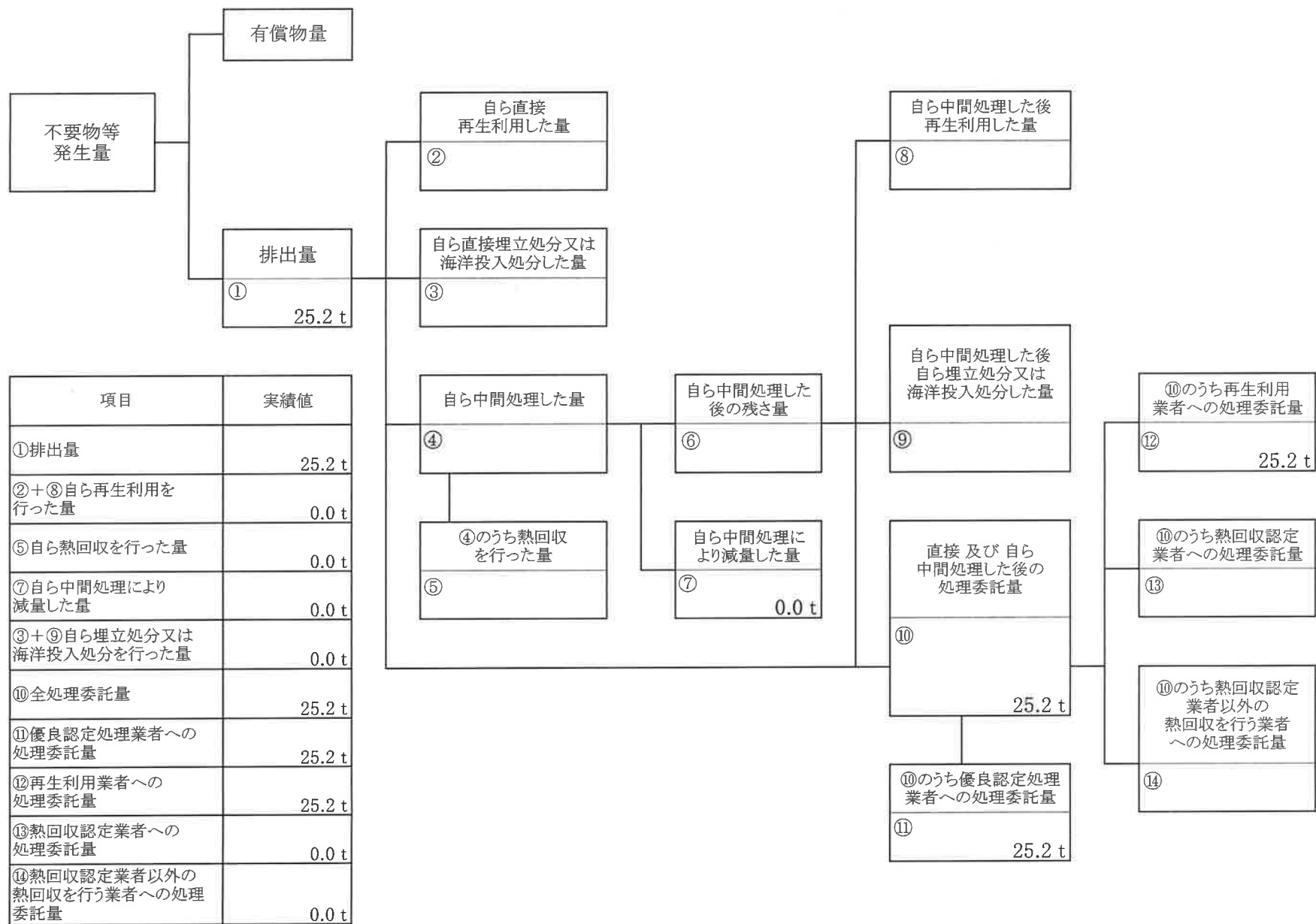
木くず

)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)

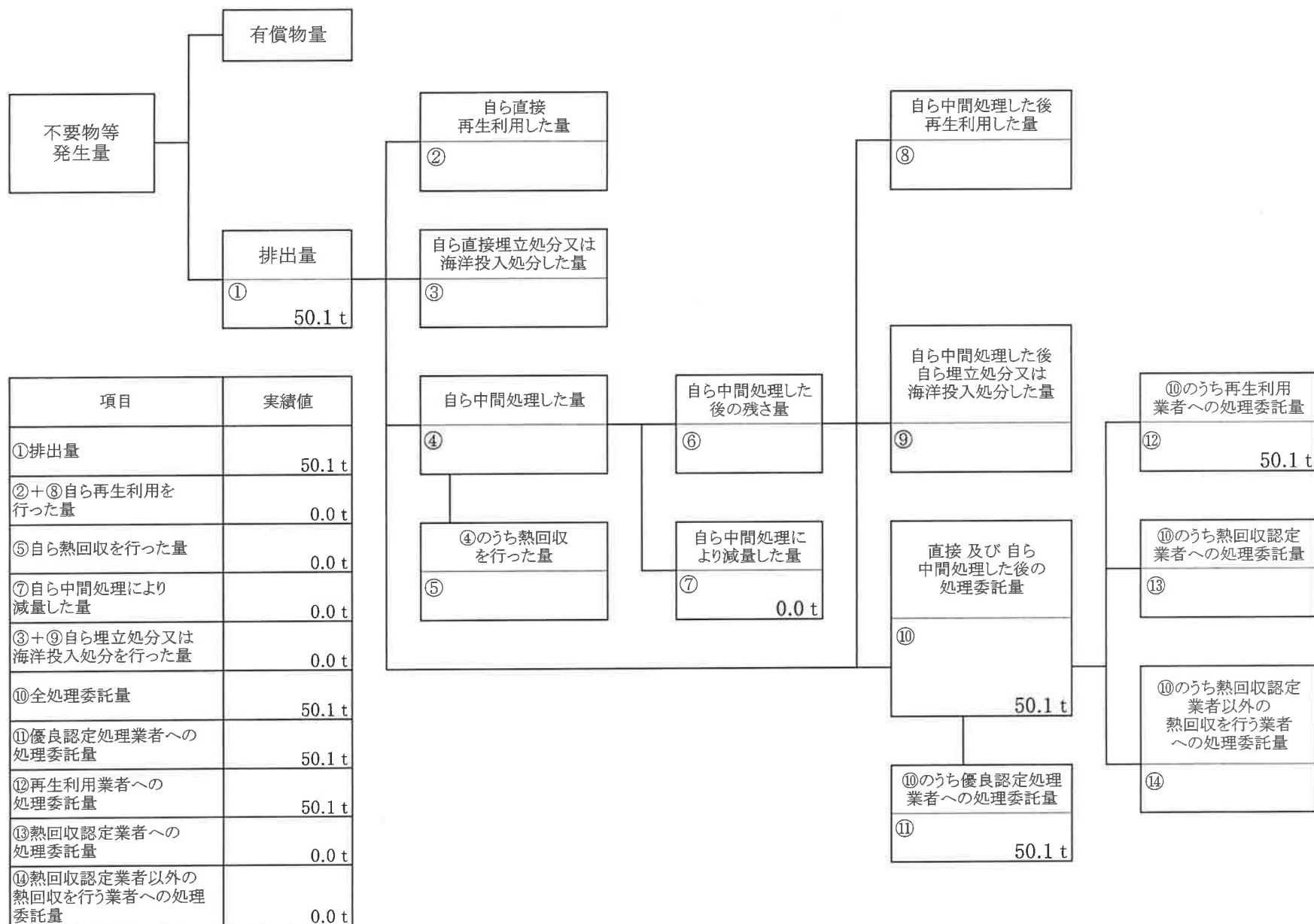


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

石膏ボード

)

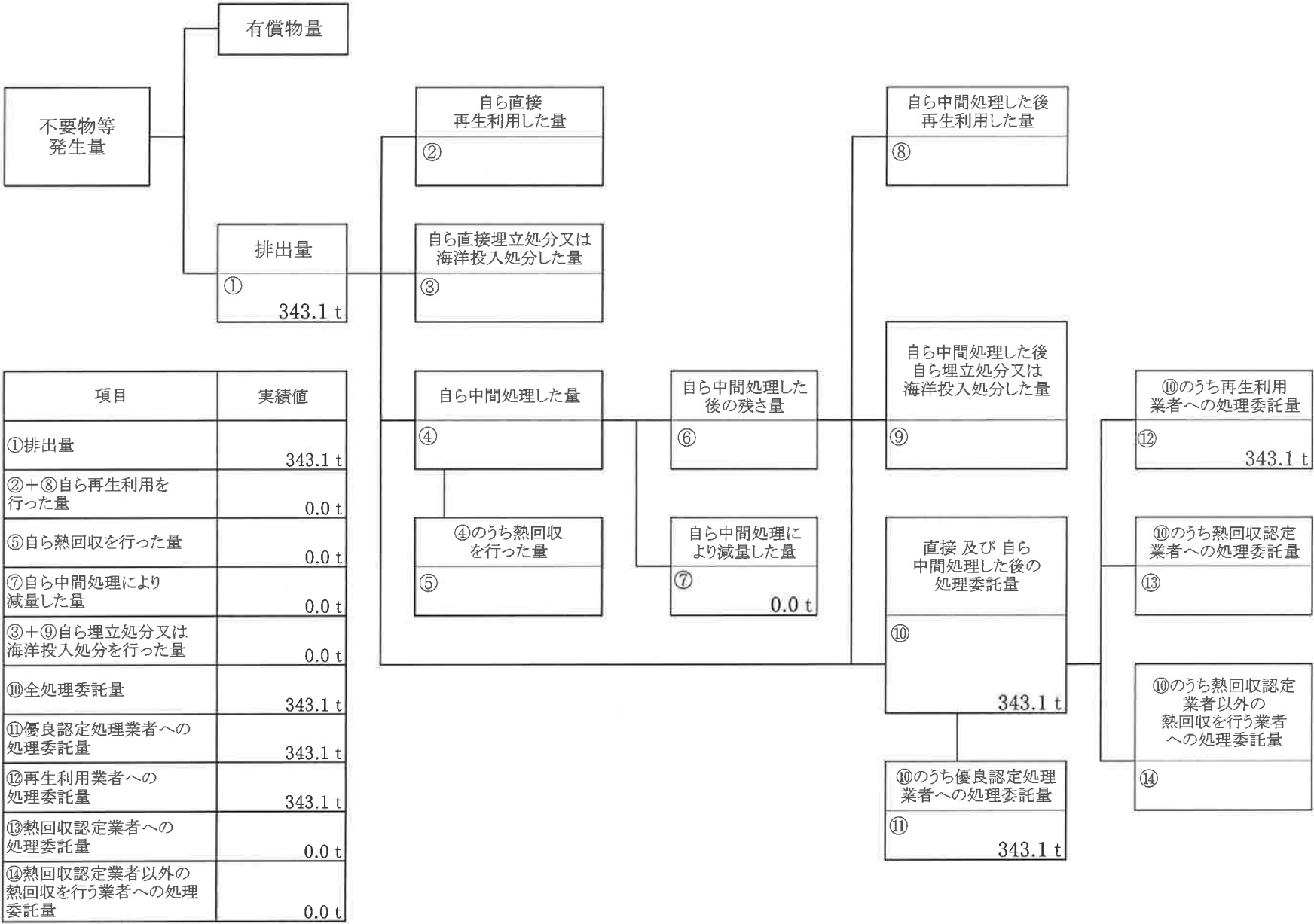


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

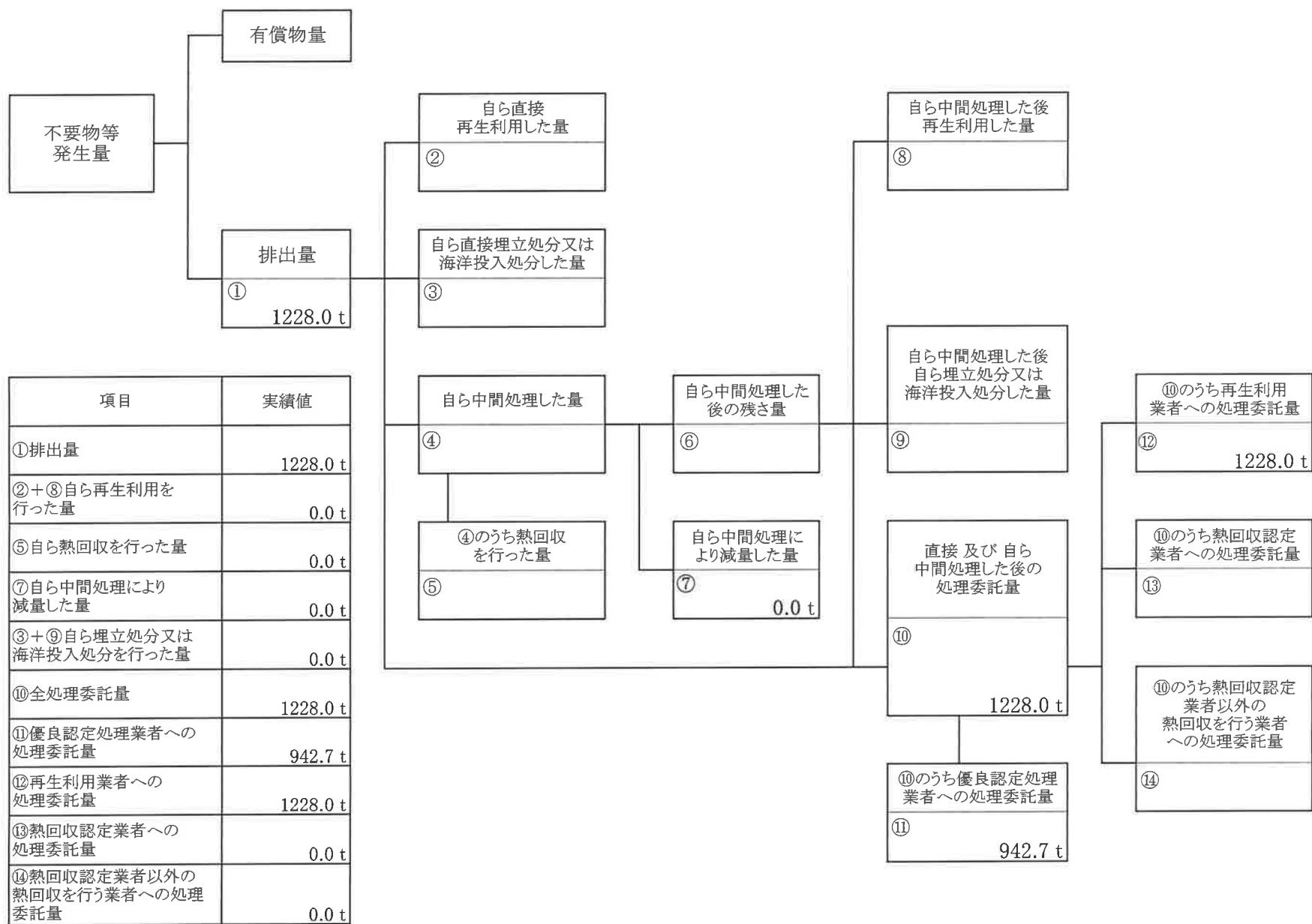


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

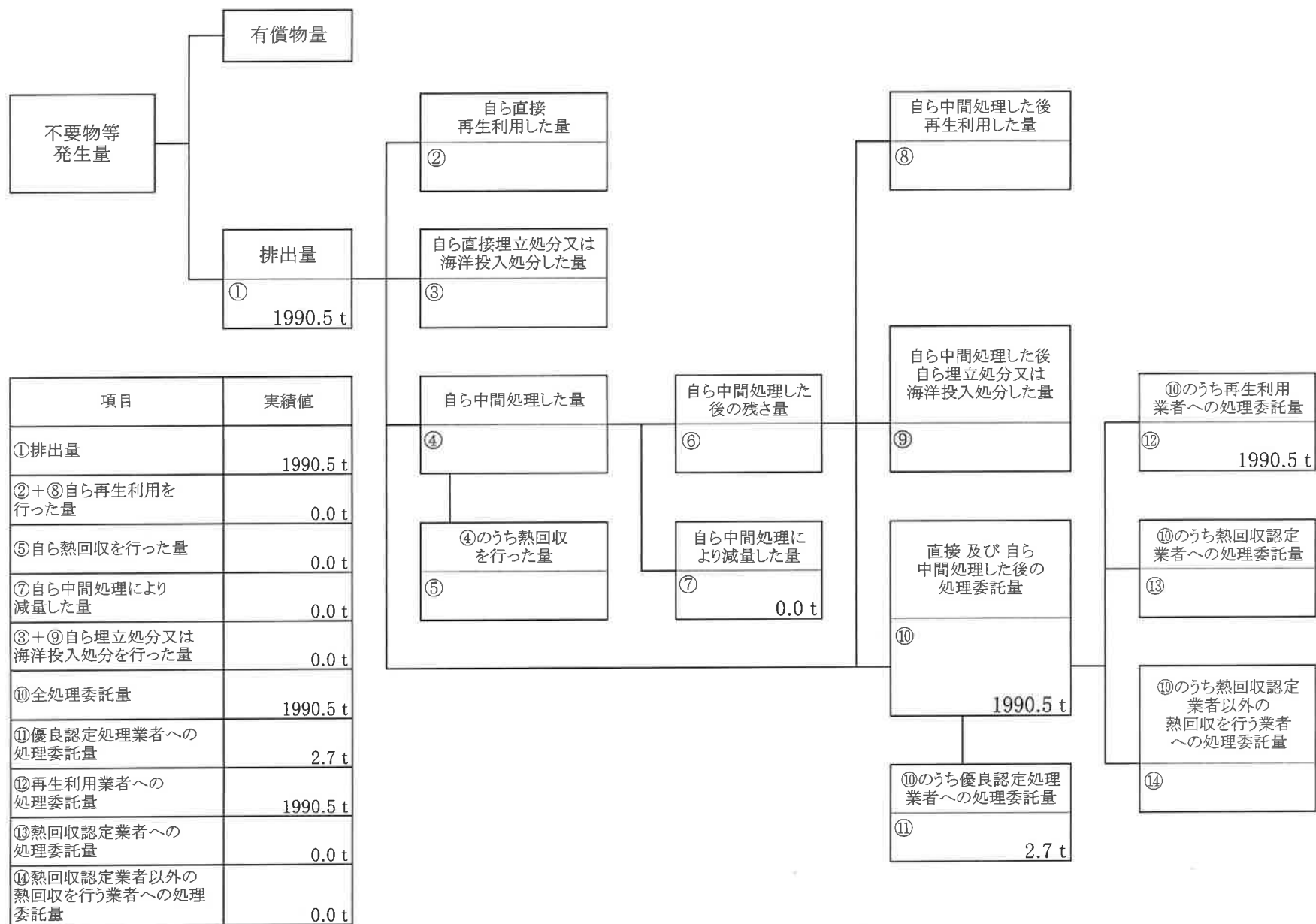
コンクリート破片

)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリート破片)

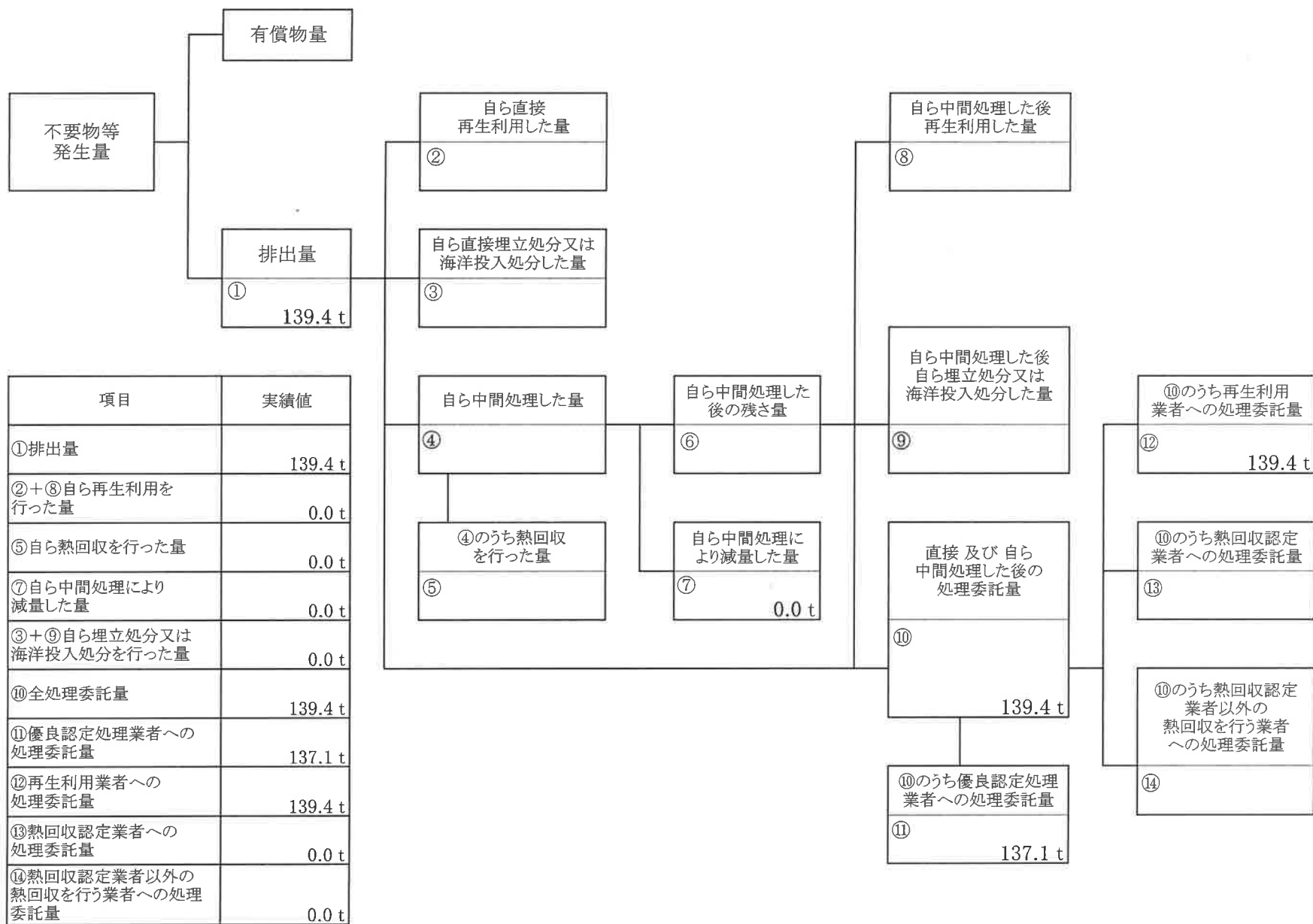


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

建設混合廃棄物

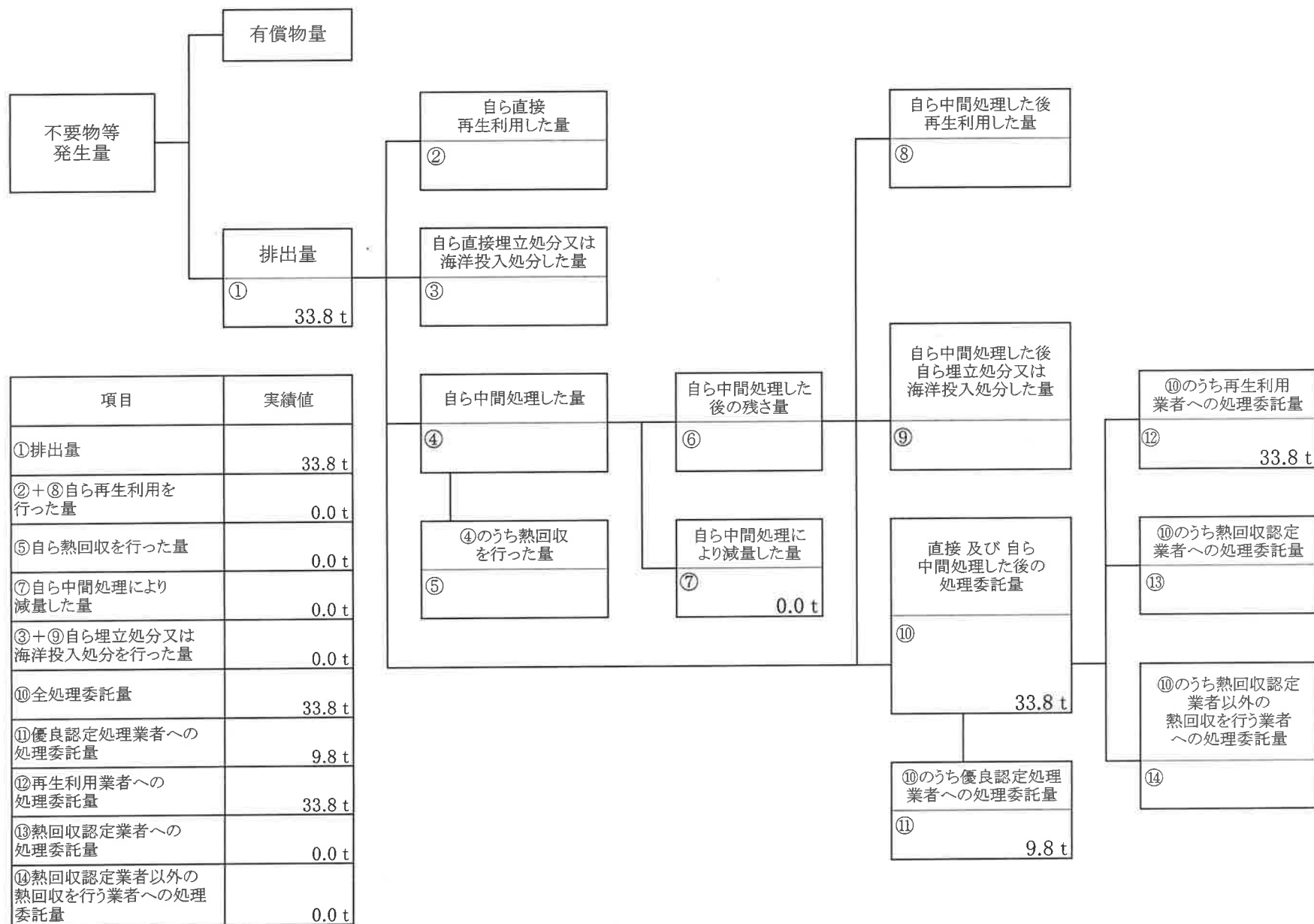
)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず・伐採伐根材・金属くず)

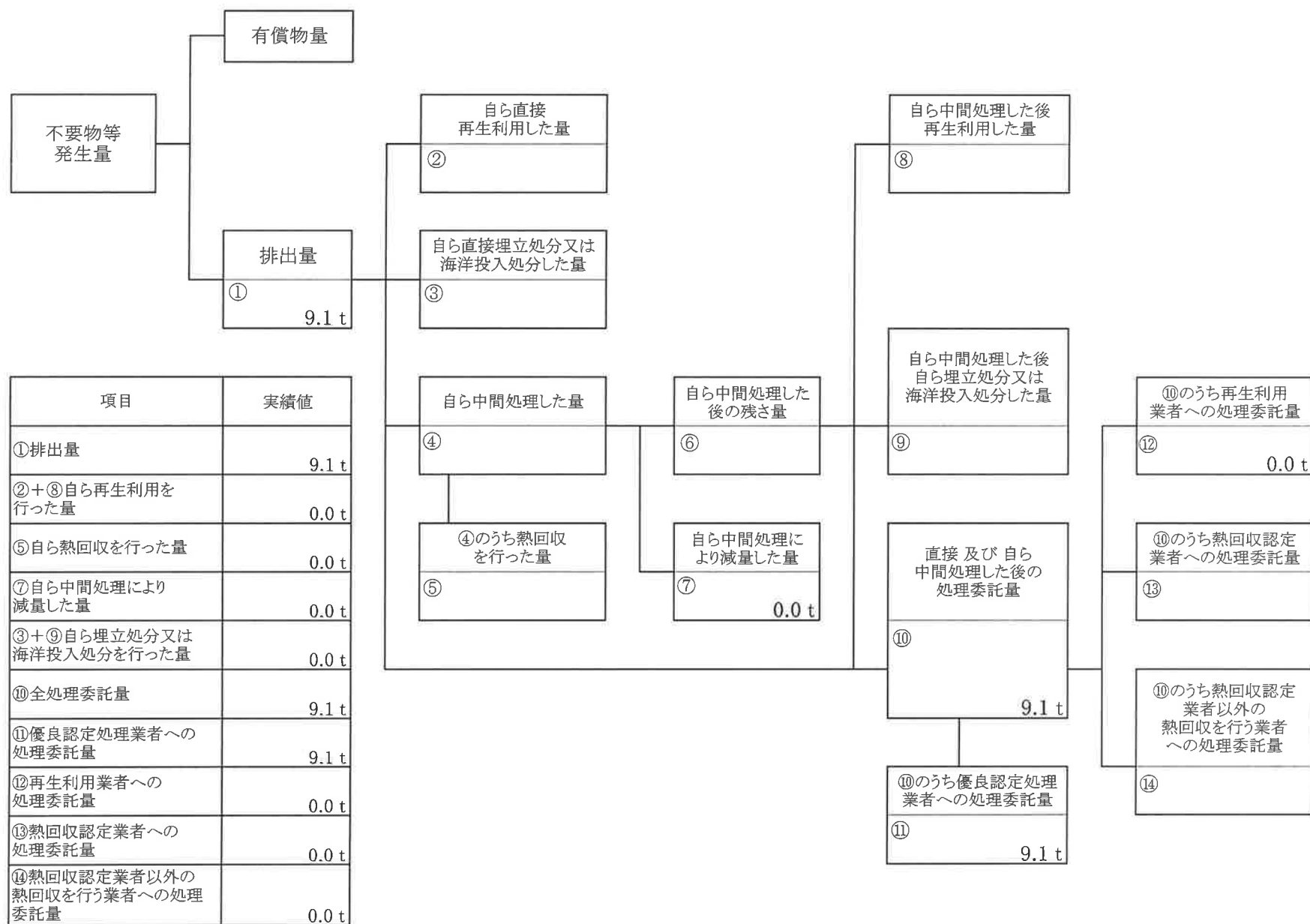


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

石綿含有産業廃棄物

)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月22日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒273-0012	
住 所 千葉県船橋市浜町2-1-1 ららぽーと三井ビル12階	
氏 名 三井ホーム株式会社千葉建設事業部 部長 今中 利治	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 047-437-9810	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	三井ホーム株式会社 千葉建設事業部
事業場の所在地	千葉県船橋市浜町2-1-1 ららぽーと三井ビル12階
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06-総合工事業
② 事業の規模	11,010百万円
③ 従業員数	26名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別表1のとおり

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別表2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	347.7 t	76.0 t
	（これまでに実施した取組） 1）OSプレカット推進の対象エリアを更に拡大する事により木材投入量を削減し、結果として現場排出量を抑制した。 2）屋根材・軒天合板・断熱材プレカット推進の対象エリアを更に拡大する事により投入量を削減し、結果として現場排出量を抑制した。 3）現場投入量の削減策を検討し、試行した。 4）部資材ロット単位や拾い基準の見直しにより排出量の削減を推進した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	338.7 t	74.0 t
	（今後実施する予定の取組） 1）OSプレカットを継続して実施する事により木材投入量を削減し、結果として現場排出量を抑制する。 2）部資材ロット単位や拾い基準の見直しによる排出量の削減を推進する。 3）造作材プレカット・省梱包化・養生材の再利用の検討をし、実施する事で現場排出量を抑制する。 4）現場分別の徹底策を実施し、現場排出量の体積を減量化する事で現場排出量を抑制する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 新築系産業廃棄物は、原則以下の品目ごとに分別し排出するよう、関係各位への指導・徹底を行った。 <袋詰め排出>①廃石膏ボード②廃プラスチック類③木くず④紙くず⑤金属くず⑥その他（ガラス陶磁器くず、コンクリートガラ他） <束ねて排出>⑦長尺材（ランバー等はカットのうえ束ねる）⑧段ボール 2）解体系産業廃棄物は建設リサイクル法の定める手順の遵守、分別排出の推進を指導した。また、特定品目の再資源化施設への処理委託を推進した。		
	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 1）新築系産業廃棄物は、原則以下の品目ごとに分別し排出する。 <袋詰め排出>①廃石膏ボード②廃プラスチック類③木くず④紙くず⑤金属くず⑥その他（ガラス陶磁器くず、コンクリートガラ他） <束ねて排出>⑦長尺材（ランバー等はカットのうえ束ねる）⑧段ボール 2）解体系産業廃棄物は建設リサイクル法の定める手順を遵守し、分別解体を行う。また、特定品目（木くず、コンクリート）の再資源化施設への処理委託を行う。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 1）分別排出の徹底により再生利用を促進する。 2）段ボールの再生事業者へのリサイクルを推進する。 3）有用な木材の自主回収を促進し、リサイクルを推進する。 4）廃棄物処分業者への委託に際し、リサイクルへ向かう処理ルートを優先・指示する。 5）廃石膏ボードを石膏ボードメーカーへ持ち込みリサイクルを推進する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 1）現場での分別排出を徹底する事により再生利用を促進する。 2）段ボール等を有価材再生事業者へ委託し、リサイクルを推進する。 3）有用な木材の自主回収を促進し、マテリアルリサイクルを推進する。 4）廃棄物処分業者への委託に際し、リサイクルへ向かう処理ルートを優先・指示する。 5）廃石膏ボードを石膏ボードメーカーへ持ちこみリサイクルを推進する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全処理委託量	347.7 t	76.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	136.9 t	21.1 t
	再生利用業者への処理委託量	209.4 t	52.6 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	209.4 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)		
	1) 産業廃棄物の処理は、委託契約を締結した収集運搬業者と処理処分業者のみに委託することを徹底している。 2) 廃棄物の発生から最終処分が終了するまでの処理の工程を把握するため廃棄物処理体制表を作成。処理ルートの変更があった場合は委託契約の変更等、必要な手続きを速やかに行った。 3) 廃棄物管理票（マニフェスト）により、最終処分までの工程の確認を行った。 4) 新築系においては可能な限り袋詰め分別を行い、解体系においては現場での分別排出（解体）及び再資源化施設での処理委託を推進した。 5) 委託契約先処理施設の現地確認を行い、委託に適する業者か否か確認した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全処理委託量	338.7 t	74.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	133.3 t	20.6 t
	再生利用業者への 処理委託量	203.9 t	51.3 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	203.9 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組) 1) 産業廃棄物の収集運搬、処理処分を委託する場合には、事前に収集運搬業者と処理処分業者のそれぞれ個別に書面により委託基本契約を締結する。 2) 処理の工程の確認は、廃棄物管理票(マニフェスト)により行う。 3) 新築系においては可能な限り袋詰め分別排出を行い、解体系においては現場での分別排出(解体)及び再資源化施設での処理委託を推進する。 4) 委託契約先処理施設の現地確認をおこなう。 中間処理場・リサイクル施設および積替え保管場所一年1回 最終処分場ー3年に1回		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

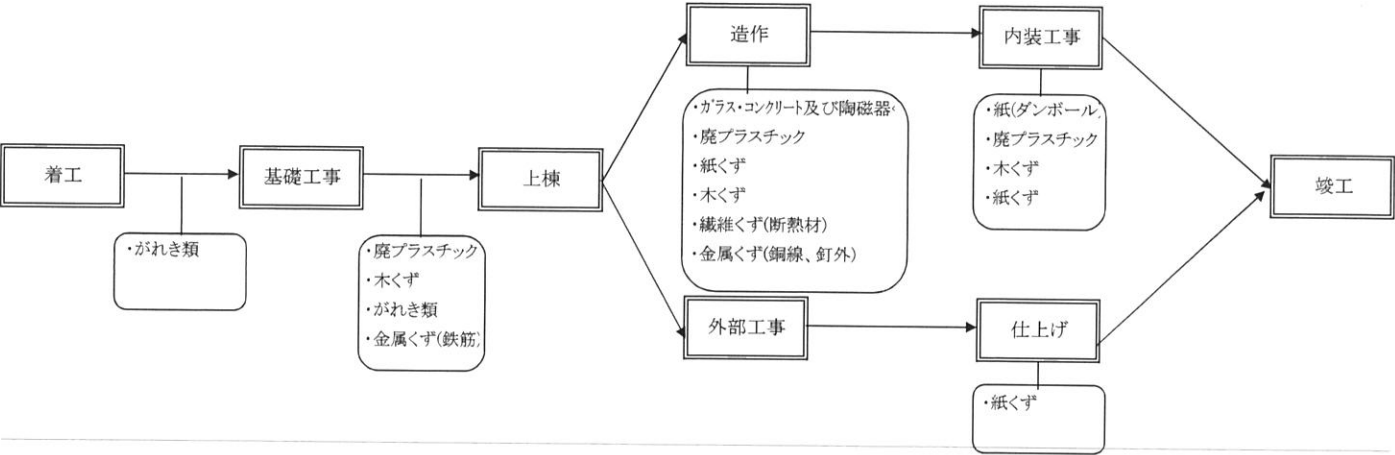
《 別 表 1 》

― 産業廃棄物の一連の処理の工程 ―

がれき類	→	破碎・選別	→	再生利用
ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	→	破碎・選別	→	再生利用
廃プラスチック	→	破碎・圧縮・選別・固化・切断	→	再生利用
紙くず [※]	→	破碎・圧縮・選別	→	再生利用
木くず [※]	→	破碎・圧縮・選別	→	再生利用
繊維くず	→	破碎・圧縮・選別・切断	→	再生利用
金属くず	→	破碎・選別	→	再生利用
石綿含有産業廃棄物	→			埋立

新築工事

※製造品目は、木造住宅のみ



解体工事

※既存家屋解体工事

がれき類 / ガラス・コンクリート及び陶磁器くず / 廃プラスチック / 紙くず / 木くず / 繊維くず / 金属くず / 廃石膏ボード / 混合廃棄物 / 石綿含有産業廃棄物

《 別 表 2 》

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

廃棄物管理責任者	三井ホーム 本社 建設事業推進部長
廃棄物処理統括責任者	三井ホーム 千葉建設事業部 部長
廃棄物処理責任者	三井ホーム 千葉建設事業部 施工グループ長
廃棄物処理担当者	三井ホーム 千葉建設事業部 工事担当者

廃棄物管理責任者	
職位	三井ホーム本社 建設事業推進部長
権限	産業廃棄物に関する業務の責任者として、三井ホーム部・支社及びFC会社の業務遂行を指揮・管理する。
役割	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ・事務局 建設事業推進部 建設事業推進グループ

廃棄物処理統括責任者	
職位	三井ホーム各事業本部の建設事業部長、支社長、及びFC会社技術責任者
権限	廃棄物処理に関する三井ホーム部・支社及びFC会社の最高責任者として、部下を指揮・監督し、業務執行を統括する。
役割	○廃棄物処理方針の策定 ○技術部及び支店およびFC会社の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種運用事項の決定、承認

廃棄物処理責任者	
職位	三井ホーム建設事業部生産グループ長・施工グループ長、オーナーサポート部技術室長・リフォーム営業室長、及びFC会社技術責任者もしくは廃棄物処理統括責任者が任命する者
権限	部下を指揮・監督し、廃棄物処理に関する業務を遂行する。
役割	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定および管理 ○委託契約の締結 ○監督官庁への各種報告

廃棄物処理担当者	
職位	三井ホーム 部・支社・FC会社工事担当者・オーナーサポート担当者・リフォーム担当者
権限	廃棄物処理責任者の命を受け、廃棄物処理に関する業務を遂行する。
役割	○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○その他関連する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	建設混合廃棄物
		排出量	321.0 t	1317.6 t	49.0 t	224.1 t	741.8 t	1.4 t	116.9 t	0.4 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	建設混合廃棄物
排出量		312.7 t	1283.3 t	47.7 t	218.3 t	722.5 t	1.4 t	113.9 t	0.4 t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	建設混合廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	建設混合廃棄物
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	建設混合廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	建設混合廃棄物
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず*	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず*	木くず*	繊維くず*	石膏ボード	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず*	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず*	木くず*	繊維くず*	石膏ボード	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず*	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず*	木くず*	繊維くず*	石膏ボード	建設混合廃棄物
	全処理委託量	321.0 t	1317.6 t	49.0 t	224.1 t	741.8 t	1.4 t	116.9 t	0.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	164.8 t	152.6 t	11.4 t	71.2 t	292.2 t	0.5 t	54.8 t	0.0 t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	1056.1 t	0.0 t	153.0 t	701.4 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	153.0 t	449.7 t	0.9 t	0.0 t	0.0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず*	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず*	木くず*	繊維くず*	石膏ボード	建設混合廃棄物
	全処理委託量	312.7 t	1283.3 t	47.7 t	218.3 t	722.5 t	1.4 t	113.9 t	0.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	160.5 t	148.6 t	11.1 t	69.3 t	284.6 t	0.5 t	53.4 t	0.0 t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	1028.7 t	0.0 t	149.0 t	683.2 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	149.0 t	438.0 t	0.9 t	0.0 t	0.0 t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月22日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒273-0012

住 所 千葉県船橋市浜町2-1-1
ららぽーと三井ビル12階氏 名 三井ホーム株式会社千葉建設事業部
部長 今中 利治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-437-9810

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称

三井ホーム株式会社 千葉建設事業部

事業場の所在地

千葉県船橋市浜町2-1-1 ららぽーと三井ビル12階

事業の種類

D06-総合工事業

産業廃棄物処理計画における
計画期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3605.6 t	全処理委託量	3605.6 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		優良認定処理業者への 処理委託量	1417.7 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		再生利用業者への 処理委託量	2061.2 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	1018.8 t

※事務処理欄

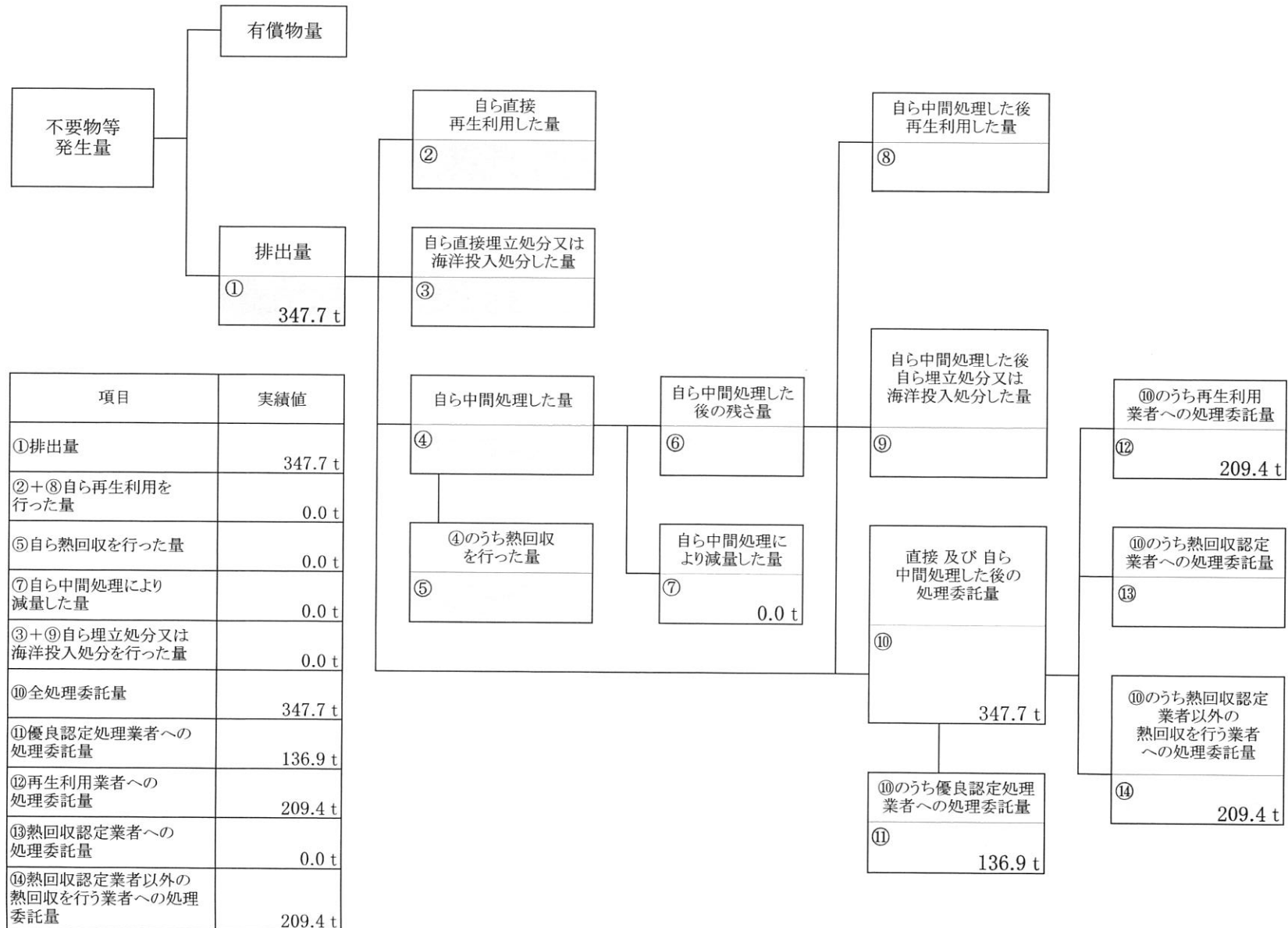
(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック類

)



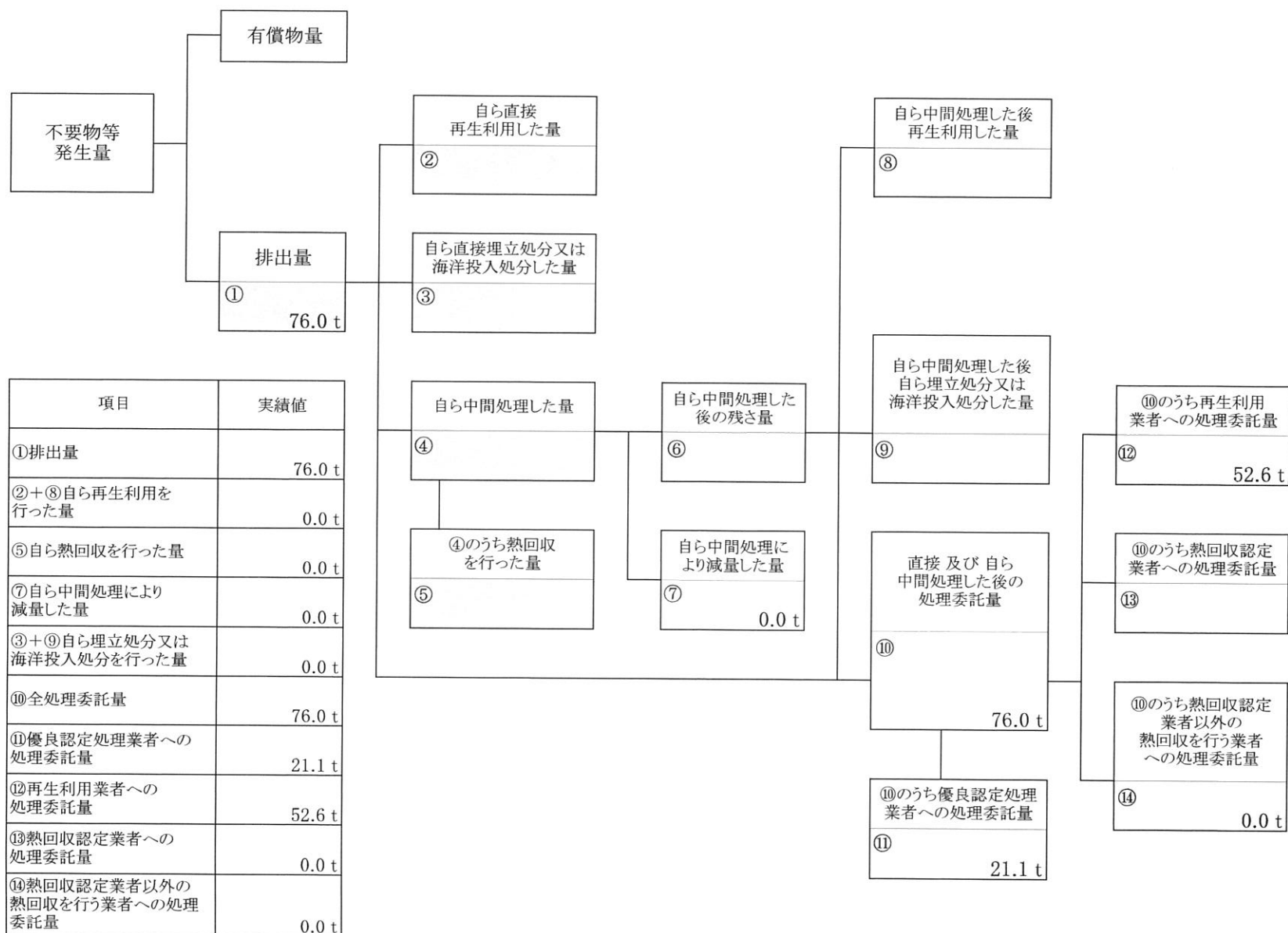
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

金属くず

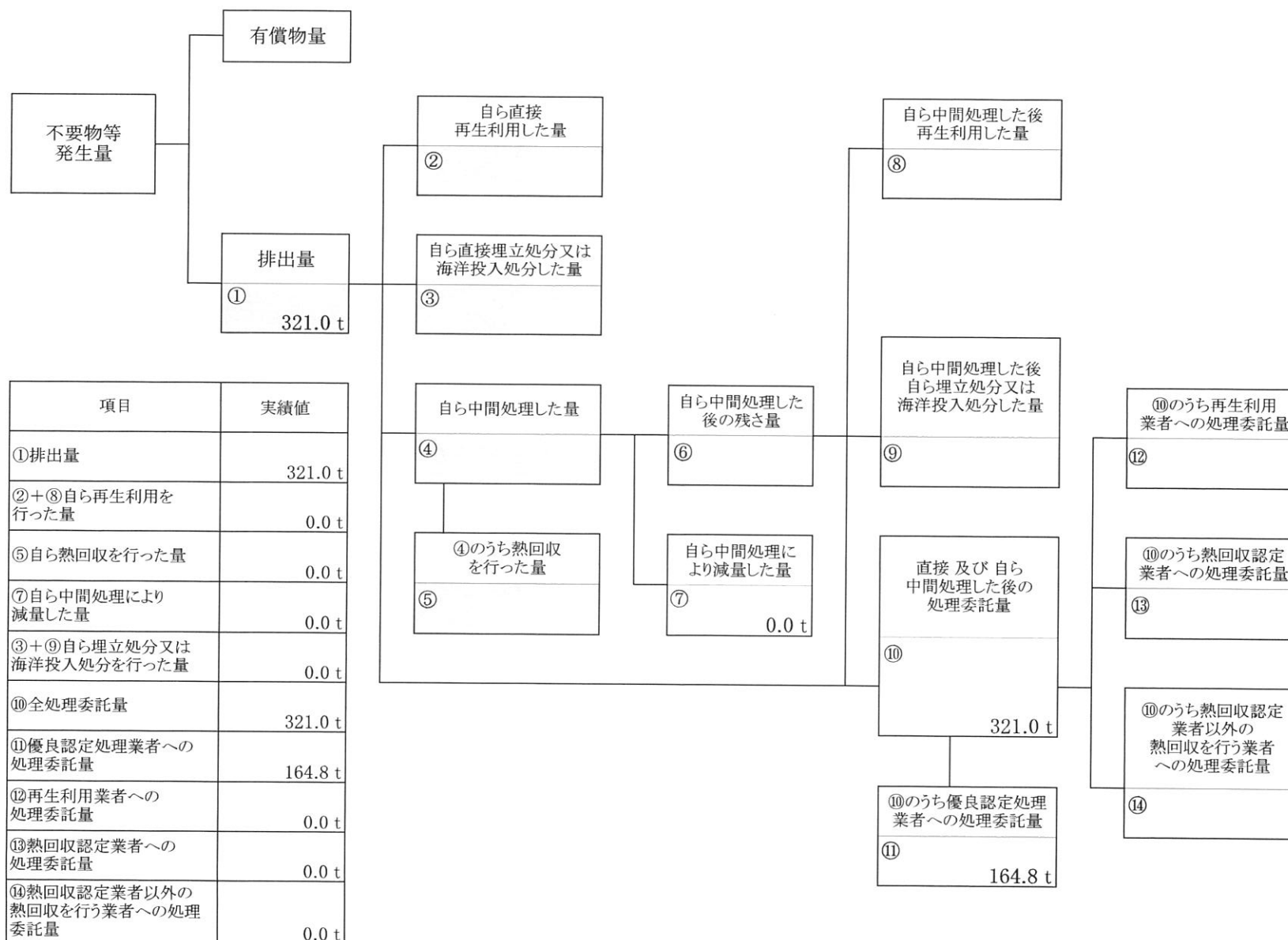
)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)



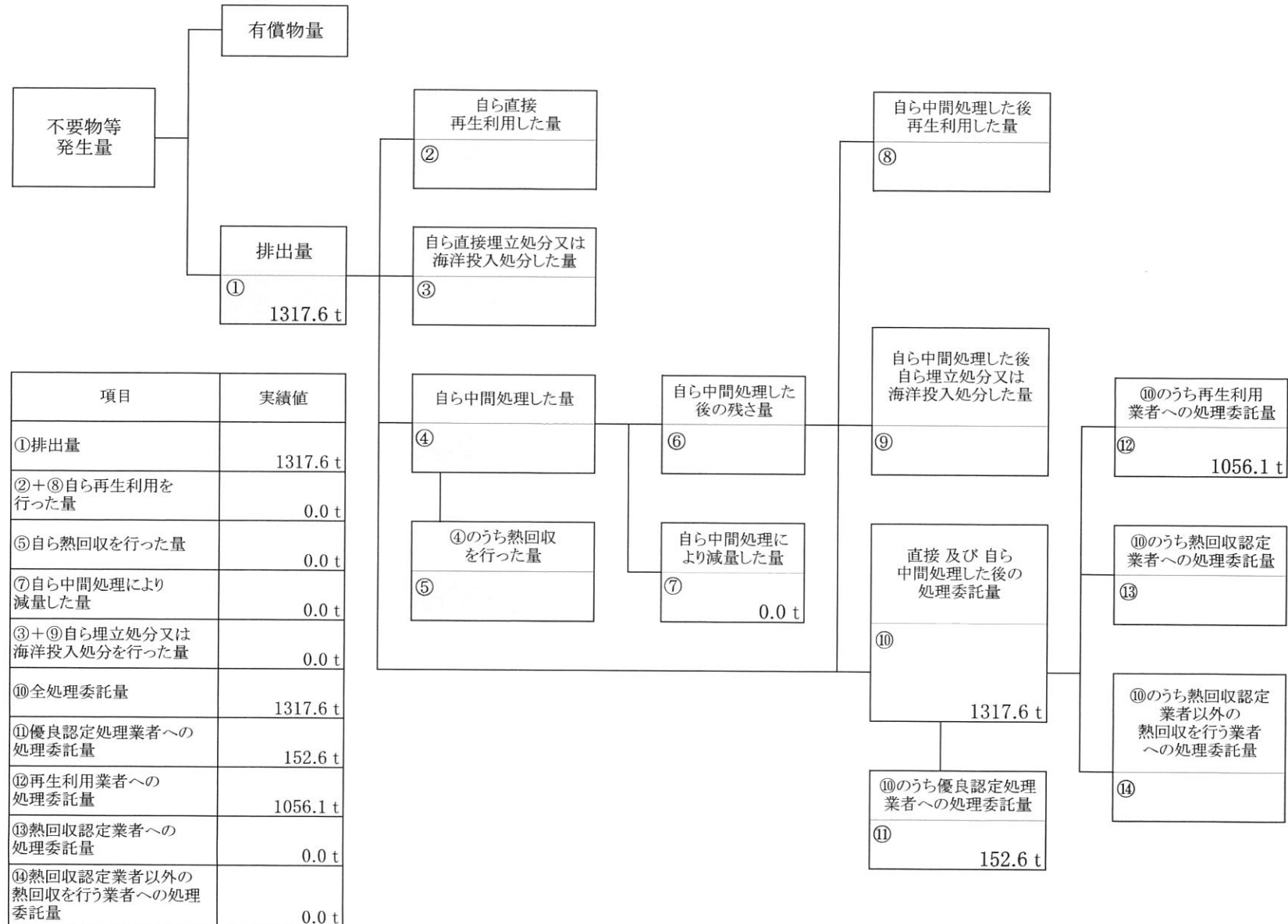
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)



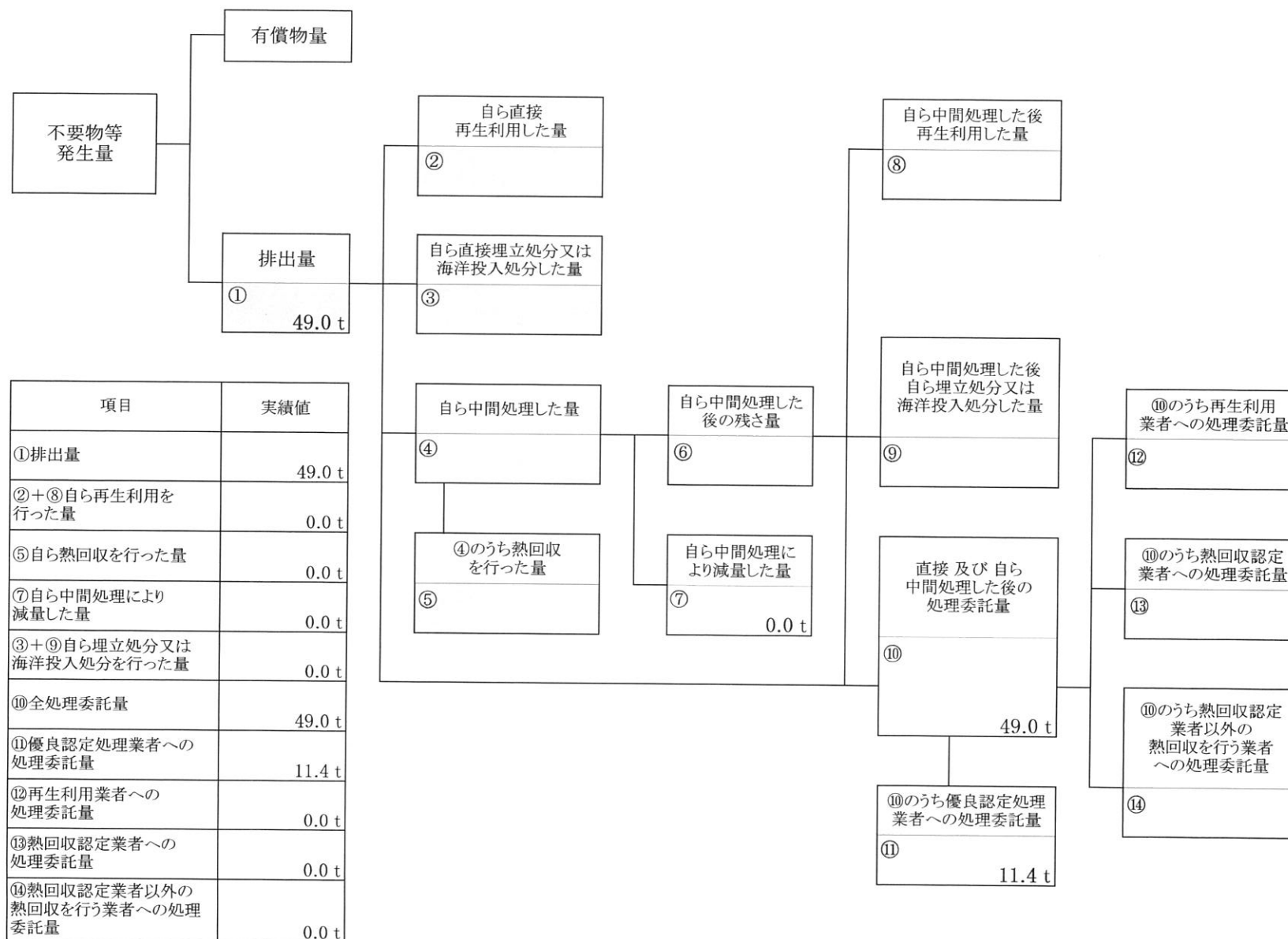
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

石綿含有産業廃棄物

)



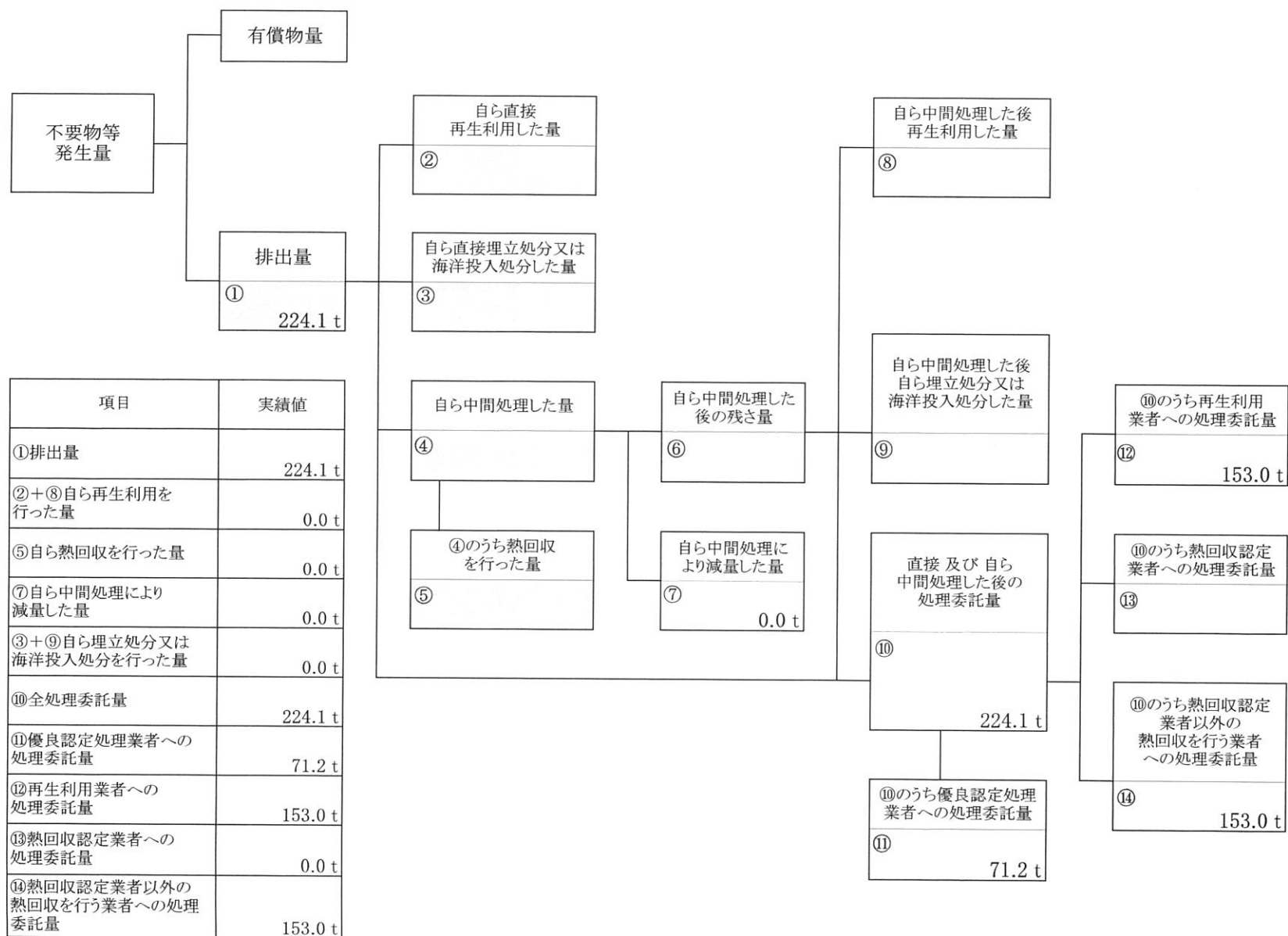
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

紙くず

)



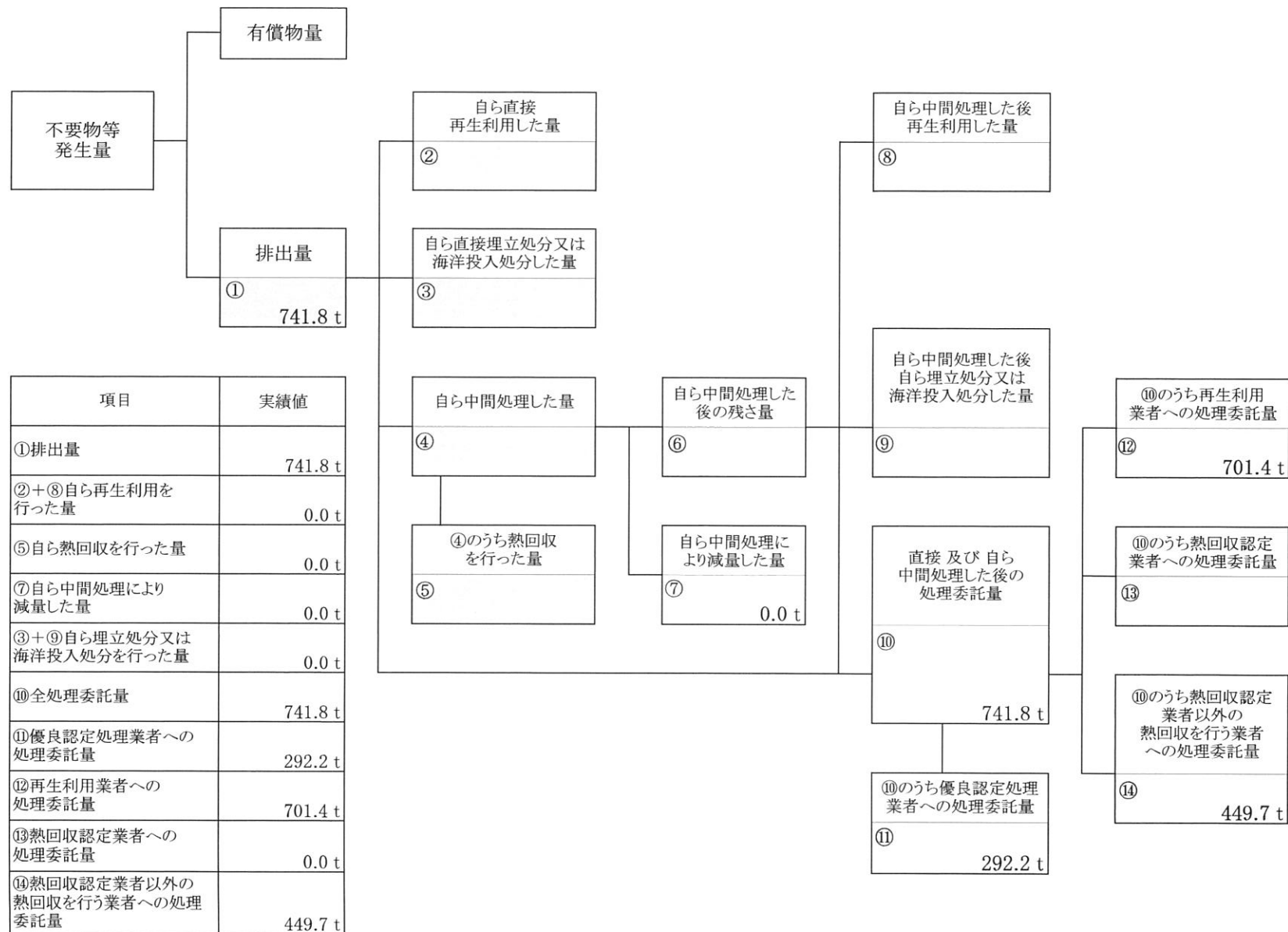
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず

)



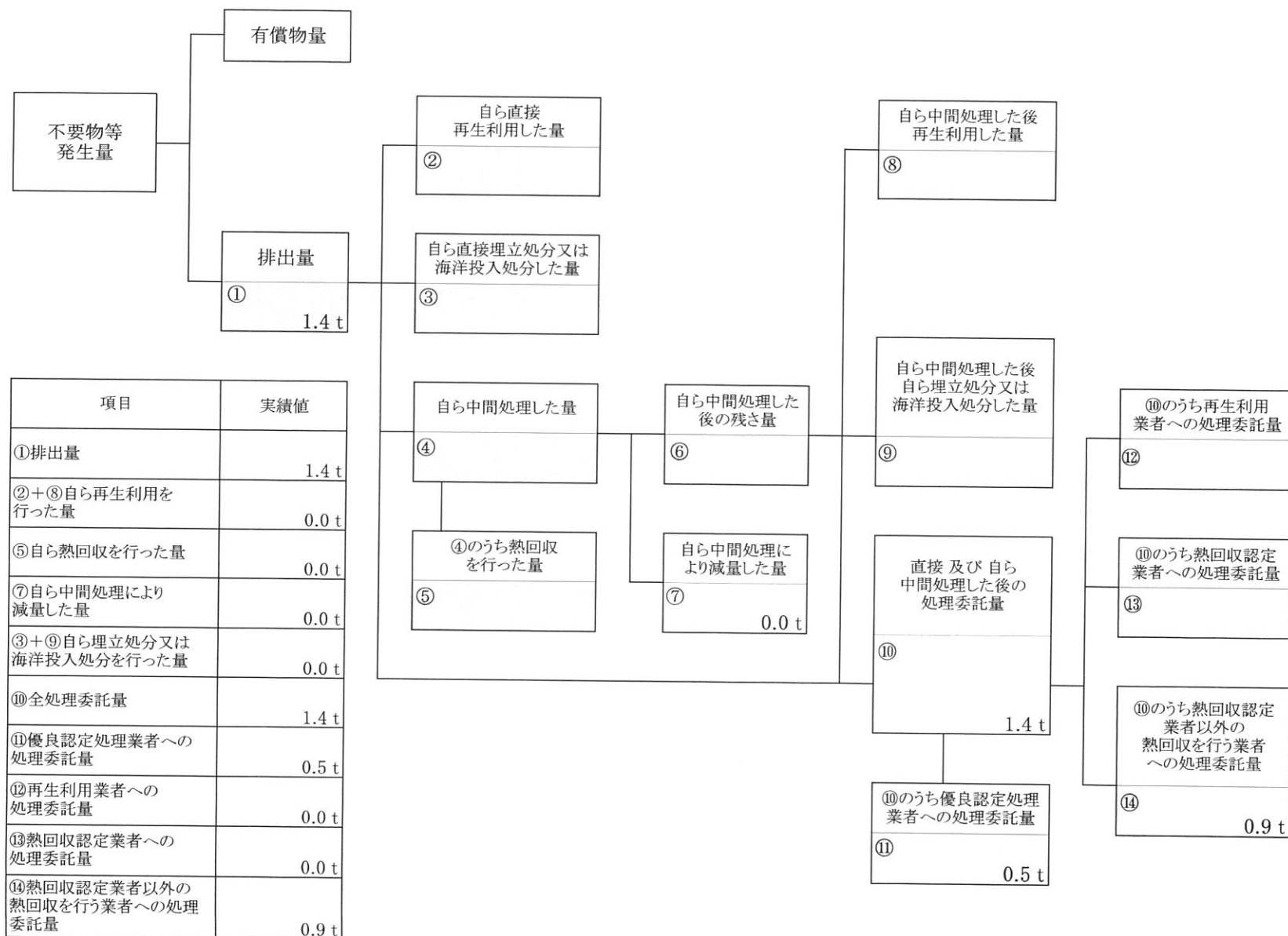
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

繊維くず

)



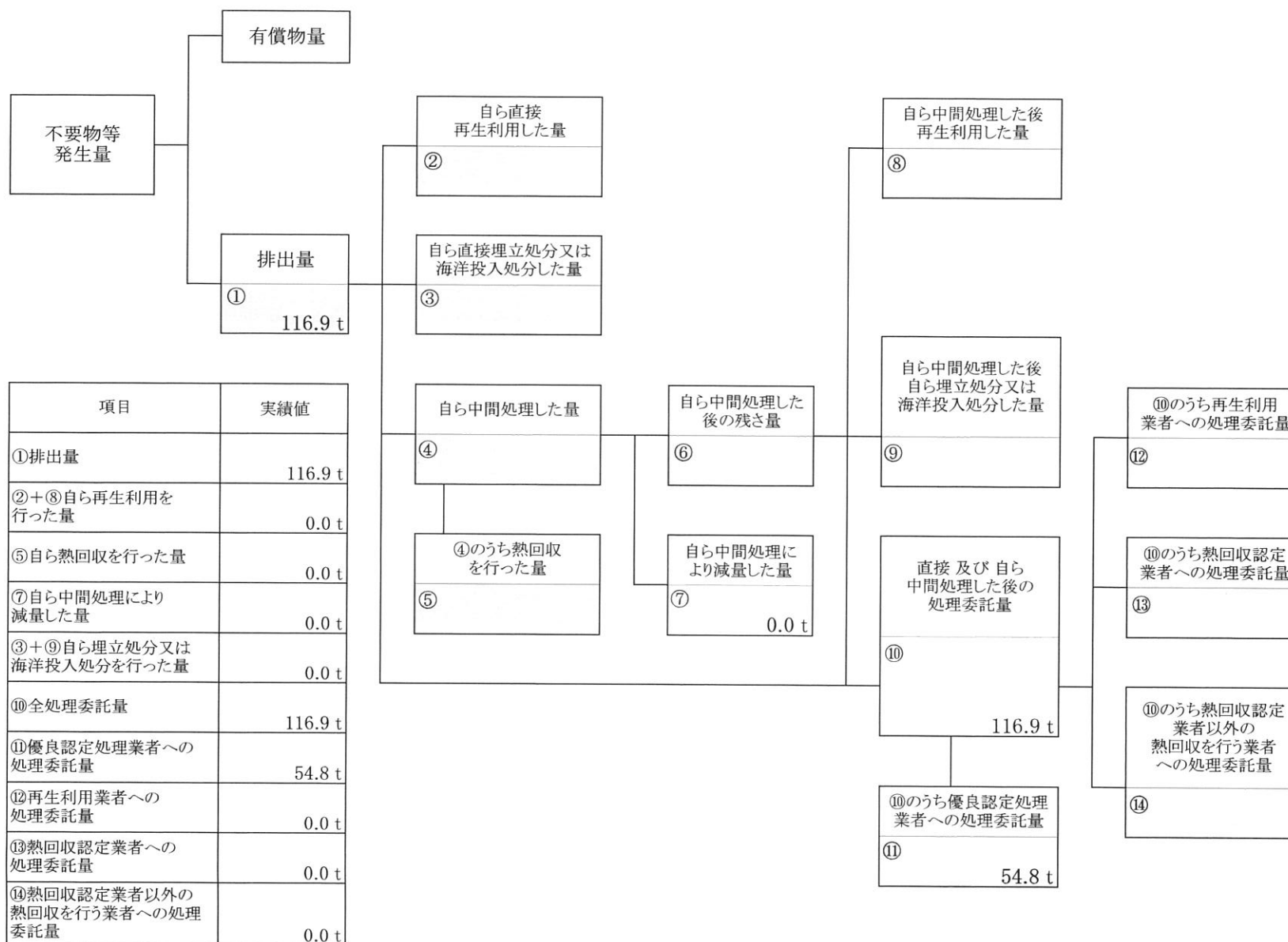
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

石膏ボード

)



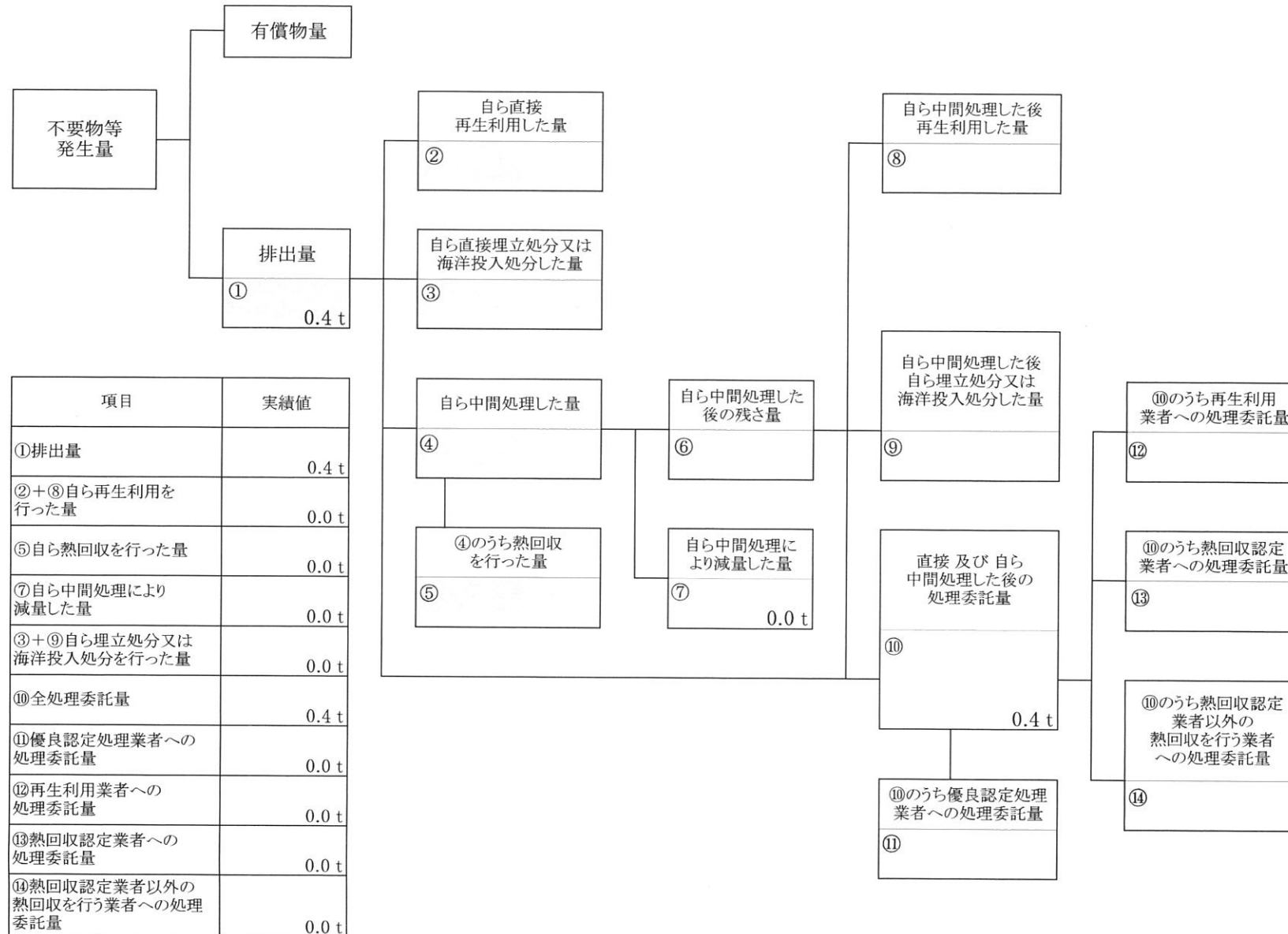
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

建設混合廃棄物

)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 20日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒272-0822

住 所 千葉県市川市宮久保3-16-17

氏 名 三徳建設株式会社

代表取締役 儀同貴広

電話番号 047-371-3021

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

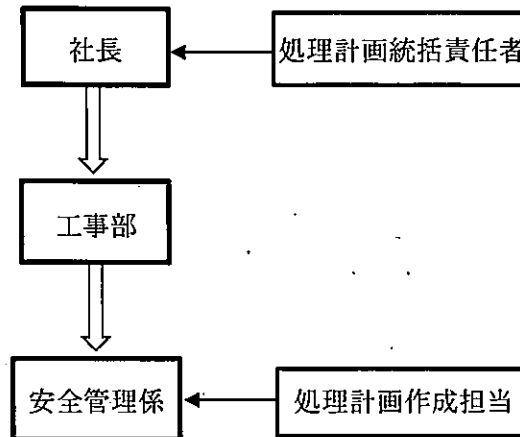
事業場の名称	三徳建設株式会社
事業場の所在地	千葉県市川市宮久保3-16-17
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	前年度元請完成工事高 4.6億円
③ 従業員数	32人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各現場 ⇒ 全量処理業者委託 ⇒ 分別・破碎・埋立・脱水・乾燥・焼却・分離・蒸留・再利用

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
	排出量	237.7 t	52.2 t
	（これまでに実施した取組） 現場での分別を徹底し、再資源化の推進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
	排出量	215 t	47 t
	（今後実施する予定の取組） より一層の分別を徹底し、再資源を推進する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場での分別を徹底する
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状を維持する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
	全処理委託量	237.7 t	52.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	237.7 t	52.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	現場での分別を徹底する		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
	全処理委託量	215 t	47 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	20 t	5 t
	再生利用業者への 処理委託量	215 t	47 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 分別の徹底による数量の削減 優良処理業者への処理委託の徹底		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがﾗ	汚泥	廃油	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
	排 出 量	1404.4 t	108 t	0.2 t	0 t	7.8 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがﾗ	汚泥	廃油	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
	排 出 量	1264 t	97 t	0.1 t	0 t	7 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
----------------------	--	--	--

	【前年度（令和5年度）実績】								
①現状	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがﾗ	汚泥	廃油	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがﾗ	汚泥	廃油	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（令和5年度）実績】							
①現状	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	汚泥	廃油	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	汚泥	廃油	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	汚泥	廃油	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	汚泥	廃油	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	汚泥	廃油	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
	全処理委託量	1404.4 t	108 t	0.2 t	0 t	7.8 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	11.6 t	0 t	0 t	7.8 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1404.4 t	108 t	0.2 t	0 t	7.8 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	汚泥	廃油	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
	全処理委託量	1264 t	97 t	0.1 t	0 t	7 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	15 t	0 t	0 t	7 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1264 t	97 t	0.1 t	0 t	7 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

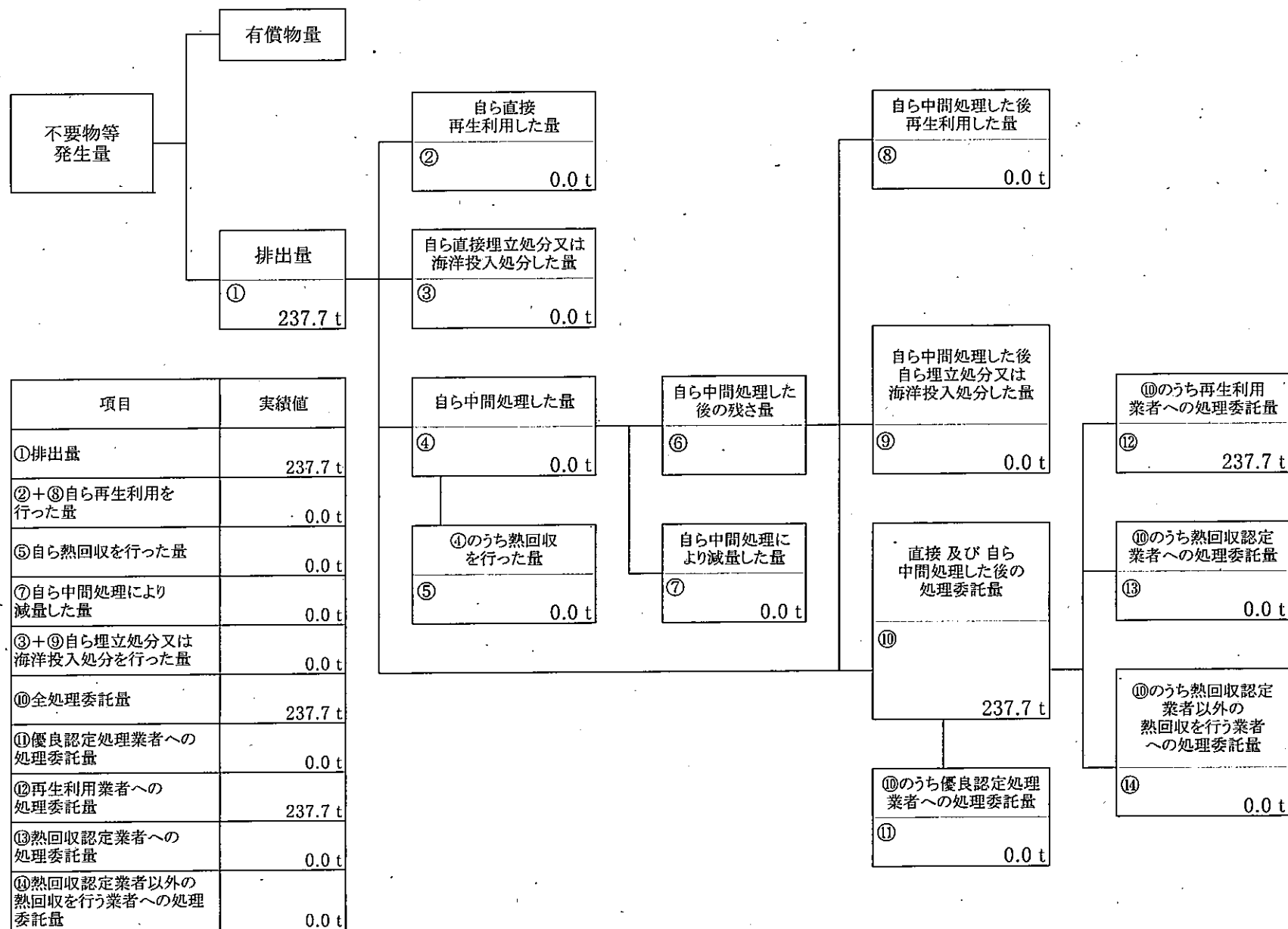
産業廃棄物処理計画実施状況報告書				
令和6年 6月 20日				
千葉県知事 熊谷 俊人 殿				
提出者 〒272-0822				
住 所 千葉県市川市宮久保3-16-17				
氏 名 三徳建設株式会社				
代表取締役 儀同貴広				
電話番号 047-371-3021				
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。				
事業場の名称		三徳建設株式会社		
事業場の所在地		千葉県市川市宮久保3-16-17		
事業の種類		D06ー総合工事業		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間		令和5年4月1日から令和6年3月31日まで		
産業廃棄物処理計画における目標値				
項目		目標値	項目	目標値
排 出 量		1500.0 t	全 処 理 委 託 量	1500.0 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		0.0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	8.0 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		0.0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1500.0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		0.0 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		0.0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.0 t
※事務処理欄				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)



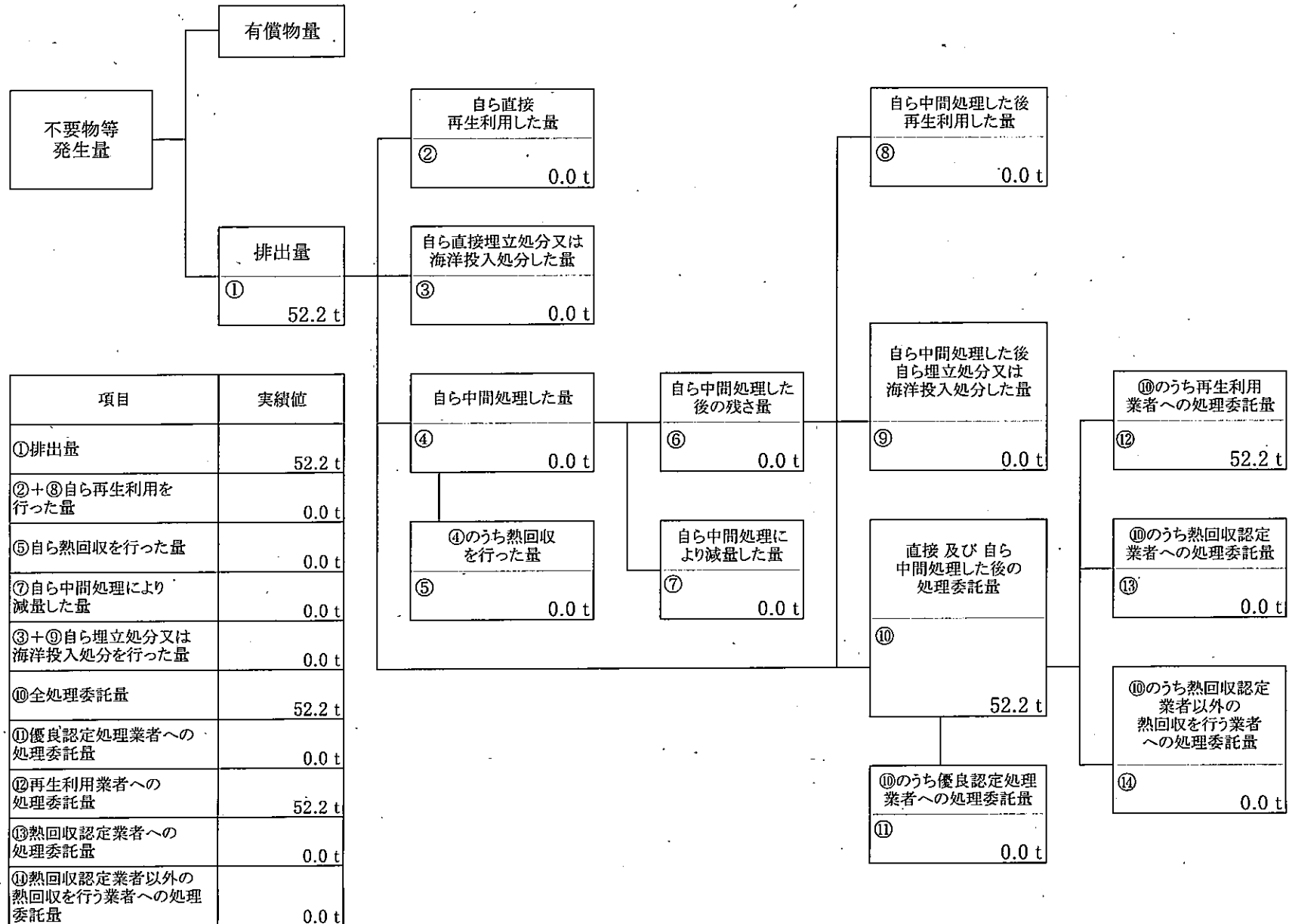
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

コンクリートがら)

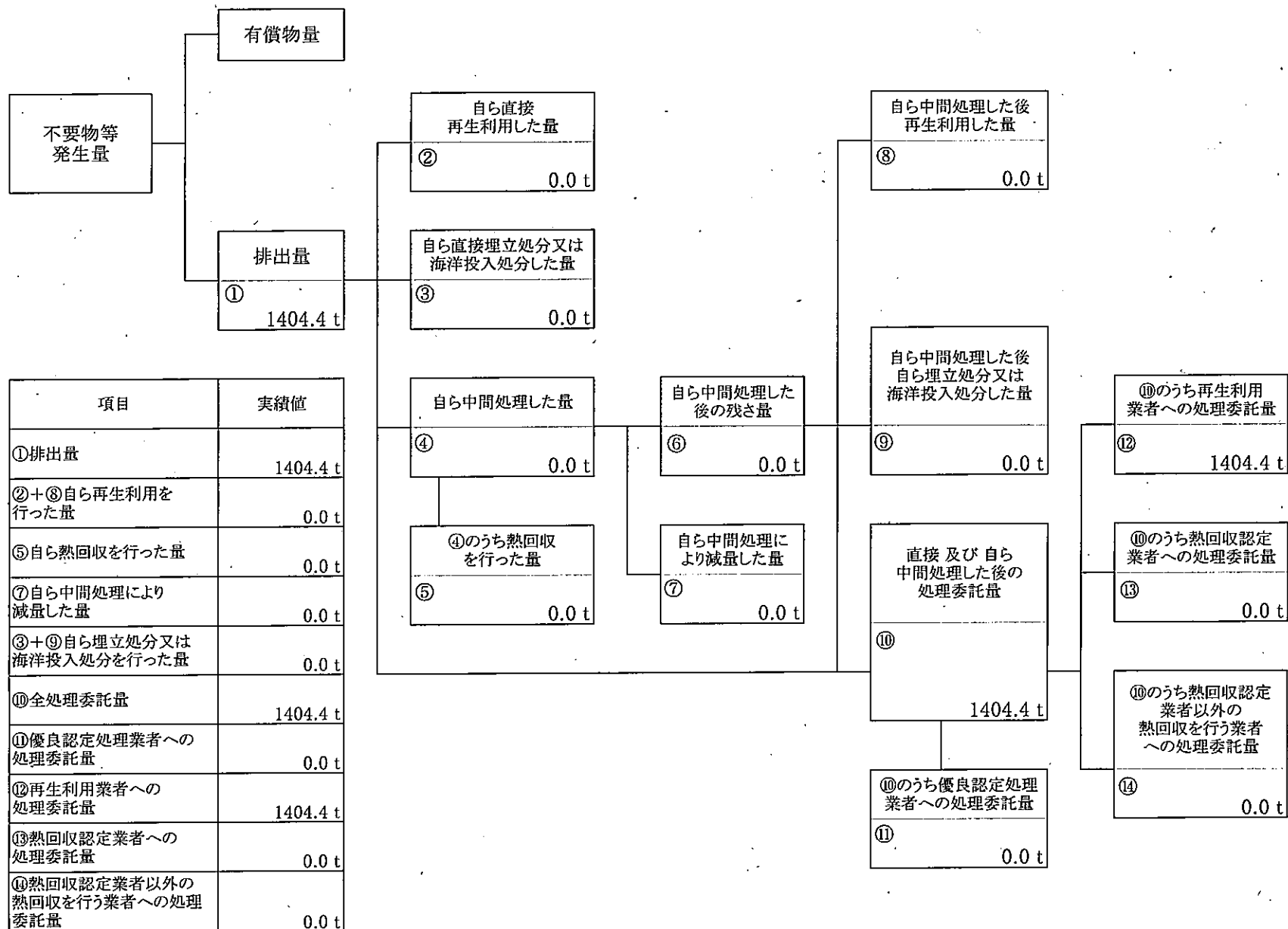
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

アスファルトがら)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

污泥)



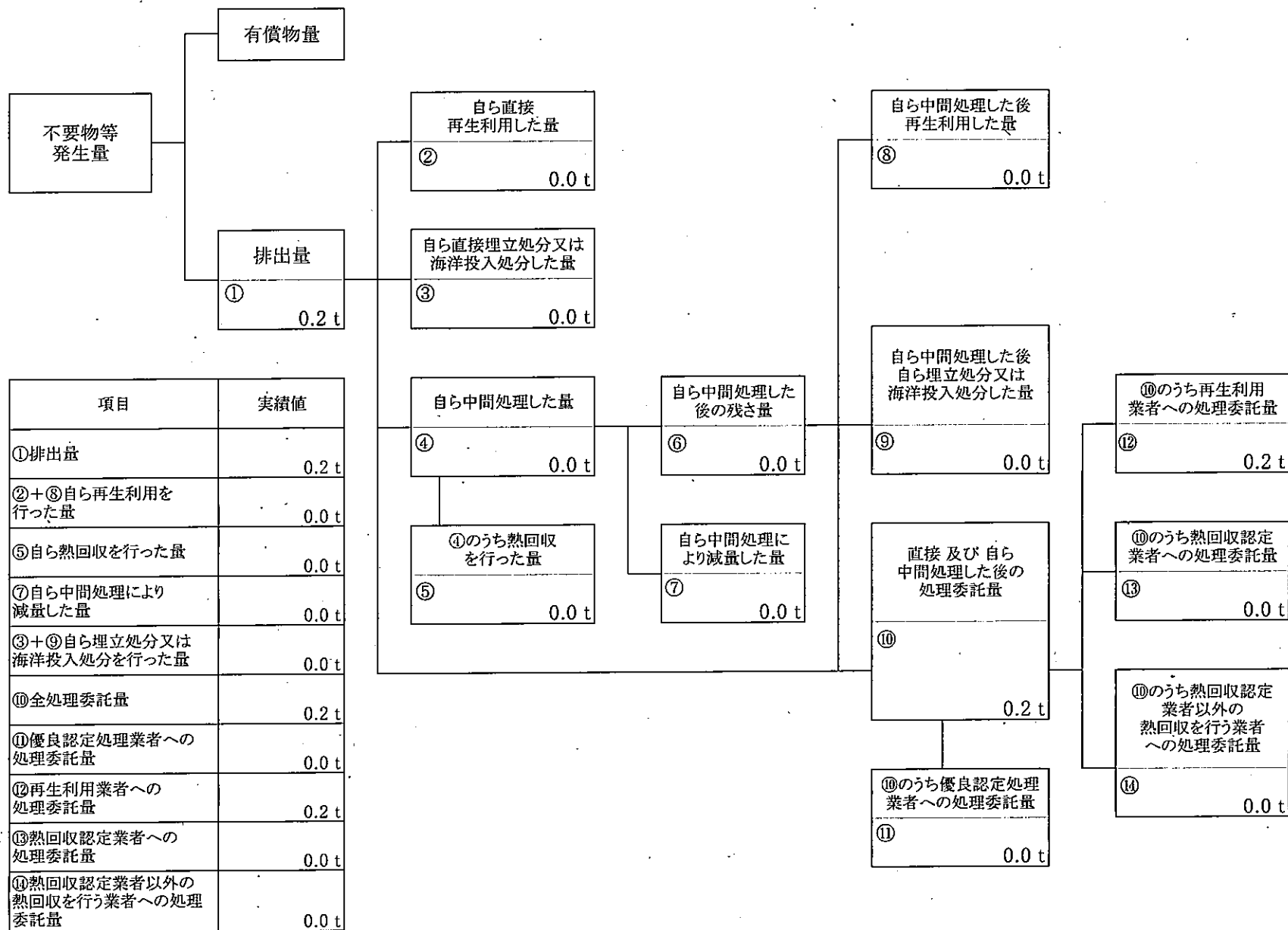
項目	実績値
①排出量	108.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	108.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	108.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃油

)



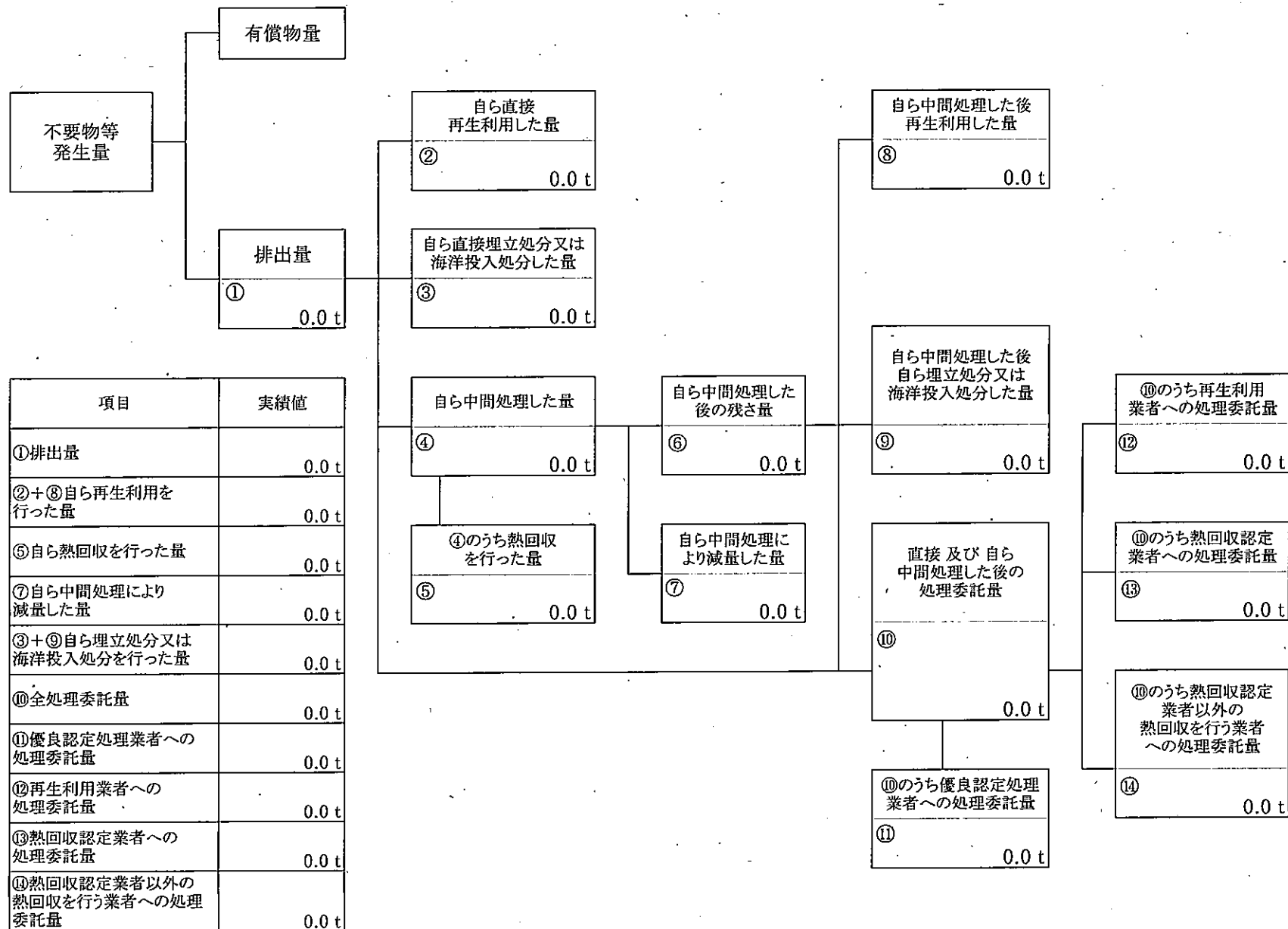
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

建設混合廃棄物

)

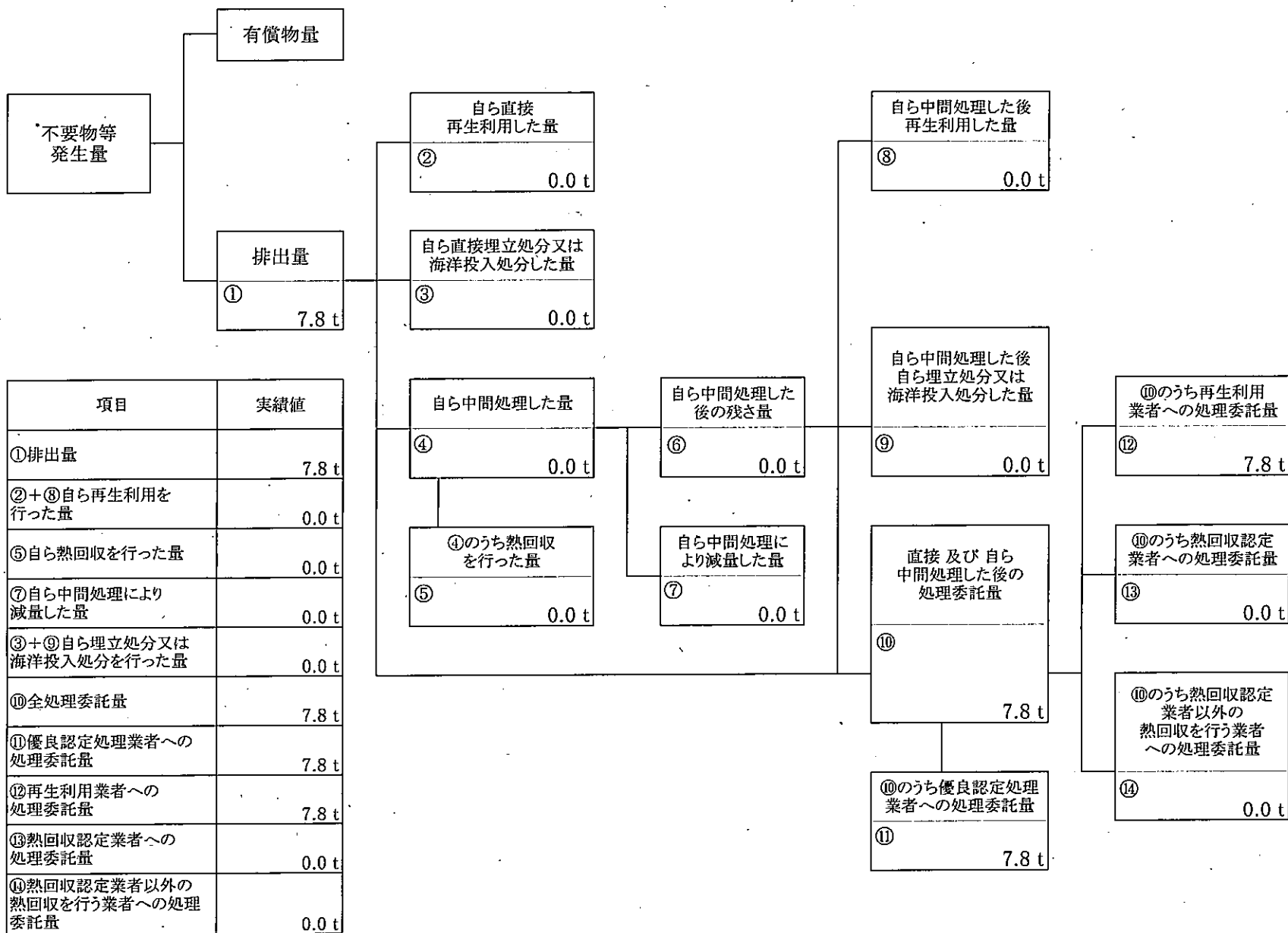


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

管理型混合廃棄物



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、-'実施状況報告書(第1面)'!K6
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月27日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒160-0022	
住 所 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア7階	
氏 名 三菱地所ホーム株式会社 代表取締役社長 細谷 惣一郎 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 03-6774-2644	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	三菱地所ホーム株式会社
事業場の所在地	東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア7階
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	2,684百万円
③ 従業員数	15人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	現場分別→現場内保管→収集運搬（委託契約）→中間処理（委託契約）→運搬→最終処分 ・解体工事では、がれき類及び木くずを再生資源化施設に搬入し再資源化を実施。 ・新築工事では、分別を徹底することにより、可能な限り再資源化を実施。特に木くず及び石膏ボードについて重点的に管理している。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
	(管理体制図) ・別紙（産業廃棄物管理委員会 組織表）の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	167.2 t	98.8 t
	(これまでに実施した取組) ・1999年、ISO14001の認証を取得（現在は認証なく独自のEMS活動） ・徹底した分別の啓発指導 ・納品資材、製品の梱包材等の簡素化 ・構造材のプレカット化、パネル化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	183.9 t	108.7 t
	(今後実施する予定の取組) ・石膏ボードの使用量削減 ・図面チェックによりやり直し工事の減少に努める ・電気配線のユニット化による配線端材の削減		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類、木くず、紙くず、石膏ボード、廃プラスチック類、金属くず、ガラス陶磁器くず、繊維くずに分別を実施 ・分別方法を示すポスターを作成し、啓発・指導をしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・石綿含有産業廃棄物の徹底分別

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全処理委託量	167.2 t	98.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	167.2 t	98.8 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	昨年度も引き続き、法人戸建事業部の千葉県事業場で木くずからパーティクルボードへのマテリアルリサイクルを行いました。 現場から排出された木くずを建材として使っているパーティクルボードメーカーの工場に原材料として中間処理処理後搬入する取り組みです。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全処理委託量	183.9 t	108.7 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	183.9 t	108.7 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・優良認定処理業者の発掘を継続して行う。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

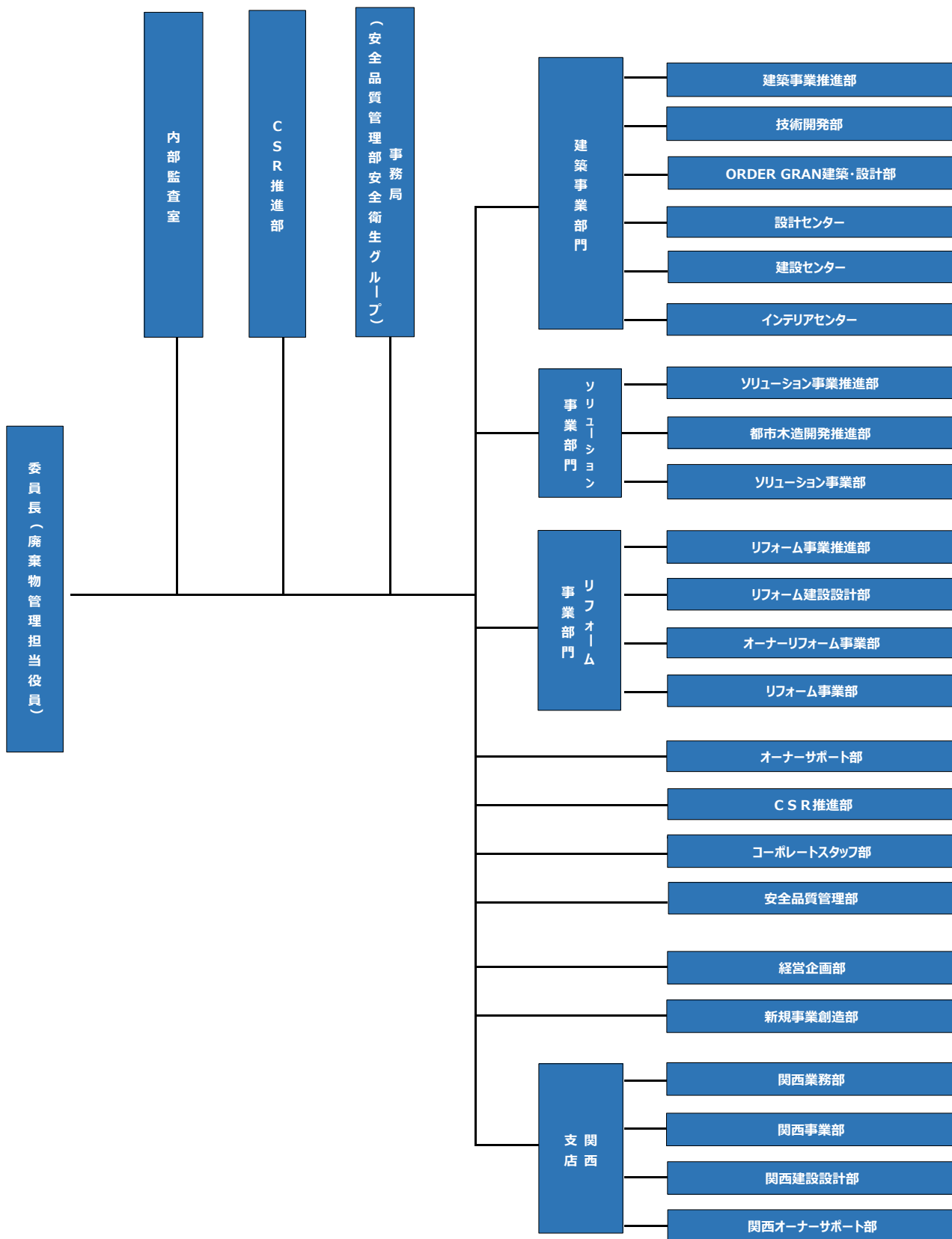
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物
		排 出 量	331.6 t	983.8 t	17.7 t	121.7 t	457.3 t	0.7 t	82.1 t
	②計画	【目標】							
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物
		排 出 量	364.8 t	1082.2 t	19.5 t	133.8 t	503 t	0.8 t	90.3 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】							
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】							
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
	全処理委託量	331.6 t	983.8 t	17.7 t	121.7 t	457.3 t	0.7 t	82.1 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	331.6 t	386.5 t	2.2 t	121.7 t	399.9 t	0.7 t	82.1 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	514.6 t	0 t	0 t	87.8 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	
	全処理委託量	364.8 t	1082.2 t	19.5 t	133.8 t	503 t	0.8 t	90.3 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	364.8 t	425.2 t	2.4 t	133.8 t	439.9 t	0.8 t	90.3 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	566 t	0 t	0 t	96.6 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

2024年度 三菱地所ホーム株式会社

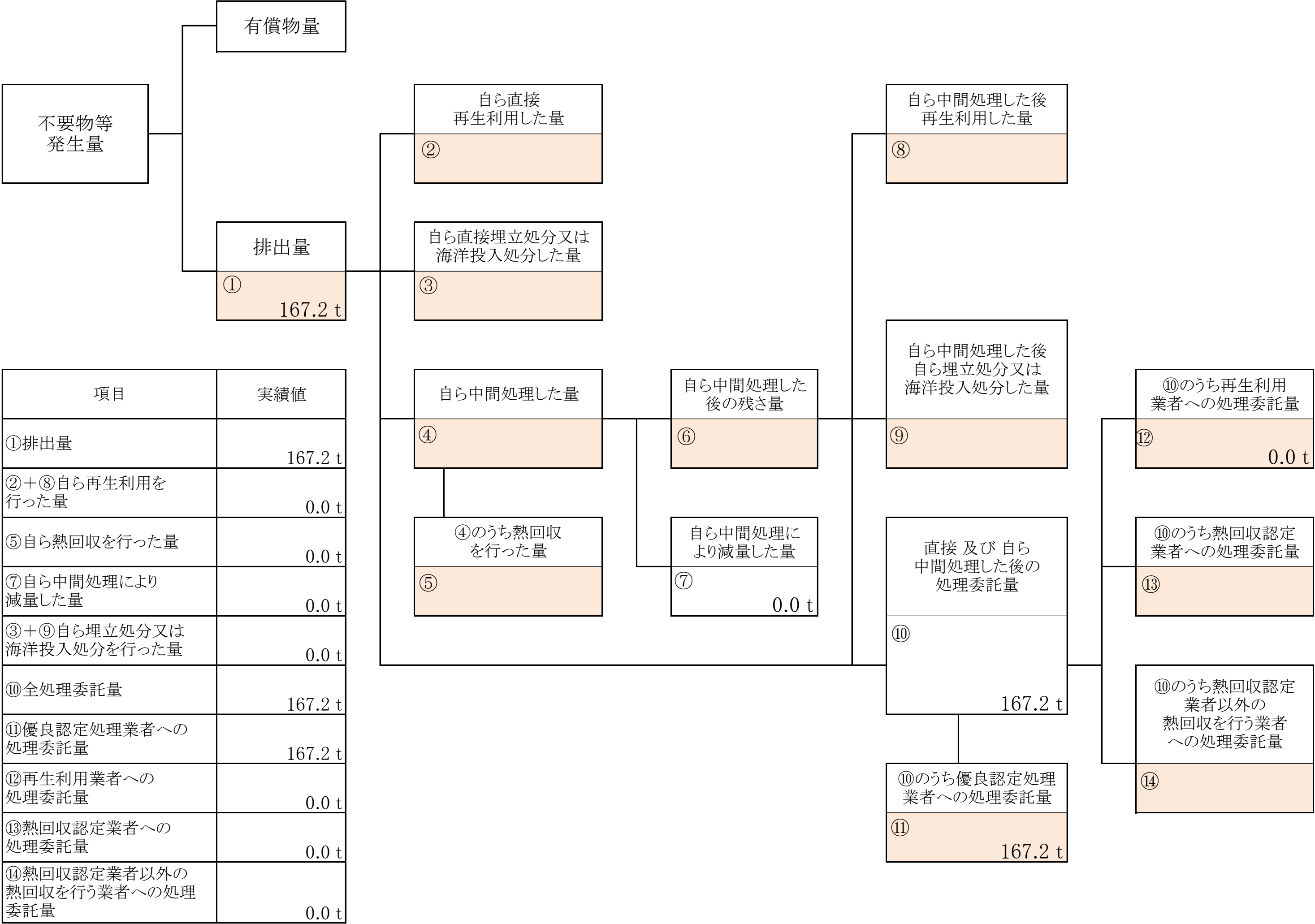
産業廃棄物管理委員会 組織表



産業廃棄物処理計画実施状況報告書				
令和6年6月27 日				
千葉県知事 熊谷 俊人 殿				
提出者 〒160-0022				
住 所 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア7階				
氏 名 三菱地所ホーム株式会社 代表取締役社長 細谷 惣一郎 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)				
電話番号 03-6774-2644				
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。				
事業場の名称		三菱地所ホーム株式会社		
事業場の所在地		東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア7階		
事業の種類		D06ー総合工事業		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間		令和5年4月1日から令和6年3月31日まで		
産業廃棄物処理計画における目標値				
項目		目標値	項目	目標値
排 出 量		1690.7 t	全 処 理 委 託 量	1690.7 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量			優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1377.3 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量			再生利用業者への 処 理 委 託 量	1690.7 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量			認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量			認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	
※事務処理欄				

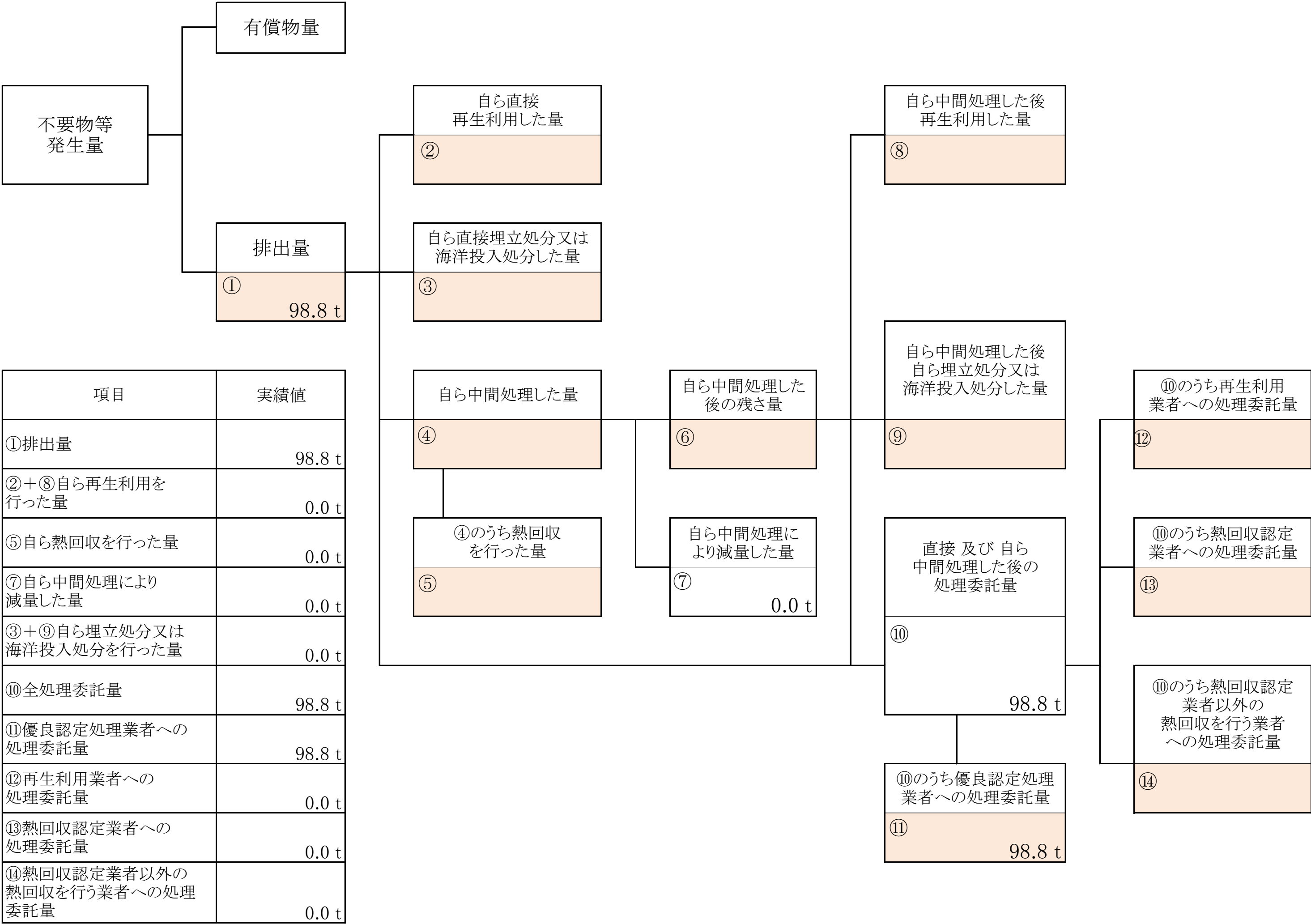
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



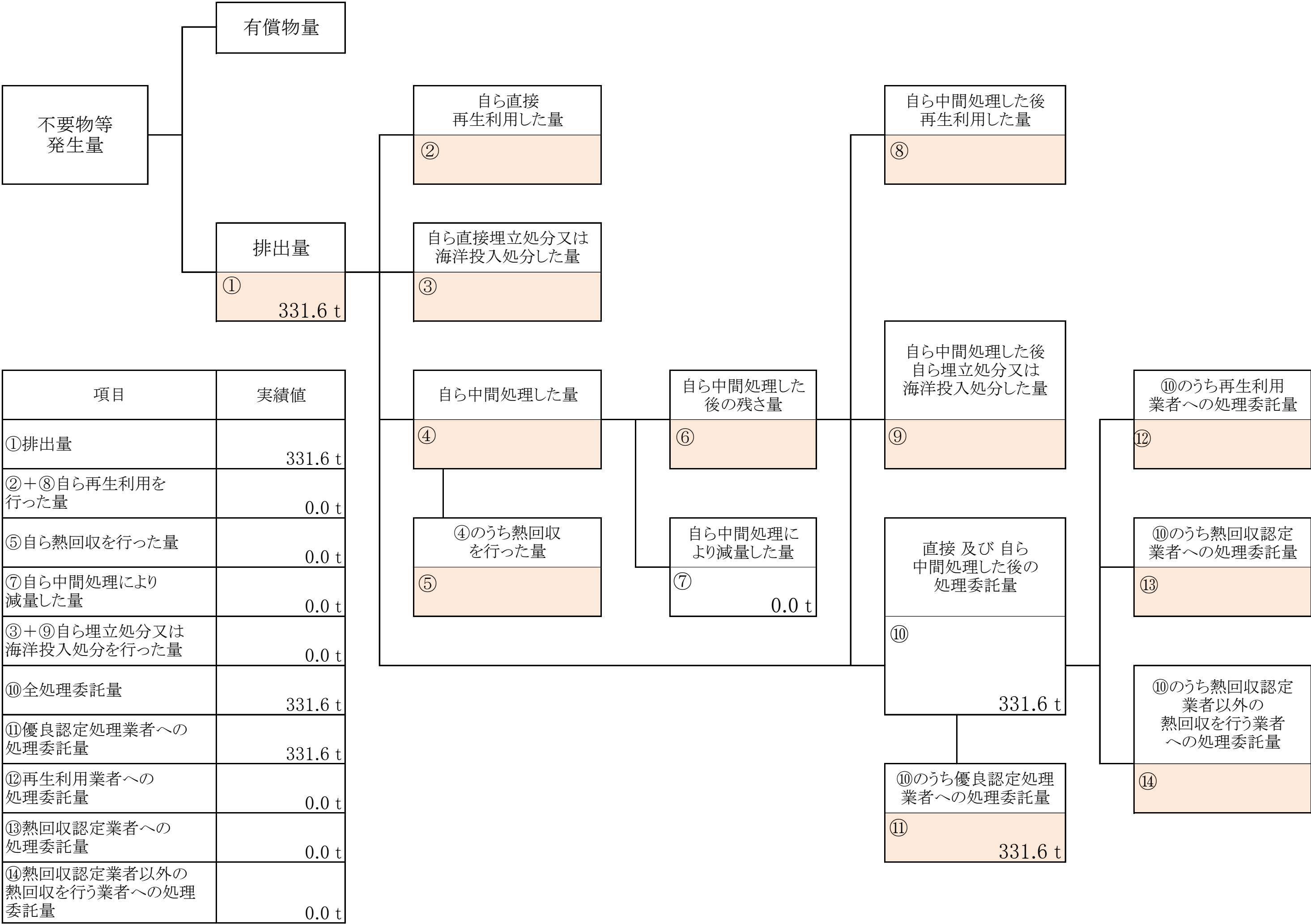
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



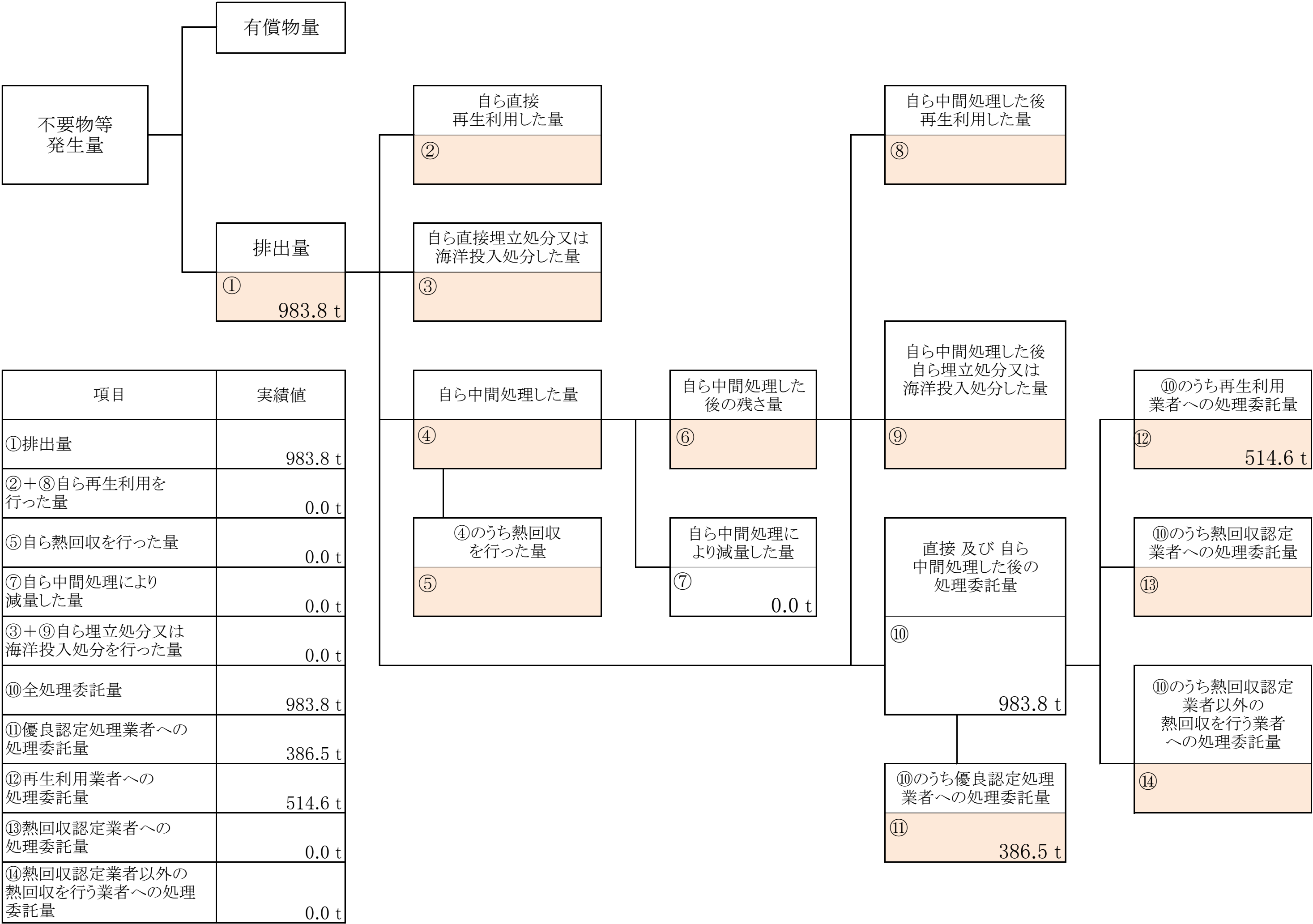
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)



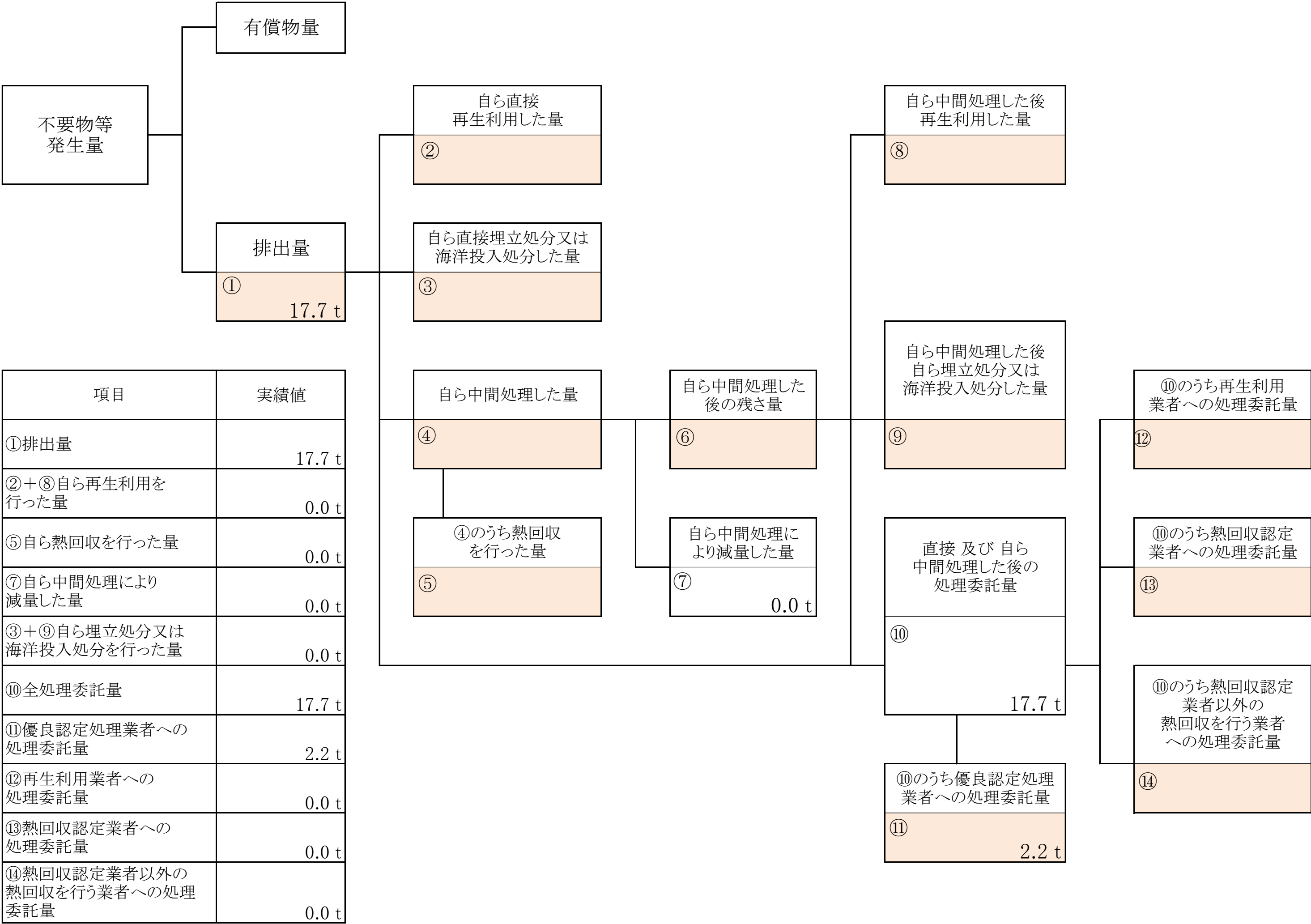
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



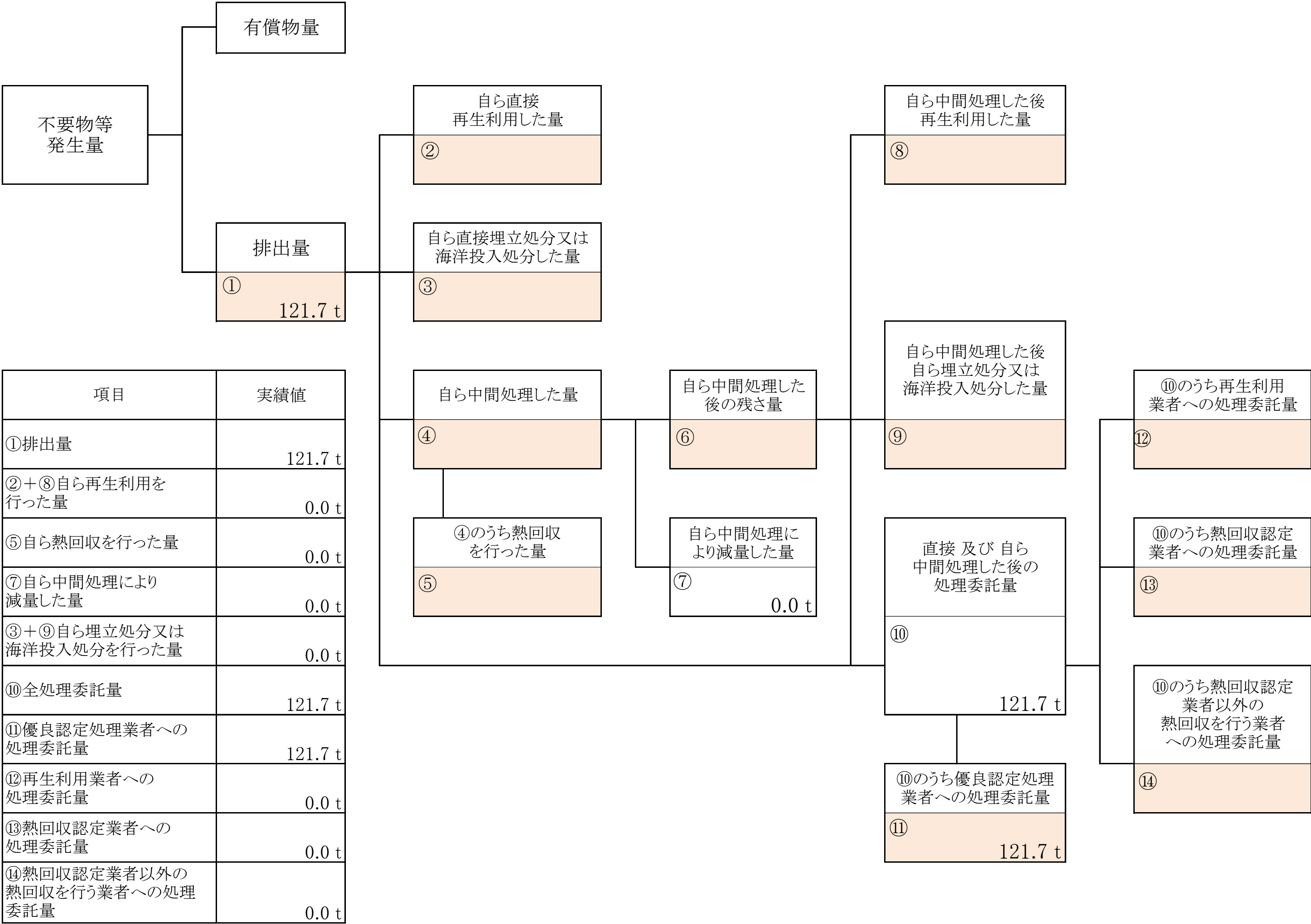
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)



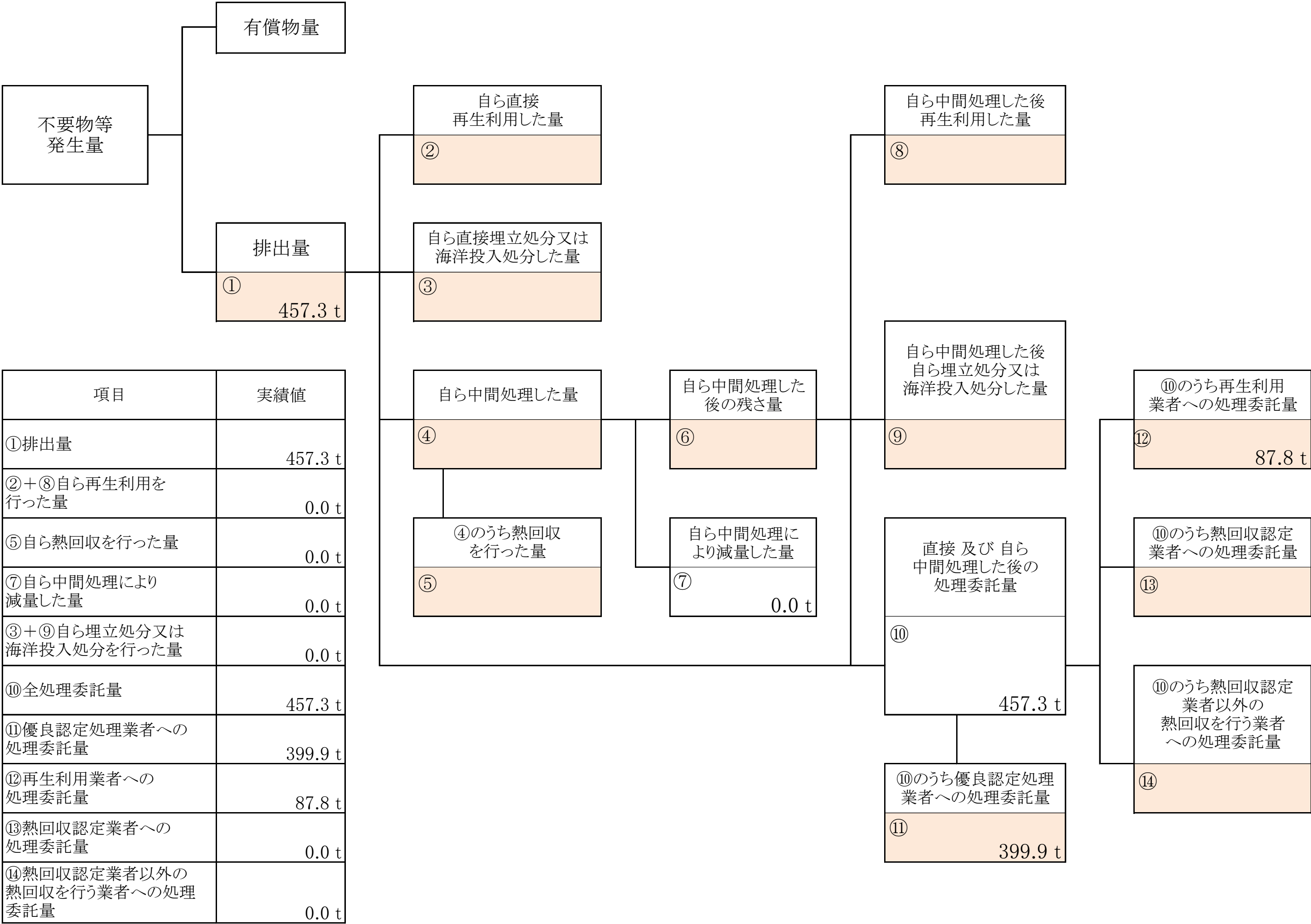
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



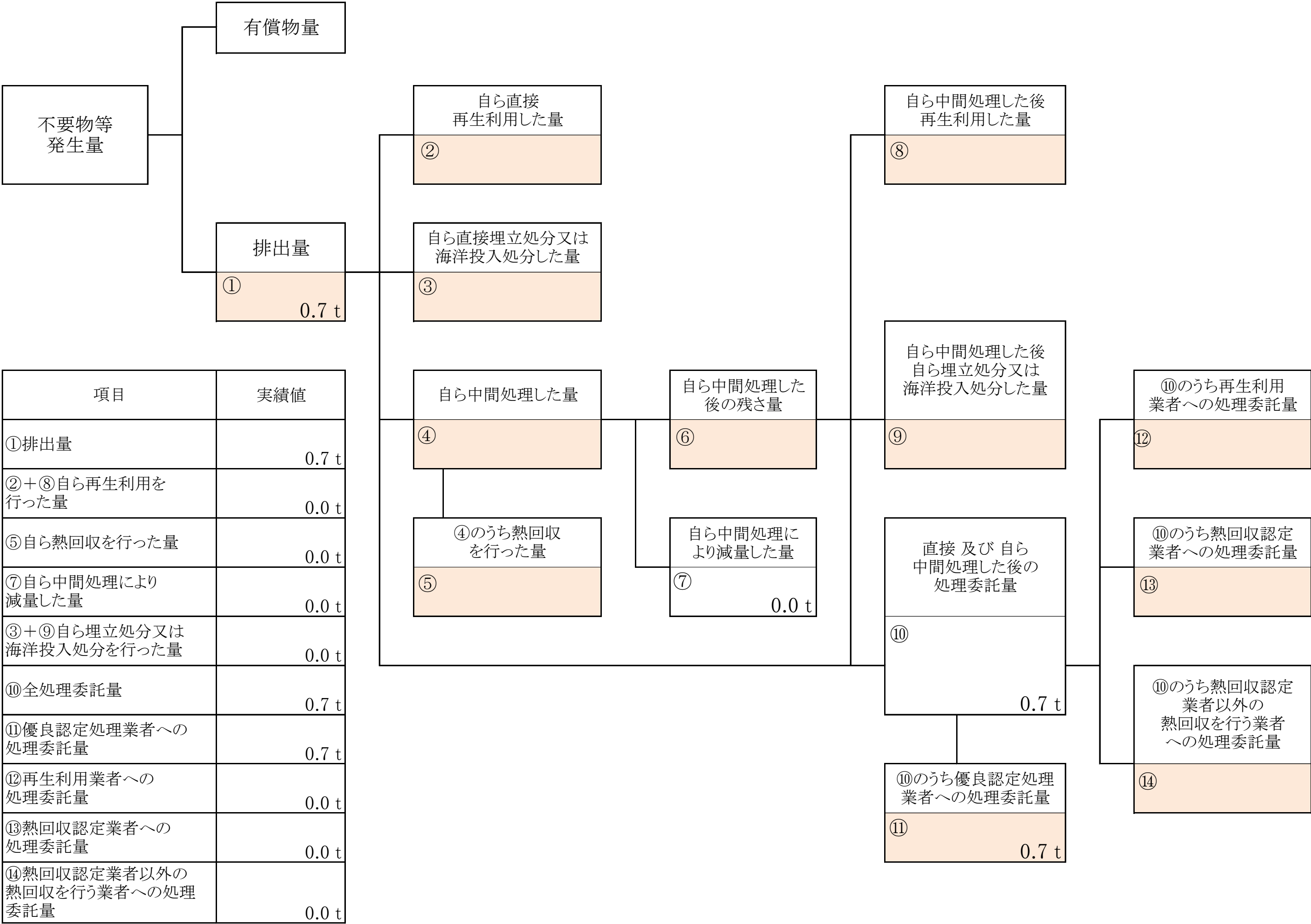
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



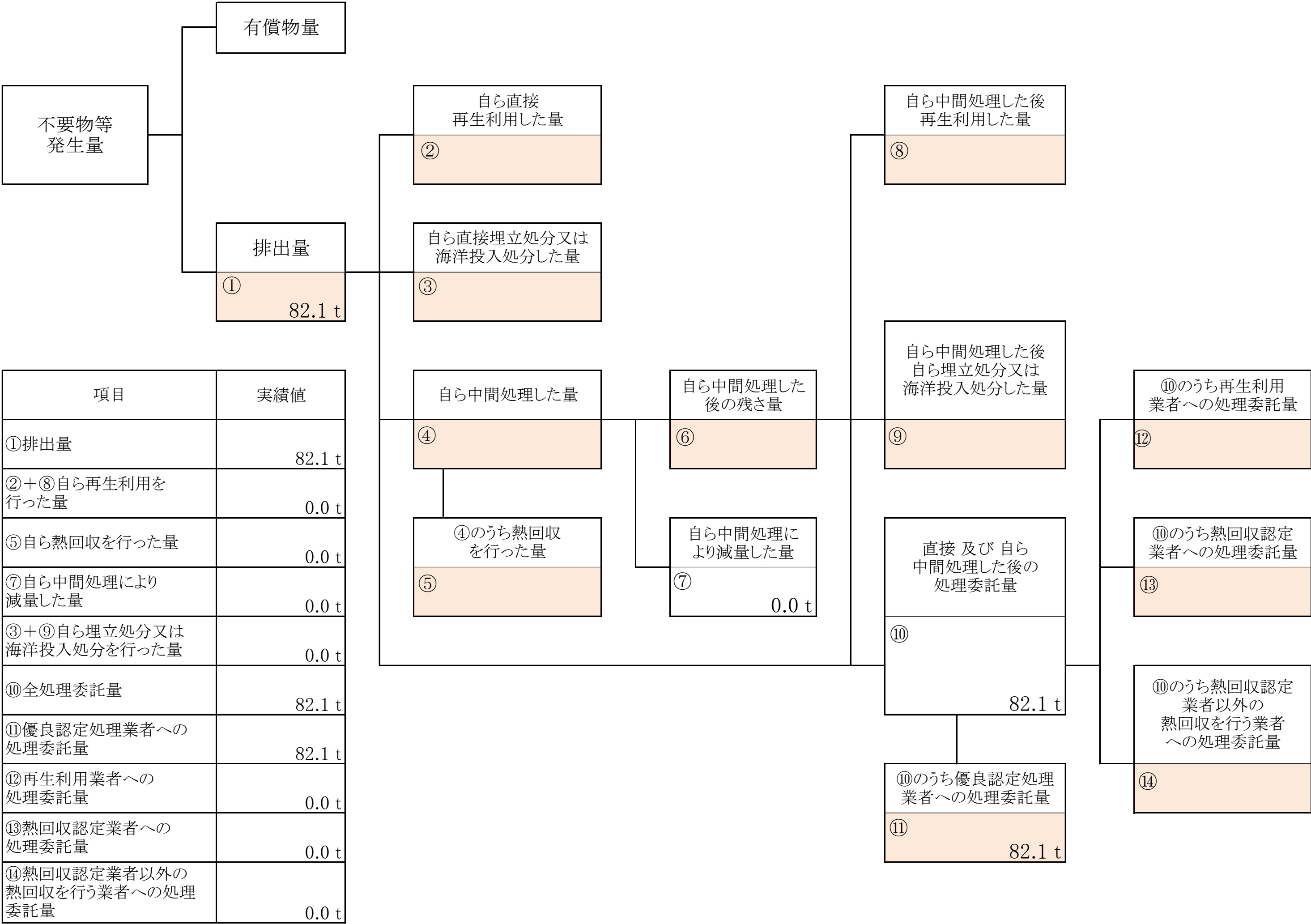
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月28日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 299-4104
住 所 千葉県茂原市南吉田3644-1
法人名 株式会社緑川組
代表者 緑川 三千雄
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0475-34-8311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社緑川組		
事業場の所在地	千葉県茂原市南吉田3644-1		
計画期間	令和6年4月1日	から	令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類： 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高（前年度）676,379千円		
③従業員数	31名		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場 → がれき類 → 中間処理業者 工事現場 → 木くず → 中間処理業者 ※「別紙（処理工程）」		

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 社長 ↓ (処理計画統括責任者) ↓ 総務部 ← ← ← ← ← 工事部 ↓ (処理計画作成担当) (廃棄物管理)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1981.19 t	92.89 t
	(これまでに実施した取組) 適切な処理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1900 t	90 t
	(今後実施する予定の取組) 令和6年度の受注内容が確定できないが、環境に配慮し適切な処理を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 中間処理業者に依頼し、再生可能なものを再生資源として復活。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 中間処理業者に依頼し、再生可能なものを再生資源として復活させる。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 自らは再生利用の実施の取組みがありませんが、中間処理業者に依頼し、がれき類は、再生密粒又は再生路盤材に、木くずは肥料やパルプに再生されます。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 自らは再生利用の実施の取組みがありませんが、中間処理業者に依頼し、がれき類は、再生密粒又は再生路盤材に、木くずは肥料やパルプに再生される業者に処理を委託する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 自らは熱回収や中間処理に取組む計画はありませんが、中間処理業者に依頼し、がれき類は、再生密粒又は再生路盤材に、木くずは肥料やパルプに再生される業者に処理を委託する。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 引続き、埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全 処 理 委 託 量	1981.19 t	92.89 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	23.44 t
	再生利用業者への処理委託量	1981.19 t	92.89 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 中間処理業者に依頼し、がれき類は、再生密粒又は再生路盤材に、木くずは肥料やパルプに再生される業者に処理を委託している。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全 処 理 委 託 量	1900 t	90 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1900 t	90 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) がれき類は再生利用ができる中間処理業者へ委託する。 木くずは肥料やパルプ材として再生可能な処理業者へ委託する。		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

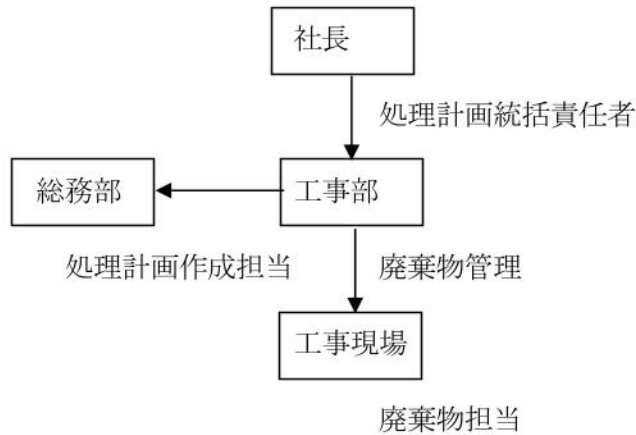
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月28日	
千葉県知事 熊谷 俊人 殿	
提出者 住 所 千葉県茂原市南吉田3644-1 氏 名 株式会社 緑 川 組 代表取締役 緑川 三千雄 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0475-34-8311	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 緑 川 組
事業場の所在地	千葉県茂原市南吉田3644-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業、中分類：総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高（前年度）676,379千円
③ 従業員数	31名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場 がれき類 木くず 中間処理業者 中間処理業者

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排 出 量	1,981.19 t	92.89 t
	(これまでに実施した取組) 適切な処理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排 出 量	1,900 t	90 t
	(今後実施する予定の取組) 令和6年度の受注内容が確定できないが、環境に配慮し適切な処理を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 中間処理業者に依頼し、再生可能なものを再生資源として復活。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 中間処理業者に依頼し、再生可能なものを再生資源として復活させる。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 自らは再生利用の実施の取組みがありませんが、中間処理業者に依頼し、がれき類は、再生密粒又は再生路盤材に、木くずは肥料やパルプに再生されます。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 自らは再生利用の実施の取組みがありませんが、中間処理業者に依頼し、がれき類は、再生密粒又は再生路盤材に、木くずは肥料やパルプに再生される業者に処理を委託する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 自らは熱回収や中間処理に取組む計画はありませんが、中間処理業者に依頼し、がれき類は、再生密粒又は再生路盤材に、木くずは肥料やパルプに再生される業者に処理を委託する。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことは無い。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 引続き、埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全 処 理 委 託 量	1,981.19 t	92.89 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0 t	23.44 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	1981.19 t	92.89 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 中間処理業者に依頼し、がれき類は、再生密粒又は再生路盤材に、木くずは肥料やパルプに再生される業者に処理を委託している。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全 処 理 委 託 量	1,900 t	90 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,900 t	90 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)・適切な処理 がれき類は再生利用ができる中間処理業者へ委託する。 木くずは肥料やパルプ材として再生可能な処理業者へ委託する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月28日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 299-4104			
住所 千葉県茂原市南吉田3644-1			
法人名 株式会社緑川組			
代表者 緑川 三千雄			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0475-34-8311			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社緑川組		
事業場の所在地	千葉県茂原市南吉田3644-1		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1727 t	全処理委託量	1727 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1727 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

N0.1

(第2面)

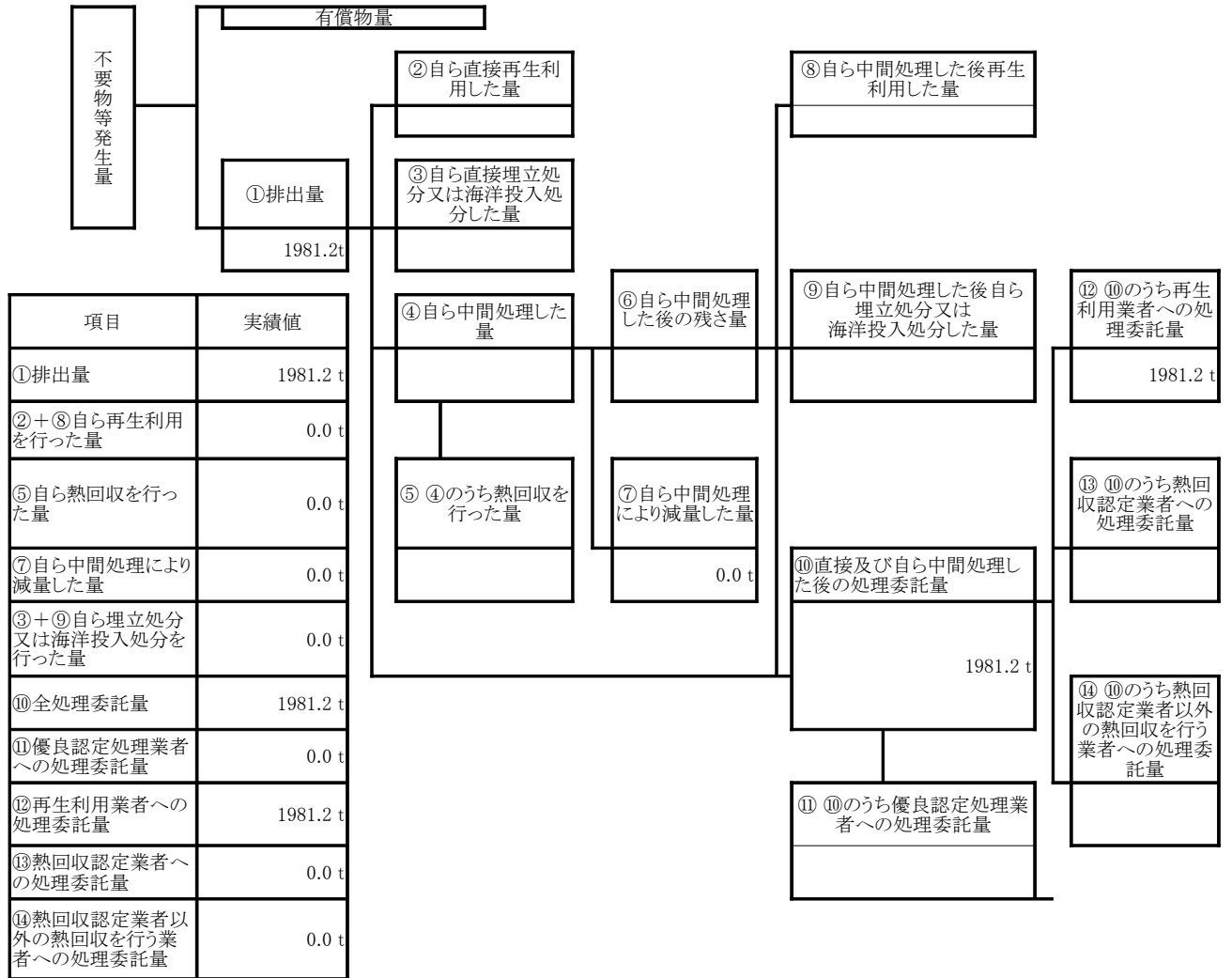
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	92.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	92.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	92.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量		
	①排出量		③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量			
			④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
			⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
項目	実績値					
①排出量	0.0 t					
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t					
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t					
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t					
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t			0.0 t		
⑩全処理委託量	0.0 t				⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t					
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量		
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t					
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t					

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
	①排出量				
			③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
項目	実績値	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
①排出量	0.0 t				
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t				
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t		0.0 t	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t			0.0 t	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑩全処理委託量	0.0 t				
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t				
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t				
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

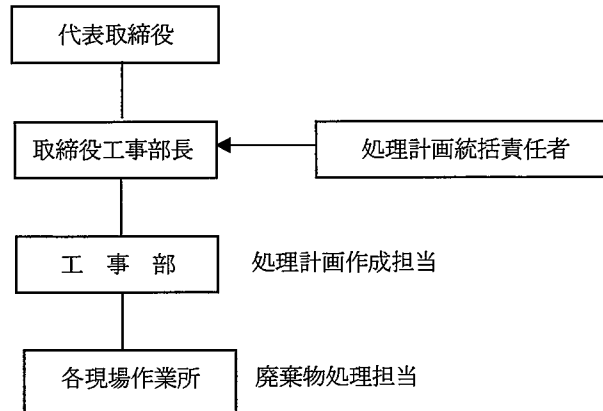
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 13 日	
千葉県知事 熊谷 俊人 殿	
〒270-1514 千葉県印旛郡栄町酒直台2-1-10 村楳建設工業株式会社 代表取締役 村楳 知則 電話番号 0476-95-3221	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	村楳建設工業株式会社
事業場の所在地	〒270-1514 千葉県印旛郡栄町酒直台2-1-10
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 総合工事業 一般土木建築工事業
② 事業の規模	前年度元請完成工事高：16.5億円
③ 従業員数	30人(正社員30人)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	道路舗装(復旧) 構造物取壊し 構造物撤去 → As・Coがら、Coがら がれき類、廃711 廃プラスチック類、木くず 建設汚泥、混合廃棄物 → 中間処理施設(再生利 用業者) 印旛 地域振興事務所 6.6.13 收受

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 「別紙－1のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 受注工事の内容によって廃棄物の種類と排出量が決定される。令和5年度は繰越工事が多く、その工事内容からすれば、特別な排出抑制対策を実施しなくても、令和3～4年度並みの1,500t程度となる計画を立案した。が、長門川護岸工事および北千葉道路改良工事で、予想外に木根等処分量が多く発生した（約980t）発生したため、令和4年度実績を約900t上回る結果となった。		
② 計画	【目標】 「別紙－1のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 令和6年度は例年と比べて繰越工事が少なく、今後受注する工事の内容如何で廃棄物の種類と排出量が決まるため、目標立案が難しい面がある。令和5年度は想定以上に「木くず」が多かったが、令和6年度は「木くず」がそれほど多くにならない見込みのため、令和3～4年度並みか、やや上回るかも。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工事から発生する廃棄物は、廃棄物の種類別に、工事毎に分別し（識別）、現場内に一時的に仮置き保管した後に、ある程度の量に達したらまとめて中間処理施設へ運搬処理している。
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場内で分別するよう指導しているが、建設混合廃棄物が増加する傾向がみられる。極力、分別処理することにより、混合廃棄物量を減少させるよう引き続き指導を強化する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 「別紙－2のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） これまでに、自社で再生利用を行ったことはない。		
② 計画	【目標】 「別紙－2のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、自社で再生利用を行う予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 「別紙－3のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） これまでに、自社で中間処理を行ったことはない。		
② 計画	【目標】 「別紙－3のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、自社で中間処理を行う予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 「別紙－4のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
② 計画	【目標】 「別紙－4のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、自社で埋立処分又は海洋投入処分をする予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 「別紙－5のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 排出量の全量を中間処理施設（再生利用業者）へ委託処理している。現場近傍に優良認定処理業者があれば、極力そこへ委託処理するように指導している。発生量は少ないが、廃プラスチック、建設混合廃棄物、木くずで徐々に委託量が増加しつつある。		

② 計画	【目標】 「別紙－５のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、排出量の全量を中間処理施設（再生処理業者）への委託処理を行う。 工事場所と運搬距離等の諸条件が整えば、優良認定処理業者へ委託するように各現場担当者に指導している。 ただ、当社の排出量の多くを占めるコンクリートがら、アスファルト・コンクリートがら、がれき類は、工事現場の近傍では優良認定業者が見当たらない。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙－１)

産業廃棄物の抑制に関する事項

①現状 【前年度（令和５年度）実績】

表－１

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	鋳さい	木くず	廃プラスチック類	建設汚泥	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃刃加	紙くず	廃油	合計
排出量（ｔ）	1,210.2	71.1	178.1	0.0	976.9	9.1	0.1	6.1	0.0	0.8	0.3	0.0	2,452.7

②計画 【目 標】

表－２

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	鋳さい	木くず	廃プラスチック類	建設汚泥	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	廃刃加	紙くず	廃油	合計
排出量（ｔ）	1,100.0	200.0	200.0	0.0	100.0	10.0	5.0	10.0	0.0	2.0	2.0	1.0	1,630.0

(別紙－２)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状 【前年度（令和5年度）実績】

表-1

[illegible]

②計画 【目 標】

表-2

[illegible]

(別紙－３)

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状 【前年度（令和5年度）実績】

表-1

[illegible]

②計画 【目 標】

表-2

[illegible]

(別紙－４)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状 【前年度（令和5年度）実績】

表-1

[illegible]

②計画 【目 標】

表-2

[illegible]

(別紙－５)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状 【前年度（令和5年度）実績】

表-1

[illegible]

②計画 【目 標】

表-2

[illegible]

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 13日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者
千葉県印旛郡栄町酒直台2-1-10
村樫建設工業株式会社
代表取締役 村樫 知則
電話番号 0476-95-3221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	村樫建設工業株式会社		
事業場の所在地	〒270-1514 千葉県印旛郡栄町酒直台2-1-10		
事業の種類	建設業 総合工事業 一般土木建築工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年 4月 1日～令和6年 3月31日		
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1510.0 t	全処理委託量	1510.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	26.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1484.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

印旛

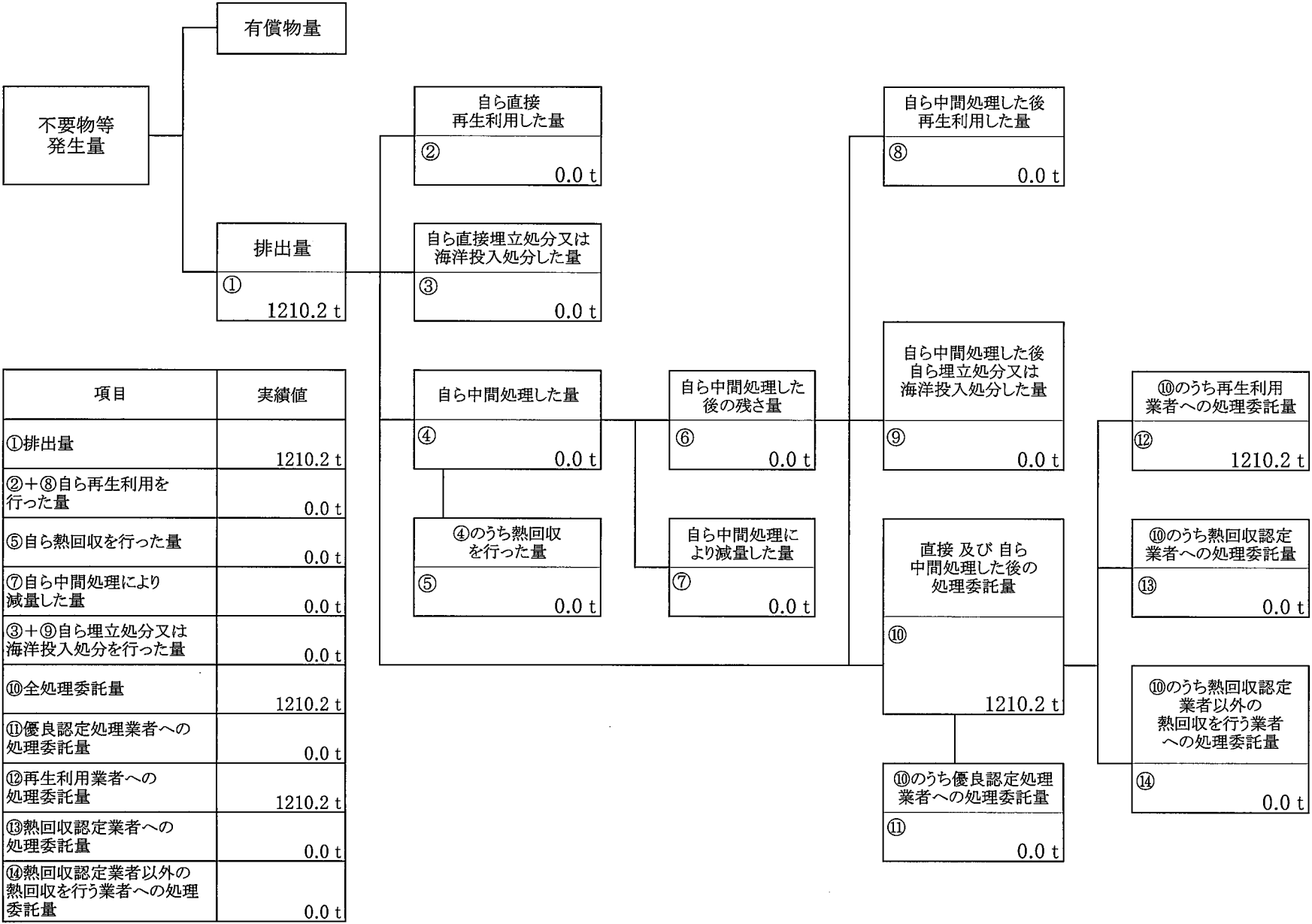
地域振興事務所

(日本工業規格 A 列 1 番)



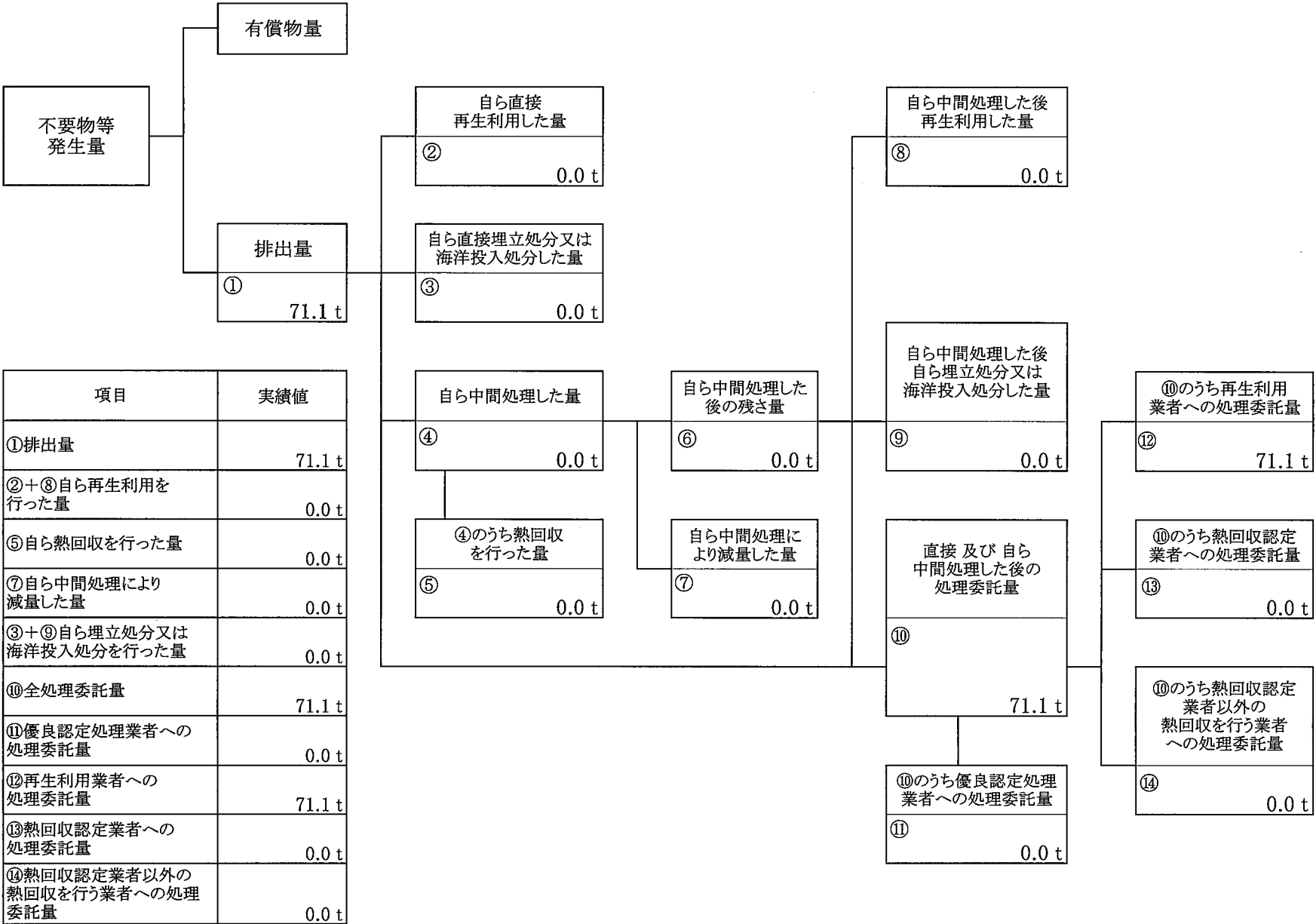
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリートがら)



計画の実施状況

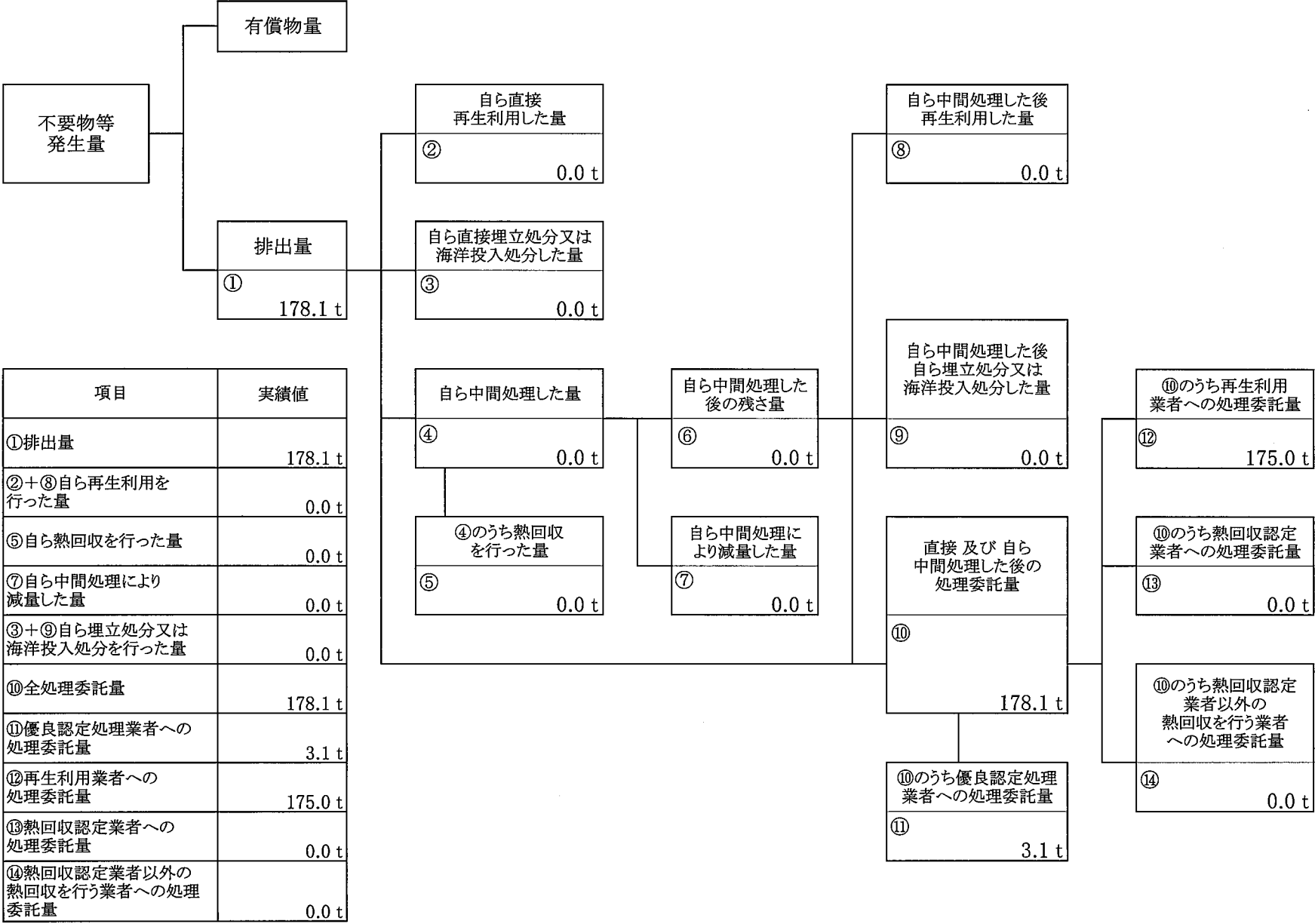
(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

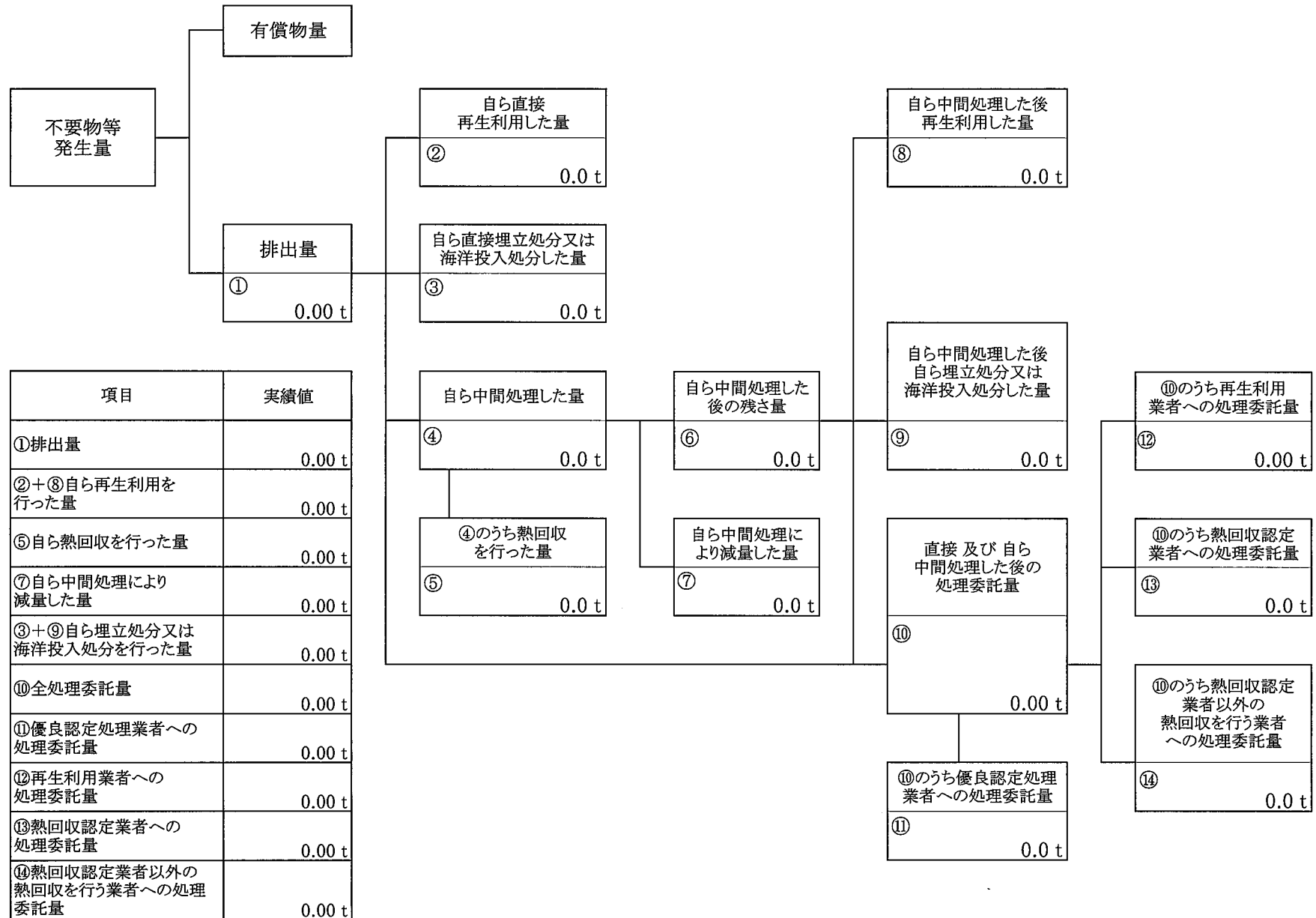


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

鋳さい

)



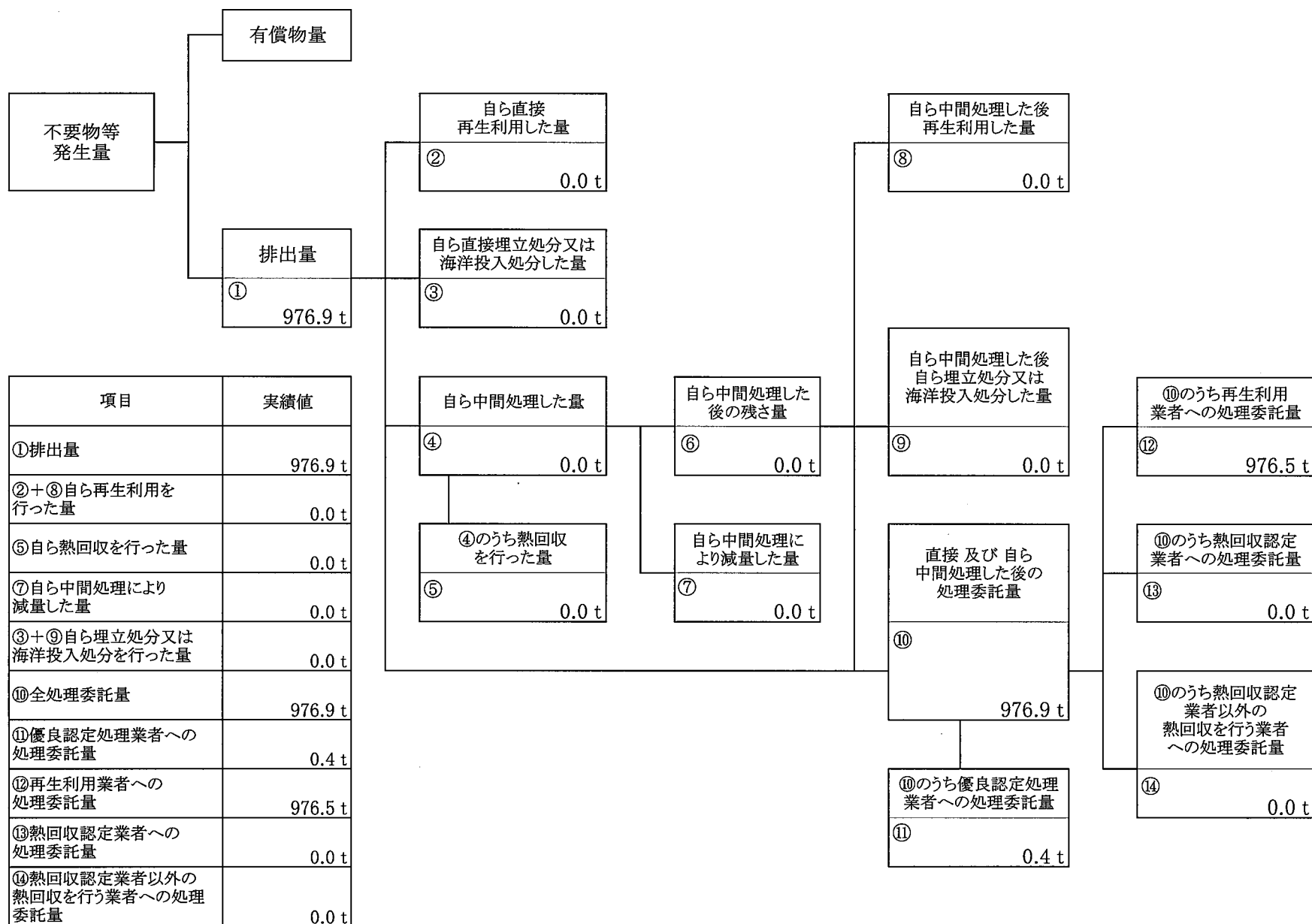
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず

)



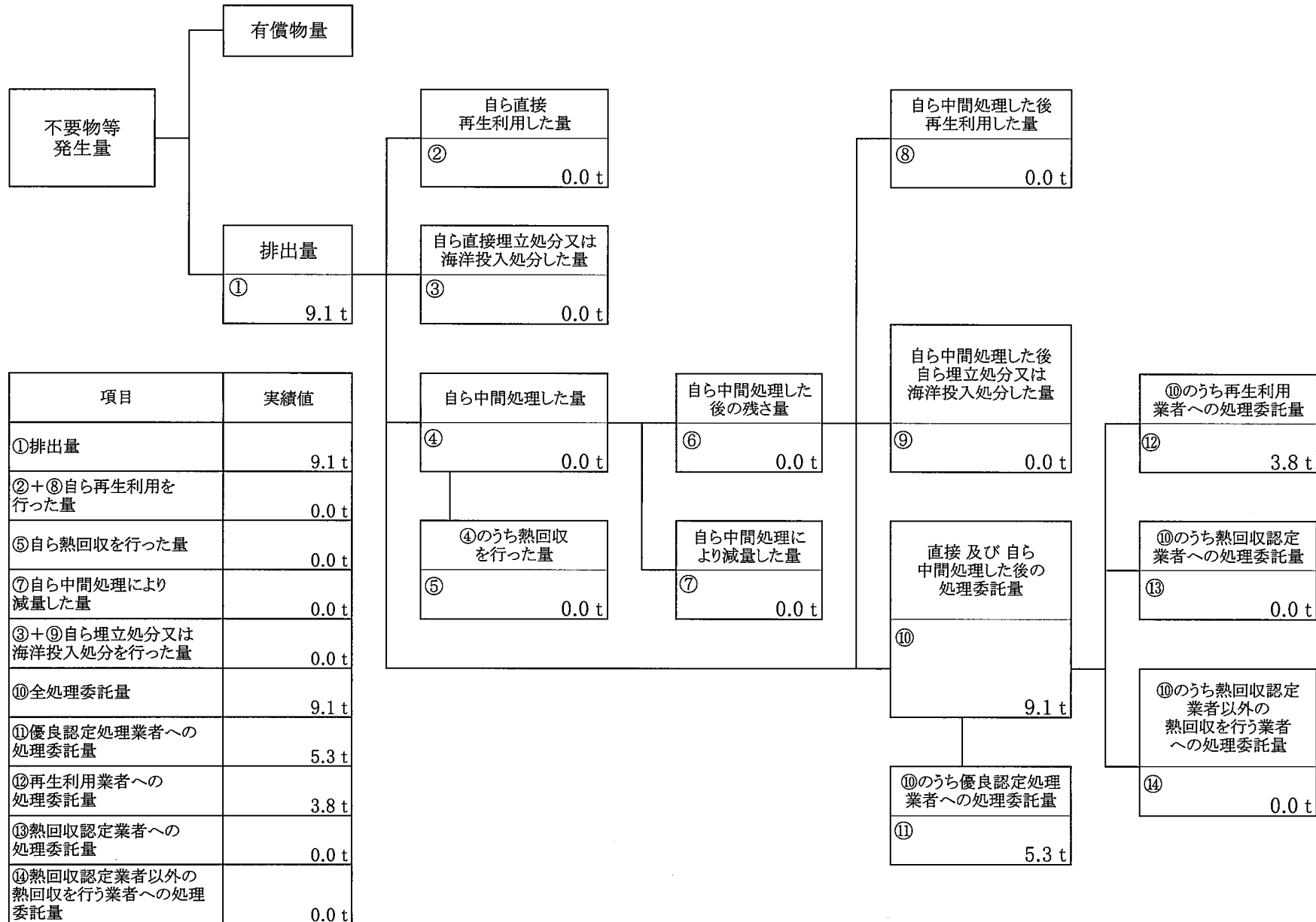
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック類

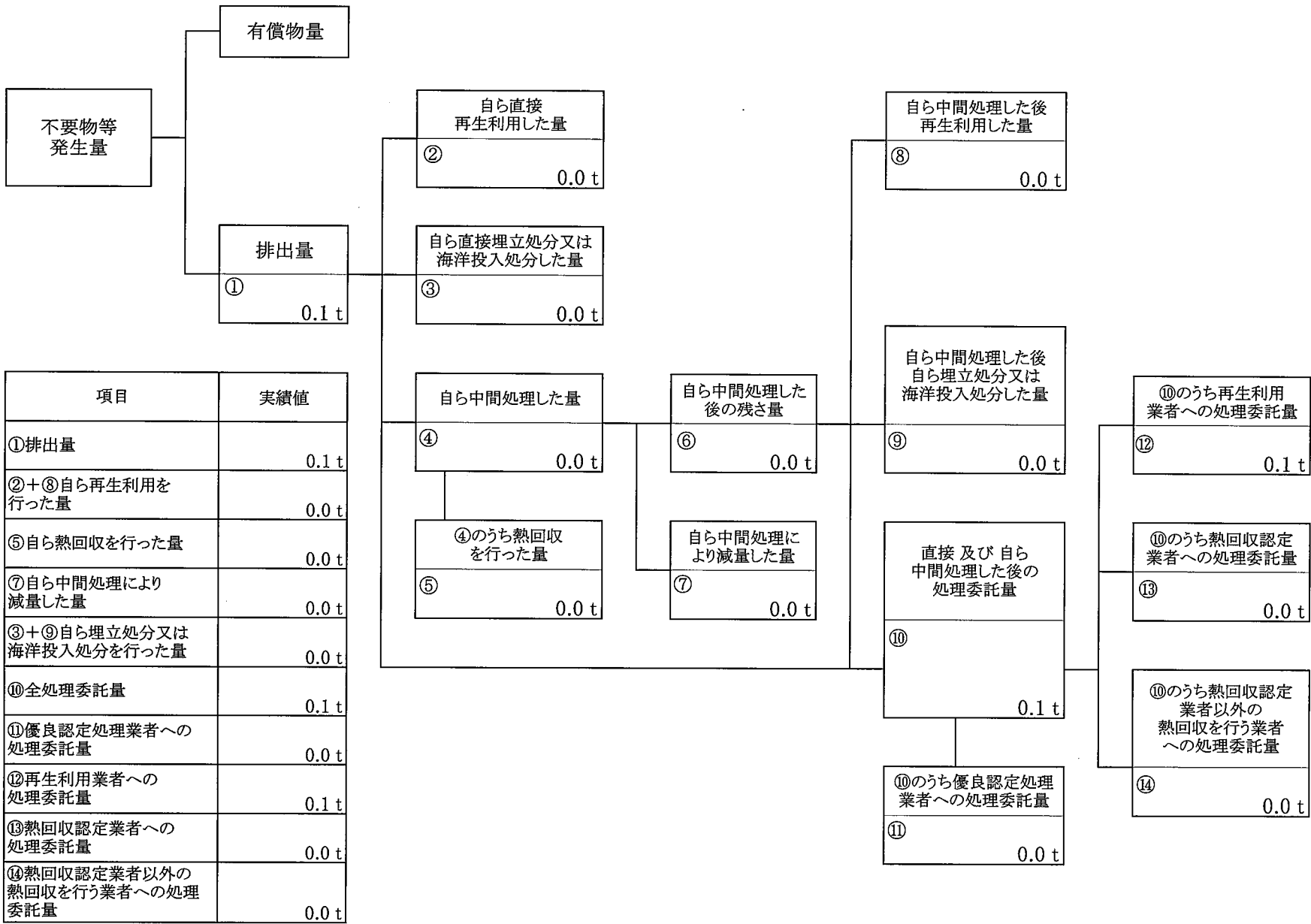
)



(第2面)

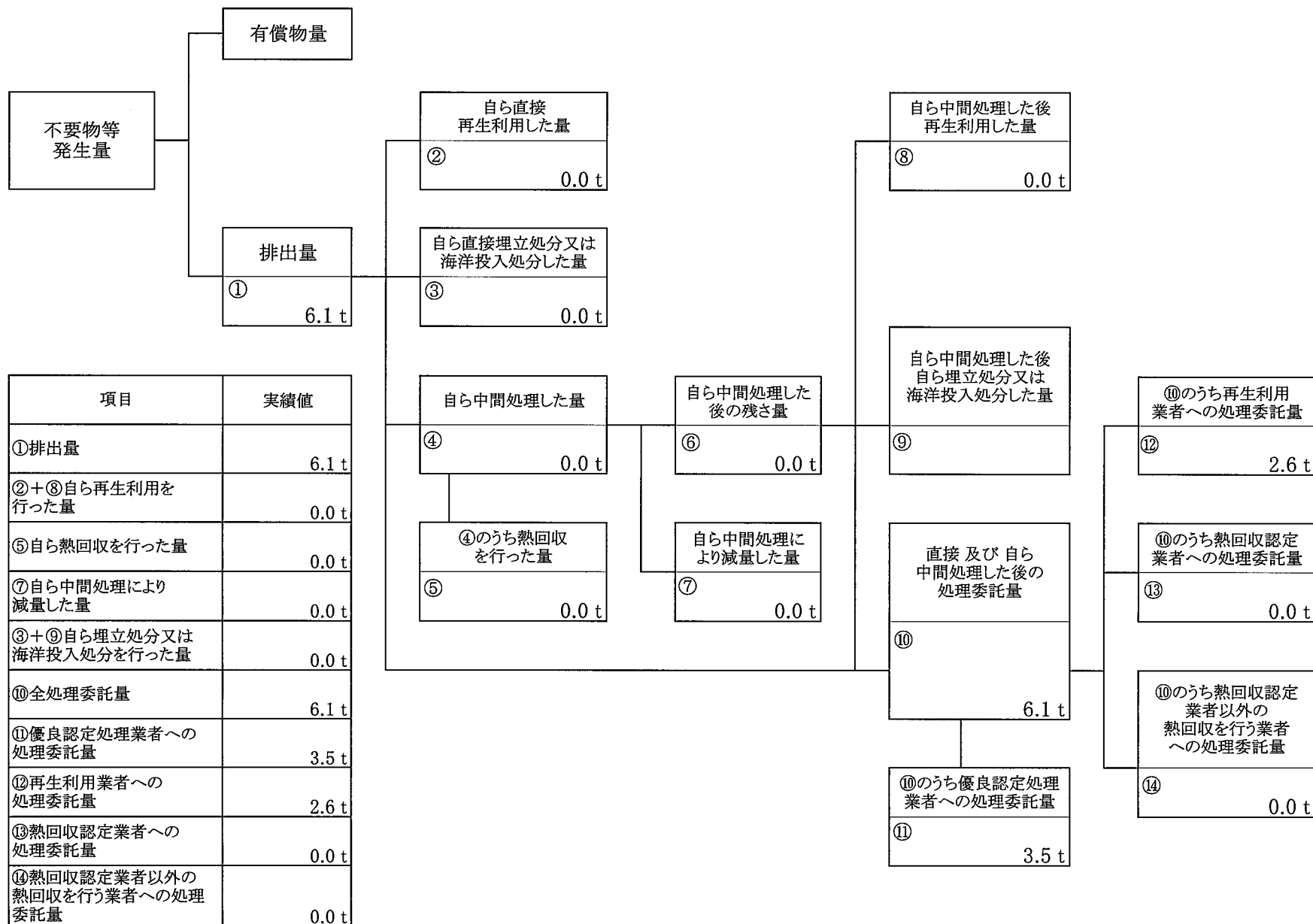
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



計画の実施状況

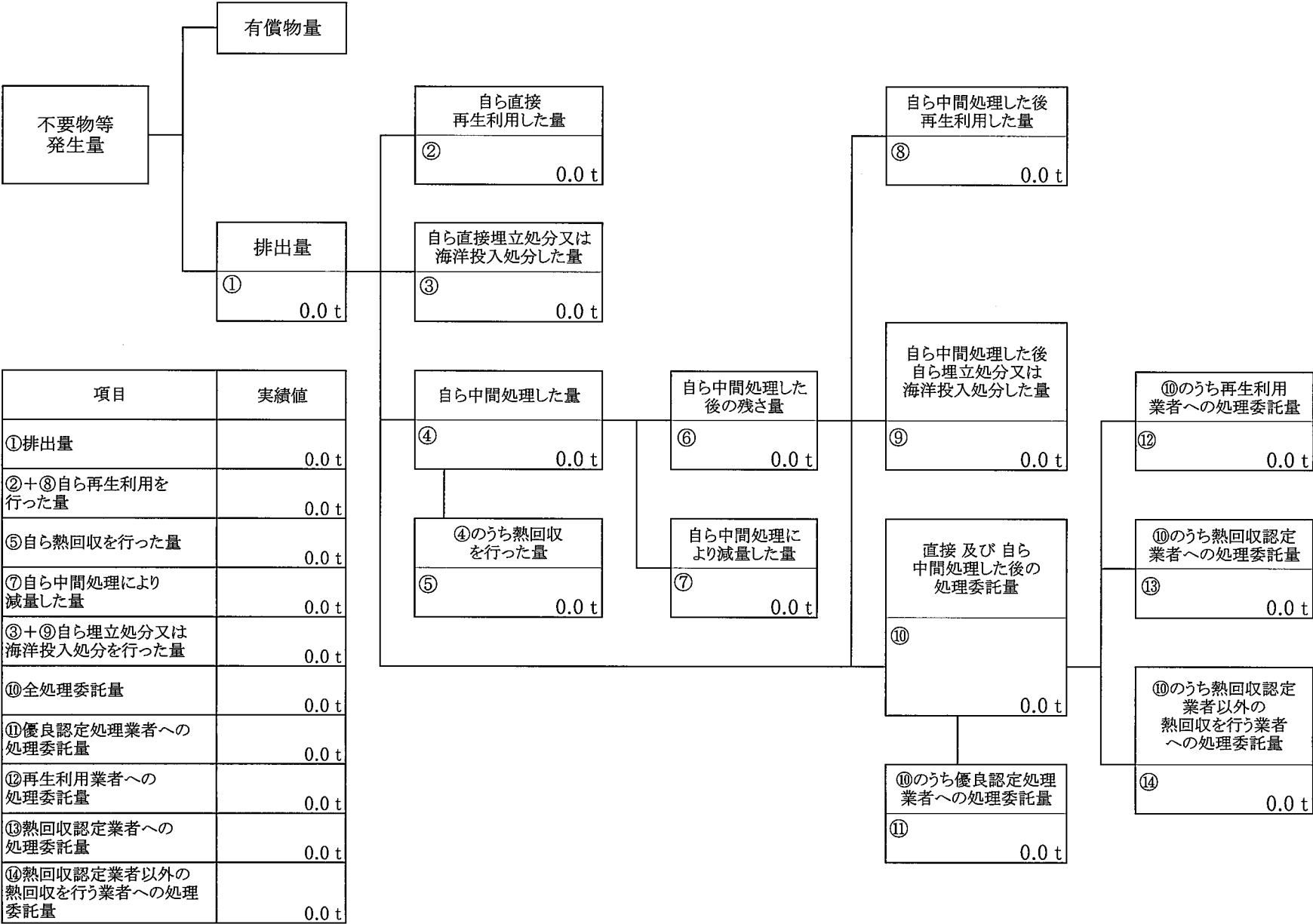
(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他混合廃棄物)

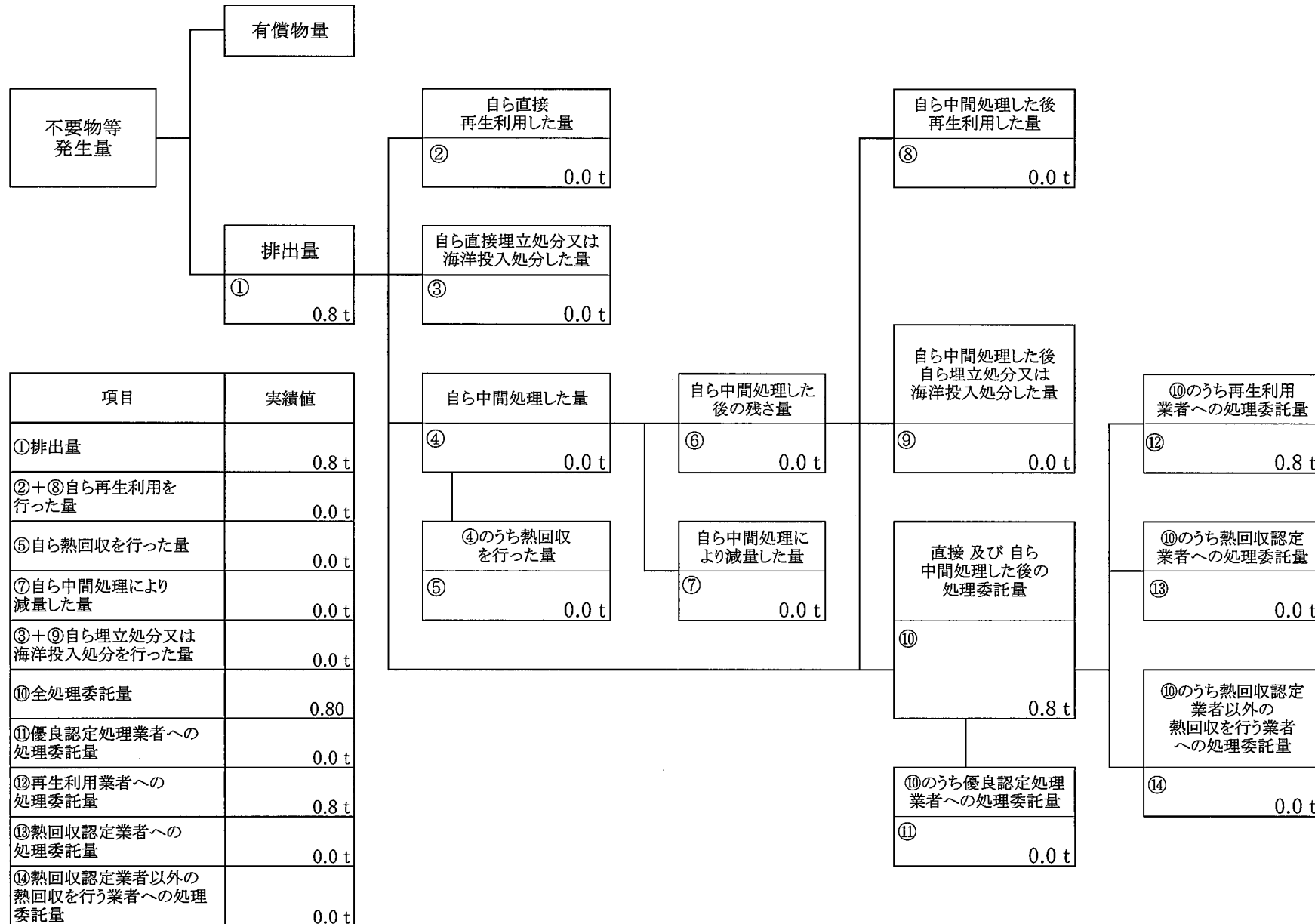


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃アルカリ

)



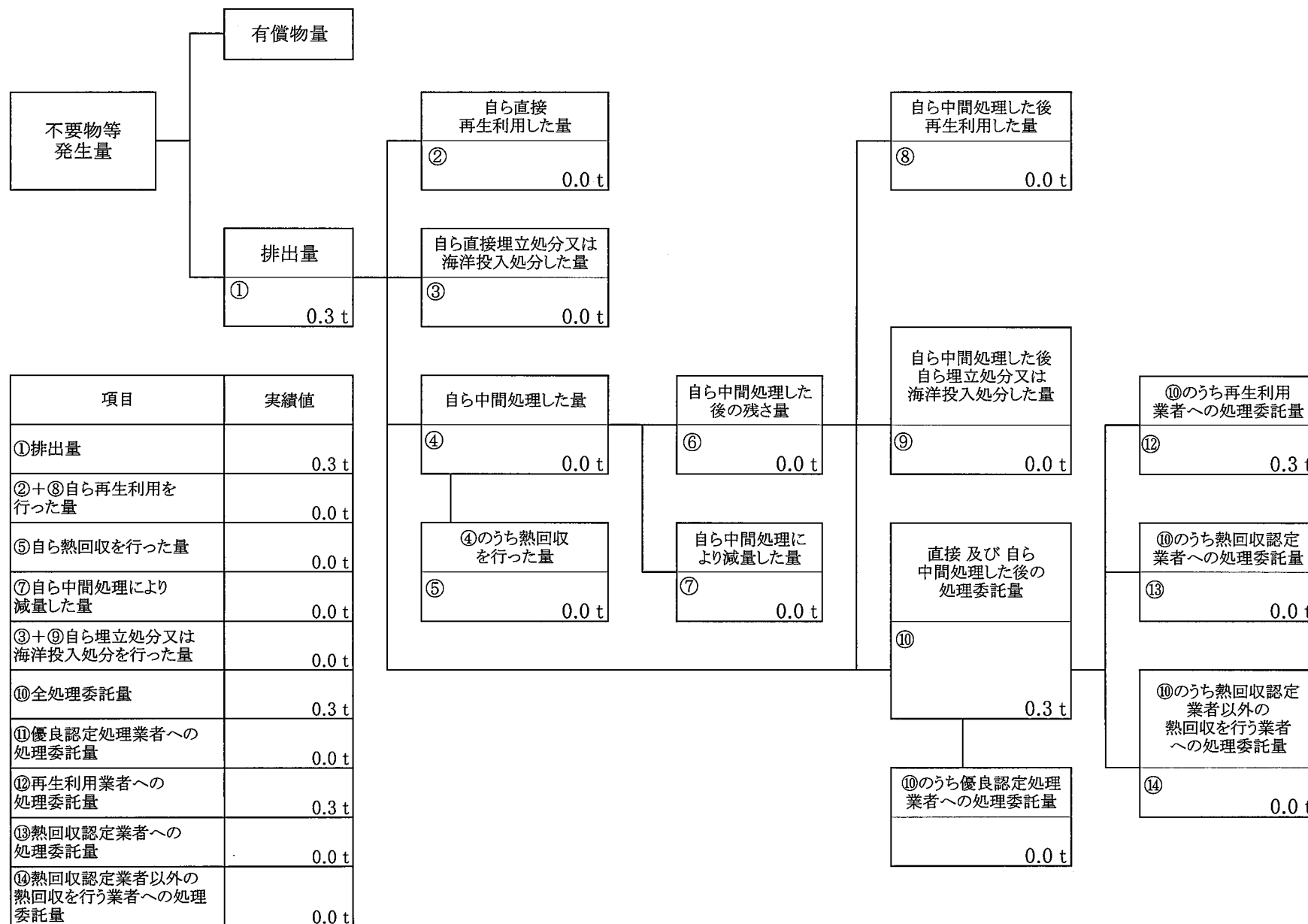
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

紙くず

)



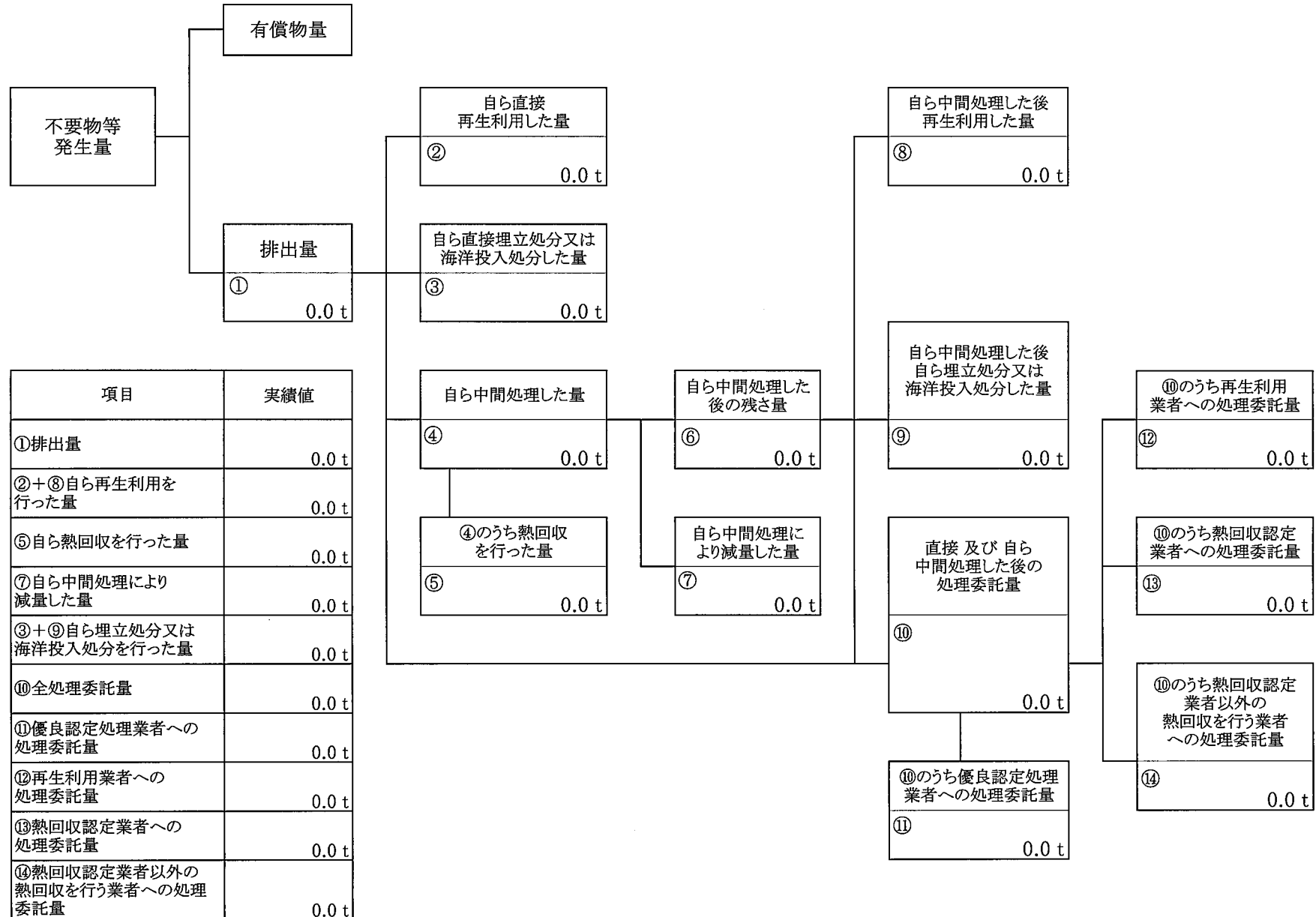
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃油

)



(第2面)

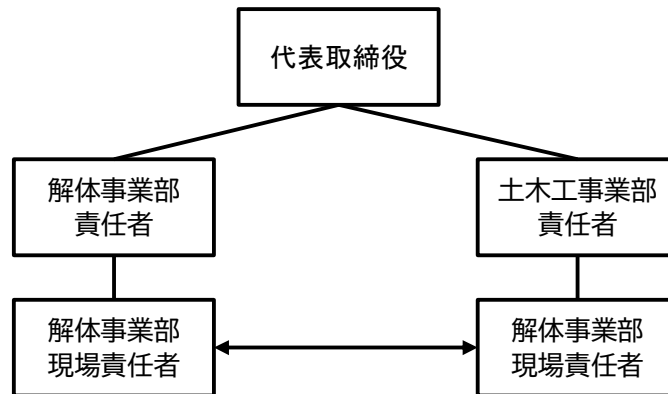
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 28 日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒285-0837	
住 所 千葉県佐倉市王子台1-21-2	
氏 名 株式会社村上建設 代表取締役 村上 亮	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0 4 3 - 4 6 1 - 8 8 1 1	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社村上建設
事業場の所在地	千葉県佐倉市王子台1-21-2
計画期間	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建築業 中分類：総合工事業
② 事業の規模	工事完成高9億円（2021年度）
③ 従業員数	41名（2024年3月現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリート類 がれき類 ガラス・陶磁器くず 廃プラスチック類 木くず 繊維くず 混合廃棄物 石綿含有廃棄物 再資源化 中間処理 埋め立て処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	3種類以上の廃棄物合計	
	排出量	10,606 t	t
	（これまでに実施した取組） 家屋解体工事が多いので、各現場にて細かな分別・軽減化を実施している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	3種類以上の廃棄物合計	
	排出量	11,450 t	t
	（今後実施する予定の取組） 解体工事の特性として、搬出量の制限は困難となるので、細かな分別を行い、混合廃棄物の搬出を抑える。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） E A 2 1 の取り組みと合わせて、環境意識向上を図る為、適宜、教育を実施している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 可能限り分別を行い、可能な限り再利用出来るように分別をおなっていく。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2,627 t	t
	(これまでに実施した取組) コンクリートの塊を破砕し、再生砕石と再利用を行った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	3,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き再生砕石を作成し、再利用を行っていく。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2,269 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2,000 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	3種類以上の廃棄物合計	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	3種類以上の廃棄物合計	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	3種類以上の廃棄物合計	
	全処理委託量	5,710 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	744 t	t
	再生利用業者への処理委託量	2,606 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	細かな分別・軽減化を行い、再生利用を行う処理委託業者へ搬出を行い再資源化となるように努める。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	3種類以上の廃棄物合計	
	全 処 理 委 託 量	6,450 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	800 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	5,650 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き再利用が可能な処理業者へ委託を目指す。		
※事務処理欄	3種類以上の廃棄物合計		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
	排 出 量	4,800 t	354 t	342 t	91 t	4,629 t	208 t	182 t	10,606 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
	排 出 量	6,000 t	400 t	350 t	100 t	4,200 t	210 t	190 t	11,450 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
----------------------	--	--	--

①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	2,627 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	2,627 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	3,000 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	3,000 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	2,269 t	0 t	0 t	2,269 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	2,000 t	0 t	0 t	2,000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	【前年度（令和 5 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
①現状	全処理委託量	2,173 t	354 t	342 t	91 t	2,360 t	208 t	182 t	5,710 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	354 t	0 t	0 t	2,360 t	208 t	182 t	3,104 t
	再生利用業者への 処理委託量	2,173 t	0 t	342 t	91 t	0 t	0 t	0 t	2,606 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
②計画	全処理委託量	3,000 t	400 t	350 t	100 t	2,200 t	210 t	190 t	6,450 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	400 t	0 t	0 t	0 t	210 t	190 t	800 t
	再生利用業者への 処理委託量	3,000 t	0 t	350 t	100 t	2,200 t	0 t	0 t	5,650 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

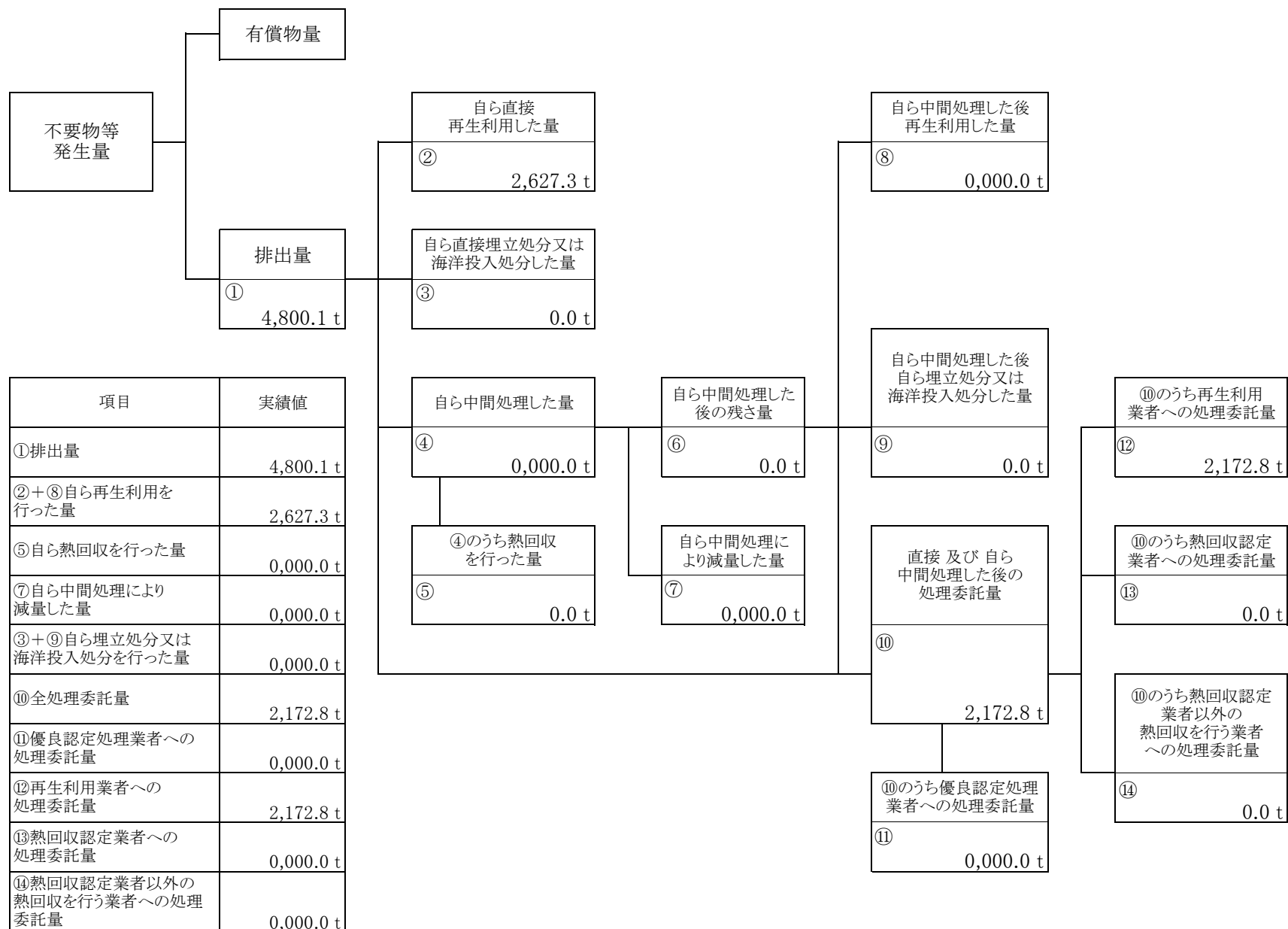
産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月28日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 〒285-0837			
住 所 千葉県佐倉市王子台1-21-2			
氏 名 株式会社村上建設 代表取締役 村上 亮			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 043-461-8811			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社村上建設		
事業場の所在地	千葉県佐倉市王子台1-21-2		
事業の種類	大分類:建築業 中分類:総合工事業		
産業廃棄物処理計画における 計画期間	2023年4月1日 ～ 2024年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	12,460.0 t	全処理委託量	6160.0 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	4800.0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	460.0 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		再生利用業者への 処理委託量	5700.0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	1500.0 t	認定熱回収業者への 処理委託量	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

コンクリート塊

)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

有償物量

不要物等
発生量

排出量

①
353.5 t自ら直接
再生利用した量②
0.0 t自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量③
0.0 t自ら中間処理した後
再生利用した量⑧
0.0 t自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量⑨
0.0 t

自ら中間処理した量

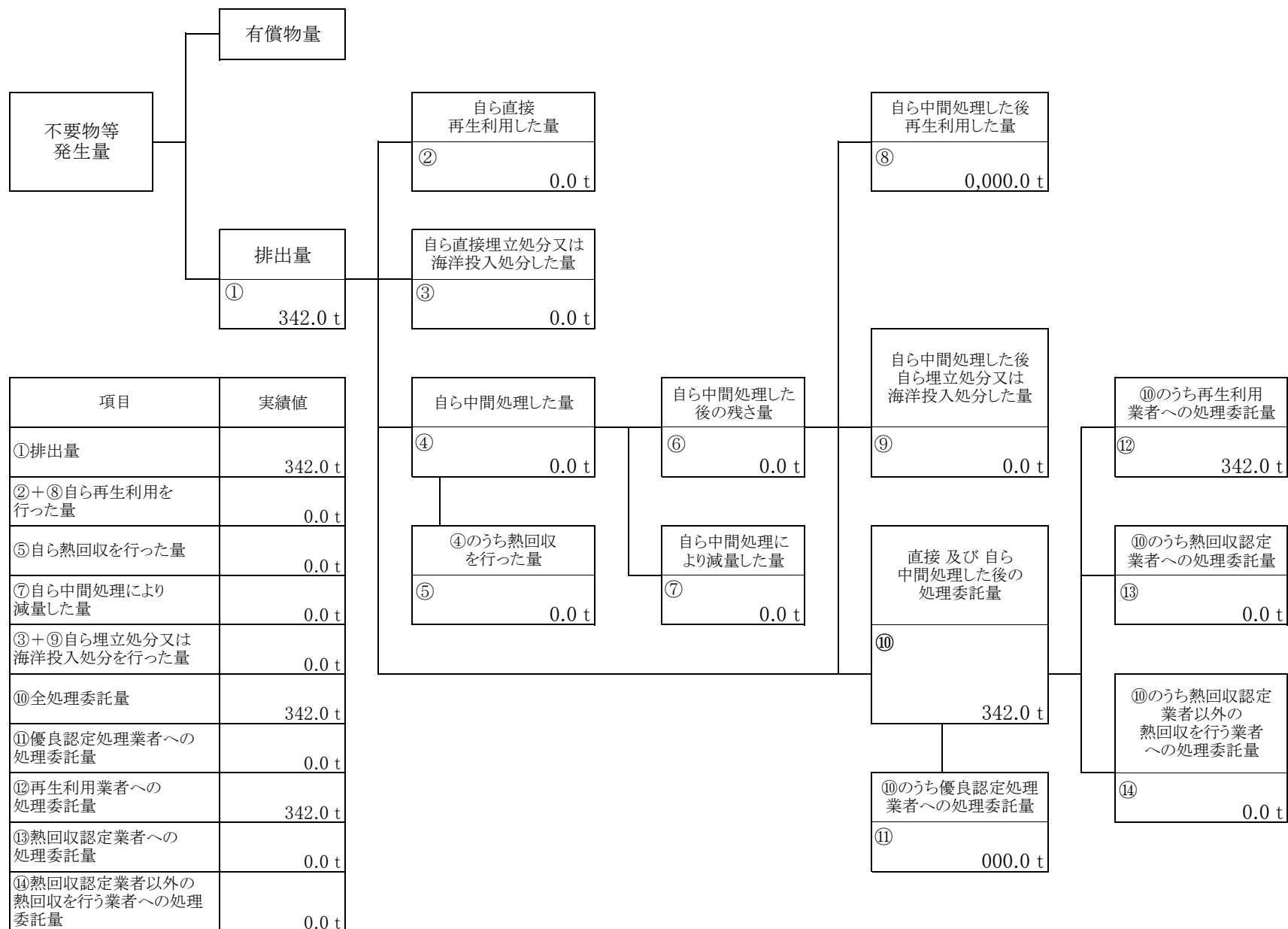
④
0.0 t自ら中間処理した
後の残さ量⑥
0.0 t④のうち熱回収
を行った量⑤
0.0 t自ら中間処理に
より減量した量⑦
0.0 t直接 及び 自ら
中間処理した後の
処理委託量⑩
353.5 t⑩のうち優良認定処理
業者への処理委託量⑪
353.5 t⑩のうち再生利用
業者への処理委託量⑫
0.0 t⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量⑬
0.0 t⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量⑭
0.0 t

(第2面)

項目	実績値
①排出量	353.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	353.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	353.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・陶磁器くず)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

有償物量

不要物等
発生量

排出量

①
91.4 t自ら直接
再生利用した量②
0.0 t自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量③
0.0 t自ら中間処理した後
再生利用した量⑧
0.0 t自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量⑨
0.0 t

自ら中間処理した量

④
0.0 t自ら中間処理した
後の残さ量⑥
0.0 t④のうち熱回収
を行った量⑤
0.0 t自ら中間処理に
より減量した量⑦
0.0 t直接 及び 自ら
中間処理した後の
処理委託量⑩
91.4 t⑩のうち優良認定処理
業者への処理委託量⑪
0.0 t⑩のうち再生利用
業者への処理委託量⑫
91.4 t⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量⑬
0.0 t⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量⑭
0.0 t

(第2面)

項目	実績値
①排出量	91.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	91.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	91.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず

)

有償物量

不要物等
発生量

排出量

①
4,629.1 t自ら直接
再生利用した量②
0.0 t自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量③
0.0 t自ら中間処理した後
再生利用した量⑧
0.0 t自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量⑨
0.0 t

自ら中間処理した量

④
2,314.6 t自ら中間処理した
後の残さ量⑥
45.9 t④のうち熱回収
を行った量⑤
0.0 t自ら中間処理に
より減量した量⑦
2,268.6 t直接 及び 自ら
中間処理した後の
処理委託量⑩
2,360.5 t⑩のうち優良認定処理
業者への処理委託量⑪
2360.5 t⑩のうち再生利用
業者への処理委託量⑫
0,000.0 t⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量⑬
0.0 t⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量⑭
0.0 t

(第2面)

項目	実績値
①排出量	4629.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	2268.6 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2360.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2360.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

その他混合廃棄物

)

有償物量

不要物等
発生量

排出量

①
208.0 t

自ら直接
再生利用した量

②
0.0 t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③
0.0 t

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0.0 t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0.0 t

自ら中間処理した量

④
0.0 t

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥
0.0 t

④のうち熱回収
を行った量

⑤
0.0 t

自ら中間処理に
より減量した量

⑦
0.0 t

直接 及び 自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
208.0 t

⑩のうち優良認定処理
業者への処理委託量

⑪
208.0 t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
0.0 t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
0.0 t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

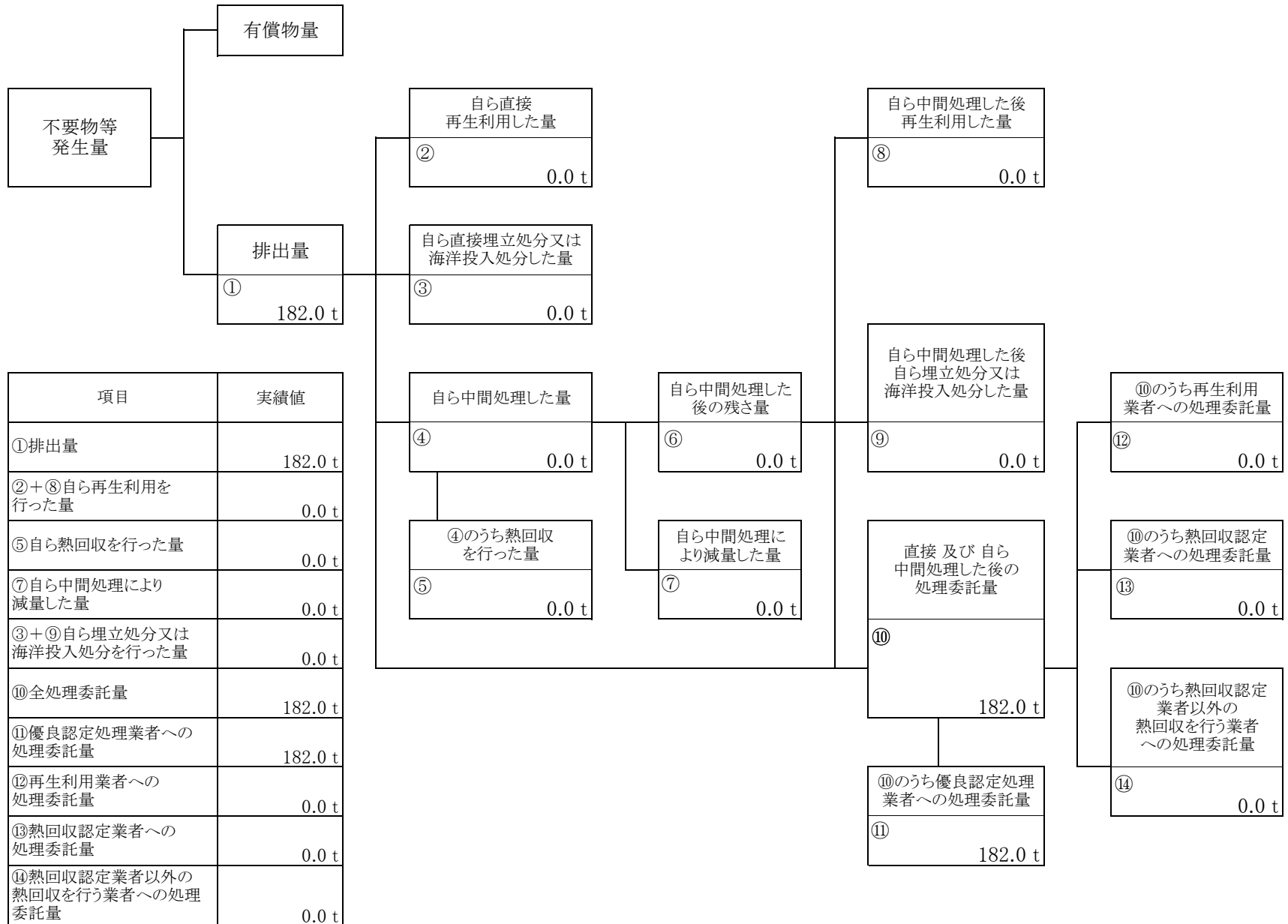
⑭
0.0 t

(第2面)

項目	実績値
①排出量	208.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	208.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	208.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類(石綿含有))



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 産業廃棄物処理計画実施状況報告書
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年5月23日			
千葉県知事 殿			
提出者			
住 所 東京都千代田区二番町3-4 麴町御幸ビル			
氏 名 村本建設株式会社 東京支店 支店長			
執行役員 佐藤 尚文			
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）			
電話番号 03（3238）2125			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	村本建設㈱ 東京支店		
事業場の所在地	東京都千代田区二番町3-4 麴町御幸ビル		
事業の種類	総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,739.94 t	全処理委託量	1,739.94 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	197.51 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,738.29 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 全廃棄物)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量		自直接利用した量		自中間処理した後 再生利用した量			
				②		⑧			
排出量		自直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		自中間処理した量		自中間処理した 後の残さ量		自中間処理した後 自埋立処分 又は海洋投入処分した量	
① 0.00		③		④		⑥		⑨	
				④のうち熱回収を行った量		自中間処理により 減量した量		直接及び自中間処理 した後の処理委託量	
				⑤		⑦		⑩	
								⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
								⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
								⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
								⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	
								⑪	
								⑫	
								⑬	
								⑭	

項目	実績値
①排出量	0.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.00
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月25日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒103-0011	
住 所 東京都中央区大伝馬町10番6号	
氏 名 (株) 森組 東京本店 執行役員本店長 藤田 博	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 06-6222-5093	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	(株) 森組 東京本店
事業場の所在地	東京都中央区大伝馬町10番6号（千葉県内管轄工事）
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	26,905,197,932円(2023年度完成工事高)
③ 従業員数	325人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙産業廃棄物処理工程のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
	(管理体制図) 別紙管理体制表及び管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	1824.17 t	68.2 t
	(これまでに実施した取組) ・工法の改善（汚泥，コンクリートガラ，アスファルトガラ，木材） ・実寸発注の実施（木くず） ・簡易梱包での材料搬入（過剰梱包の防止） ・ユニット化持込（ガラスくず）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	1800 t	60 t
	(今後実施する予定の取組) ・現状維持		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・可能な限り分別して再資源化をはかっている。 (別添 産業廃棄物の処理工程参照)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 当社は、運搬・処分共に委託が原則		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 当社は、運搬・処分共に委託が原則		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	1824.17 t	68.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	700.74 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1824.17 t	68.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 依託基準に従って、産業廃棄物を運搬，処分を依託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 ・ 再資源化率の高い事業者を選定している。その際、都道府県の優良業者認定を受けている業者及び電子マニフェスト対応業者を優先している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	1800 t	60 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1800 t	60 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。 ・電子マニフェスト排出管理100%を目指す。		
	※事務処理欄		

(第6面)

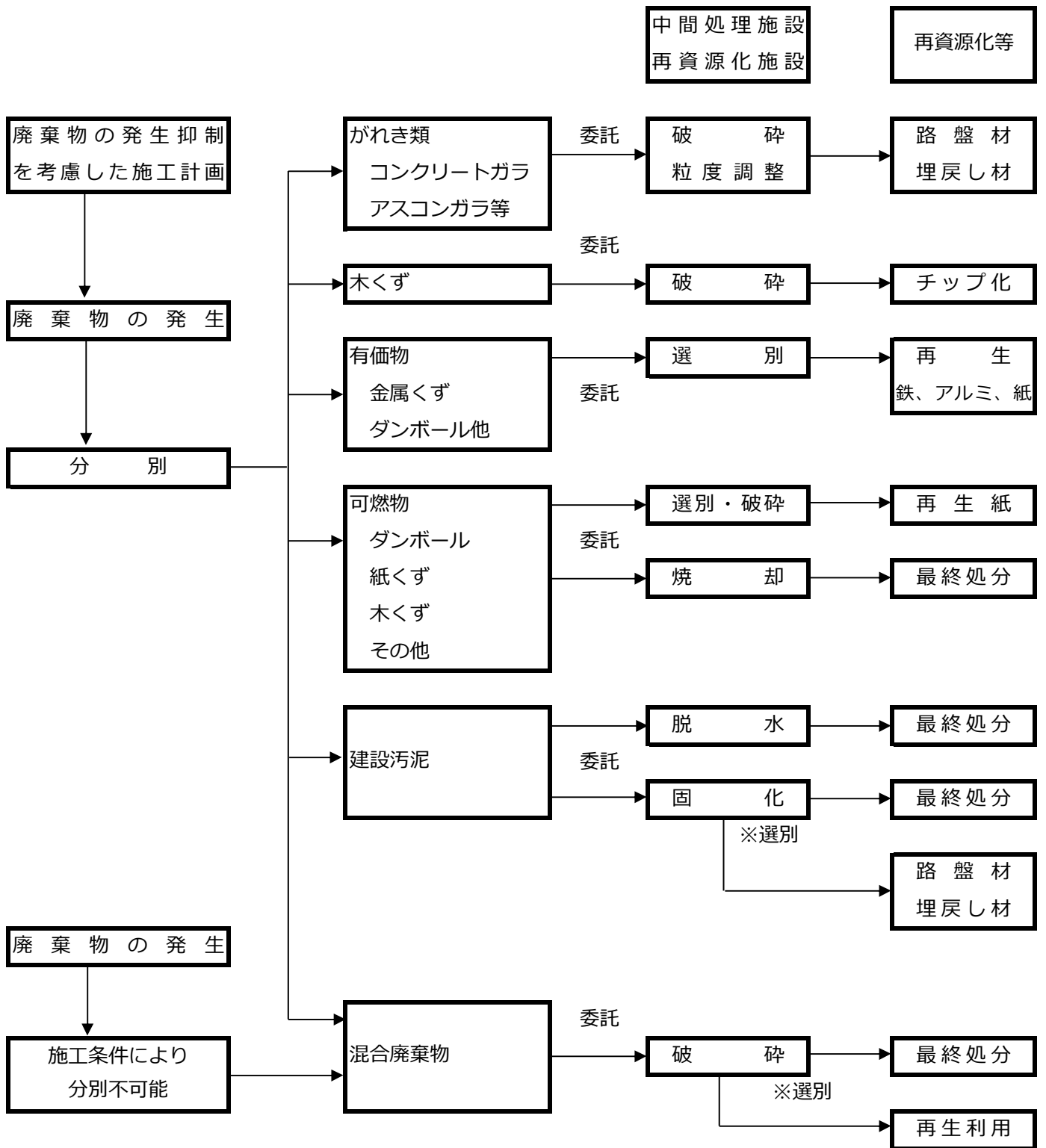
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）			
		排 出 量	37.4 t	3.75 t	21.18 t	12.22 t	300.44 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）			
排 出 量		30 t	3 t	20 t	10 t	300 t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）			
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）				
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）			
	全処理委託量	37.4 t	3.75 t	21.18 t	12.22 t	300.44 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	15.4 t	3.75 t	21.18 t	12.22 t	300.44 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	37.4 t	3.75 t	21.18 t	12.22 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）			
	全処理委託量	30 t	3 t	20 t	10 t	300 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	15 t	3 t	20 t	10 t	300 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	15 t	3 t	20 t	10 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理工程



廃棄物処理に関する管理体制

統括責任者		所 属：安全・品質環境部	担当役員
廃棄物担当		組織名：安全・品質環境部	組織人数：11人
役 割	環境委員会	○ 廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、 計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・ 委員長—社長 ・ 委員—関連部門長 ・ 事務局—安全・品質環境部	
	廃棄物処理 統括責任者	○ 廃棄物処理方針の策定 ○ 廃棄物管理規程の策定・改廃 ○ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認	
	廃棄物管理 作業所長	○ 廃棄物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○ 委託契約の締結 ○ 産業廃棄物管理票の交付・管理 ○ 特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 社員、関連会社に対する教育、啓発 ○ その他関係する事項	

【産業廃棄物管理体制】

